

呉市子供の生活に関する実態調査
報告書

令和6年3月
呉市

目 次

I 調査実施の概要.....	1
1 調査目的.....	1
2 調査対象者.....	1
3 調査方法.....	1
4 調査時期.....	1
5 有効回収数.....	1
6 報告書の見方.....	2
7 回答者の基本属性等.....	2
II 調査結果の概要.....	8
1 保護者の生活状況.....	8
2 子供の生活状況.....	8
3 新型コロナウイルス感染症の影響.....	9
4 支援の利用状況や効果等.....	9
5 広島県や呉市の子供政策への希望.....	9
6 総括(求められる支援や今後の課題).....	10
III 分析結果.....	11
1 保護者の生活状況.....	11
(1)経済的な状況、暮らしの状況.....	11
(2)就労の状況.....	64
(3)保育の状況.....	74
(4)子供との関わり方.....	80
(5)学校との関わり・参加.....	102
(6)進学期待・展望.....	108
(7)頼れる人の有無・相手.....	118
(8)保護者の心理的な状態.....	134
2 子供の生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況.....	138
(1)学習の状況.....	138
(2)進学希望.....	158
(3)部活動等への参加状況.....	182
(4)日常的な生活の状況.....	187
(5)子供の心理的な状態.....	208
(6)逆境体験.....	241
(7)ヤングケアラーの実態.....	246
3 新型コロナウイルス感染症の影響.....	253
(1)保護者の状況.....	253
(2)子供の状況.....	257

4 支援の利用状況や効果等	265
(1)保護者の状況.....	265
(2)子供の状況.....	276
5 広島県や呉市の子供政策への希望.....	304
(1)保護者の状況.....	304
(2)子供の状況.....	331
Ⅲ 参考資料	348
1 等価世帯収入の算出	348
2 調査票	350
(1)保護者票	350
(2)小学生票	366
(3)中学生票	381

I 調査実施の概要

1 調査目的

本調査は、子供の生活状況や子供との関わり、家庭の状況などをうかがい、今後の子供・子育て支援施策の充実や改善につなげる基礎資料とするため、実施した。

2 調査対象者

小学5年生とその保護者、中学2年生とその保護者

3 調査方法

学校を通じた配付・回収

調査票は「小学生票」「中学生票」（以下「子供と表記）及び「小学生保護者」「中学生保護者」（以下「保護者票」と表記）で構成し、学校を通じて配付した。子供票と保護者票はそれぞれ無記名で記入の上、各々個別の封筒に入れ封かんした後、さらに世帯用の封筒に入れたものを、学校を通じて回収した。

4 調査時期

令和5年7月

5 有効回収数

調査対象区分		小学5年生の家庭	中学2年生の家庭
子供	配布数	1,620人	1,615人
	有効回答数	1,435人	1,355人
	回答率	88.6%	83.9%
保護者	配布数	1,620人	1,615人
	有効回答数	1,430人	1,355人
	回答率	88.3%	83.9%

6 報告書の見方

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのために、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 設問に応じ、SA (Single Answer：単数回答)、MA (Multi Answer：複数回答)、NA (Numerical Answer：数量回答)、FA (Free Answer：自由回答) の別を示している。
- (3) MAは回答の合計が調査数を上回ることがある。
- (4) 図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 数表、図表、文中に示すnは、回答総数を表している。
- (6) その他や自由意見については、読みやすさ等を考慮し文章の表現を一部変更し掲載している。
- (7) 広島県の集計については、自治体の回収率の違いを調整するため、特段記載のない限りは統計的な処理に基づく集計（ウエイト付き集計）となっている。
- (8) この調査は、内閣府の「令和3年 子供の生活状況調査の分析」と共通する調査項目については全体集計の比較を行っている。

7 回答者の基本属性等

(1) 保護者の子供との続柄

保護者票問1. お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(SA)

		上段：（人） 下段：（％）					
		合 計	母 親	父 親	祖 父 母	そ の 他	無 回 答
呉市	小学 5 年生	1, 430	1, 312	93	6	3	16
		100. 0	91. 7	6. 5	0. 4	0. 2	1. 1
	中学 2 年生	1, 355	1, 184	92	3	10	66
		100. 0	87. 4	6. 8	0. 2	0. 7	4. 9
広島県	小学 5 年生	8, 087	7, 187	780	34	18	68
		100. 0	88. 9	9. 6	0. 4	0. 2	0. 8
	中学 2 年生	6, 928	6, 053	679	16	30	150
		100. 0	87. 4	9. 8	0. 2	0. 4	2. 2
国中学 2 年生		2, 715	2, 213	466	9	4	23
		100. 0	81. 5	17. 2	0. 3	0. 1	0. 8

※広島県はWB前の数値

(2) 保護者の年齢

保護者票問4. お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。(NA)

			上段：(人) 下段：(%)					
			合計	3 9 歳 以下	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 9 歳	6 0 歳 以上	無 回 答
呉市	小学5年生	母親	1,430	530	775	65	—	60
			100.0	37.1	54.2	4.5	—	4.2
		父親	1,430	377	734	150	7	162
			100.0	26.4	51.3	10.5	0.5	11.3
	中学2年生	母親	1,355	267	832	150	2	104
			100.0	19.7	61.4	11.1	0.1	7.7
		父親	1,355	171	735	212	20	217
			100.0	12.6	54.2	15.6	1.5	16.0
広島県	小学5年生	母親	8,087	2,765	4,597	436	3	286
			100.0	34.2	56.8	5.4	0.0	3.5
		父親	8,087	1,876	4,341	985	61	824
			100.0	23.2	53.7	12.2	0.8	10.2
	中学2年生	母親	6,928	1,154	4,542	901	4	327
			100.0	16.7	65.6	13.0	0.1	4.7
		父親	6,928	703	3,879	1,402	104	840
			100.0	10.1	56.0	20.2	1.5	12.1

※広島県はWB前の数値

(3) 保護者の居住地

保護者票問2. あなたがお住まいの市町を教えてください。(SA)

上段：（人）										下段：（％）	
	合計	中央地区	天応・吉浦地区	昭和地区	宮原・警固地区	広阿賀・仁郷地区	川尻・安浦地区	下蒲刈・蒲刈・豊浜地区	音戸・倉橋地区	呉市外	無回答
小学 5 年生	1,430	322	81	273	60	481	101	9	65	17	21
	100.0	22.5	5.7	19.1	4.2	33.6	7.1	0.6	4.5	1.2	1.5
中学 2 年生	1,355	263	66	195	49	502	111	18	64	17	70
	100.0	19.4	4.9	14.4	3.6	37.0	8.2	1.3	4.7	1.3	5.2

(4) 同居家族の構成と人数

保護者票問3. お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(SA)

		上段：(人) 下段：(%)						
		合計	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
小学5年生	祖母	1,430	1,231	110	6			83
		100.0	86.1	7.7	0.4			5.8
	祖父	1,430	1,270	69	4			87
		100.0	88.8	4.8	0.3			6.1
	母親	1,430	24	1,392				14
		100.0	1.7	97.3				1.0
	父親	1,430	153	1,262				15
		100.0	10.7	88.3				1.0
	姉・兄	1,430	623	515	182	31	4	75
		100.0	43.6	36.0	12.7	2.2	0.3	5.2
	妹・弟	1,430	686	508	136	23	3	74
		100.0	48.0	35.5	9.5	1.6	0.2	5.2
	その他	1,430	1,305	20	2	-	1	102
		100.0	91.3	1.4	0.1	-	0.1	7.1
中学2年生	祖母	1,355	1,096	110	6			143
		100.0	80.9	8.1	0.4			10.6
	祖父	1,355	1,143	63	4			145
		100.0	84.4	4.6	0.3			10.7
	母親	1,355	23	1,265				67
		100.0	1.7	93.4				4.9
	父親	1,355	143	1,142				70
		100.0	10.6	84.3				5.2
	姉・兄	1,355	582	473	151	15	1	133
		100.0	43.0	34.9	11.1	1.1	0.1	9.8
	妹・弟	1,355	585	450	159	23	9	129
		100.0	43.2	33.2	11.7	1.7	0.7	9.5
	その他	1,355	1,162	18	5	1	8	161
		100.0	85.8	1.3	0.4	0.1	0.6	11.9

保護者票問 5. お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(MA)

		上段：(人) 下段：(%)					
		合計	単身赴任中のお子さんの母親が	単身赴任中のお子さんの父親が	その他	単身赴任中の者はいない	無回答
呉市	小学 5 年生	1,430	1	89	18	1,279	44
		100.0	0.1	6.2	1.3	89.4	3.1
	中学 2 年生	1,355	1	79	37	1,155	85
		100.0	0.1	5.8	2.7	85.2	6.3
広島県	小学 5 年生	8,222	4	467	97	7,511	144
		100.0	0.0	5.7	1.2	91.3	1.8
	中学 2 年生	7,061	4	462	128	6,313	156
		100.0	0.1	6.5	1.8	89.4	2.2

(5) 保護者の婚姻の状況

保護者票問 6. お子さんと同じく、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(SA)

		上段：（人） 下段：（％）							
		合 計	結 婚 事 実 婚 含 む（再 婚）	離 婚	死 別	未 婚	わ か ら な い	い な い	無 回 答
呉 市	小学 5 年 生	1,430	1,242	142	10	13	2	3	18
		100.0	86.9	9.9	0.7	0.9	0.1	0.2	1.3
	中学 2 年 生	1,355	1,125	135	8	7	3	8	69
		100.0	83.0	10.0	0.6	0.5	0.2	0.6	5.1
広 島 県	小学 5 年 生	8,222	7,396	687	36	43	9	16	36
		100.0	90.0	8.4	0.4	0.5	0.1	0.2	0.4
	中学 2 年 生	7,061	6,230	652	58	34	15	20	51
		100.0	88.2	9.2	0.8	0.5	0.2	0.3	0.7
国 中 学 2 年 生		2,715	2,358	283	37	20	10		7
		100.0	86.9	10.4	1.4	0.7	0.4		0.3

※以下、保護者票問 6 で「離婚」・「死別」・「未婚」を合わせて「ひとり親世帯」と定義する。

(6) 日本語以外の言語使用

保護者票問8. ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(SA)

		上段：（人）				下段：（％）
		合計	て 日 本 語 の み を 使 用 し て い る	日 本 語 以 外 の 言 語 も 使 用 し て い る が、 日 本 語 の 方 が 多 い	日 本 語 以 外 の 言 語 を 使 う こ と が 多 い	無 回 答
呉市	小学５年生	1,430	1,329	44	6	51
		100.0	92.9	3.1	0.4	3.6
	中学２年生	1,355	1,242	24	3	86
		100.0	91.7	1.8	0.2	6.3
広島県	小学５年生	8,222	7,827	232	35	129
		100.0	95.2	2.8	0.4	1.6
	中学２年生	7,061	6,702	182	30	146
		100.0	94.9	2.6	0.4	2.1
国中学２年生		2,715	2,623	81	5	6
		100.0	96.6	3.0	0.2	0.2

(7) 保護者の最終学歴

保護者票問9. お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。(SA)

			上段：（人） 下段：（％）											
			合計	中学	中学、 高校	中学、 高校、 専門学校	中学、 5年制の高等専 門学校	中学、 高校、 短大	中学、 高校（または5 年制の高等専 門学 校）、 大学	中学、 高校（または5 年制の高等専 門学 校）、 大学、 大学院	その他	わからない	いない	無回 答
呉市	小学5年生	母親	1,430	61	336	334	8	274	260	100	12	3	21	21
			100.0	4.3	23.5	23.4	0.6	19.2	18.2	7.0	0.8	0.2	1.5	1.5
		父親	1,430	67	465	160	13	66	357	118	6	4	147	27
			100.0	4.7	32.5	11.2	0.9	4.6	25.0	8.3	0.4	0.3	10.3	1.9
	中学2年生	母親	1,355	61	324	286	6	346	214	59	7	11	16	25
			100.0	4.5	23.9	21.1	0.4	25.5	15.8	4.4	0.5	0.8	1.2	1.8
		父親	1,355	69	443	154	12	72	312	109	5	11	137	31
			100.0	5.1	32.7	11.4	0.9	5.3	23.0	8.0	0.4	0.8	10.1	2.3
広島県	小学5年生	母親	8,222	269	1,559	1,720	44	1,736	1,979	712	32	17	93	60
			100.0	3.3	19.0	20.9	0.5	21.1	24.1	8.7	0.4	0.2	1.1	0.7
		父親	8,222	288	1,855	1,067	74	284	2,754	1,064	30	32	682	92
			100.0	3.5	22.6	13.0	0.9	3.4	33.5	12.9	0.4	0.4	8.3	1.1
	中学2年生	母親	7,061	209	1,377	1,417	38	1,749	1,434	605	41	22	92	76
			100.0	3.0	19.5	20.1	0.5	24.8	20.3	8.6	0.6	0.3	1.3	1.1
		父親	7,061	235	1,546	957	72	304	2,194	942	21	36	657	95
			100.0	3.3	21.9	13.6	1.0	4.3	31.1	13.3	0.3	0.5	9.3	1.3
国 中学2年生	母親	2,715	110	841	1,154			573				6	31	
		100.0	4.1	31.0	42.5			21.1				0.2	1.1	
	父親	2,715	141	867	445			1,099				49	114	
		100.0	5.2	31.9	16.4			40.5				1.8	4.2	

(8) 子供の性別

子供票問1. あなたの性別を教えてください。(SA)

		上段：（人） 下段：（％）				
		合 計	男	女	い そ の 他 ・ 答 え た く な	無 回 答
呉市	小学５年生	1,435	681	731	5	18
		100.0	47.5	50.9	0.3	1.3
	中学２年生	1,355	664	662	11	18
		100.0	49.0	48.9	0.8	1.3
広島県	小学５年生	8,273	3,992	4,119	73	89
		100.0	48.3	49.8	0.9	1.1
	中学２年生	7,164	3,416	3,519	132	97
		100.0	47.7	49.1	1.8	1.4
国中学２年生		2,715	1,300	1,362	33	20
		100.0	47.9	50.2	1.2	0.7

※広島県はWB前の数値

Ⅱ 調査結果の概要

1 保護者の生活状況

経済的な状況について、等価世帯収入の水準により分類したところ、「中央値の2分の1未満」に該当するのは小学5年生世帯で10.5%、中学2年生世帯で9.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは、小学5年生世帯で33.4%、中学2年生世帯で31.1%となっている。親の婚姻状況から世帯の状況を分類したところ、「ひとり親世帯」は小学5年生世帯で11.5%、中学2年生世帯で11.1%となっている。等価世帯収入の水準には、世帯の状況や親の最終学歴、就労状況等が影響しており、「ひとり親世帯」や親の学歴が低い場合、正社員でない場合では等価世帯収入の水準が低くなる傾向がみられる。

現在の暮らしの状況について、「中央値の2分の1未満」の世帯や「ひとり親世帯」では『苦しい』との回答が約4～5割となっており、「中央値以上」や「ふたり親世帯」と比べて大きな差がみられる。また、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、食料や衣服を買えなかったことや公共料金の未払いになったことがある割合が高くなっており、収入の水準が最も低い「中央値の2分の1未満」の世帯では、食料や衣服を買えなかったことがある割合は3割以上となっている。

子供が進むと思う進学先については、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では『大学またはそれ以上』を希望する割合が低くなっている。親の最終学歴も関連しており、収入が低い世帯であっても、親が『大学またはそれ以上』の場合は子供の進学先も『大学またはそれ以上』の回答割合が高く、親が『大学またはそれ以上』でない場合は子供の進学先も『大学またはそれ以上』の回答割合が低くなっている。子供の進学先について、『高校まで』と考える理由として、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」と回答する割合が高くなる傾向がみられる。

保護者の心理的な状態について、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、「うつ・不安障害相当」と考えられる割合は高くなっており、生活に対する満足度については低くなっている。

2 子供の生活状況

等価世帯収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、「塾で勉強する」の割合が低く、1日あたりの勉強時間も短くなっており、クラス内での成績も『下のほう』と回答する割合が高くなっている。学校の授業の理解度についても、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では『わからない』の回答が高くなっている。

進学希望について、『大学またはそれ以上』との回答が国や県と比べて低く、等価世帯収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」ほど低くなっている。

部活動等への参加状況は、等価世帯収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では「参加していない」の割合が高くなっている。

日常的な生活の状況について、等価世帯収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、毎日朝食を食べている割合が低くなっている。また、生活満足度について、等価世帯収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」のほうが低くなっている。

子供の心理的な状況について、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、「情緒の問題」や「仲間関係の問題」のスコアが高くなる傾向がみられ、「逆境体験」を経験している割合も高くなっている。また、「逆境体験」を経験している場合には、生活満足度が低くなる傾向がみられる。

ヤングケアラーにあてはまると思うかについて、「あてはまる」との回答は、収入や世帯の状況に関わらず1～2%程度となっているが、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、「分からない」との回答が高くなっている。

3 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響について、小学5年生世帯、中学2年生世帯ともに「生活に必要な支出の変化」で「増えた」と回答した割合が高くなっている。

子供への影響では、「家族で外食する回数」、「家族で旅行する回数」で「減った」と回答した割合が高くなっているが、「家族で家で過ごす時間」は「増えた」と回答した割合が高くなっている。

4 支援の利用状況や効果等

保護者の支援制度の利用状況について、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯や「ひとり親世帯」では、「就学援助」や「児童扶養手当」の利用は5～6割前後となっているが、「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」の利用は1割未満となっている。

子供の居場所の利用状況について、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」は、3～4割の子供が利用しており、国と比較して高くなっており、利用による変化として、小学5年生では「友だちが増えた」、中学2年生では「勉強する時間が増えた」が高くなっている。また、「勉強を無料でみてる場所」については、利用している子供は1割未満だが、「あれば利用したいと思う」は4割程度となっている。

5 広島県や呉市の子供政策への希望

広島県の子供に関する取組で特に力を入れてほしいと思うことについて、保護者・子供のいずれについても「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が最も高くなっており、選んだ理由としては、塾に行かなければ進学に必要な学力が見につかず金銭的な負担が大きいといった意見のほか、コミュニケーションや表現力など、勉強以外の将来社会で役に立つことをもっと学びたいという意見がみられる。収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が高くなっており、児童扶養手当の所得制限の見直しなど支援制度について改善を求める意見のほか、ライフラインに対しての補助がほしいとの意見もみられる。

呉市で充実してほしい支援については、「子供が安全に過ごすことができる遊び場の提供」や「読み書き計算など基礎的な学習への支援」が高くなっている。また、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、「安い家賃で住める住居の確保」が高くなっている。

6 総括（求められる支援や今後の課題）

【課題①貧困の連鎖】

本調査においては、保護者の経済状況や婚姻状況により生活実態をみてきたが、貧困層やひとり親世帯ほど、子供の成績が低く、授業の理解が浅くて、大学への進学希望者が少なくなっているなど、保護者の貧困が子供の学習状況に影響を与えていることが分かった。

また、広島県では、全国平均と比べても、塾で勉強する子供が少なく、学校外の勉強時間も短く、大学への進学希望者も少なくなっている。広島県の子供に関する取組で特に力を入れてほしいと思うことについては、保護者・子供のいずれについても「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が最も高く、保護者の意見として、「塾に行かなくても学校で必要な学力を身につけられるようにしてほしい」という意見がみられており、学校教育に力を入れていく必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の拡大や ICT 等の技術の発展など、社会環境が目まぐるしく変わっていく中、子供たちが将来社会に出た時に本当に役に立つ知識や能力を身につけられるように学校での学習内容を見直していくことが求められる。

【課題②貧困の影響は経済的な課題に留まらない】

先程述べた通り、保護者の貧困は子供の学習状況に影響を与えていることが明らかとなったが、それだけでなく、生活習慣や体験活動、心理的側面にも影響があることが分かった。貧困層やひとり親世帯では、朝食を毎日食べる習慣が身についている子供がその他の層やふたり親世帯の子供に比べて少なくなっている。また、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動等に参加していない子供が多くなっている。心理的な側面では、貧困層やひとり親世帯ほど生活満足度が低くなっている。

これらの通り、保護者の経済状況や婚姻状況によって、子供は学習状況や生活習慣、体験活動、心理的側面など、様々な範囲で影響を受けているということが明らかとなった。そのため、困窮世帯やひとり親世帯など、保護者に課題がある場合には、経済的な支援だけでなく多様な範囲で子供への支援が必要である。

【課題③悩みがあっても相談できない人がいる】

困っているときに相談できる人について、子供に尋ねたところ、小学5年生で3.8%、中学2年生で5.8%が「誰にも相談できない、相談したくない」と回答している。保護者についても、子育てに関する相談で頼れる人について、小学5年生の保護者で2.5%、中学2年生の保護者で2.7%が「いない」と回答している。

これらの相談できる人の有無で生活満足度をみると、相談できる人がいない場合、相談できる人がいる人に比べて、生活満足度の平均点が2点前後ほど低くなっており、貧困層やひとり親世帯の生活満足度の平均と比べても低くなっていることが分かった。

近年、子供の貧困を初めとし、いじめ・不登校・虐待・障害・ヤングケアラーなど、子育て世帯を取り巻く環境においては様々な課題が顕在化してきており、個人が抱える課題も複雑化している。子供や子育てを行う保護者が課題を抱え込んで孤独になってしまわないように、相談できる体制づくりを進めていく必要がある。

Ⅲ 分析結果

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

保護者票問 20. 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(SA)

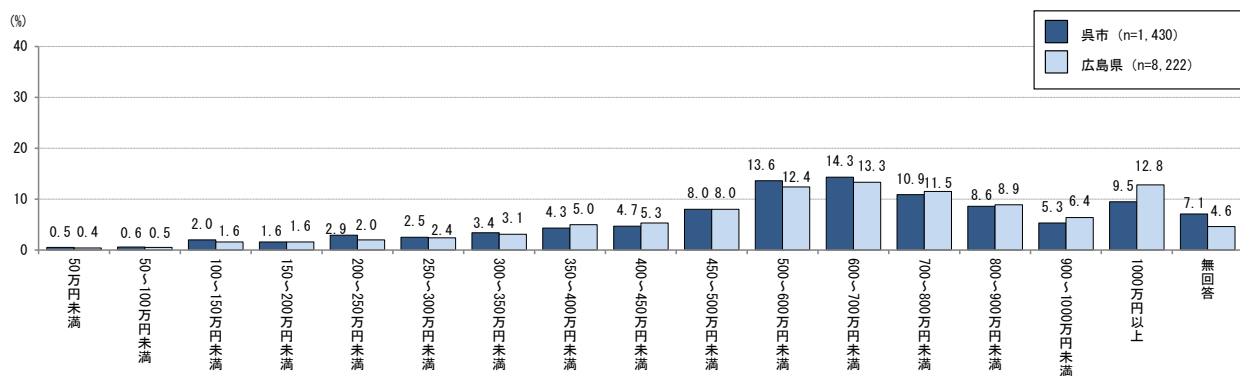
【全体】

※2022 年の年間収入についてお答えください。

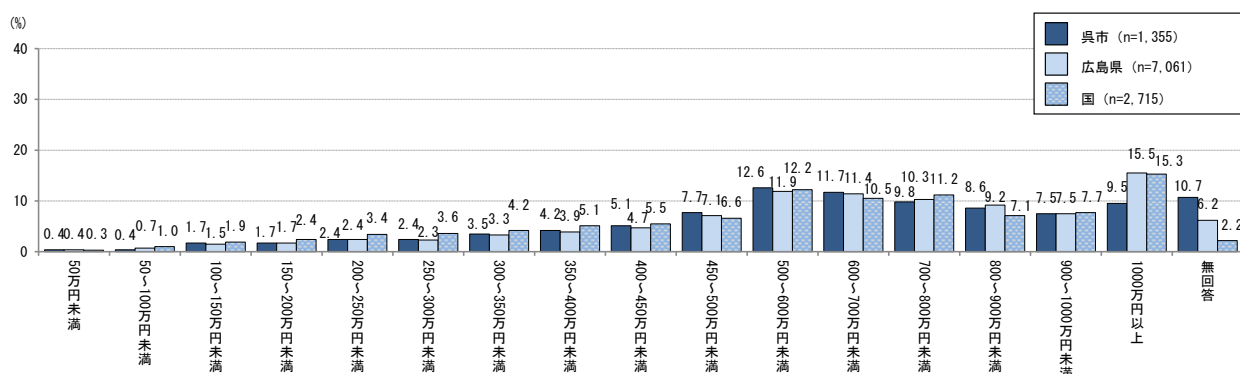
※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入（定期収入、賞与等）
- ・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
- ・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
- ・資産収入（預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。）
- ・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

【小学5年生の保護者】



【中学2年生の保護者】



世帯全体の年間収入について、小学5年生の保護者では、「600～700 万円未満」が 14.3%と最も高く、次いで、「500～600 万円未満」(13.6%)、「700～800 万円未満」(10.9%) などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「500～600 万円未満」が 12.6%と最も高く、次いで、「600～700 万円未満」(11.7%)、「700～800 万円未満」(9.8%) などの順となっている。

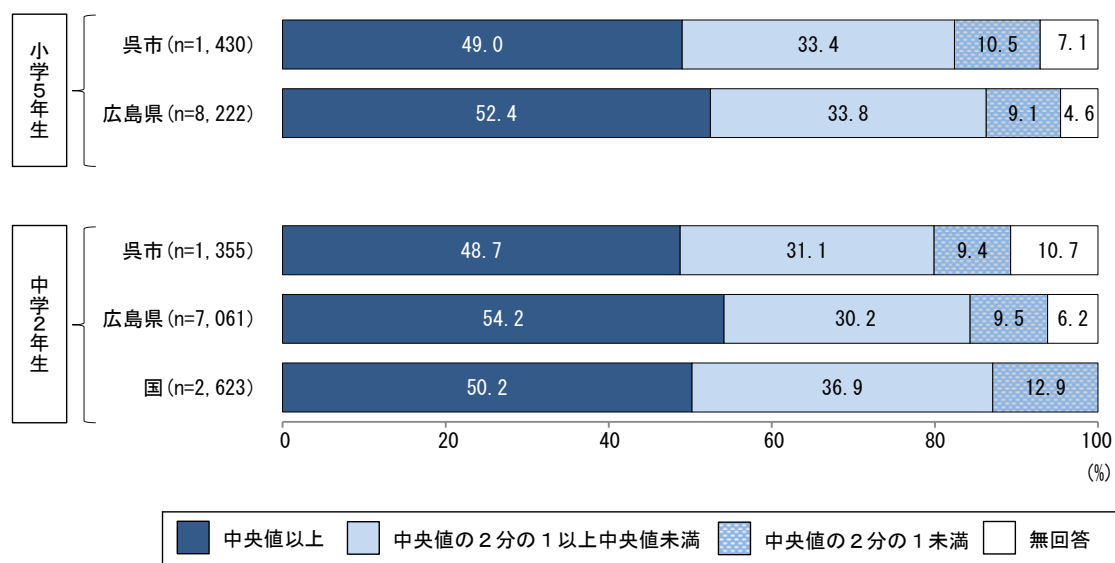
本資料においては、世帯の年間収入の水準について、「子供と同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行う。

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50 万円未満」であれば 25 万円、「50～100 万円未満」であれば 75 万円とする。なお、「1,000 万円以上」は 1,050 万円とする）。

○上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

【全体】

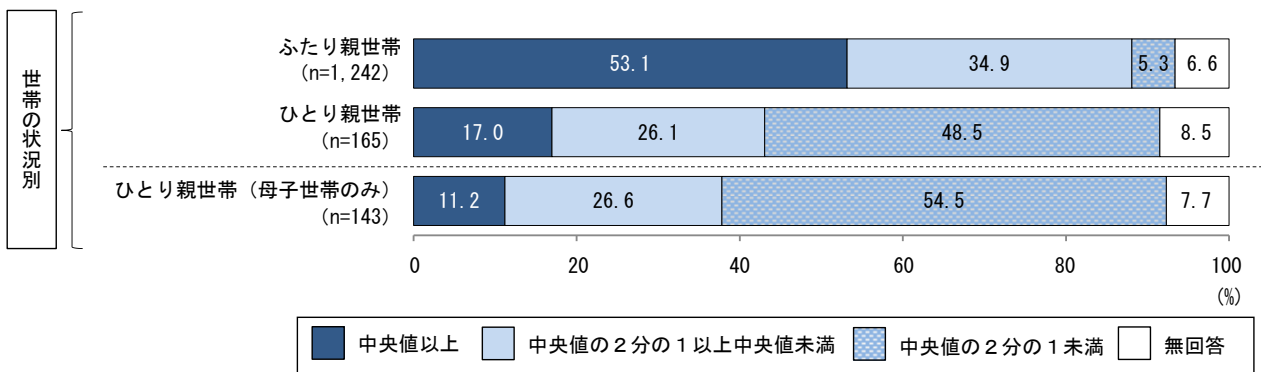


※国調査は単身赴任が含まれていない。また無回答を除いて集計している。

等価世帯収入の水準について、小学5年生の保護者では、「中央値の2分の1未満」が10.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」が33.4%、「中央値以上」が49.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

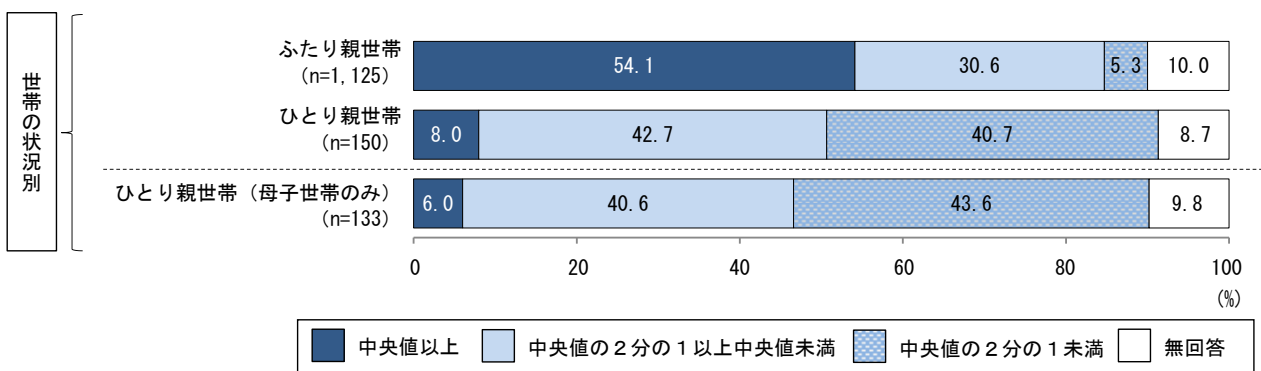
中学2年生の保護者では、「中央値の2分の1未満」が9.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」が31.1%、「中央値以上」が48.7%となっている。広島県と比較すると、「中央値以上」は呉市(48.7%)が広島県(54.2%)を5.5ポイント下回っている。国と比較すると、「中央値の2分の1以上中央値未満」は呉市(31.1%)が国(36.9%)を5.8ポイント下回っている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「ふたり親世帯」では5.3%、「ひとり親世帯全体」では48.5%、「母子世帯のみ」では54.5%となっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】

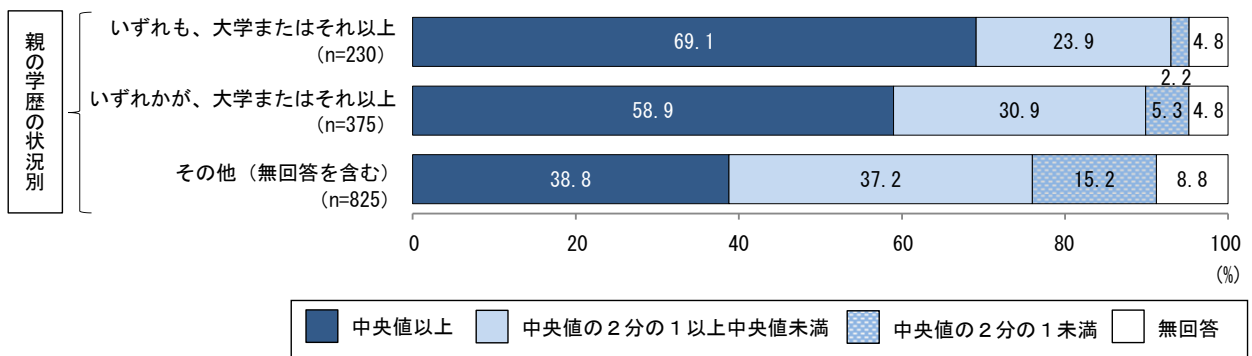


世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「ふたり親世帯」では5.3%、「ひとり親世帯全体」では40.7%、「母子世帯のみ」では43.6%となっている。

1 保護者の生活状況

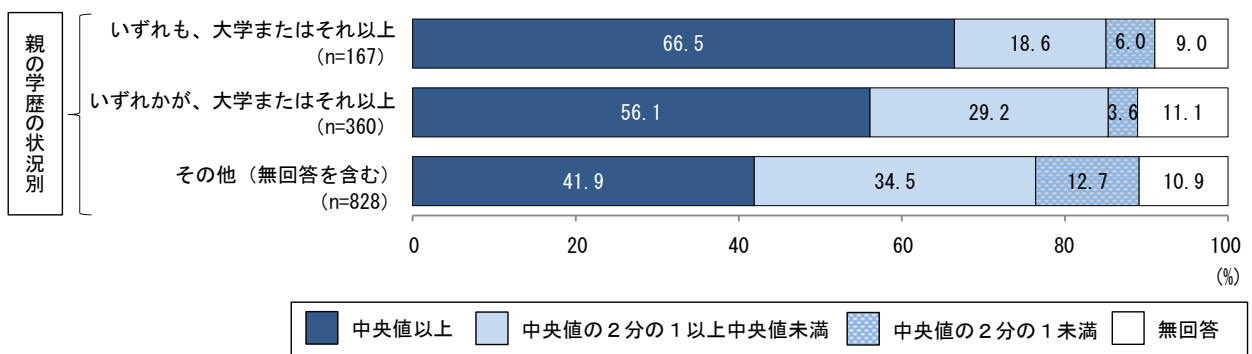
(1) 経済的な状況、暮らしの状況

【親の学歴状況別_小学5年生の保護者】



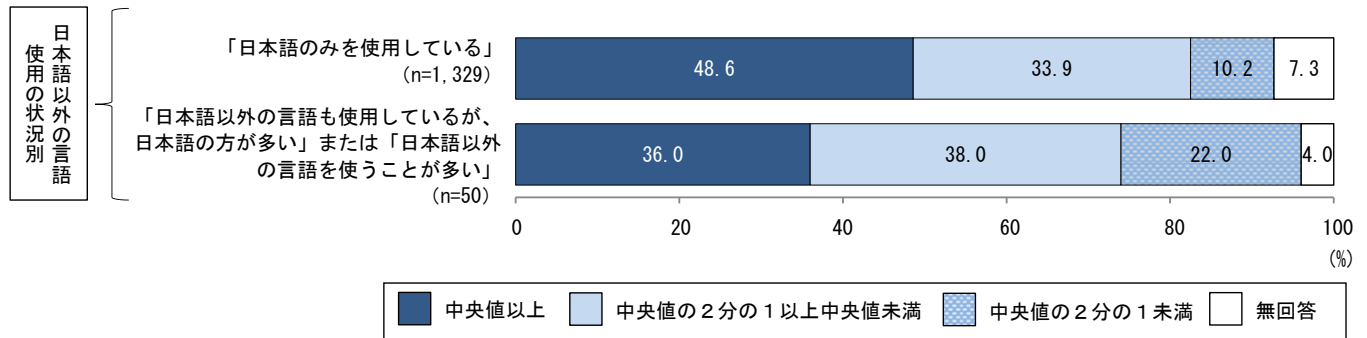
親の学歴状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「いずれも、大学またはそれ以上」では2.2%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では5.3%となっている。

【親の学歴状況別_中学2年生の保護者】



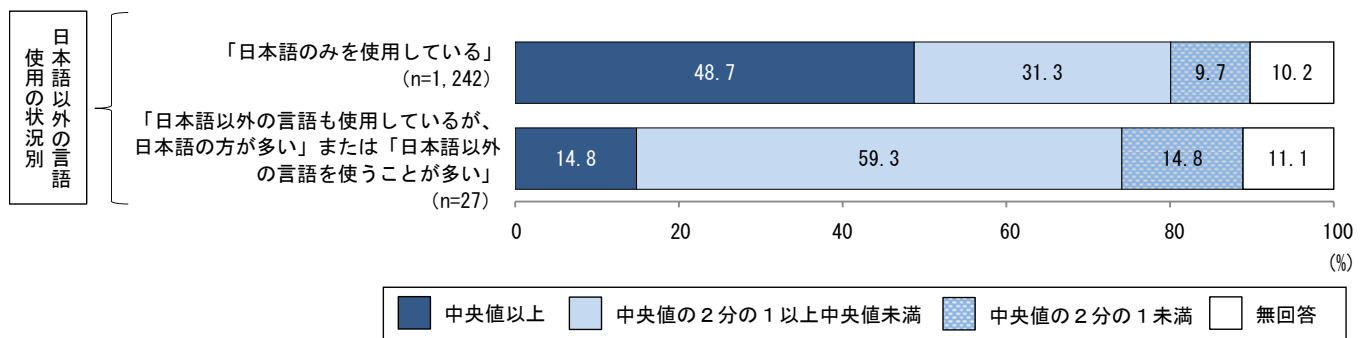
親の学歴状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「いずれも、大学またはそれ以上」では6.0%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では3.6%となっている。

【日本語以外の言語使用状況別_小学5年生の保護者】



日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、『日本語以外も使用している（「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」と「日本語以外の言語を使うことが多い」を合わせた割合）』（22.0%）が「日本語のみを使用している」（10.2%）を11.8ポイント上回っている。

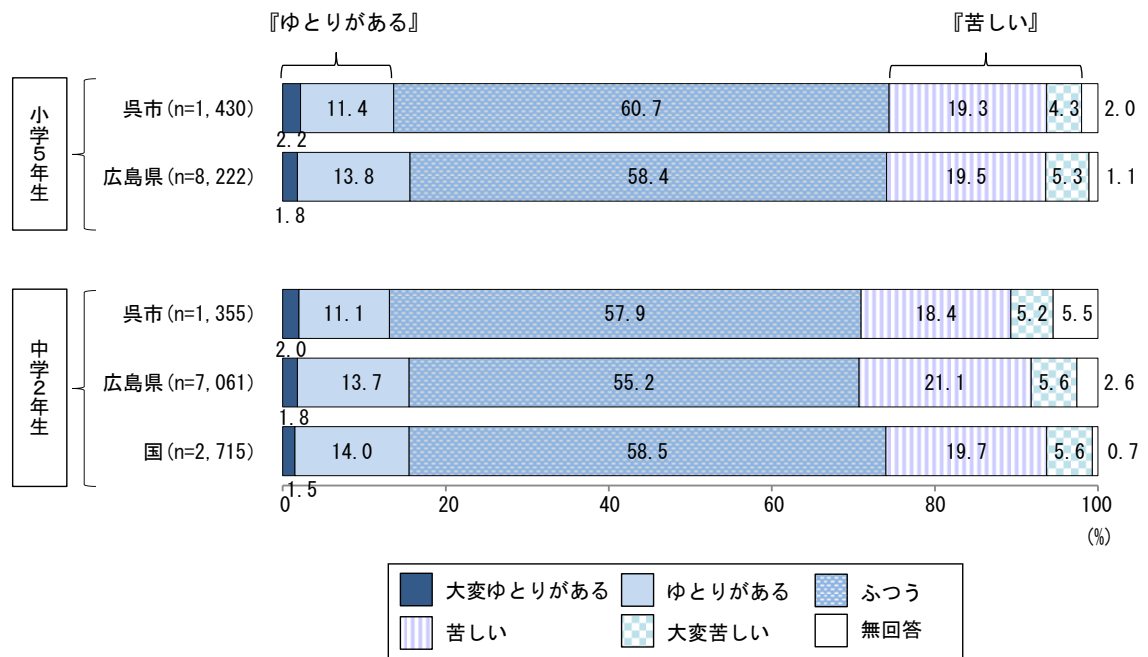
【日本語以外の言語使用状況別_中学2年生の保護者】



日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、『日本語以外も使用している』（14.8%）が「日本語のみを使用している」（9.7%）を5.1ポイント上回っている。

保護者票問 19. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(SA)

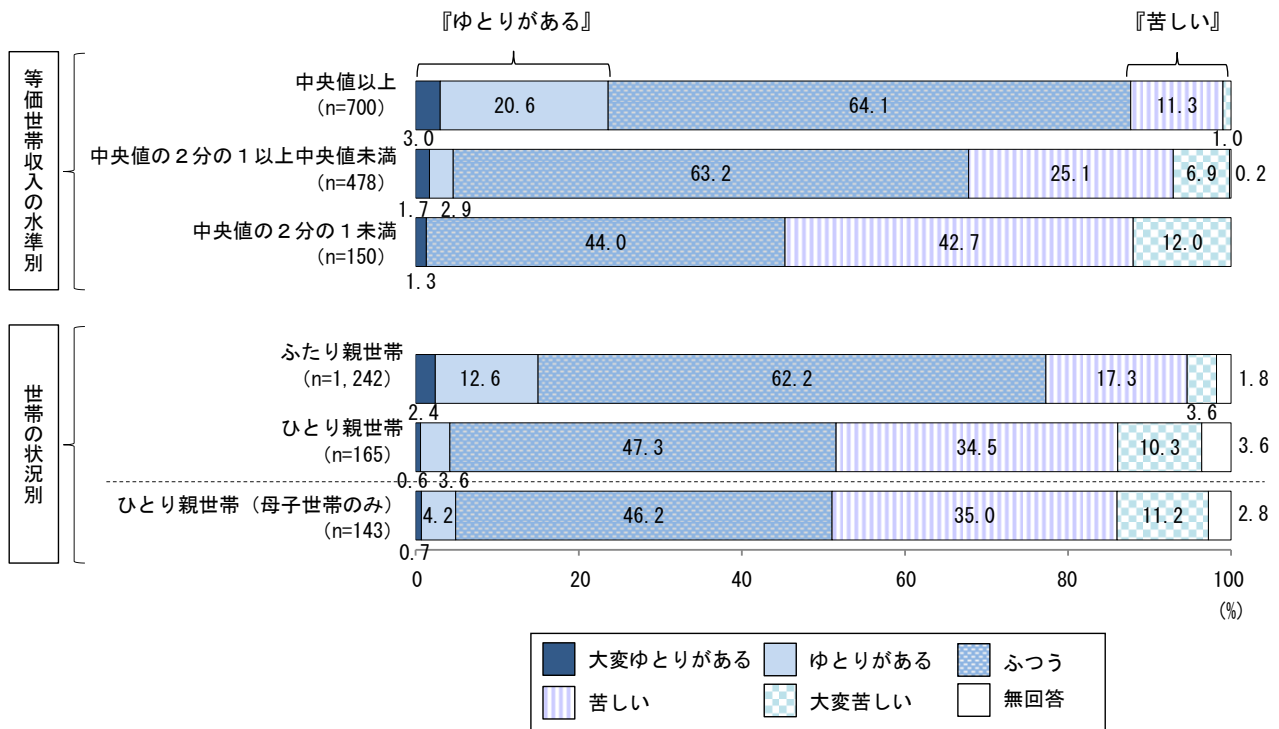
【全体】



暮らしの状況について、小学5年生の保護者では、『ゆとりがある（「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた割合）』が13.6%、「ふつう」が60.7%、『苦しい（「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合）』が23.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『ゆとりがある』が13.1%、「ふつう」が57.9%、『苦しい』が23.6%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



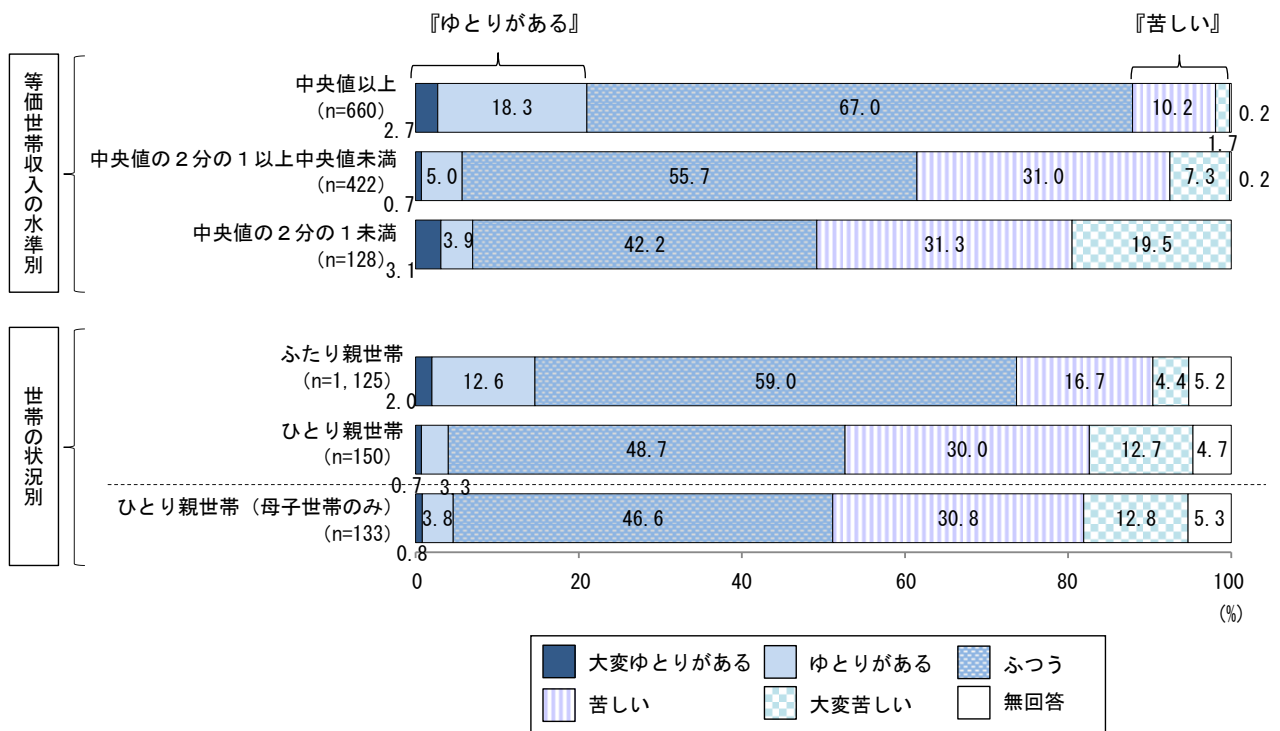
等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では12.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では32.0%、「中央値の2分の1未満」では54.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では20.9%、「ひとり親世帯全体」では44.8%、「母子世帯のみ」では46.2%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

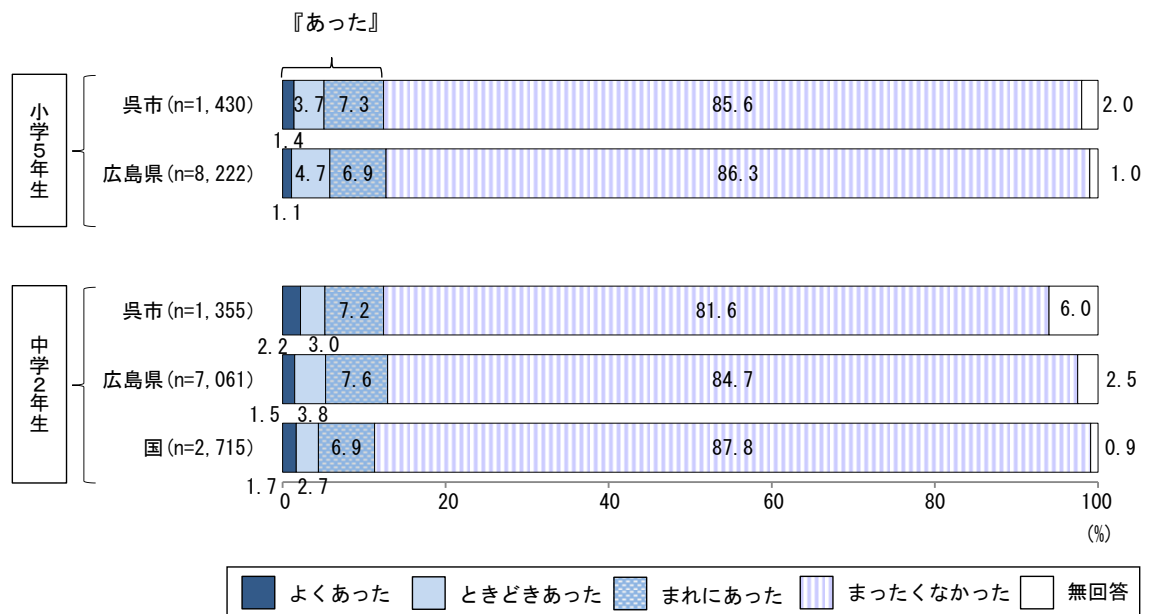


等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では11.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では38.3%、「中央値の2分の1未満」では50.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では21.1%、「ひとり親世帯全体」では42.7%、「母子世帯のみ」では43.6%となっている。

保護者票問 21. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(SA)

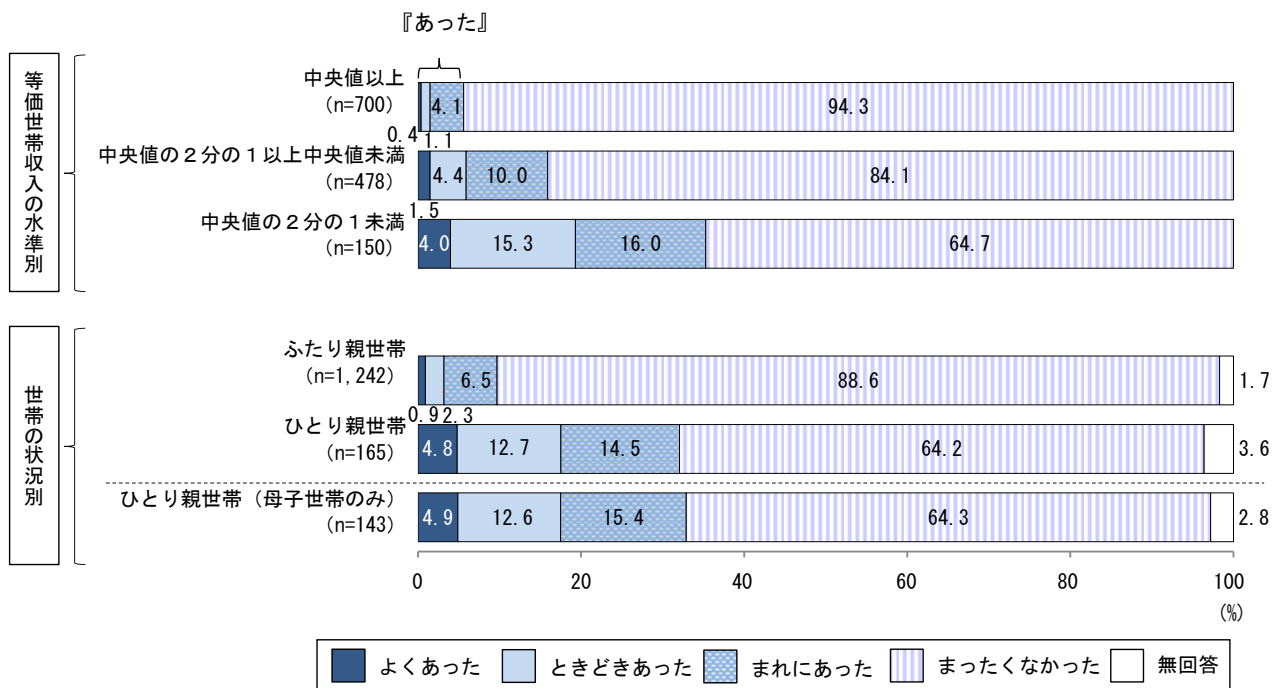
【全体】



食料が買えなかった経験について、小学5年生の保護者では、『あった（「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた割合）』が 12.4%、「まったくなかった」が 85.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あった』が 12.4%、「まったくなかった」が 81.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「まったくなかった」は、呉市（81.6%）が国（87.8%）を 6.2 ポイント下回っている。

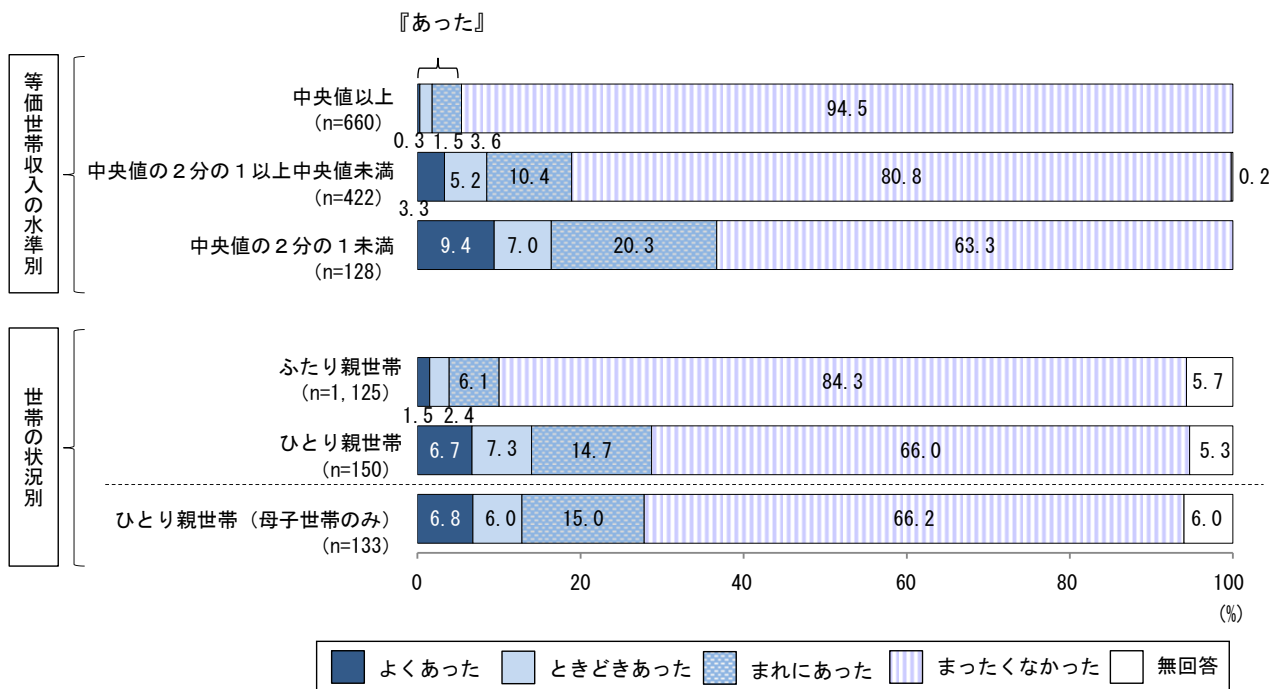
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では5.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では15.9%、「中央値の2分の1未満」では35.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では9.7%、「ひとり親世帯全体」では32.0%、「母子世帯のみ」では32.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

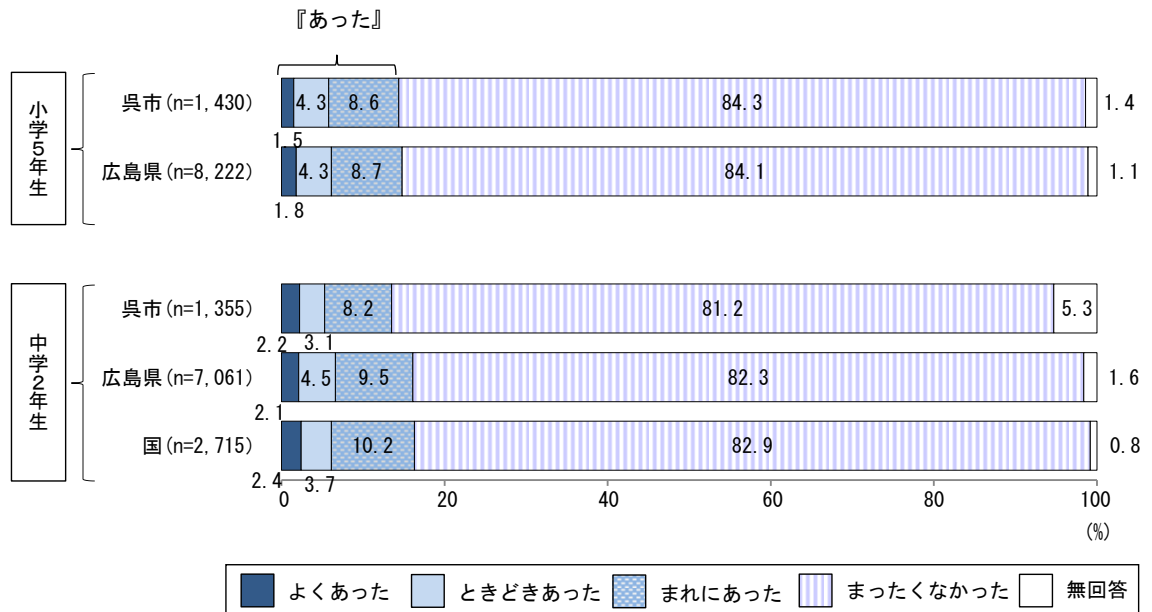


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 5.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 18.9%、「中央値の2分の1未満」では 36.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 10.0%、「ひとり親世帯全体」では 28.7%、「母子世帯のみ」では 27.8%となっている。

保護者票問 22. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(SA)

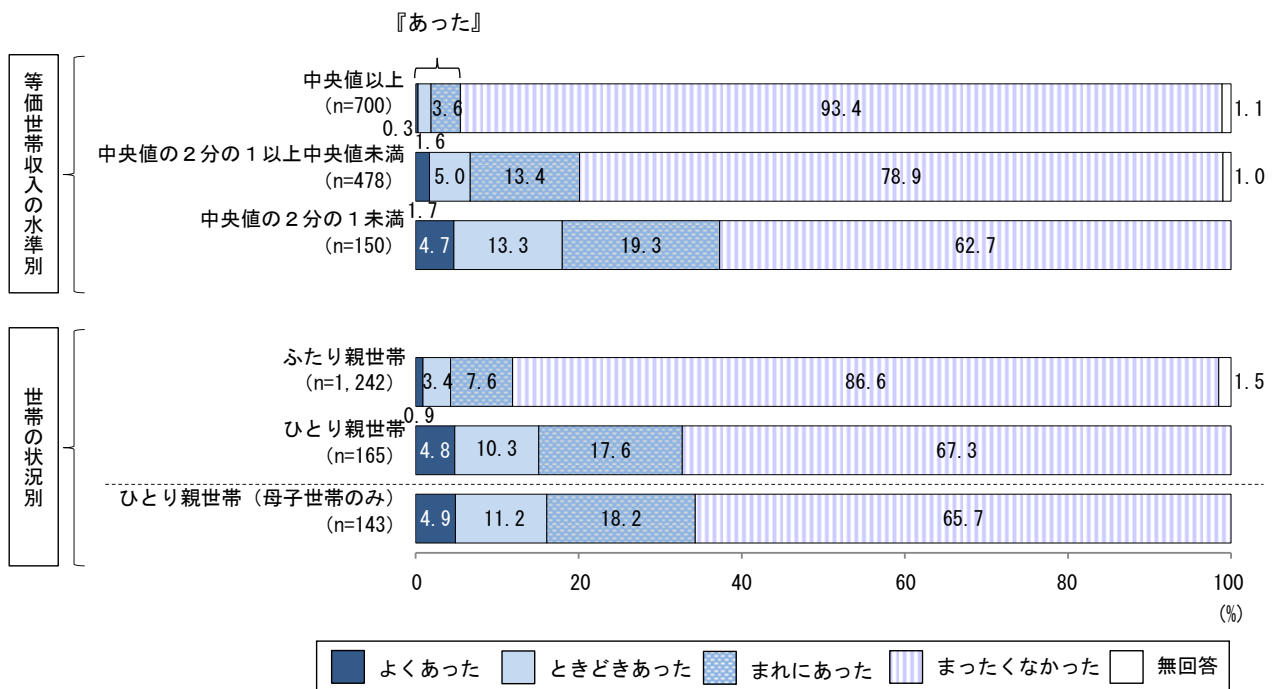
【全体】



衣服が買えなかった経験について、小学5年生の保護者では、『あった（「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた割合）』が14.4%、「まったくなかった」が84.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あった』が13.5%、「まったくなかった」が81.2%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



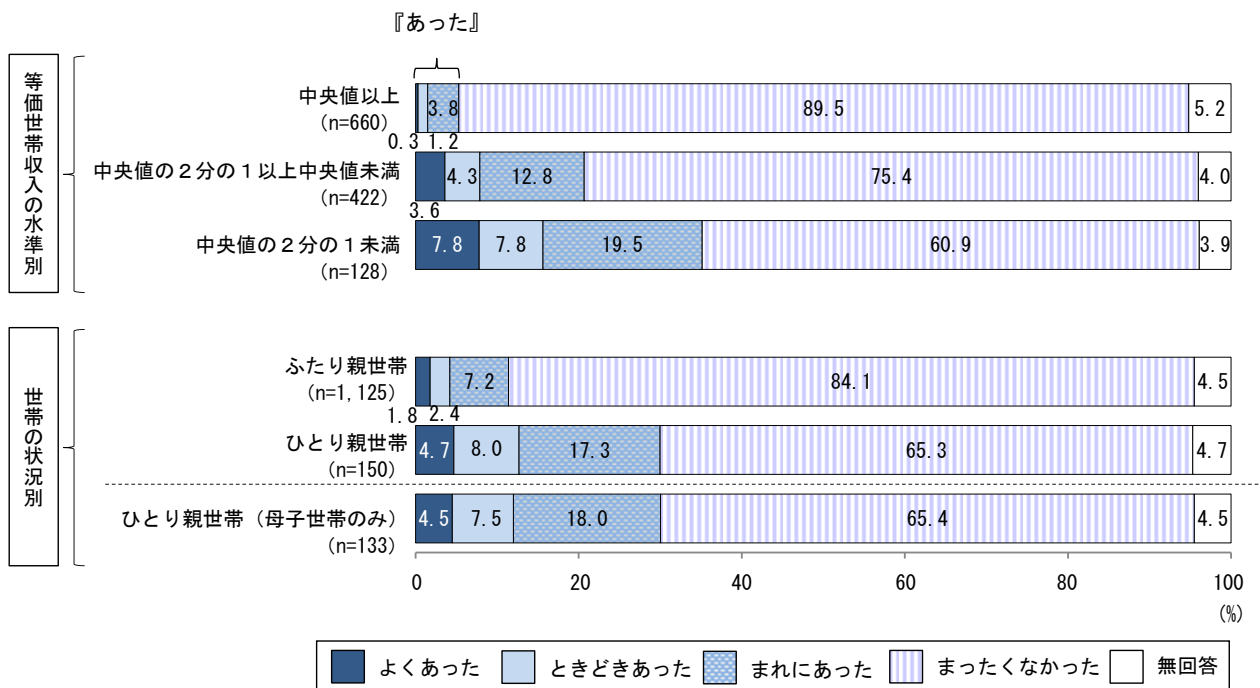
等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では5.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では20.1%、「中央値の2分の1未満」では37.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では11.9%、「ひとり親世帯全体」では32.7%、「母子世帯のみ」では34.3%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

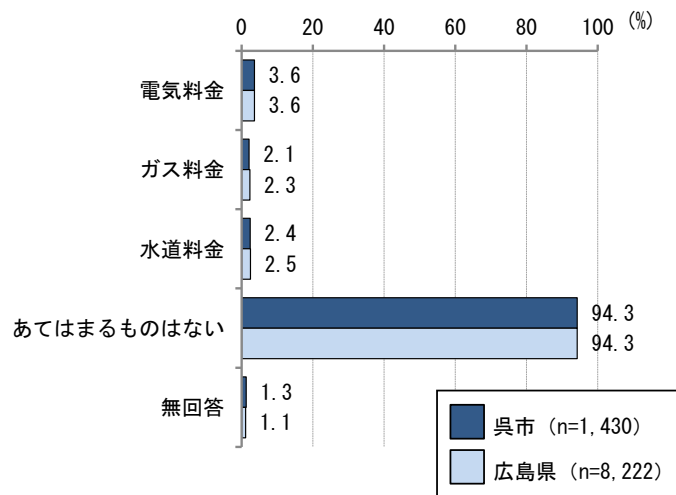


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 5.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 20.7%、「中央値の2分の1未満」では 35.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 11.4%、「ひとり親世帯全体」では 30.0%、「母子世帯のみ」では 30.0%となっている。

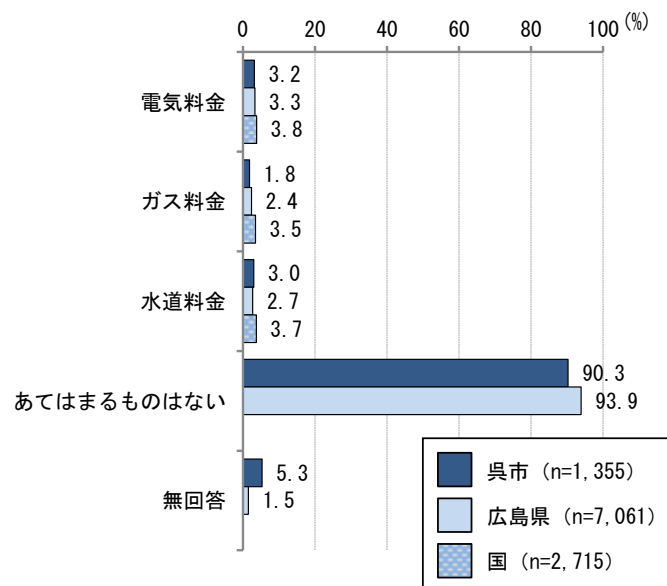
保護者票問 23. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(MA)

【小学 5 年生の保護者】



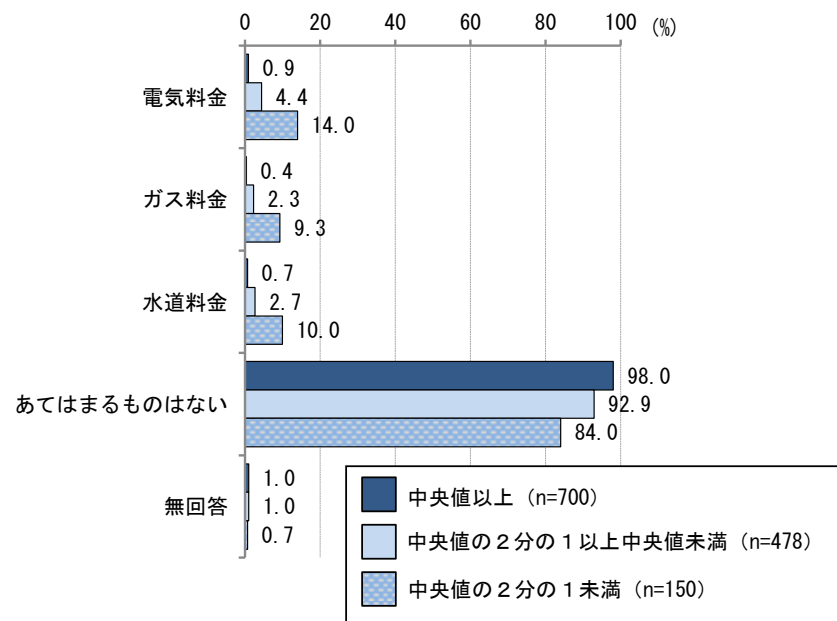
公共料金における未払いの経験について、小学 5 年生の保護者では、「電気料金」が 3.6%、「ガス料金」が 2.1%、「水道料金」が 2.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学 2 年生の保護者】



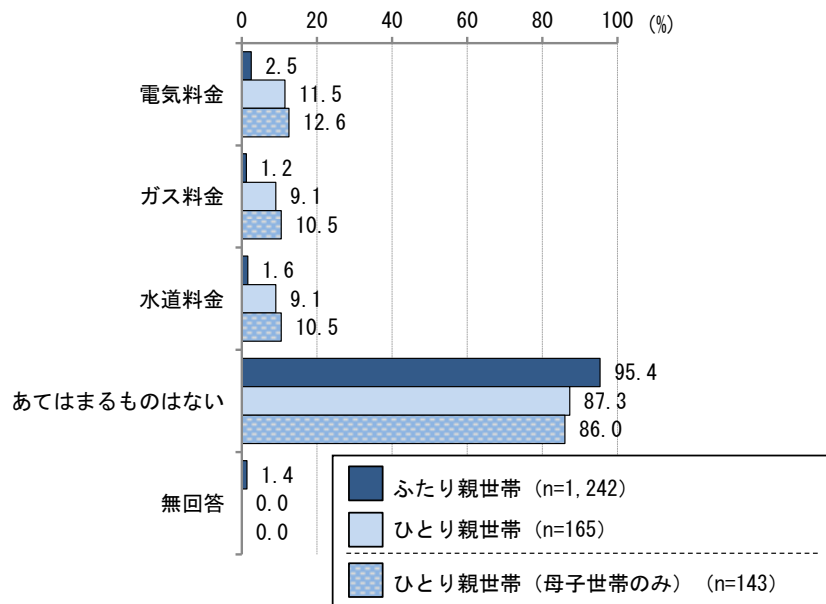
中学 2 年生の保護者では、「電気料金」が 3.2%、「ガス料金」が 1.8%、「水道料金」が 3.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「電気料金」は14.0%、「ガス料金」は9.3%、「水道料金」は10.0%が「あった」（該当）となっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】

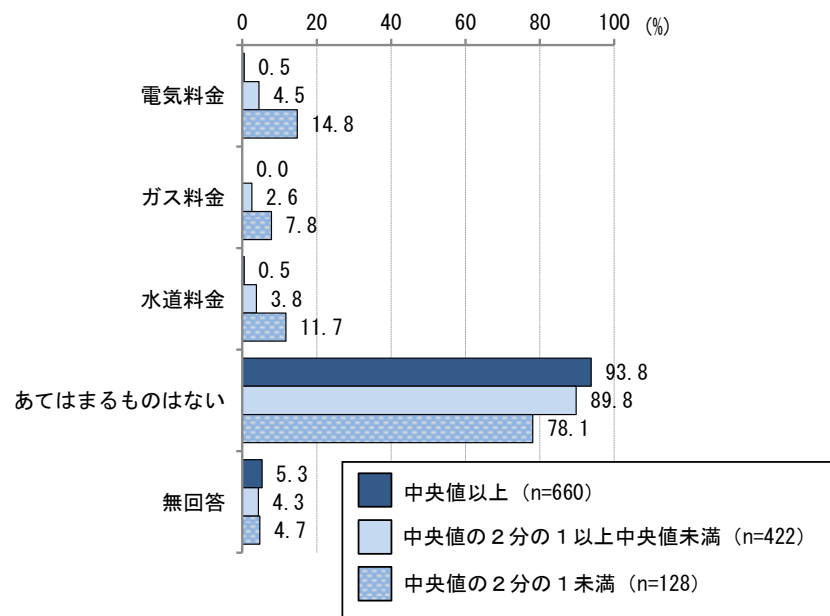


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」では、「電気料金」は11.5%、「ガス料金」は9.1%、「水道料金」は9.1%が「あった」（該当）となっている。

1 保護者の生活状況

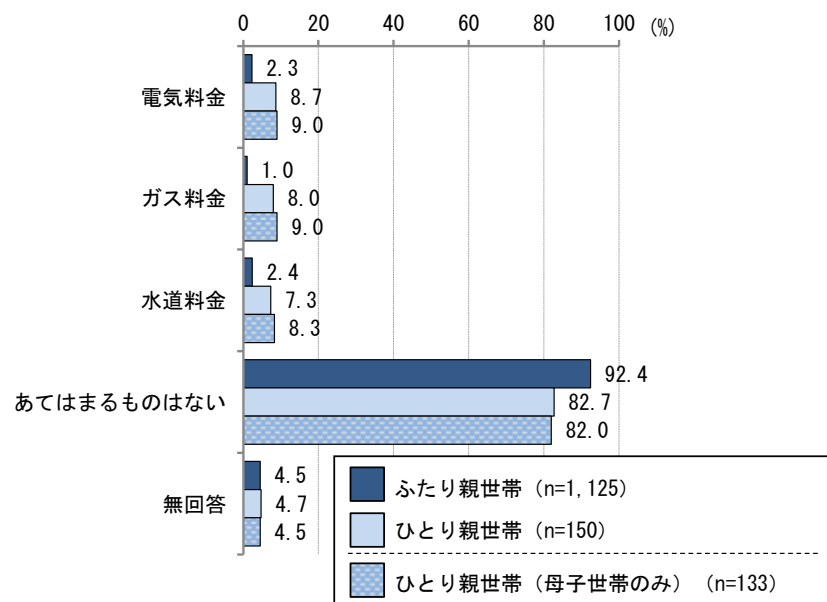
(1) 経済的な状況、暮らしの状況

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「電気料金」は14.8%、「ガス料金」は7.8%、「水道料金」は11.7%が「あった」(該当)となっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】

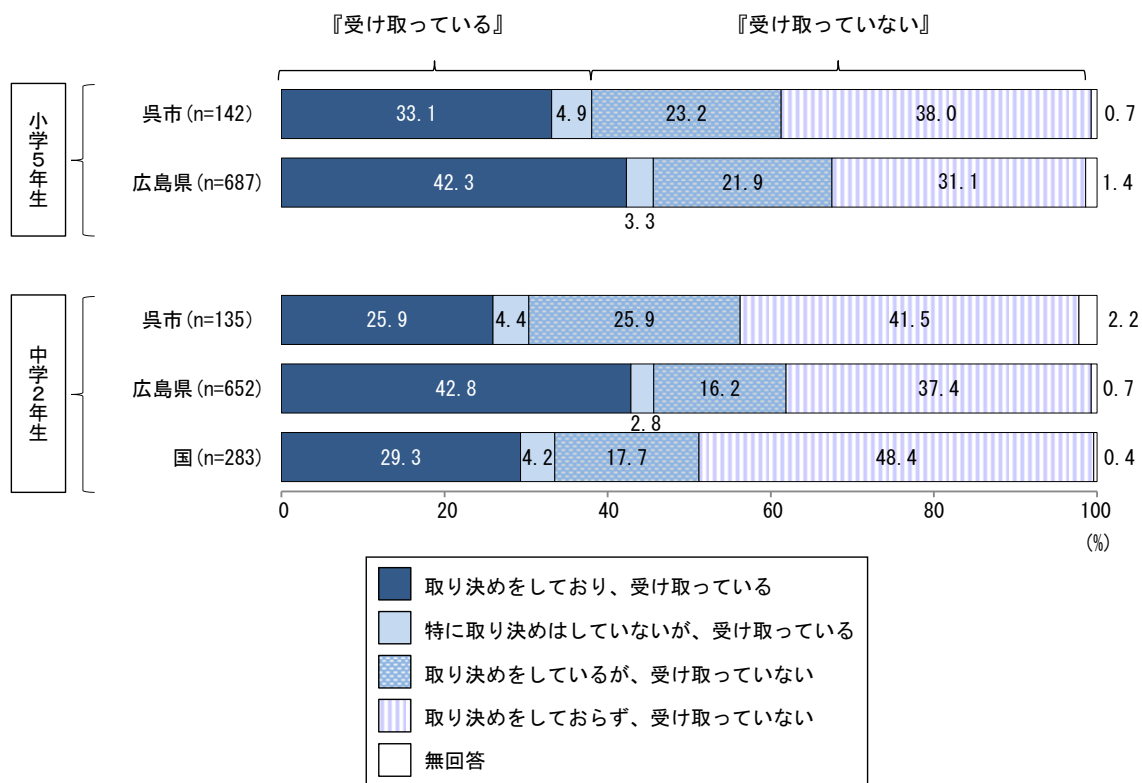


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」では、「電気料金」は8.7%、「ガス料金」は8.0%、「水道料金」は7.3%が「あった」(該当)となっている。

※問6で「2 離婚」を選んだ方に

保護者票問7. 離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(SA)

【全体】



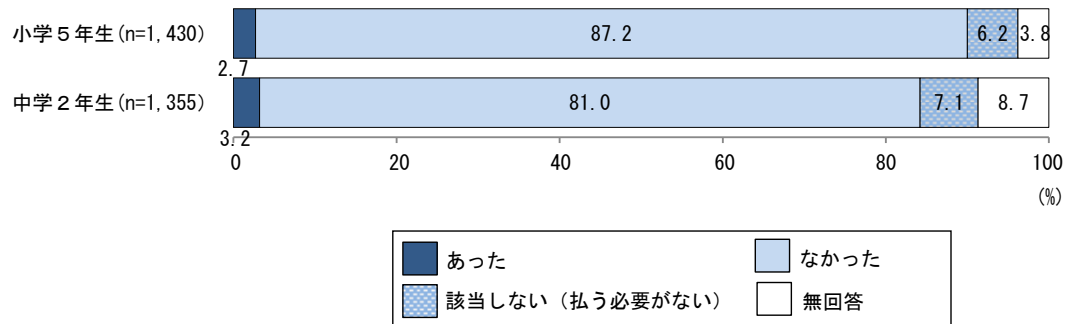
養育費の取り決めについて、小学5年生の保護者「離婚」該当者では、『受け取っている（「取り決めをしており、養育費を受け取っている」と「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」を合わせた割合）』が38.0%、『受け取っていない（「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」と「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」を合わせた割合）』が61.2%となっている。広島県と比較すると、『受け取っていない』は、呉市（61.2%）が広島県（53.0%）を8.2ポイント上回っている。

中学2年生の保護者「離婚」該当者では、『受け取っている』が30.3%、『受け取っていない』が67.4%となっている。広島県と比較すると、『受け取っている』は、呉市（30.3%）が広島県（45.6%）を15.3ポイント下回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 32. 過去 1 年の間に、経済的な理由で、以下の a～g のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(SA)

= 電話料金 =

【全体】



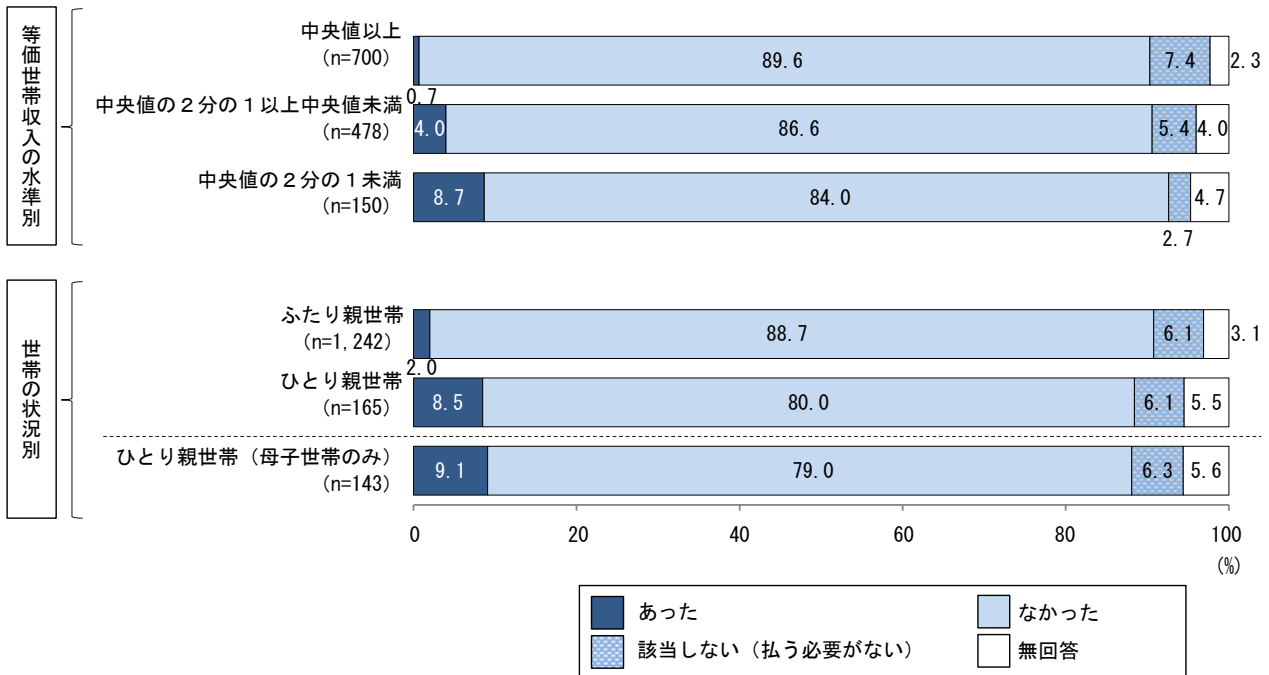
過去 1 年の間に、経済的な理由で電話料金が支払えなかった経験について、小学 5 年生の保護者では、「あった」が 2.7%、「なかった」が 87.2%、「該当しない (払う必要がない)」が 6.2%となっている。

中学 2 年生の保護者では、「あった」が 3.2%、「なかった」が 81.0%、「該当しない (払う必要がない)」が 7.1%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

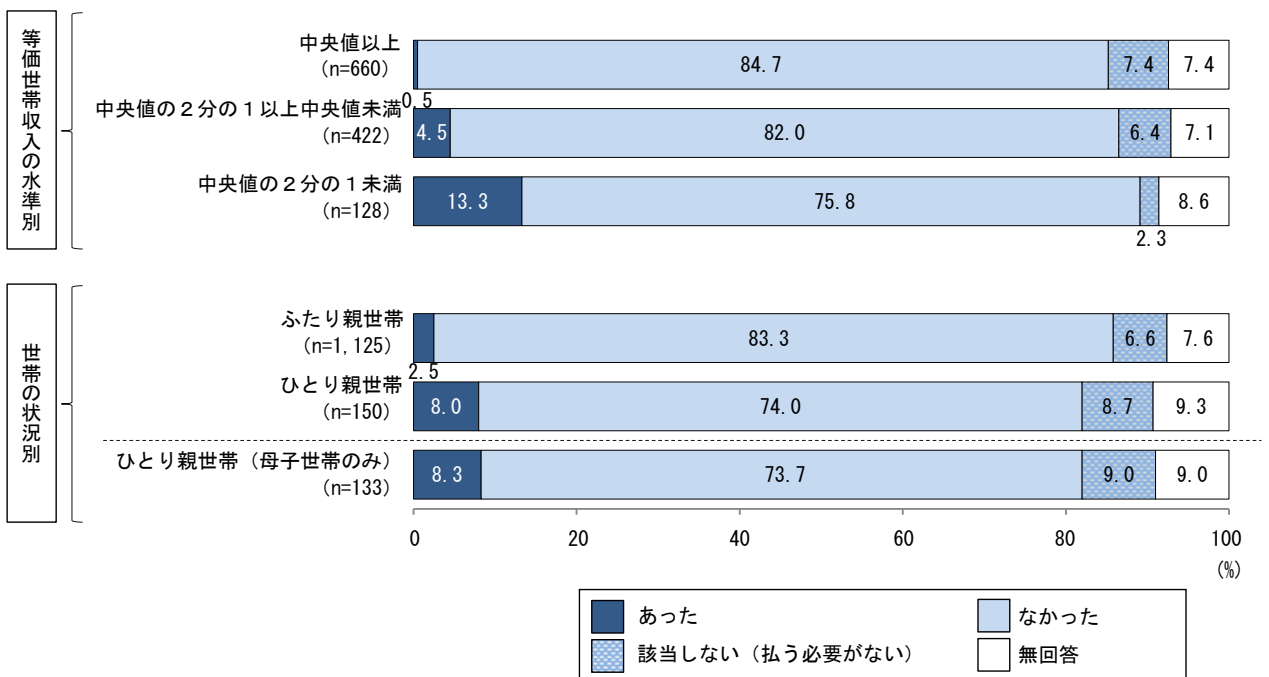
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では0.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.0%、「中央値の2分の1未満」では8.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では2.0%、「ひとり親世帯全体」では8.5%、「母子世帯のみ」では9.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では0.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.5%、「中央値の2分の1未満」では13.3%となっている。

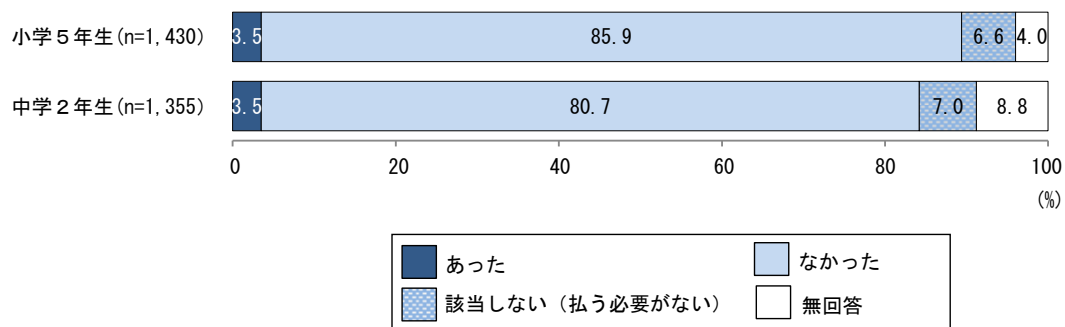
世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では2.5%、「ひとり親世帯全体」では8.0%、「母子世帯のみ」では8.3%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

= 電気料金 =

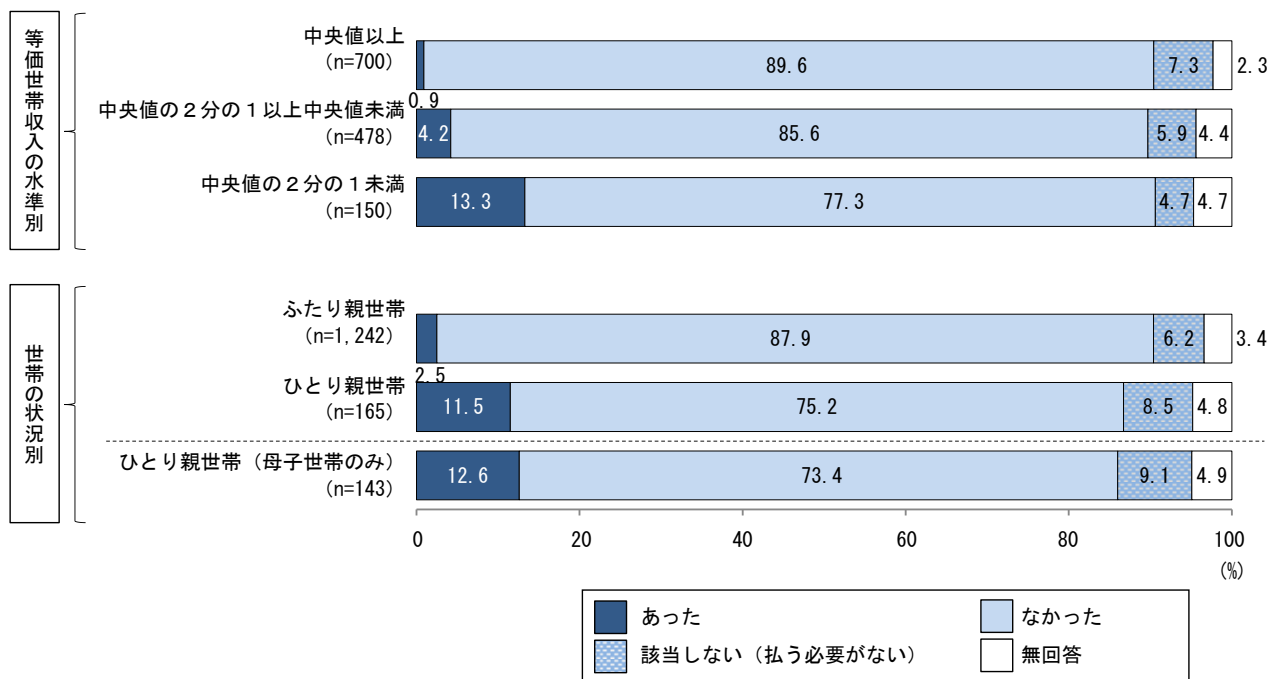
【全体】



過去1年の間に、経済的な理由で電気料金が支払えなかった経験について、小学5年生の保護者では、「あった」が3.5%、「なかった」が85.9%、「該当しない（払う必要がない）」が6.6%となっている。

中学2年生の保護者では、「あった」が3.5%、「なかった」が80.7%、「該当しない（払う必要がない）」が7.0%となっている。

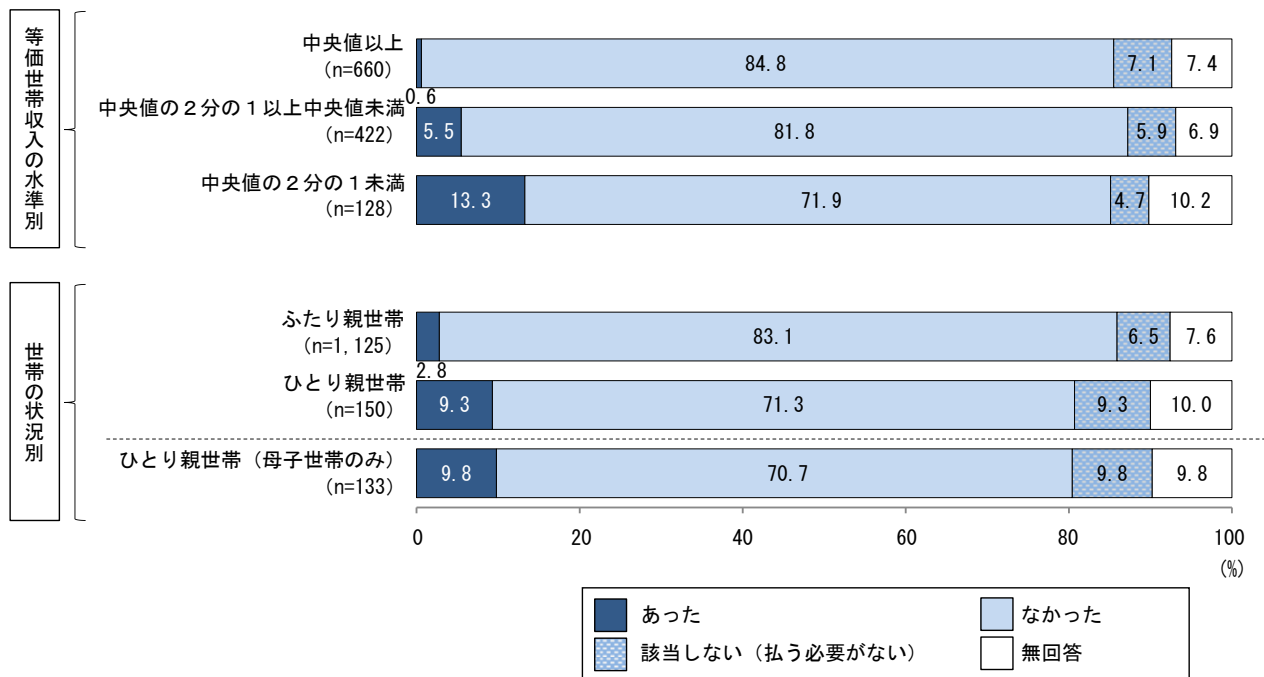
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では0.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.2%、「中央値の2分の1未満」では13.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では2.5%、「ひとり親世帯全体」では11.5%、「母子世帯のみ」では12.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では0.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では5.5%、「中央値の2分の1未満」では13.3%となっている。

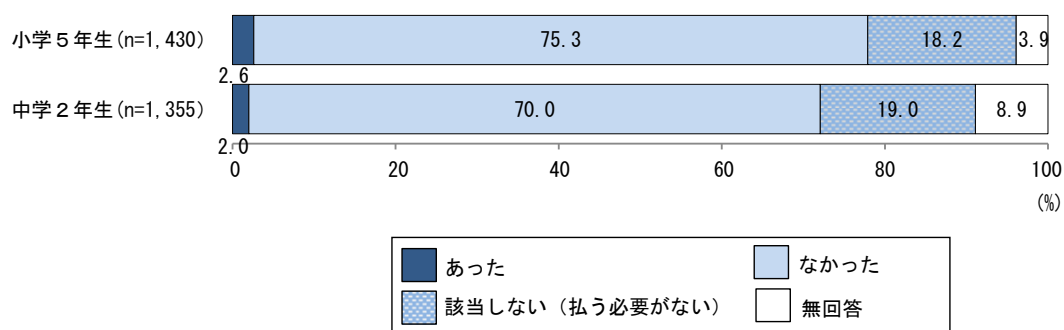
世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では2.8%、「ひとり親世帯全体」では9.3%、「母子世帯のみ」では9.8%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

= ガス料金 =

【全体】



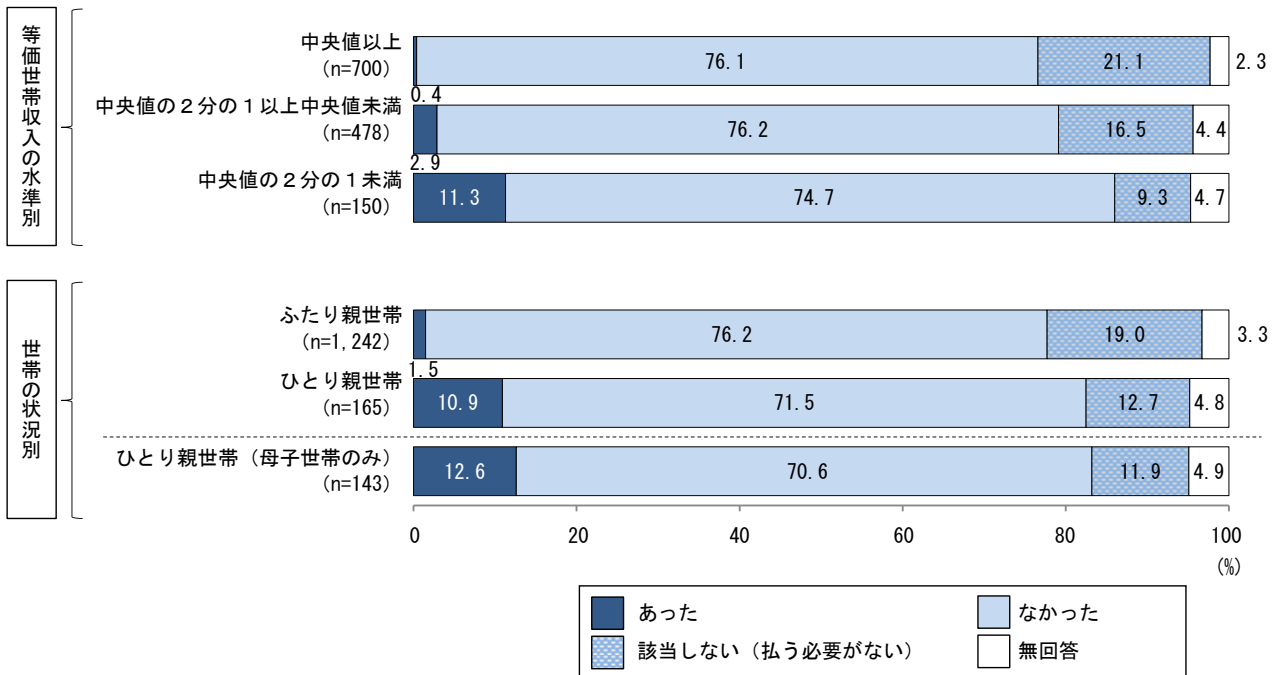
過去1年の間に、経済的な理由でガス料金が支払えなかった経験について、小学5年生の保護者では、「あった」が2.6%、「なかった」が75.3%、「該当しない（払う必要がない）」が18.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「あった」が2.0%、「なかった」が70.0%、「該当しない（払う必要がない）」が19.0%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

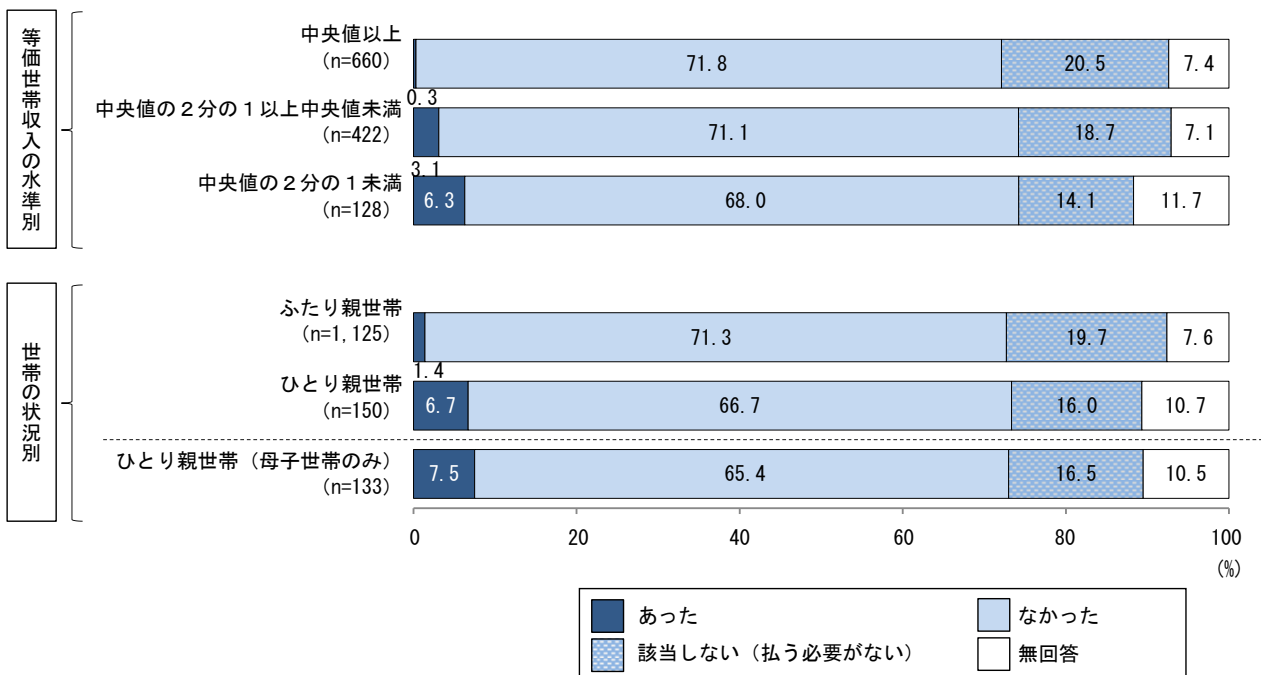
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では0.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.9%、「中央値の2分の1未満」では11.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では1.5%、「ひとり親世帯全体」では10.9%、「母子世帯のみ」では12.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では0.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では3.1%、「中央値の2分の1未満」では6.3%となっている。

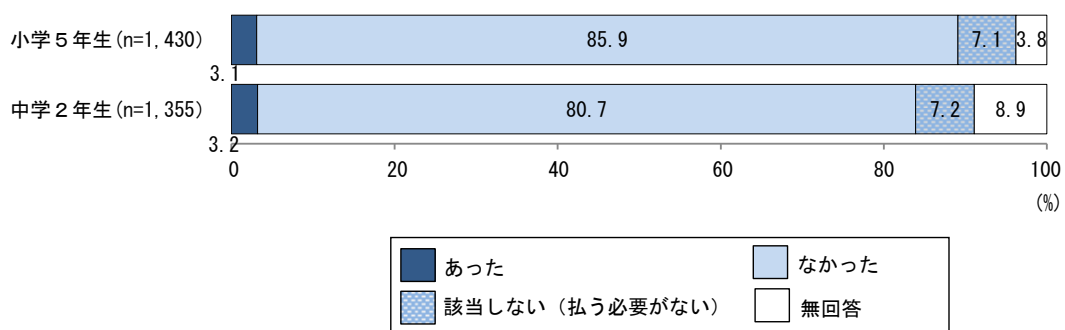
世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では1.4%、「ひとり親世帯全体」では6.7%、「母子世帯のみ」では7.5%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

= 水道料金 =

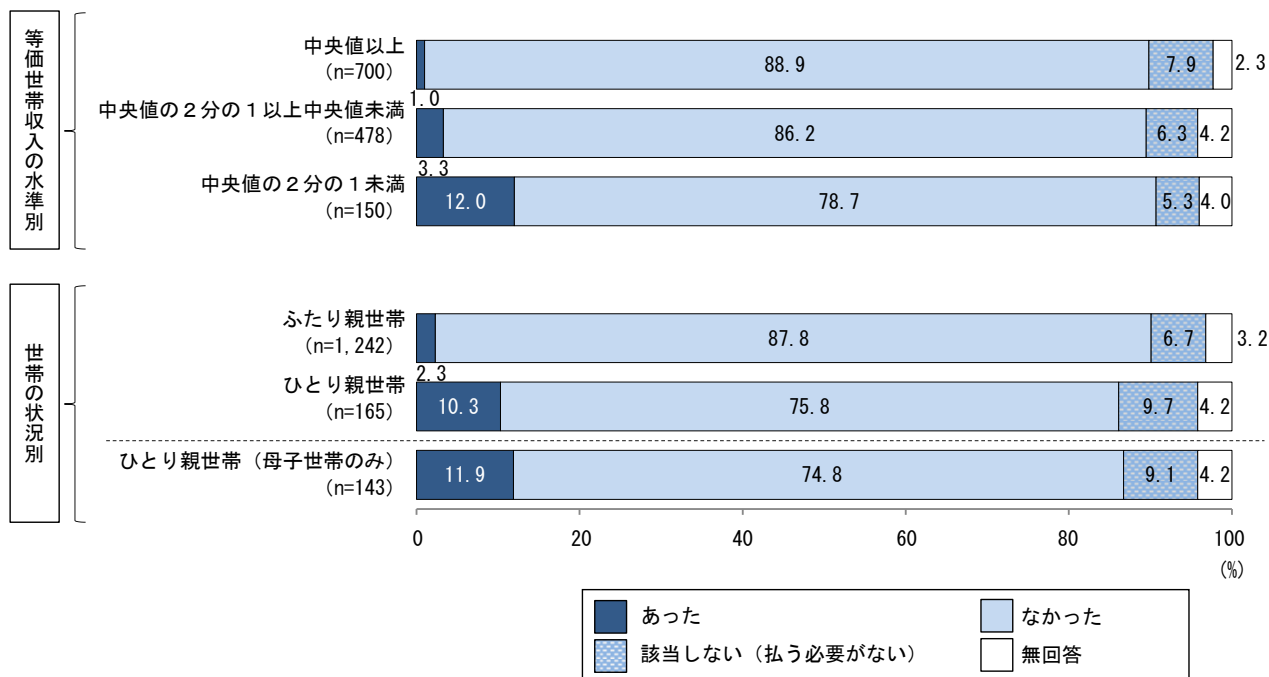
【全体】



過去1年の間に、経済的な理由で水道料金が支払えなかった経験について、小学5年生の保護者では、「あった」が3.1%、「なかった」が85.9%、「該当しない (払う必要がない)」が7.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「あった」が3.2%、「なかった」が80.7%、「該当しない (払う必要がない)」が7.2%となっている。

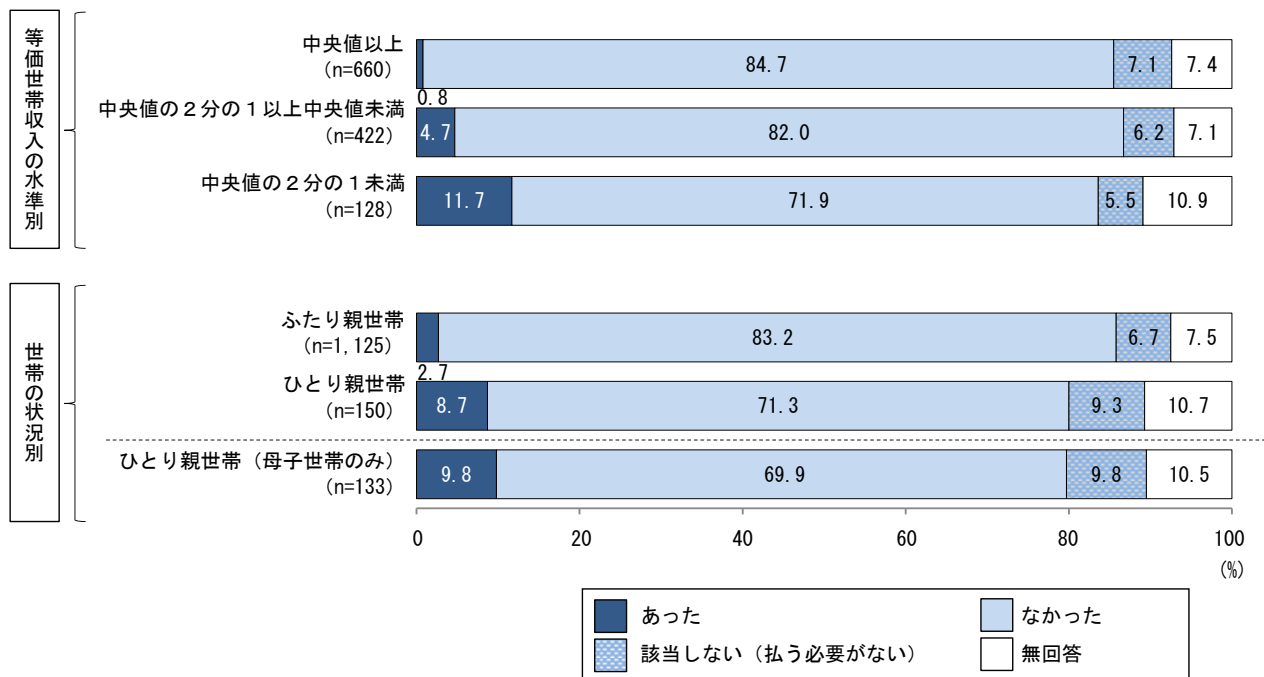
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では1.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では3.3%、「中央値の2分の1未満」では12.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では2.3%、「ひとり親世帯全体」では10.3%、「母子世帯のみ」では11.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では0.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.7%、「中央値の2分の1未満」では11.7%となっている。

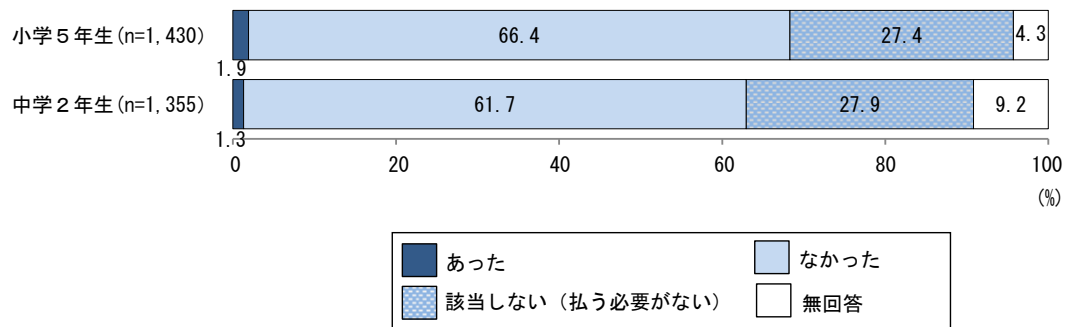
世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では2.7%、「ひとり親世帯全体」では8.7%、「母子世帯のみ」では9.8%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

= 家賃 =

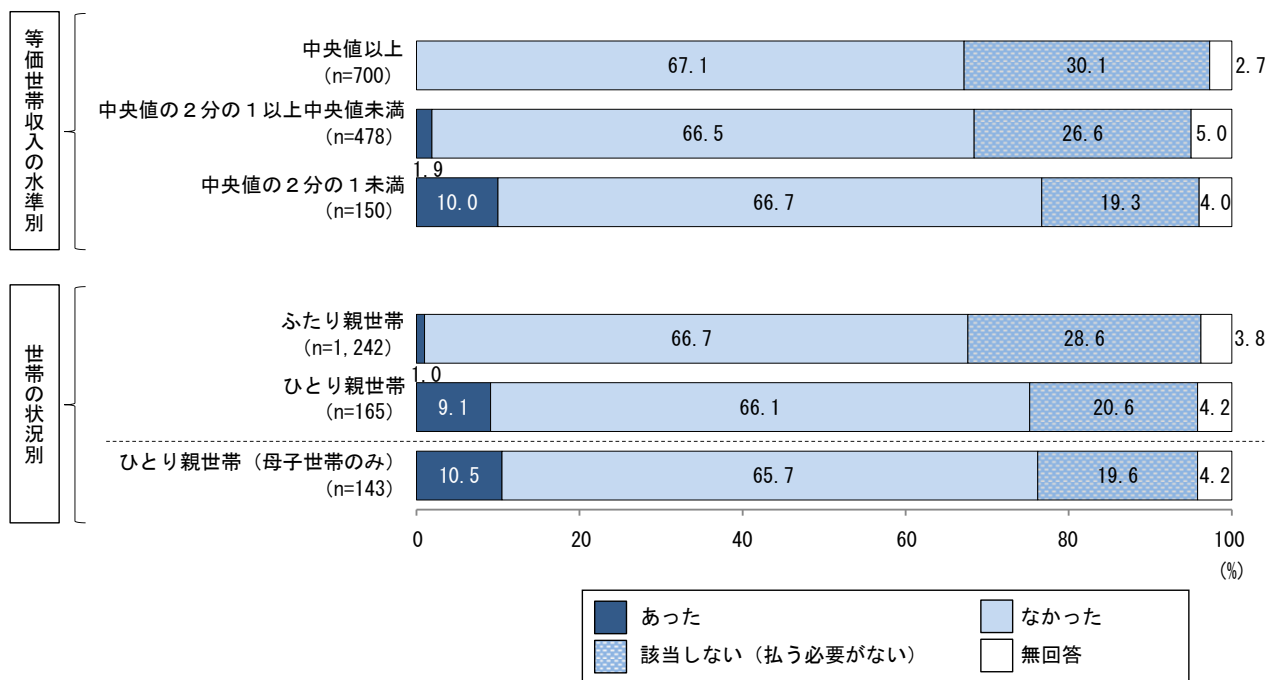
【全体】



過去1年の間に、経済的な理由で家賃が支払えなかった経験について、小学5年生の保護者では、「あった」が1.9%、「なかった」が66.4%、「該当しない（払う必要がない）」が27.4%となっている。

中学2年生の保護者では、「あった」が1.3%、「なかった」が61.7%、「該当しない（払う必要がない）」が27.9%となっている。

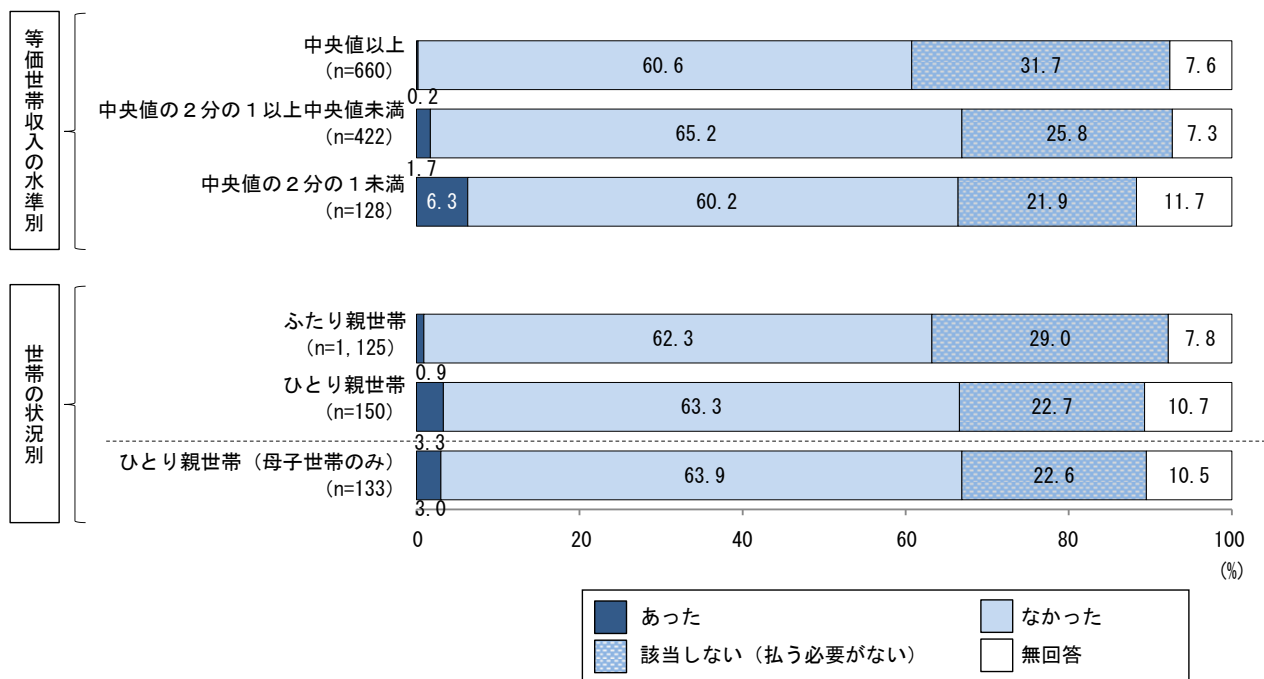
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値の2分の1以上中央値未満」では1.9%、「中央値の2分の1未満」では10.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では1.0%、「ひとり親世帯全体」では9.1%、「母子世帯のみ」では10.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では0.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では1.7%、「中央値の2分の1未満」では6.3%となっている。

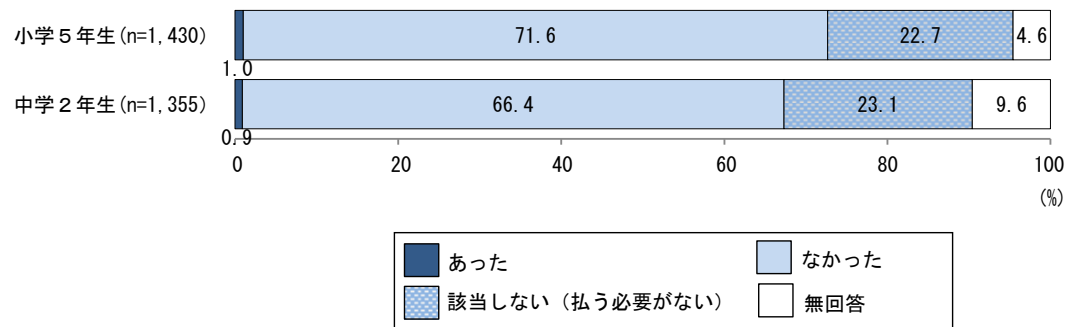
世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では0.9%、「ひとり親世帯全体」では3.3%、「母子世帯のみ」では3.0%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

= 住宅ローン =

【全体】



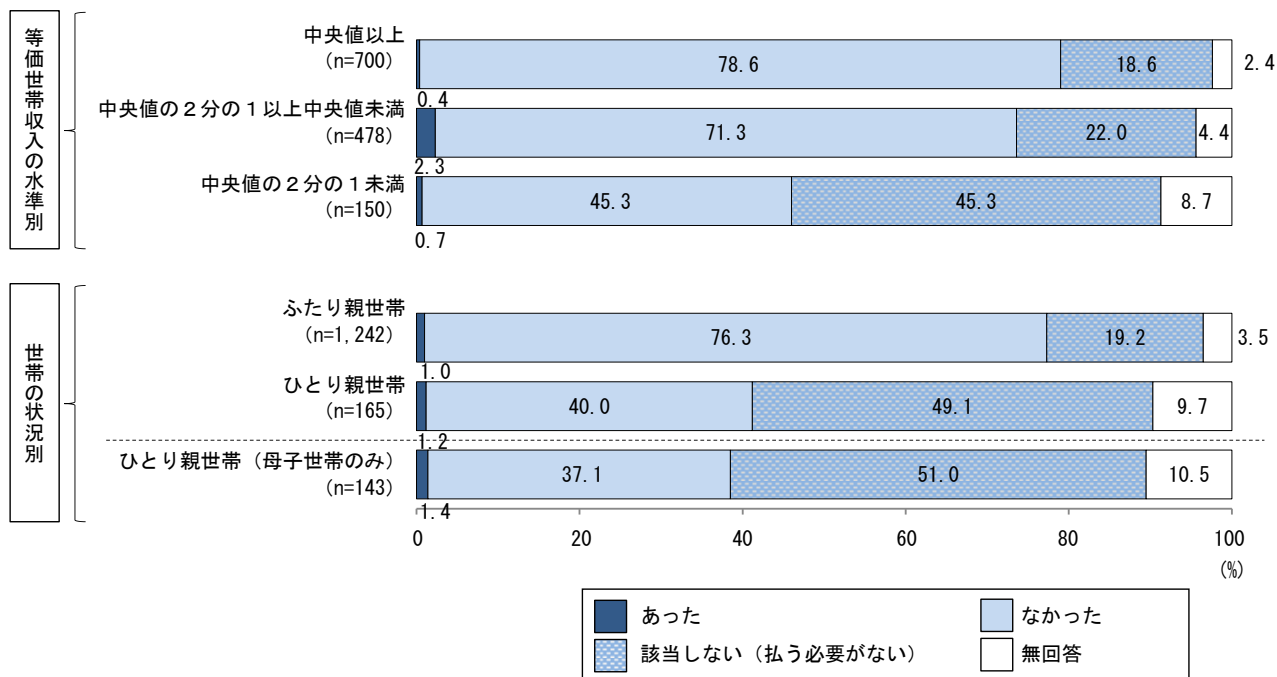
過去1年の間に、経済的な理由で住宅ローンが支払えなかった経験について、小学5年生の保護者では、「あった」が1.0%、「なかった」が71.6%、「該当しない（払う必要がない）」が22.7%となっている。

過去1年の間に、経済的な理由で住宅ローンが支払えなかった経験について、中学2年生の保護者では、「あった」が0.9%、「なかった」が66.4%、「該当しない（払う必要がない）」が23.1%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

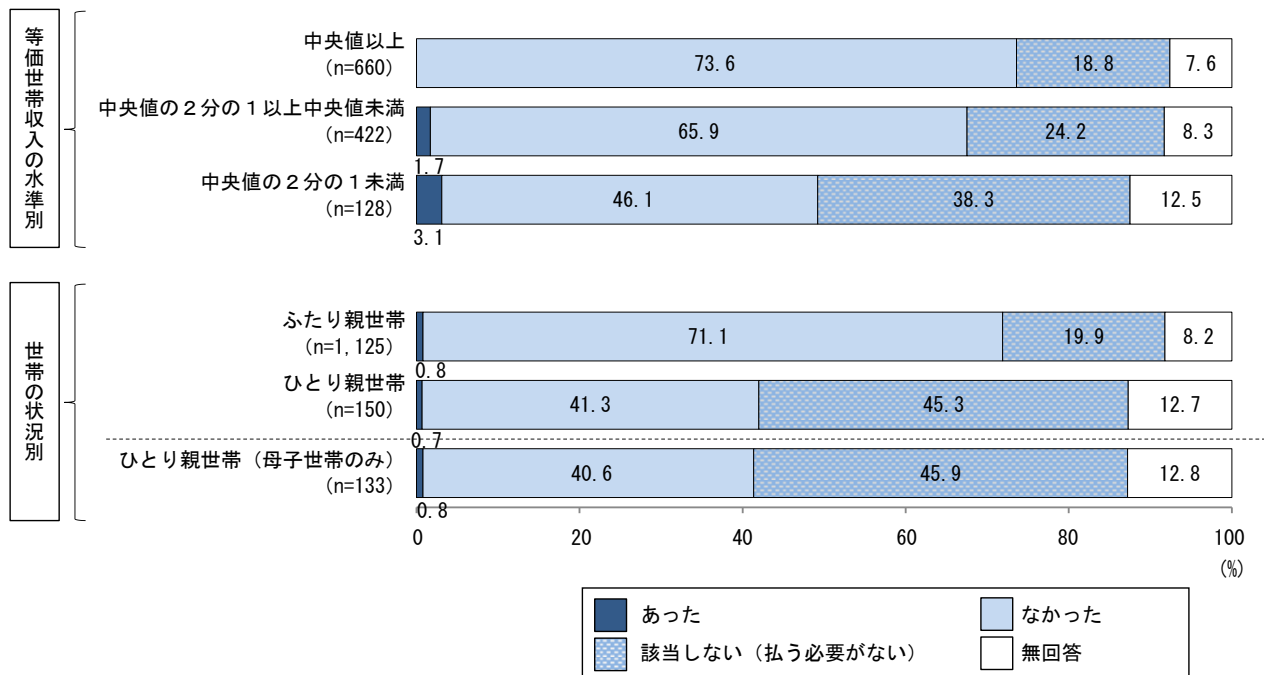
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では0.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.3%、「中央値の2分の1未満」では0.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では1.0%、「ひとり親世帯全体」では1.2%、「母子世帯のみ」では1.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値の2分の1以上中央値未満」では1.7%、「中央値の2分の1未満」では3.1%となっている。

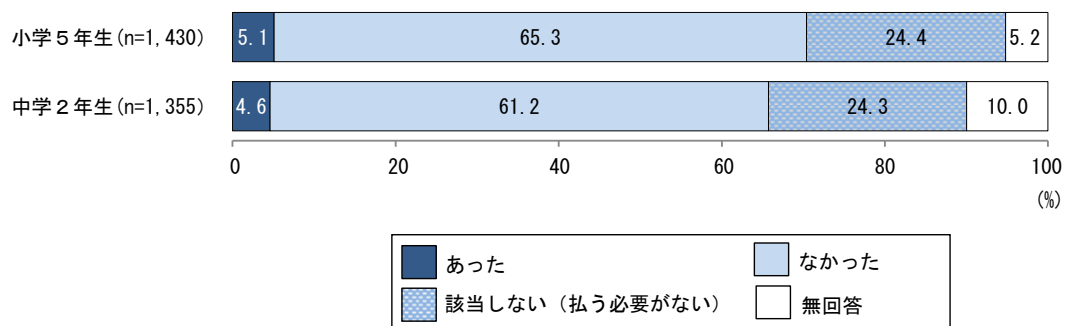
世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では0.8%、「ひとり親世帯全体」では0.7%、「母子世帯のみ」では0.8%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

= その他の債務 =

【全体】



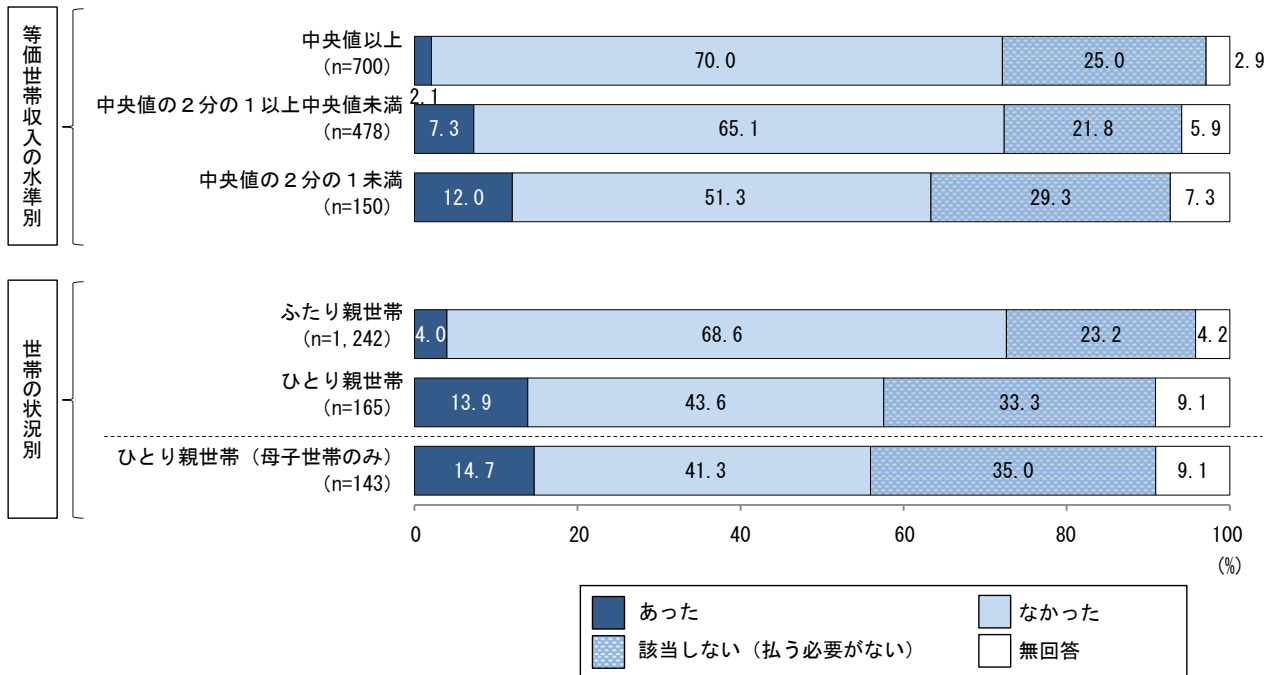
過去1年の間に、経済的な理由でその他の債務が支払えなかった経験について、小学5年生の保護者では、「あった」が5.1%、「なかった」が65.3%、「該当しない（払う必要がない）」が24.4%となっている。

中学2年生の保護者では、「あった」が4.6%、「なかった」が61.2%、「該当しない（払う必要がない）」が24.3%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

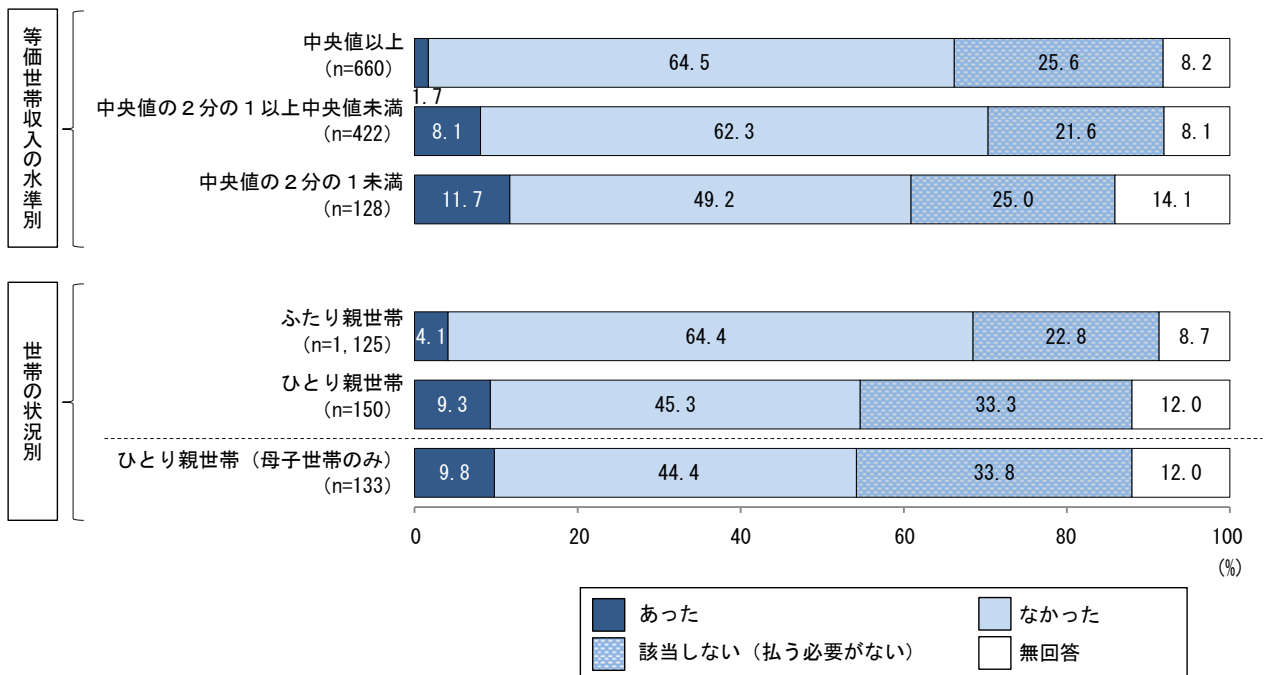
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では2.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では7.3%、「中央値の2分の1未満」では12.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では4.0%、「ひとり親世帯全体」では13.9%、「母子世帯のみ」では14.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



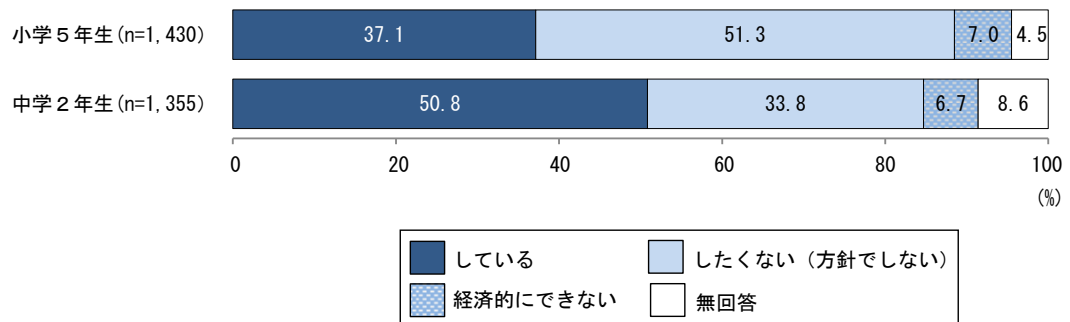
等価世帯収入の水準別にみると、「あった」は、「中央値以上」では1.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では8.1%、「中央値の2分の1未満」では11.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あった」は、「ふたり親世帯」では4.1%、「ひとり親世帯全体」では9.3%、「母子世帯のみ」では9.8%となっている。

保護者票問 33. あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。(SA)

= 毎月お小遣いを渡す =

【全体】



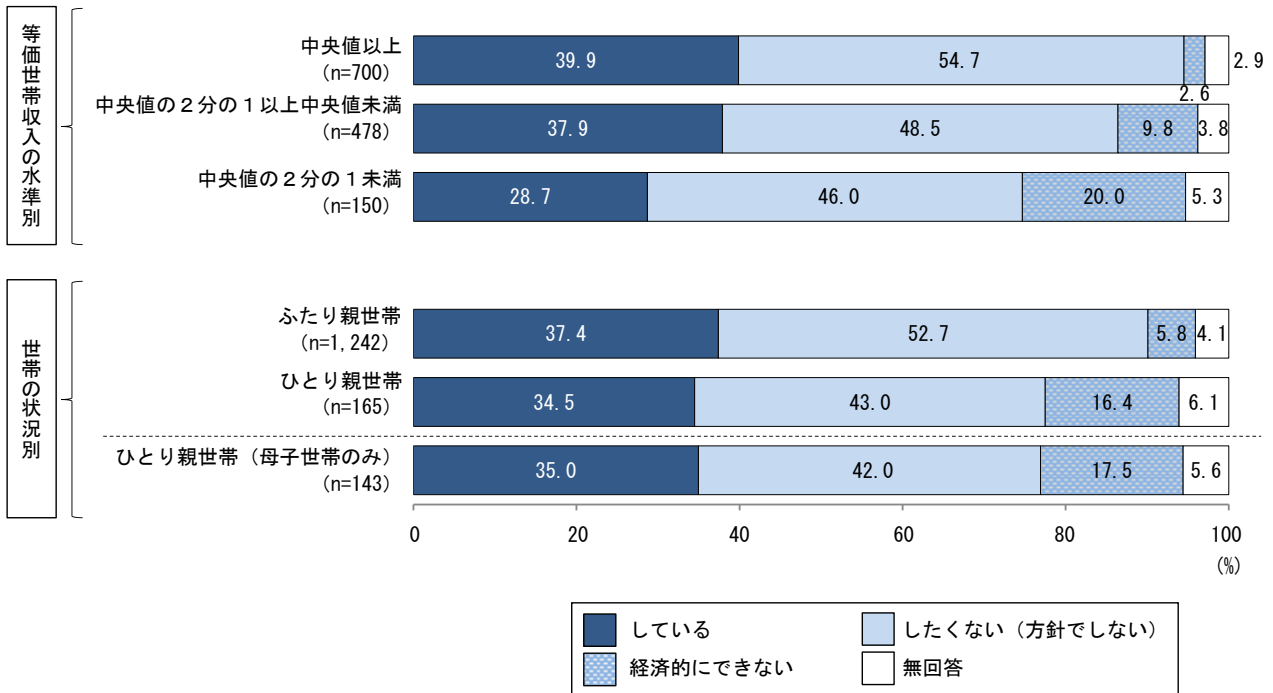
子供に毎月お小遣いを渡しているかについて、小学5年生の保護者では、「している」が37.1%、「したくない（方針でしない）」が51.3%、「経済的にできない」が7.0%となっている。

中学2年生の保護者では、「している」が50.8%、「したくない（方針でしない）」が33.8%、「経済的にできない」が6.7%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

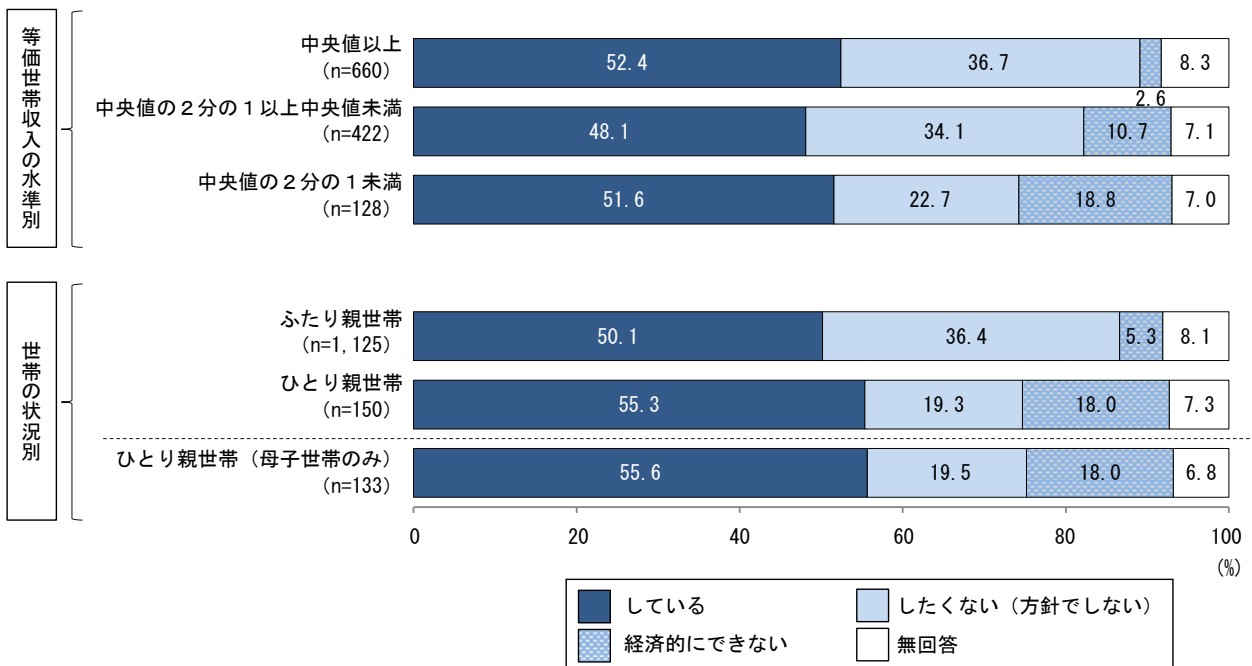
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では 2.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 9.8%、「中央値の2分の1未満」では 20.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では 5.8%、「ひとり親世帯全体」では 16.4%、「母子世帯のみ」では 17.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では 2.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 10.7%、「中央値の2分の1未満」では 18.8%となっている。

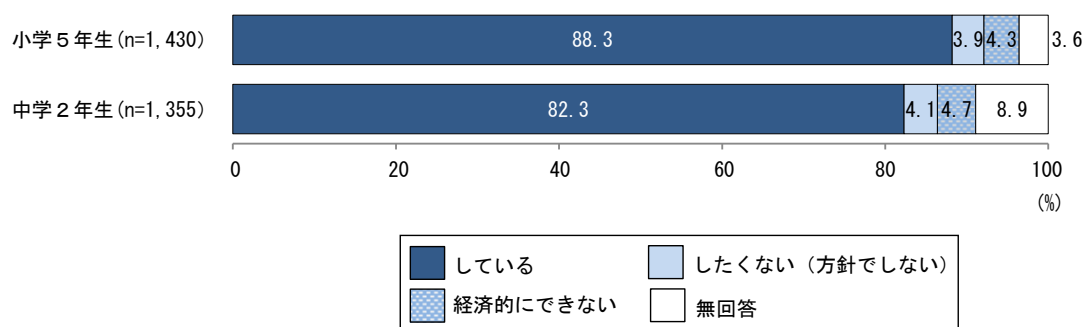
世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では 5.3%、「ひとり親世帯全体」では 18.0%、「母子世帯のみ」では 18.0%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

= 毎年新しい洋服・靴を買う =

【全体】



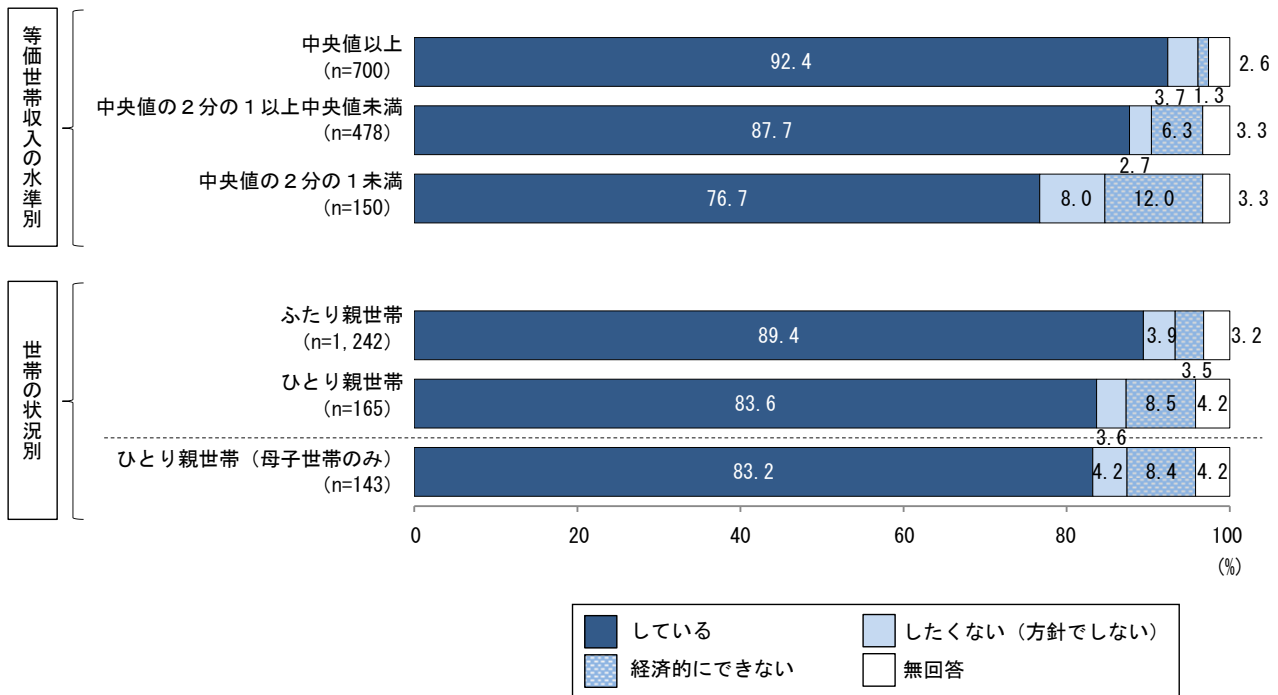
子供に毎年新しい洋服・靴を買っているかについて、小学5年生の保護者では、「している」が88.3%、「したくない（方針でしない）」が3.9%、「経済的にできない」が4.3%となっている。

中学2年生の保護者では、「している」が82.3%、「したくない（方針でしない）」が4.1%、「経済的にできない」が4.7%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

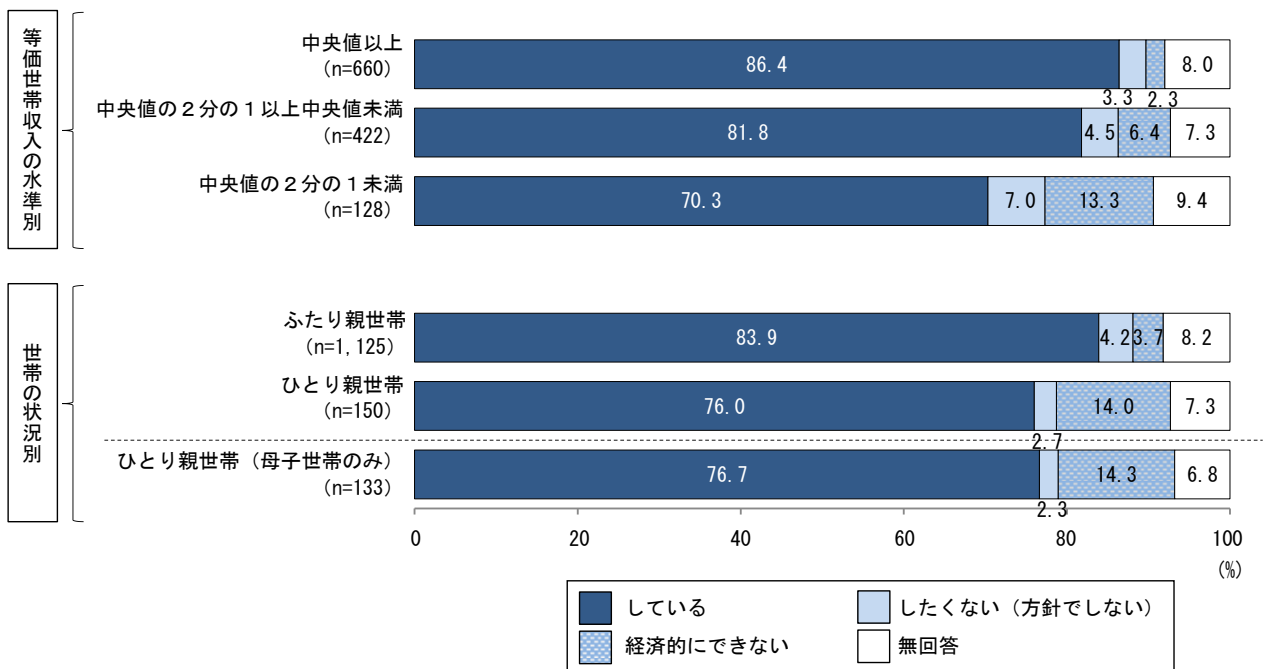
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では1.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では6.3%、「中央値の2分の1未満」では12.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では3.5%、「ひとり親世帯全体」では8.5%、「母子世帯のみ」では8.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では2.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では6.4%、「中央値の2分の1未満」では13.3%となっている。

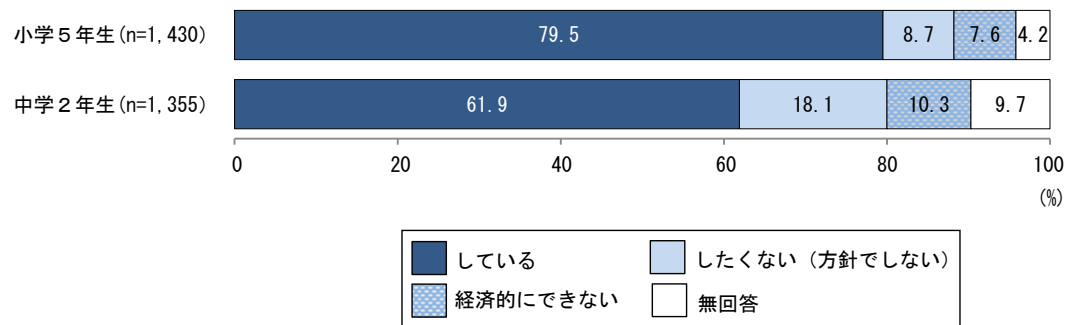
世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では3.7%、「ひとり親世帯全体」では14.0%、「母子世帯のみ」では14.3%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

= 習いごと（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる =

【全体】



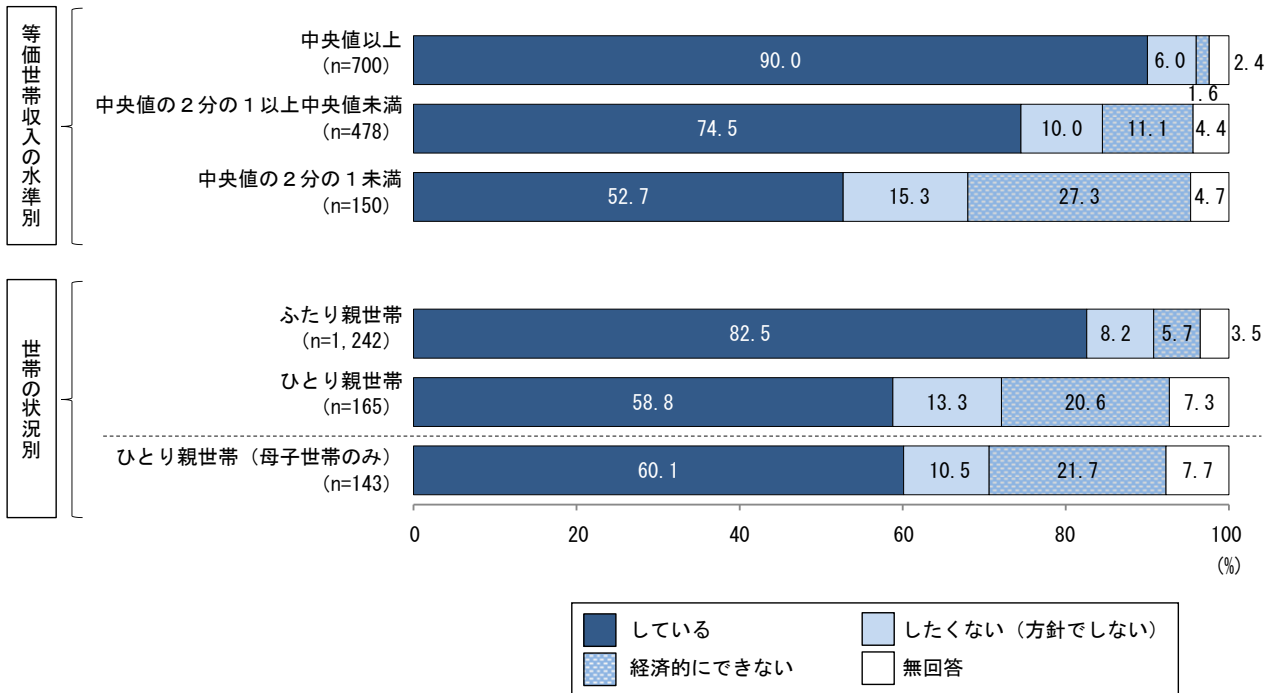
子供を習いごと（音楽、スポーツ、習字等）に通わせているかについて、小学5年生の保護者では、「している」が79.5%、「したくない（方針ではない）」が8.7%、「経済的にできない」が7.6%となっている。

中学2年生の保護者では、「している」が61.9%、「したくない（方針ではない）」が18.1%、「経済的にできない」が10.3%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

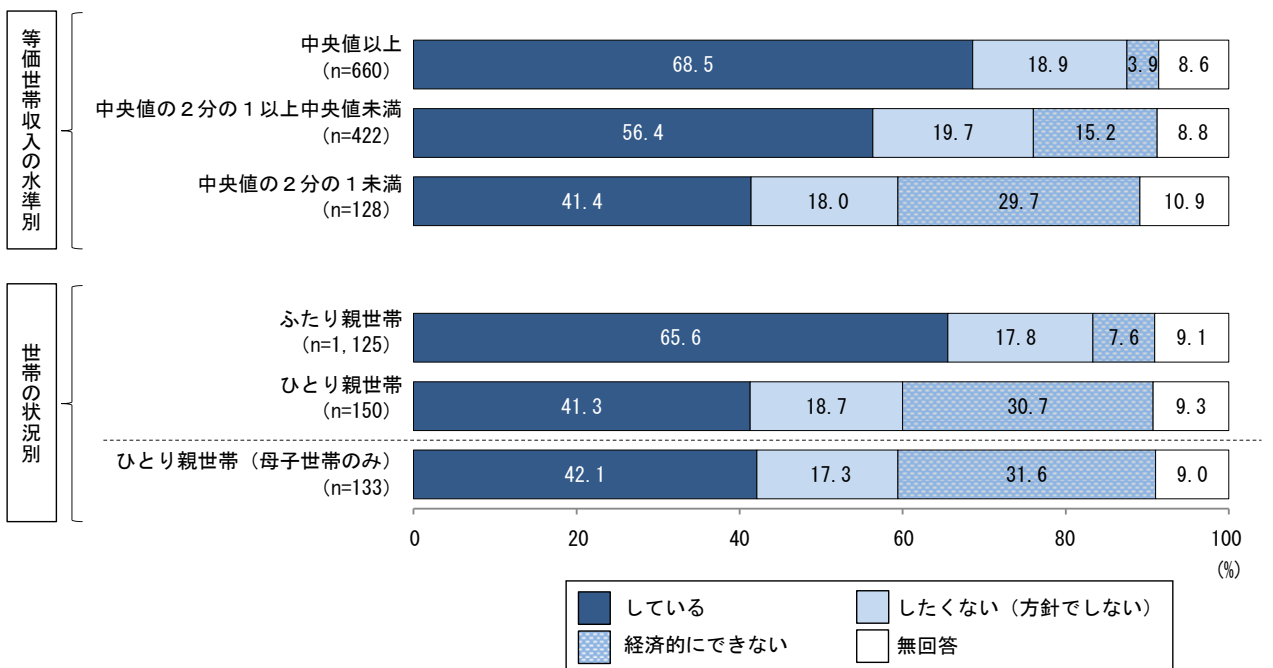
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では1.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では11.1%、「中央値の2分の1未満」では27.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では5.7%、「ひとり親世帯全体」では20.6%、「母子世帯のみ」では21.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では3.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では15.2%、「中央値の2分の1未満」では29.7%となっている。

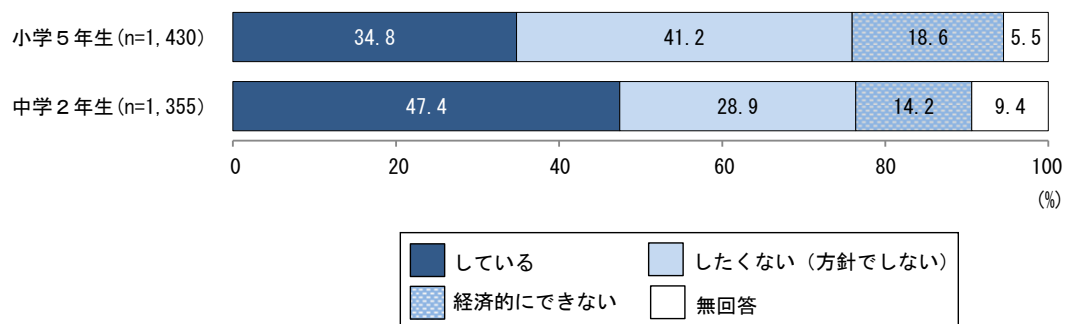
世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では7.6%、「ひとり親世帯全体」では30.7%、「母子世帯のみ」では31.6%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

= 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう） =

【全体】



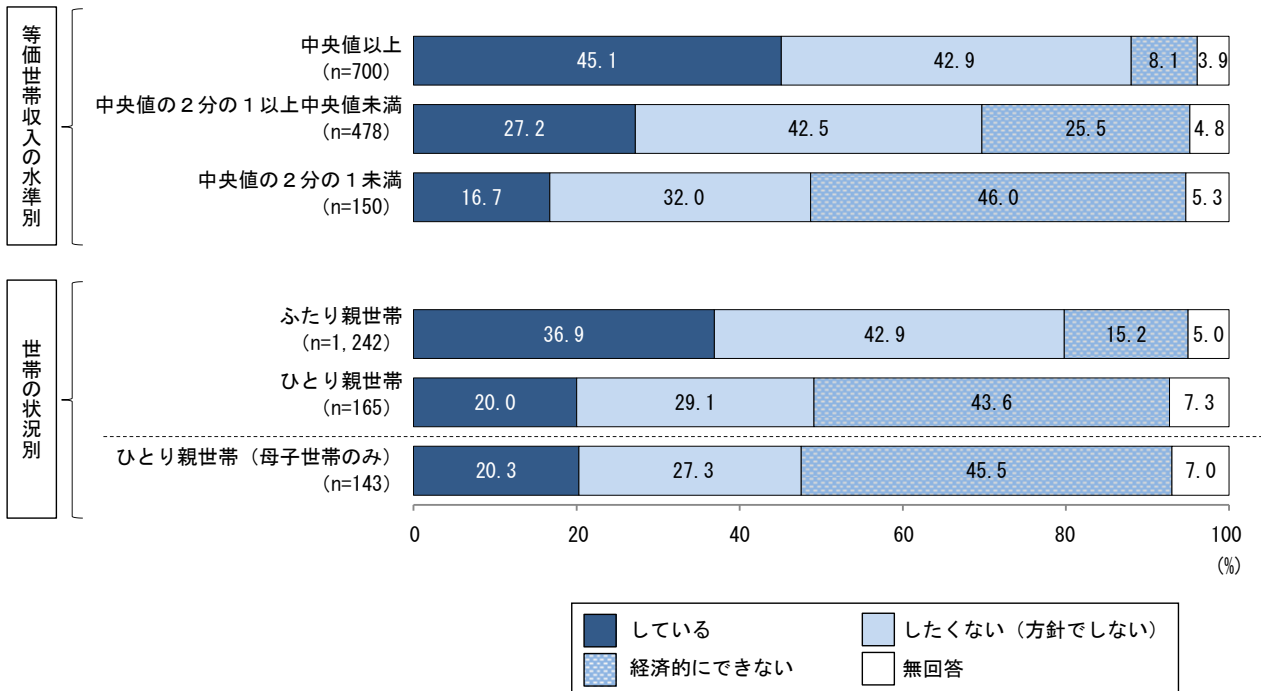
子供を学習塾に通わせて（または家庭教師に来てもらって）いるかについて、小学5年生の保護者では、「している」が34.8%、「したくない（方針でしない）」が41.2%、「経済的にできない」が18.6%となっている。

中学2年生の保護者では、「している」が47.4%、「したくない（方針でしない）」が28.9%、「経済的にできない」が14.2%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

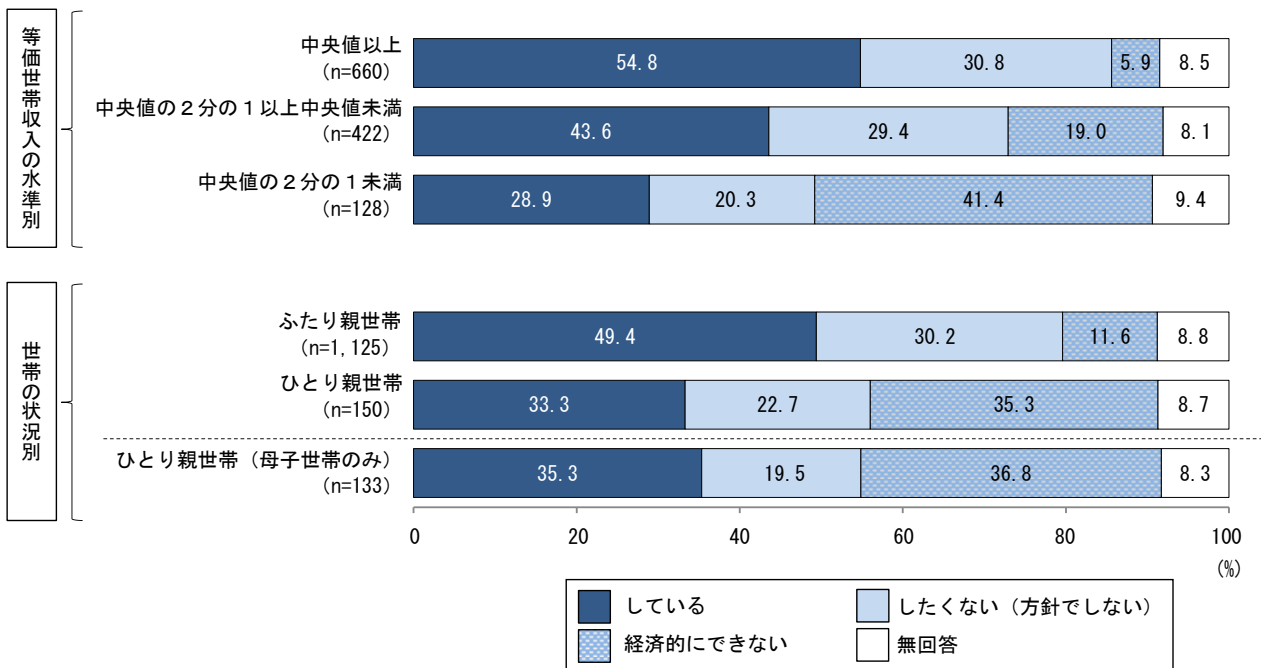
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では8.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では25.5%、「中央値の2分の1未満」では46.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では15.2%、「ひとり親世帯全体」では43.6%、「母子世帯のみ」では45.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では5.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では19.0%、「中央値の2分の1未満」では41.4%となっている。

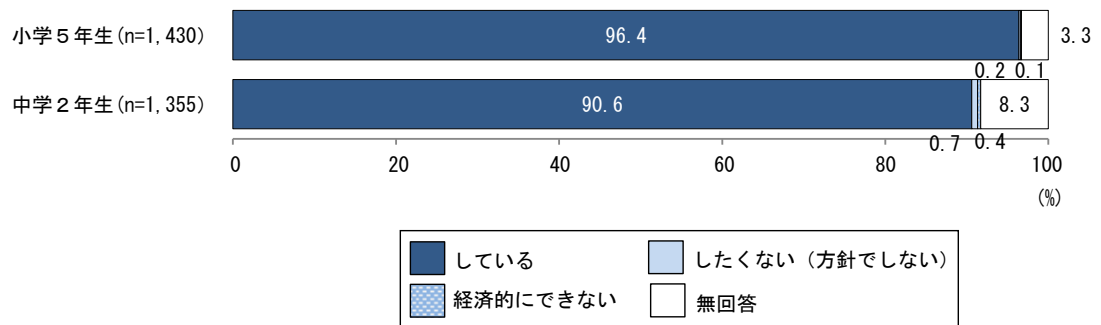
世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では11.6%、「ひとり親世帯全体」では35.3%、「母子世帯のみ」では36.8%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

= お誕生日のお祝いをする =

【全体】



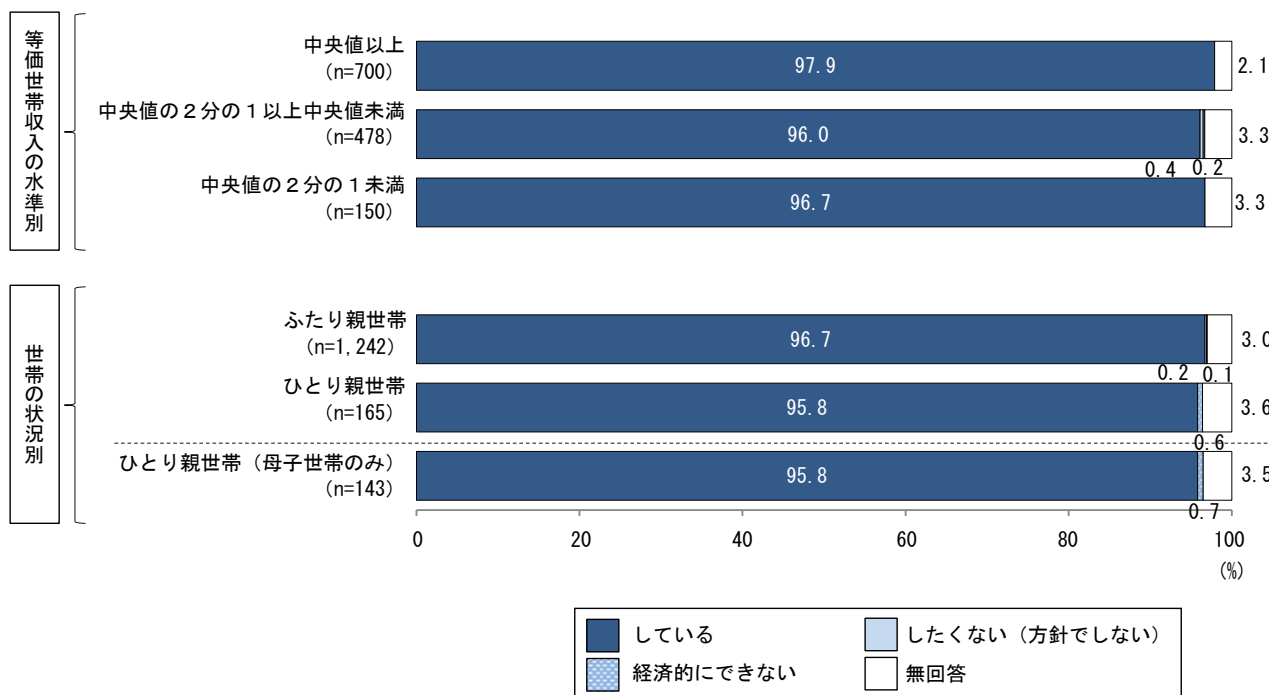
子供のお誕生日のお祝いをしているかについて、小学5年生の保護者では、「している」が96.4%、「したくない（方針でしない）」が0.2%、「経済的にできない」が0.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「している」が90.6%、「したくない（方針でしない）」が0.7%、「経済的にできない」が0.4%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

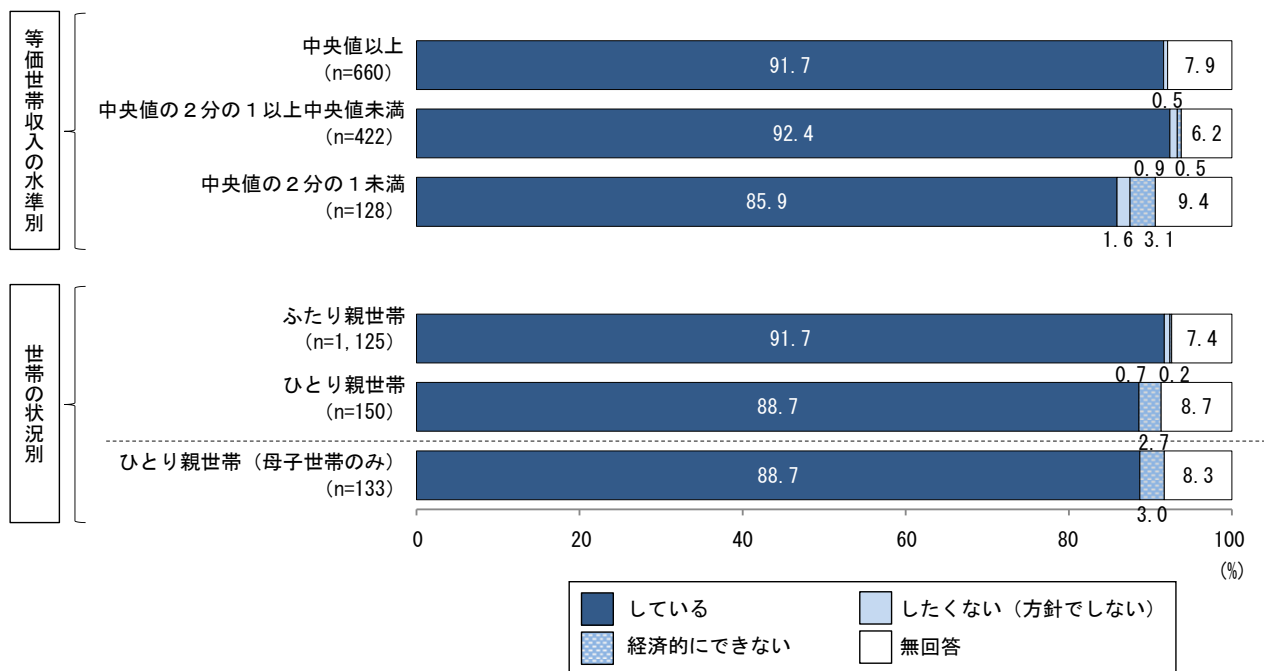
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値の2分の1以上中央値未満」では0.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では0.1%、「ひとり親世帯全体」では0.6%、「母子世帯のみ」では0.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値の2分の1以上中央値未満」では0.5%、「中央値の2分の1未満」では3.1%となっている。

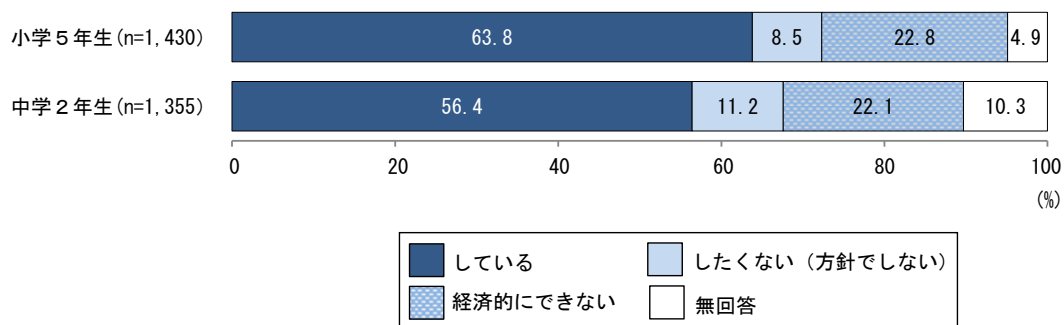
世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では0.2%、「ひとり親世帯全体」では2.7%、「母子世帯のみ」では3.0%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

= 1年に1回くらい家族旅行に行く =

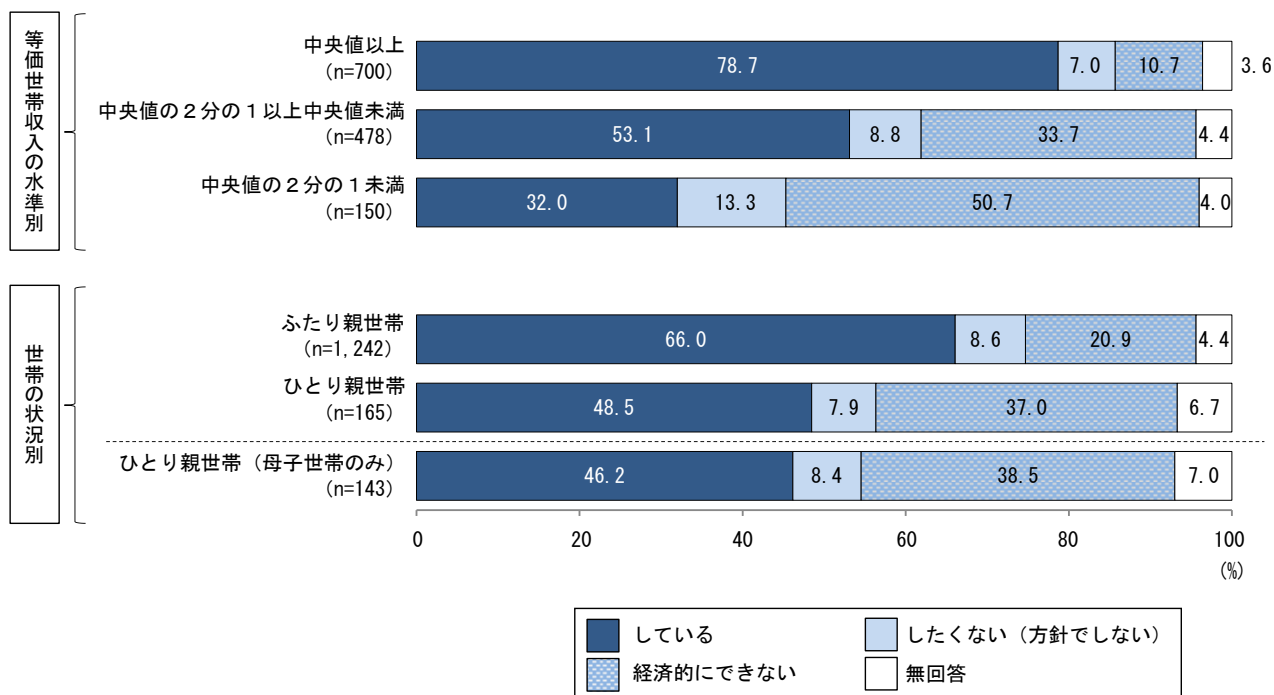
【全体】



1年に1回くらい家族旅行に行っているかについて、小学5年生の保護者では、「している」が63.8%、「したくない (方針ではない)」が8.5%、「経済的にできない」が22.8%となっている。

中学2年生の保護者では、「している」が56.4%、「したくない (方針ではない)」が11.2%、「経済的にできない」が22.1%となっている。

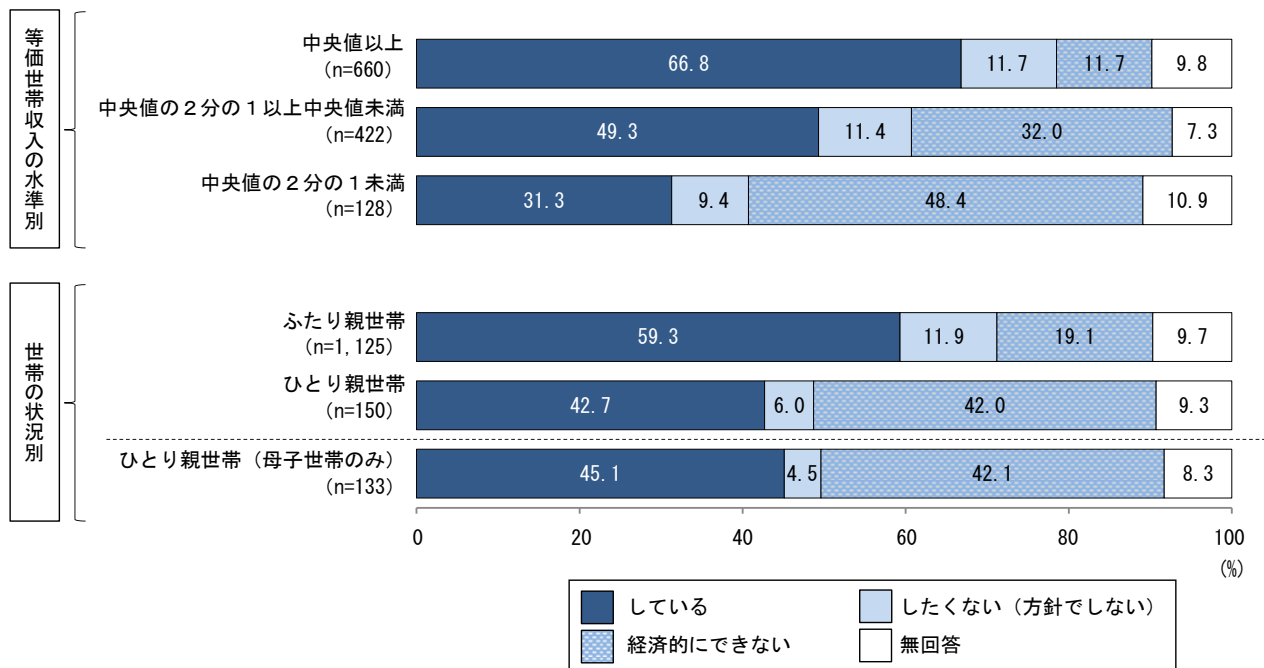
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では10.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では33.7%、「中央値の2分の1未満」では50.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では20.9%、「ひとり親世帯全体」では37.0%、「母子世帯のみ」では38.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では11.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では32.0%、「中央値の2分の1未満」では48.4%となっている。

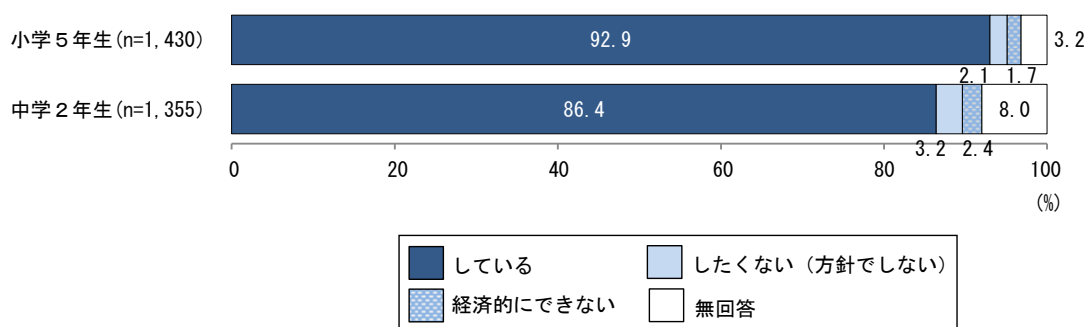
世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では19.1%、「ひとり親世帯全体」では42.0%、「母子世帯のみ」では42.1%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

＝ クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる ＝

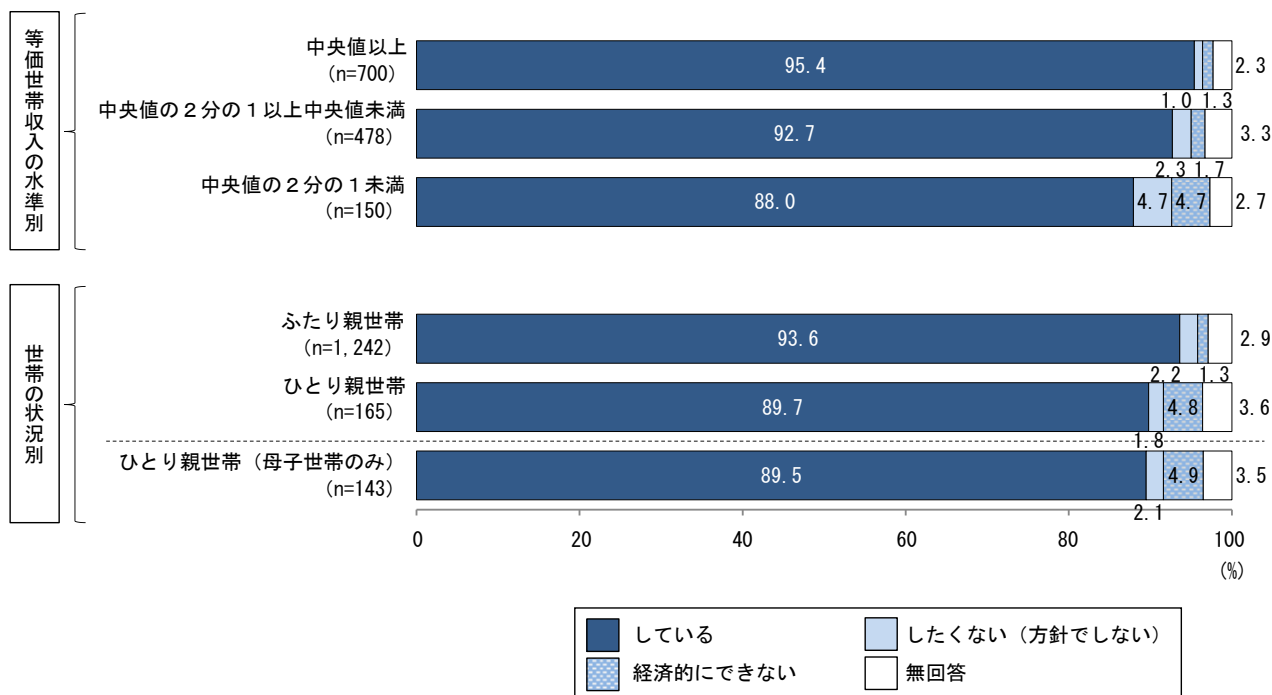
【全体】



子供にクリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげているかについて、小学5年生の保護者では、「している」が92.9%、「したくない（方針でしない）」が2.1%、「経済的にできない」が1.7%となっている。

中学2年生の保護者では、「している」が86.4%、「したくない（方針でしない）」が3.2%、「経済的にできない」が2.4%となっている。

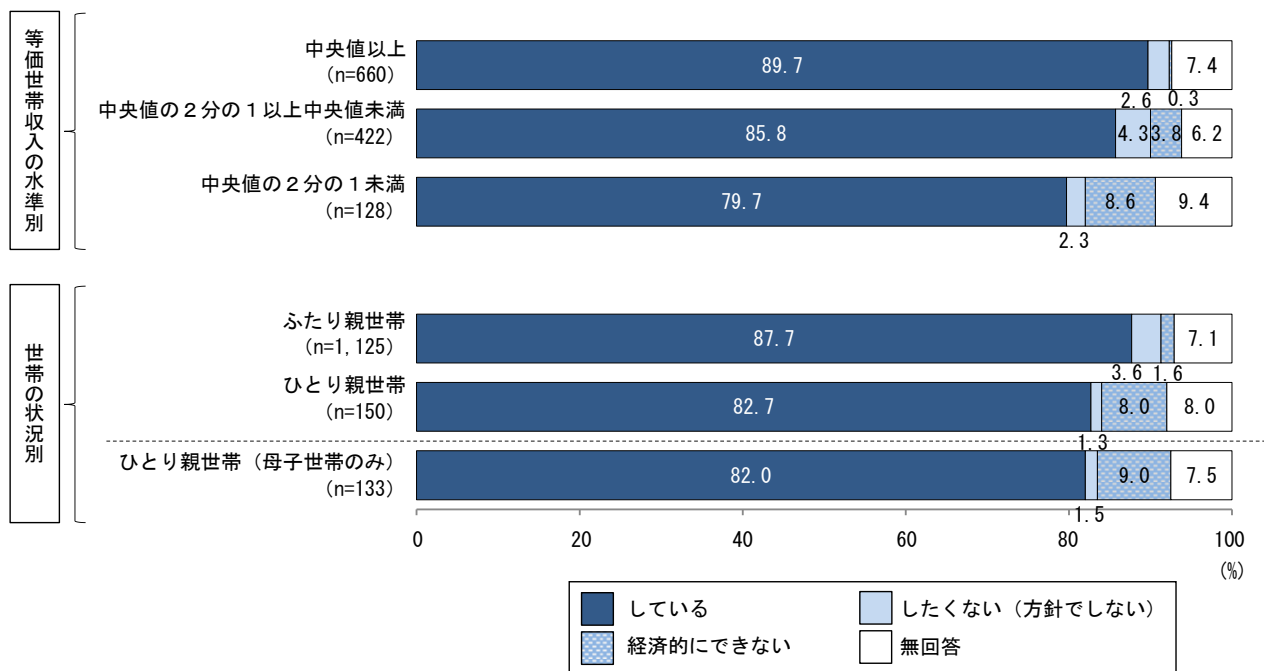
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では1.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では1.7%、「中央値の2分の1未満」では4.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では1.3%、「ひとり親世帯全体」では4.8%、「母子世帯のみ」では4.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では0.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では3.8%、「中央値の2分の1未満」では8.6%となっている。

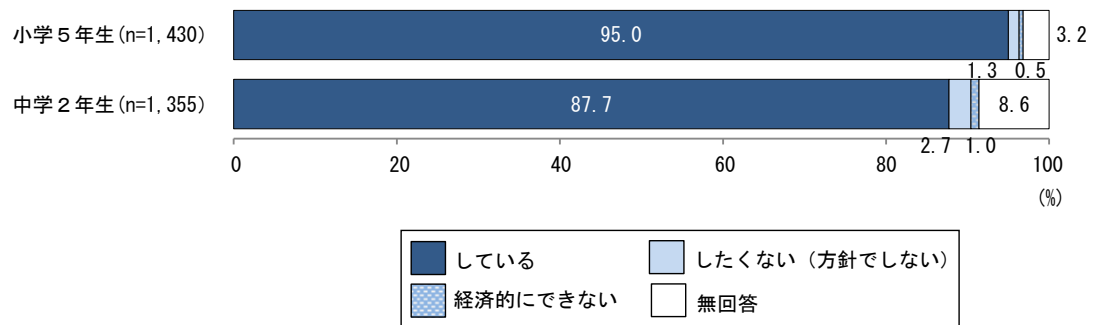
世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では1.6%、「ひとり親世帯全体」では8.0%、「母子世帯のみ」では9.0%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

=子供の学校行事などへ保護者が参加する =

【全体】



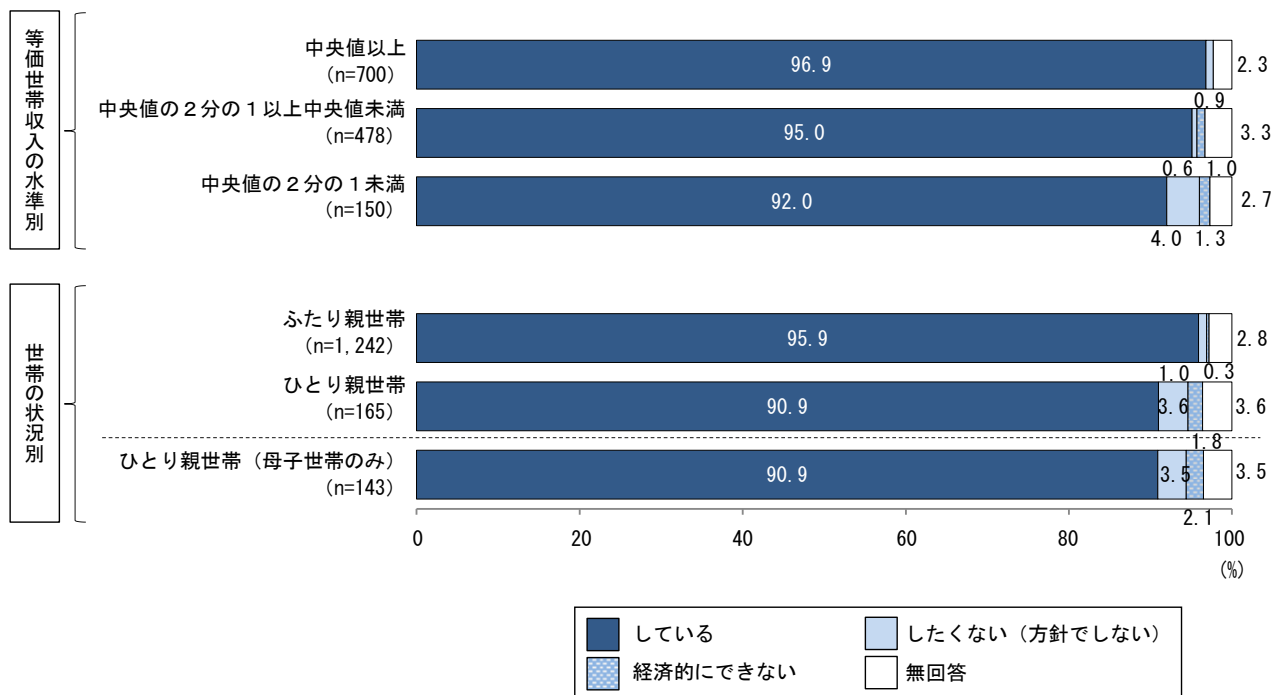
子供の学校行事などへ保護者が参加しているかについて、小学5年生の保護者では、「している」が95.0%、「したくない (方針でしない)」が1.3%、「経済的にできない」が0.5%となっている。

中学2年生の保護者では、「している」が87.7%、「したくない (方針でしない)」が2.7%、「経済的にできない」が1.0%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

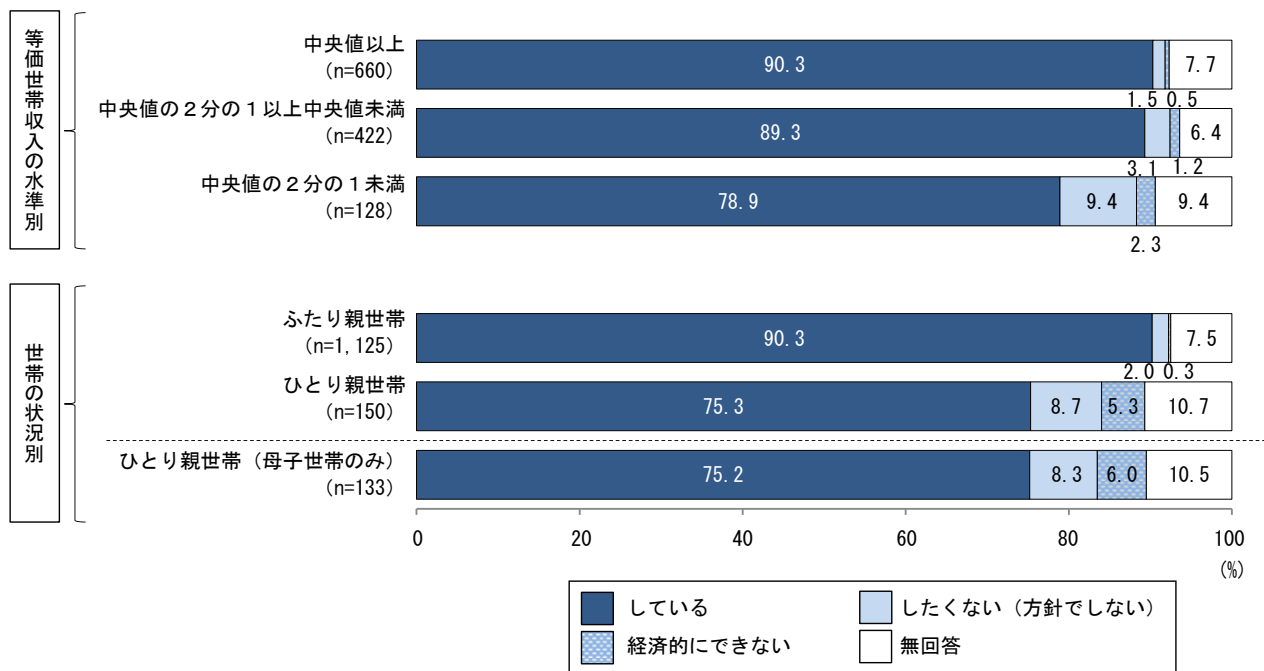
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値の2分の1以上中央値未満」では1.0%、「中央値の2分の1未満」では1.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では0.3%、「ひとり親世帯全体」では1.8%、「母子世帯のみ」では2.1%となっている。

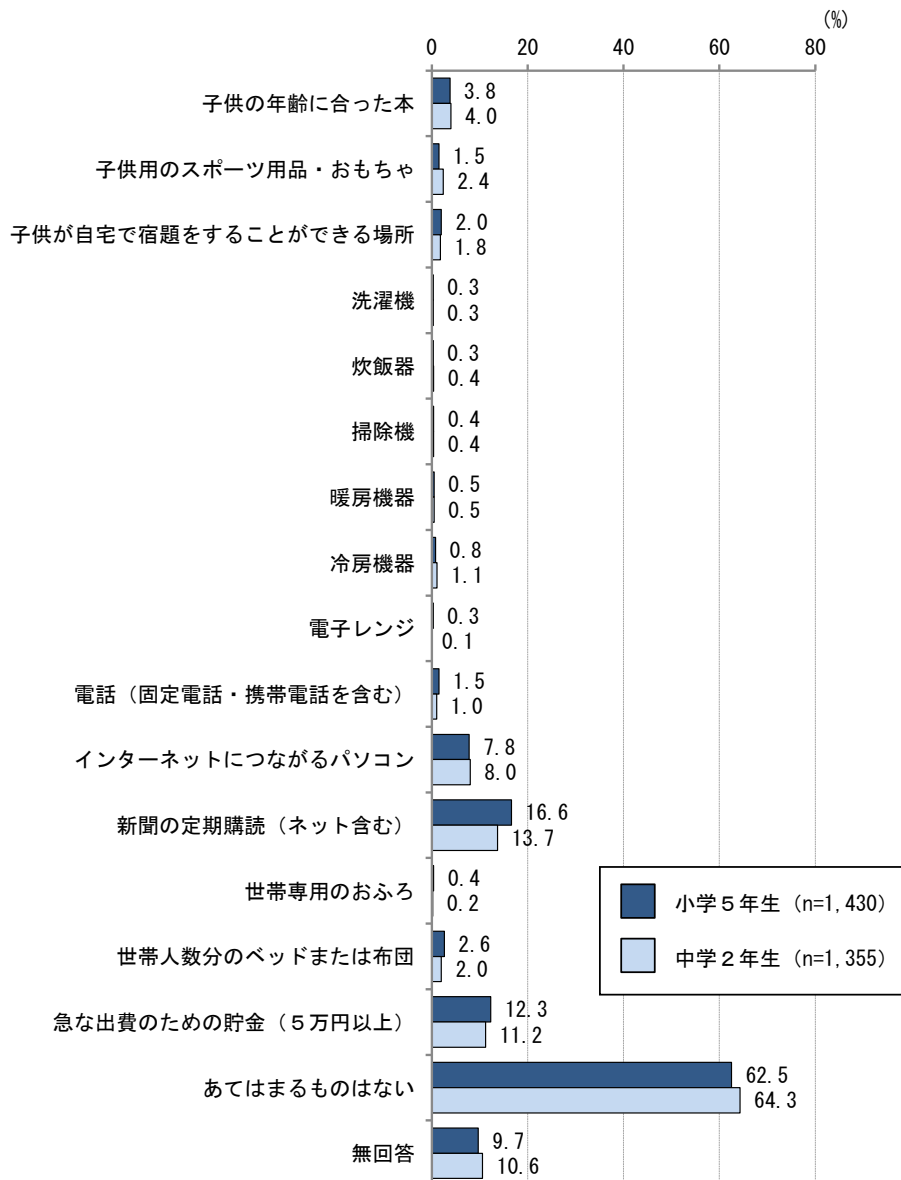
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的にできない」は、「中央値以上」では0.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では1.2%、「中央値の2分の1未満」では2.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的にできない」は、「ふたり親世帯」では0.3%、「ひとり親世帯全体」では5.3%、「母子世帯のみ」では6.0%となっている。

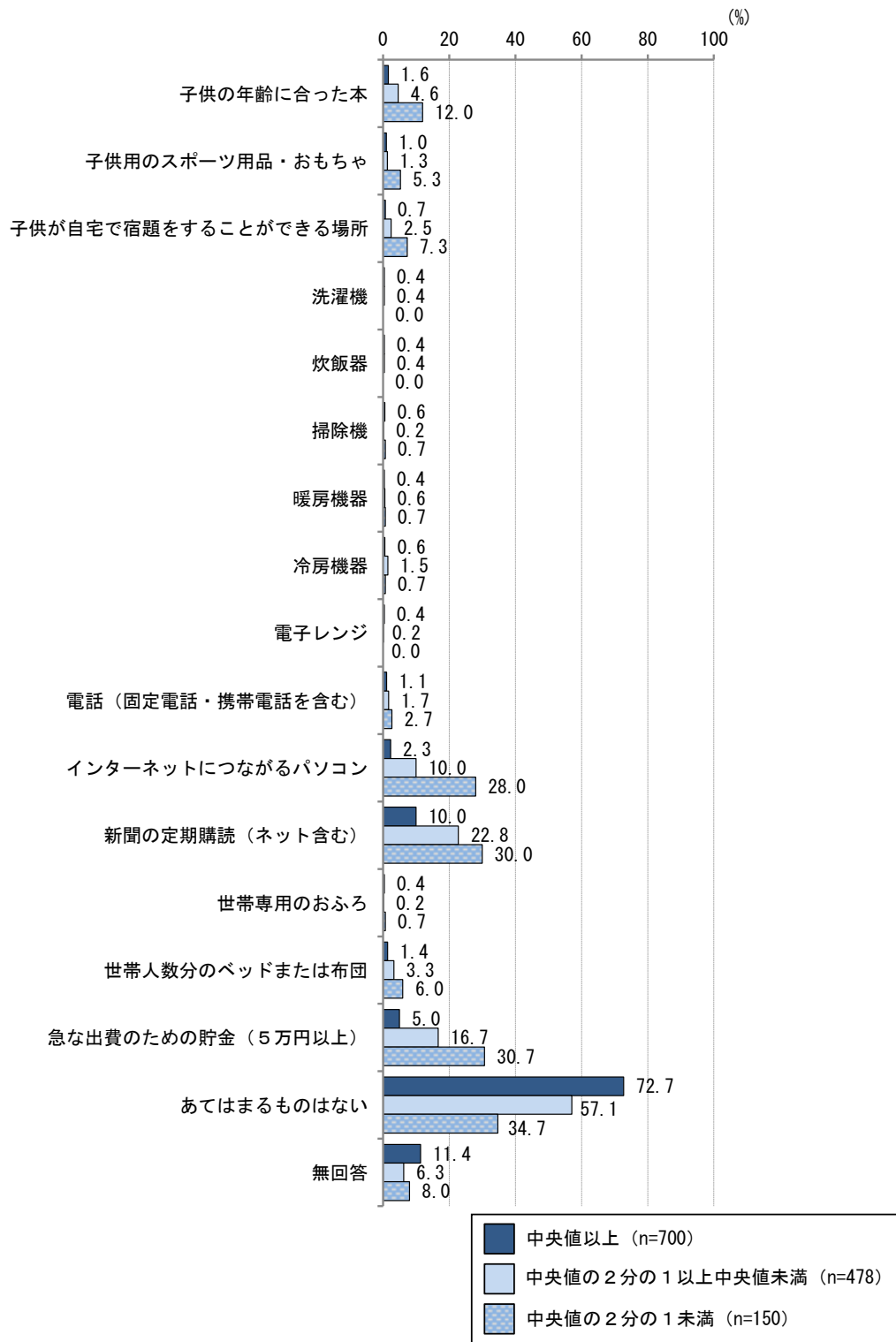
保護者票問 34. 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。(MA)



経済的理由のために世帯にないものについて、小学5年生の保護者では、「新聞の定期購読（ネット含む）」が16.6%と最も高く、次いで「急な出費のための貯金（5万円以上）」が12.3%、「インターネットにつながるパソコン」が7.8%などの順となっている。

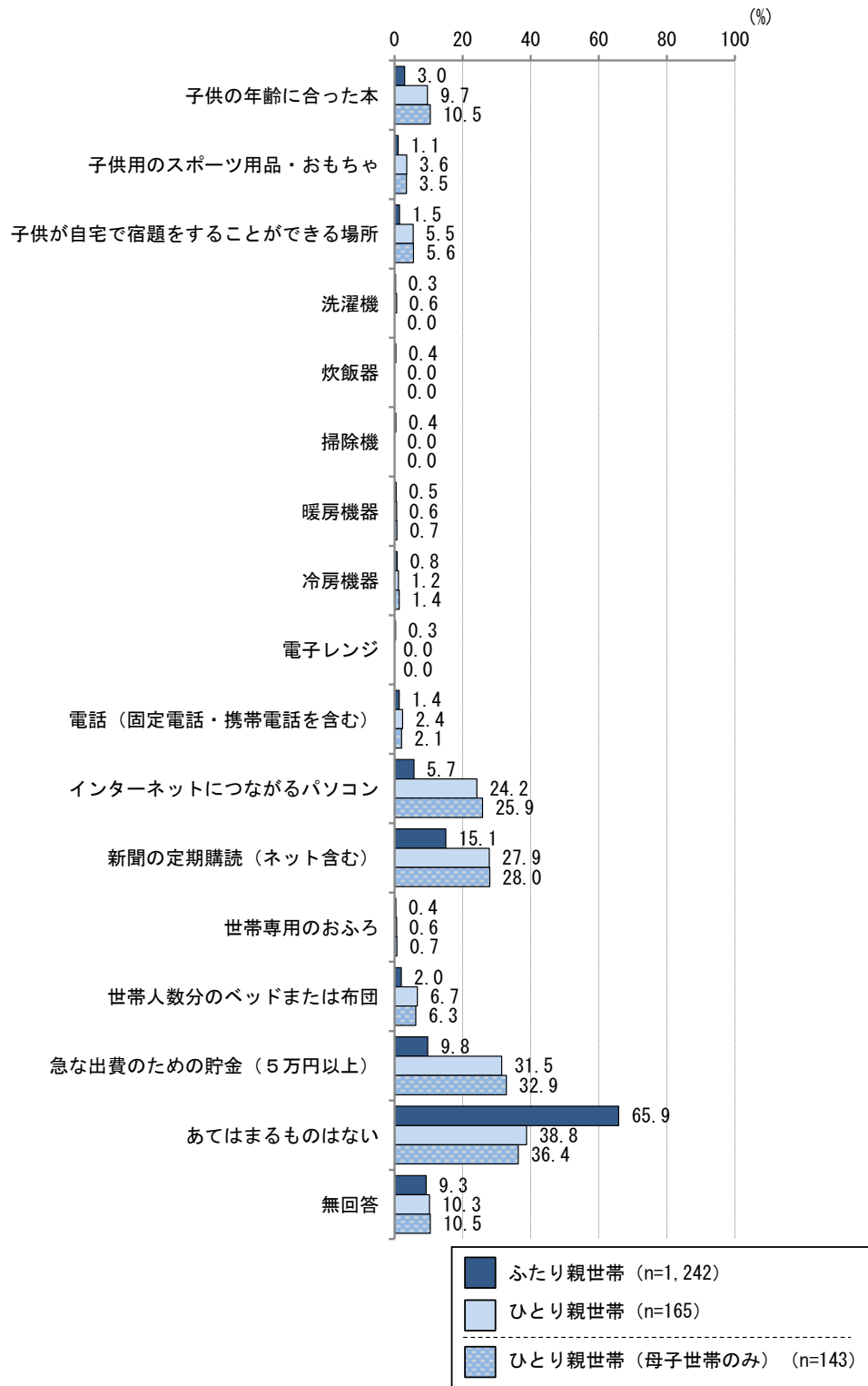
中学2年生の保護者では、「新聞の定期購読（ネット含む）」が13.7%と最も高く、次いで「急な出費のための貯金（5万円以上）」が11.2%、「インターネットにつながるパソコン」が8.0%などの順となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



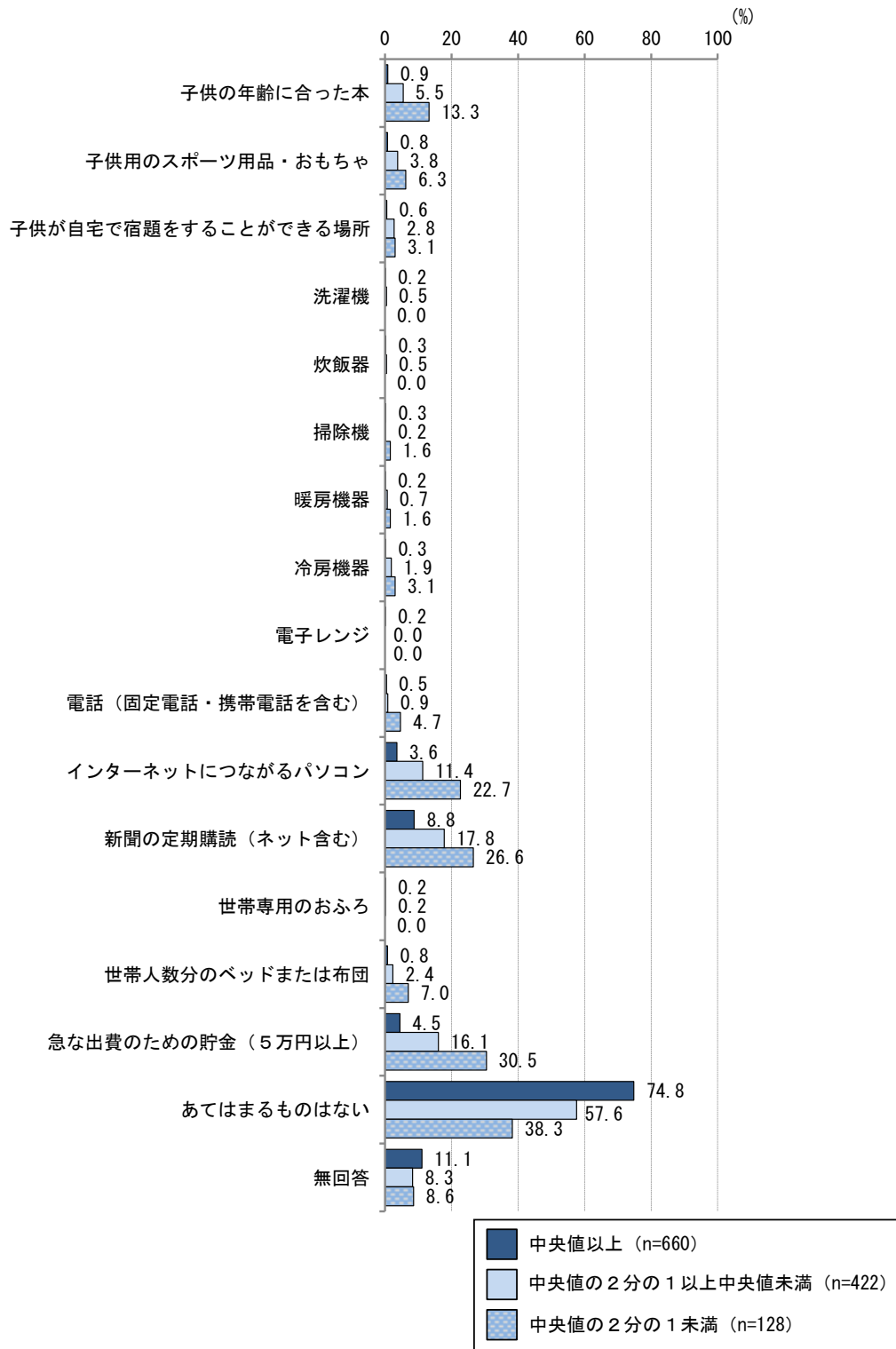
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「子供の年齢に合った本」が12.0%、「子供が自宅で宿題をすることができる場所」が7.3%、「インターネットにつながるパソコン」が28.0%、「新聞の定期購読（ネット含む）」が30.0%、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が30.7%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



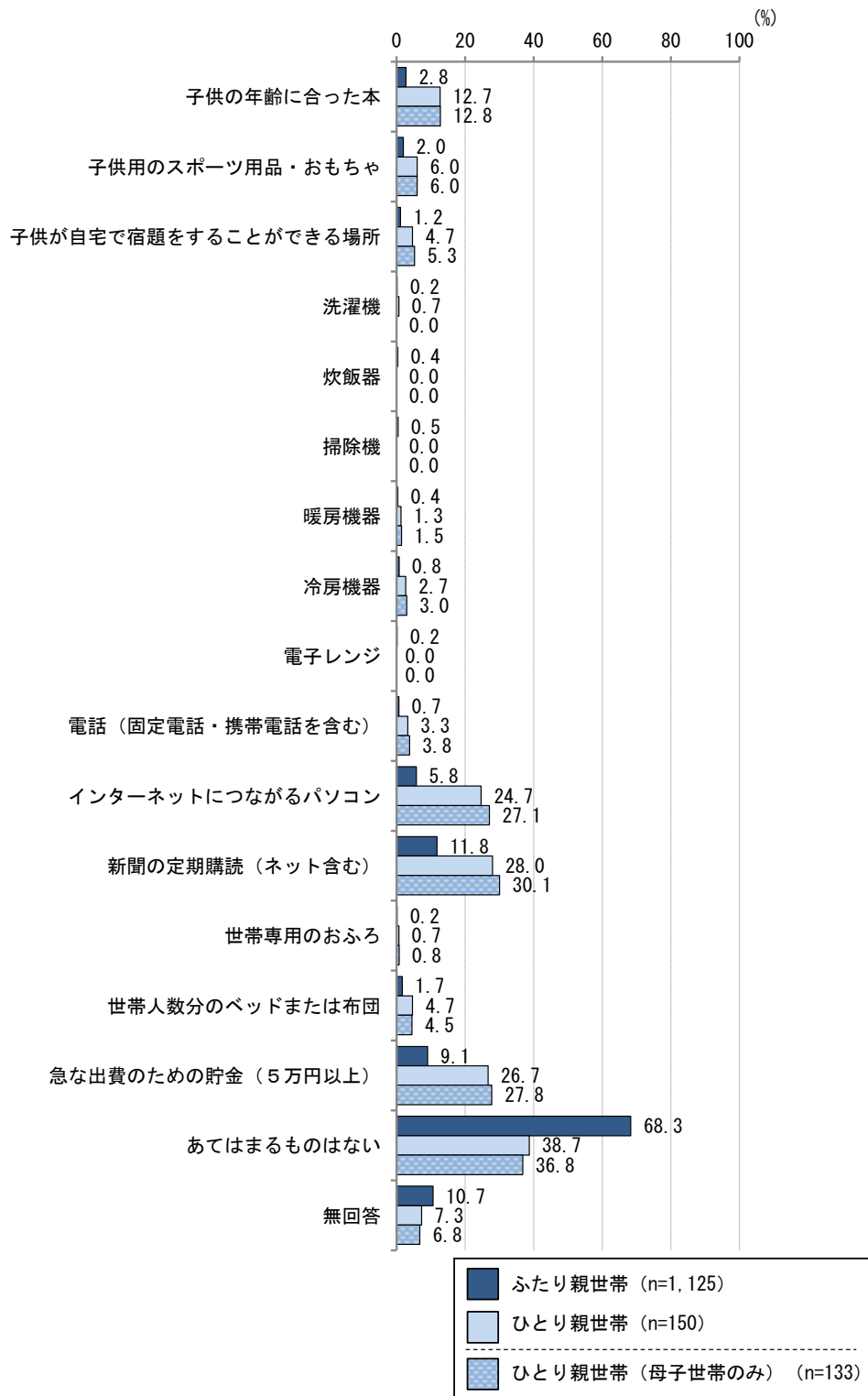
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「子供の年齢に合った本」が 9.7%、「インターネットにつながるパソコン」が 24.2%、「新聞の定期購読 (ネット含む)」が 27.9%、「急な出費のための貯金 (5万円以上)」が 31.5%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「子供の年齢に合った本」が13.3%、「子供用のスポーツ用品・おもちゃ」が6.3%、「インターネットにつながるパソコン」が22.7%、「新聞の定期購読（ネット含む）」が26.6%、「世帯人数分のベッドまたは布団」が7.0%、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が30.5%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



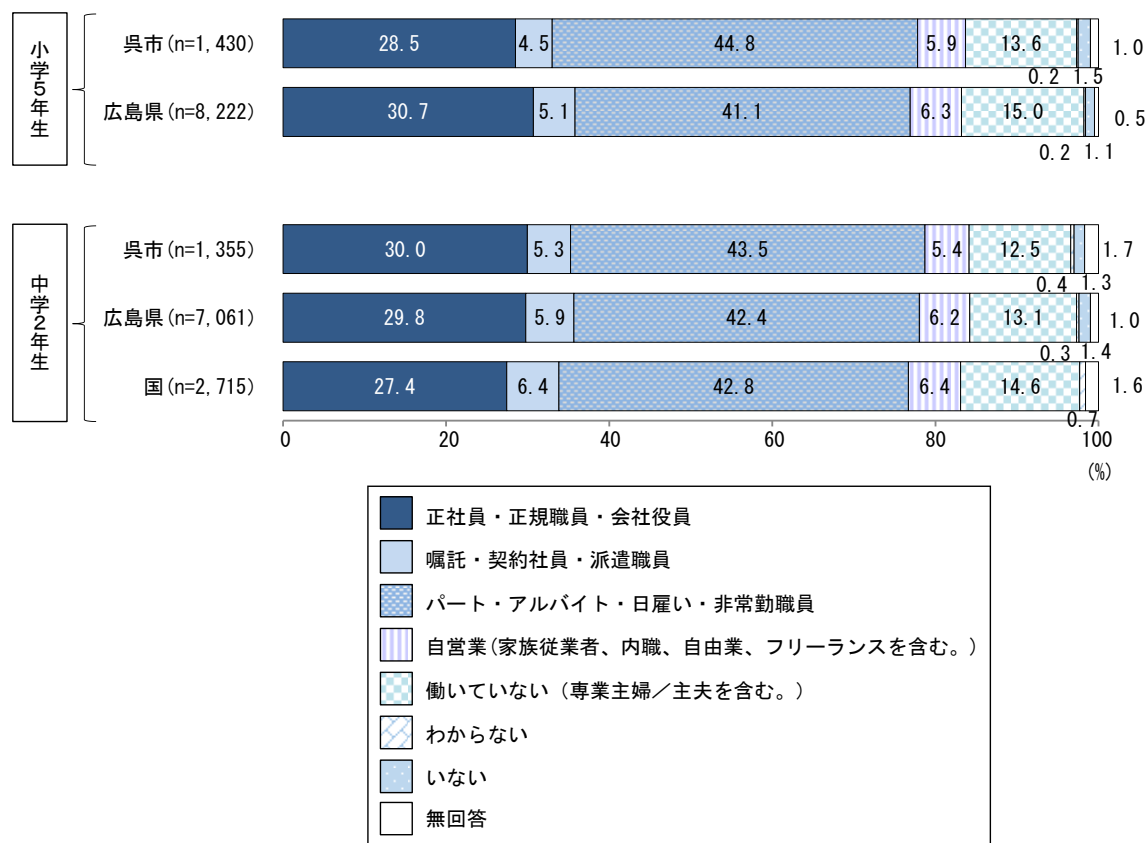
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「子供の年齢に合った本」が 12.7%、「インターネットにつながるパソコン」が 24.7%、「新聞の定期購読 (ネット含む)」が 28.0%、「急な出費のための貯金 (5万円以上)」が 26.7%と他の世帯と比べて高くなっている。

(2) 就労の状況

保護者票問 10. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(SA)

＝ 母親の就労状況 ＝

【全体】

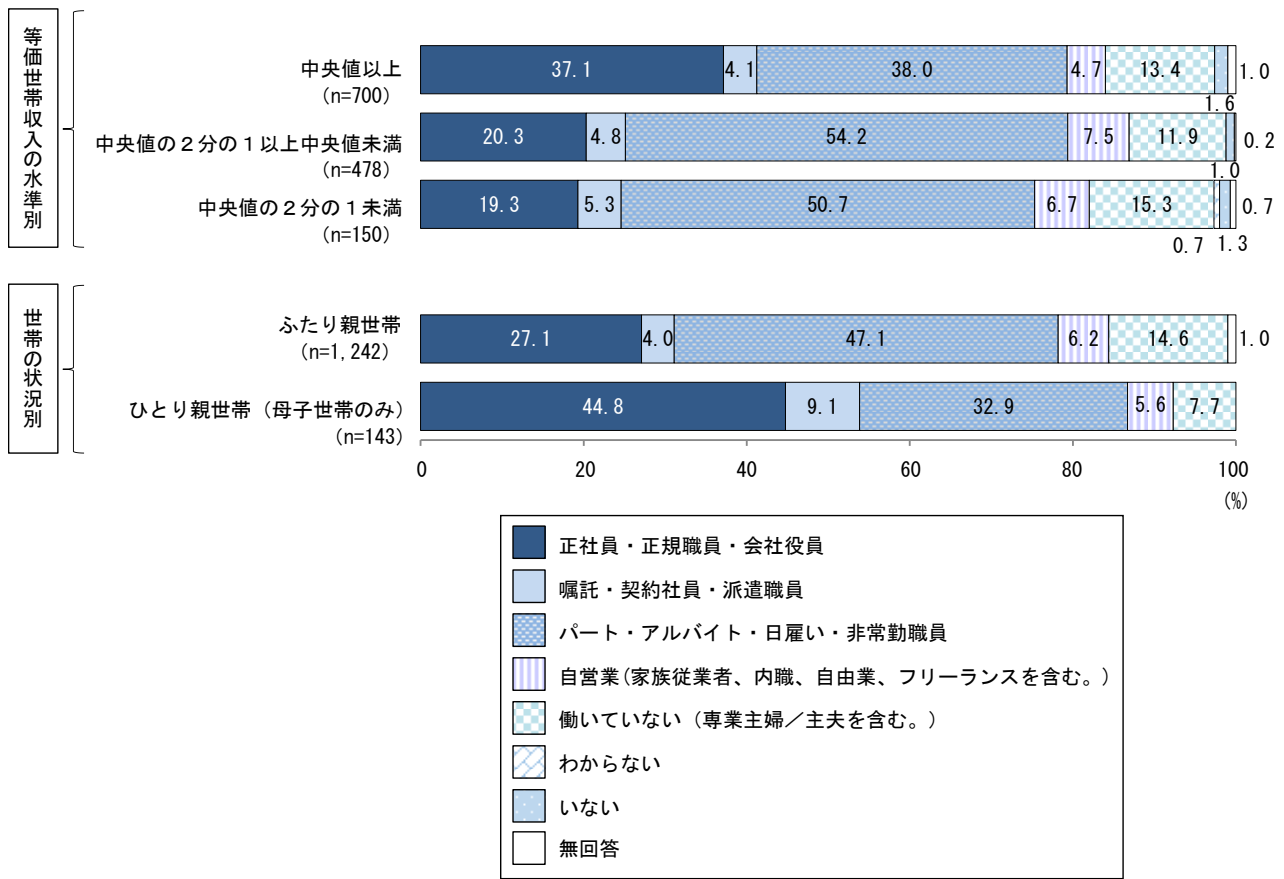


※国調査では「いない、わからない」という選択肢になっている

母親の就労状況について、小学5年生の保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が44.8%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が28.5%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」が13.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が43.5%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が30.0%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」が12.5%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

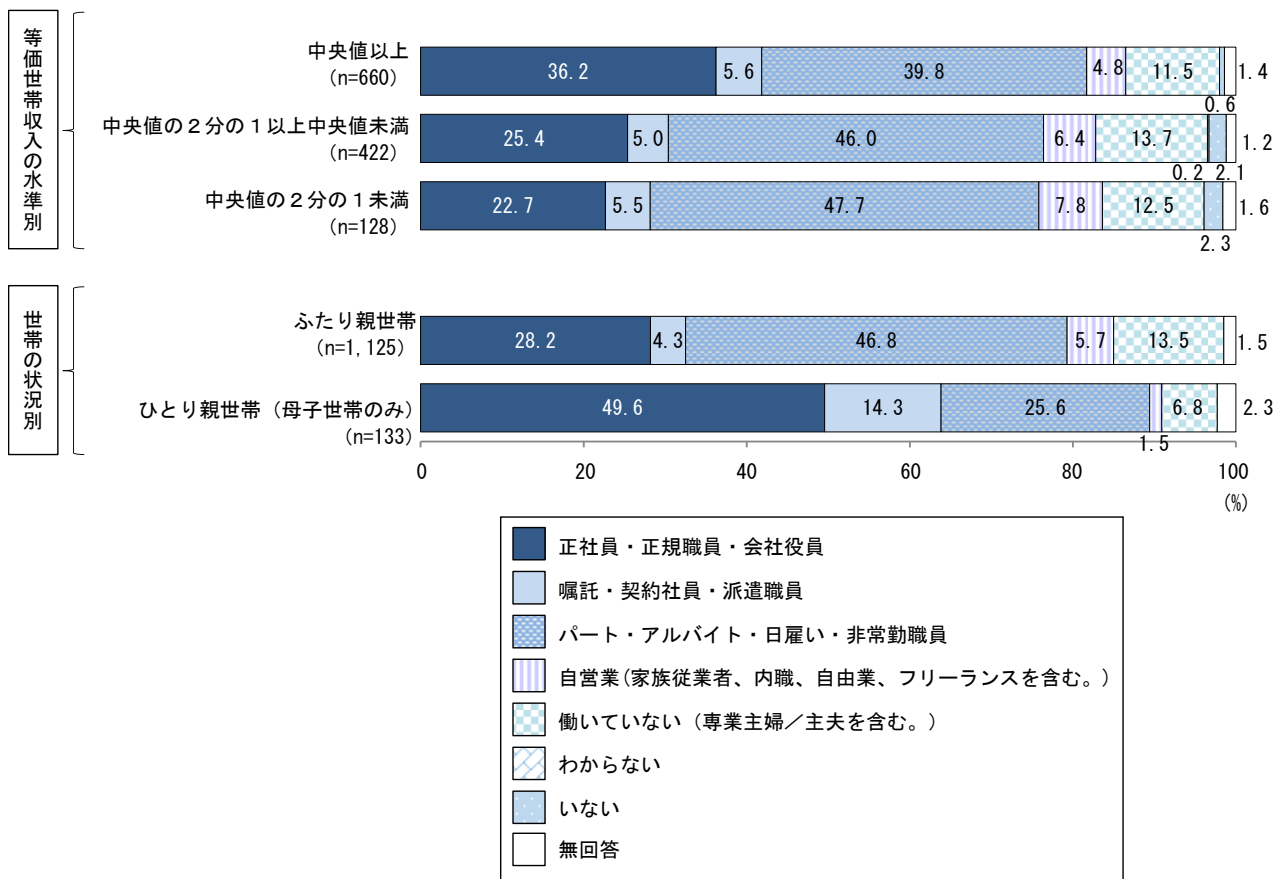
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が50.7%となっている。また、「正社員・正規職員・会社役員」は、等価世帯収入の水準が下がるにつれて、低くなる傾向がみられる。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が47.1%、「ひとり親世帯」では「正社員・正規職員・会社役員」が44.8%と最も高くなっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

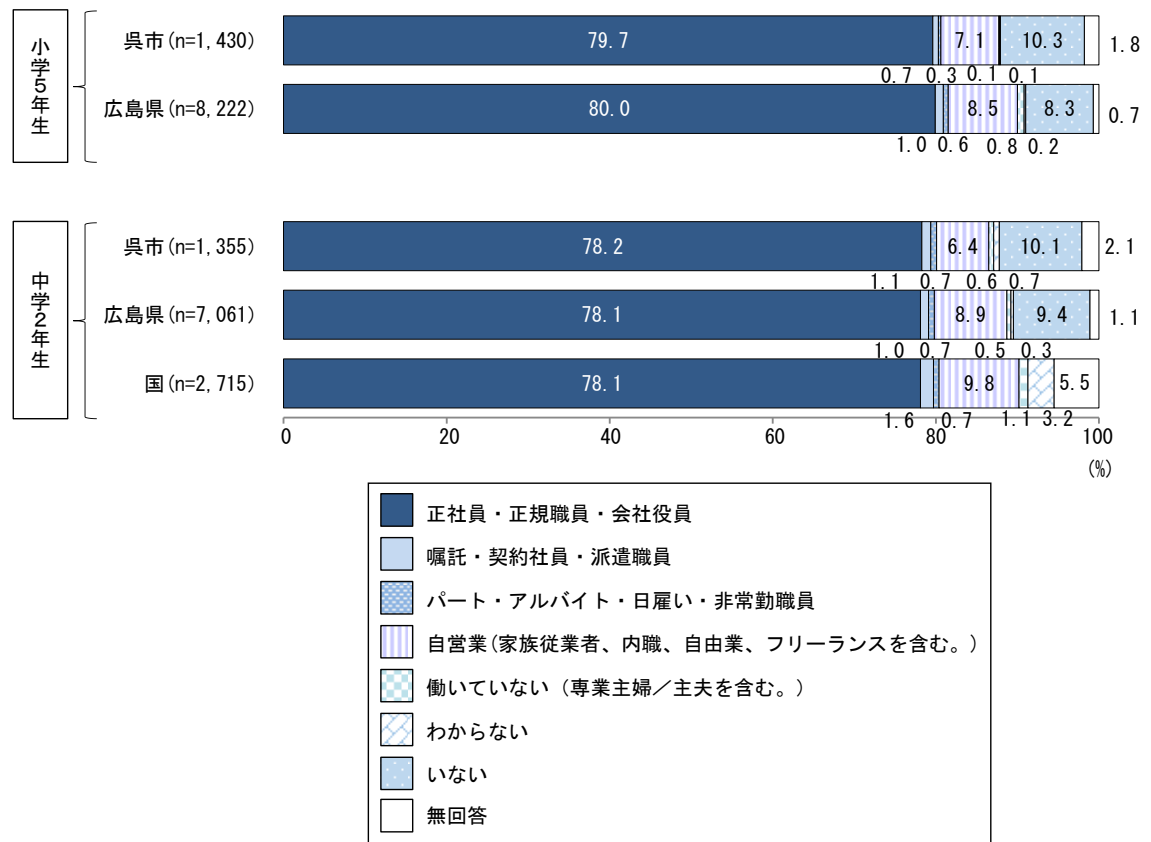


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が47.7%となっている。また、「正社員・正規職員・会社役員」は、等価世帯収入の水準が下がるにつれて、低くなる傾向がみられる。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が46.8%、「ひとり親世帯」では「正社員・正規職員・会社役員」が49.6%と最も高くなっている。

= 父親の就労状況 =

【全体】

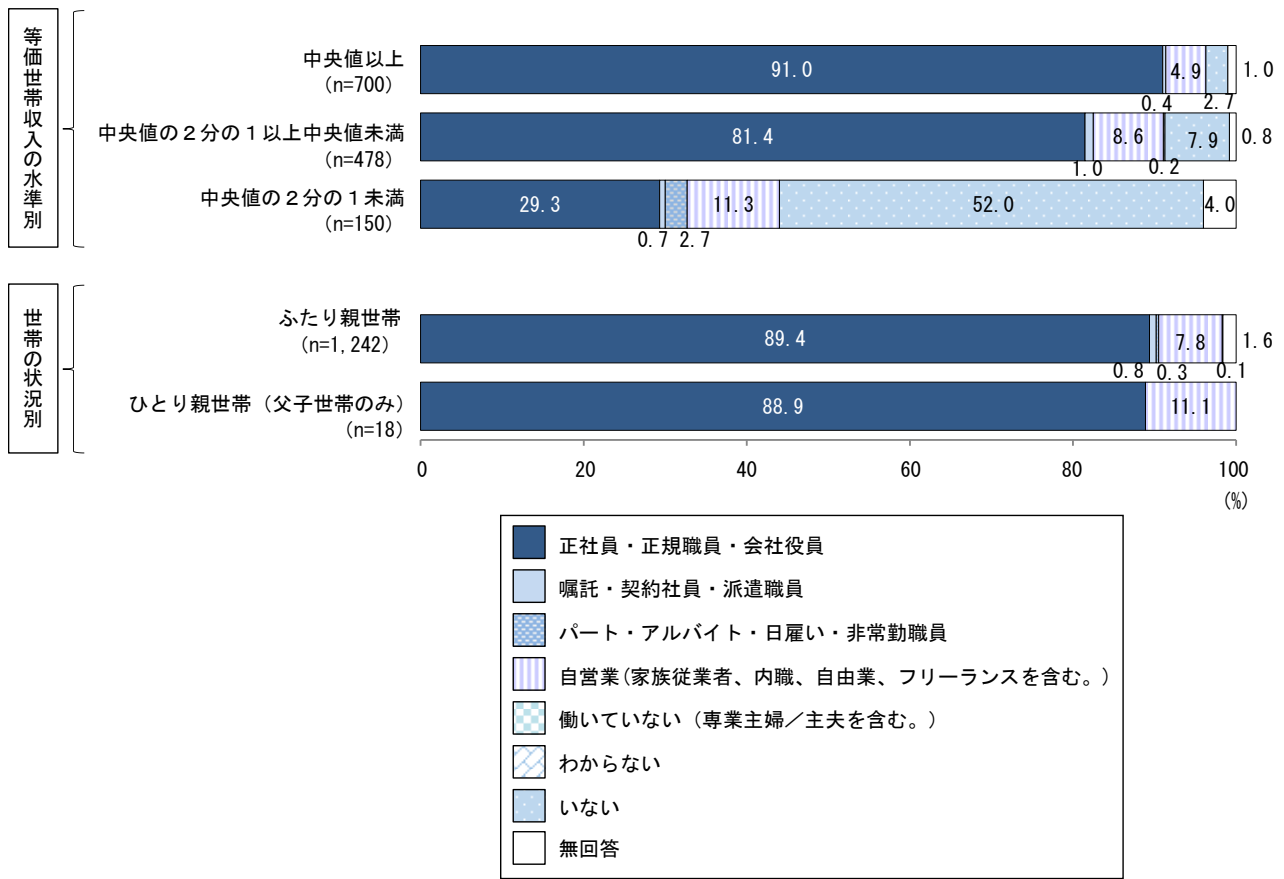


※国調査では「いない、わからない」という選択肢になっている

父親の就労状況について、小学5年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が79.7%と最も高く、次いで「いない」が10.3%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が7.1%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が78.2%と最も高く、次いで「いない」が10.1%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が6.4%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

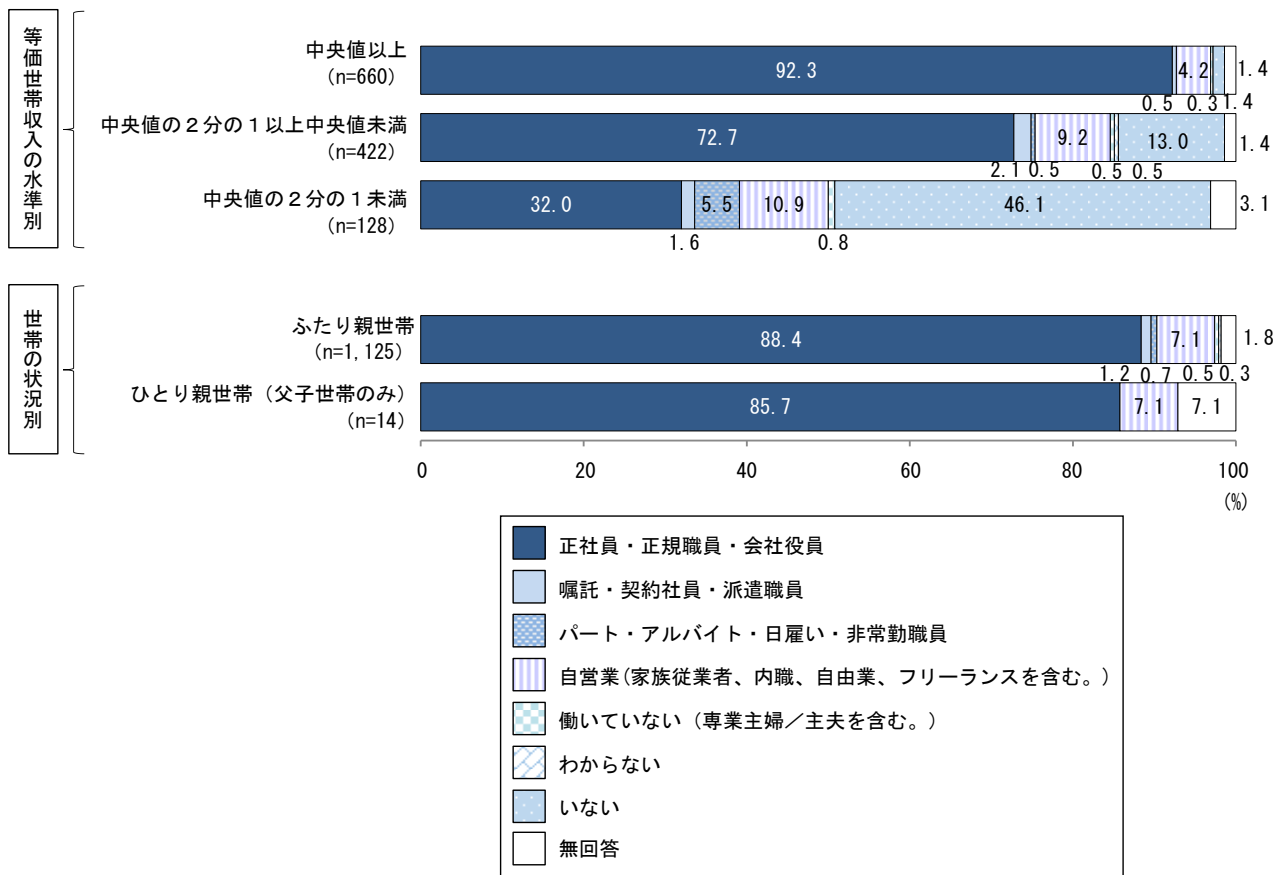
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「正社員・正規職員・会社役員」が29.3%と他の世帯に比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では89.4%、「ひとり親世帯」では88.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「正社員・正規職員・会社役員」が32.0%と他の世帯に比べて低くなっている。

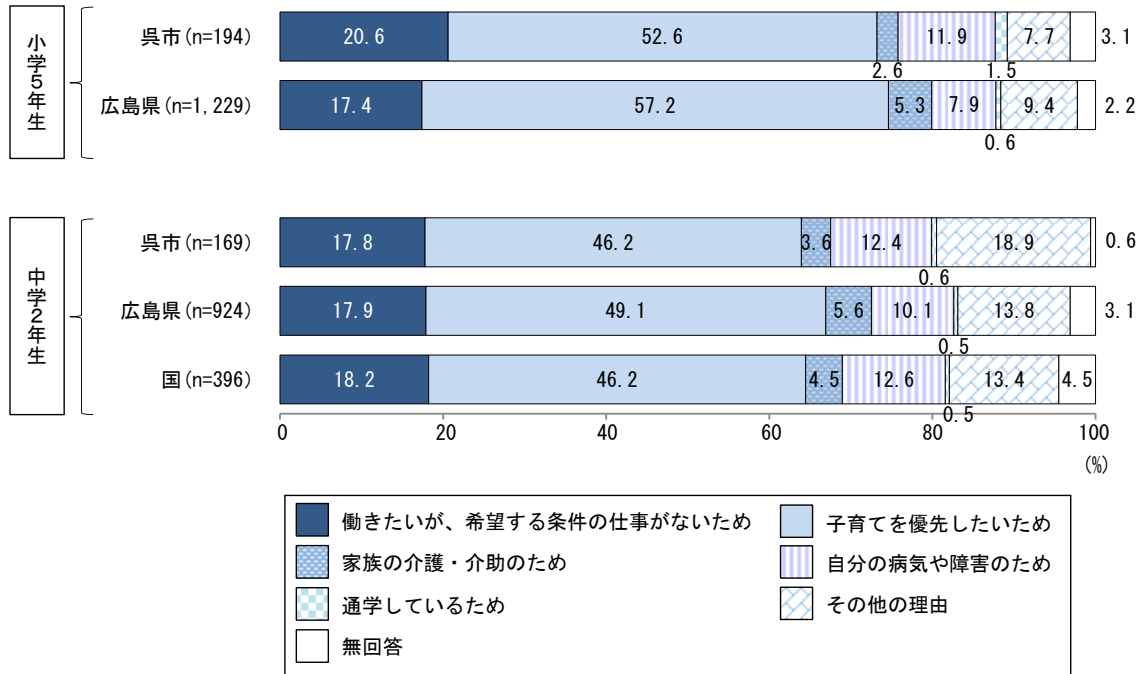
世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では88.4%、「ひとり親世帯」では85.7%となっている。

※問 10 で「5 働いていない」と答えた方に

保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。(SA)

＝ 母親が働いていない理由 ＝

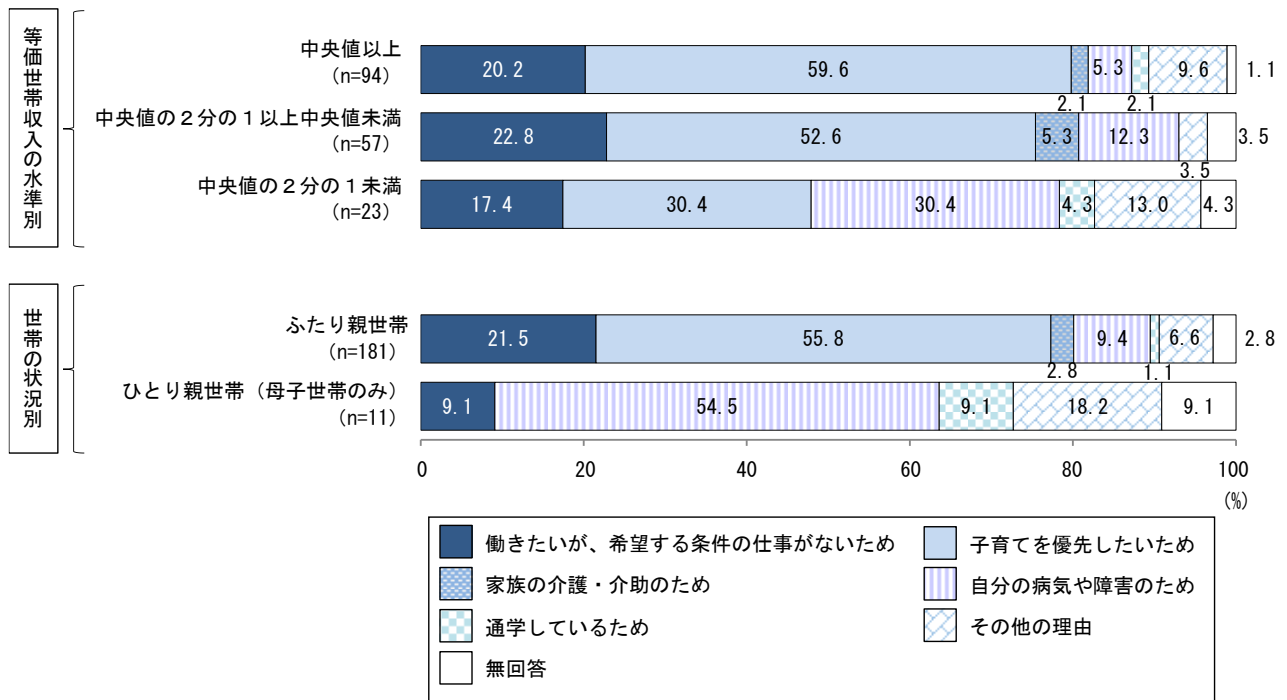
【全体】



母親が働いていない理由について、小学5年生の保護者では、「子育てを優先したいため」が52.6%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が20.6%、「自分の病気や障害のため」が11.9%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「子育てを優先したいため」が46.2%と最も高く、次いで「その他の理由」が18.9%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が17.8%などの順となっている。広島県と比較すると、「その他の理由」は、呉市（18.9%）が広島県（13.8%）を5.1ポイント上回っている。国と比較すると、「その他の理由」は、呉市（18.9%）が国（13.4%）を5.5ポイント上回っている。

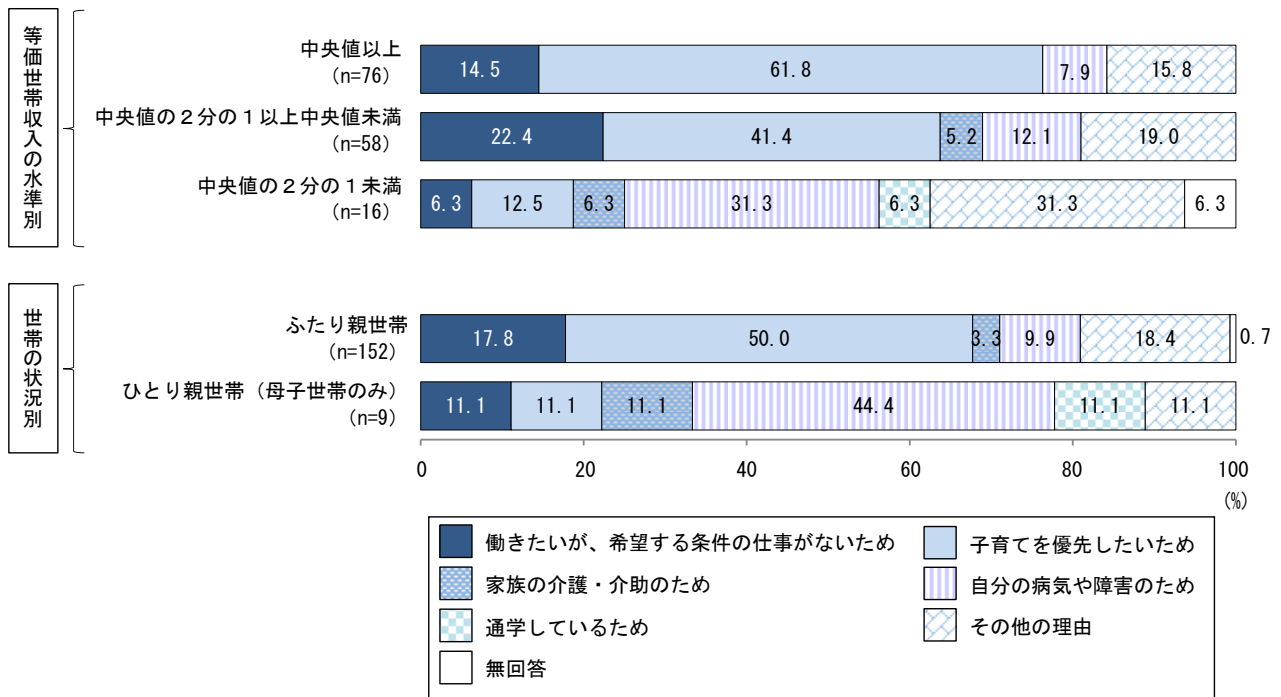
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「自分の病気や障害のため」が30.4%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「自分の病気や障害のため」が54.5%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

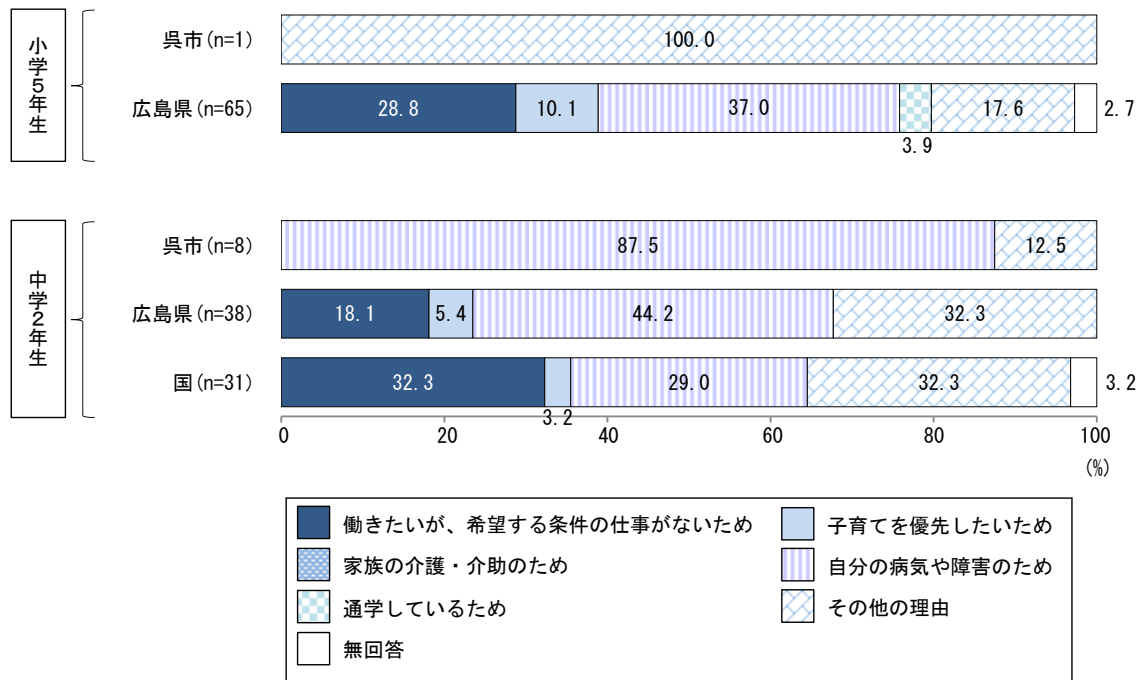


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「自分の病気や障害のため」が31.3%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「自分の病気や障害のため」が44.4%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

= 父親が働いていない理由 =

【全体】



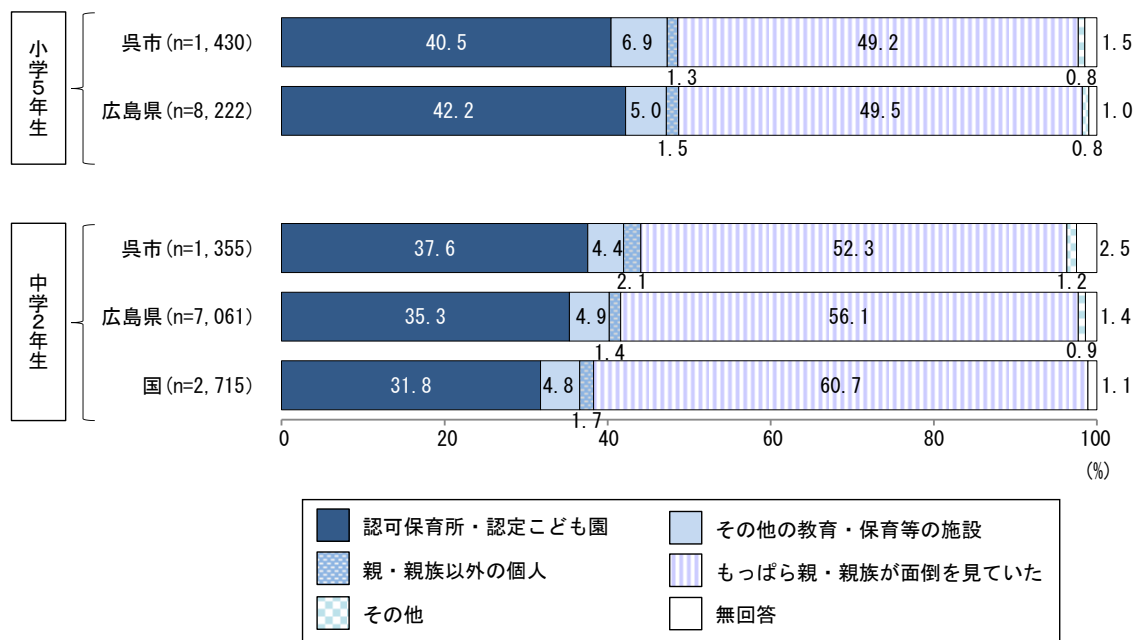
父親が働いていない理由について、小学5年生の保護者では、「その他の理由」が100.0%となっている。

中学2年生の保護者では、「自分の病気や障害のため」が87.5%と最も高く、次いで「その他の理由」が12.5%となっている。広島県と比較すると、「自分の病気や障害のため」は、呉市(87.5%)が広島県(44.2%)を43.3ポイント上回っている。国と比較すると、「自分の病気や障害のため」は、呉市(87.5%)が国(29.0%)を58.5ポイント上回っており、「その他の理由」は、呉市(12.5%)が国(32.3%)を19.8ポイント下回っている。

(3) 保育の状況

保護者票問 12. お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（SA）

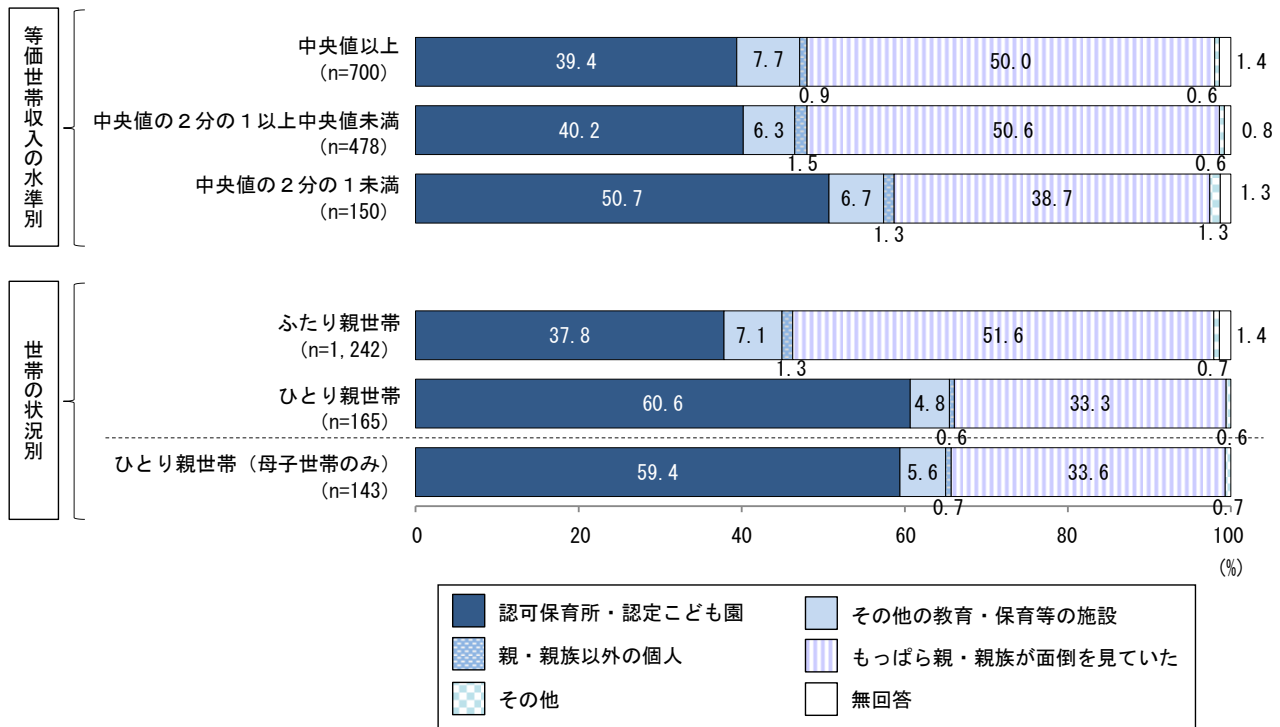
【全体】



子供が0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学5年生の保護者では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が49.2%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」が40.5%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が52.3%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」が37.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」は、呉市（52.3%）が国（60.7%）を8.4ポイント下回っている。

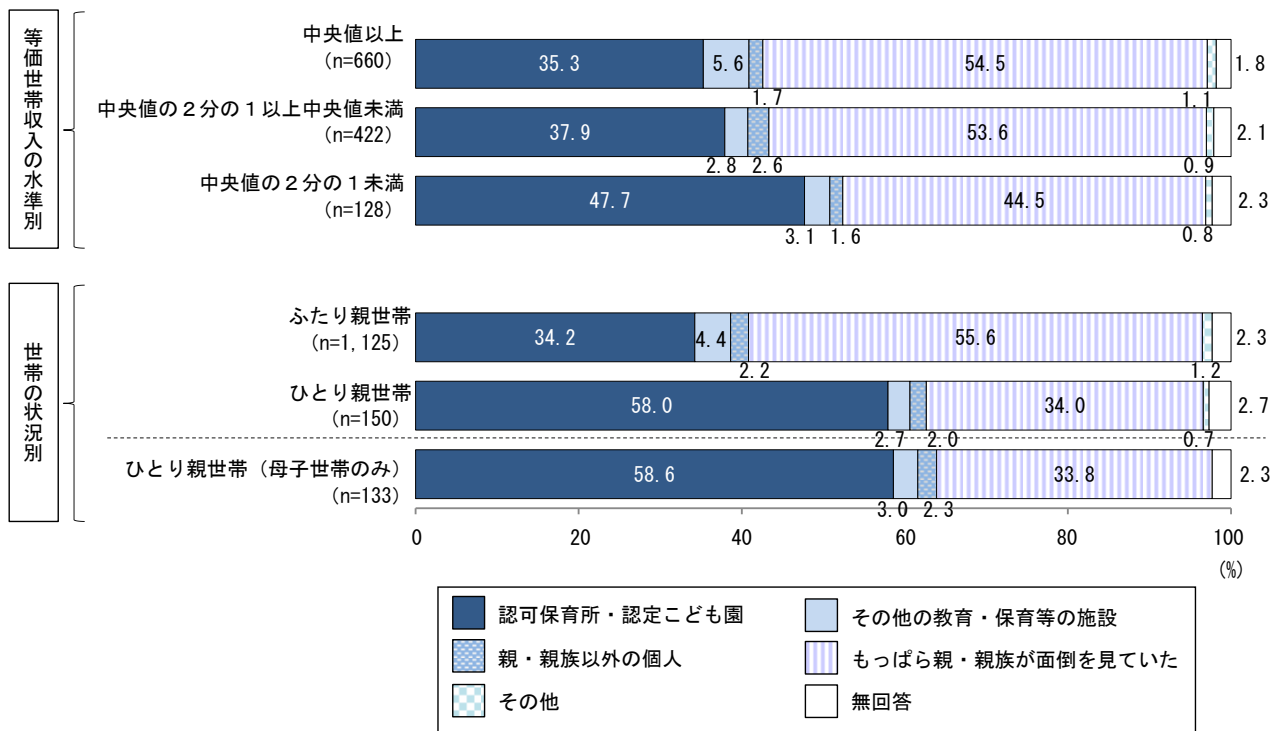
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が38.7%と他の世帯に比べて低く、「認可保育所・認定こども園」は50.7%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が33.3%と低く、「認可保育所・認定こども園」は60.6%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

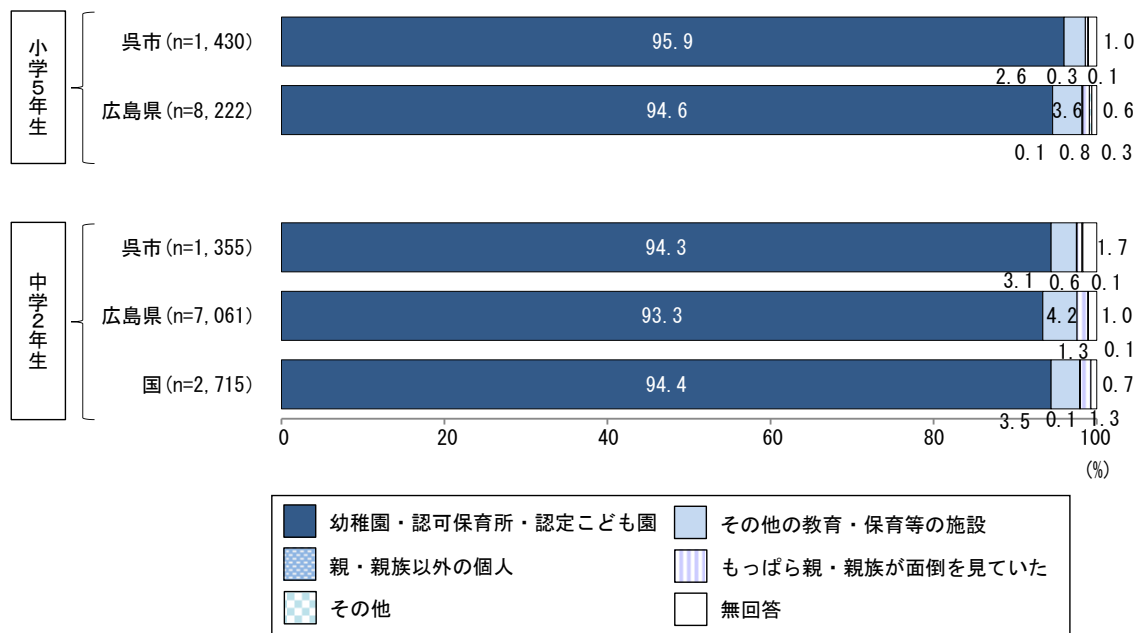


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が44.5%と他の世帯に比べて低く、「認可保育所・認定こども園」は47.7%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が34.0%と低く、「認可保育所・認定こども園」は58.0%と高くなっている。

保護者票問 13. お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（SA）

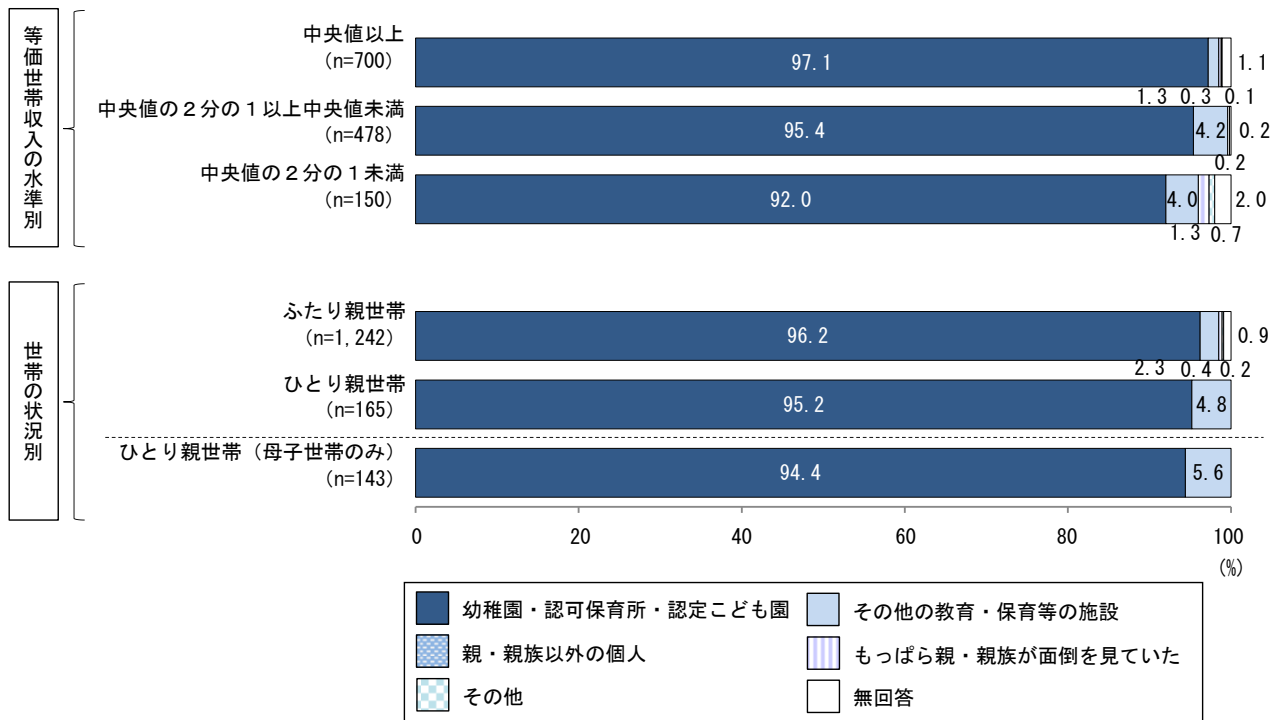
【全体】



子供が3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学5年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が95.9%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が2.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が94.3%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が3.1%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

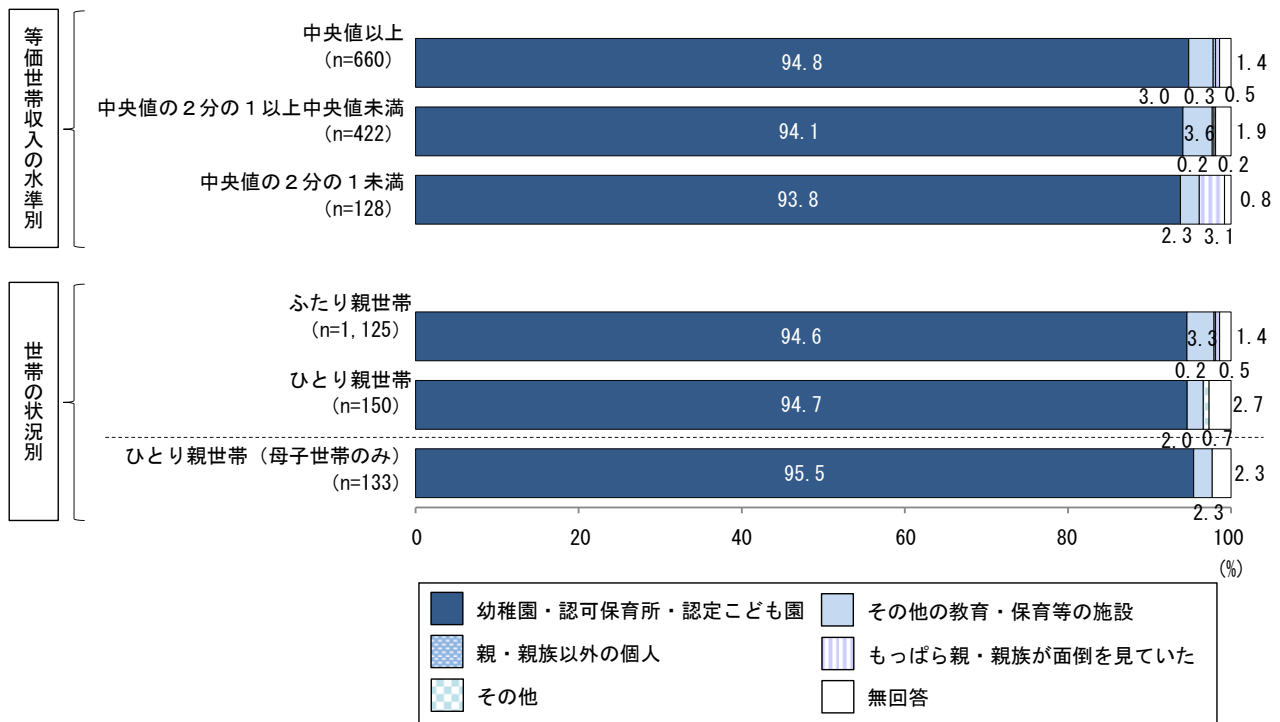
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が92.0%と他の世帯に比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が95.2%となっており、「ふたり親世帯」と大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が93.8%となっており、他の世帯と大きな差はみられない。

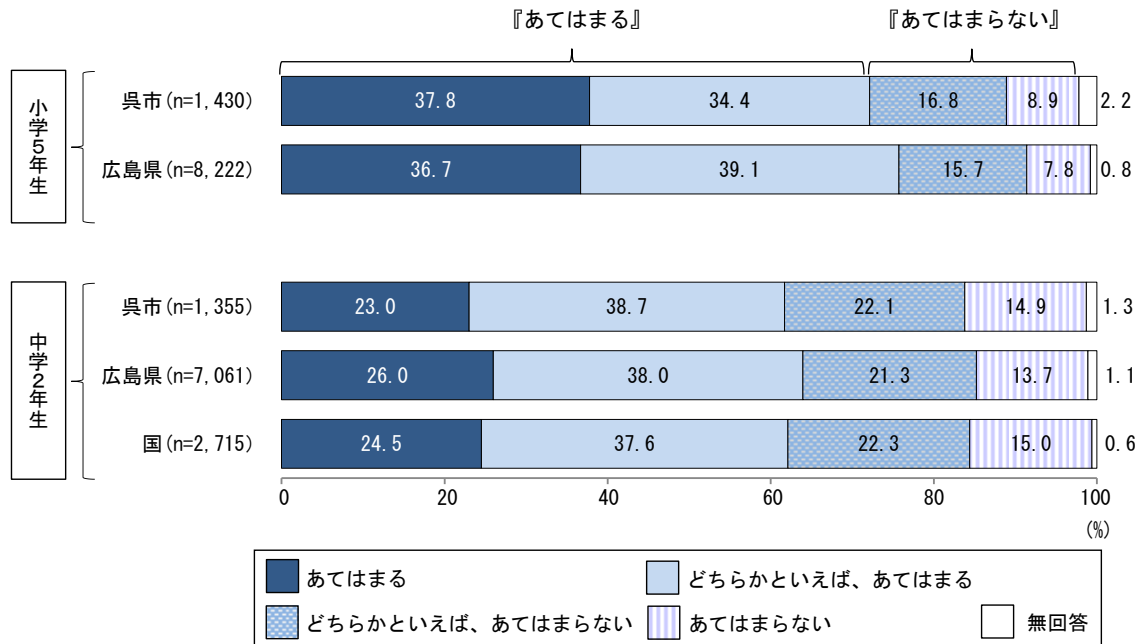
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が94.7%となっており、「ふたり親世帯」と大きな差はみられない。

(4) 子供との関わり方

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(SA)

= テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている =

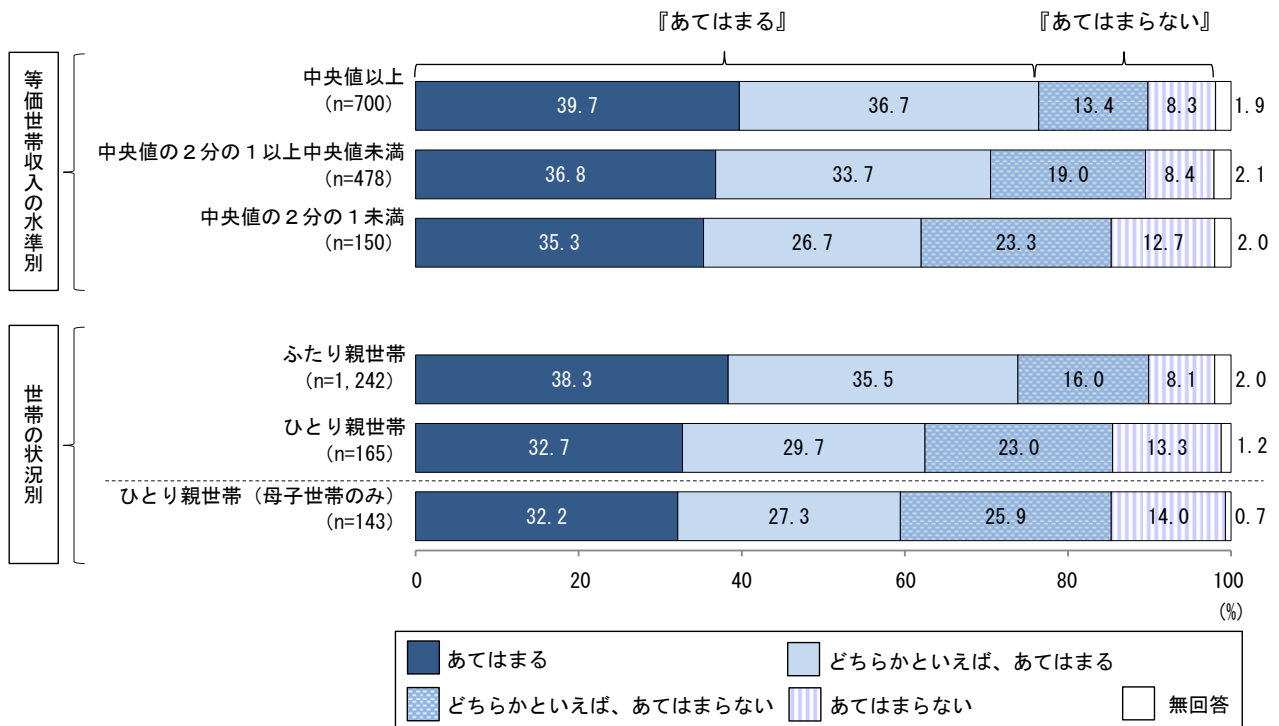
【全体】



テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合）』が72.2%、『あてはまらない（「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合）』が25.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が61.7%、『あてはまらない』が37.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

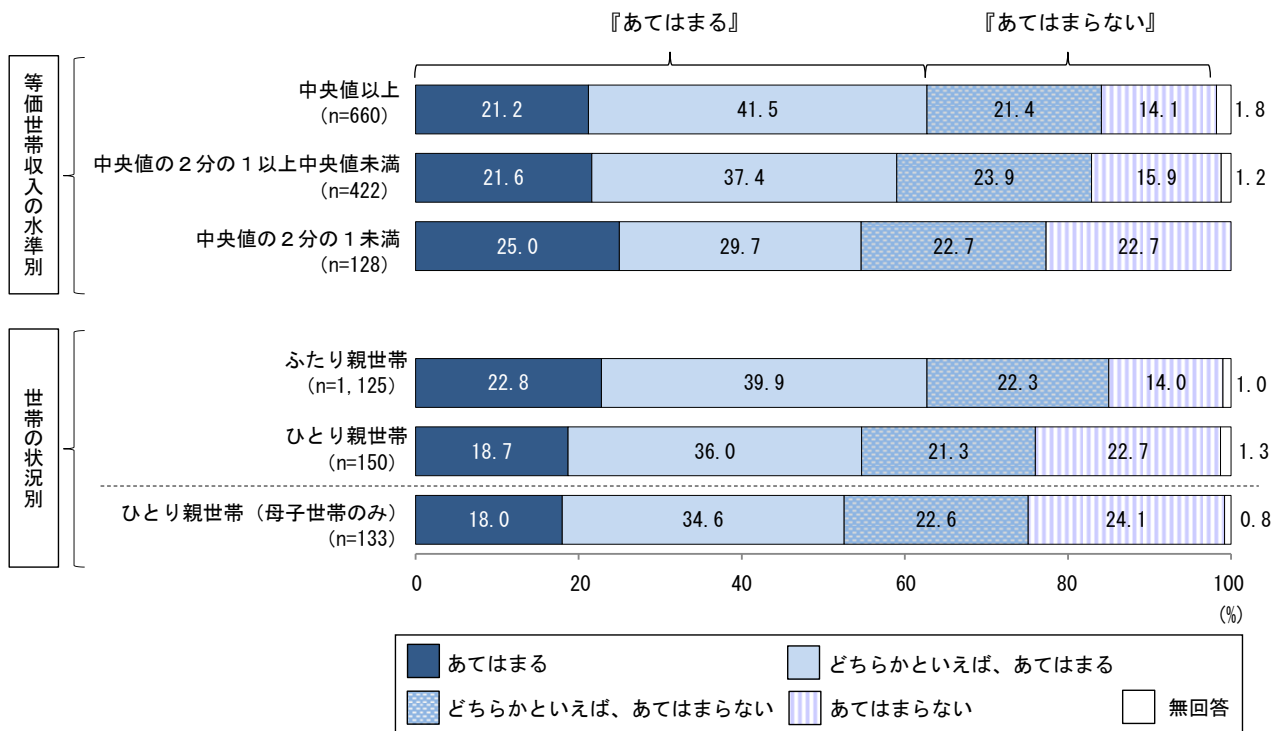
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では21.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では27.4%、「中央値の2分の1未満」では36.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では24.1%、「ひとり親世帯全体」では36.3%、「母子世帯のみ」では39.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

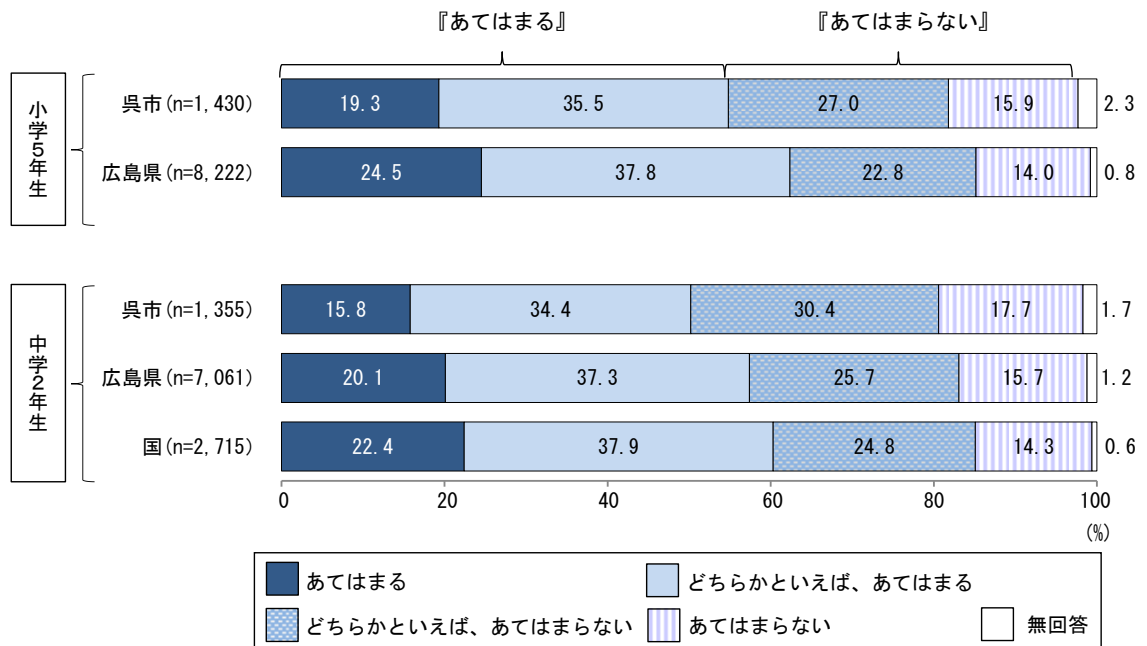


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では35.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では39.8%、「中央値の2分の1未満」では45.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では36.3%、「ひとり親世帯全体」では44.0%、「母子世帯のみ」では46.7%となっている。

= お子さんに本や新聞を読むように勧めている =

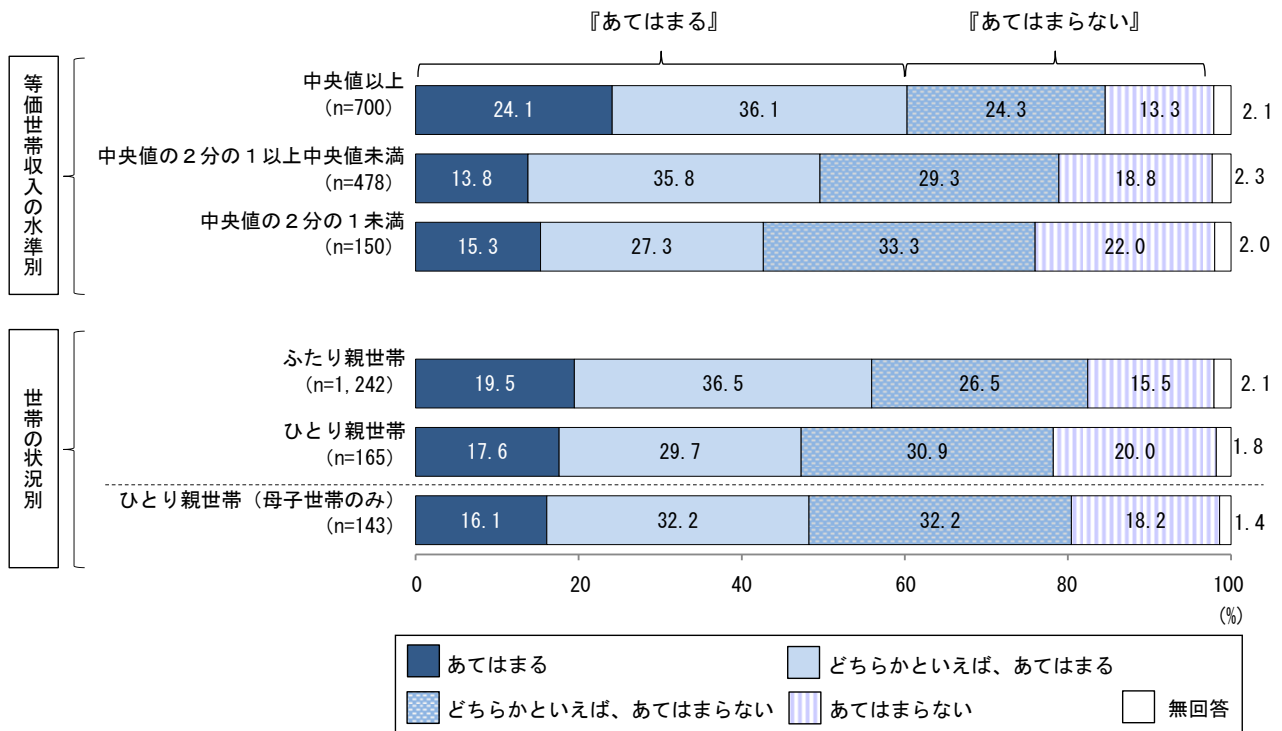
【全体】



子供に本や新聞を読むように勧めているかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が54.8%、『あてはまらない』が42.9%となっている。広島県と比較すると、『あてはまる』は、呉市(54.8%)が広島県(62.3%)を7.5ポイント下回っている。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が50.2%、『あてはまらない』が48.1%となっている。広島県と比較すると、『あてはまる』は、呉市(50.2%)が広島県(57.4%)を7.2ポイント下回っている。国と比較すると、『あてはまる』は、呉市(50.2%)が国(60.3%)を10.1ポイント下回っている。

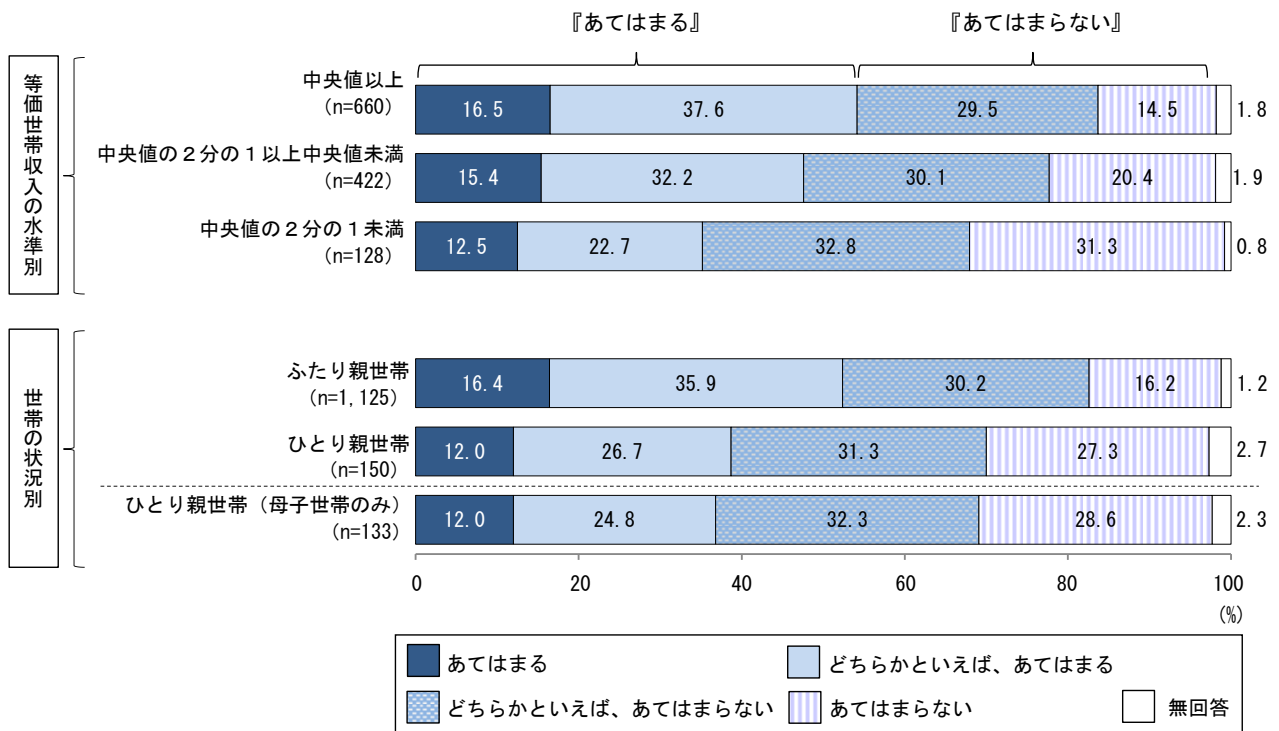
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では37.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では48.1%、「中央値の2分の1未満」では55.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では42.0%、「ひとり親世帯全体」では50.9%、「母子世帯のみ」では50.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

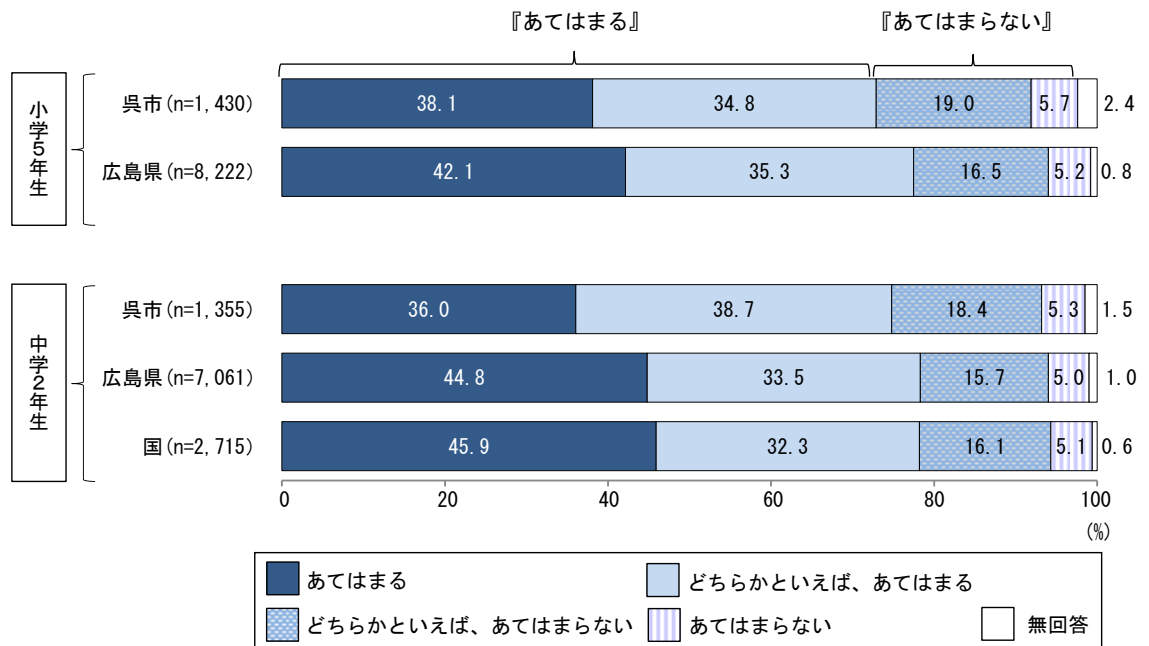


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では44.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では50.5%、「中央値の2分の1未満」では64.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では46.4%、「ひとり親世帯全体」では58.6%、「母子世帯のみ」では60.9%となっている。

= お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた =

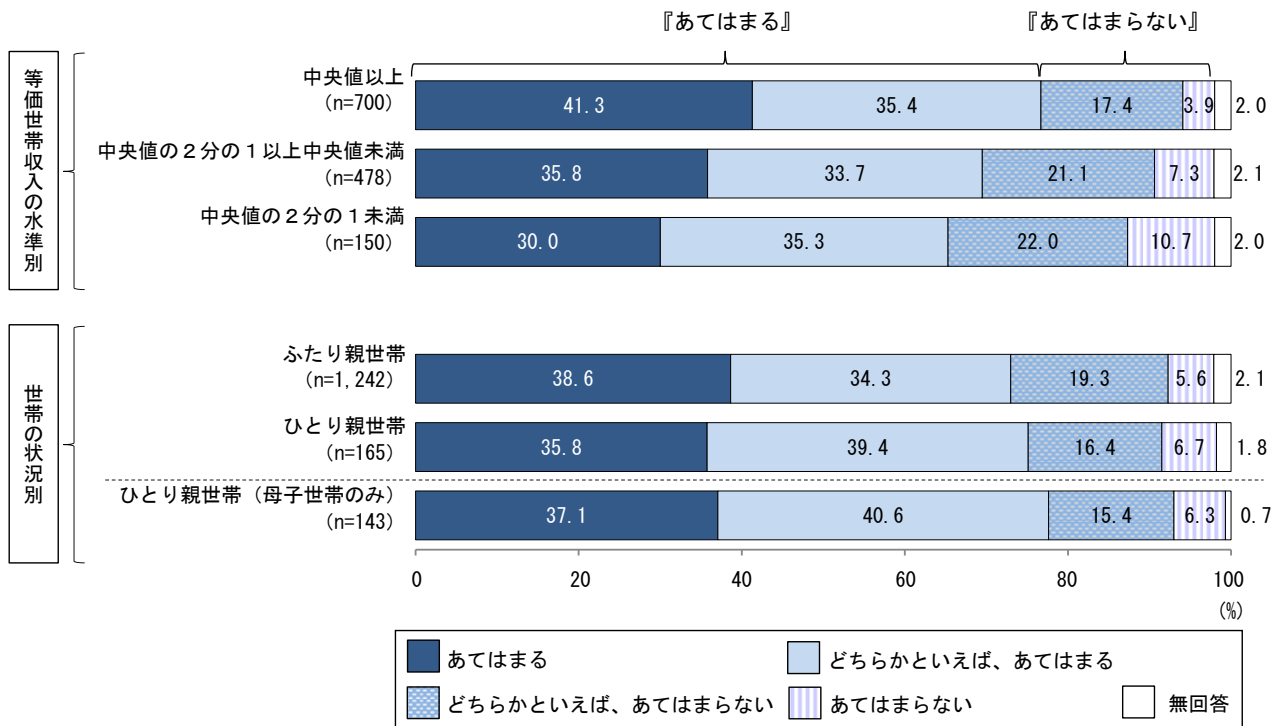
【全体】



子供が小さいころに絵本の読み聞かせをしていたかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が72.9%、『あてはまらない』が24.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が74.7%、『あてはまらない』が23.7%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

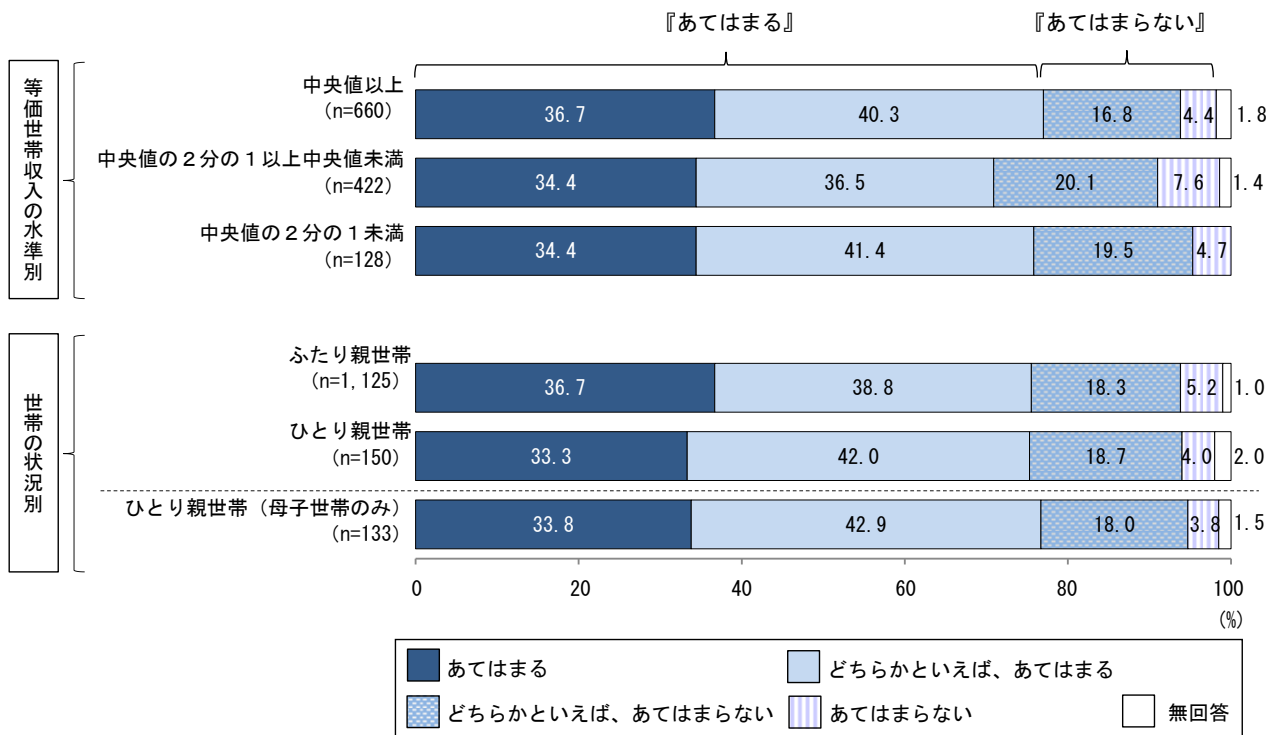
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では21.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では28.4%、「中央値の2分の1未満」では32.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では24.9%、「ひとり親世帯全体」では23.1%、「母子世帯のみ」では21.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

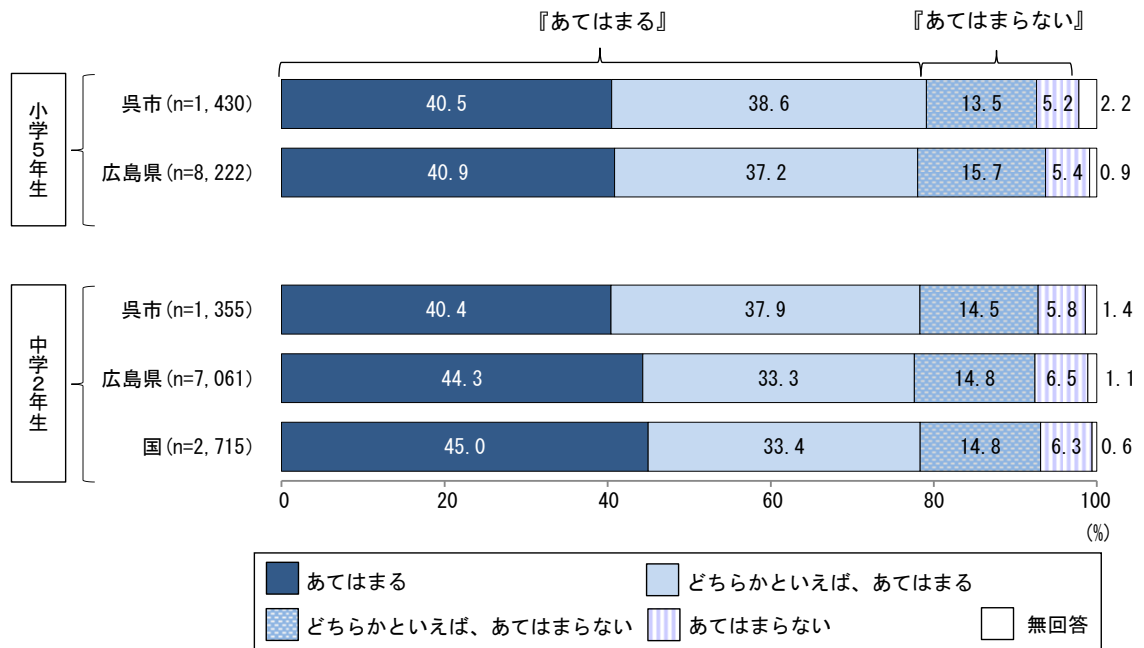


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では21.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では27.7%、「中央値の2分の1未満」では24.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では23.5%、「ひとり親世帯全体」では22.7%、「母子世帯のみ」では21.8%となっている。

= お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる =

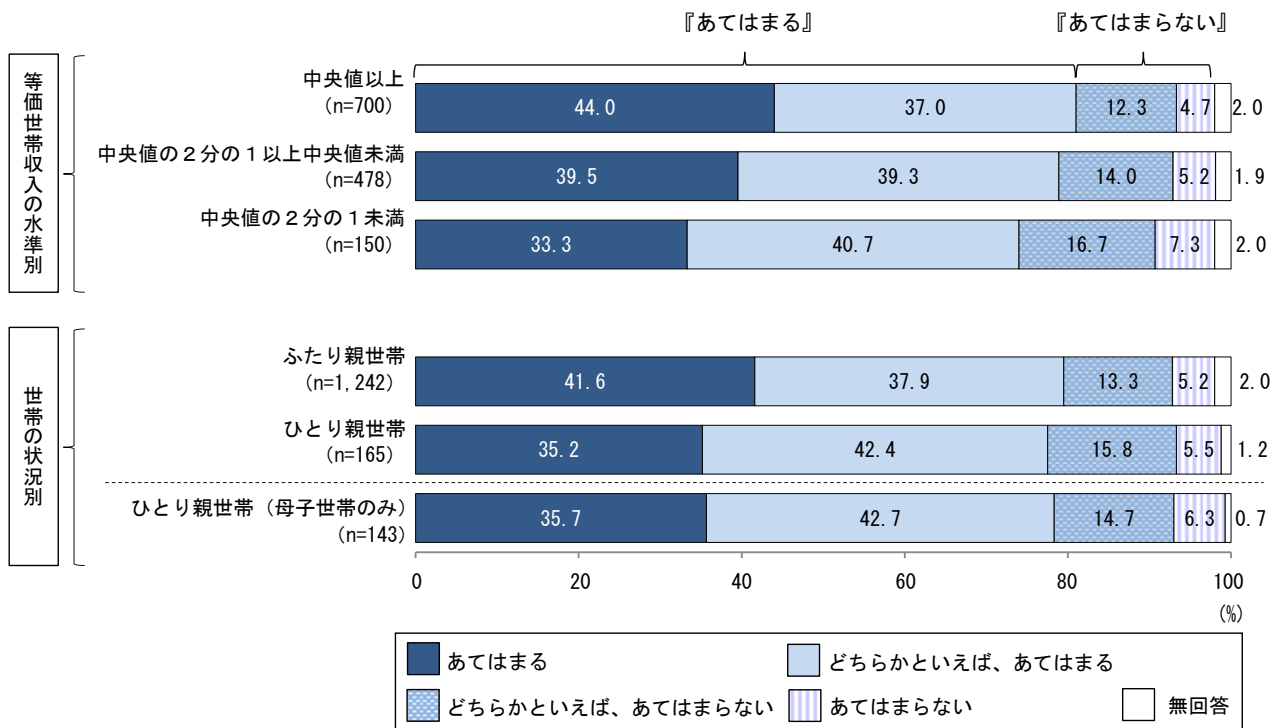
【全体】



子供から勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が79.1%、『あてはまらない』が18.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が78.3%、『あてはまらない』が20.3%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

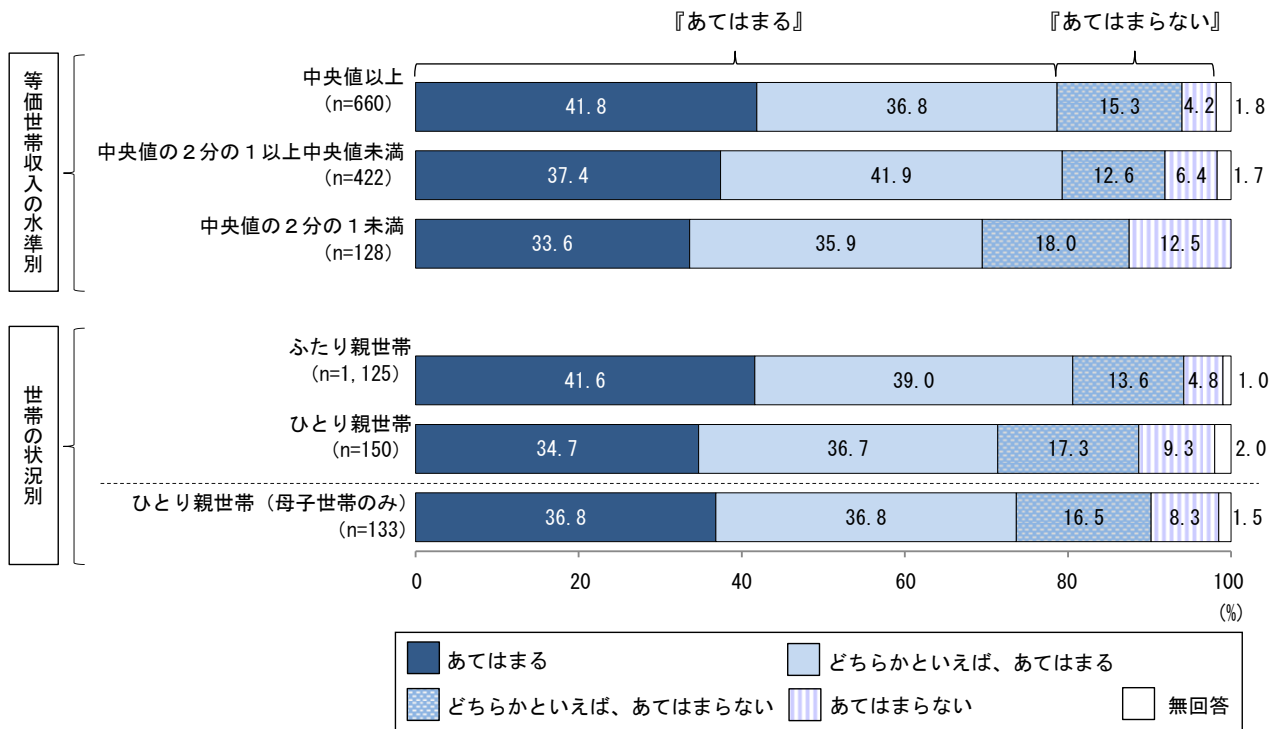
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では17.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では19.2%、「中央値の2分の1未満」では24.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では18.5%、「ひとり親世帯全体」では21.3%、「母子世帯のみ」では21.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



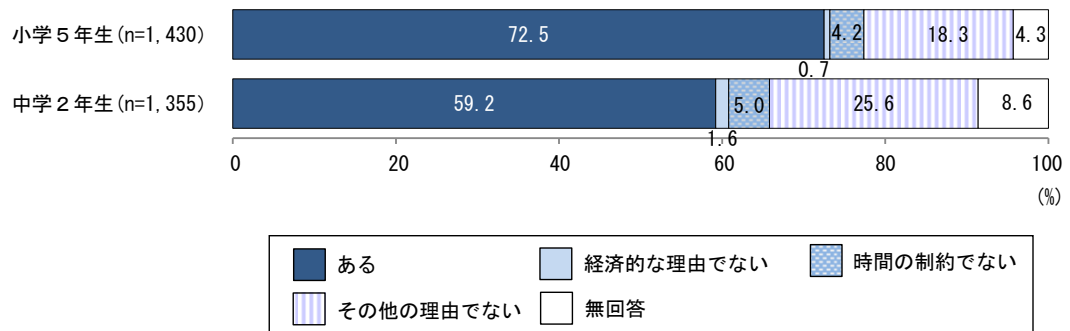
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では19.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では19.0%、「中央値の2分の1未満」では30.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では18.4%、「ひとり親世帯全体」では26.6%、「母子世帯のみ」では24.8%となっている。

保護者票問 31. あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることがありますか。(SA)

= 海水浴に行く =

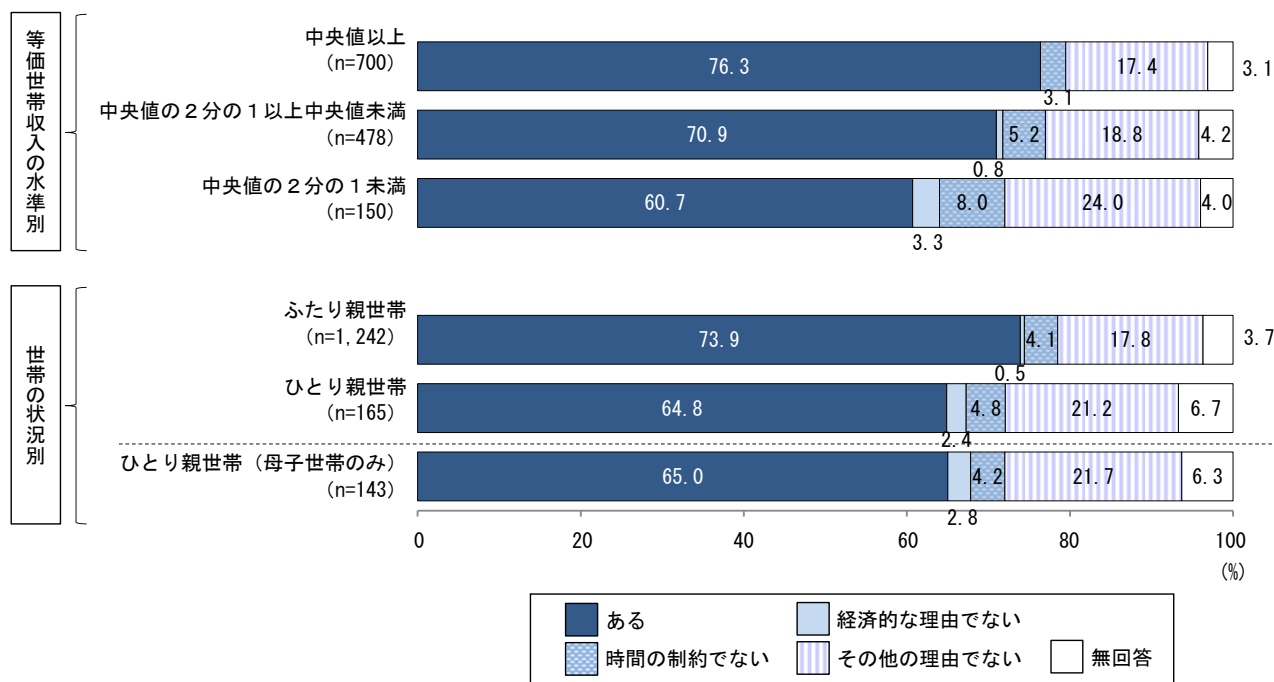
【全体】



子供と海水浴に行く体験の有無について、小学5年生の保護者では、「ある」が72.5%、「経済的な理由でない」が0.7%、「時間の制約でない」が4.2%、「その他の理由でない」が18.3%となっている。

中学2年生の保護者では、「ある」が59.2%、「経済的な理由でない」が1.6%、「時間の制約でない」が5.0%、「その他の理由でない」が25.6%となっている。

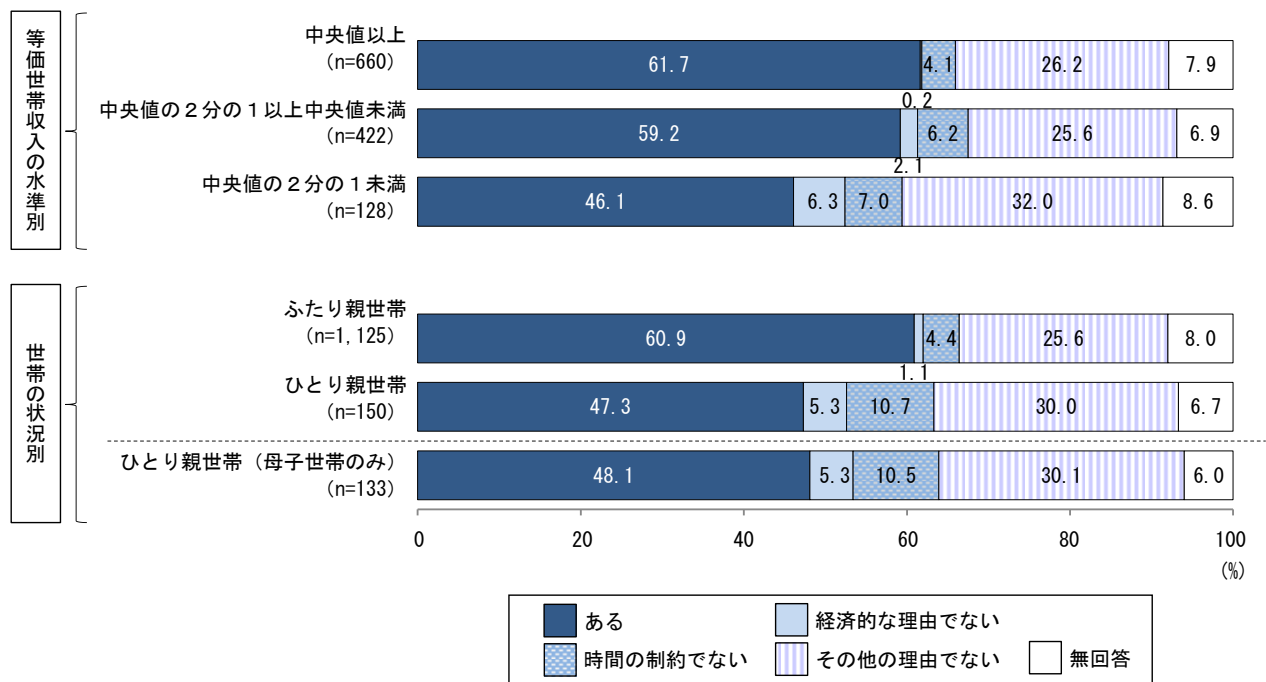
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的な理由でない」は、「中央値の2分の1以上中央値未満」では0.8%、「中央値の2分の1未満」では3.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的な理由でない」は、「ふたり親世帯」では0.5%、「ひとり親世帯全体」では2.4%、「母子世帯のみ」では2.8%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

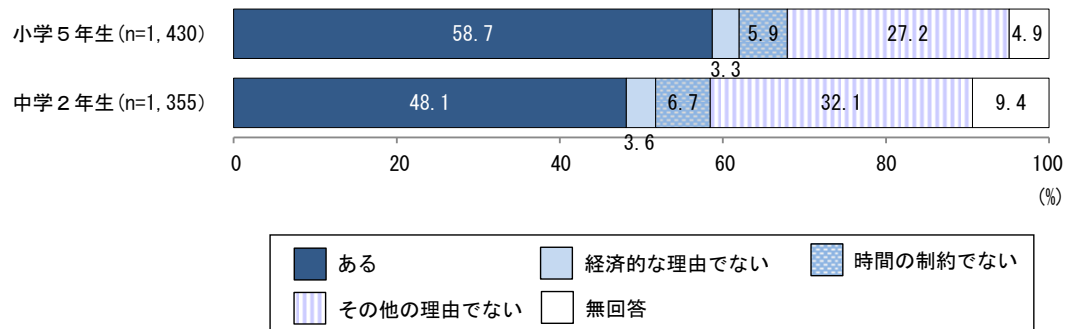


等価世帯収入の水準別にみると、「経済的な理由でない」は、「中央値以上」では0.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.1%、「中央値の2分の1未満」では6.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的な理由でない」は、「ふたり親世帯」では1.1%、「ひとり親世帯全体」では5.3%、「母子世帯のみ」では5.3%となっている。

= 博物館・科学館・美術館などに行く =

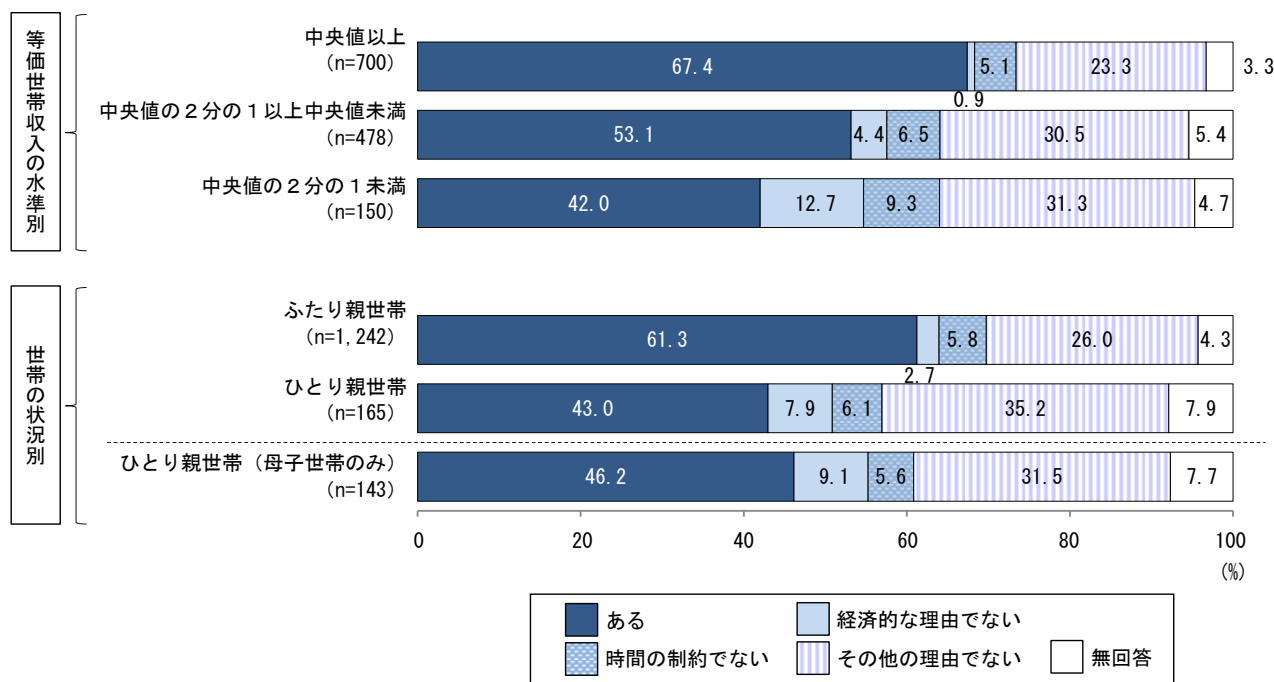
【全体】



子供と博物館・科学館・美術館などに行く体験の有無について、小学5年生の保護者では、「ある」が58.7%、「経済的な理由でない」が3.3%、「時間の制約でない」が5.9%、「その他の理由でない」が27.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「ある」が48.1%、「経済的な理由でない」が3.6%、「時間の制約でない」が6.7%、「その他の理由でない」が32.1%となっている。

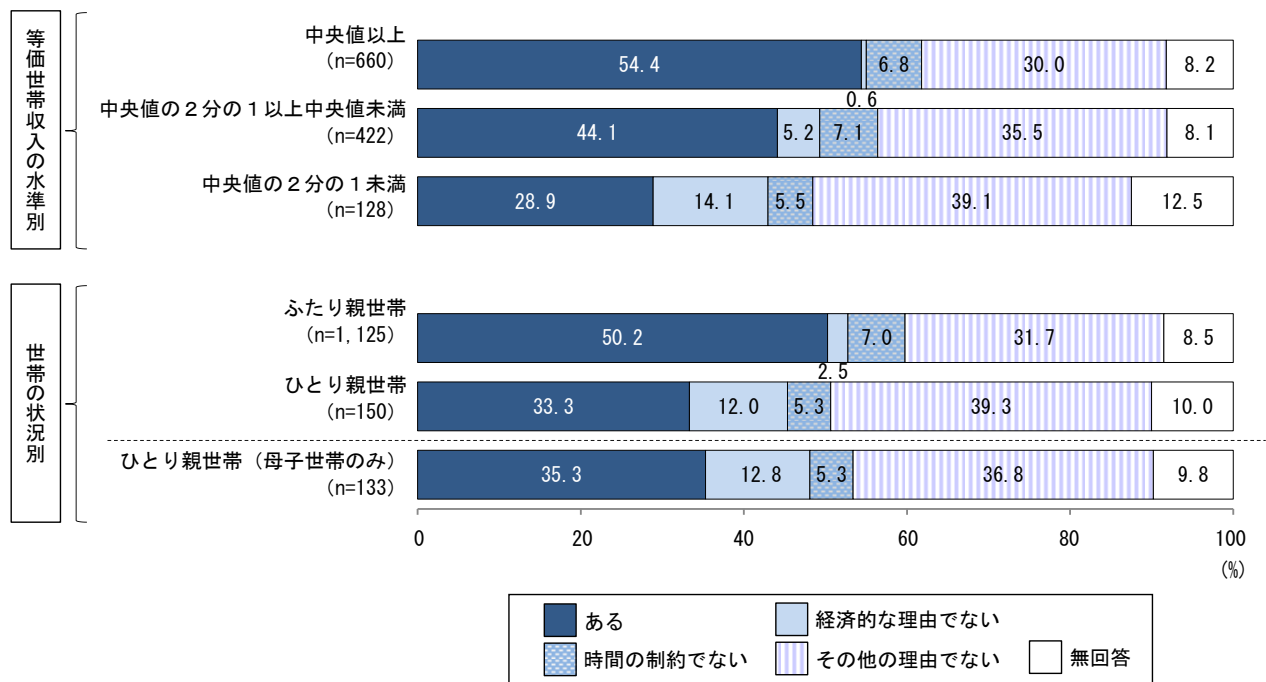
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的な理由でない」は、「中央値以上」では0.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.4%、「中央値の2分の1未満」では12.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的な理由でない」は、「ふたり親世帯」では2.7%、「ひとり親世帯全体」では7.9%、「母子世帯のみ」では9.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

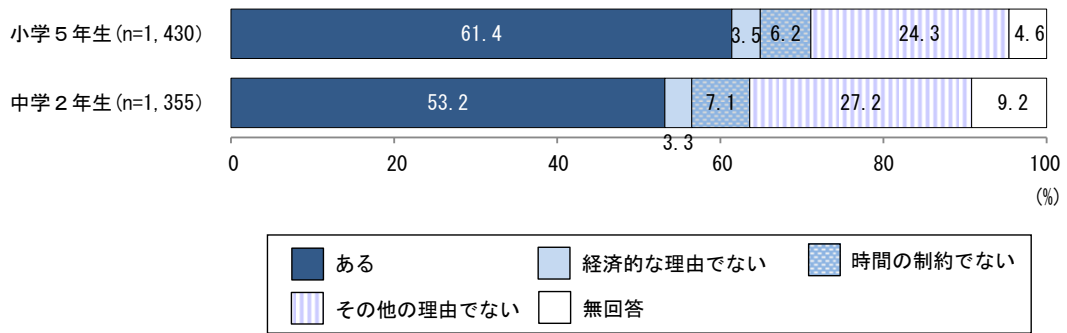


等価世帯収入の水準別にみると、「経済的な理由でない」は、「中央値以上」では0.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では5.2%、「中央値の2分の1未満」では14.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的な理由でない」は、「ふたり親世帯」では2.5%、「ひとり親世帯全体」では12.0%、「母子世帯のみ」では12.8%となっている。

= キャンプやバーベキューに行く =

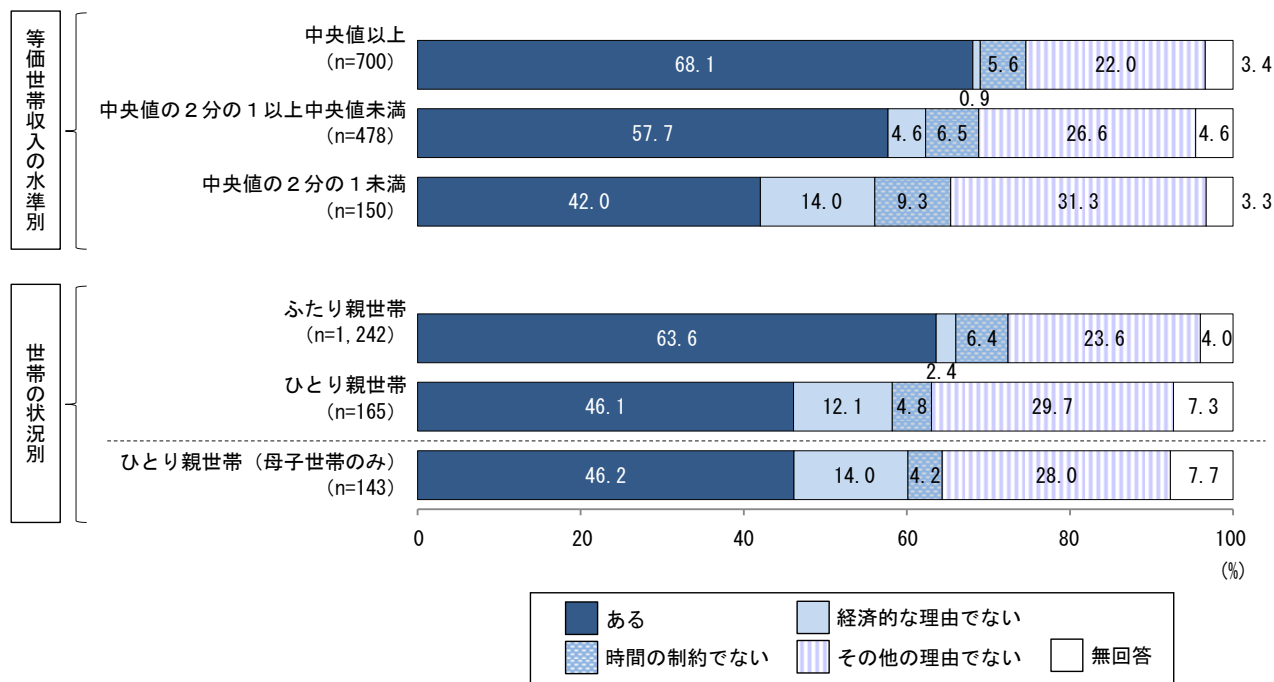
【全体】



子供とキャンプやバーベキューに行く体験の有無について、小学5年生の保護者では、「ある」が61.4%、「経済的な理由でない」が3.5%、「時間の制約でない」が6.2%、「その他の理由でない」が24.3%となっている。

中学2年生の保護者では、「ある」が53.2%、「経済的な理由でない」が3.3%、「時間の制約でない」が7.1%、「その他の理由でない」が27.2%となっている。

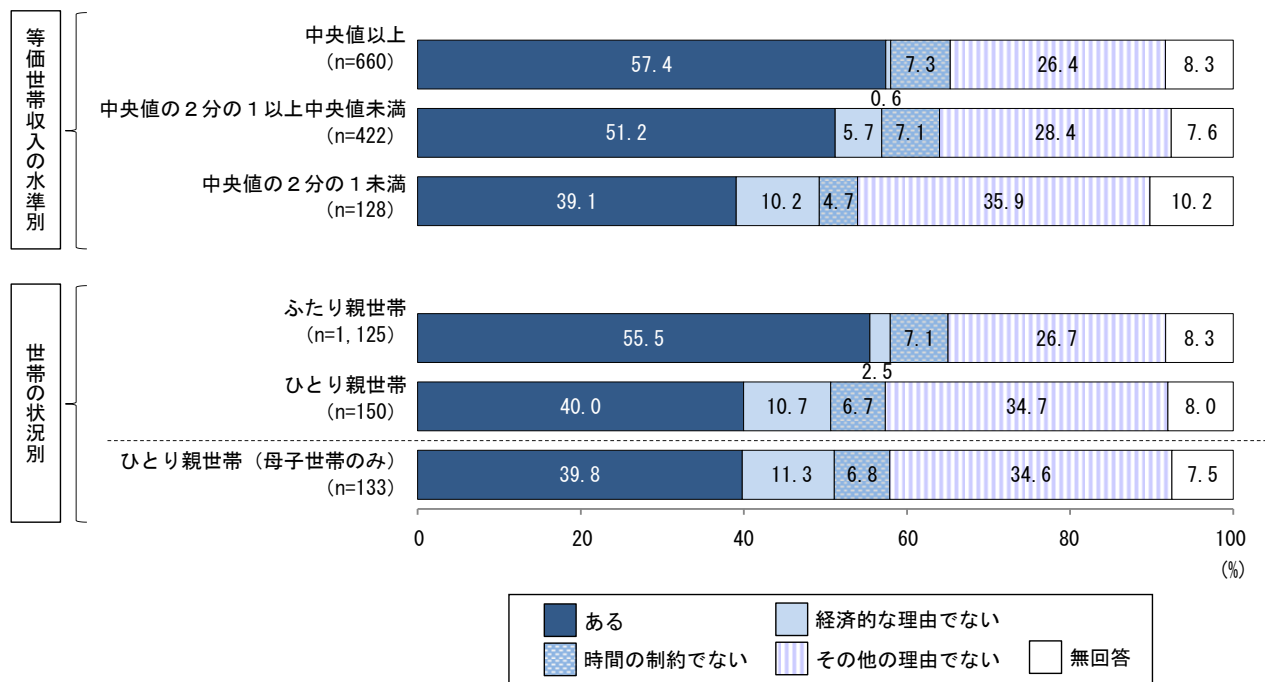
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的な理由でない」は、「中央値以上」では 0.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 4.6%、「中央値の2分の1未満」では 14.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的な理由でない」は、「ふたり親世帯」では 2.4%、「ひとり親世帯全体」では 12.1%、「母子世帯のみ」では 14.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

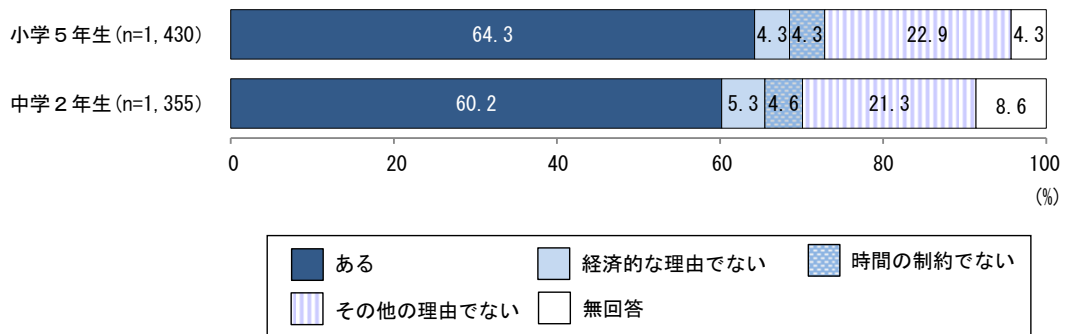


等価世帯収入の水準別にみると、「経済的な理由でない」は、「中央値以上」では 0.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 5.7%、「中央値の2分の1未満」では 10.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的な理由でない」は、「ふたり親世帯」では 2.5%、「ひとり親世帯全体」では 10.7%、「母子世帯のみ」では 11.3%となっている。

= スポーツ観戦や劇場に行く =

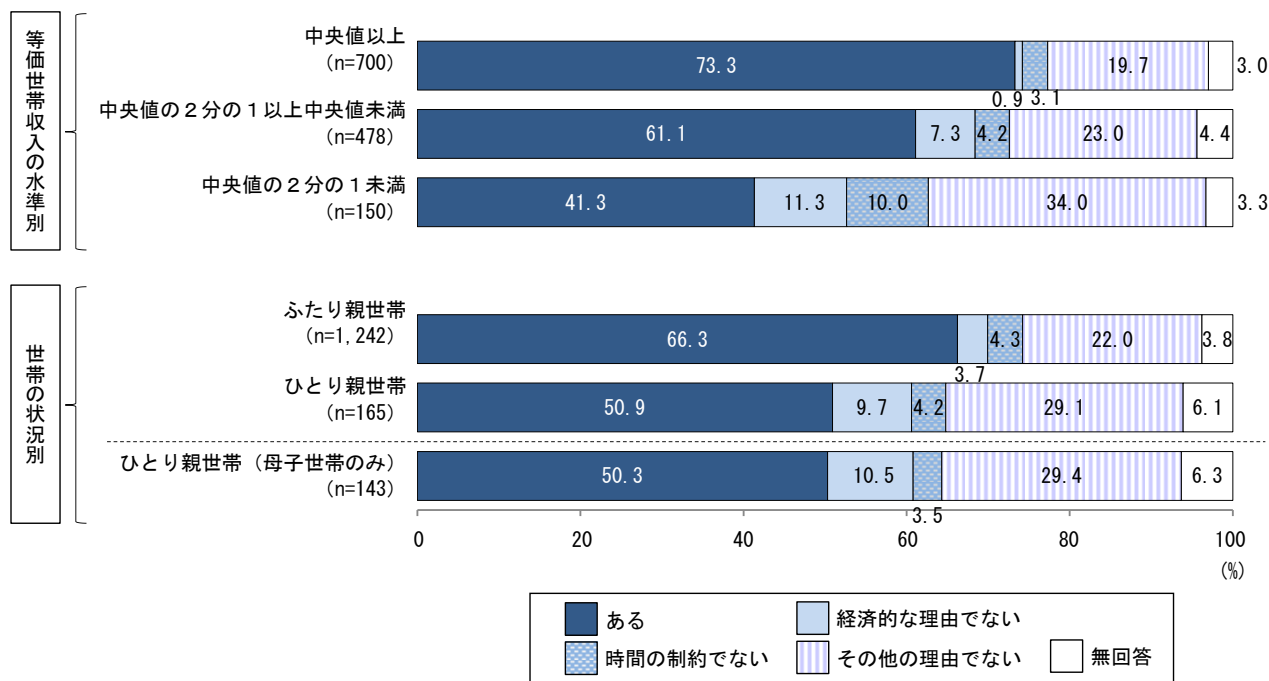
【全体】



子供とスポーツ観戦や劇場に行く体験の有無について、小学5年生の保護者では、「ある」が64.3%、「経済的な理由でない」が4.3%、「時間の制約でない」が4.3%、「その他の理由でない」が22.9%となっている。

中学2年生の保護者では、「ある」が60.2%、「経済的な理由でない」が5.3%、「時間の制約でない」が4.6%、「その他の理由でない」が21.3%となっている。

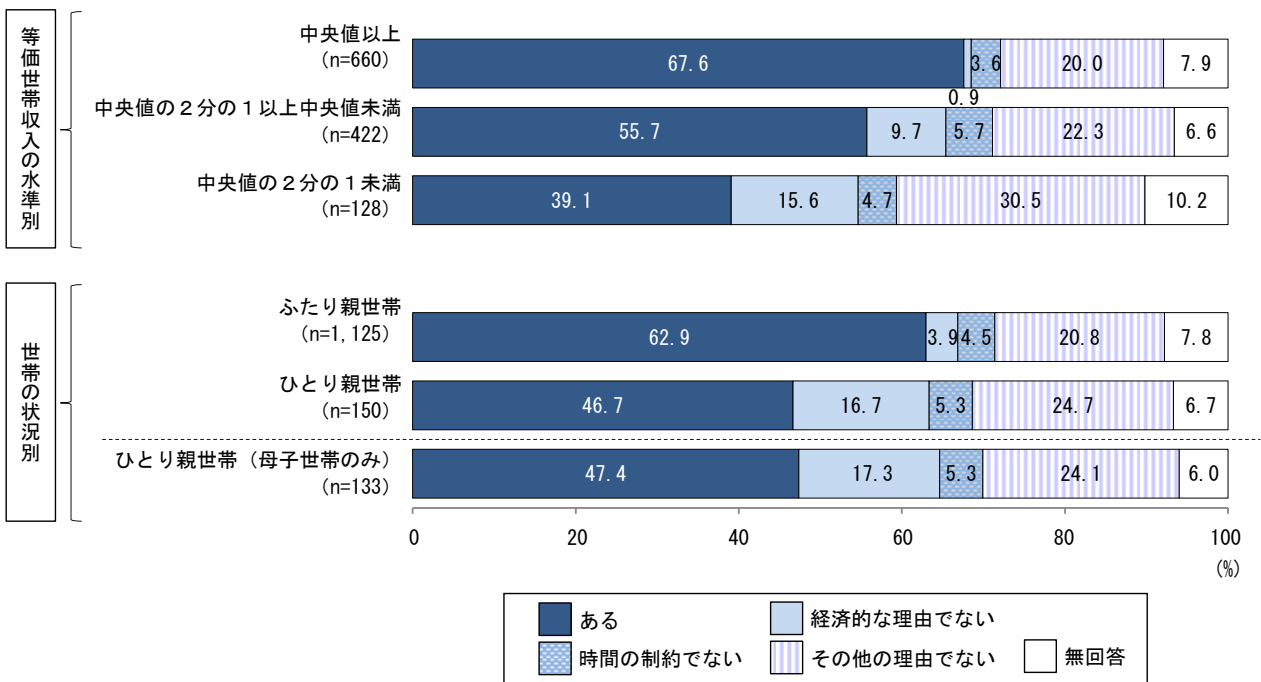
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的な理由でない」は、「中央値以上」では0.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では7.3%、「中央値の2分の1未満」では11.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的な理由でない」は、「ふたり親世帯」では3.7%、「ひとり親世帯全体」では9.7%、「母子世帯のみ」では10.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

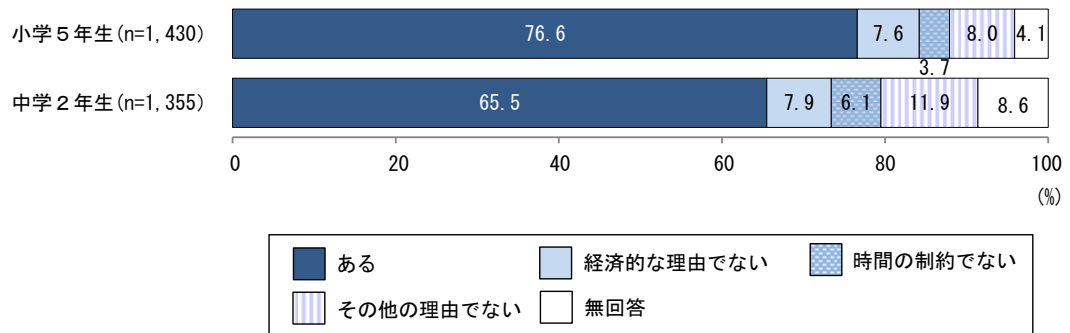


等価世帯収入の水準別にみると、「経済的な理由でない」は、「中央値以上」では0.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では9.7%、「中央値の2分の1未満」では15.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的な理由でない」は、「ふたり親世帯」では3.9%、「ひとり親世帯全体」では16.7%、「母子世帯のみ」では17.3%となっている。

= 遊園地やテーマパークに行く =

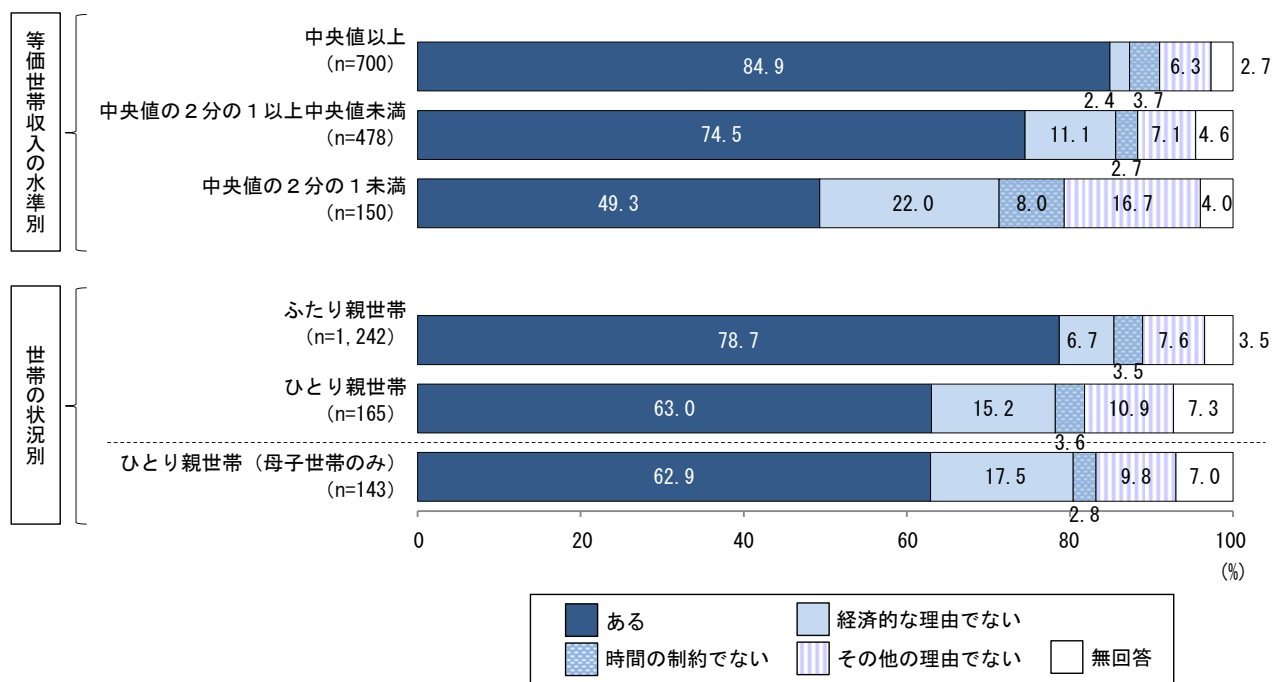
【全体】



子供と遊園地やテーマパークに行く体験の有無について、小学5年生の保護者では、「ある」が76.6%、「経済的な理由でない」が7.6%、「時間の制約でない」が3.7%、「その他の理由でない」が8.0%となっている。

中学2年生の保護者では、「ある」が65.5%、「経済的な理由でない」が7.9%、「時間の制約でない」が6.1%、「その他の理由でない」が11.9%となっている。

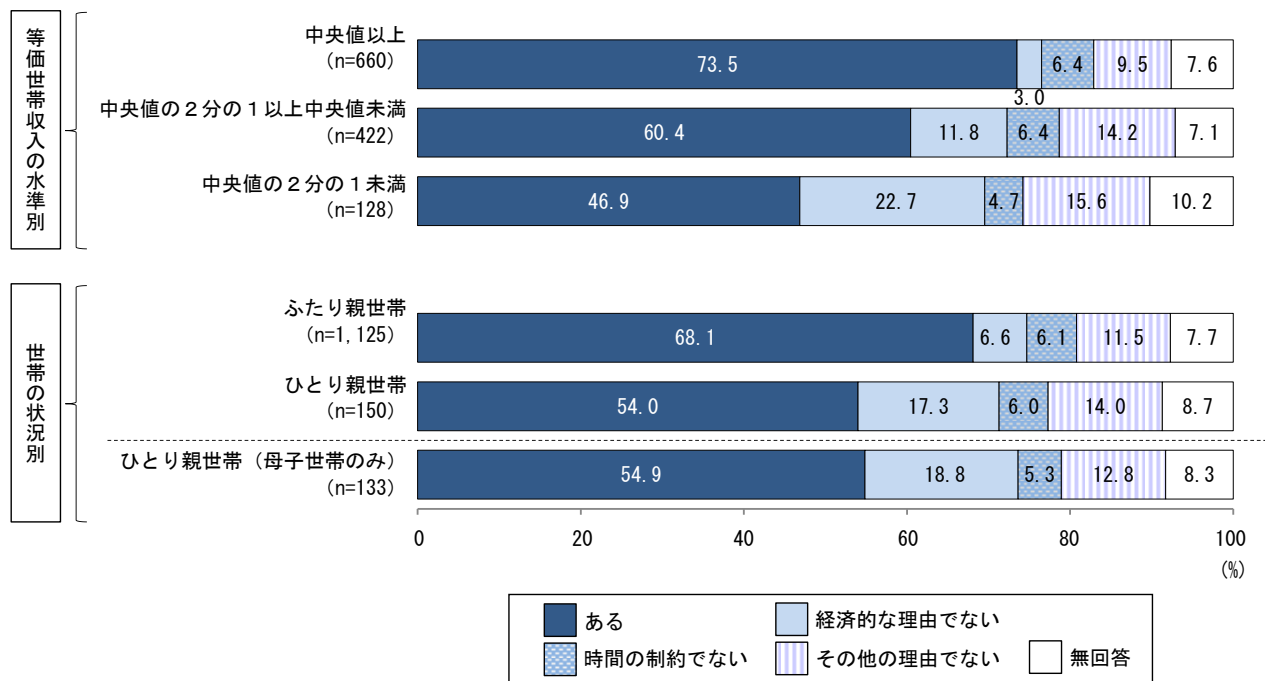
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的な理由でない」は、「中央値以上」では2.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では11.1%、「中央値の2分の1未満」では22.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「経済的な理由でない」は、「ふたり親世帯」では6.7%、「ひとり親世帯全体」では15.2%、「母子世帯のみ」では17.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「経済的な理由でない」は、「中央値以上」では3.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では11.8%、「中央値の2分の1未満」では22.7%となっている。

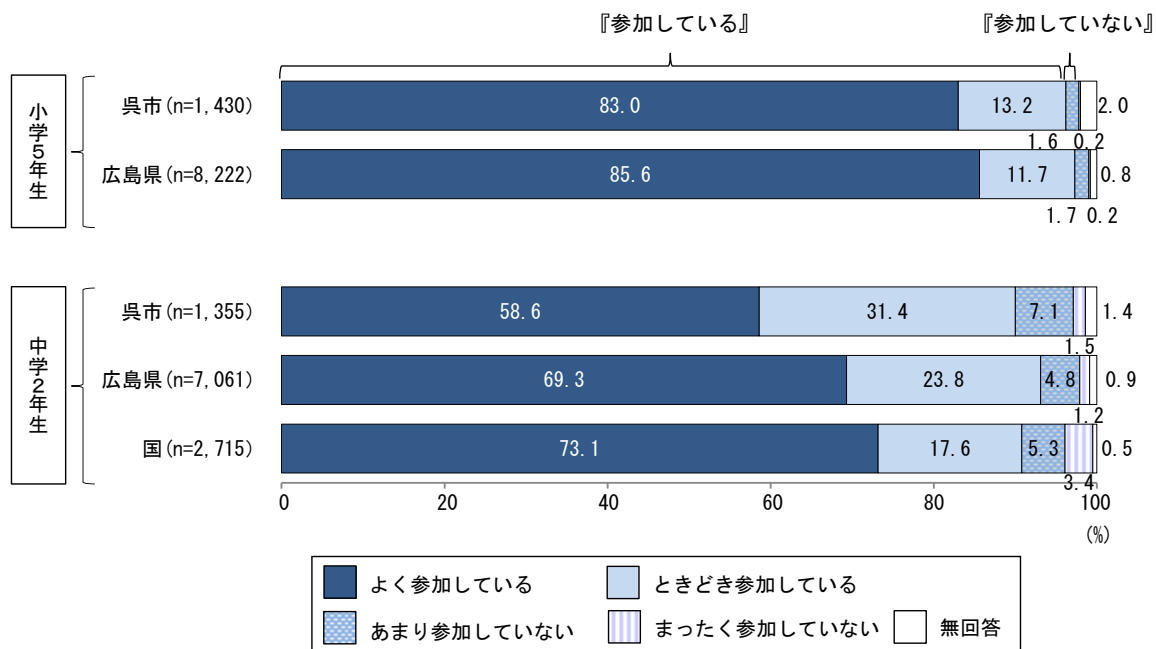
世帯の状況別にみると、「経済的な理由でない」は、「ふたり親世帯」では6.6%、「ひとり親世帯全体」では17.3%、「母子世帯のみ」では18.8%となっている。

(5) 学校との関わり・参加

保護者票問 15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(SA)

= 授業参観や運動会などの学校行事への参加 =

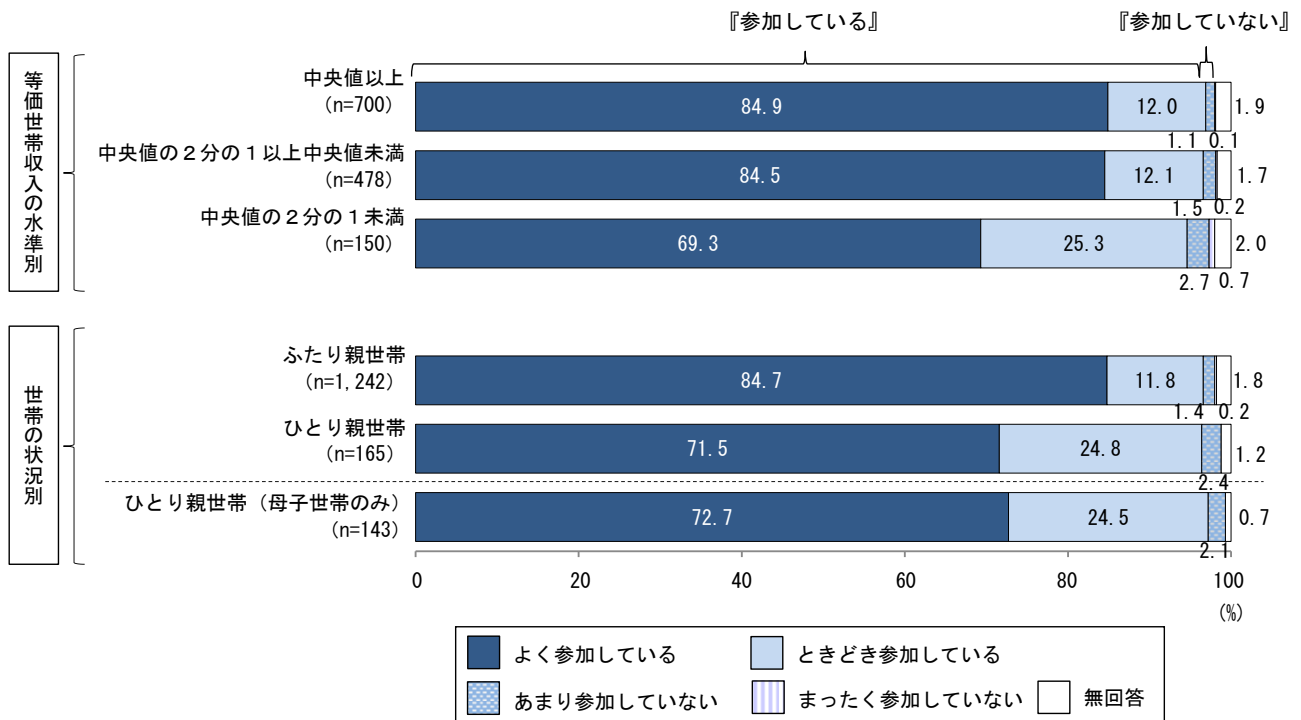
【全体】



授業参観や運動会などの学校行事について、小学5年生の保護者では、『参加している（「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合）』が96.2%、『参加していない（「あまり参加していない」と「まったく参加していない」を合わせた割合）』が1.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『参加している』が90.0%、『参加していない』が8.6%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

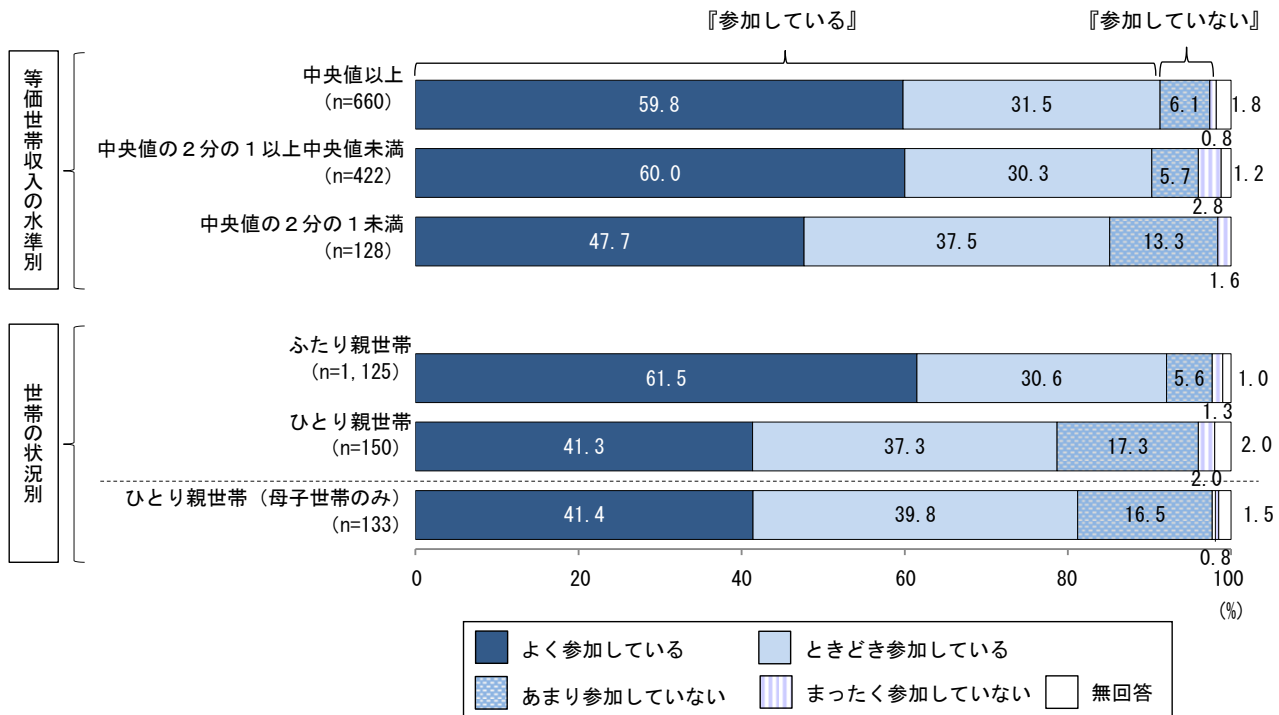
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では96.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では96.6%、「中央値の2分の1未満」では94.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では96.5%、「ひとり親世帯全体」では96.3%、「母子世帯のみ」では97.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

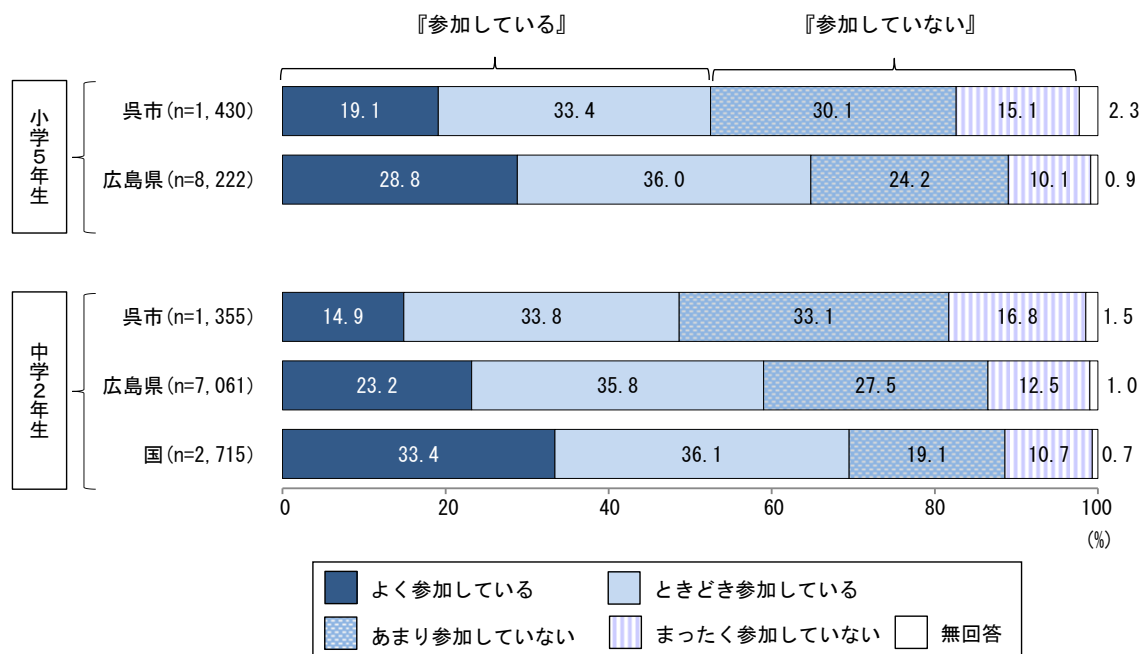


等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では91.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では90.3%、「中央値の2分の1未満」では85.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では92.1%、「ひとり親世帯全体」では78.6%、「母子世帯のみ」では81.2%となっている。

= P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加 =

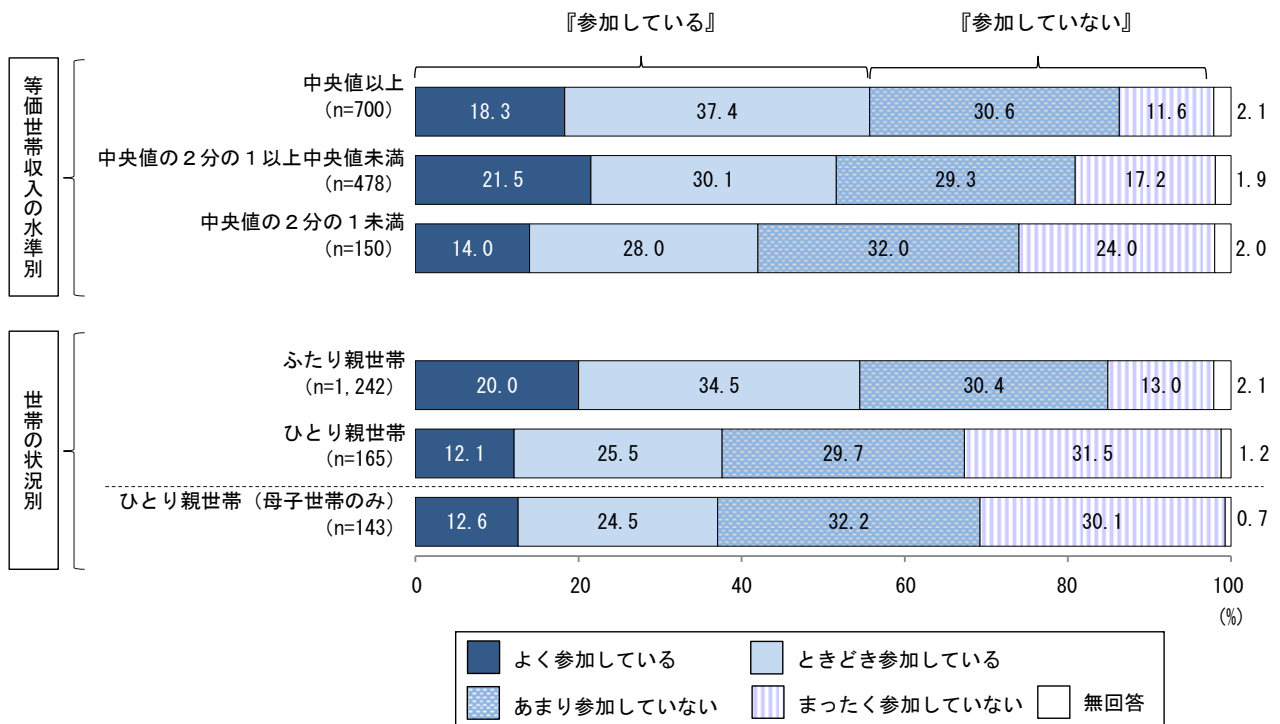
【全体】



P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどについて、小学5年生の保護者では、『参加している』が 52.5%、『参加していない』が 45.2%となっている。広島県と比較すると、『参加している』は、呉市（52.5%）が広島県（64.8%）を 12.3 ポイント下回っている。

中学2年生の保護者では、『参加している』が 48.7%、『参加していない』が 49.9%となっている。広島県と比較すると、『参加していない』は、呉市（49.9%）が広島県（40.0%）を 9.9 ポイント上回っている。国と比較すると、『参加していない』は、呉市（49.9%）が国（29.8%）を 20.1 ポイント上回っている。

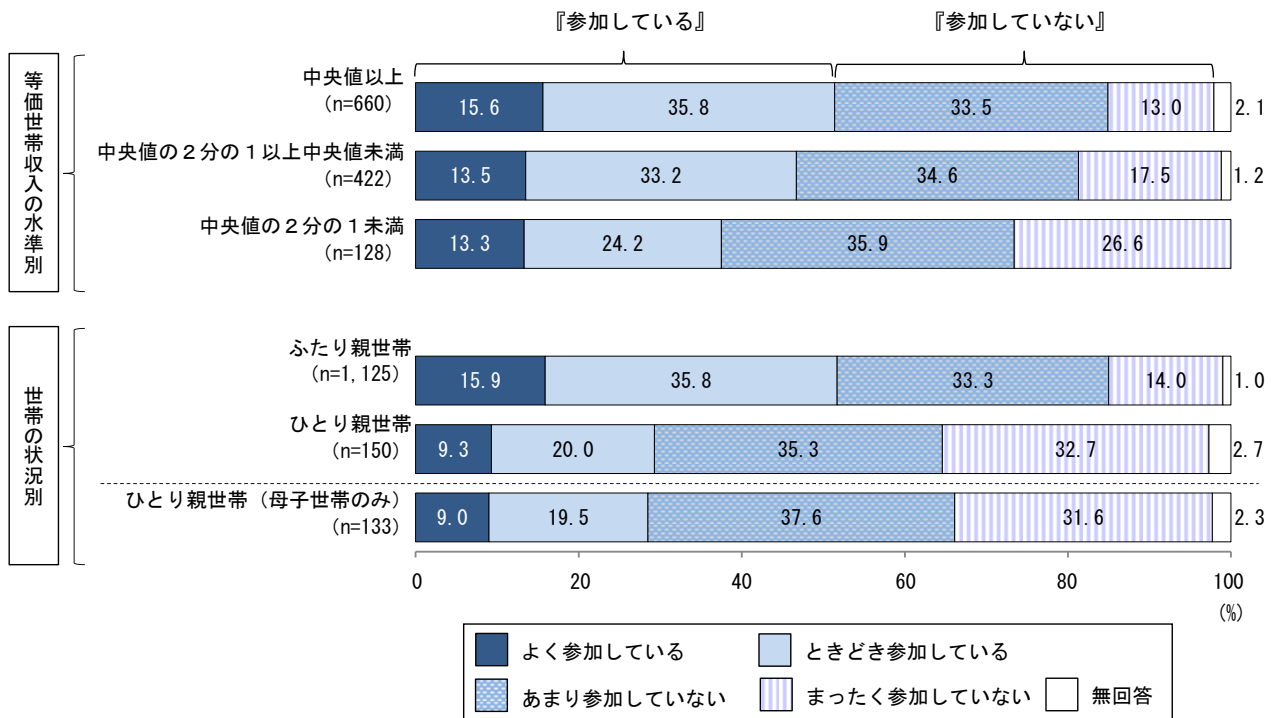
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では55.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では51.6%、「中央値の2分の1未満」では42.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では54.5%、「ひとり親世帯全体」では37.6%、「母子世帯のみ」では37.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



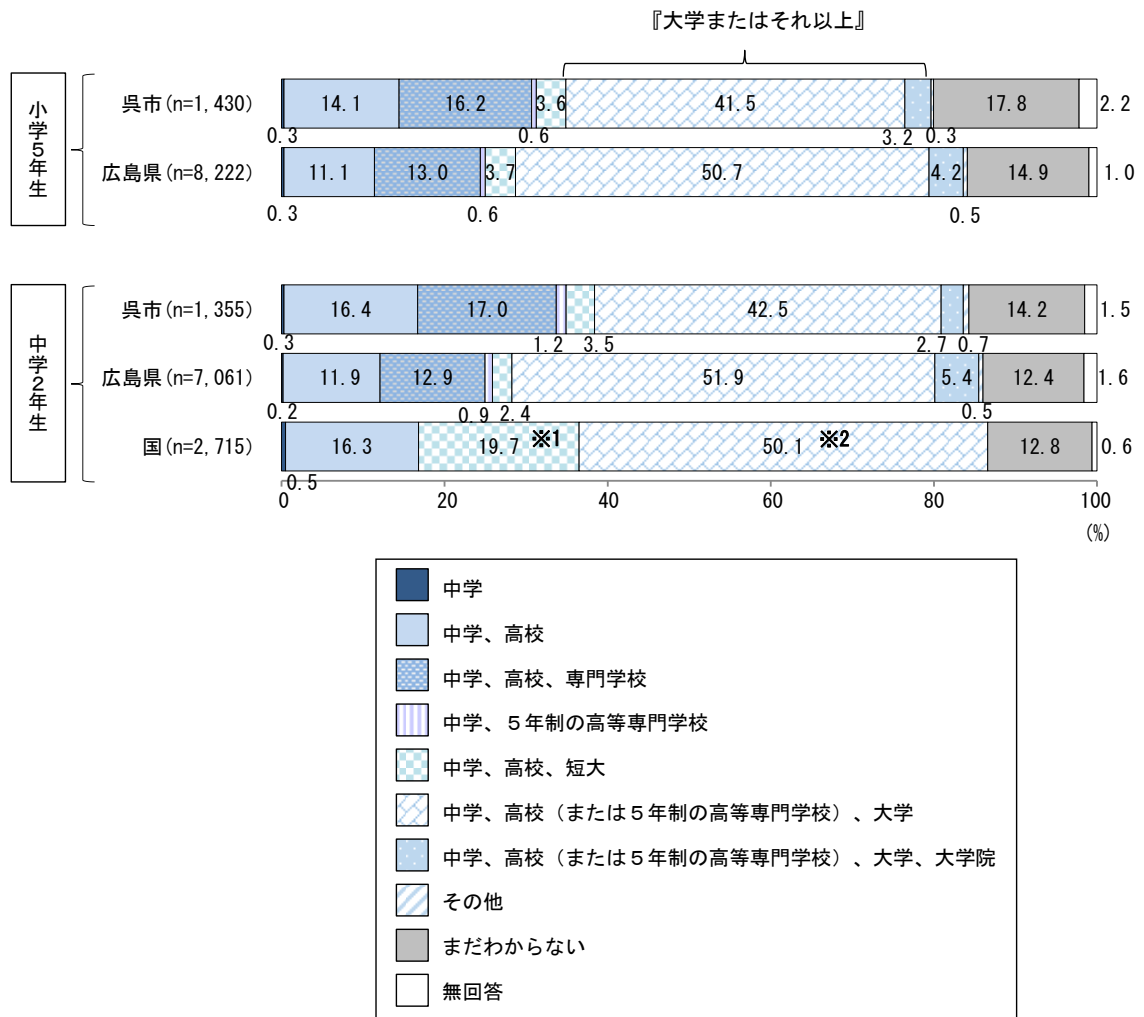
等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では51.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では46.7%、「中央値の2分の1未満」では37.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では51.7%、「ひとり親世帯全体」では29.3%、「母子世帯のみ」では28.5%となっている。

(6) 進学期待・展望

保護者票問 16. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(SA)

【全体】

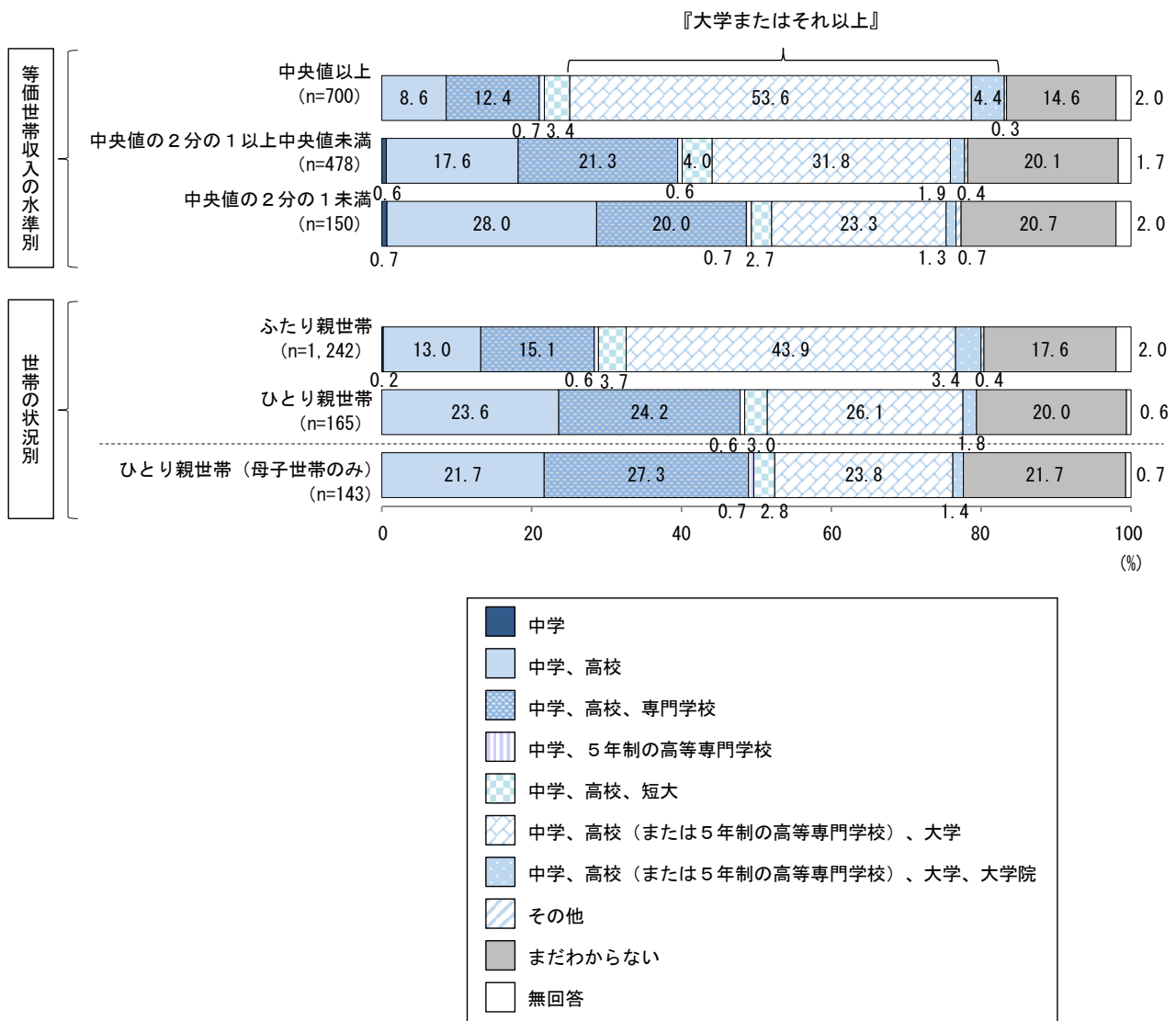


※1：国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている
 ※2：国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

子供が将来どの学校に進学すると思うかについて、小学5年生の保護者では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が41.5%と最も高く、次いで「まだわからない」が17.8%、「中学、高校、専門学校」が16.2%などの順となっている。広島県と比較すると、『大学またはそれ以上（「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」を合わせた割合）』は、呉市（44.7%）が広島県（54.9%）を10.2ポイント下回っている。

中学2年生の保護者では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が42.5%と最も高く、次いで中学、高校、専門学校」が17.0%、「中学、高校」が16.4%などの順となっている。広島県と比較すると、『大学またはそれ以上』は、呉市（45.2%）が広島県（57.3%）を12.1ポイント下回っている。国と比較すると、『大学またはそれ以上』は、大きな差はみられない。

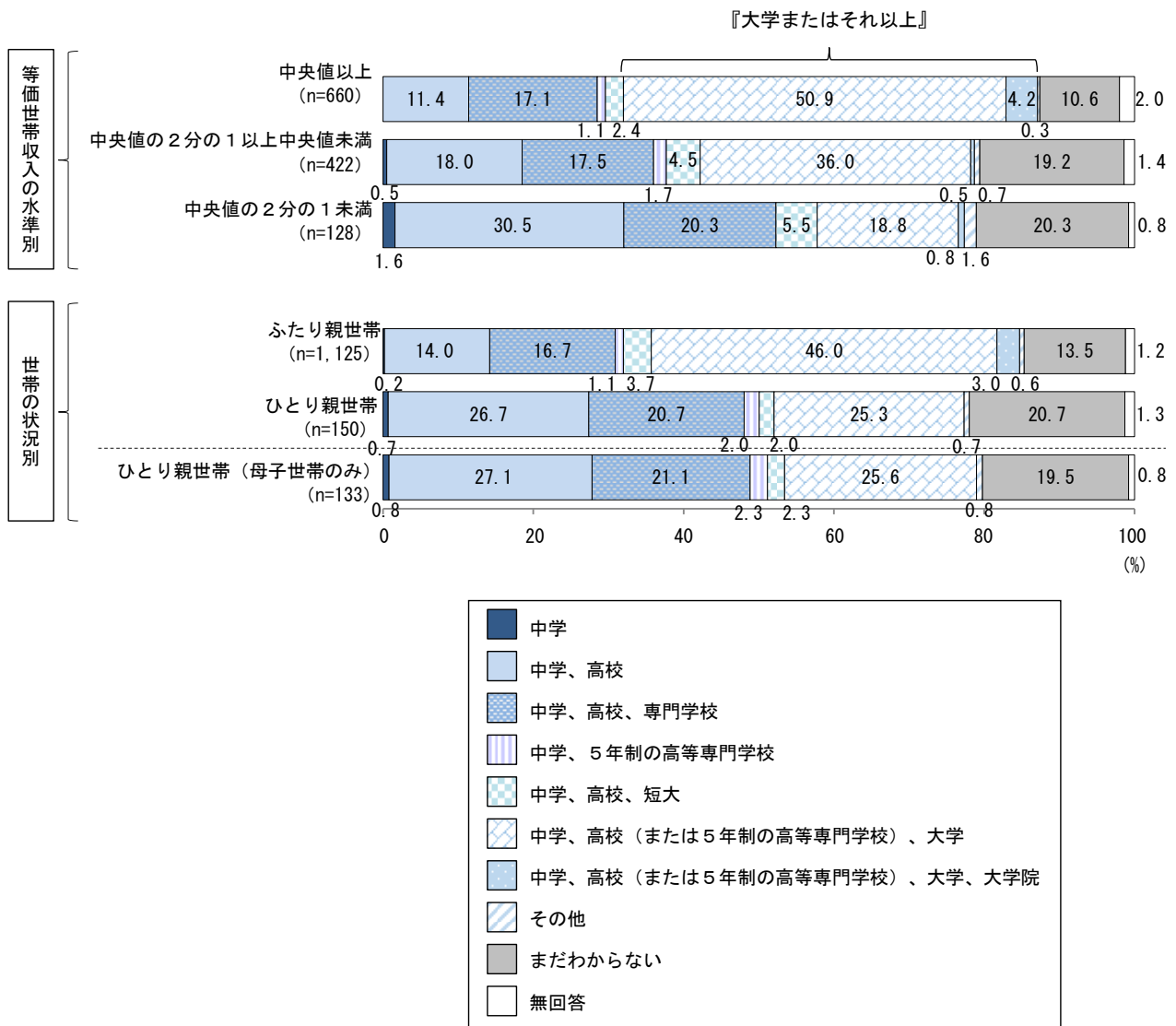
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では58.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では33.7%、「中央値の2分の1未満」では24.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では47.3%、「ひとり親世帯全体」では27.9%、「母子世帯のみ」では25.2%となっている。

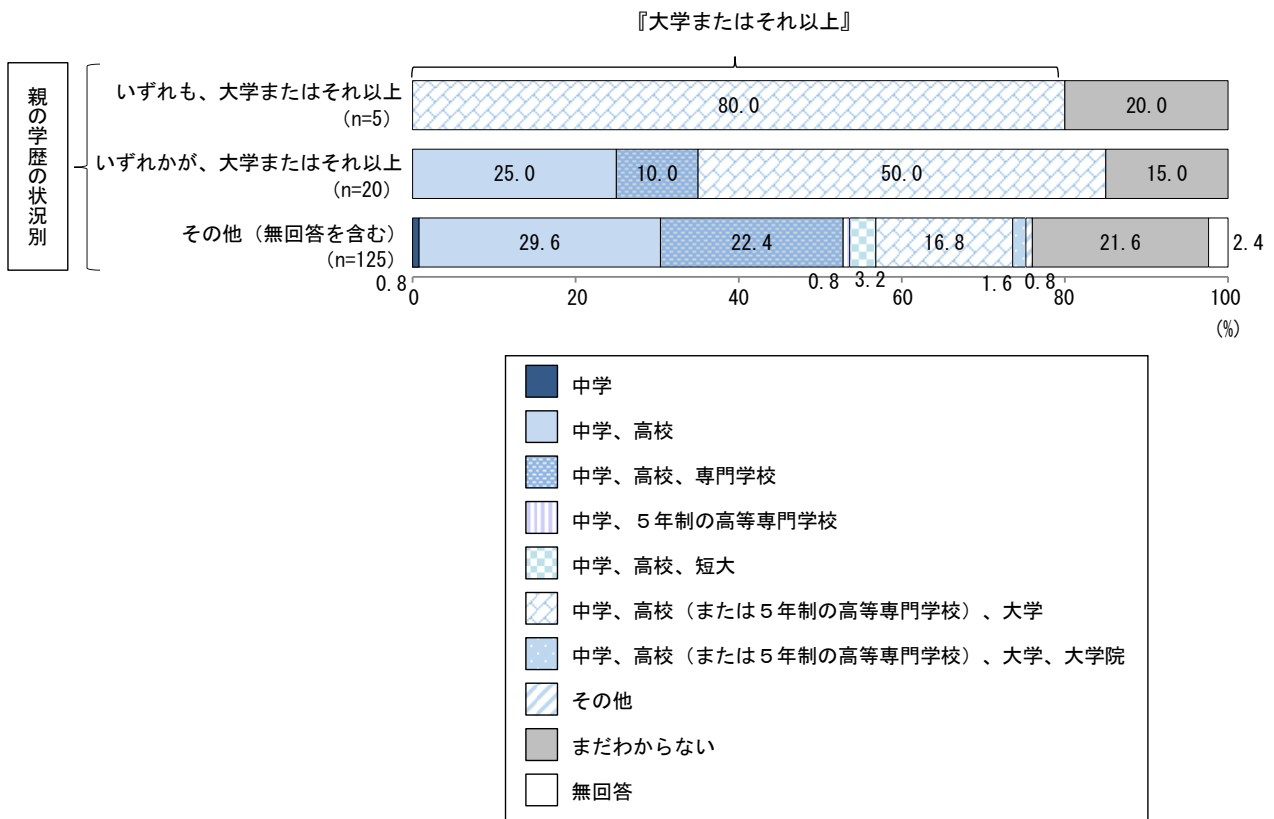
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では55.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では36.5%、「中央値の2分の1未満」では19.6%となっている。

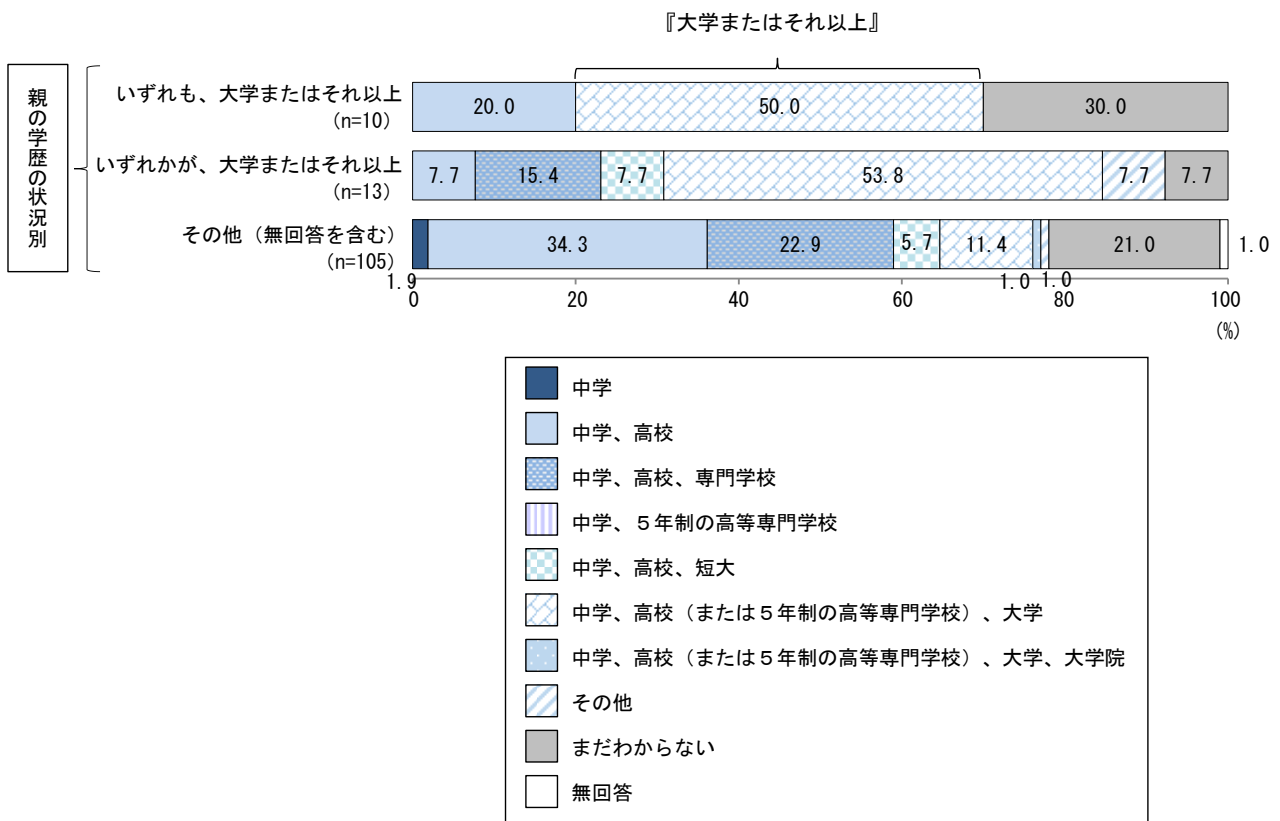
世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では49.0%、「ひとり親世帯全体」では25.3%、「母子世帯のみ」では25.6%となっている。

【親の学歴状況別（等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合）_小学5年生の保護者】



親の学歴状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「いずれも、大学またはそれ以上」では80.0%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では50.0%となっている。

【親の学歴状況別（等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合）_中学2年生の保護者】

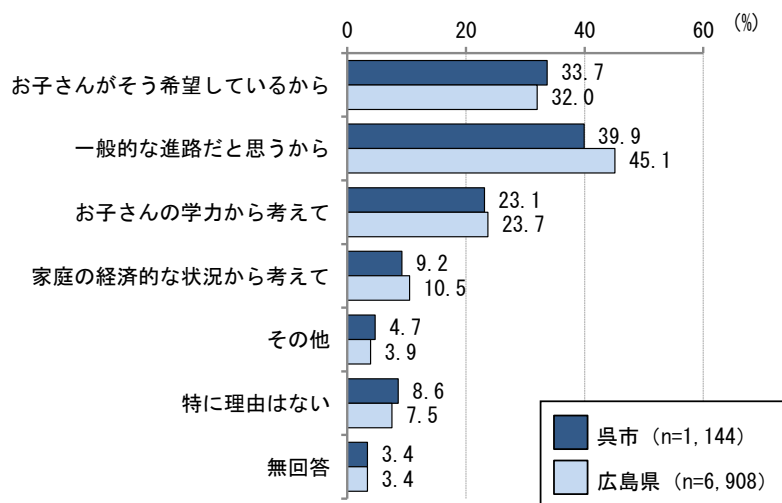


親の学歴状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「いずれも、大学またはそれ以上」では50.0%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では53.8%となっている。

※問 16 で「1～8」と答えた方に

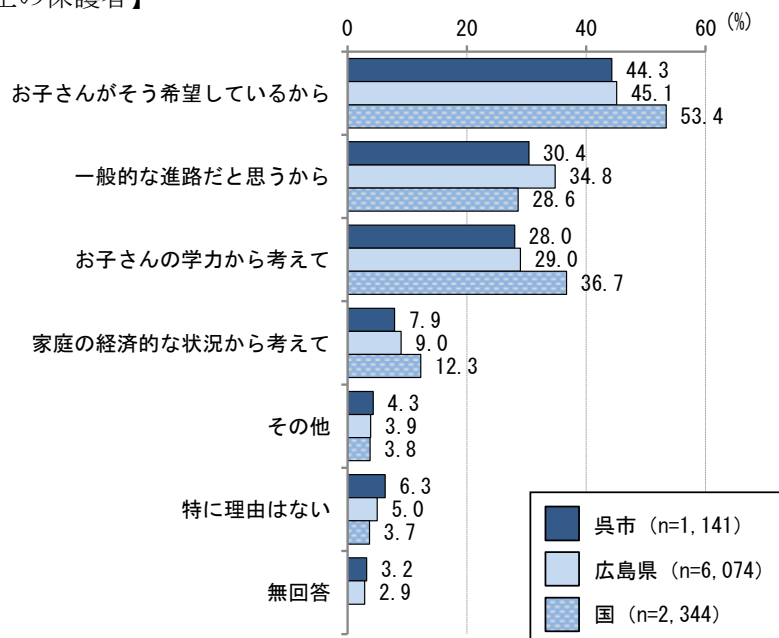
保護者票問 17. その理由は何ですか。(MA)

【小学5年生の保護者】



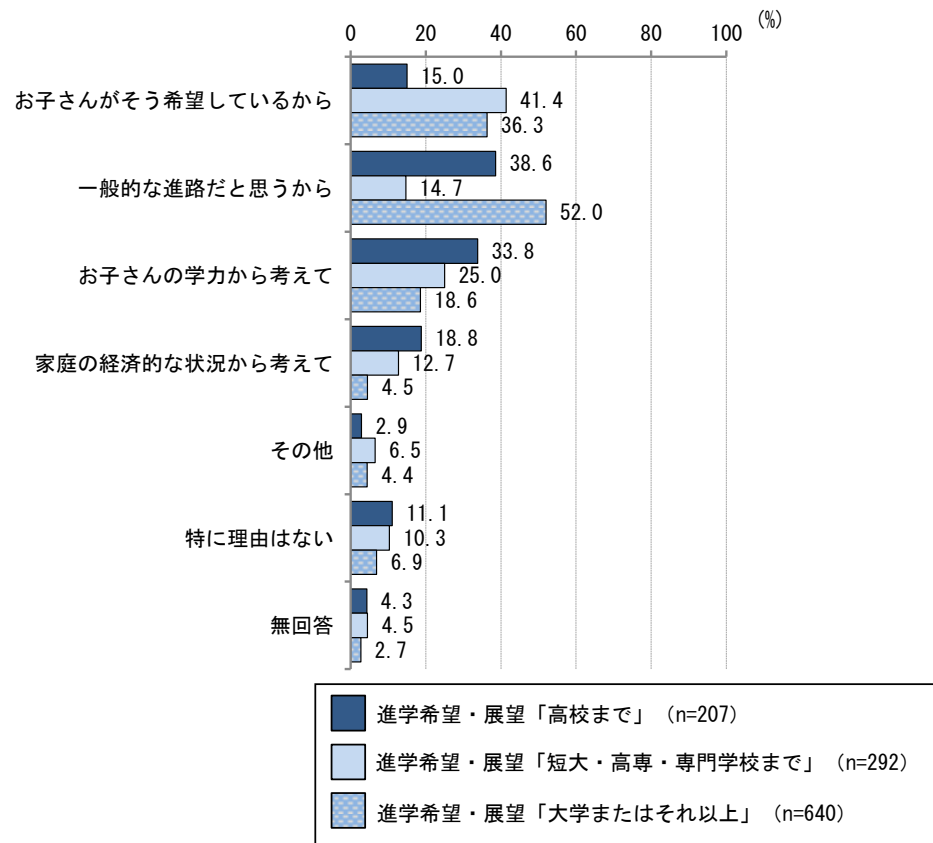
子供の進学学校に関する希望・展望について保護者がそう考える理由について、小学5年生の保護者では、「一般的な進路だと思うから」が39.9%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」が33.7%、「お子さんの学力から考えて」が23.1%などの順となっている。広島県と比較すると、「一般的な進路だと思うから」は、呉市（39.9%）が広島県（45.1%）を5.2ポイント下回っている。

【中学2年生の保護者】



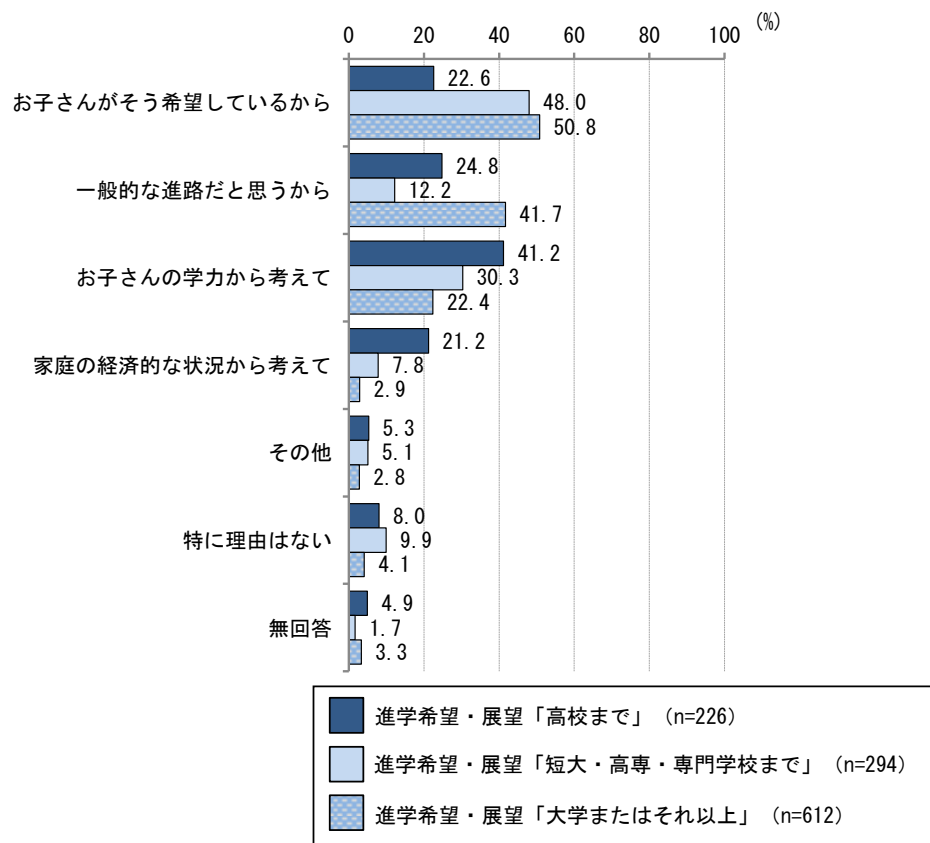
子供の進学学校に関する希望・展望について保護者がそう考える理由について、中学2年生の保護者では、「お子さんがそう希望しているから」が44.3%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」が30.4%、「お子さんの学力から考えて」が28.0%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「お子さんがそう希望しているから」は、呉市（44.3%）が国（53.4%）を9.1ポイント下回っている。

【子供の進学学校に関する希望・展望の回答別_小学5年生の保護者】



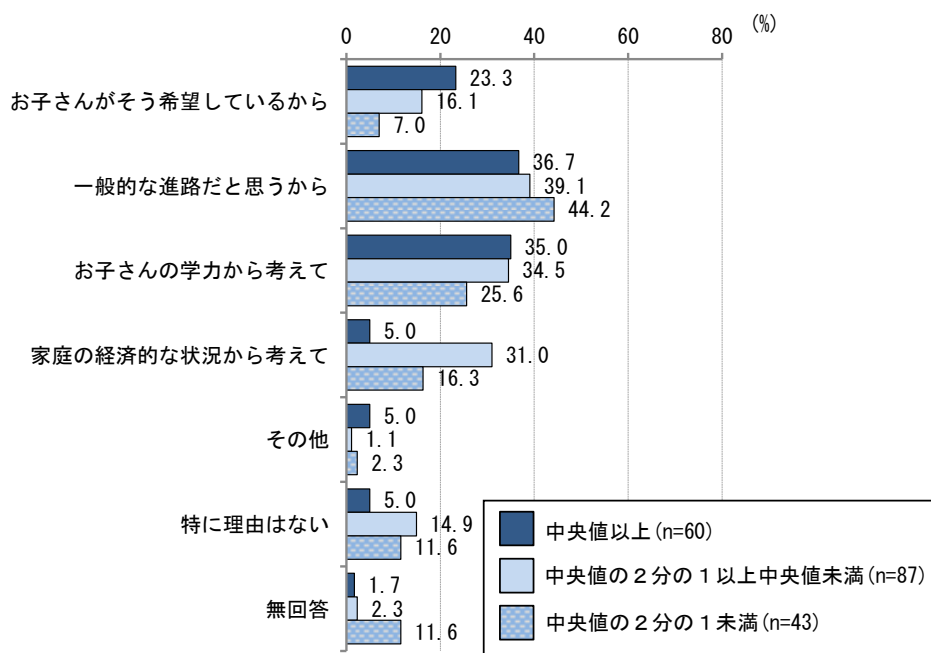
子供の進学学校に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「お子さんの学力から考えて」が33.8%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

【子供の進学学校に関する希望・展望の回答別_中学2年生の保護者】



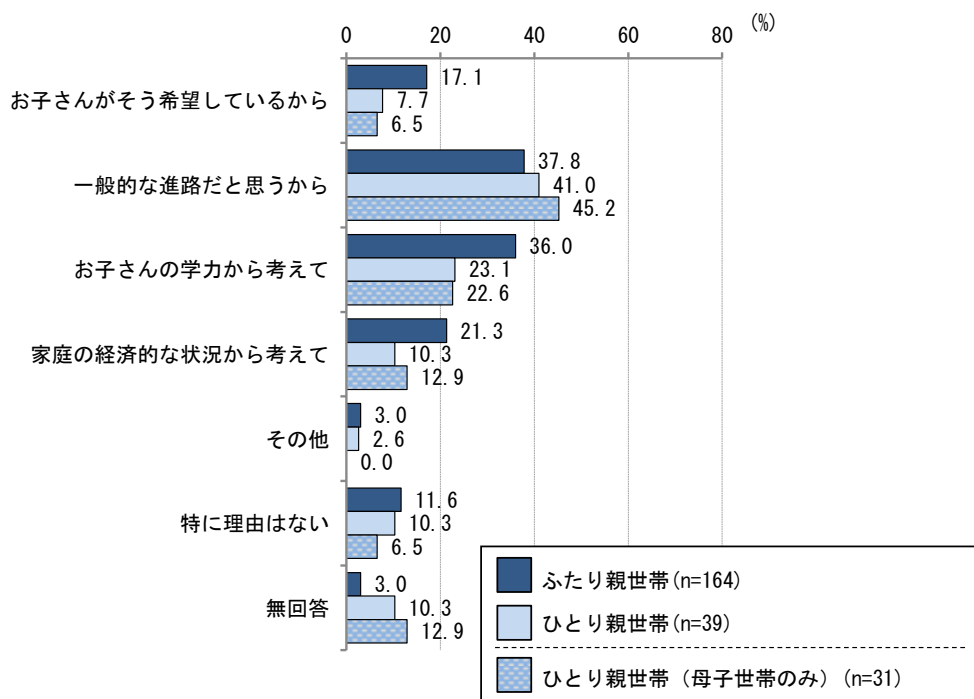
子供の進学学校に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「お子さんの学力から考えて」が41.2%、「家庭の経済的な状況から考えて」が21.2%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

【等価世帯収入の水準別（高校までを希望している場合）_小学5年生の保護者】



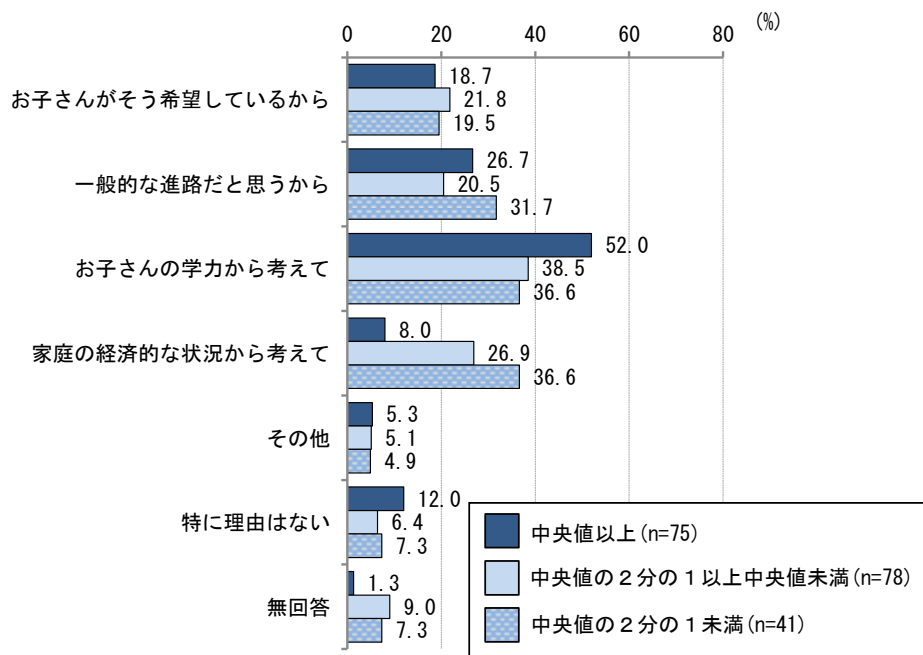
『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「一般的な進路だと思うから」が44.2%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（高校までを希望している場合）_小学5年生の保護者】



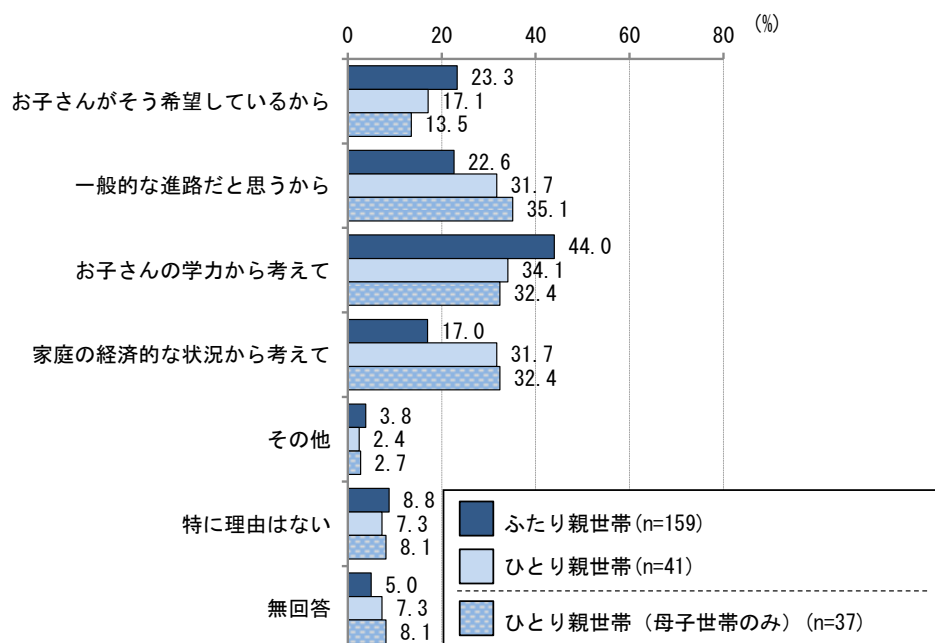
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「お子さんがそう希望しているから」が7.7%、「お子さんの学力から考えて」が23.1%、「家庭の経済的な状況から考えて」が10.3%と低くなっている。

【等価世帯収入の水準別（高校までを希望している場合）_中学2年生の保護者】



『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「一般の進路だと思うから」が31.7%、「家庭の経済的な状況から考えて」が36.6%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（高校までを希望している場合）_中学2年生の保護者】



『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家庭の経済的な状況から考えて」が31.7%と高くなっている。

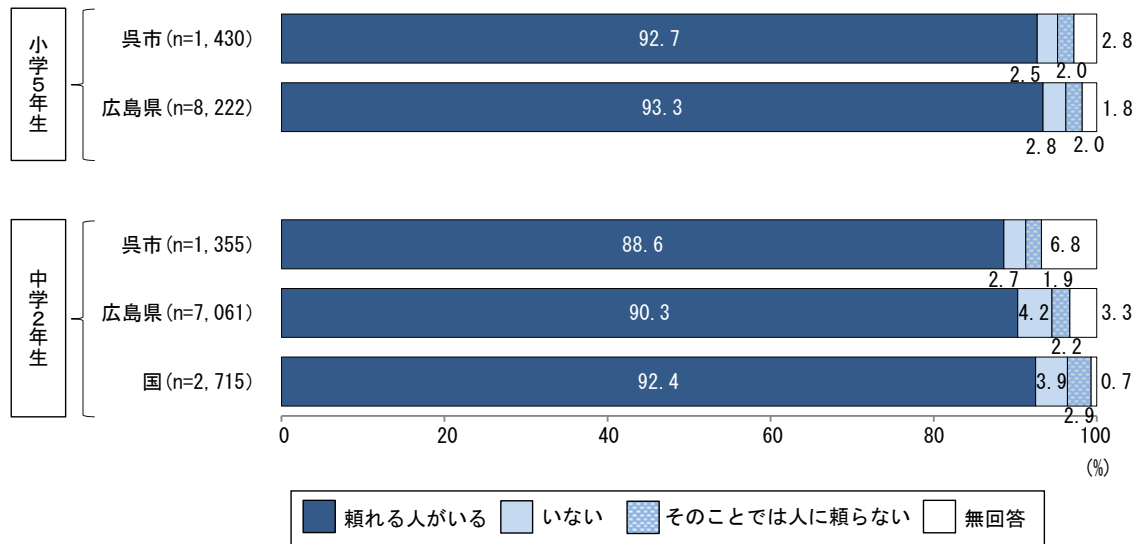
(7) 頼れる人の有無・相手

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(SA)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(MA)

＝ 子育てに関する相談 ＝

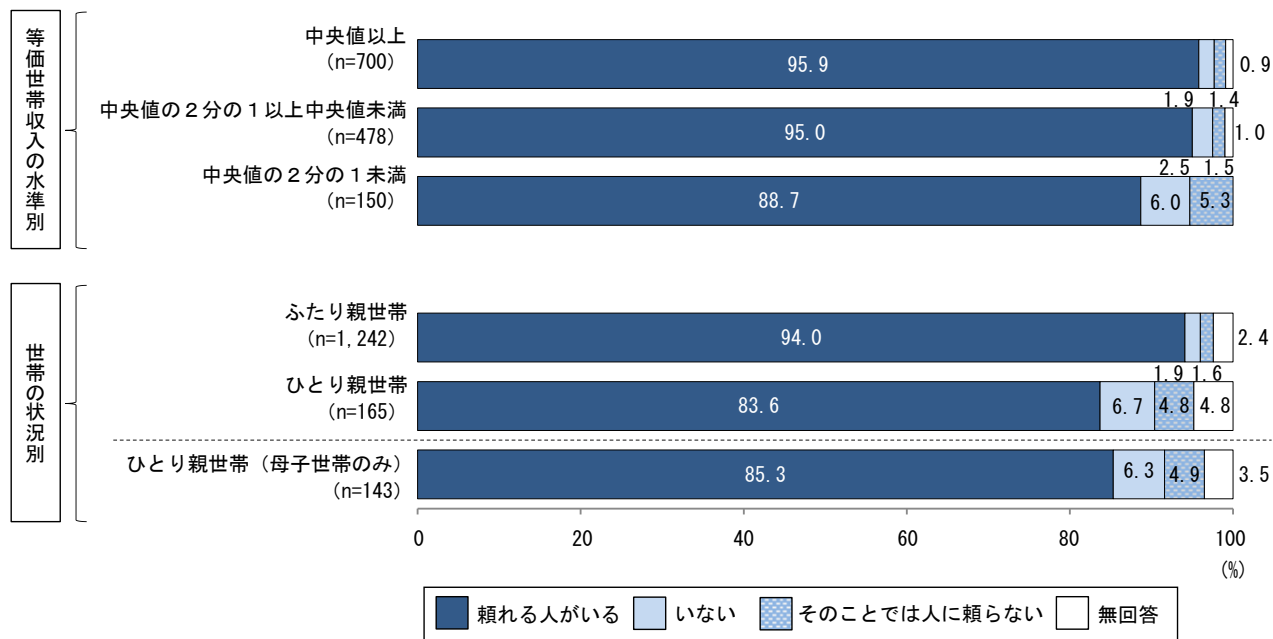
【全体】



子育てに関する相談について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が92.7%、「いない」が2.5%、「そのことでは人に頼らない」が2.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が88.6%、「いない」が2.7%、「そのことでは人に頼らない」が1.9%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

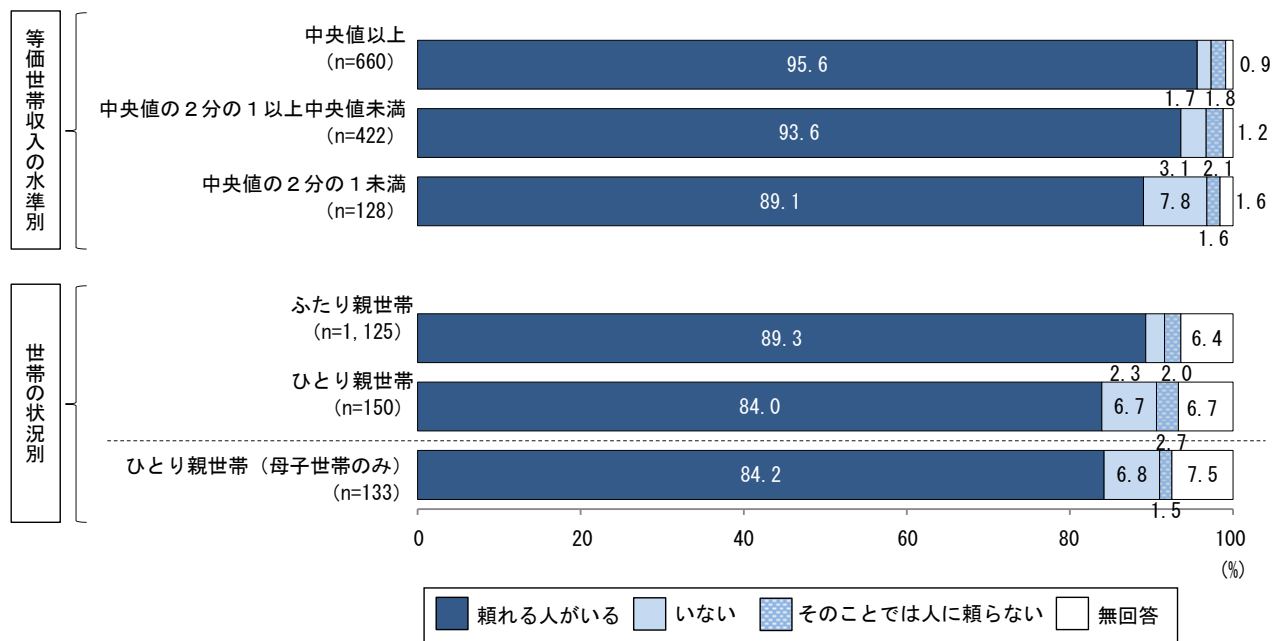
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では1.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.5%、「中央値の2分の1未満」では6.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では1.9%、「ひとり親世帯全体」では6.7%、「母子世帯のみ」では6.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

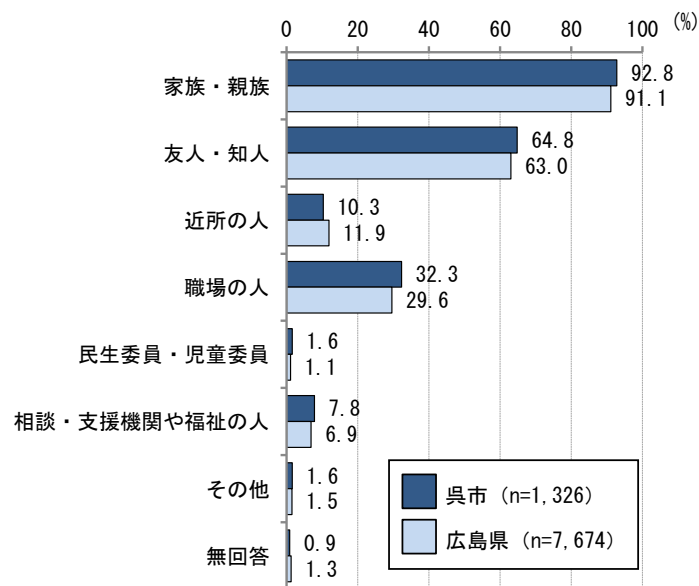


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では1.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では3.1%、「中央値の2分の1未満」では7.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では2.3%、「ひとり親世帯全体」では6.7%、「母子世帯のみ」では6.8%となっている。

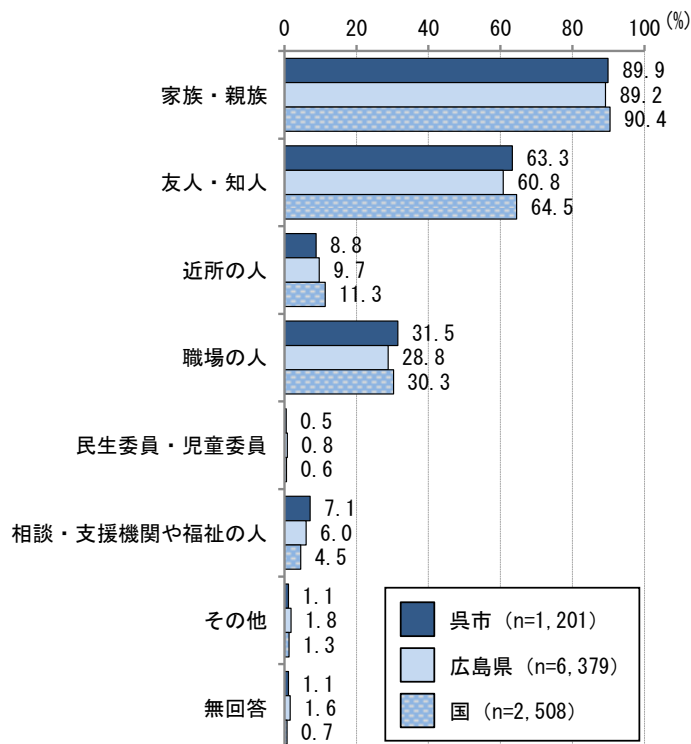
<「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手>

【小学5年生の保護者】



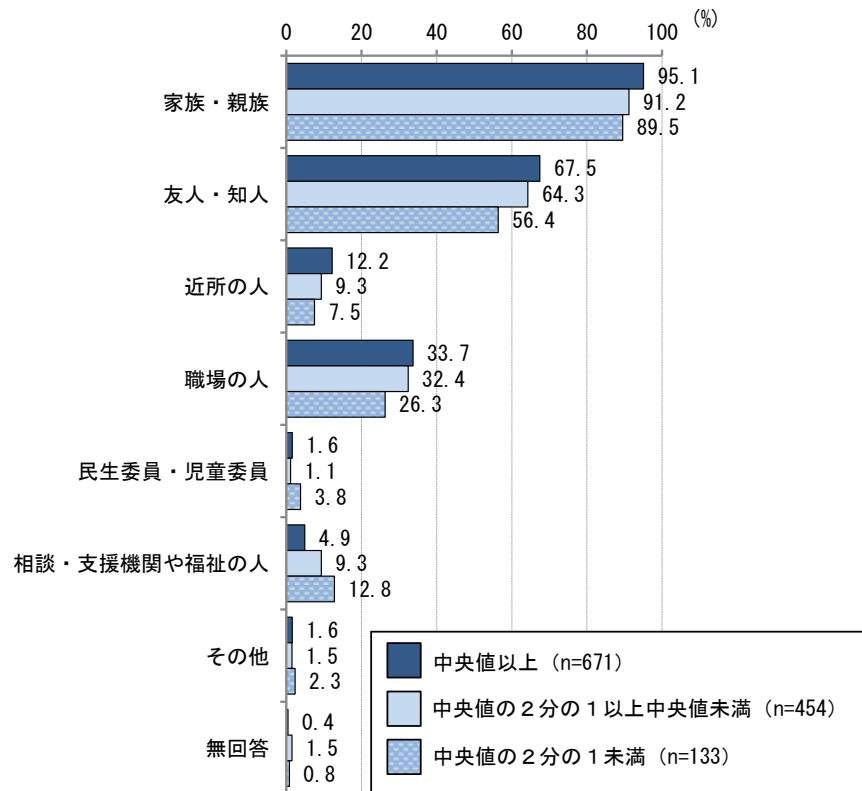
「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が92.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が64.8%、「職場の人」が32.3%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生の保護者】



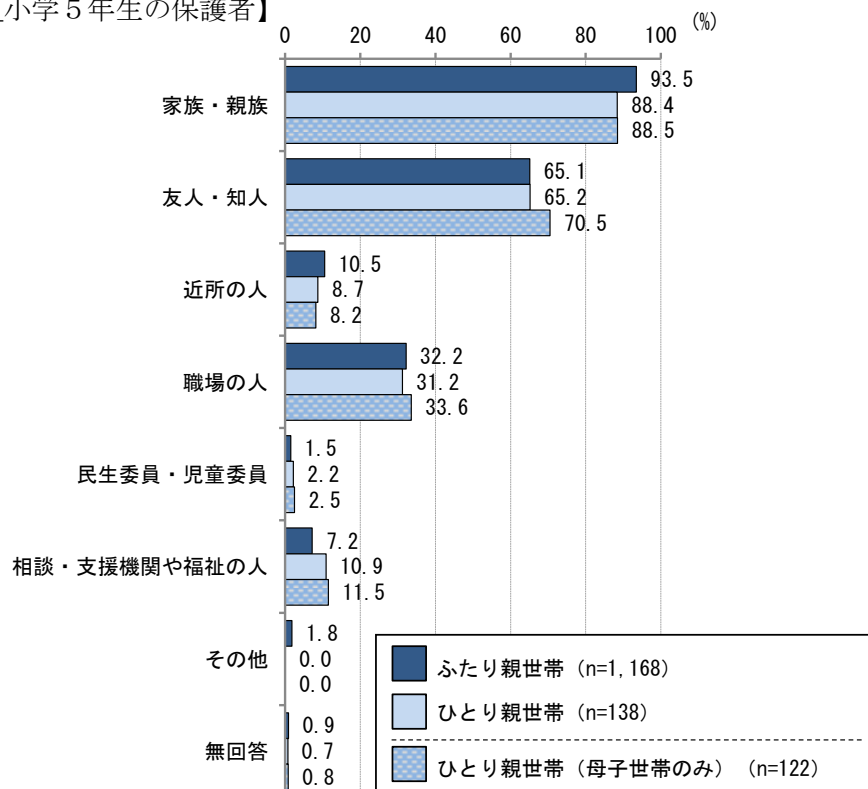
「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手について、中学2年生の保護者では、「家族・親族」が89.9%と最も高く、次いで「友人・知人」が63.3%、「職場の人」が31.5%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



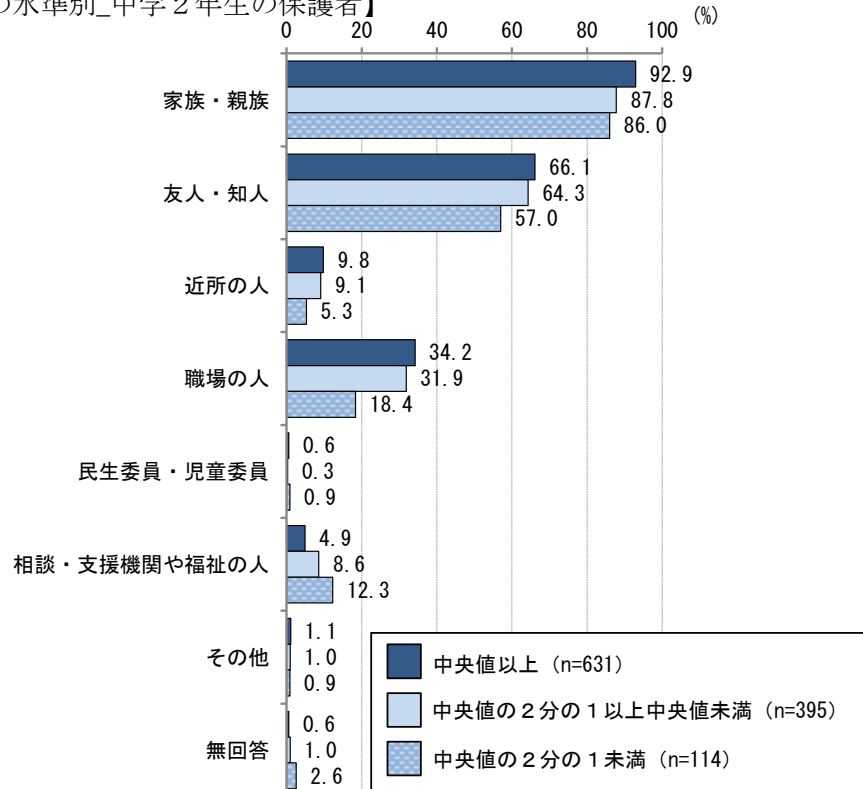
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家族・親族」が89.5%、「友人・知人」が56.4%、「職場の人」が26.3%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



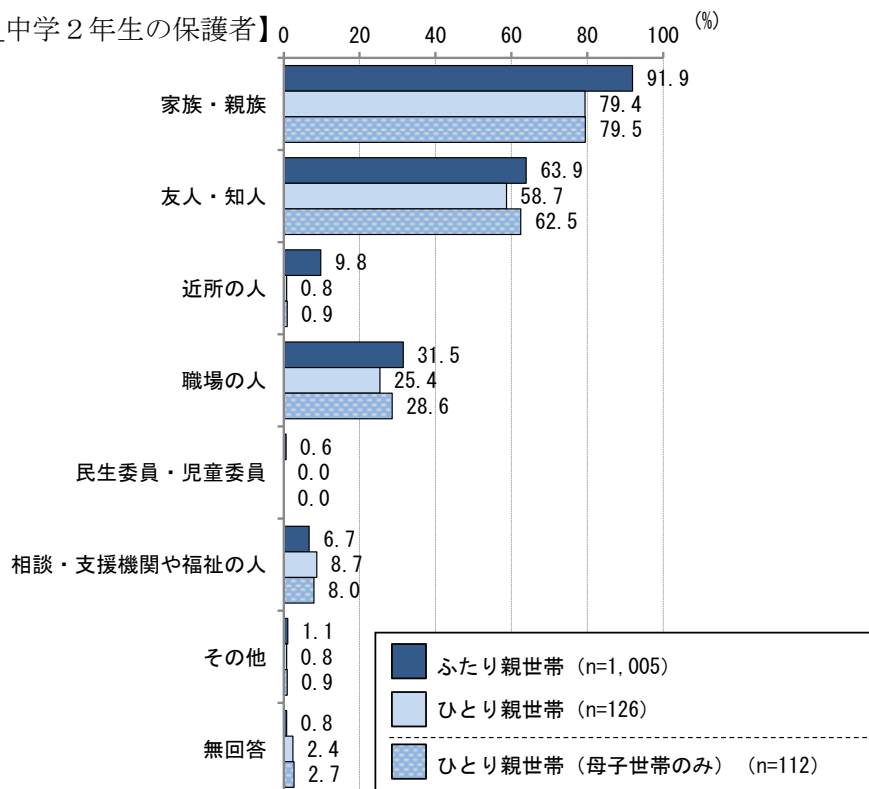
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が88.4%と低くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



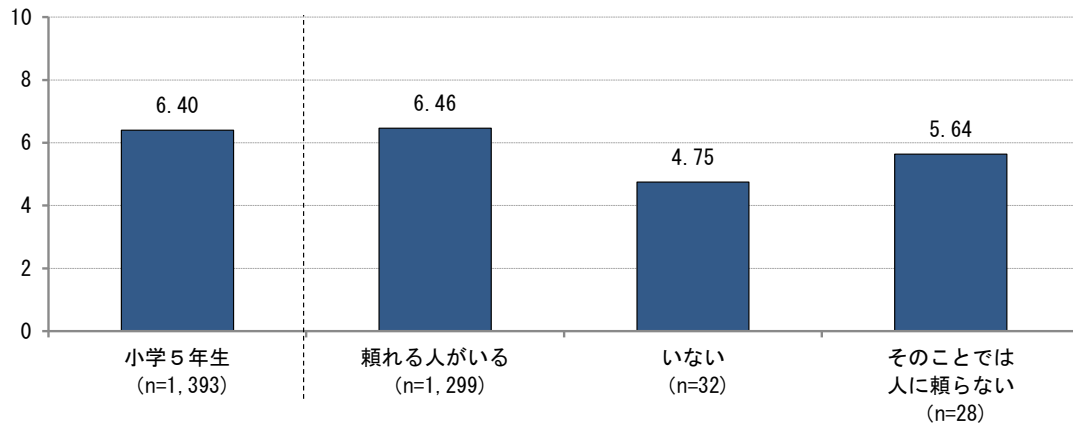
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家族・親族」が86.0%、「友人・知人」が57.0%、「職場の人」が18.4%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「相談・支援機関や福祉の人」は12.3%と高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



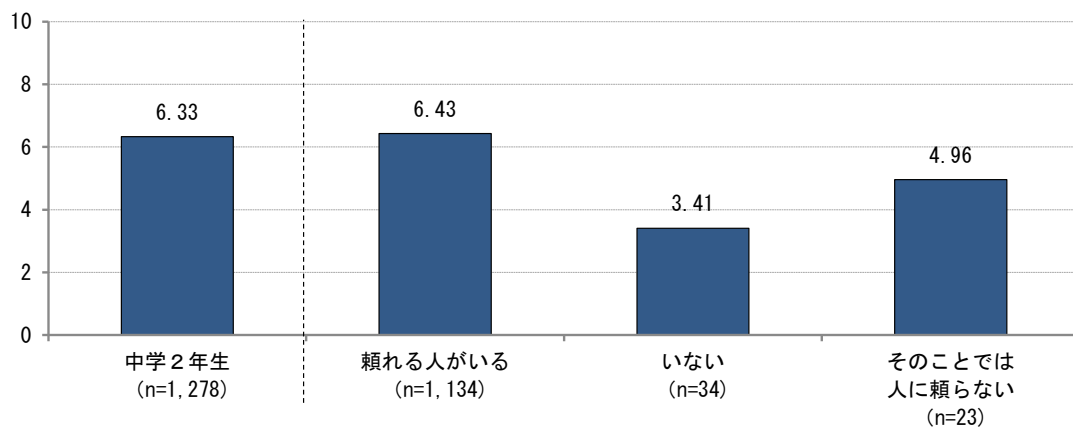
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて「家族・親族」が79.4%、「友人・知人」が58.7%、「近所の人」が0.8%、「職場の人」が25.4%と低くなっている。

【子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度_小学5年生の保護者】



子育てに関する相談をできる人の有無別にみると、保護者の生活の満足度の平均値は、「いない」(4.75)が「頼れる人がいる」(6.46)を1.71点下回っている。

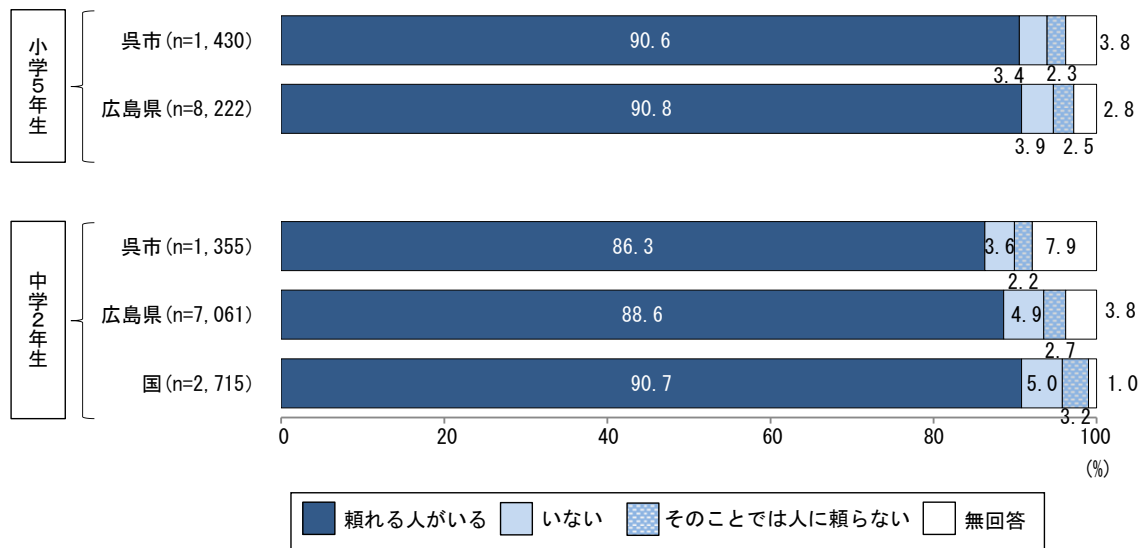
【子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度_中学2年生の保護者】



子育てに関する相談をできる人の有無別にみると、保護者の生活の満足度の平均値は、「いない」(3.41)が「頼れる人がいる」(6.43)を3.02点下回っている。

= 重要な事柄の相談 =

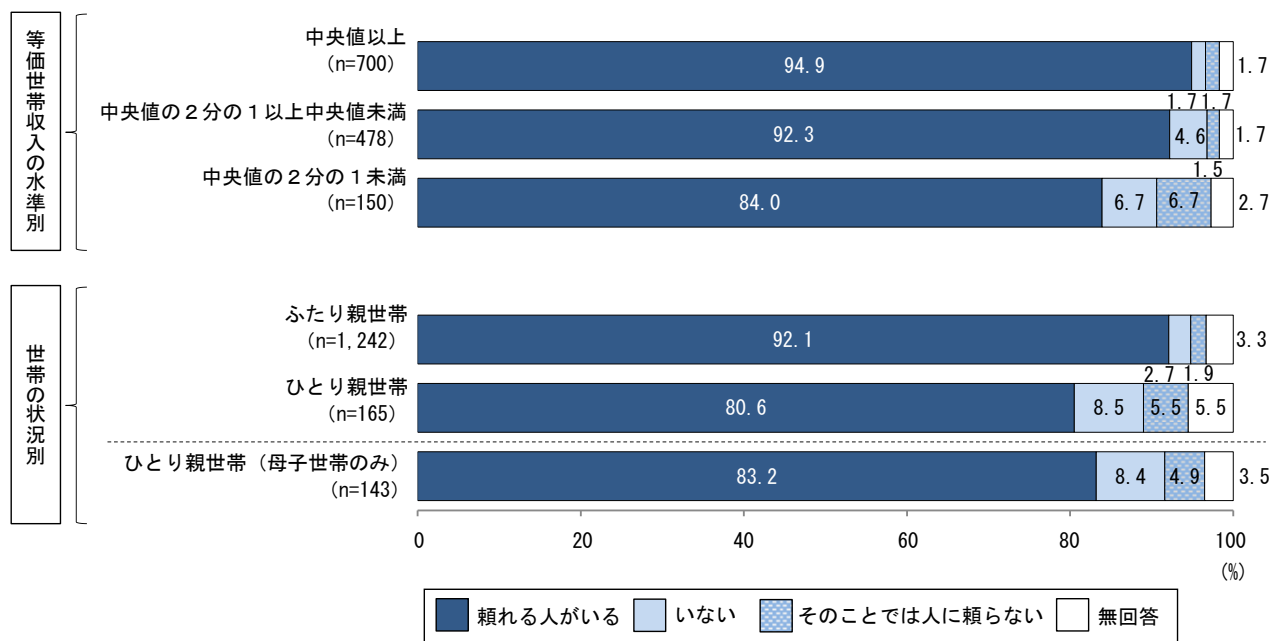
【全体】



重要な事柄の相談について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が90.6%、「いない」が3.4%、「そのことでは人に頼らない」が2.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が86.3%、「いない」が3.6%、「そのことでは人に頼らない」が2.2%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

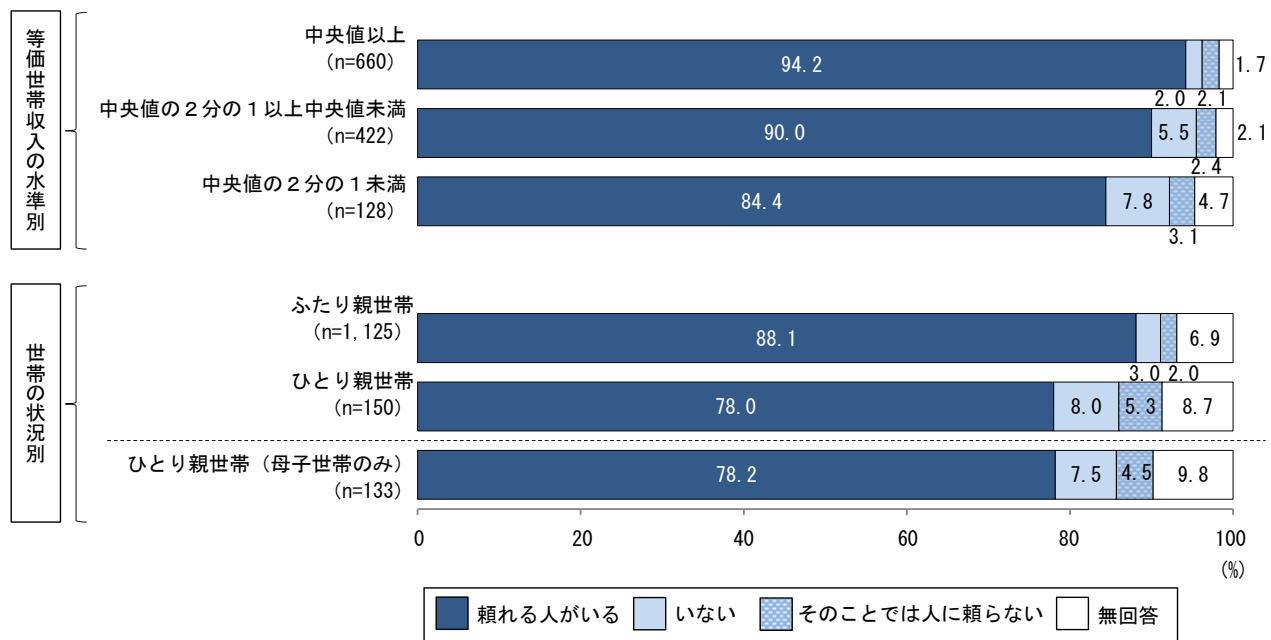
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では1.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.6%、「中央値の2分の1未満」では6.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では2.7%、「ひとり親世帯全体」では8.5%、「母子世帯のみ」では8.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

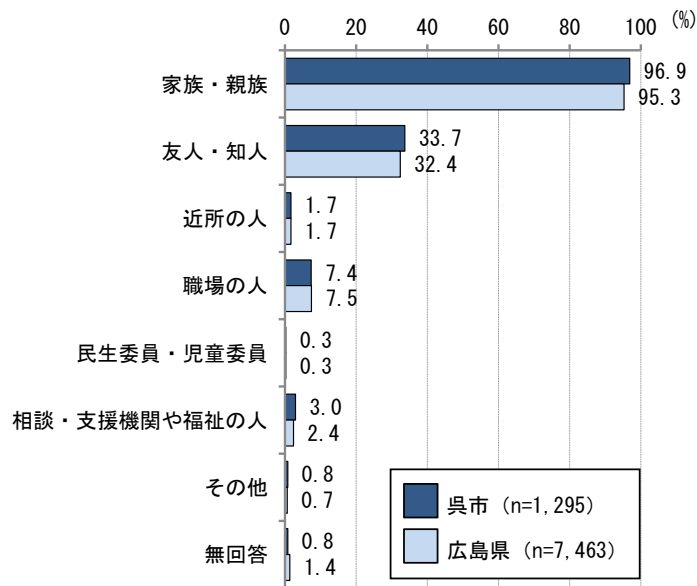


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では2.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では5.5%、「中央値の2分の1未満」では7.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では3.0%、「ひとり親世帯全体」では8.0%、「母子世帯のみ」では7.5%となっている。

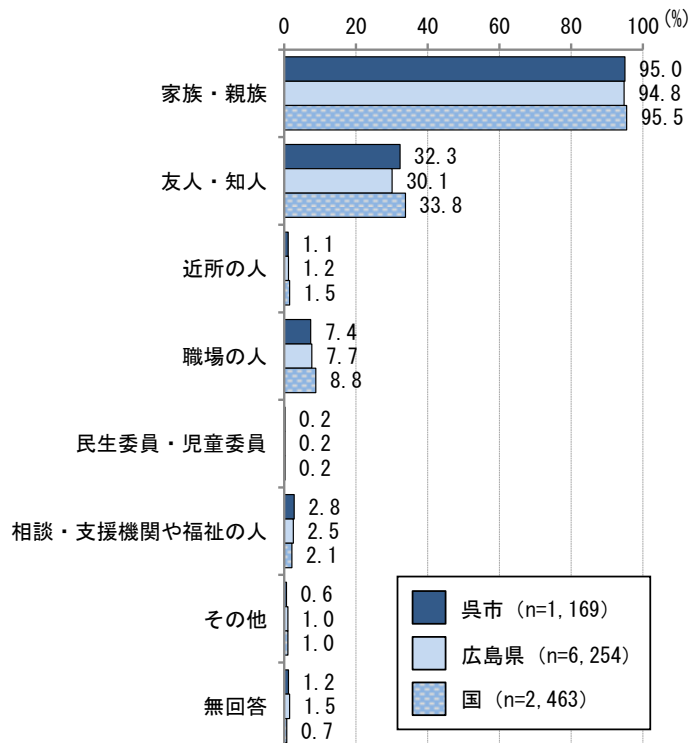
<「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手>

【小学5年生の保護者】



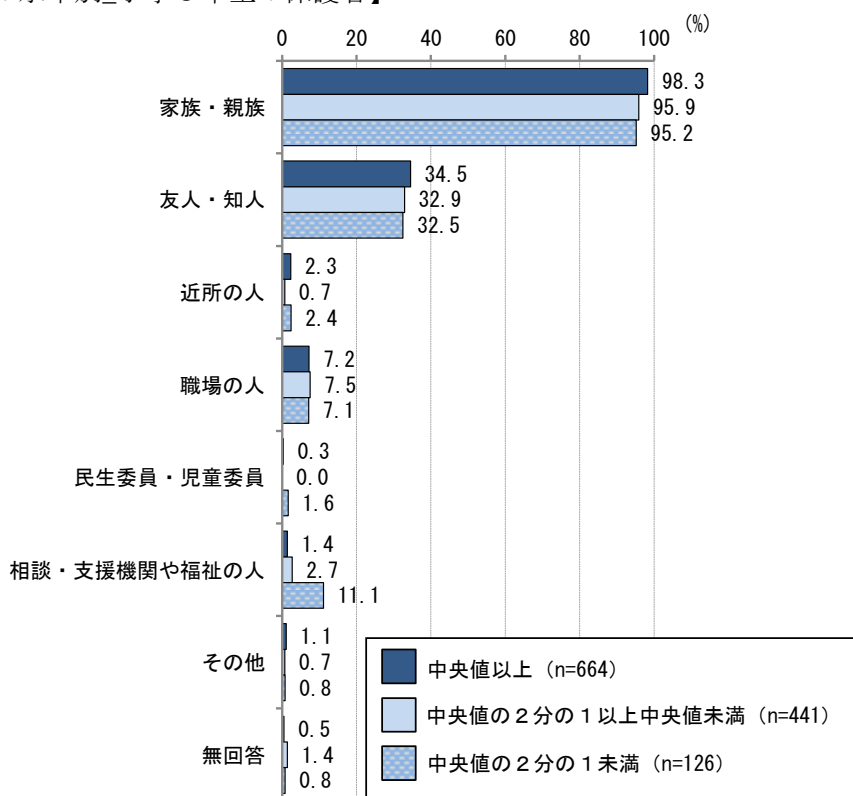
「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が96.9%と最も高く、次いで「友人・知人」が33.7%、「職場の人」が7.4%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生の保護者】



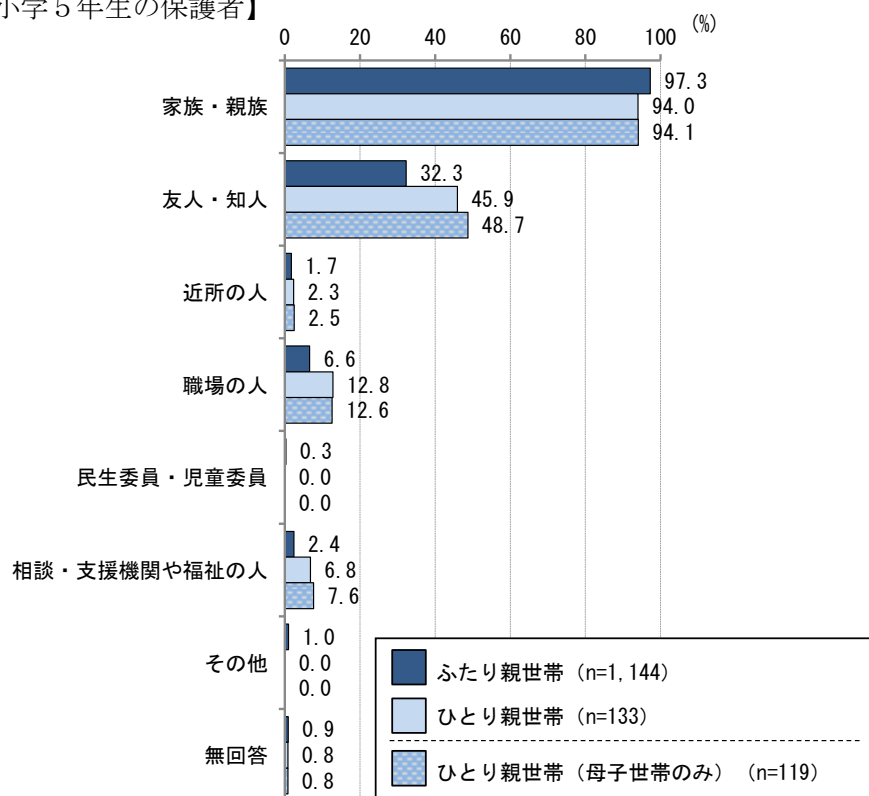
「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手について、中学2年生の保護者では、「家族・親族」が95.0%と最も高く、次いで「友人・知人」が32.3%、「職場の人」が7.4%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



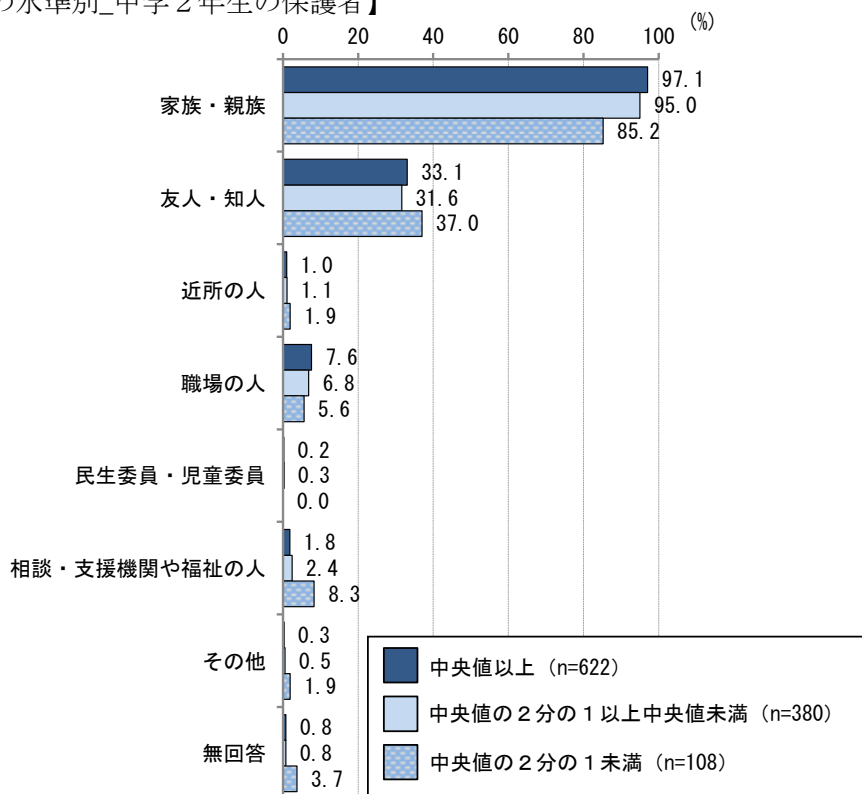
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「相談・支援機関や福祉の人」は11.1%と高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



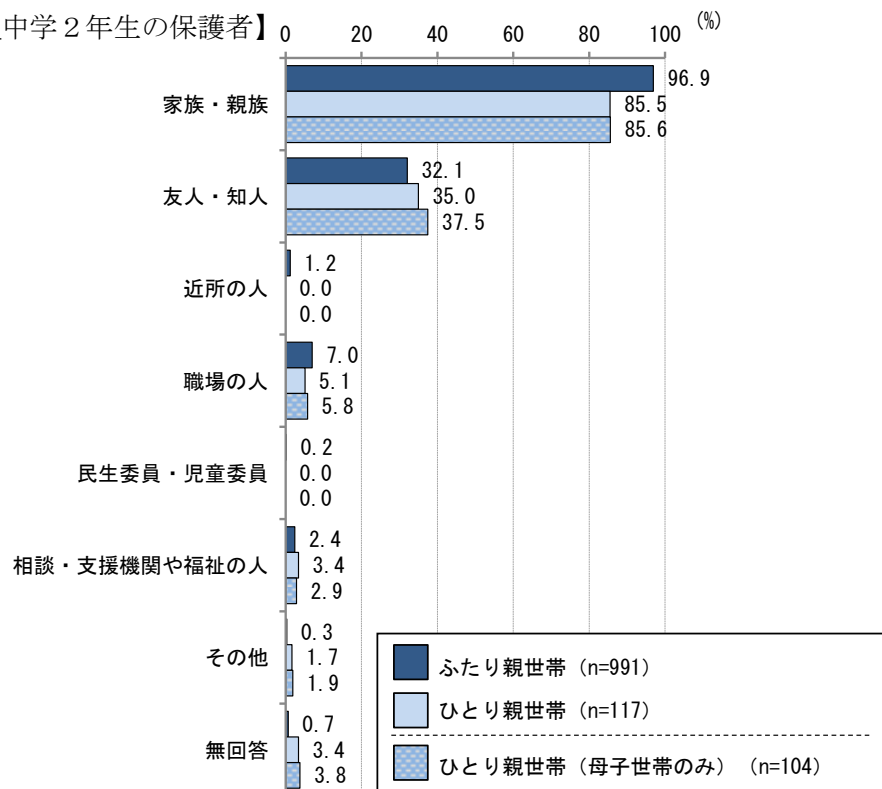
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「友人・知人」が45.9%、「職場の人」が12.8%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家族・親族」が85.2%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「友人・知人」は37.0%、「相談・支援機関や福祉の人」が8.3%と高くなっている。

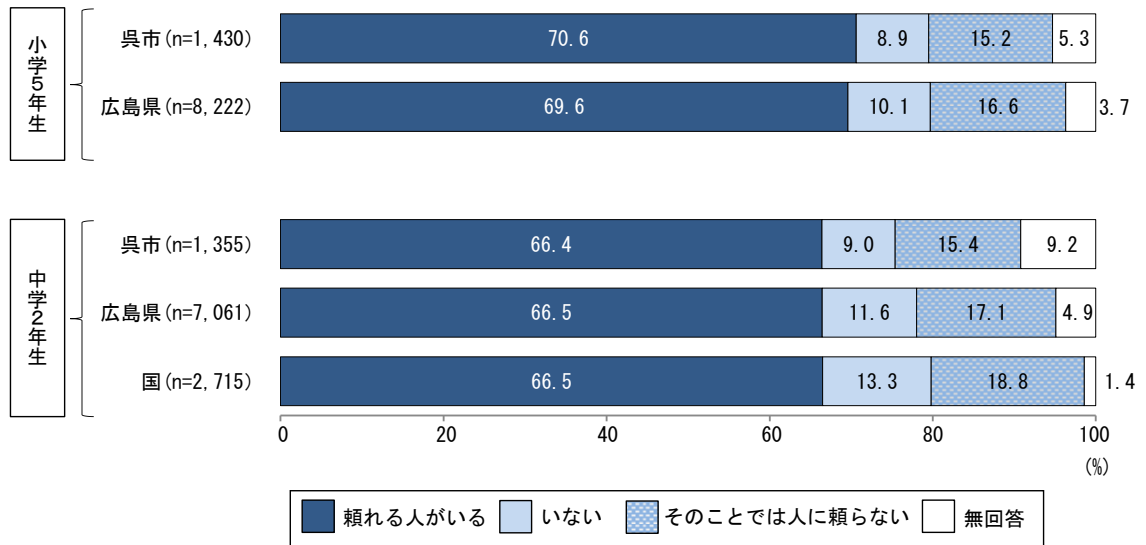
【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が85.5%と低くなっている。

= いざという時のお金の援助 =

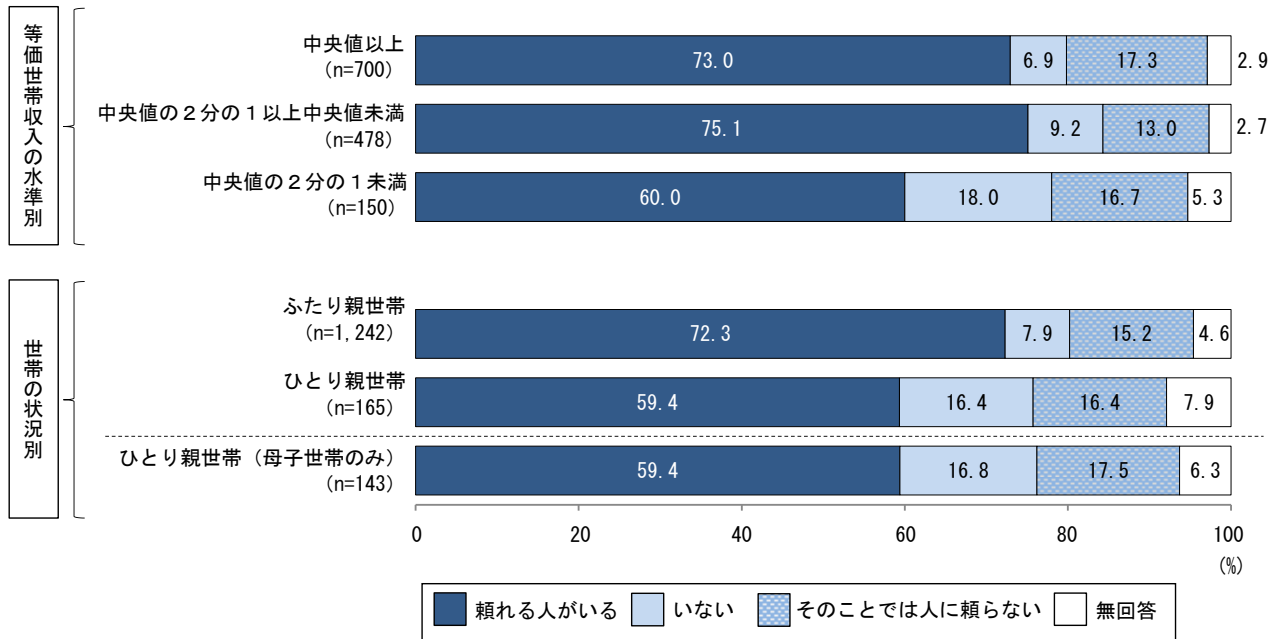
【全体】



いざという時のお金の援助について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が70.6%、「いない」が8.9%、「そのことでは人に頼らない」が15.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が66.4%、「いない」が9.0%、「そのことでは人に頼らない」が15.4%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

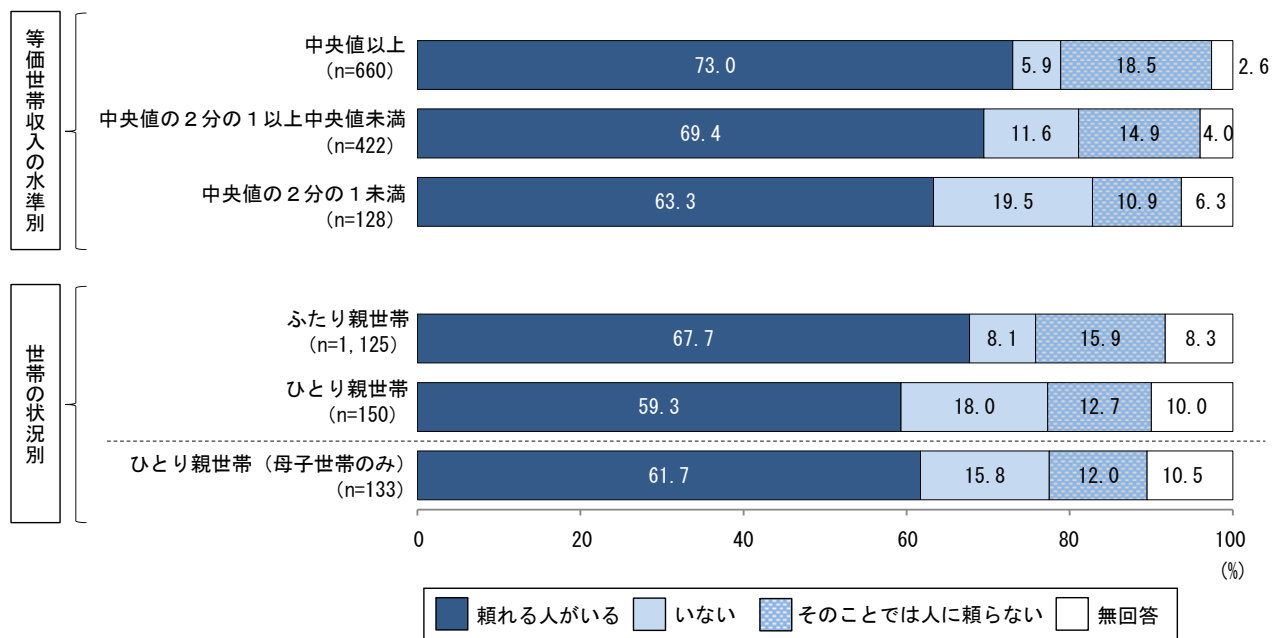
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では6.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では9.2%、「中央値の2分の1未満」では18.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では7.9%、「ひとり親世帯全体」では16.4%、「母子世帯のみ」では16.8%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

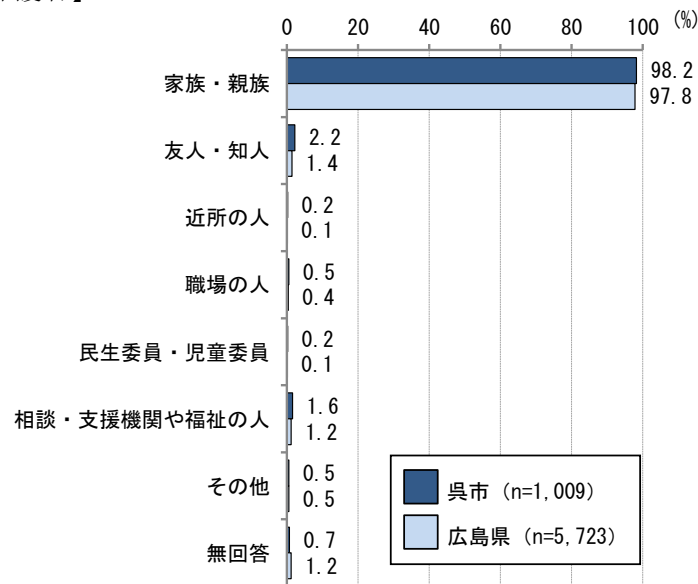


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では5.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では11.6%、「中央値の2分の1未満」では19.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では8.1%、「ひとり親世帯全体」では18.0%、「母子世帯のみ」では15.8%となっている。

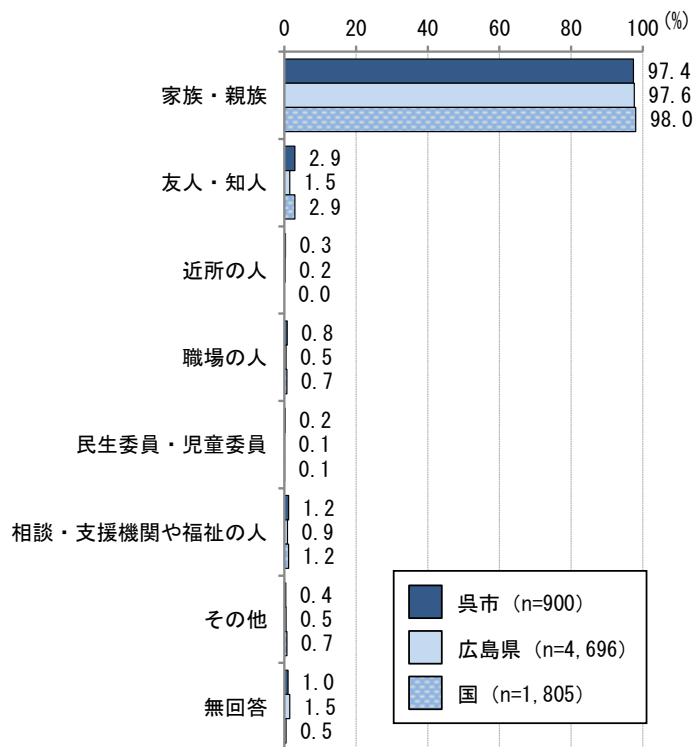
<「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手>

【小学5年生の保護者】



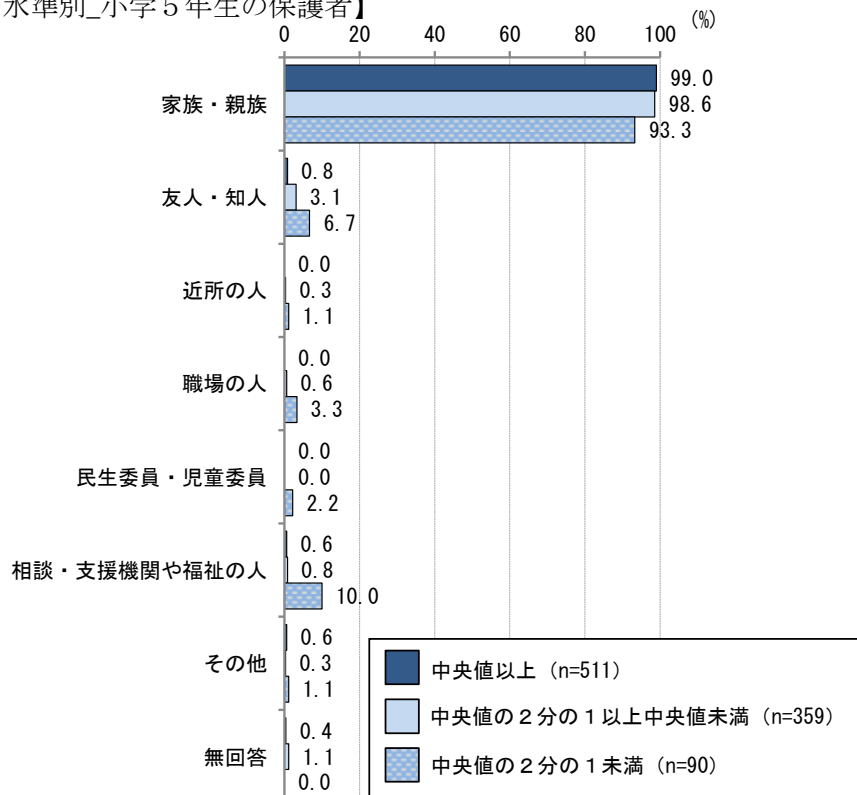
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が98.2%と最も高く、次いで「友人・知人」が2.2%、「相談・支援機関や福祉の人」が1.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生の保護者】



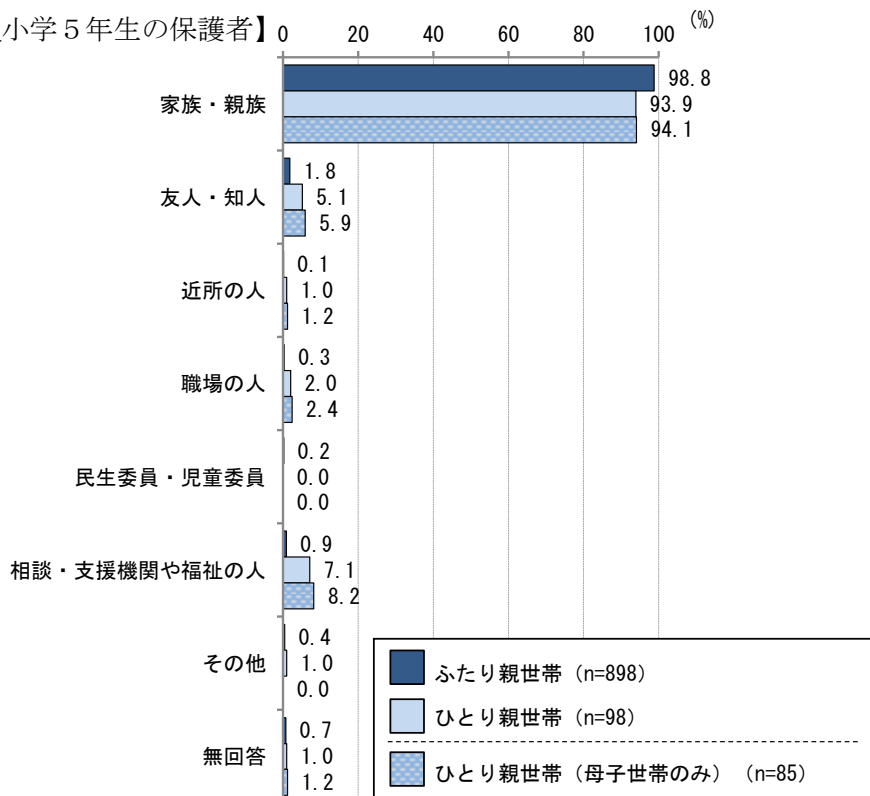
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、中学2年生の保護者では、「家族・親族」が97.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が2.9%、「相談・支援機関や福祉の人」が1.2%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



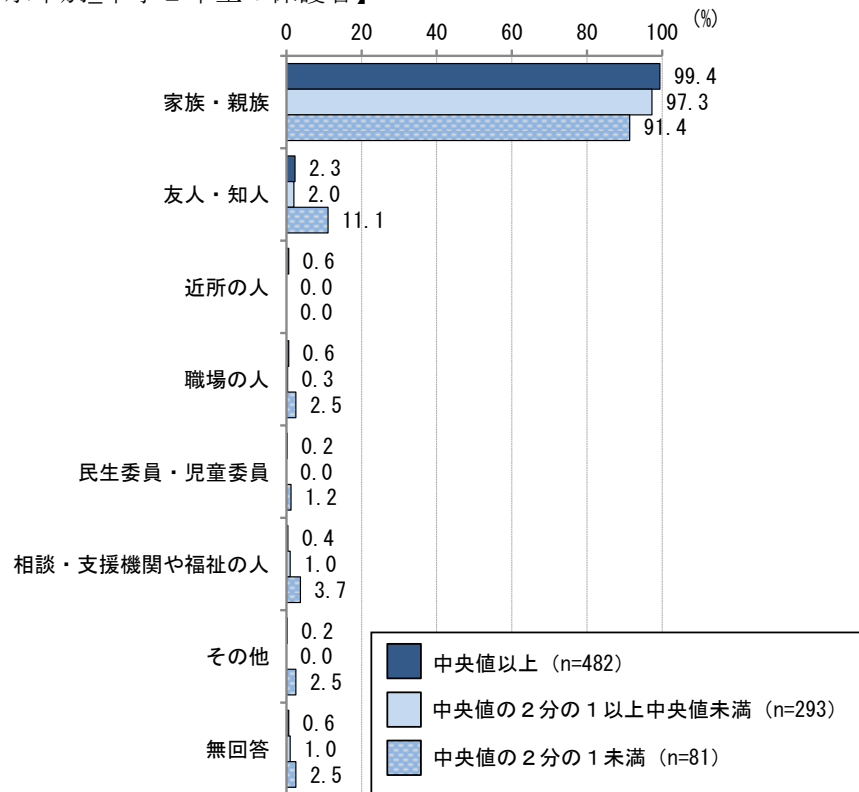
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家族・親族」が93.3%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「友人・知人」は6.7%、「相談・支援機関や福祉の人」は10.0%と高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



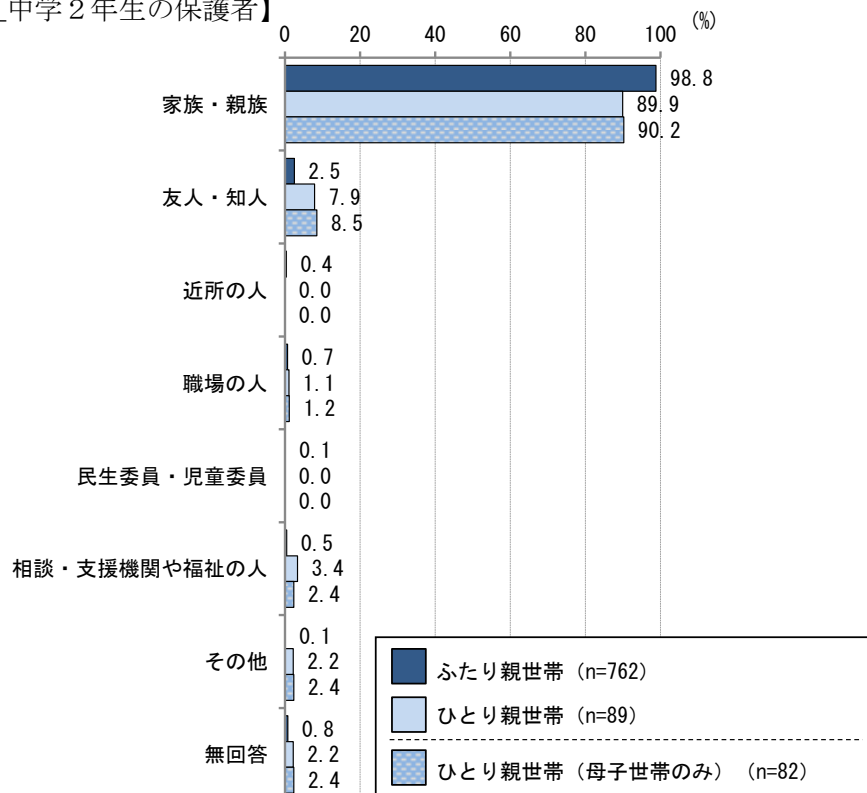
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が93.9%と低くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家族・親族」が91.4%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「友人・知人」は11.1%と高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が89.9%と低くなっている。

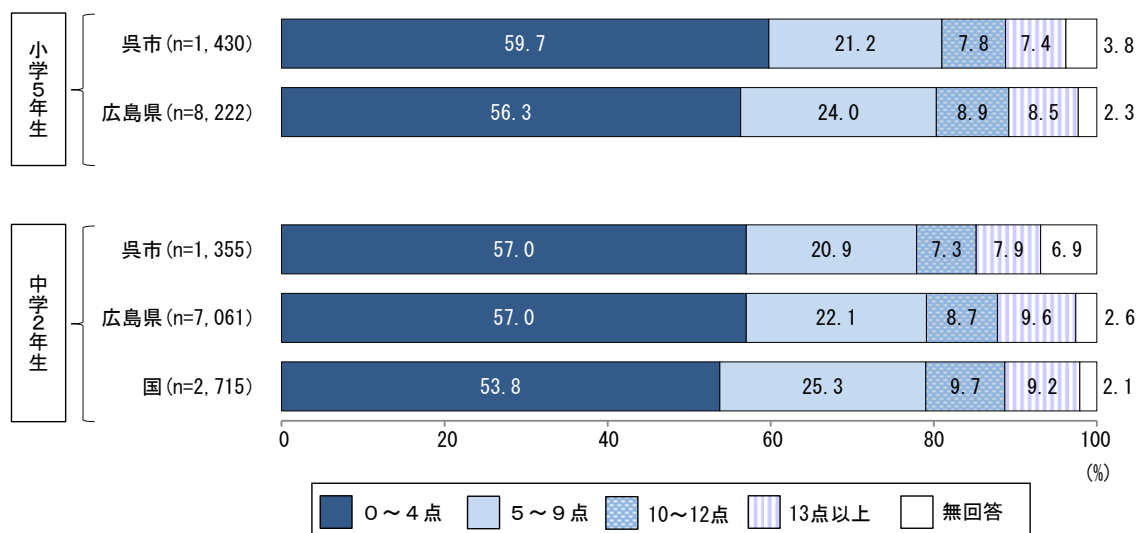
(8) 保護者の心理的な状態

保護者票問 24. 次の a～f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。(SA)

- a. 神経過敏に感じた
- b. 絶望的だと感じた
- c. そわそわ、落ち着かなく感じた
- d. 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた
- e. 何をするのも面倒だと感じた
- f. 自分は価値のない人間だと感じた

「保護者の心理的な状態」に関して、本調査では「K6」と呼ばれる指標を把握するための 6 つの項目を設定した。採点方法は、1 つの質問ごとに 0 点（「5 まったくない」）から 4 点（「1 いつも」）を振り、0 点から 24 点で合計を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示している。

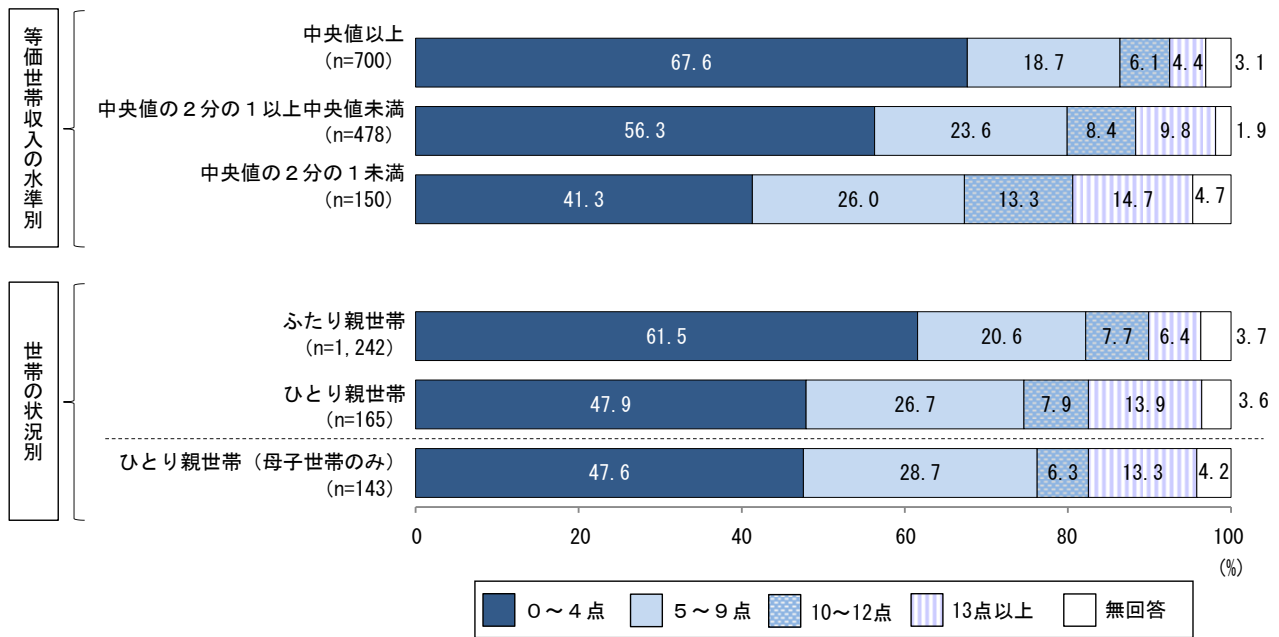
【全体】



K6 のスコアについて、小学 5 年生の保護者では、「うつ・不安障害相当」とされている「13 点以上」は 7.4% となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学 2 年生の保護者では、「13 点以上」は 7.9% となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

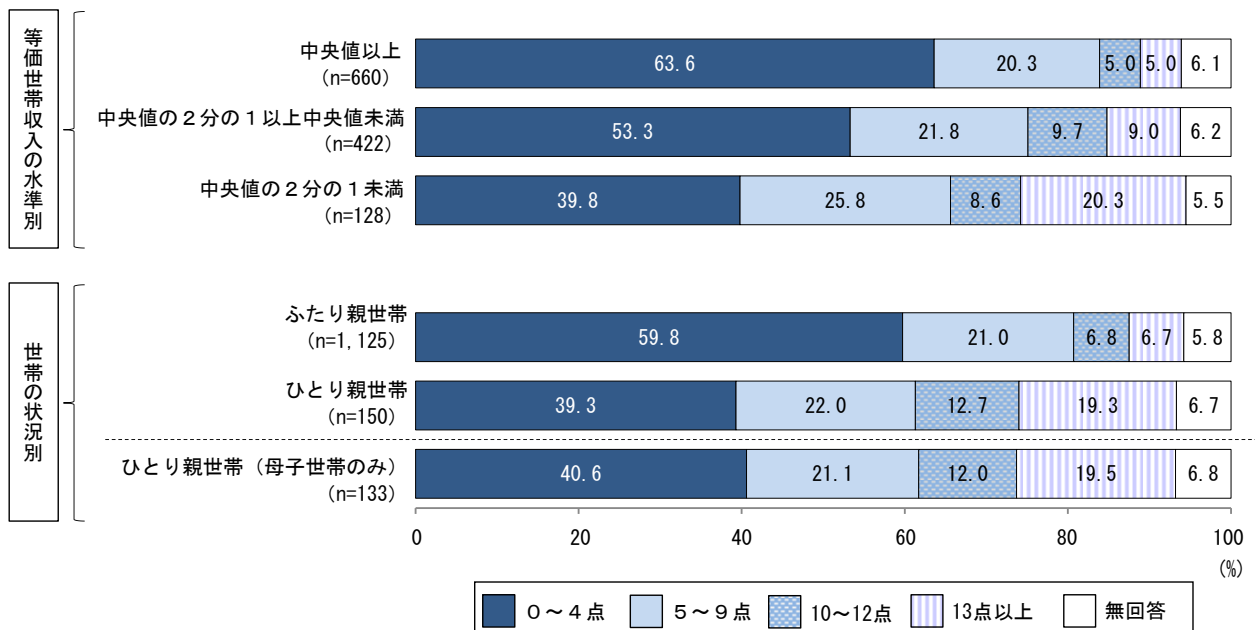
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「13点以上」は、「中央値以上」では4.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では9.8%、「中央値の2分の1未満」では14.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「13点以上」は、「ふたり親世帯」では6.4%、「ひとり親世帯全体」では13.9%、「母子世帯のみ」では13.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

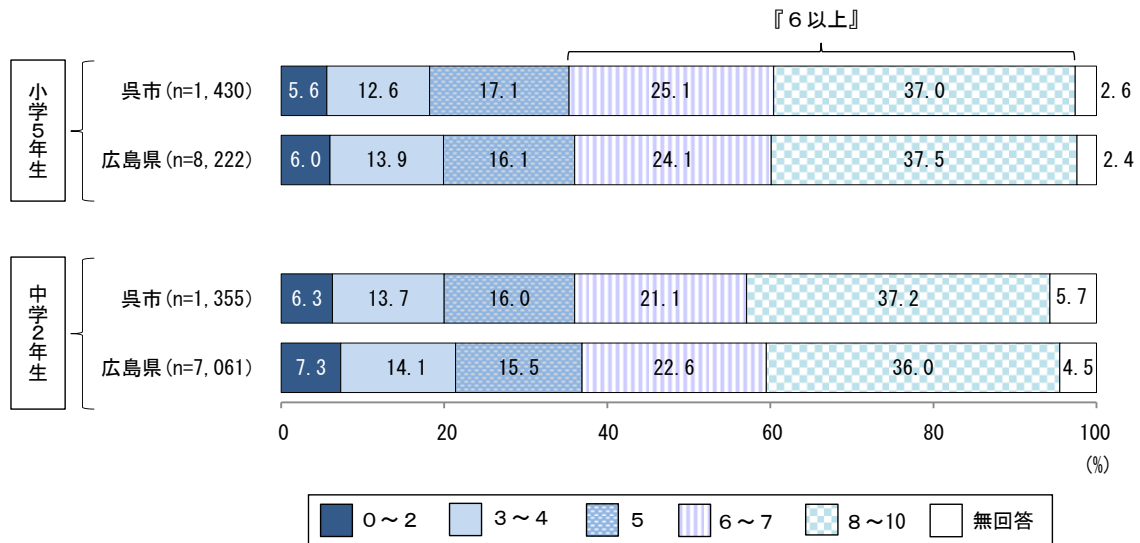


等価世帯収入の水準別にみると、「13点以上」は、「中央値以上」では5.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では9.0%、「中央値の2分の1未満」では20.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「13点以上」は、「ふたり親世帯」では6.7%、「ひとり親世帯全体」では19.3%、「母子世帯のみ」では19.5%となっている。

保護者票問 25. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(SA)
「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で答えてください。

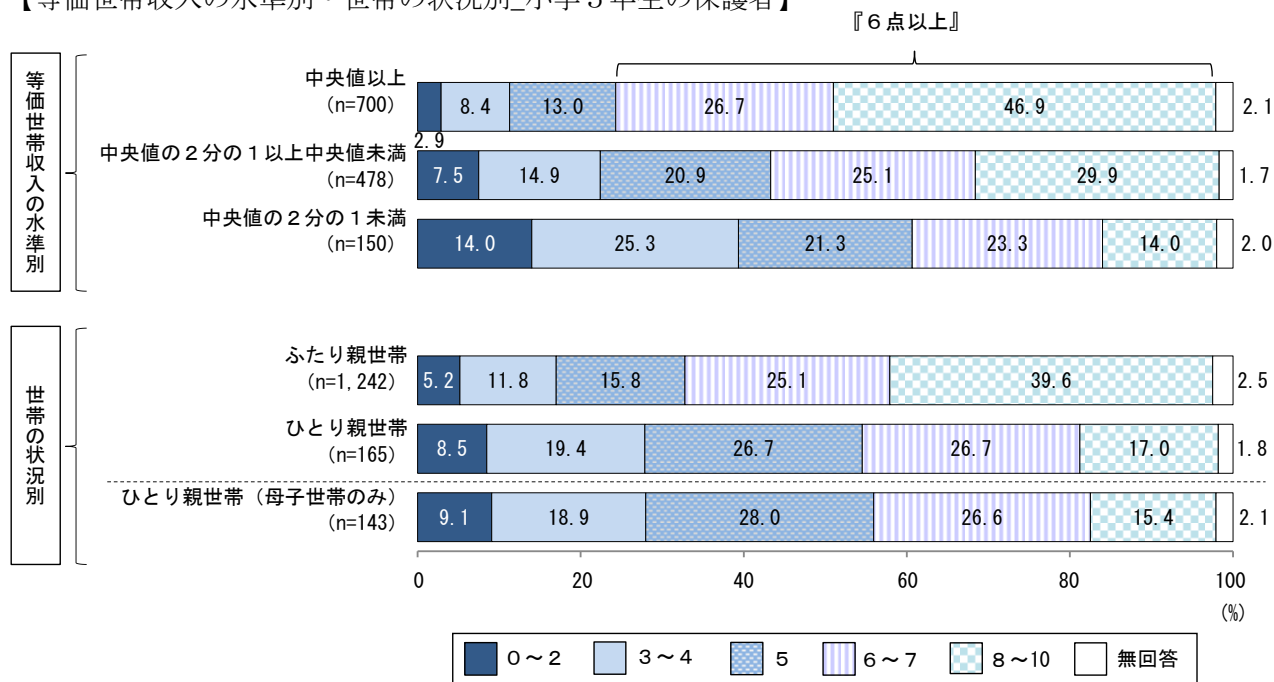
【全体】



最近の生活の満足度について、小学5年生の保護者では、「0~2」が5.6%、「3~4」が12.6%、「5」が17.1%、「6~7」が25.1%、「8~10」が37.0%となっている。

中学2年生の保護者では、「0~2」が6.3%、「3~4」が13.7%、「5」が16.0%、「6~7」が21.1%、「8~10」が37.2%となっている。

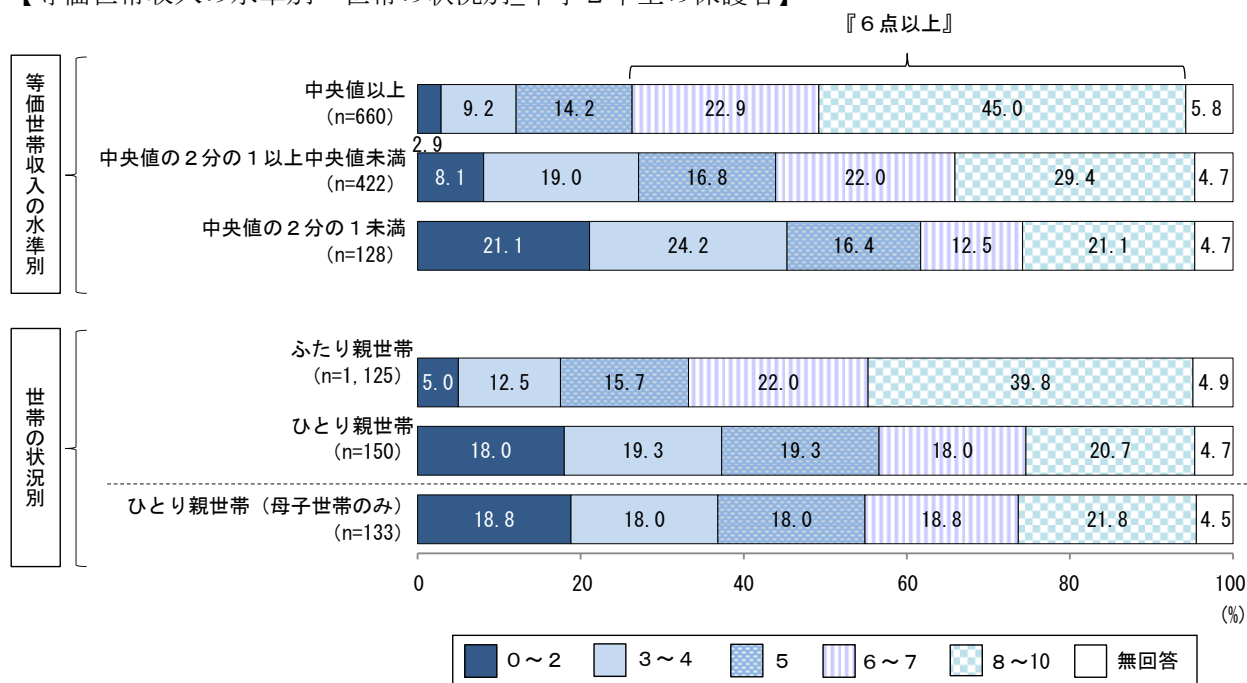
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では73.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では55.0%、「中央値の2分の1未満」では37.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では64.7%、「ひとり親世帯全体」では43.7%、「母子世帯のみ」では42.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では67.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では51.4%、「中央値の2分の1未満」では33.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では61.8%、「ひとり親世帯全体」では38.7%、「母子世帯のみ」では40.6%となっている。

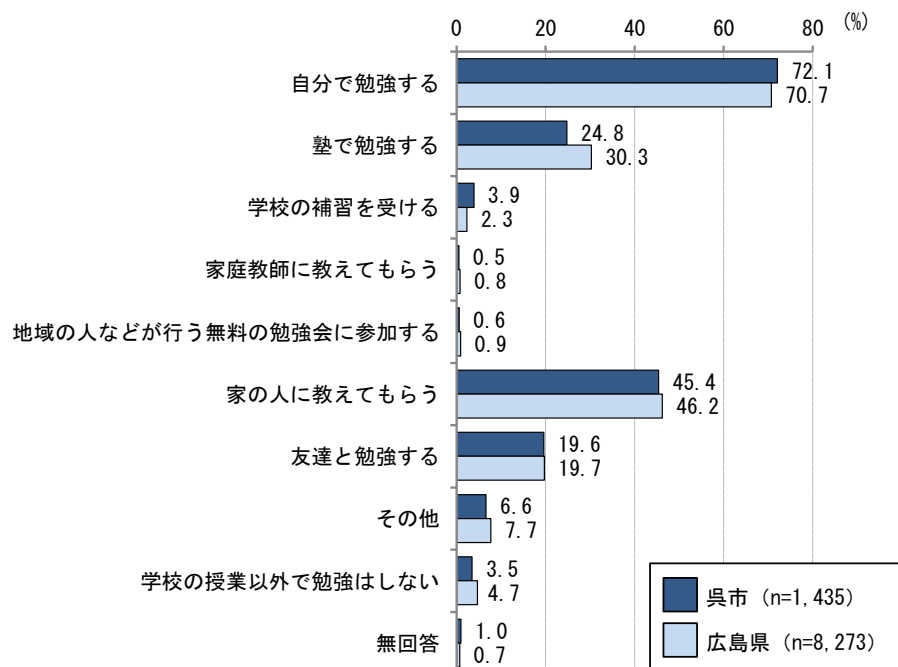
2 子供の生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況

(1) 学習の状況

子供票問2. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(MA)

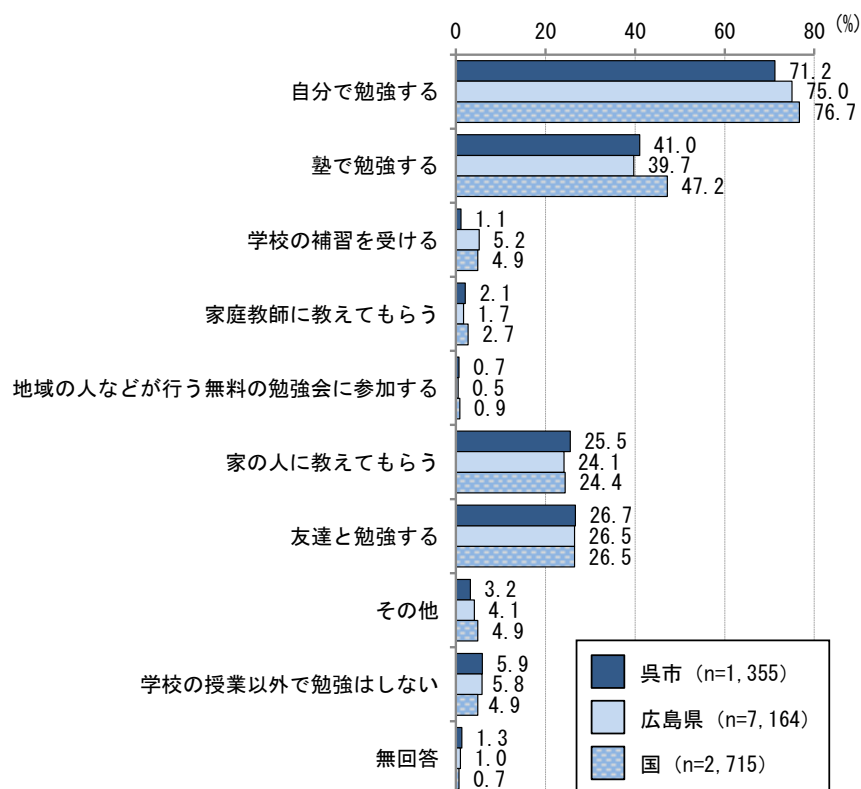
※勉強には学校の宿題もふくみます。

【小学5年生】



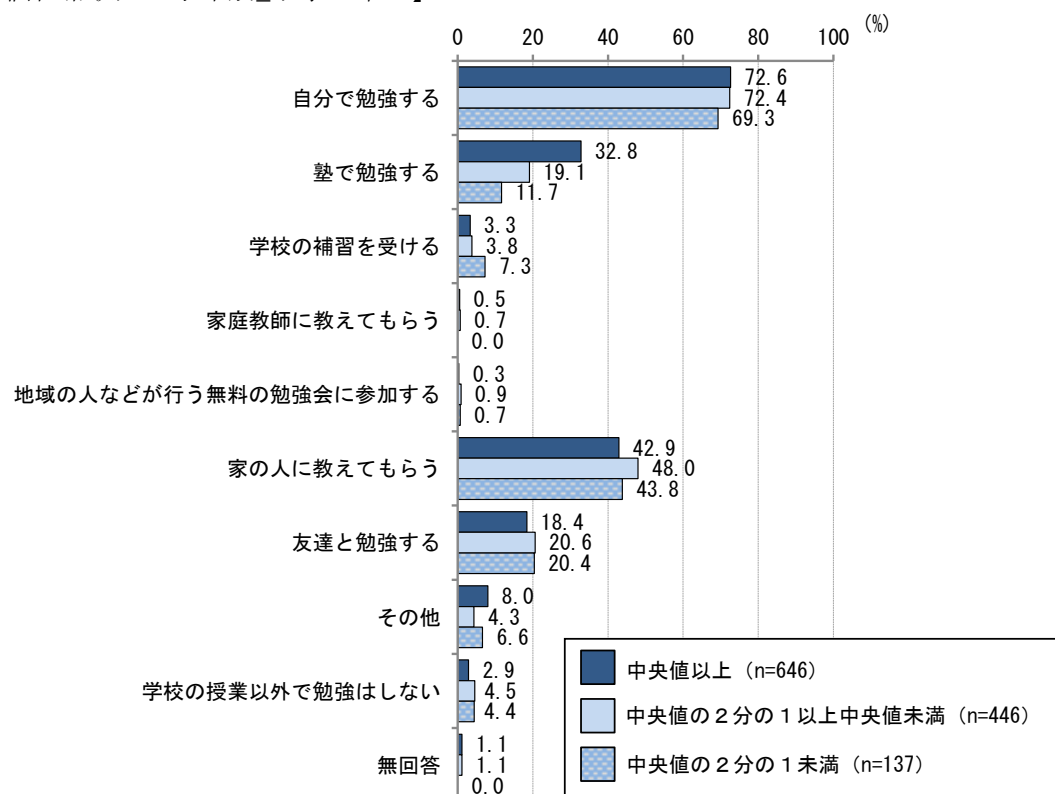
ふだんの勉強の仕方について、小学5年生では、「自分で勉強する」が72.1%と最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」が45.4%、「塾で勉強する」が24.8%などの順となっている。広島県と比較すると、「塾で勉強する」は、呉市（24.8%）が広島県（30.3%）を5.5ポイント下回っている。

【中学2年生】



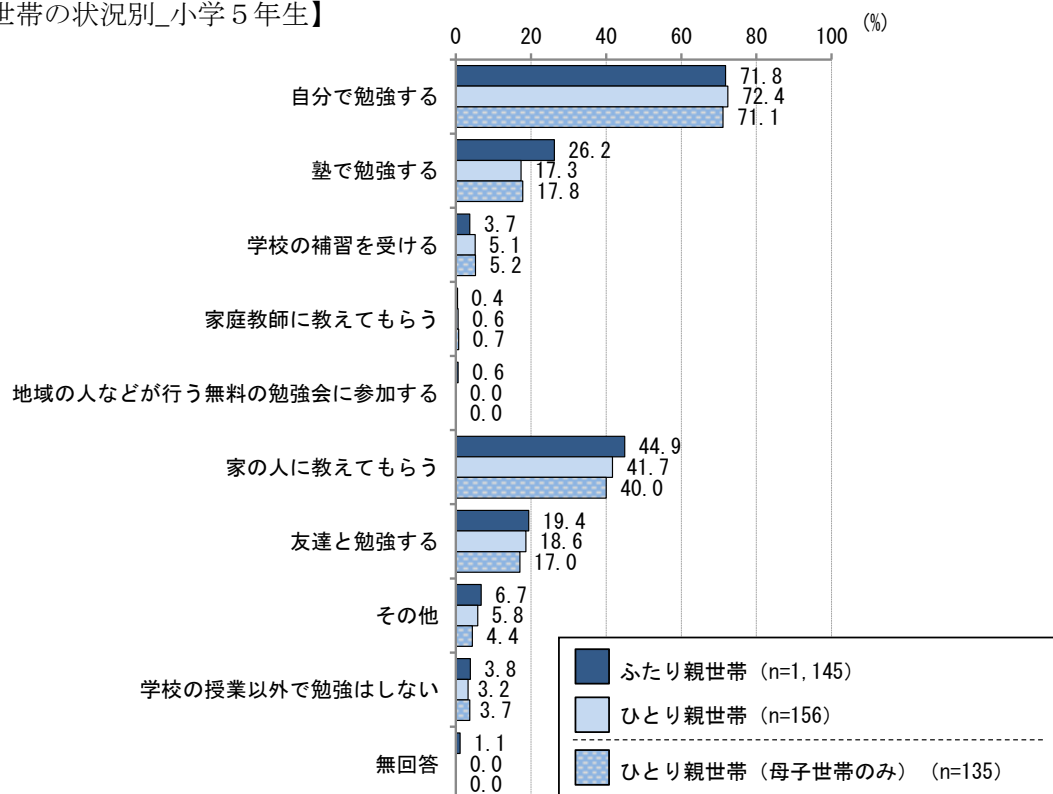
ふだんの勉強の仕方について、中学2年生では、「自分で勉強する」が71.2%と最も高く、次いで「塾で勉強する」が41.0%、「友達と勉強する」が26.7%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「自分で勉強する」は、呉市(71.2%)が国(76.7%)を5.5ポイント、「塾で勉強する」は、呉市(41.0%)が国(47.2%)を6.2ポイント下回っている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



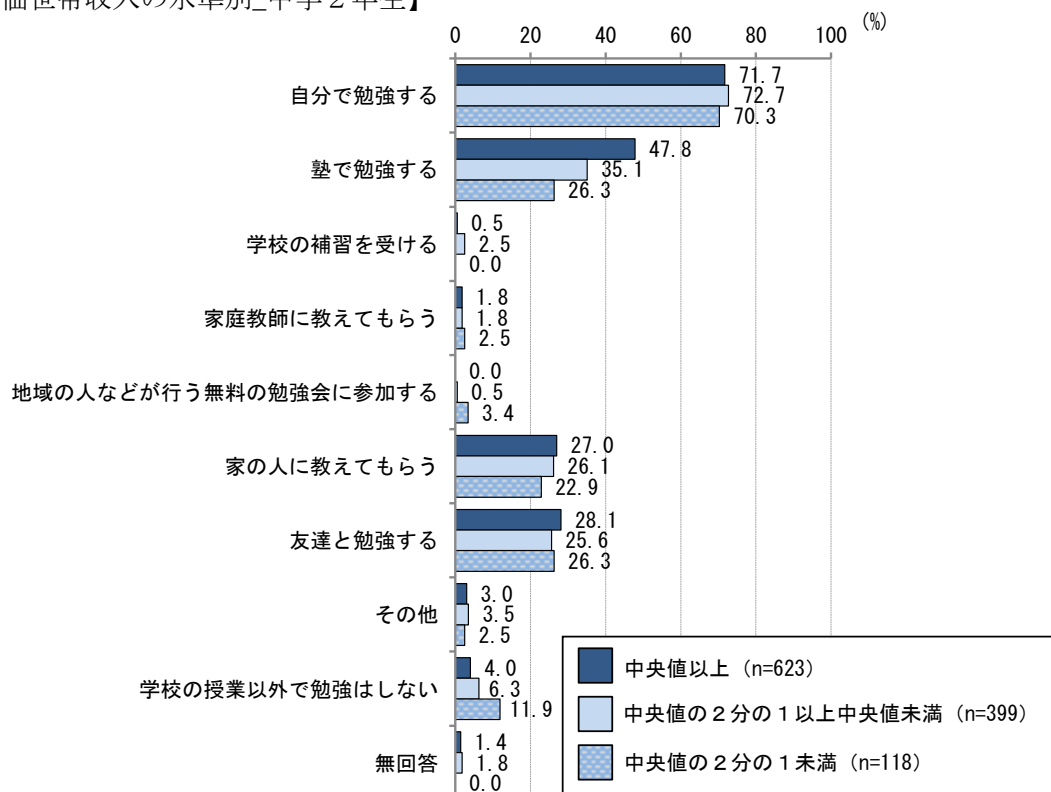
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「塾で勉強する」が11.7%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



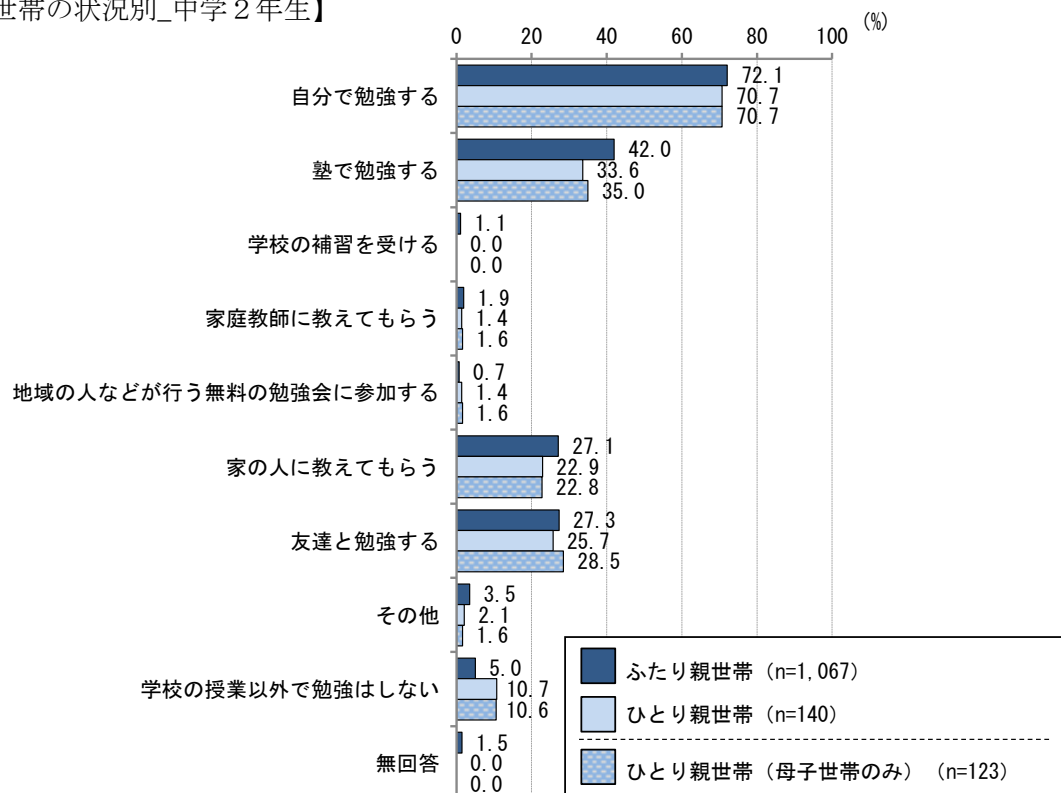
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「塾で勉強する」が17.3%と低くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「塾で勉強する」が26.3%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「学校の授業以外で勉強はしない」は11.9%と高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生】

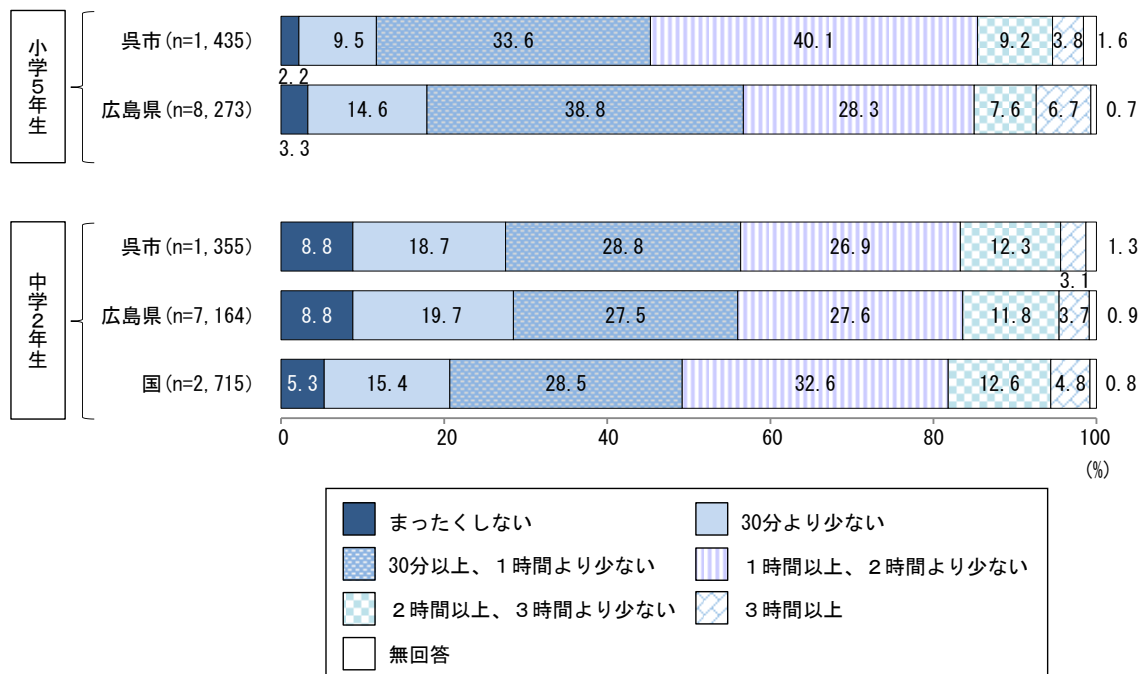


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「塾で勉強する」が33.6%と低くなっている。一方で、「学校の授業以外で勉強はしない」は10.7%と高くなっている。

子供票問3. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。(SA)
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

= 学校がある日（月～金曜日） =

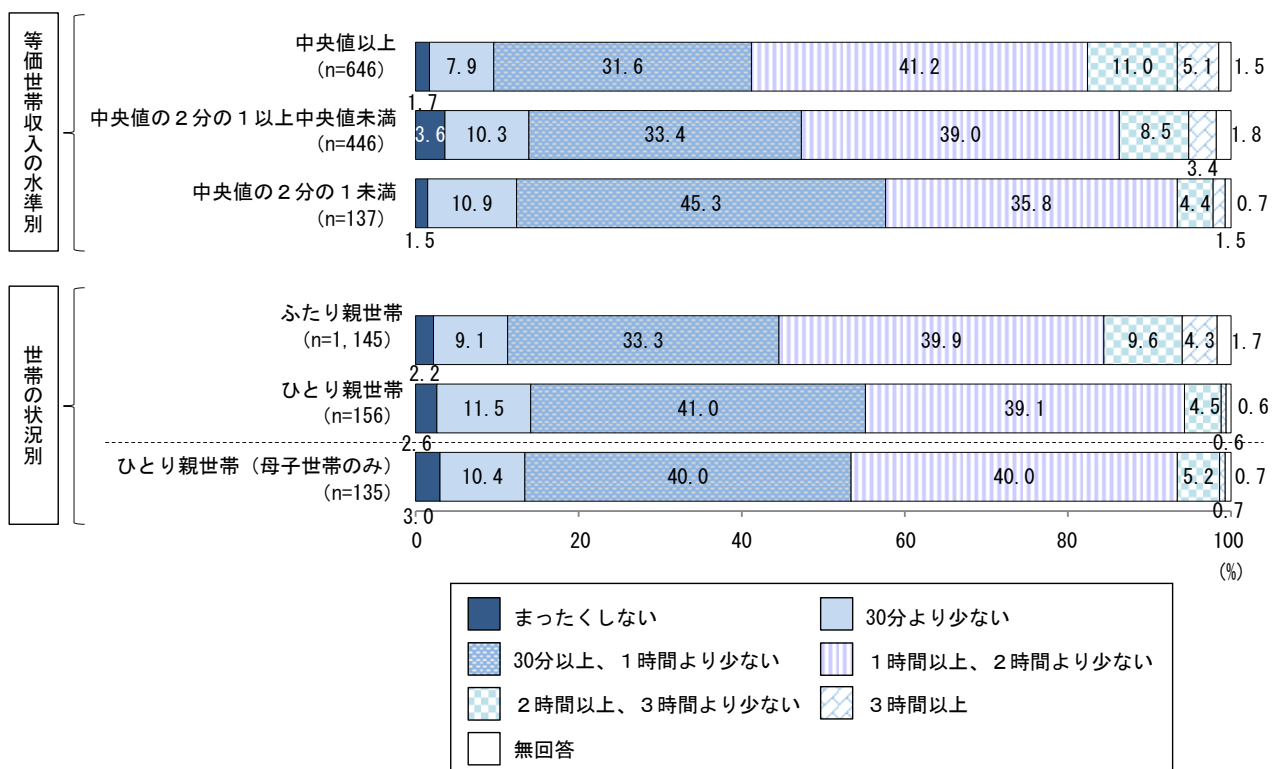
【全体】



1日あたりの勉強時間（学校がある日）について、小学5年生では、「1時間以上、2時間より少ない」が40.1%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が33.6%、「30分より少ない」が9.5%などの順となっている。また、「まったくしない」は2.2%となっている。広島県と比較すると、「30分より少ない」は、呉市（9.5%）が広島県（14.6%）を5.1ポイント、「30分以上、1時間より少ない」は、呉市（33.6%）が広島県（38.8%）を5.2ポイント下回っており、「1時間以上、2時間より少ない」は、呉市（40.1%）が広島県（28.3%）を11.8ポイント上回っている。

中学2年生では、「30分以上、1時間より少ない」が28.8%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が26.9%、「30分より少ない」が18.7%などの順となっている。また、「まったくしない」は8.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「1時間以上、2時間より少ない」は、呉市（26.9%）が国（32.6%）を5.7ポイント下回っている。

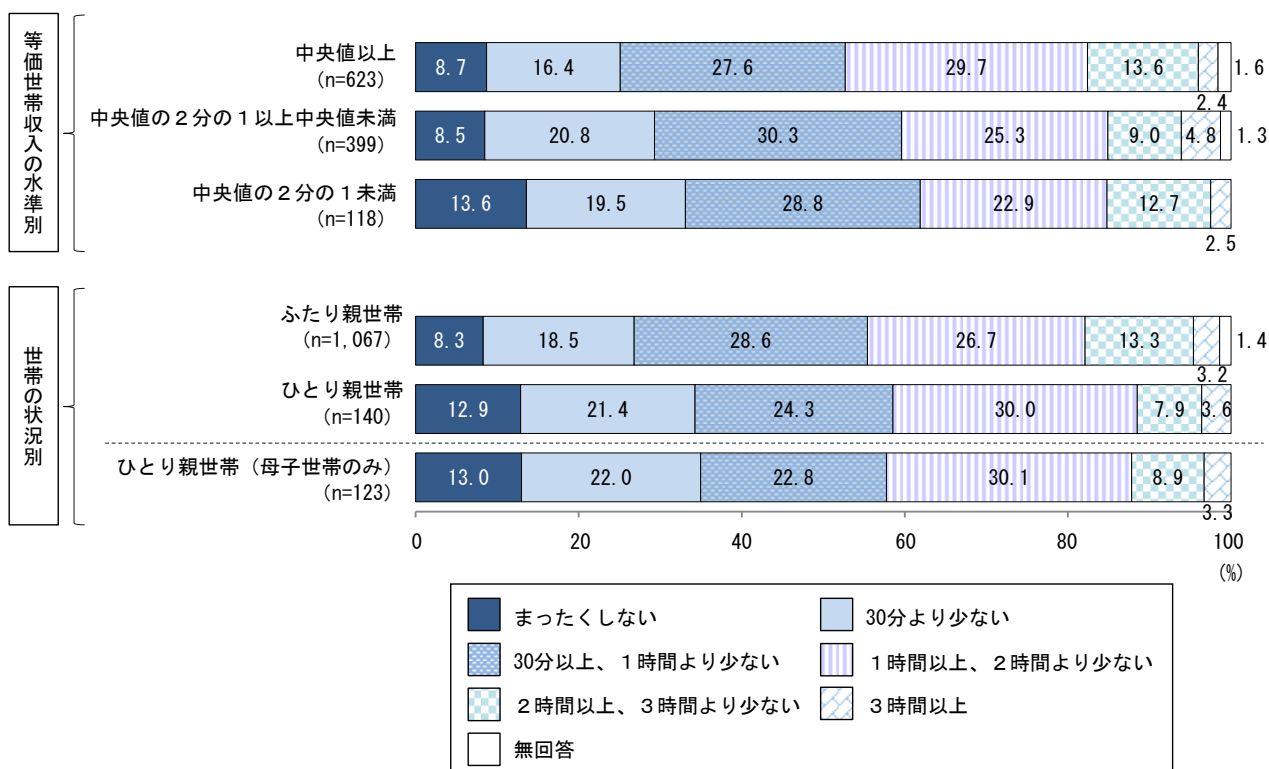
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「30分以上、1時間より少ない」が45.3%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「30分以上、1時間より少ない」が41.0%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

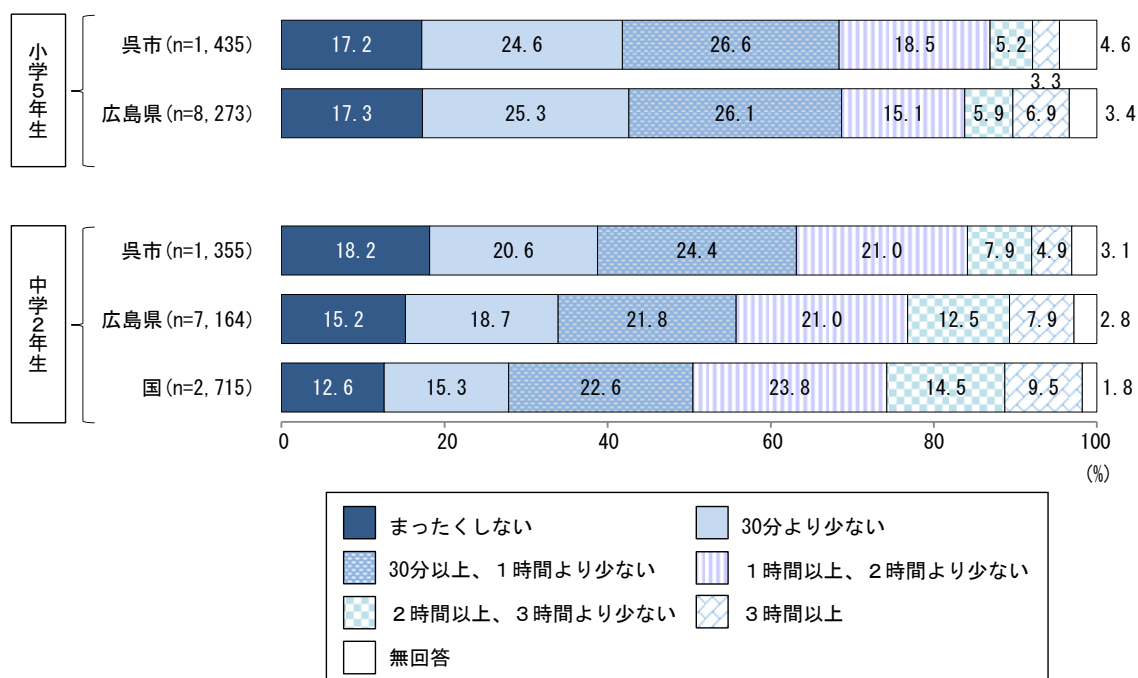


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「まったくしない」が13.6%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「2時間以上、3時間より少ない」が7.9%と「ふたり親世帯」に比べて低くなっている。

= 学校がない日（土・日曜日・祝日） =

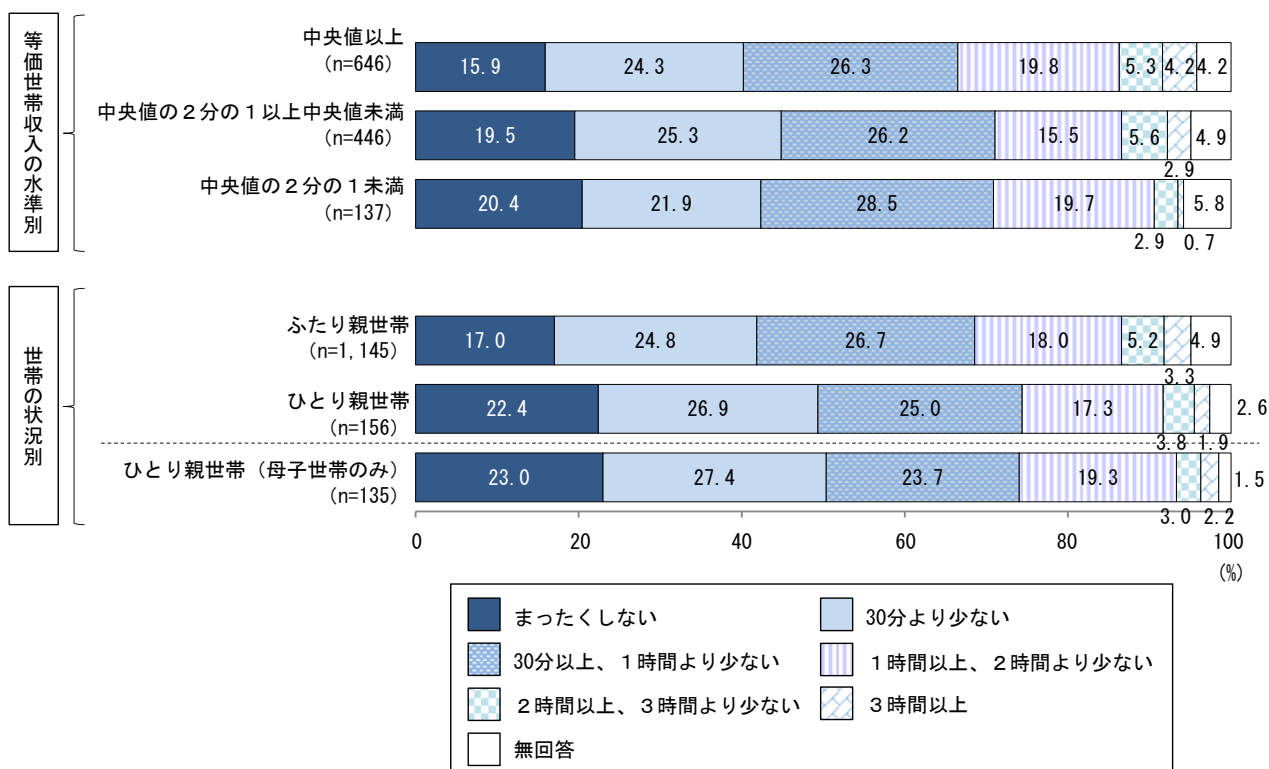
【全体】



1日あたりの勉強時間（学校がない日）について、小学5年生では、「30分以上、1時間より少ない」が26.6%と最も高く、次いで「30分より少ない」が24.6%、「1時間以上、2時間より少ない」が18.5%などの順となっている。また、「まったくしない」は17.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

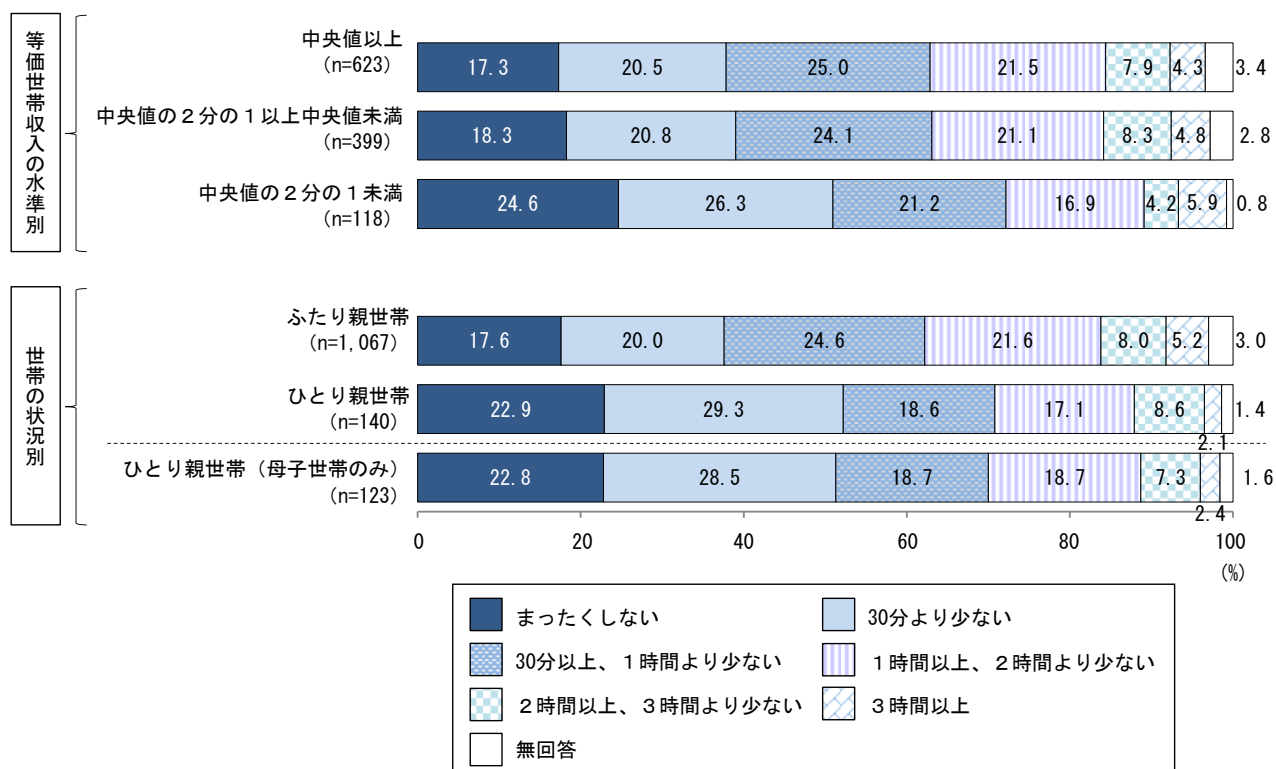
中学2年生では、「30分以上、1時間より少ない」が24.4%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が21.0%、「30分より少ない」が20.6%などの順となっている。また、「まったくしない」は18.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「まったくしない」は、呉市（18.2%）が国（12.6%）を5.6ポイント、「30分より少ない」は、呉市（20.6%）が国（15.3%）を5.3ポイント上回っている。一方で、「2時間以上、3時間より少ない」は、呉市（7.9%）が国（14.5%）を6.6ポイント下回っている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」と他の世帯で大きな差はみられない。世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「まったくしない」が22.4%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

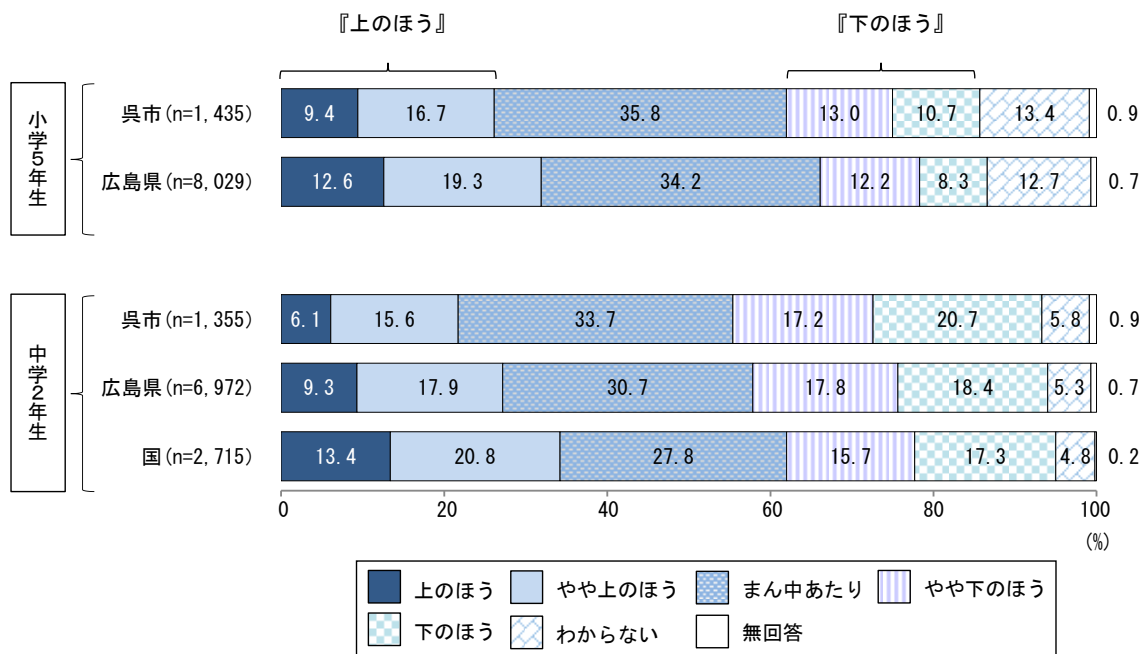


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「まったくしない」が24.6%、「30分より少ない」が26.3%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「まったくしない」が22.9%、「30分より少ない」が29.3%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。一方で、「30分以上、1時間より少ない」は18.6%と低くなっている。

子供票問4. あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(SA)

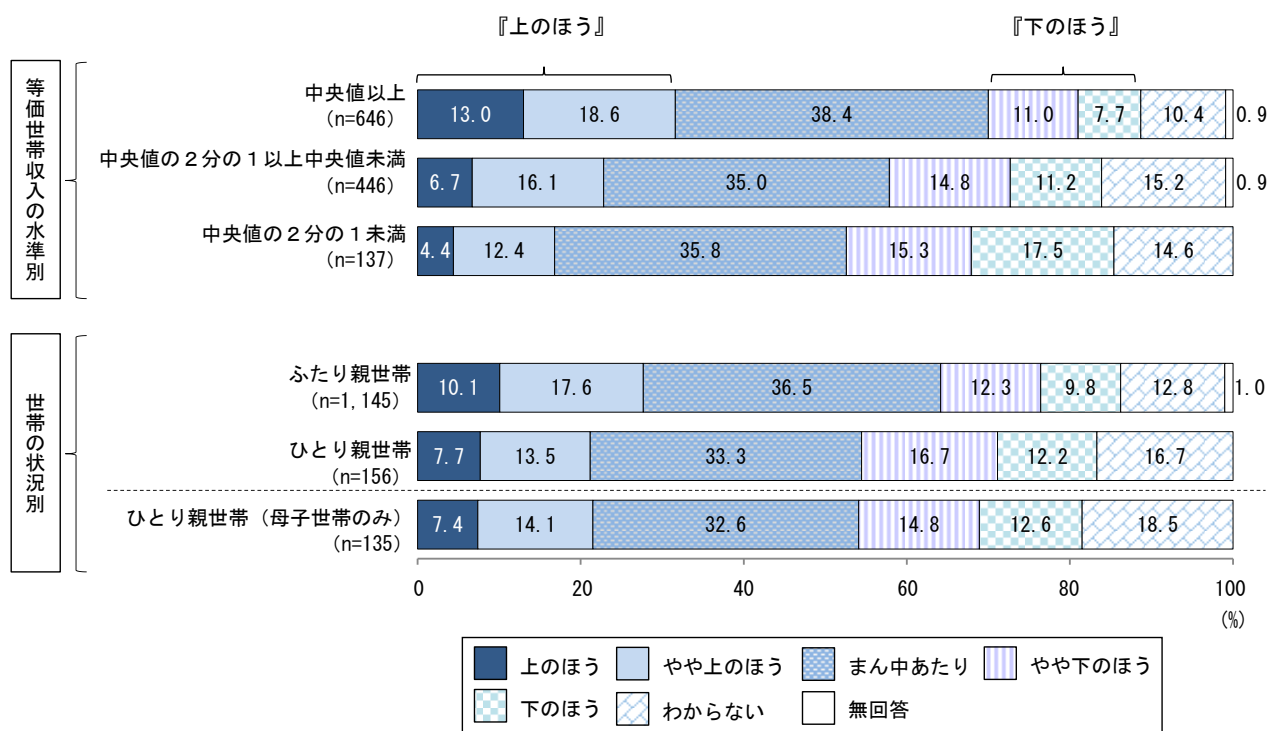
【全体】



クラスの中での成績について、小学5年生では、『上のほう（「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合）』が 26.1%、「まん中あたり」が 35.8%、『下のほう（「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた割合）』が 23.7%となっている。広島県と比較すると、『上のほう』は、呉市（26.1%）が広島県（31.9%）を 5.8 ポイント下回っている。

中学2年生では、『上のほう』が 21.7%、「まん中あたり」が 33.7%、『下のほう』が 37.9%となっている。広島県と比較すると、『上のほう』は、呉市（21.7%）が広島県（27.2%）を 5.5 ポイント下回っている。国と比較すると、『上のほう』は、呉市（21.7%）が国（34.2%）を 12.5 ポイント下回っている。

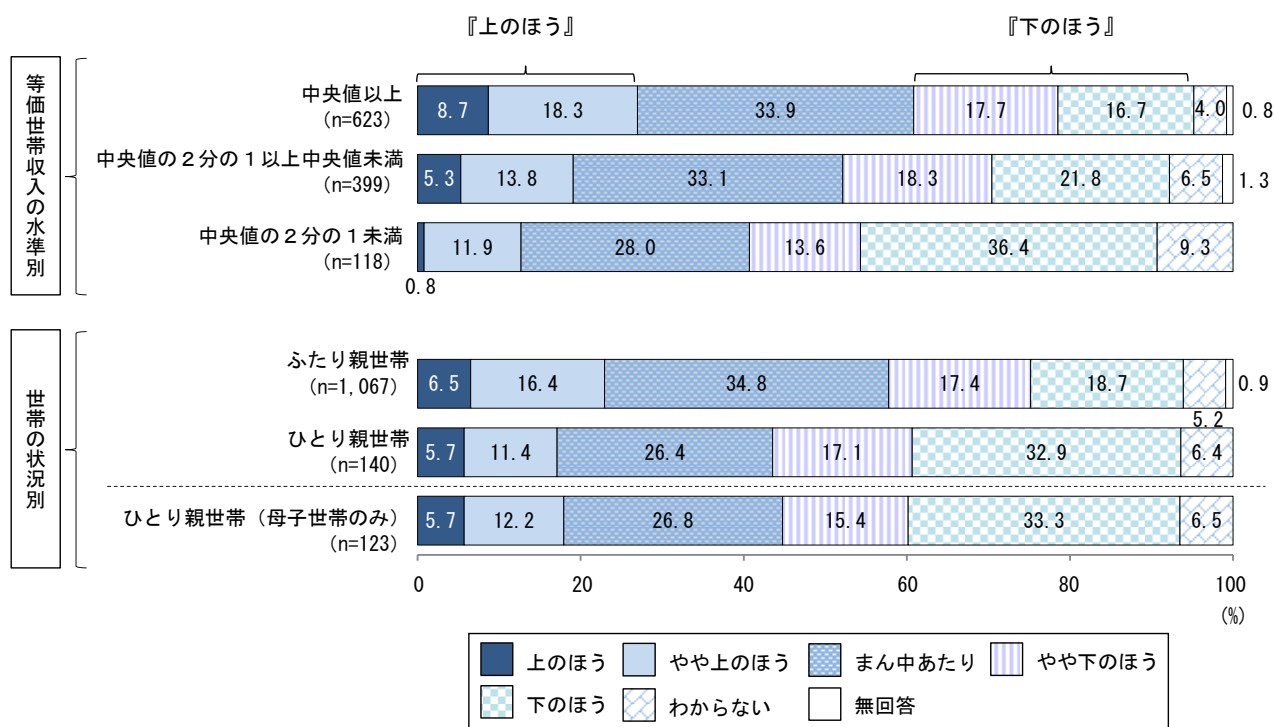
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『下のほう』は、「中央値以上」では18.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では26.0%、「中央値の2分の1未満」では32.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『下のほう』は、「ふたり親世帯」では22.1%、「ひとり親世帯全体」では28.9%、「母子世帯のみ」では27.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

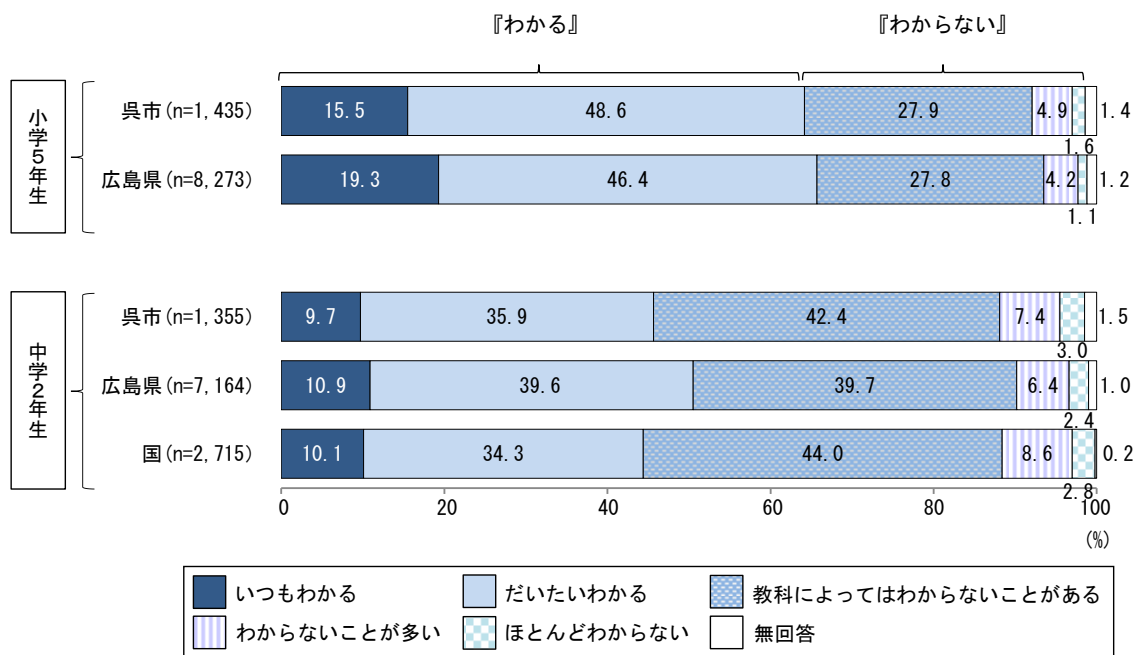


等価世帯収入の水準別にみると、『下のほう』は、「中央値以上」では34.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では40.1%、「中央値の2分の1未満」では50.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『下のほう』は、「ふたり親世帯」では36.1%、「ひとり親世帯全体」では50.0%、「母子世帯のみ」では48.7%となっている。

子供票問5. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(SA)

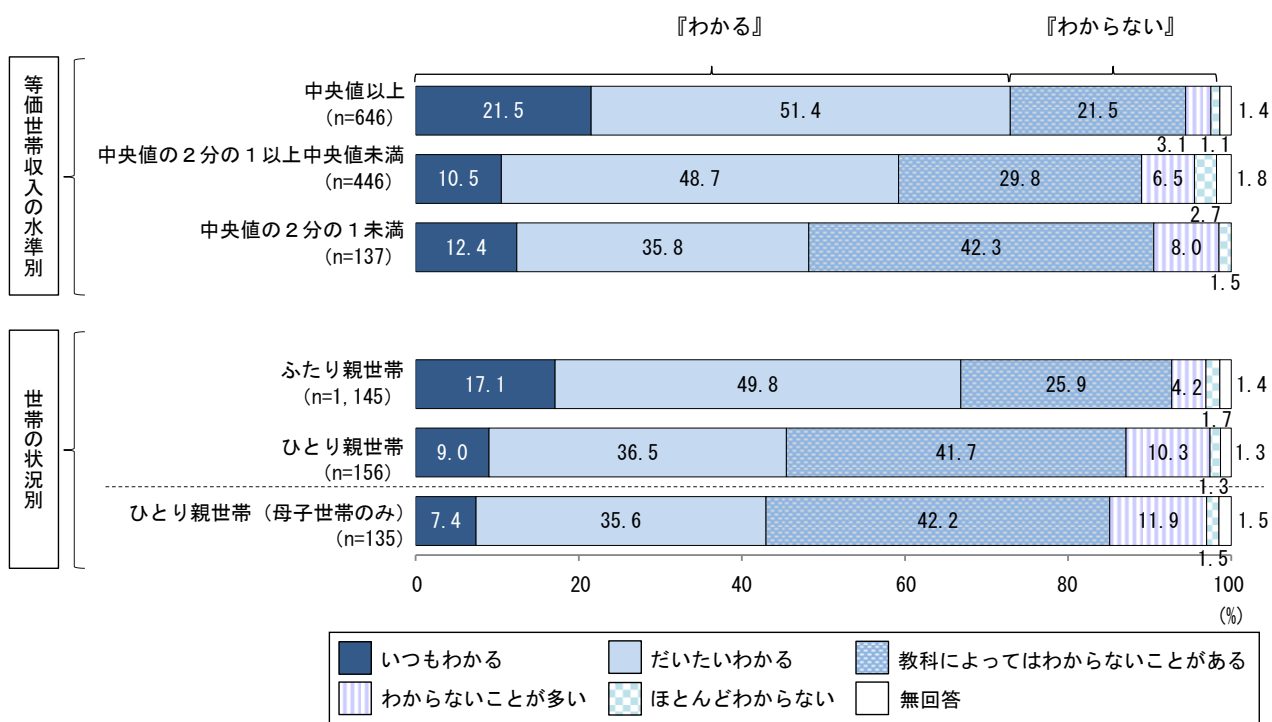
【全体】



授業の理解状況について、小学5年生では、『わかる（「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合）』が64.1%、『わからない（「教科によってはわからないことがある」と「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合）』が34.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、『わかる』が45.6%、『わからない』が52.8%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

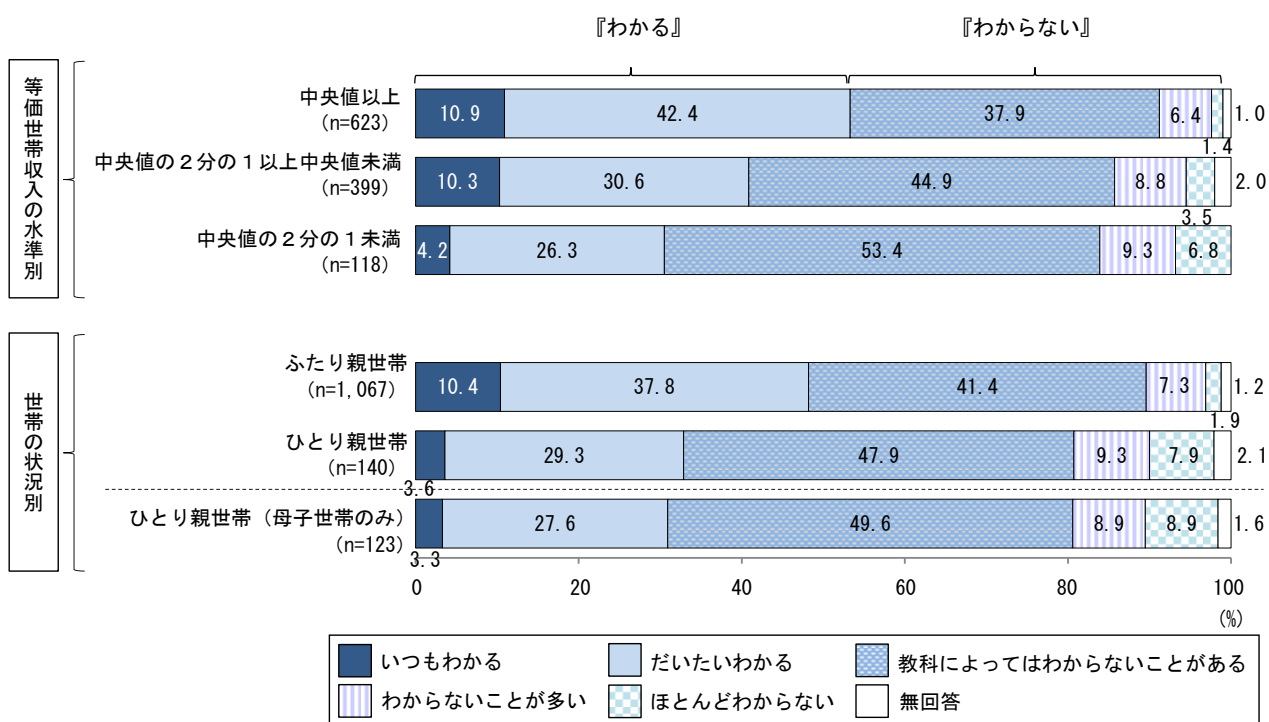
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』は、「中央値以上」では25.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では39.0%、「中央値の2分の1未満」では51.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『わからない』は、「ふたり親世帯」では31.8%、「ひとり親世帯全体」では53.3%、「母子世帯のみ」では55.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



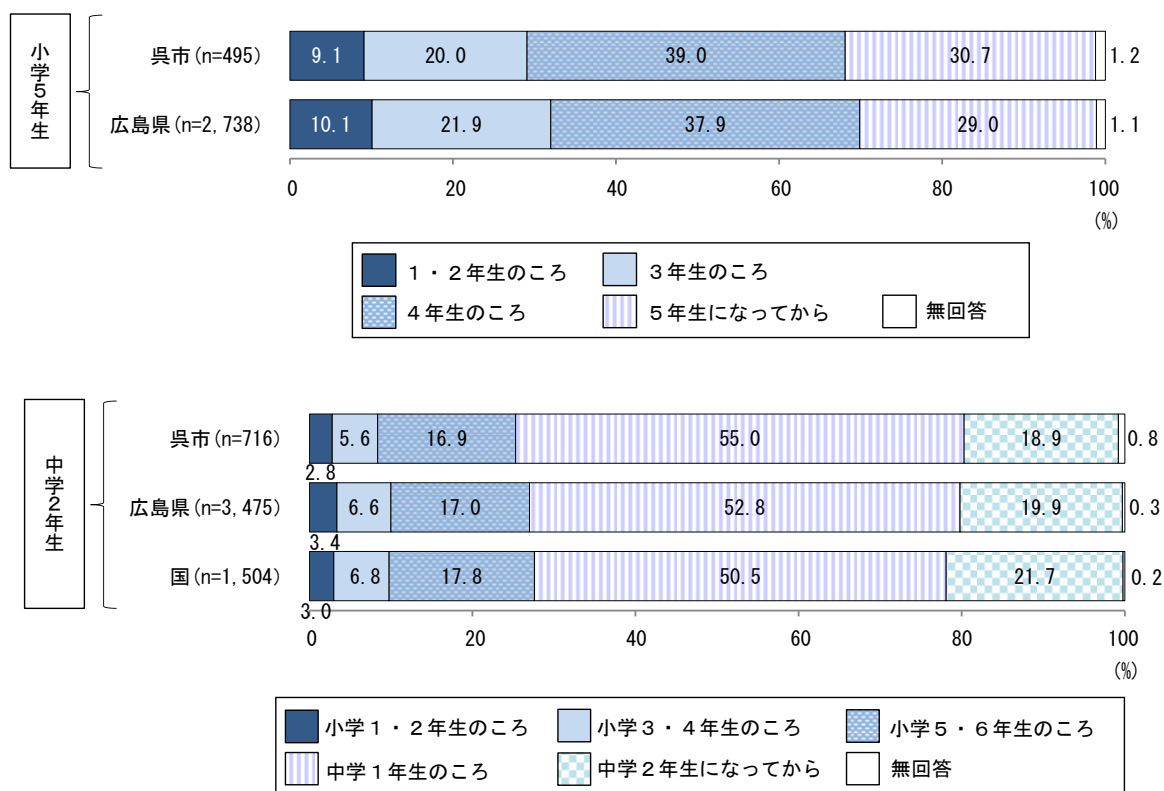
等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』は、「中央値以上」では45.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では57.2%、「中央値の2分の1未満」では69.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『わからない』は、「ふたり親世帯」では50.6%、「ひとり親世帯全体」では65.1%、「母子世帯のみ」では67.4%となっている。

※問5で「3～5」と答えた方に

子供票問6. いつごろから、授業がわからないことがありましたか。(SA)

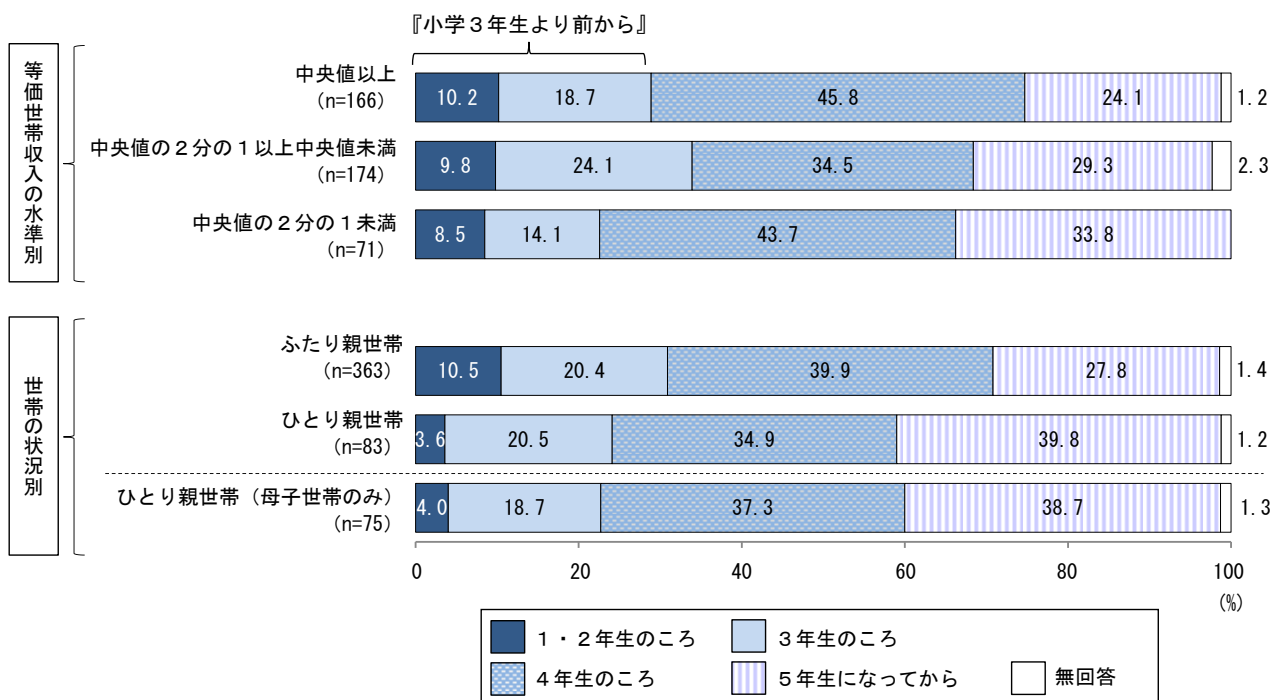
【全体】



授業がわからなくなった時期について、小学5年生では、「4年生のころ」が39.0%と最も高く、次いで「5年生になってから」が30.7%、「3年生のころ」が20.0%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「中学1年生のころ」が55.0%と最も高く、次いで「中学2年生になってから」が18.9%、「小学5・6年生のころ」が16.9%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

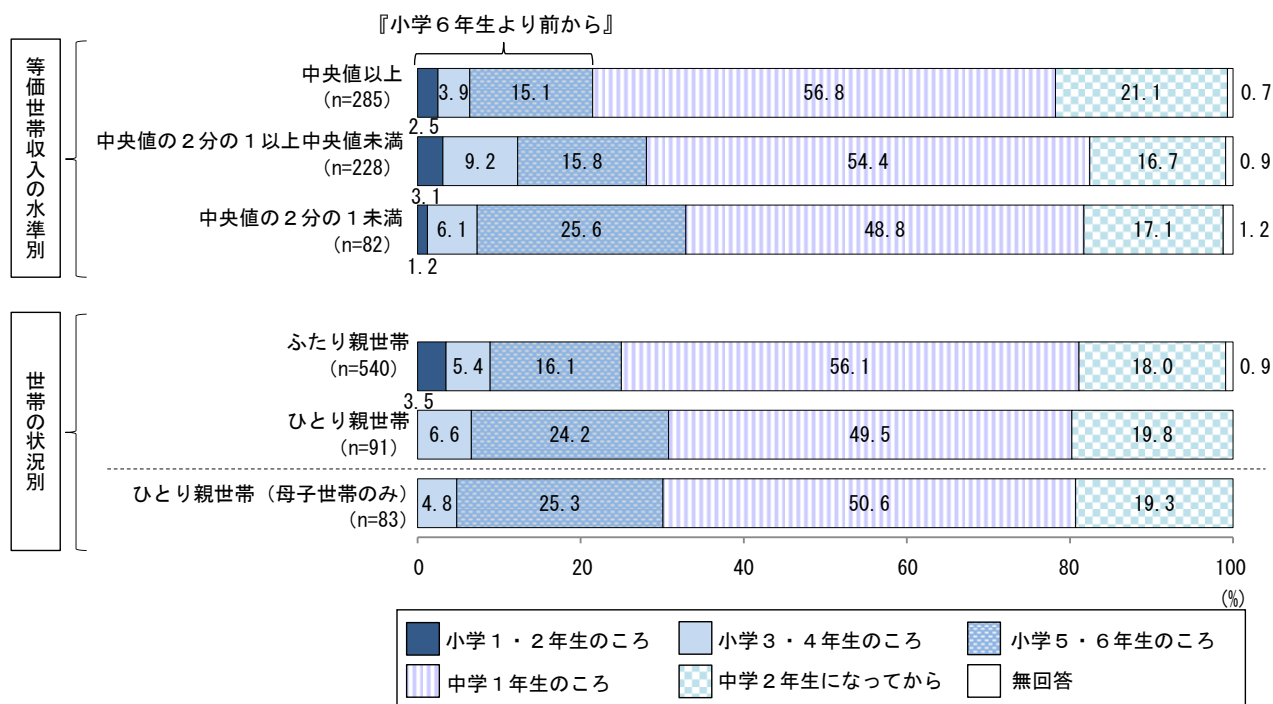
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、『小学3年生より前から（「小学1・2年生のころ」と「小学3年生のころ」を合わせた割合）』が22.6%と他の世帯に比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では『小学3年生より前から』が24.1%と「ふたり親世帯」に比べて低くなっている。

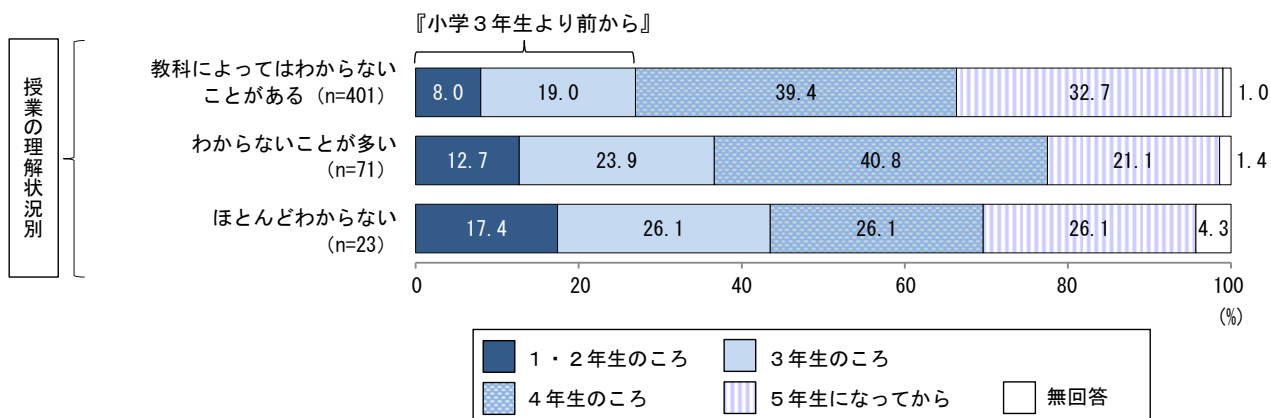
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、『小学6年生より前から（「小学1・2年生のころ」と「小学3・4年生のころ」と「小学5・6年生のころ」を合わせた割合）』が32.9%と他の世帯に比べて高くなっている。

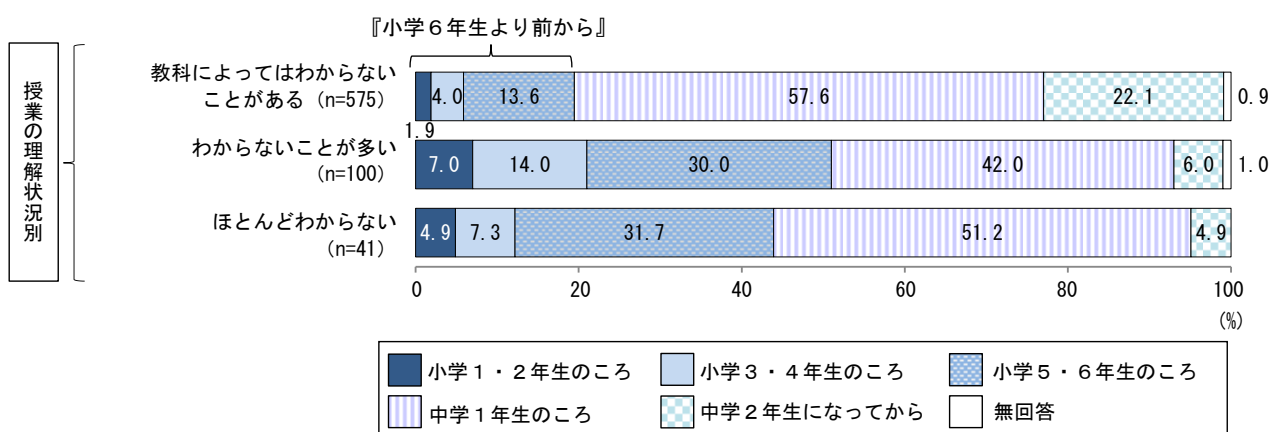
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では『小学6年生より前から』が30.8%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

【授業の理解状況別_小学5年生】



授業の理解状況別にみると、「わからないことが多い」や「ほとんどわからない」では、『小学3年生より前から』が「教科によってはわからないことがある」に比べて高くなっている。

【授業の理解状況別_中学2年生】

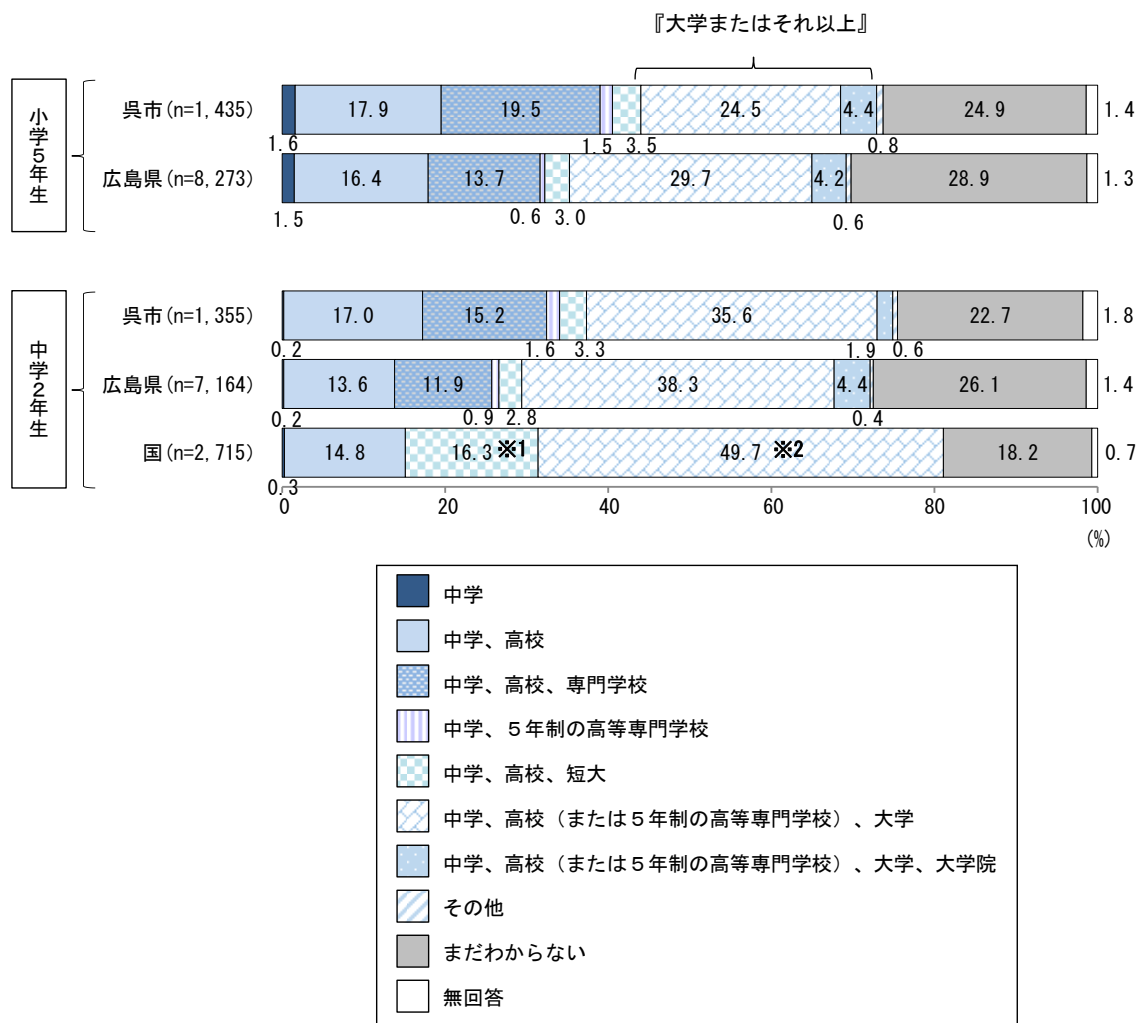


授業の理解状況別にみると、「わからないことが多い」や「ほとんどわからない」では、『小学6年生より前から』が「教科によってはわからないことがある」に比べて高くなっている。

(2) 進学希望

子供票問7. あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(SA)

【全体】



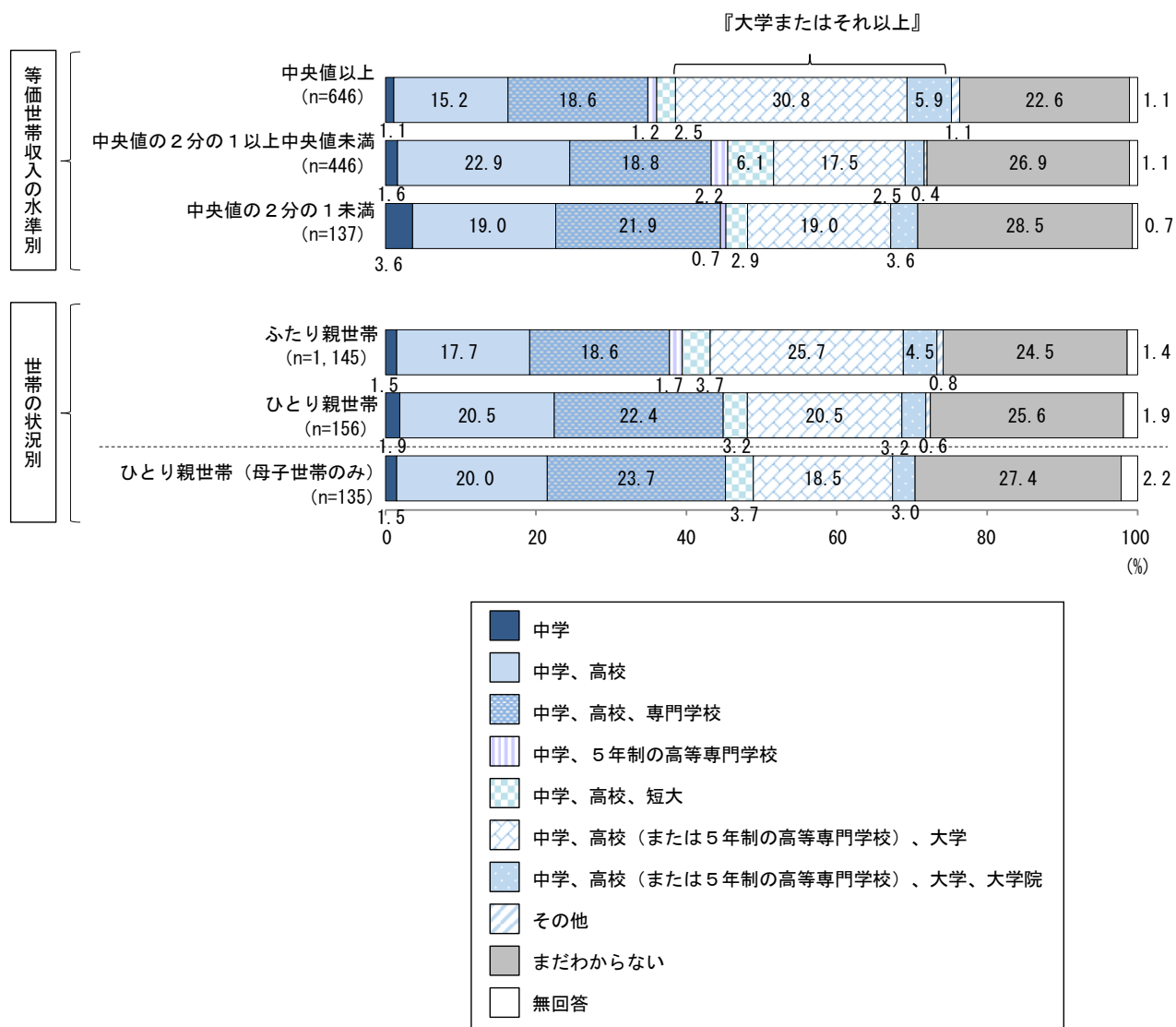
※1：国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている

※2：国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

進学希望について、小学5年生では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が24.5%と最も高く、次いで、「中学、高校、専門学校」が19.5%、「中学、高校」が17.9%などの順となっている。また、「まだわからない」との回答は24.9%となっている。広島県と比較すると、「中学、高校、専門学校」は、呉市（19.5%）が広島県（13.7%）を5.8ポイント上回っており、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」は、呉市（24.5%）が広島県（29.7%）を5.2ポイント下回っている。

中学2年生では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が35.6%と最も高く、次いで、「中学、高校」が17.0%、「中学、高校、専門学校」が15.2%などの順となっている。また、「まだわからない」との回答は22.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、『大学またはそれ以上』は、呉市（37.5%）が国（49.7%）を12.2ポイント下回っている。

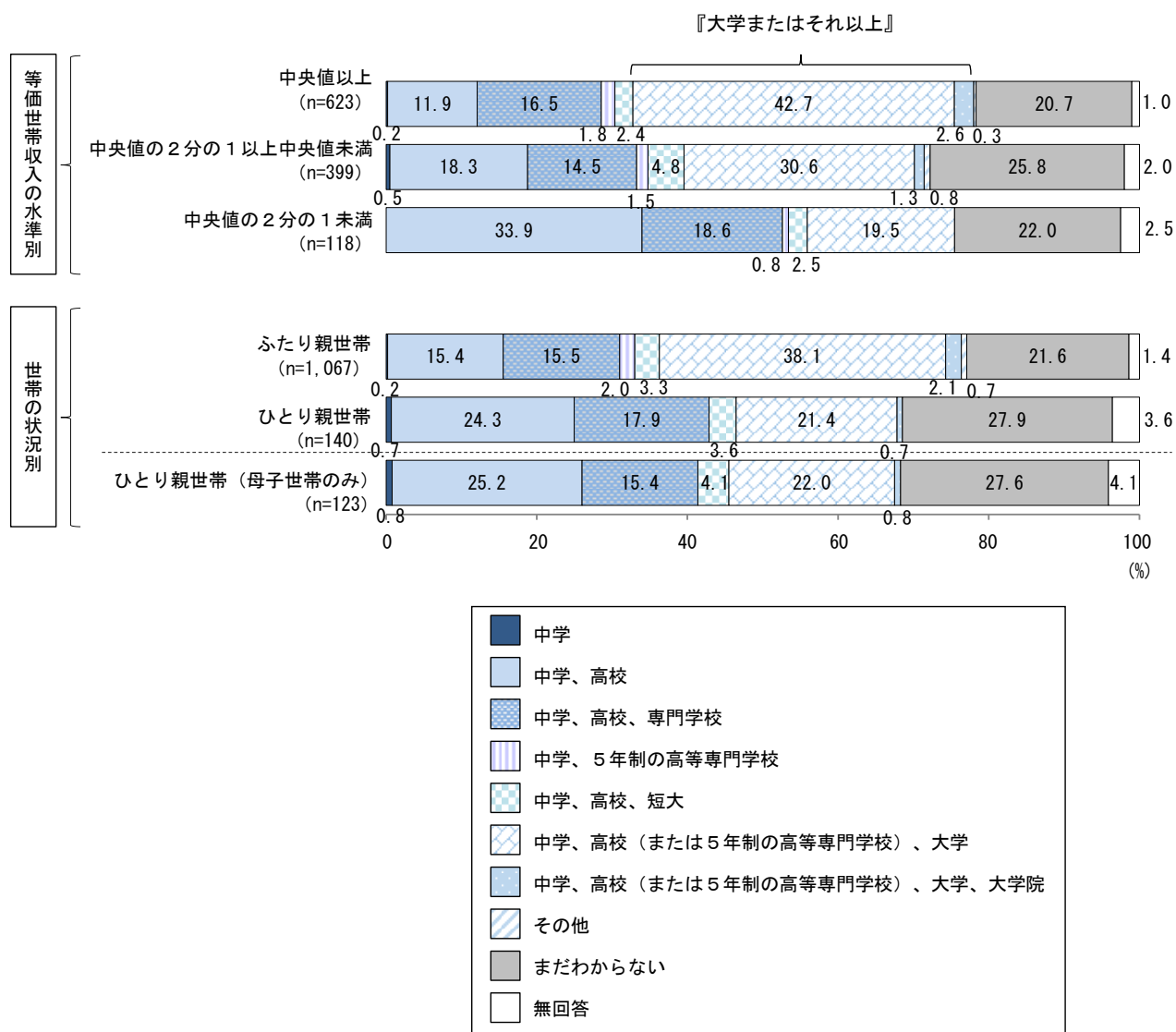
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では36.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では20.0%、「中央値の2分の1未満」では22.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では30.2%、「ひとり親世帯全体」では23.7%、「母子世帯のみ」では21.5%となっている。

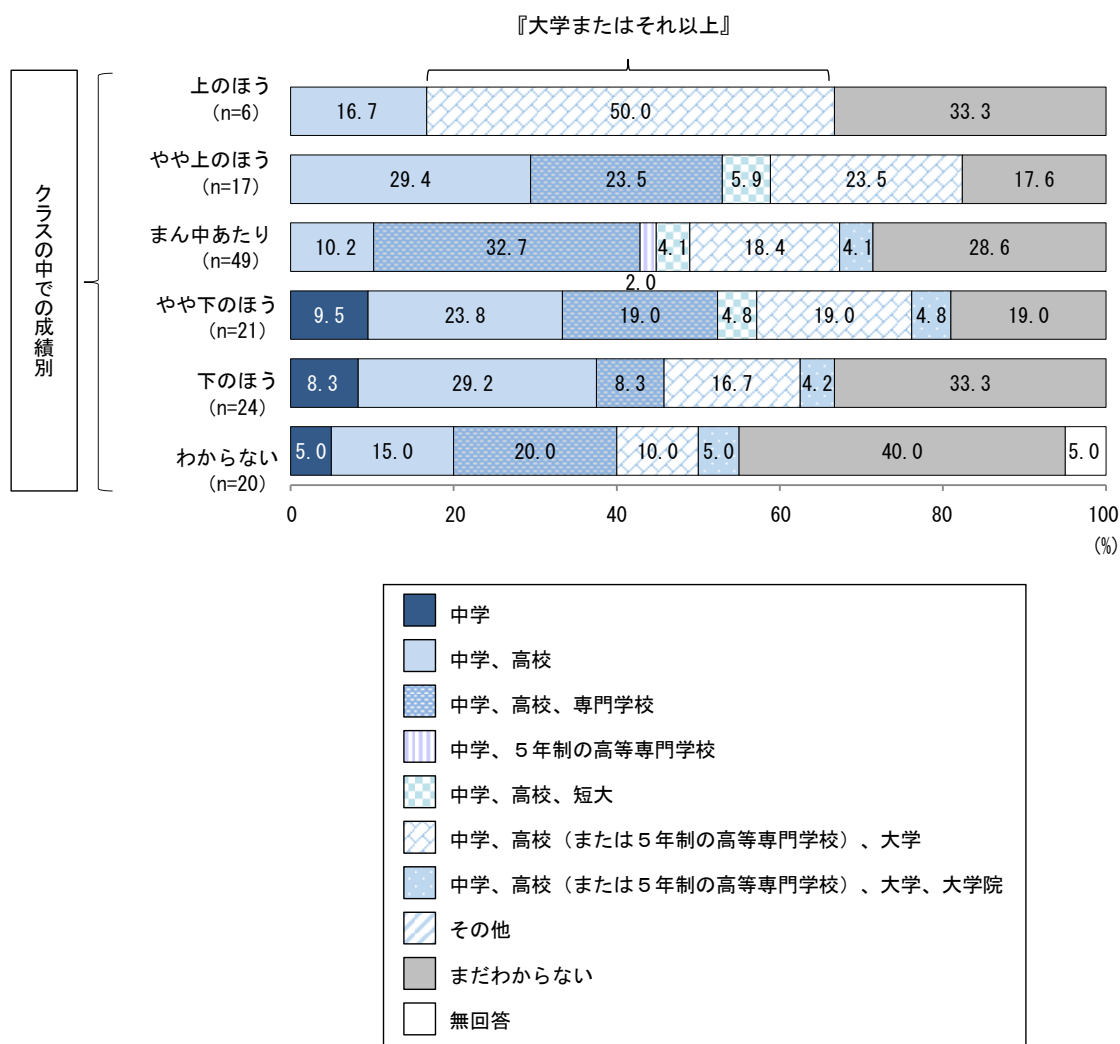
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では45.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では31.9%、「中央値の2分の1未満」では19.5%となっている。

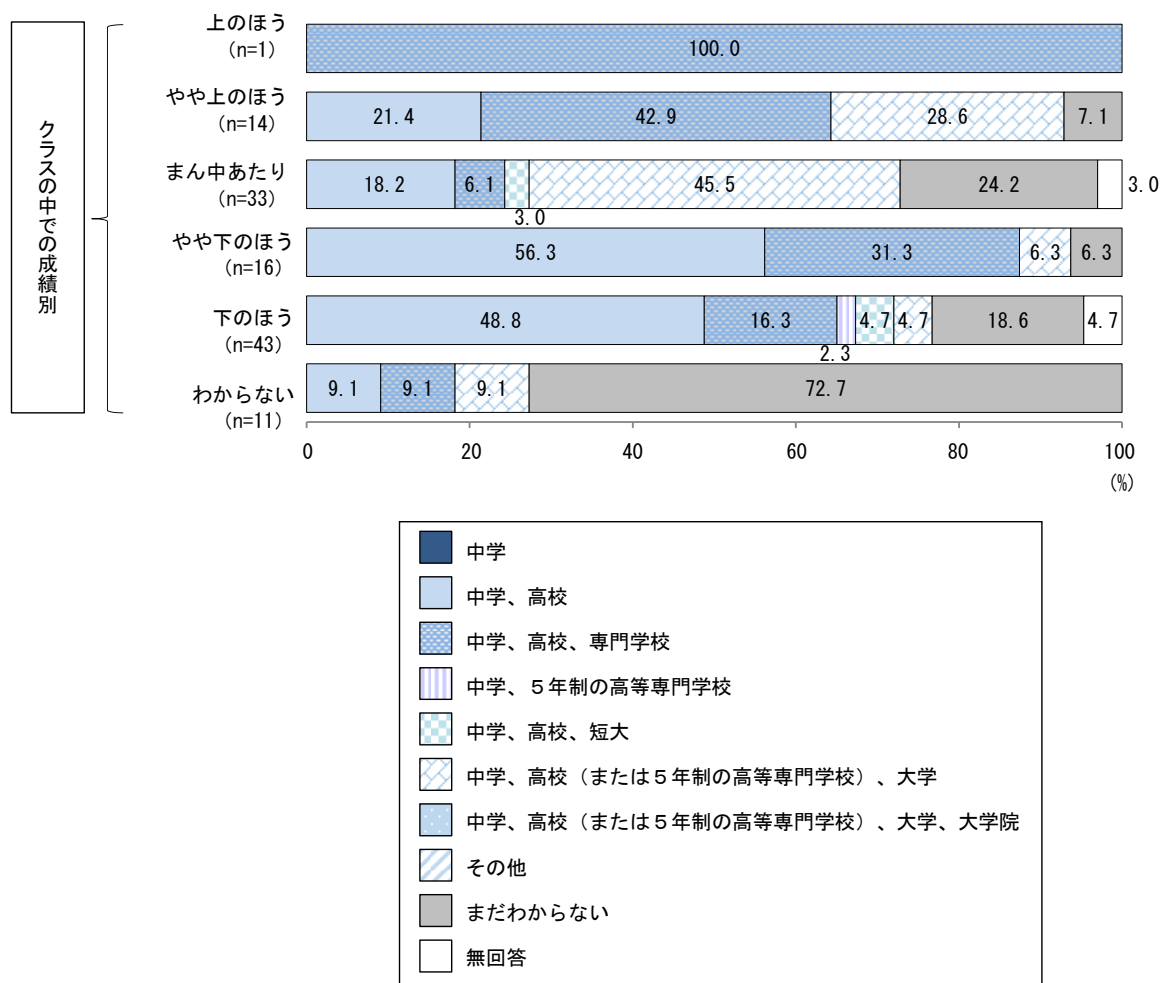
世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では40.2%、「ひとり親世帯全体」では22.1%、「母子世帯のみ」では22.8%となっている。

【クラスの中での成績別（等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合）_小学5年生】



クラスの中での成績別にみると、収入が低い場合であっても、成績が『上のほう』の場合には、『大学またはそれ以上』を希望する割合が50.0%と高くなっている。

【クラスの中での成績別（等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合）_中学2年生】



クラスの中での成績別にみると、収入が低い場合であっても、成績が「やや上のほう」や「まん中あたり」の場合には、『大学またはそれ以上』を希望する割合が高くなっている。

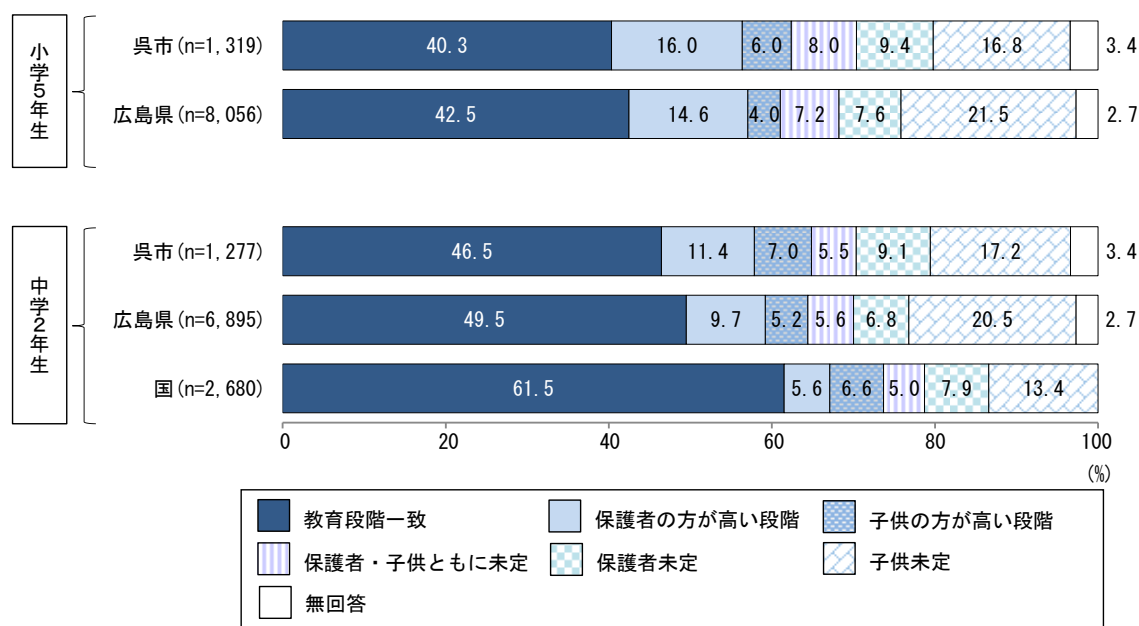
= 保護者と子供の考えの一致・不一致の状況 =

保護者が考える子供の進学段階に関する希望・展望の回答 (P. 108 参照) と、子供自身が進学したいと思う教育段階 (P. 158 参照) の一致・不一致の状況について、「教育段階一致」、「保護者の方が高い段階」、「子供の方が高い段階」、「保護者・子供ともに未定」、「保護者未定」、「子供未定」の6分類で集計した。

※短大・高専・専門学校、大学・大学院はそれぞれ同じ段階として集計した。

※保護者・子供のいずれか、または「8 その他」や「不明・無回答」の場合は集計の対象外とした。

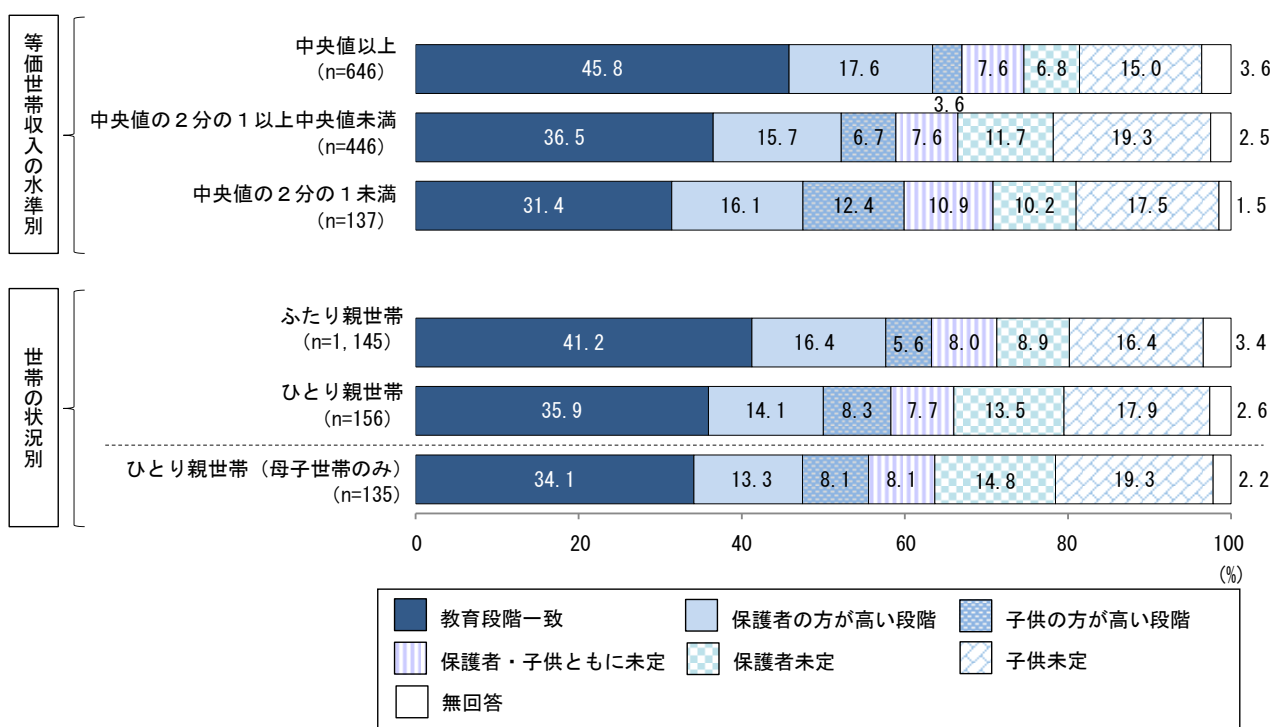
【全体】



保護者と子供の考えの一致・不一致の状況について、小学5年生では、「教育段階一致」が40.3%と最も高く、次いで「子供未定」が16.8%、「保護者の方が高い段階」が16.0%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「教育段階一致」が46.5%と最も高く、次いで「子供未定」が17.2%、「保護者の方が高い段階」が11.4%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「教育段階一致」は、呉市(46.5%)が国(61.5%)を15.0ポイント下回っている。

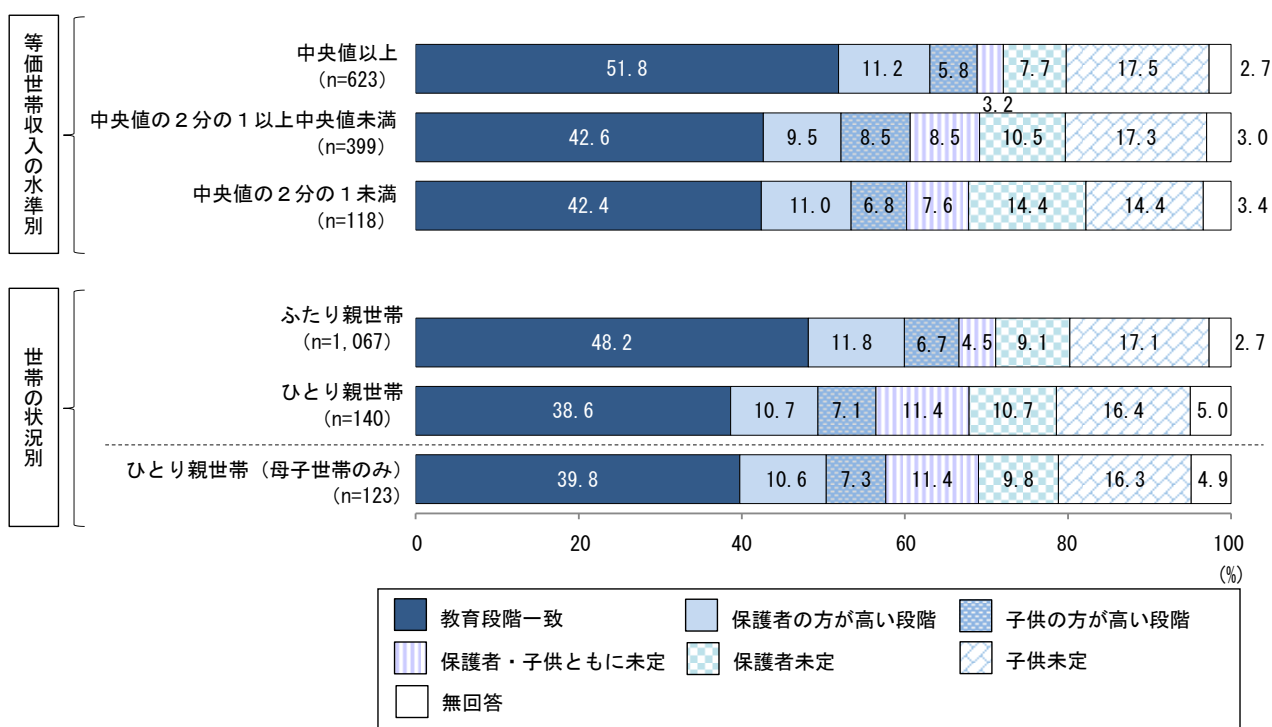
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」は、「中央値以上」では45.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では36.5%、「中央値の2分の1未満」では31.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」は、「ふたり親世帯」では41.2%、「ひとり親世帯全体」では35.9%、「母子世帯のみ」では34.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



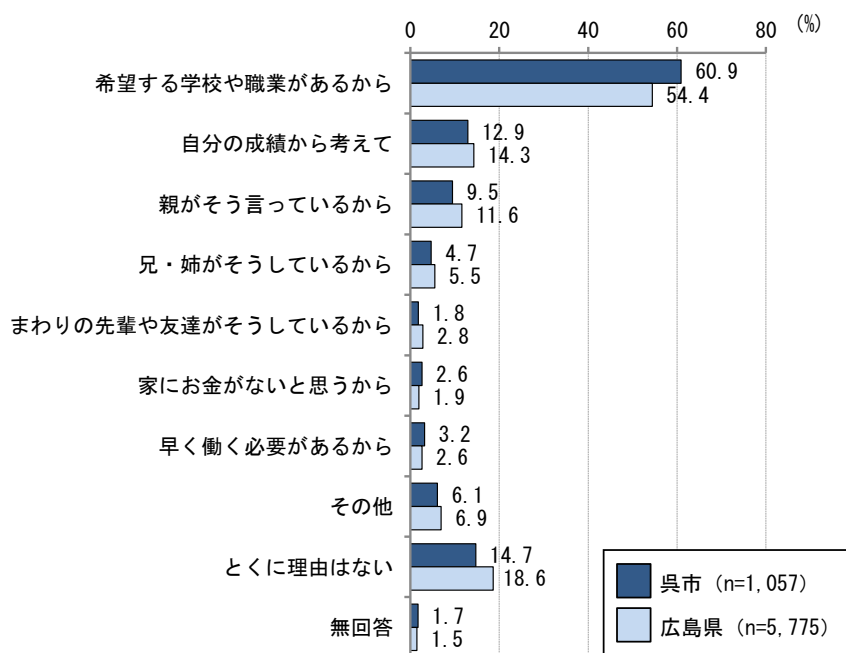
等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」は、「中央値以上」では51.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では42.6%、「中央値の2分の1未満」では42.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」は、「ふたり親世帯」では48.2%、「ひとり親世帯全体」では38.6%、「母子世帯のみ」では39.8%となっている。

※問7で「1～8」と答えた方に

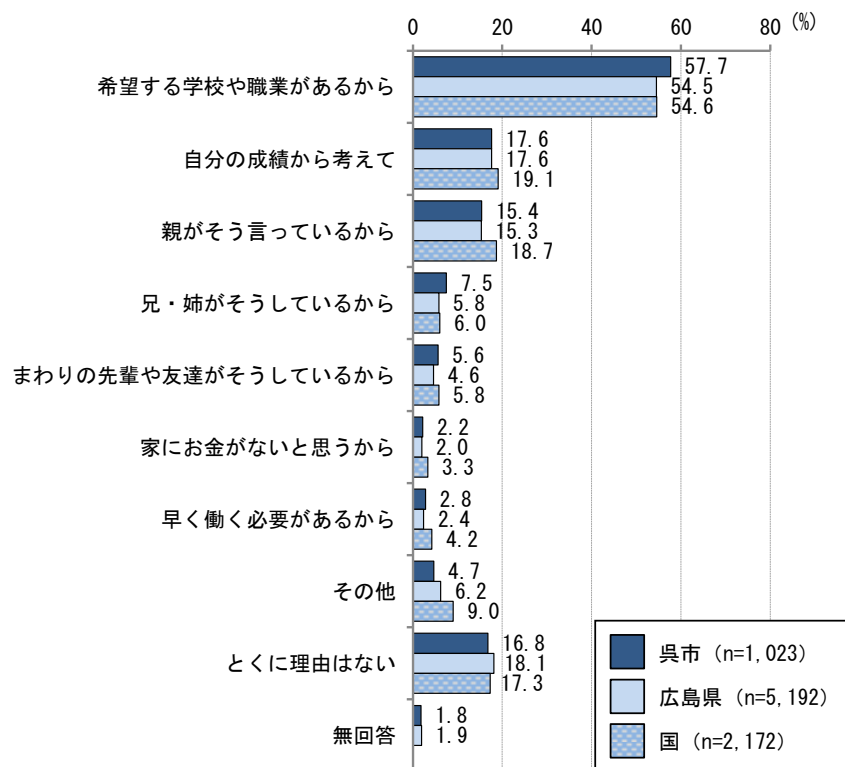
子供票問8. その理由を教えてください。(MA)

【小学5年生】



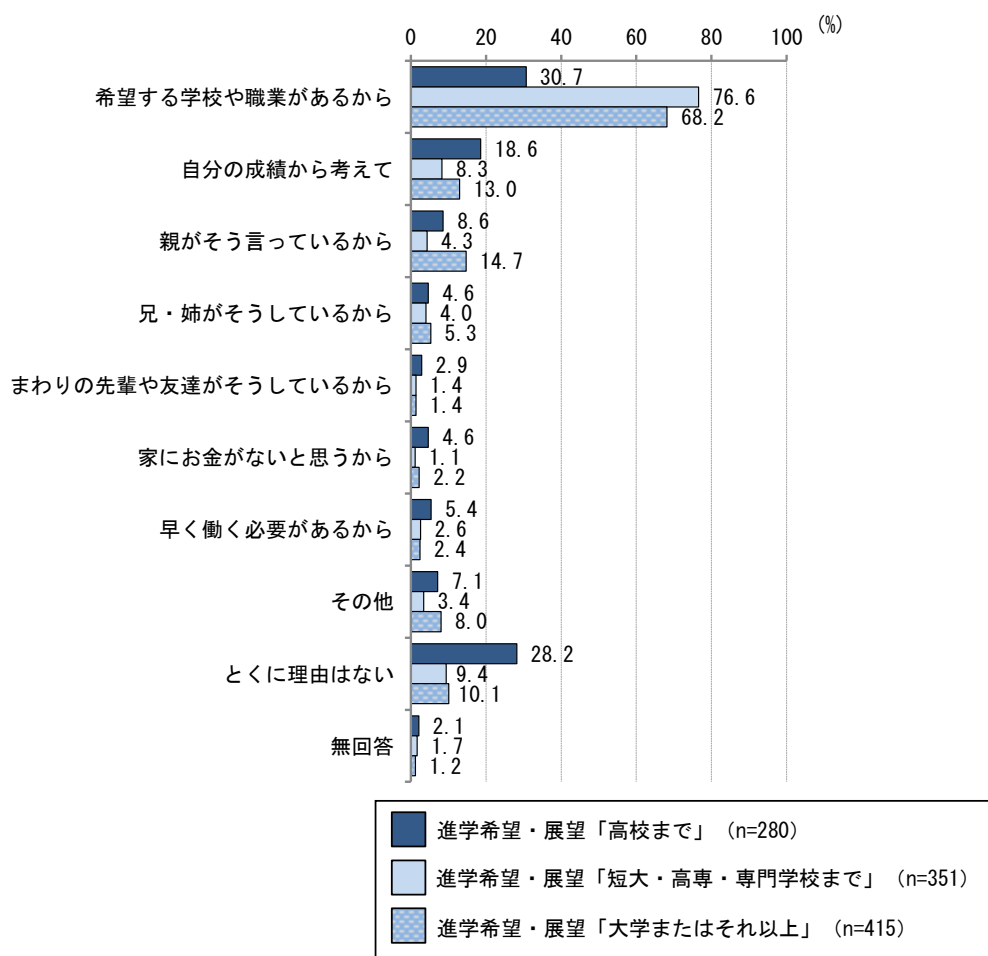
進学希望の理由について、小学5年生では、「希望する学校や職業があるから」が60.9%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が12.9%、「親がそう言っているから」が9.5%などの順となっている。また、「とくに理由はない」との回答は14.7%となっている。広島県と比較すると、「希望する学校や職業があるから」は、呉市（60.9%）が広島県（54.4%）を6.5ポイント上回っている。

【中学2年生】



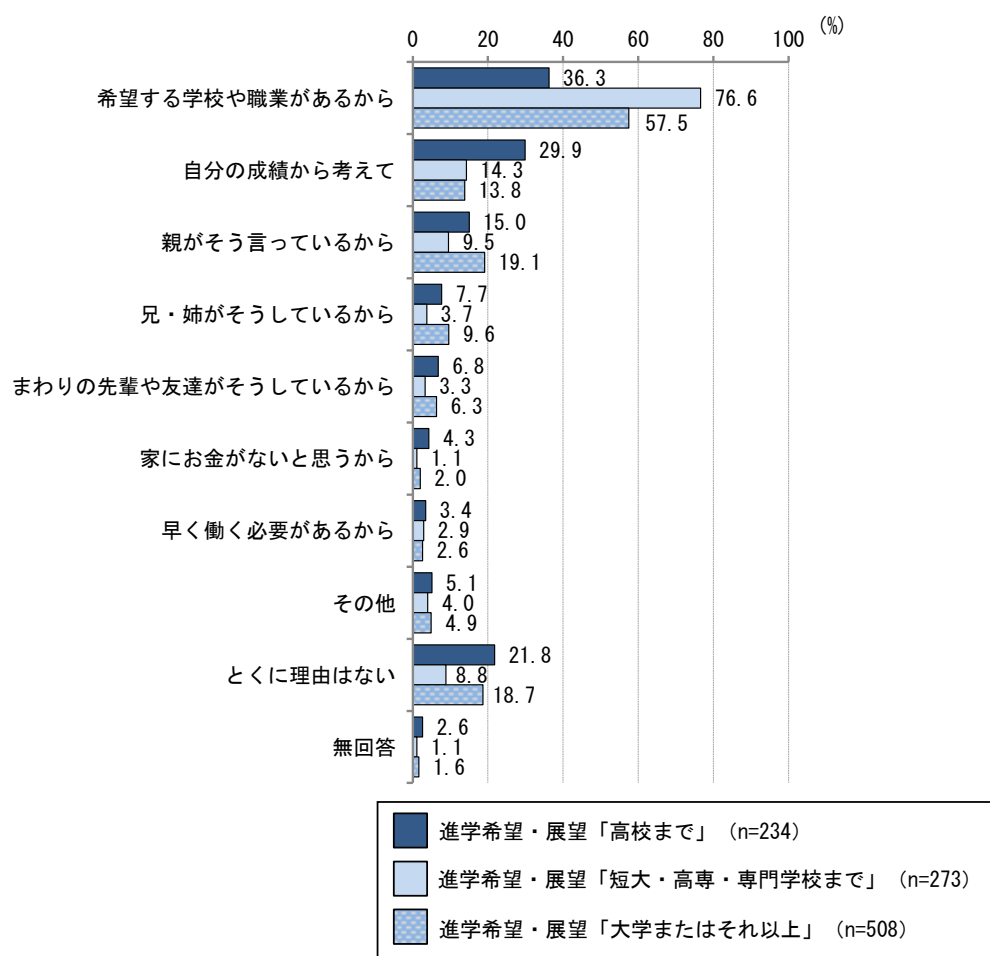
進学希望の理由について、中学2年生では、「希望する学校や職業があるから」が57.7%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が17.6%、「親がそう言っているから」が15.4%などの順となっている。また、「とくに理由はない」との回答は16.8%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

【進学したいと思う教育段階別_小学5年生】



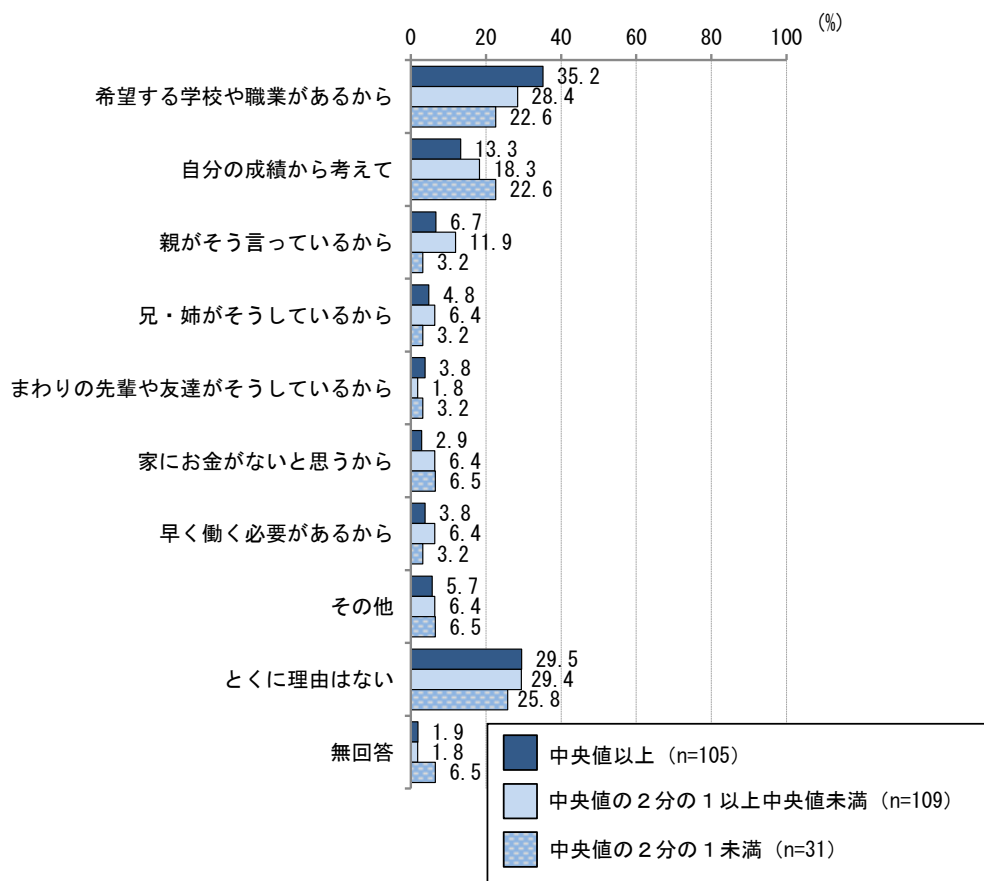
進学したいと思う教育段階別にみると、『中学・高校まで』では、「自分の成績から考えて」が18.6%となっており、『専門学校・高専・短大まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。一方で、「希望する学校や職業があるから」は30.7%となっており、『専門学校・高専・短大まで』や『大学またはそれ以上』と比べて低くなっている。

【進学したいと思う教育段階別_中学2年生】



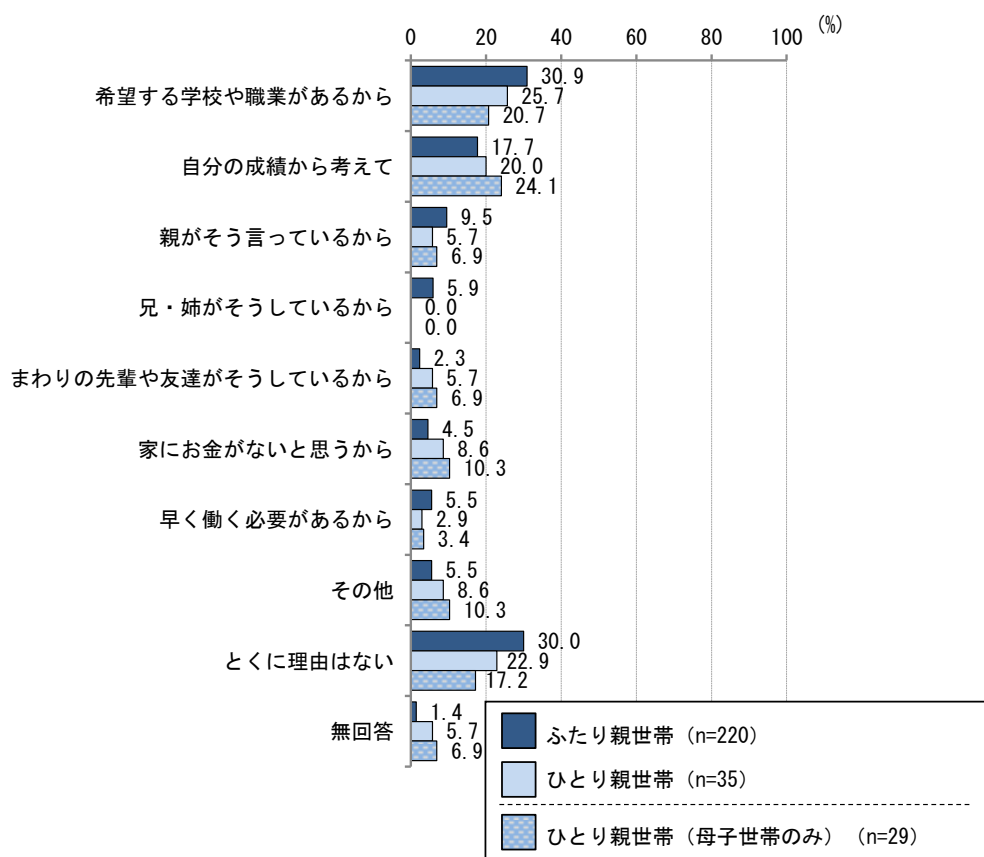
進学したいと思う教育段階別にみると、『中学・高校まで』では、「自分の成績から考えて」が29.9%となっており、『専門学校・高専・短大まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。一方で、「希望する学校や職業があるから」は36.3%となっており、『専門学校・高専・短大まで』や『大学またはそれ以上』と比べて低くなっている。

【等価世帯収入の水準別（高校までを希望している場合）_小学5年生】



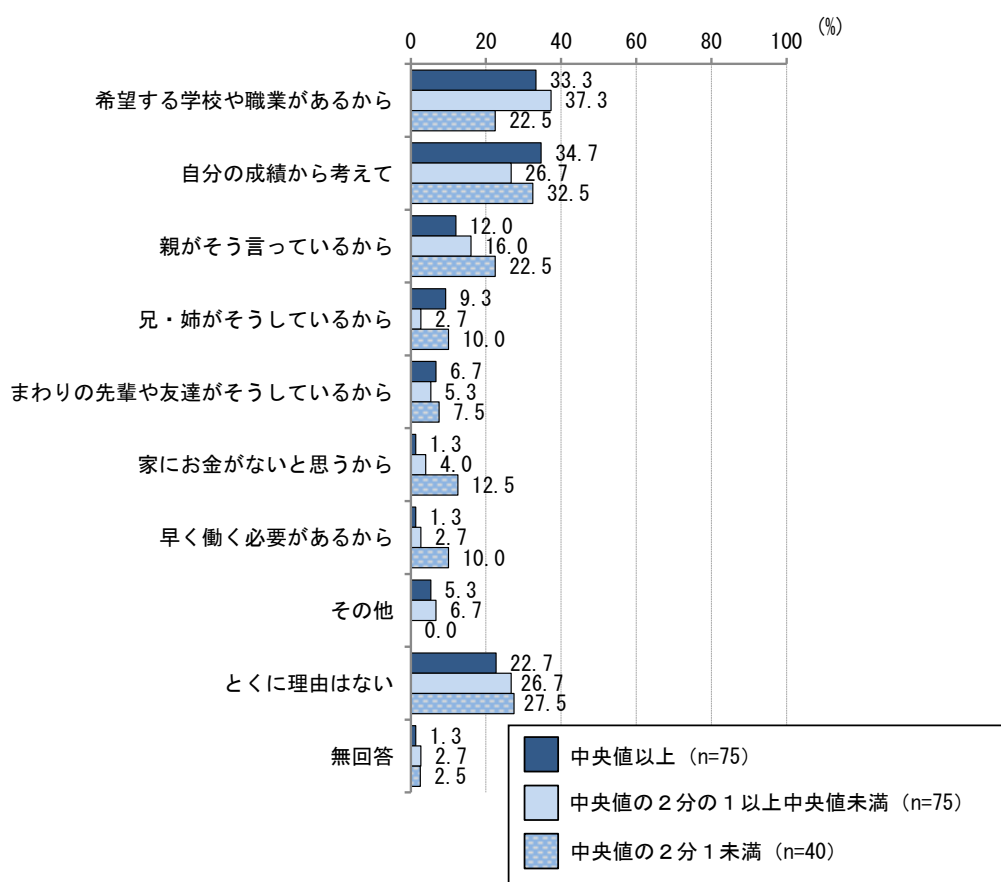
『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「希望する学校や職業があるから」が22.6%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別（高校までを希望している場合）_小学5年生】



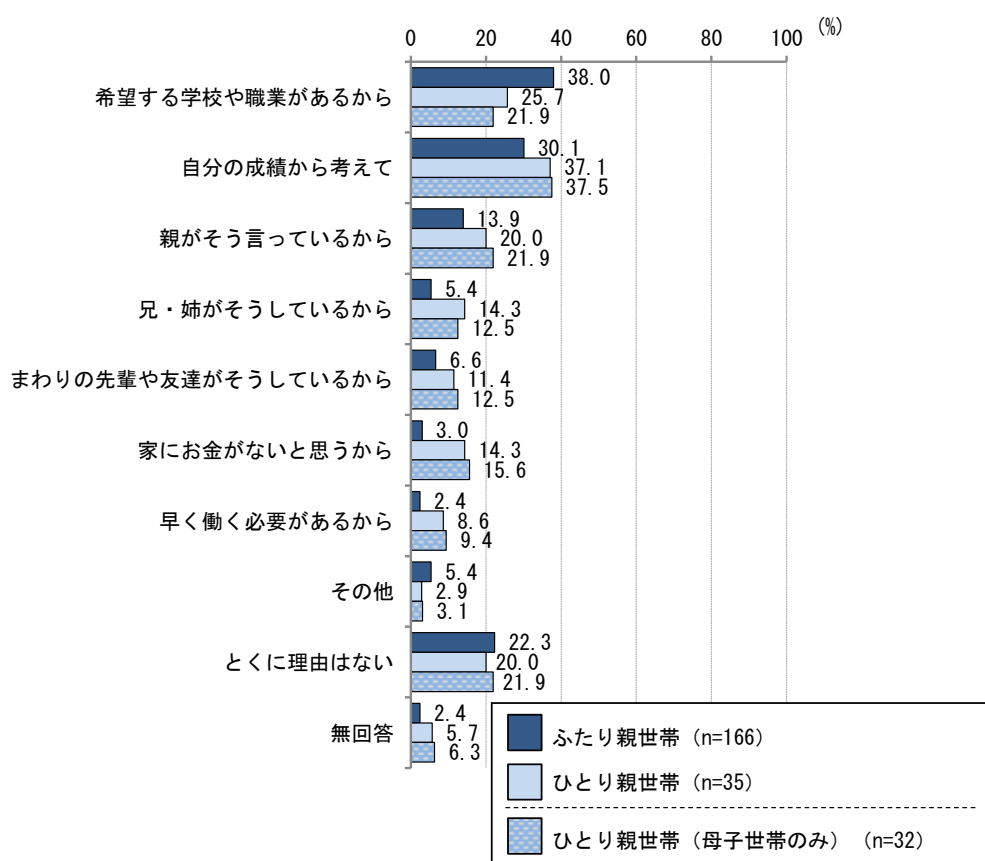
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「希望する学校や職業があるから」が25.7%と低くなっている。

【等価世帯収入の水準別（高校までを希望している場合）_中学2年生】



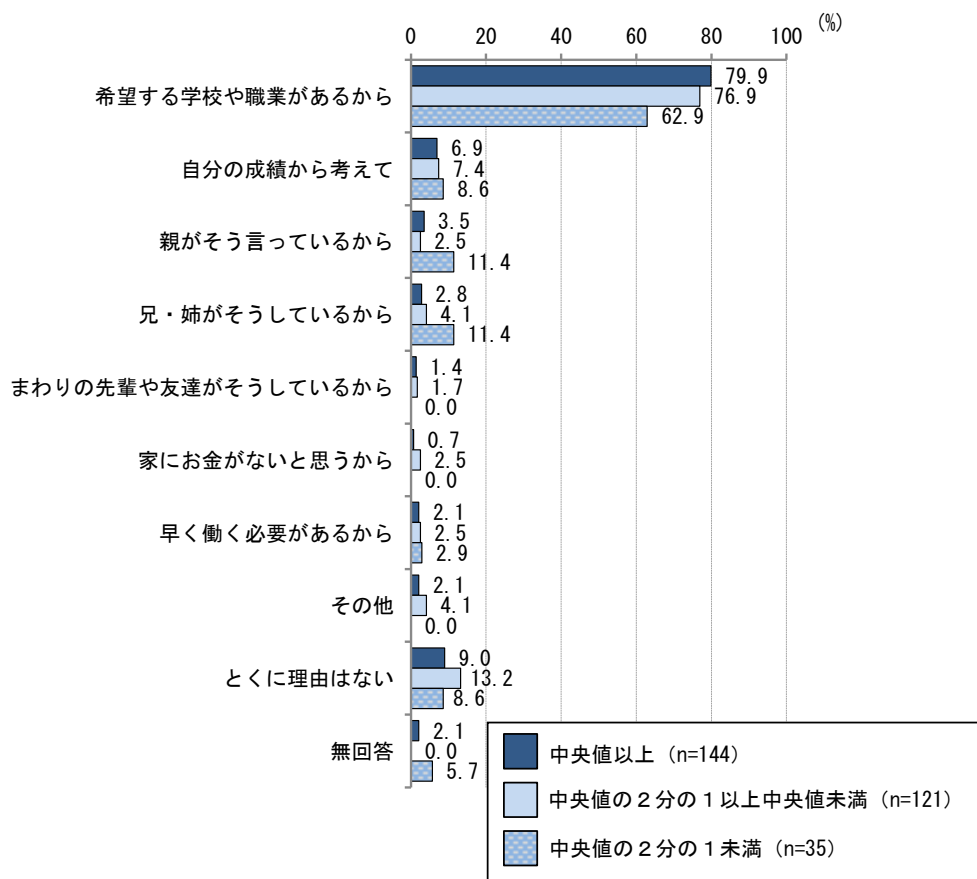
『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「希望する学校や職業があるから」が22.5%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別（高校までを希望している場合）_中学2年生】



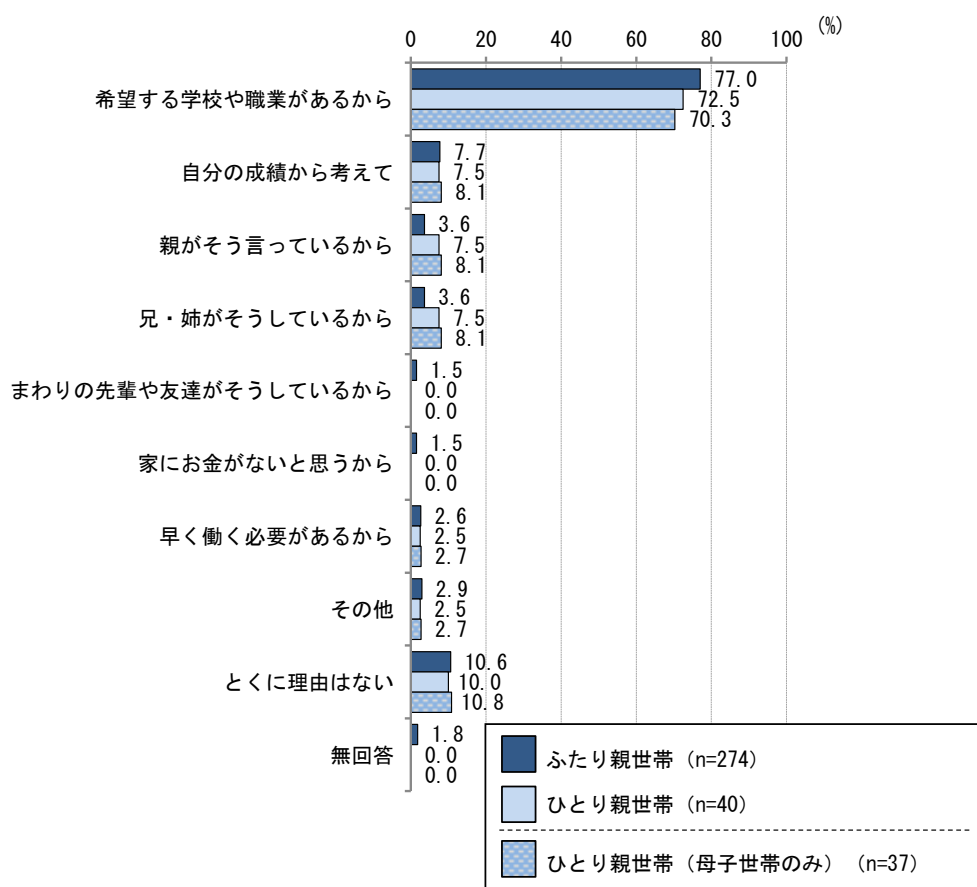
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「自分の成績から考えて」が37.1%、「兄・姉がそうしているから」が14.3%、「家にお金がないと思うから」が14.3%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別（短大・高専・専門学校までを希望している場合）_小学5年生】



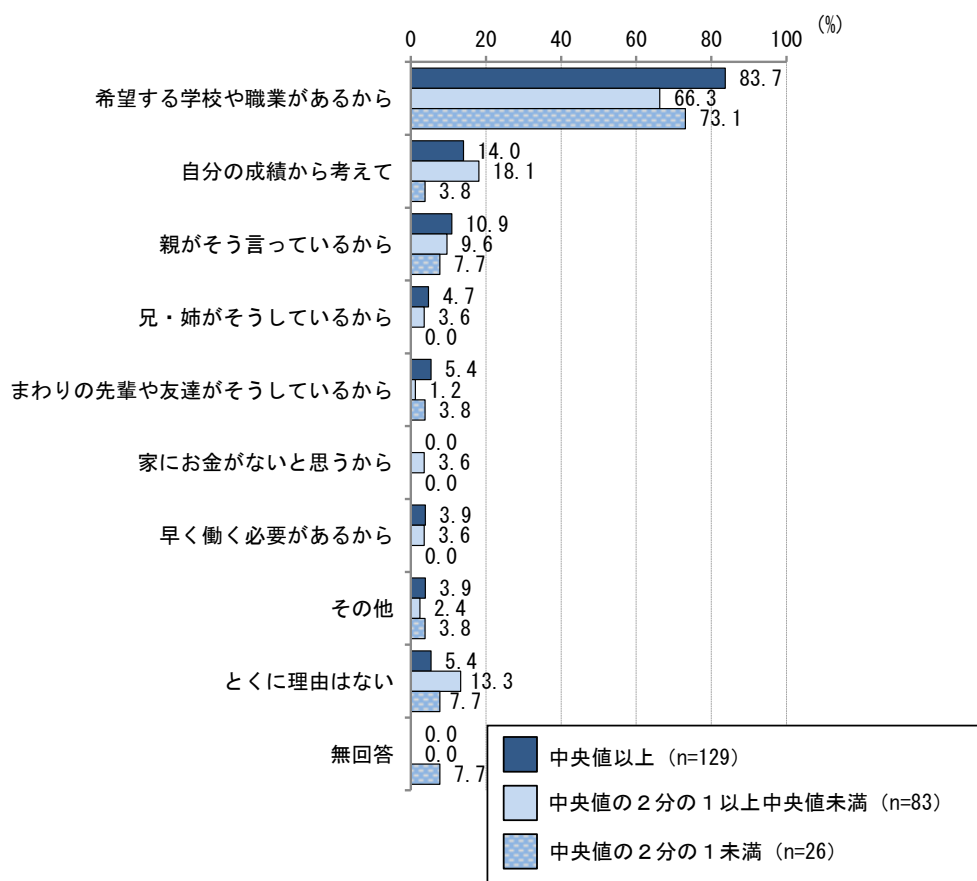
『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「親がそう言っているから」が11.4%、「兄・姉がそうしているから」が11.4%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（短大・高専・専門学校までを希望している場合）_小学5年生】



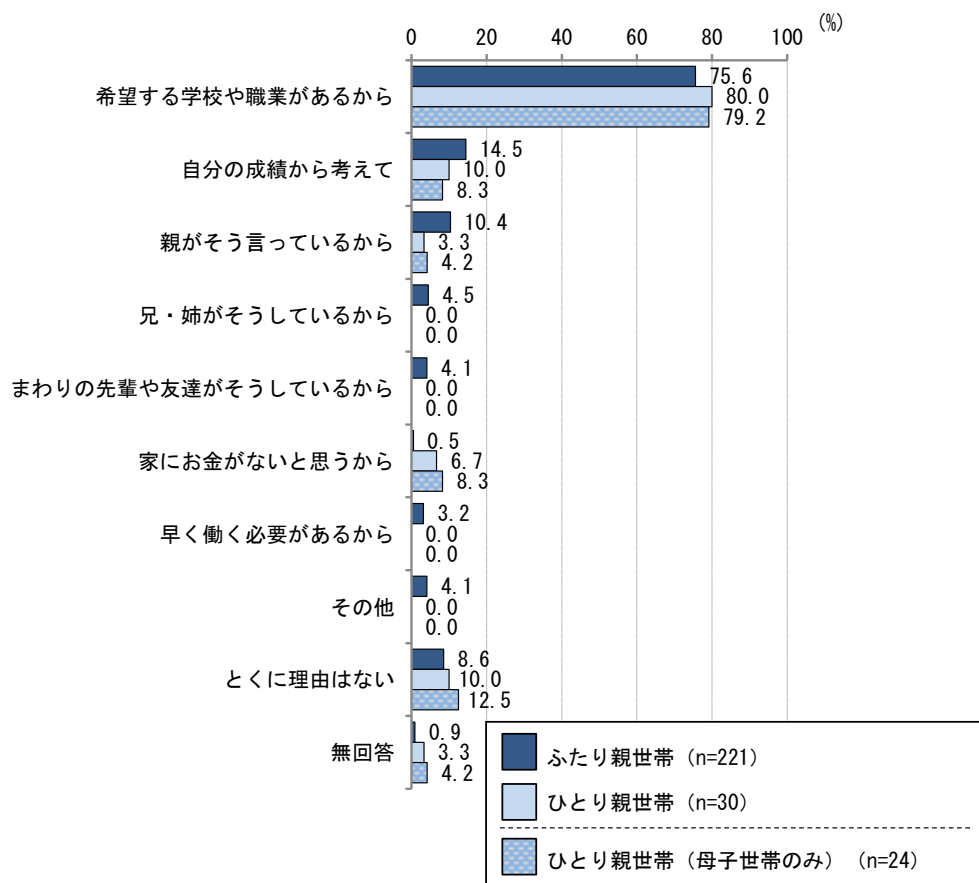
『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「希望する学校や職業があるから」は「ふたり親世帯」では77.0%、「ひとり親世帯」では72.5%、「母子世帯のみ」は70.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別（短大・高専・専門学校までを希望している場合）_中学2年生】



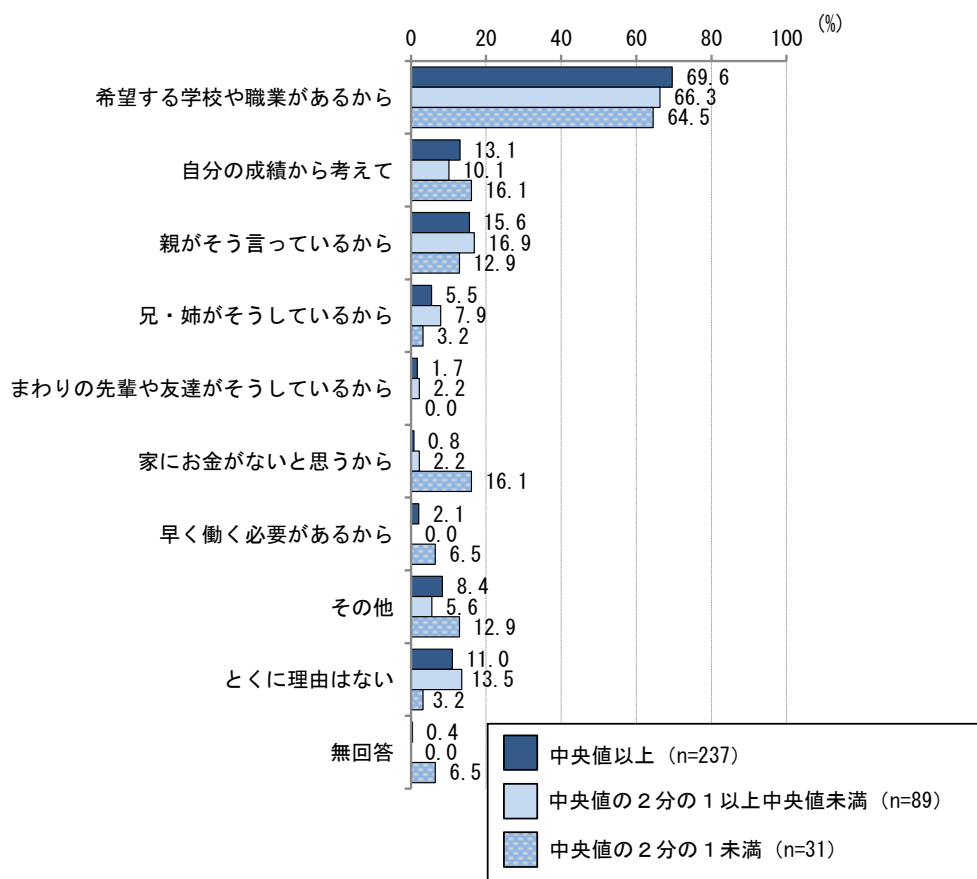
『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「希望する学校や職業があるから」が73.1%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（短大・高専・専門学校までを希望している場合）_中学2年生】



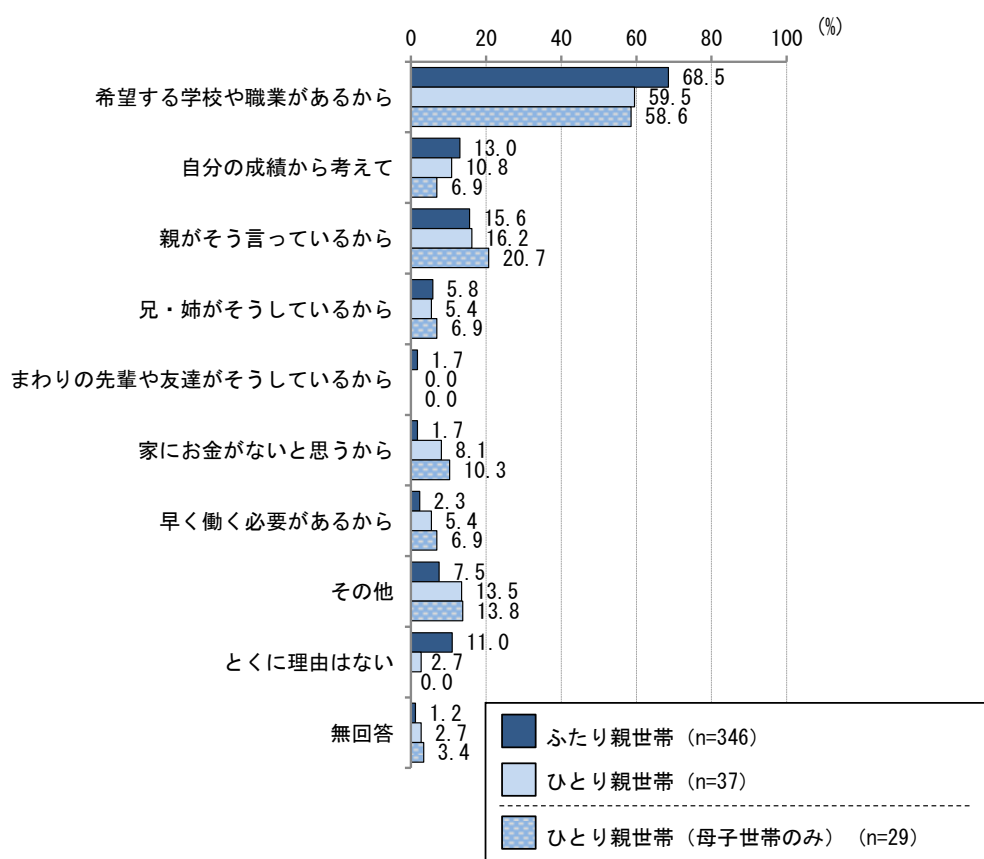
『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家にお金がないと思うから」が6.7%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別（大学またはそれ以上を希望している場合）_小学5年生】



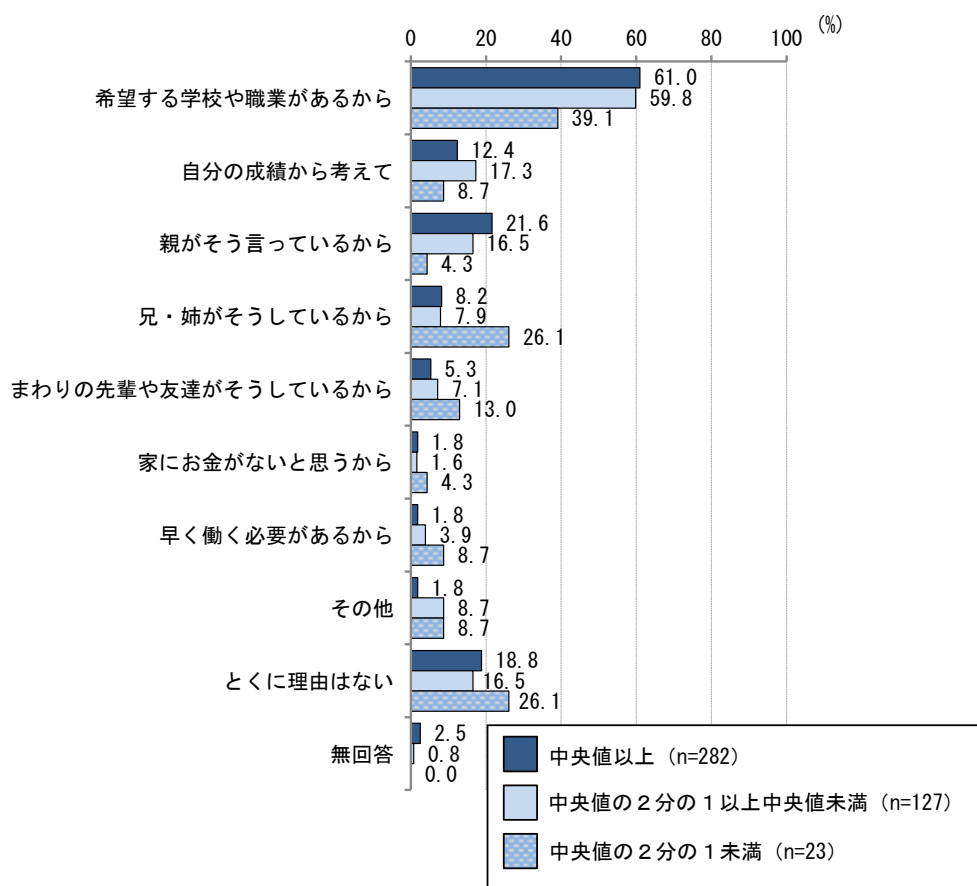
『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「自分の成績から考えて」が16.1%、「家にお金がないと思うから」が16.1%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（大学またはそれ以上を希望している場合）_小学5年生】



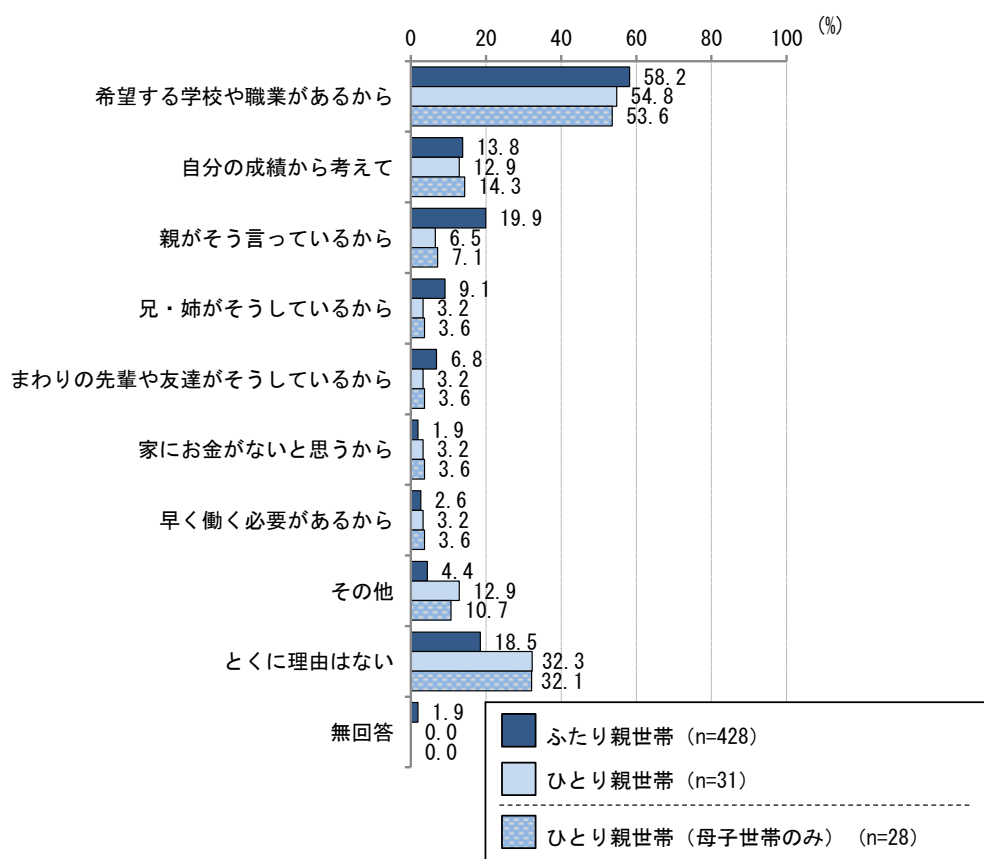
『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家にお金がないと思うから」が8.1%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別（大学またはそれ以上を希望している場合）_中学2年生】



『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「兄・姉がそうしているから」が26.1%、「まわりの先輩や友達がそうしているから」が13.0%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（大学またはそれ以上を希望している場合）_中学2年生】

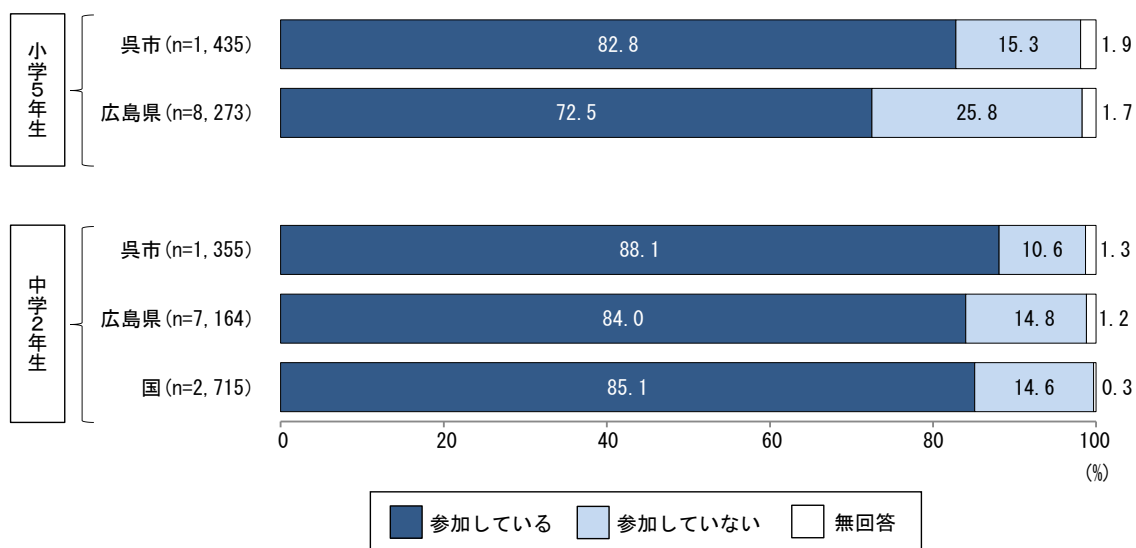


『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「ふたり親世帯」では58.2%、「ひとり親世帯全体」では54.8%、「母子世帯のみ」では53.6%となっている。

(3) 部活動等への参加状況

子供票問9. あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(SA)

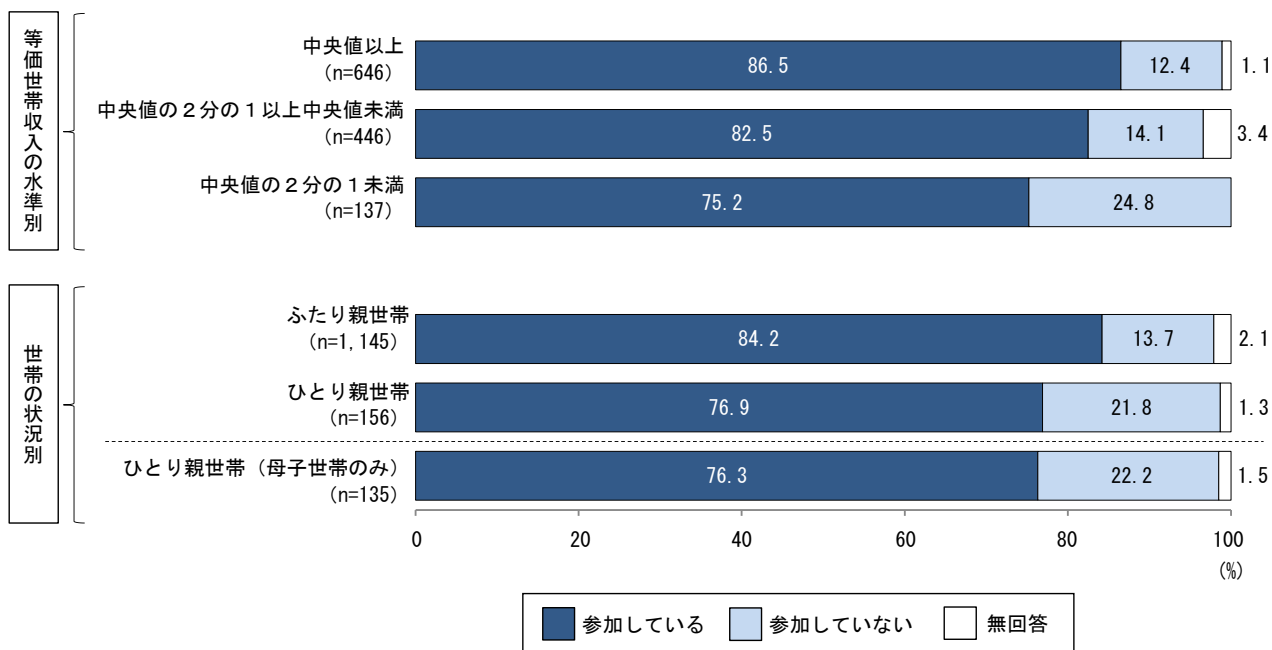
【全体】



部活動等への参加状況について、小学5年生では、「参加している」が82.8%、「参加していない」が15.3%となっている。広島県と比較すると、「参加していない」は、呉市(15.3%)が広島県(25.8%)を10.5ポイント下回っている。

中学2年生では、「参加している」が88.1%、「参加していない」が10.6%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

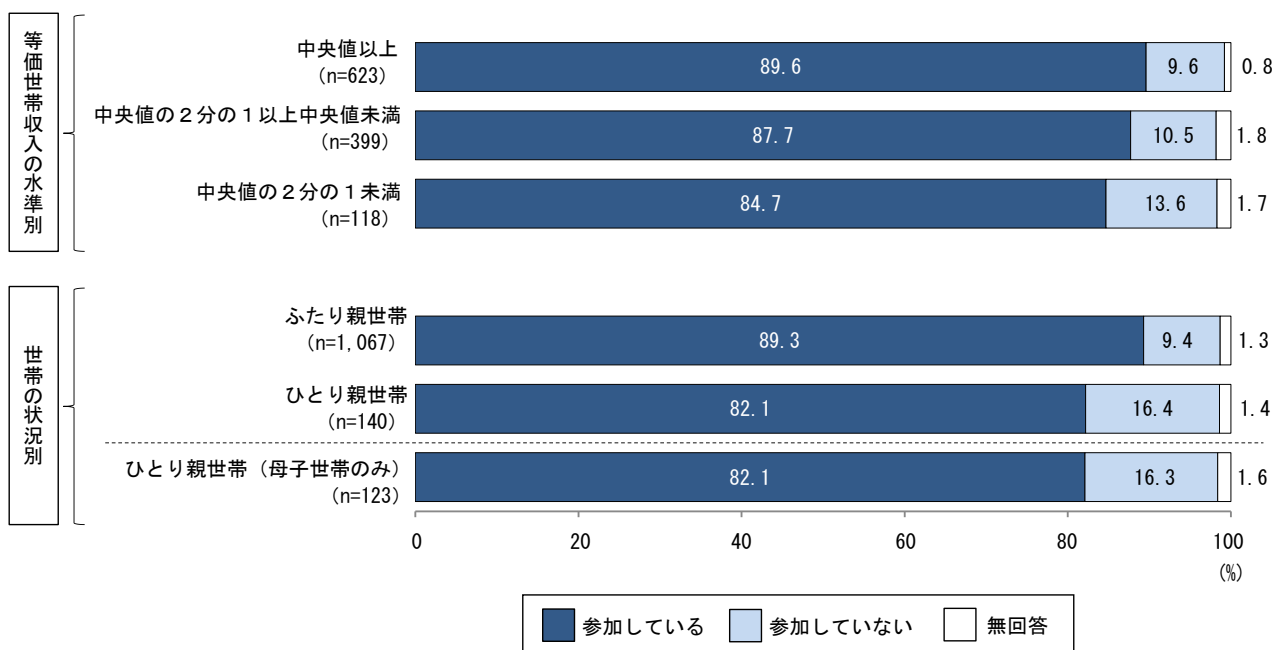
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」は、「中央値以上」では12.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では14.1%、「中央値の2分の1未満」では24.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」は、「ふたり親世帯」では13.7%、「ひとり親世帯全体」では21.8%、「母子世帯のみ」では22.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



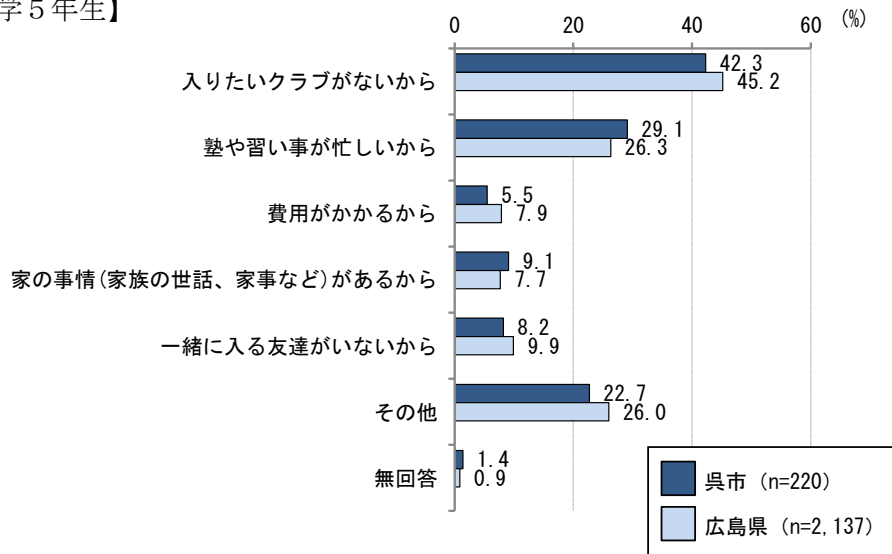
等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」は、「中央値以上」では9.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では10.5%、「中央値の2分の1未満」では13.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」は、「ふたり親世帯」では9.4%、「ひとり親世帯全体」では16.4%、「母子世帯のみ」では16.3%となっている。

※問9で「2 参加していない」と答えた方に

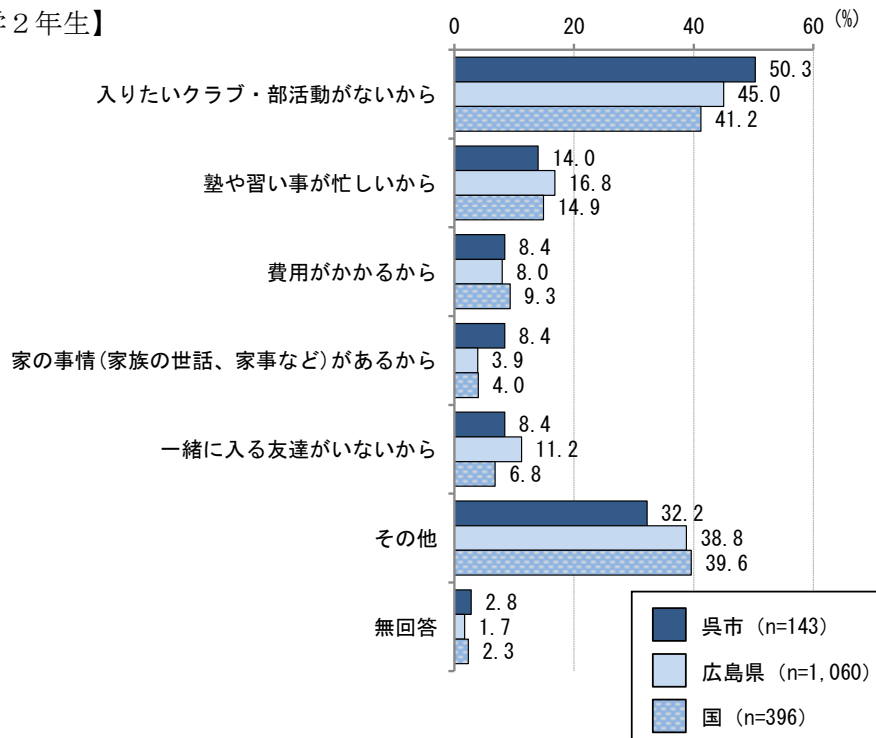
子供票問 10. 参加していない理由は何ですか。(MA)

【小学5年生】



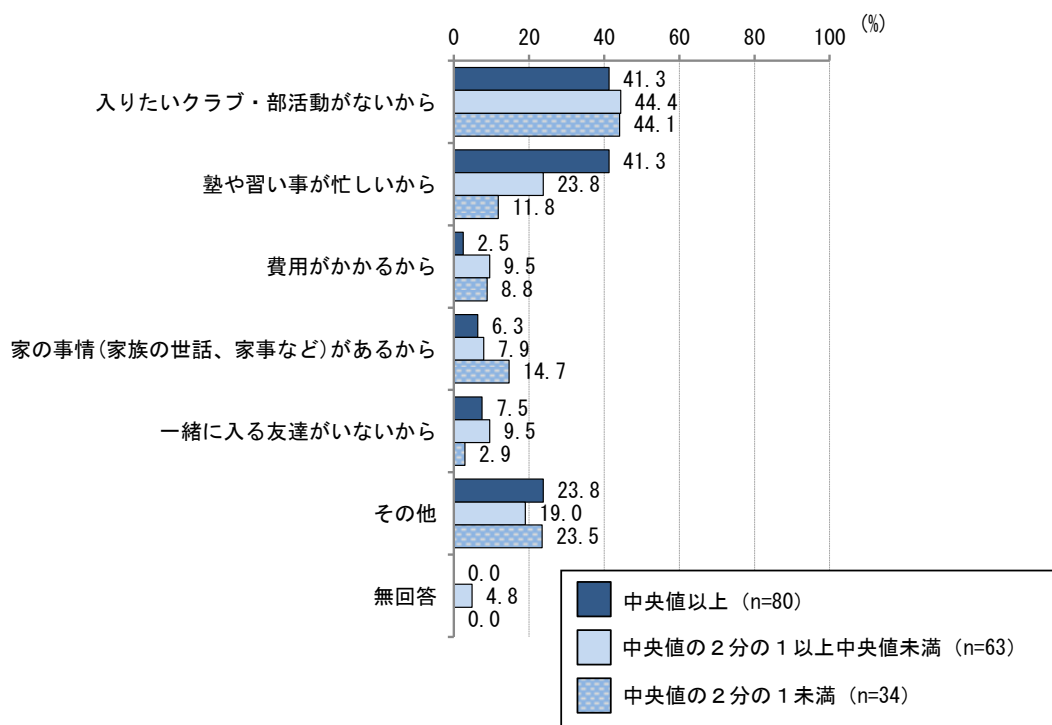
部活動等に参加していない理由について、小学5年生では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が42.3%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が29.1%、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」が9.1%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生】



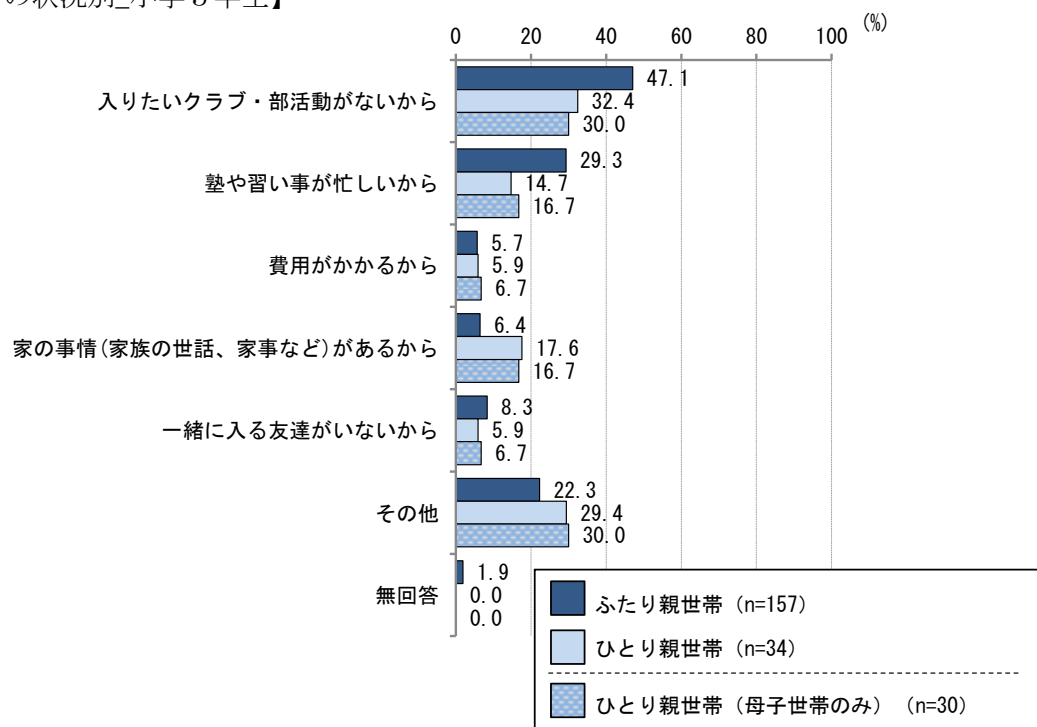
部活動等に参加していない理由について、中学2年生では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が50.3%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が14.0%などの順となっている。広島県と比較すると、「入りたいクラブ・部活動がないから」は、呉市(50.3%)が広島県(45.0%)を5.3ポイント上回っている。国と比較すると、「入りたいクラブ・部活動がないから」は、呉市(50.3%)が国(41.2%)を9.1ポイント上回っている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



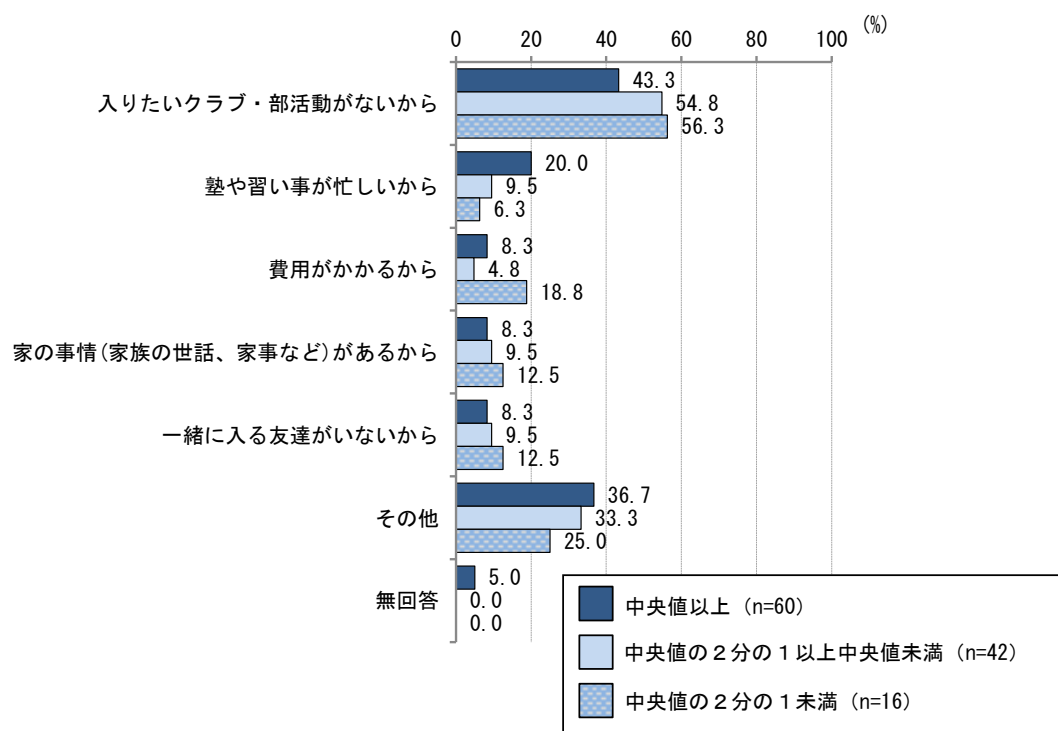
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「塾や習い事が忙しいから」は11.8%、「一緒にいる友達がいないから」が2.9%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」は14.7%と高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



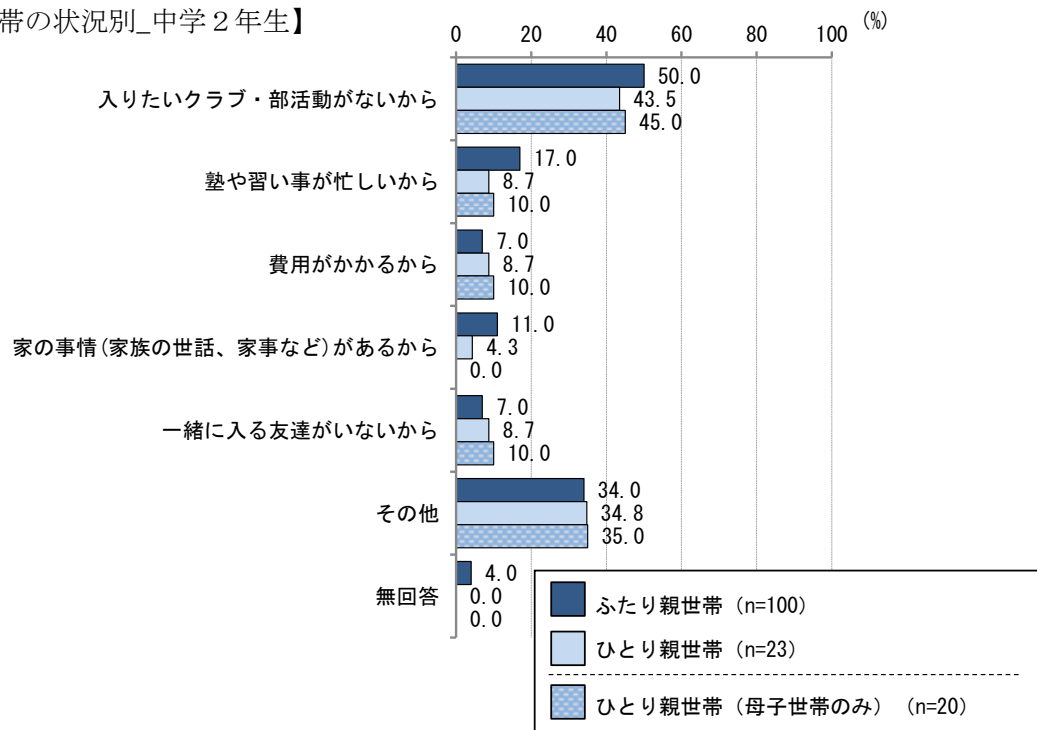
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「入りたいクラブ・部活動がないから」は32.4%、「塾や習い事が忙しいから」が14.7%と低くなっている。一方で、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」は17.6%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が56.3%、「費用がかかるから」が18.8%と他の世帯と比べて高くなっている。一方で、「塾や習い事が忙しいから」が6.3%と低くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生】



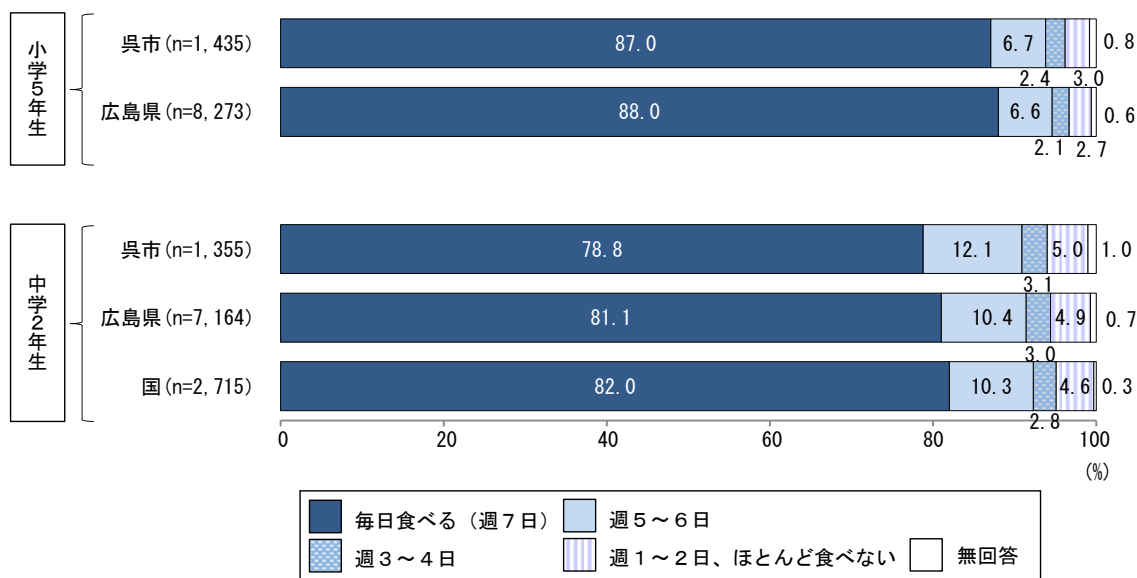
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「入りたいクラブ・部活動がないから」が43.5%、「塾や習い事が忙しいから」が8.7%、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」が4.3%と低くなっている。

(4) 日常的な生活の状況

子供票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(SA)

= 朝食 =

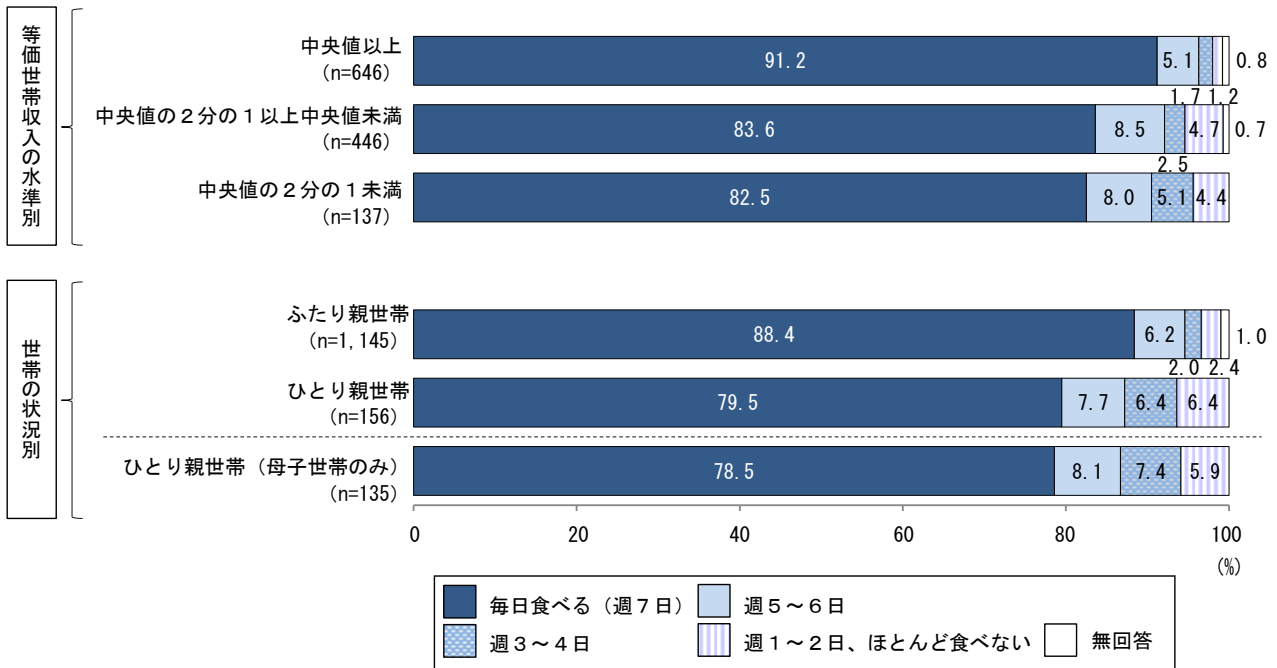
【全体】



朝食について、小学5年生では、「毎日食べる (週7日)」が87.0%、「週5～6日」が6.7%、「週3～4日」が2.4%、「週1～2日、ほとんど食べない」が3.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「毎日食べる (週7日)」が78.8%、「週5～6日」が12.1%、「週3～4日」が3.1%、「週1～2日、ほとんど食べない」が5.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

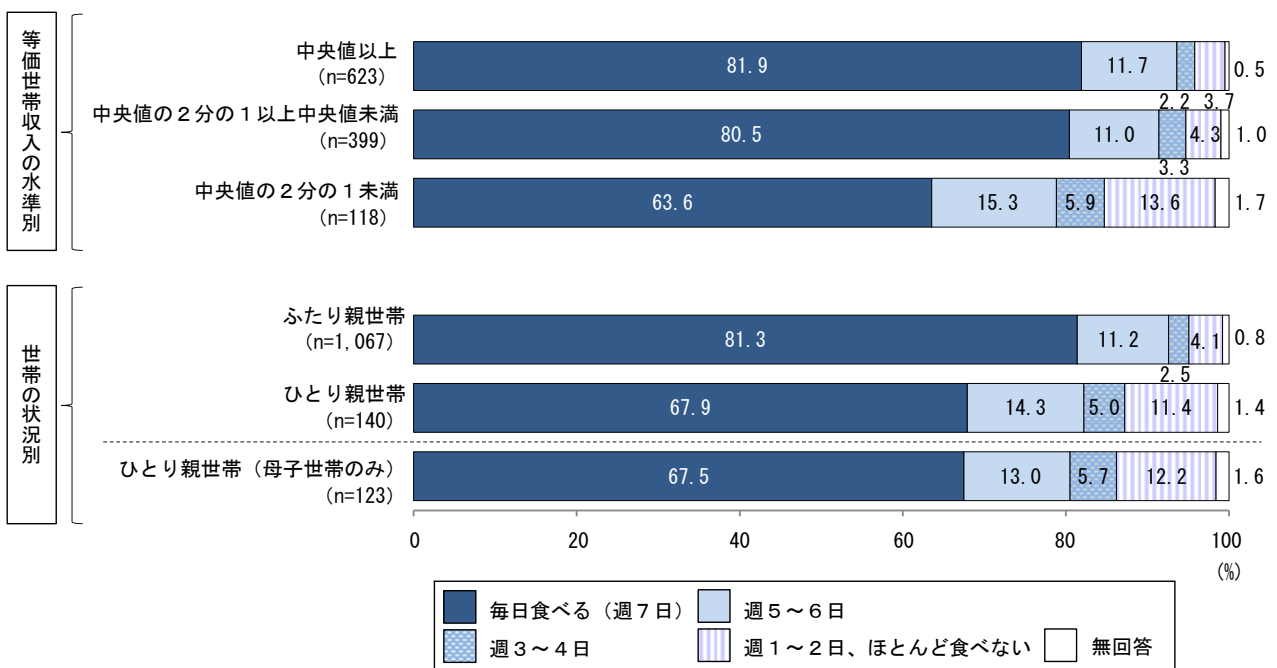
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 91.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 83.6%、「中央値の2分の1未満」では 82.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 88.4%、「ひとり親世帯全体」では 79.5%、「母子世帯のみ」では 78.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

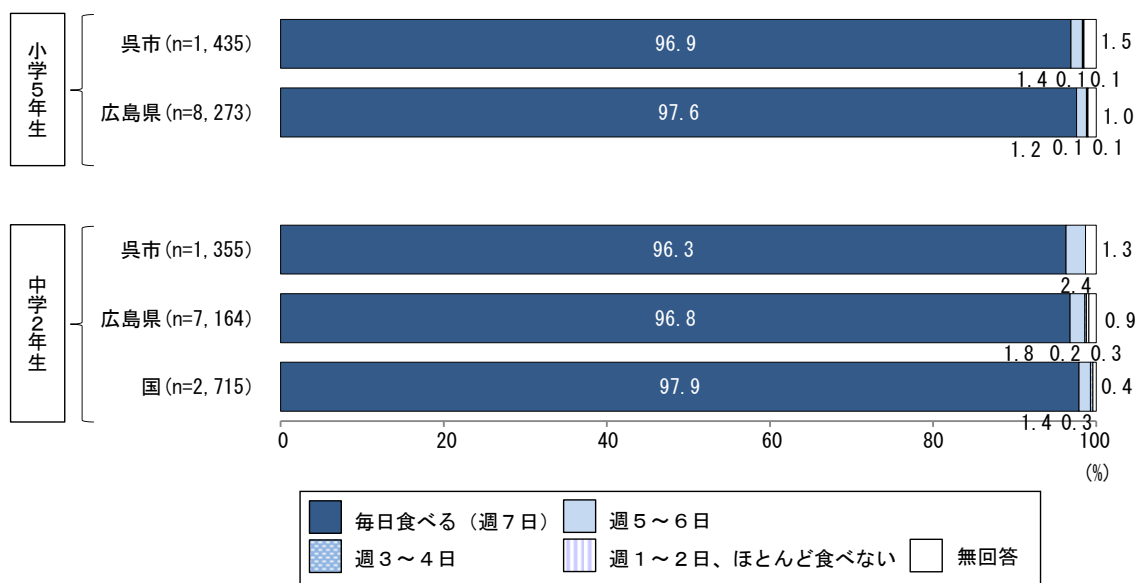


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 81.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 80.5%、「中央値の2分の1未満」では 63.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 81.3%、「ひとり親世帯全体」では 67.9%、「母子世帯のみ」では 67.5%となっている。

= 夕食 =

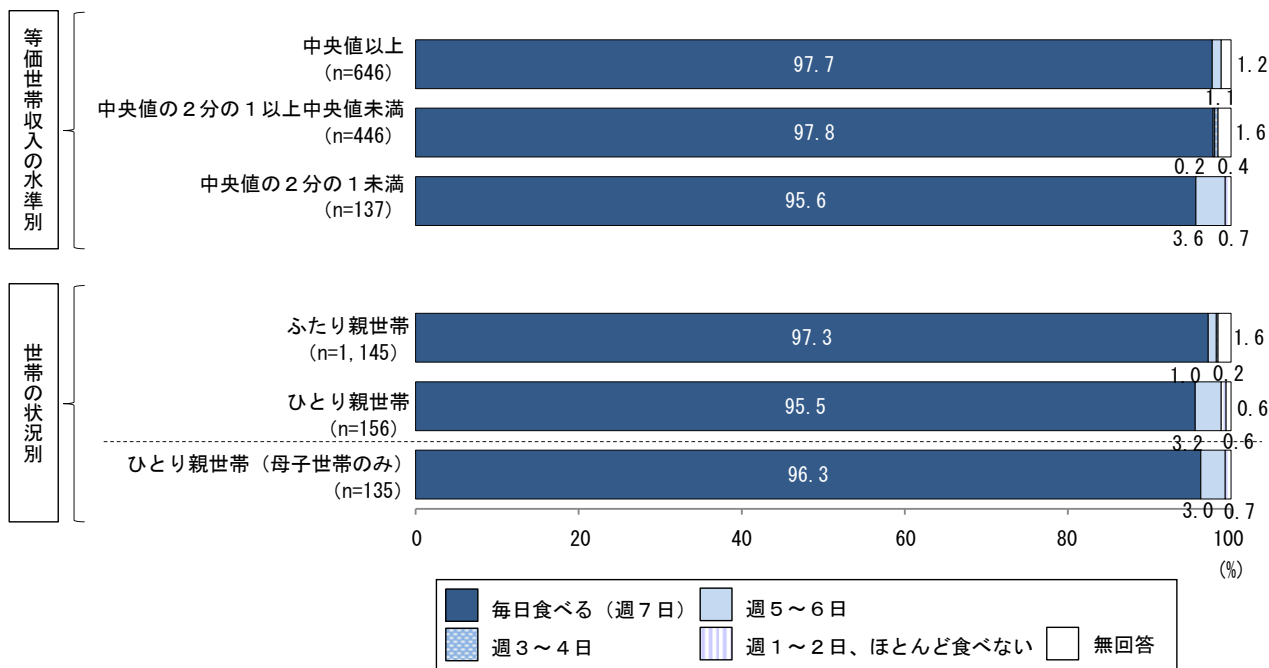
【全体】



夕食について、小学5年生では、「毎日食べる（週7日）」が96.9%、「週5～6日」が1.4%、「週3～4日」が0.1%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「毎日食べる（週7日）」が96.3%、「週5～6日」が2.4%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

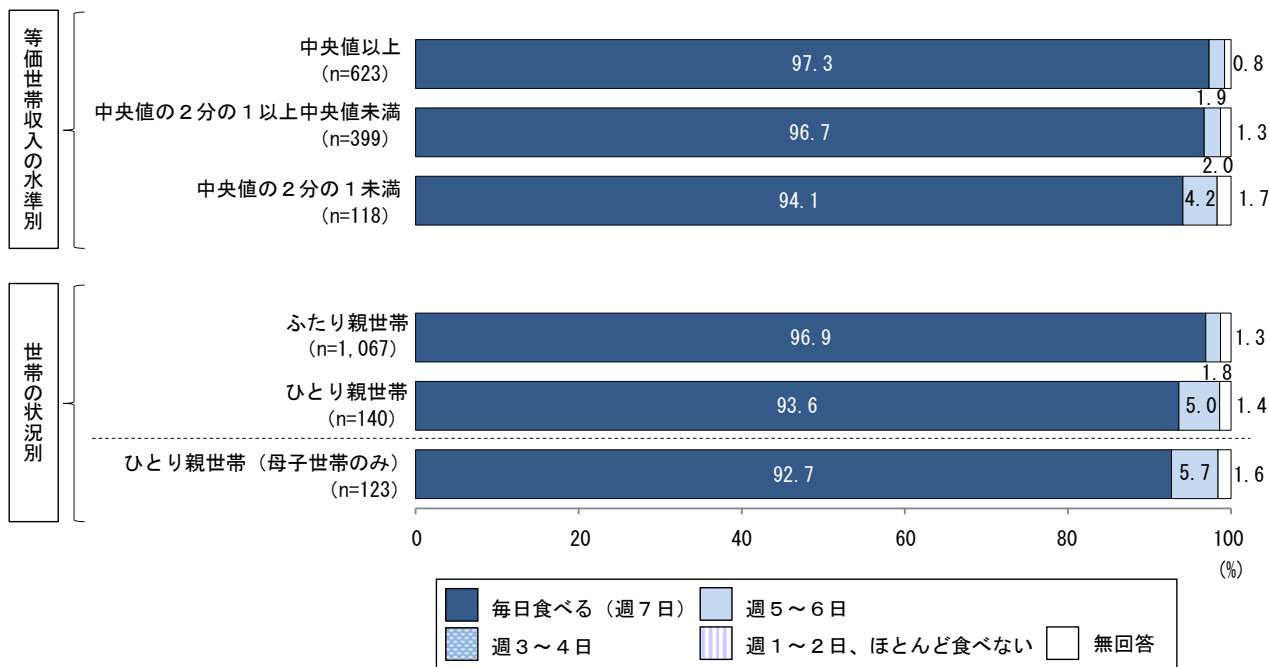
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 97.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 97.8%、「中央値の2分の1未満」では 95.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 97.3%、「ひとり親世帯全体」では 95.5%、「母子世帯のみ」では 96.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

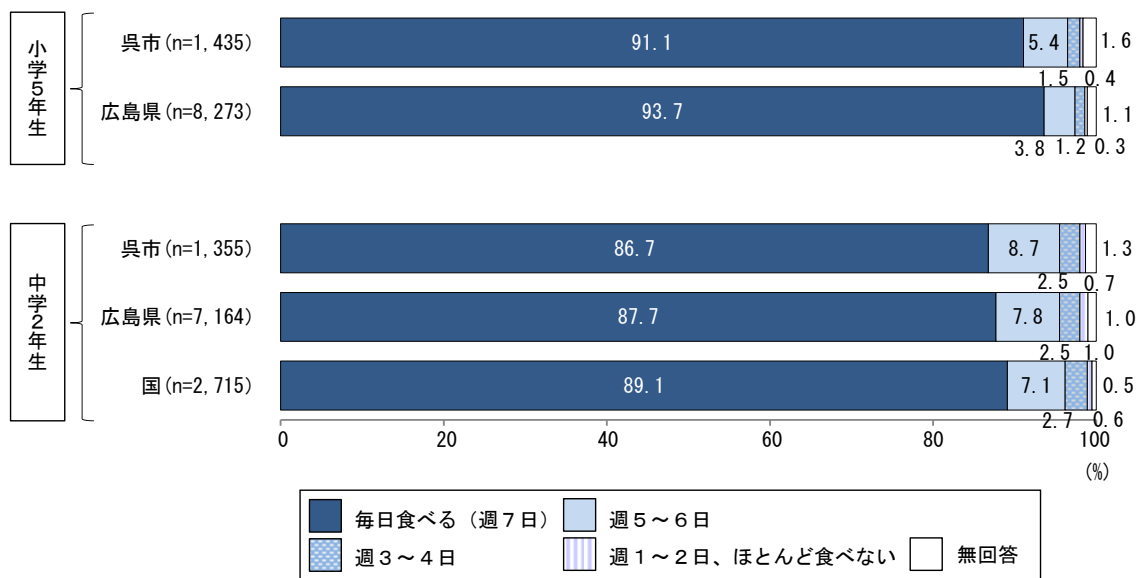


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 97.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 96.7%、「中央値の2分の1未満」では 94.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 96.9%、「ひとり親世帯全体」では 93.6%、「母子世帯のみ」では 92.7%となっている。

= 夏休みや冬休みなどの期間の昼食 =

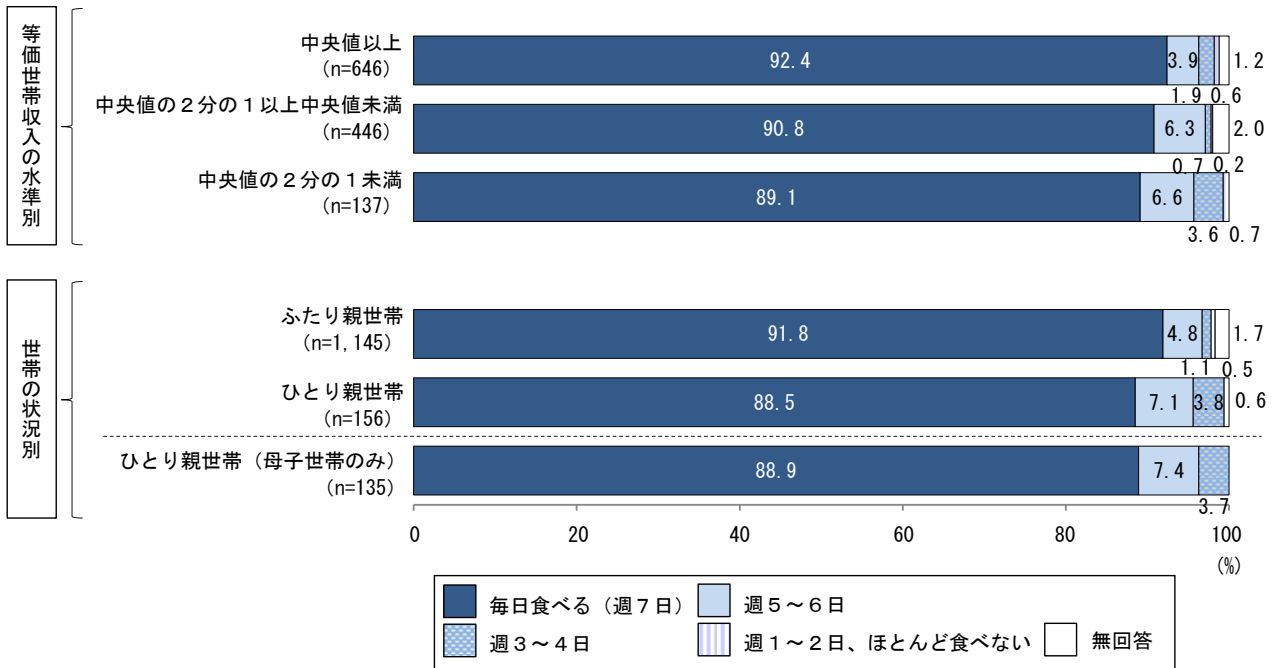
【全体】



夏休みや冬休みなどの期間の昼食について、小学5年生では、「毎日食べる (週7日)」が91.1%、「週5～6日」が5.4%、「週3～4日」が1.5%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「毎日食べる (週7日)」が86.7%、「週5～6日」が8.7%、「週3～4日」が2.5%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.7%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

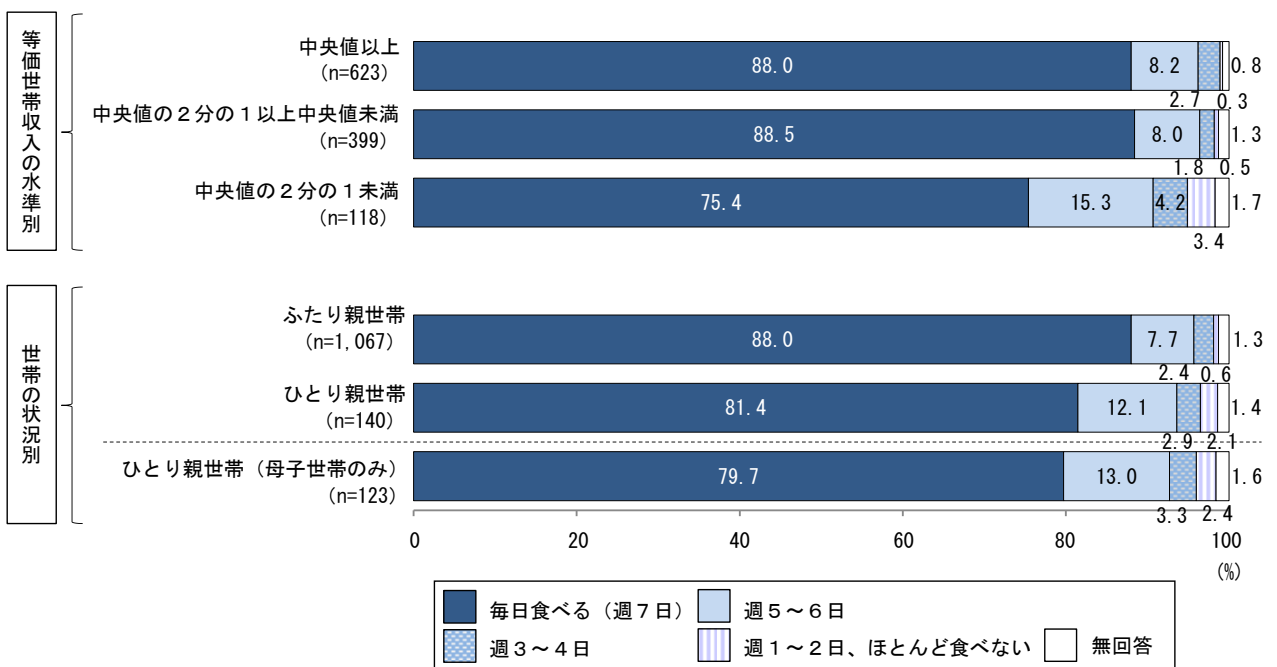
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる（週7日）」は、「中央値以上」では92.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では90.8%、「中央値の2分の1未満」では89.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる（週7日）」は、「ふたり親世帯」では91.8%、「ひとり親世帯全体」では88.5%、「母子世帯のみ」では88.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

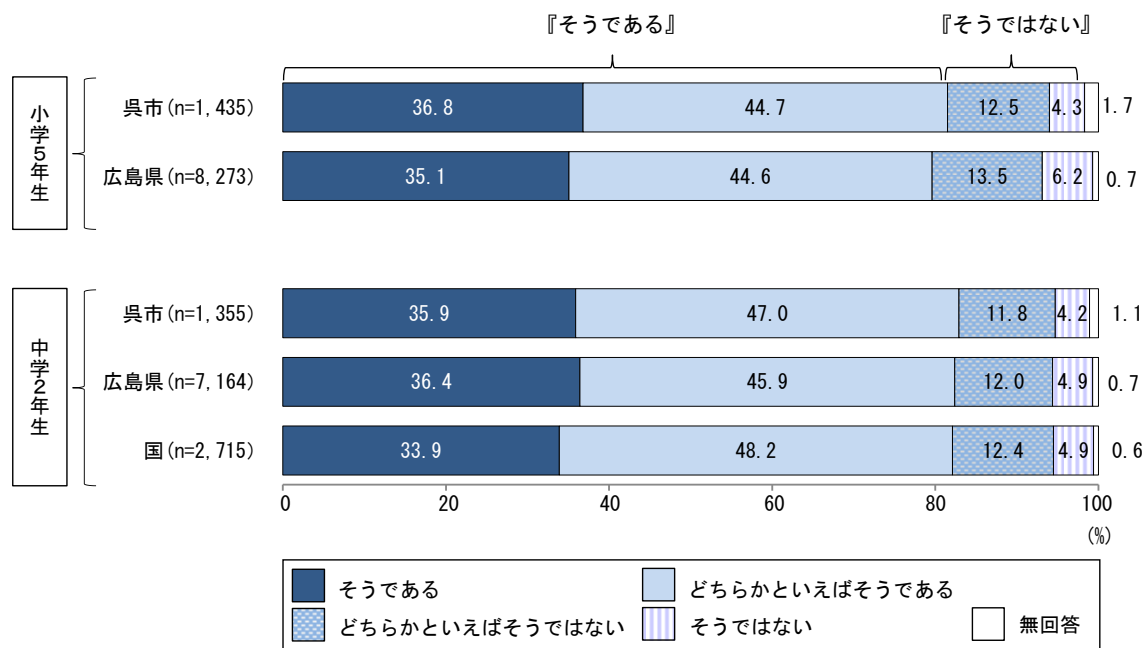


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる（週7日）」は、「中央値以上」では88.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では88.5%、「中央値の2分の1未満」では75.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる（週7日）」は、「ふたり親世帯」では88.0%、「ひとり親世帯全体」では81.4%、「母子世帯のみ」では79.7%となっている。

子供票問 12. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(SA)

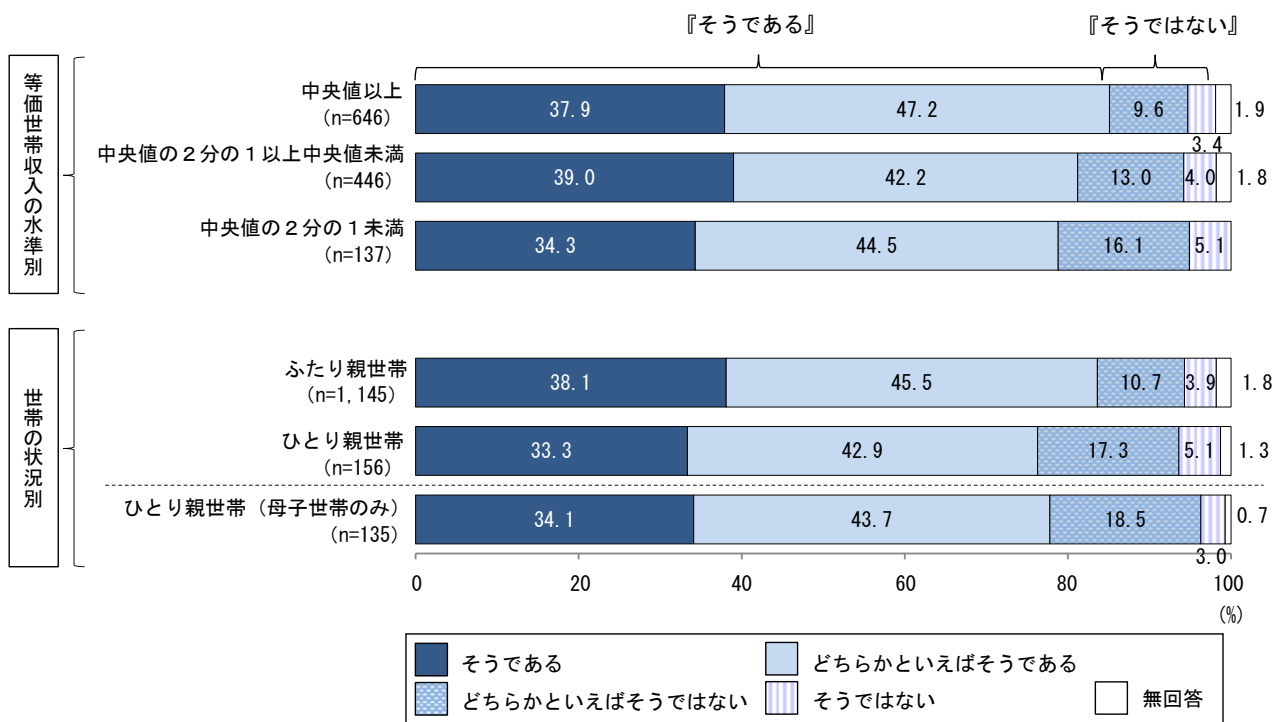
【全体】



就寝時間に関してほぼ同じ時間に寝ているかについて、小学5年生では、『そうである（「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合）』が81.5%、『そうではない（「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」を合わせた割合）』が16.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、『そうである』が82.9%、『そうではない』が16.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

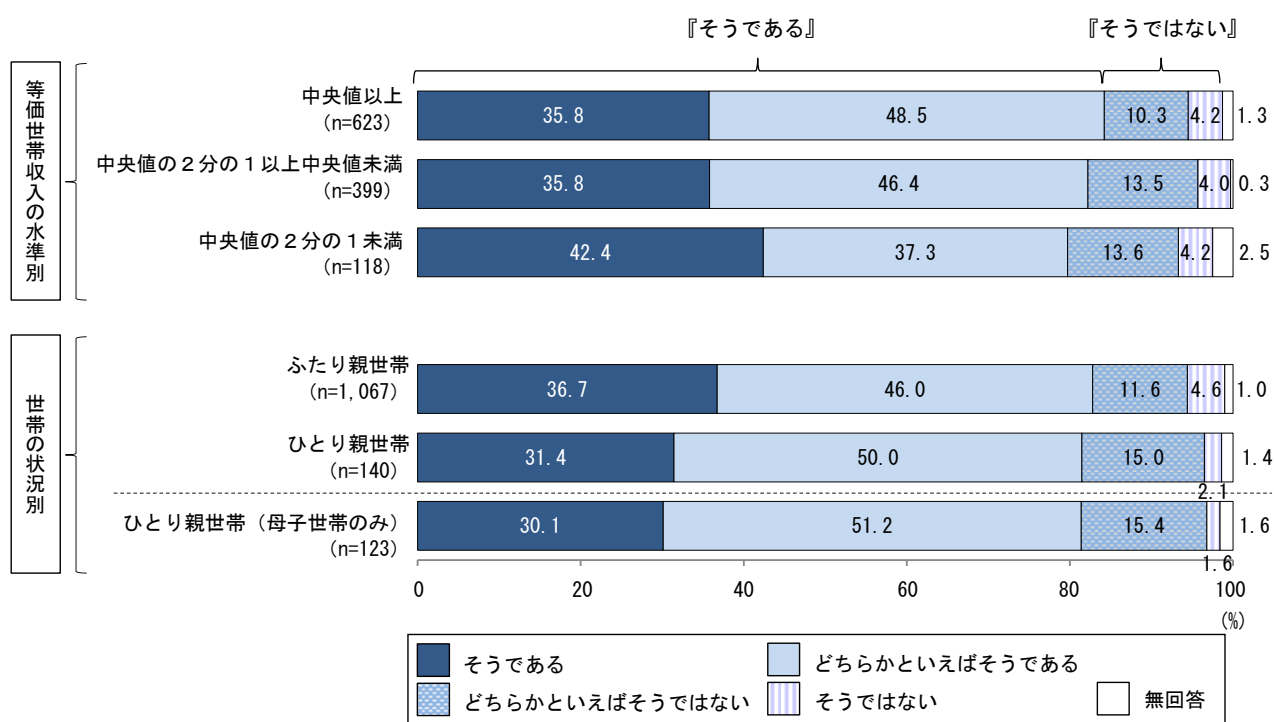
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』は、「中央値以上」では85.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では81.2%、「中央値の2分の1未満」では78.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『そうである』は、「ふたり親世帯」では83.6%、「ひとり親世帯全体」では76.2%、「母子世帯のみ」では77.8%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

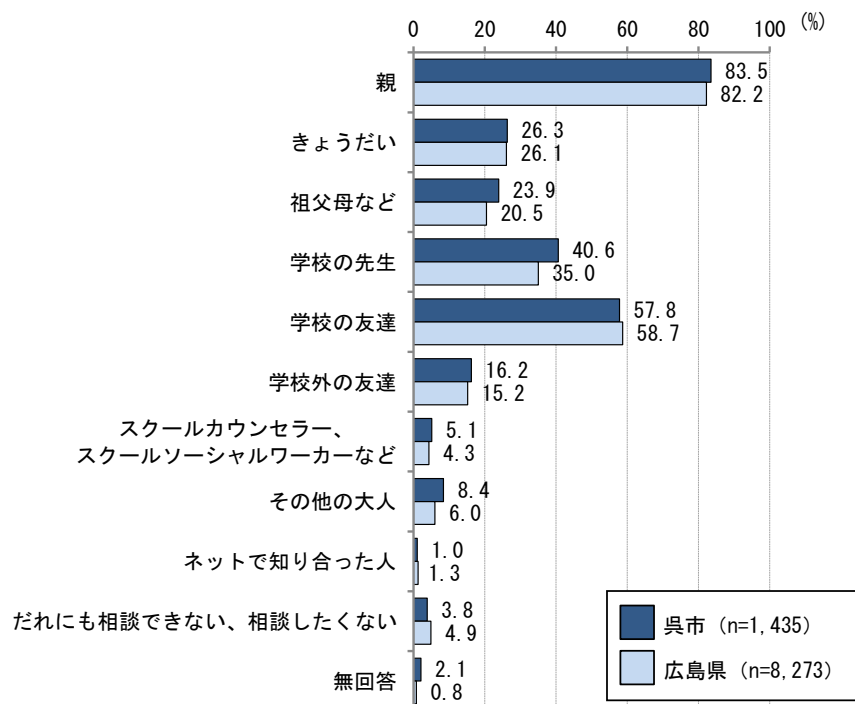


等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』は、「中央値以上」では84.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では82.2%、「中央値の2分の1未満」では79.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『そうである』は、「ふたり親世帯」では82.7%、「ひとり親世帯全体」では81.4%、「母子世帯のみ」では81.3%となっている。

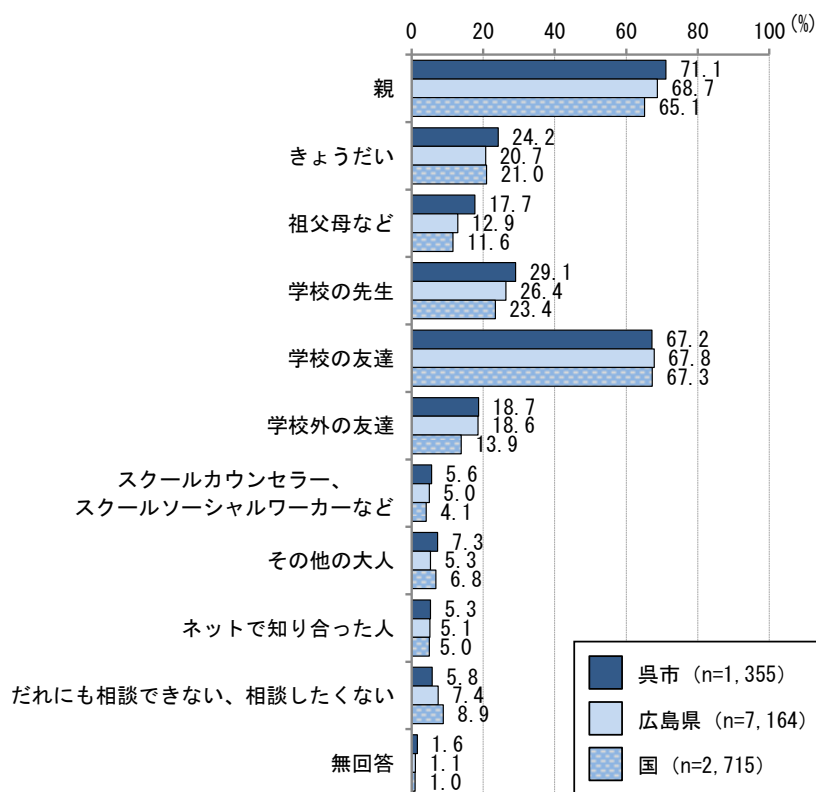
子供票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(MA)

【小学5年生】



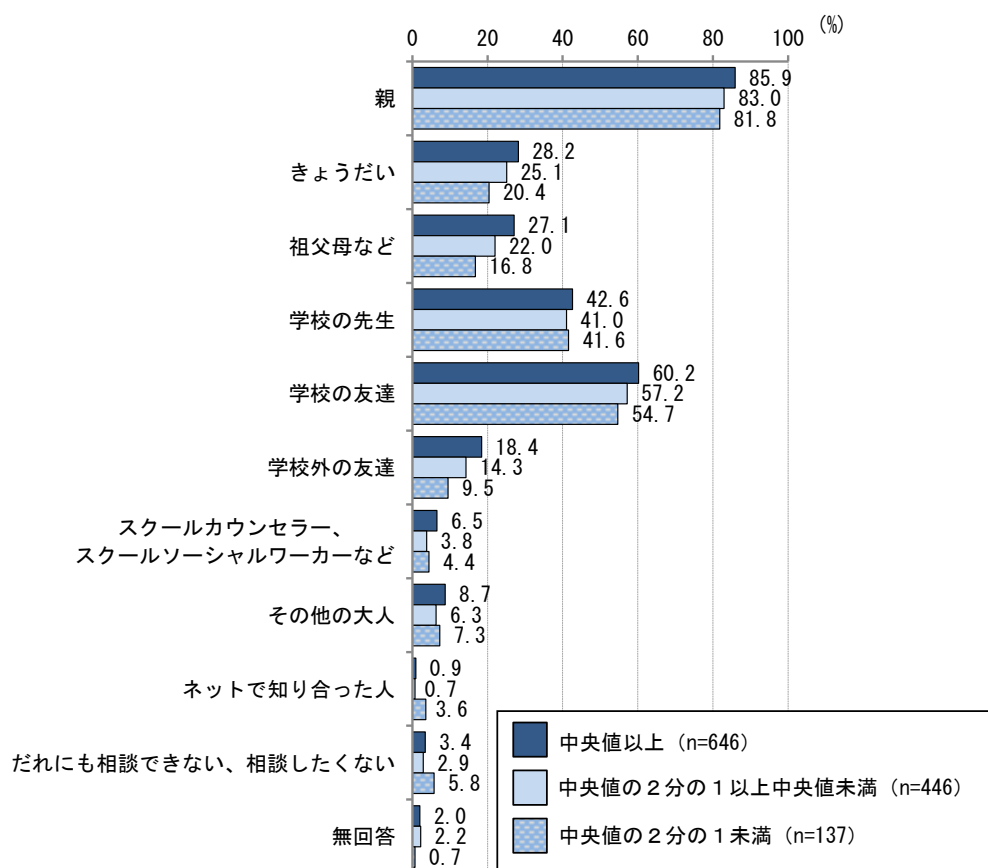
困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人について、小学5年生では、「親」が83.5%と最も高く、次いで「学校の友達」が57.8%、「学校の先生」が40.6%などの順となっている。広島県と比較すると、「学校の先生」は、呉市(40.6%)が広島県(35.0%)を5.6ポイント上回っている。

【中学2年生】



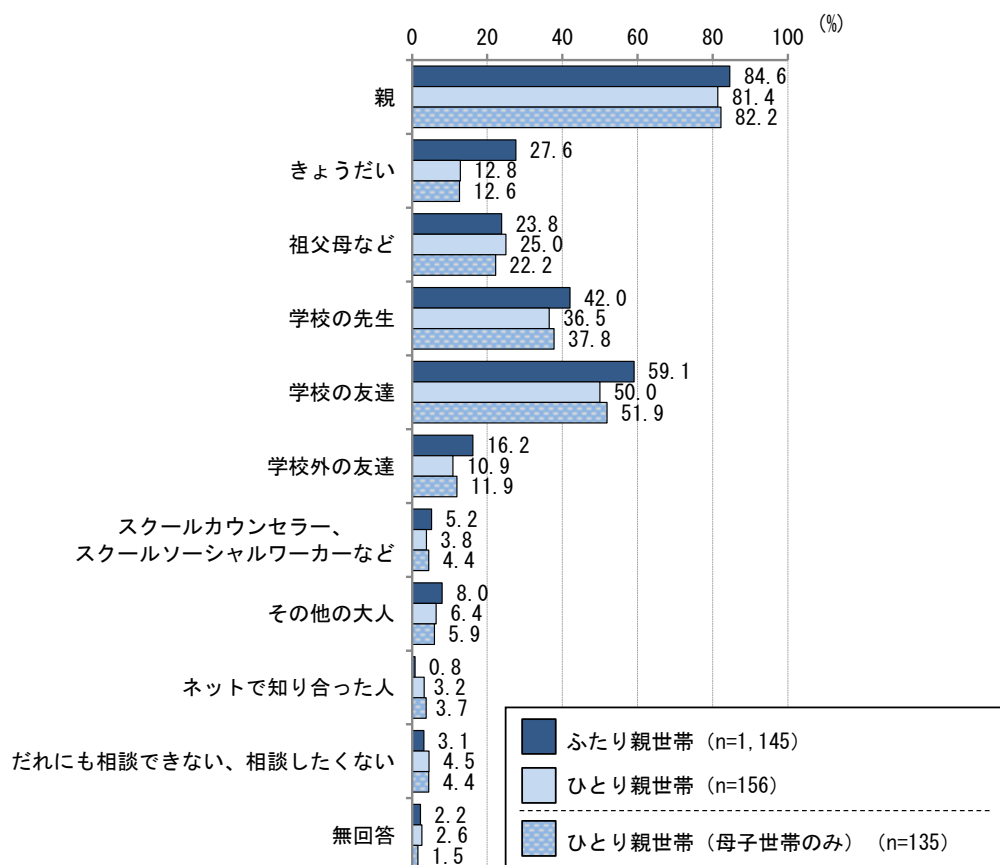
困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人について、中学2年生では、「親」が71.1%と最も高く、次いで「学校の友達」が67.2%、「学校の先生」が29.1%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「親」は、呉市(71.1%)が国(65.1%)を6.0ポイント、「祖父母など」は、呉市(17.7%)が国(11.6%)を6.1ポイント、「学校の先生」は、呉市(29.1%)が国(23.4%)を5.7ポイント上回っている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



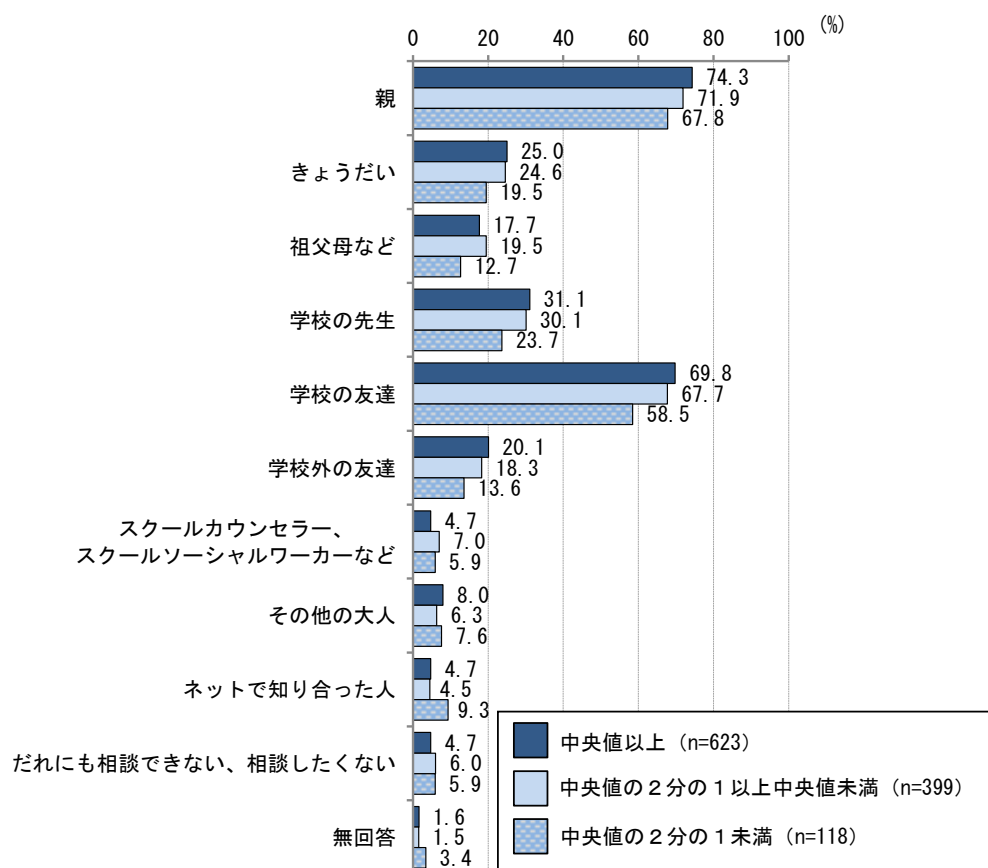
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「きょうだい」が20.4%、「祖父母など」が16.8%、「学校の友達」が54.7%、「学校外の友達」が9.5%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



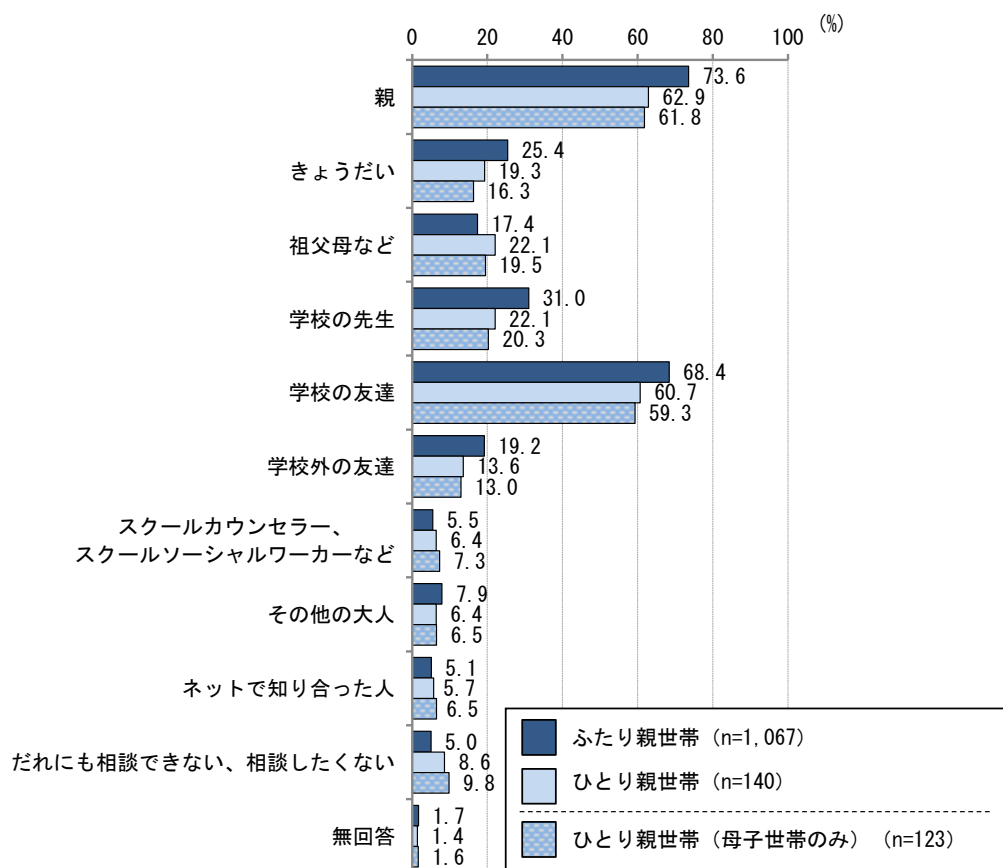
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「きょうだい」が12.8%、「学校の先生」が36.5%、「学校の友達」が50.0%、「学校外の友達」が10.9%と他の世帯と比べて低くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



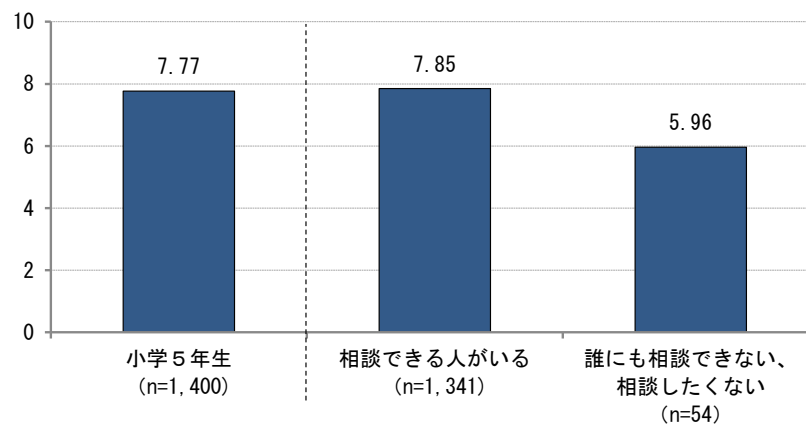
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「親」が67.8%、「きょうだい」が19.5%、「祖父母など」が12.7%、「学校の先生」が23.7%、「学校の友達」が58.5%、「学校外の友達」が13.6%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生】



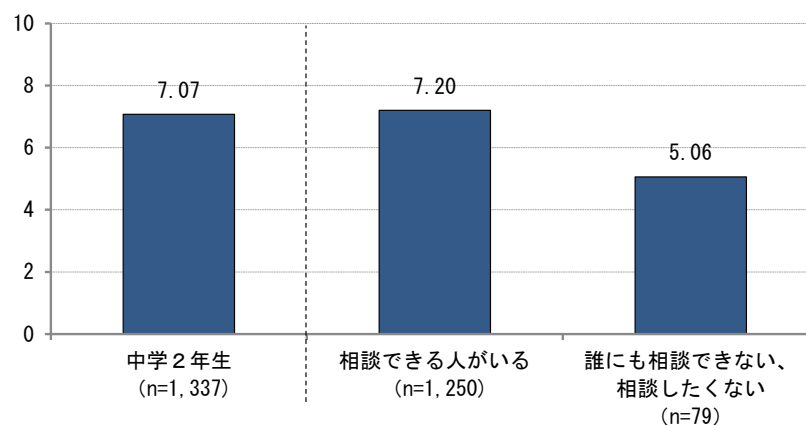
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「親」が62.9%、「きょうだい」が19.3%、「学校の先生」が22.1%、「学校の友達」が60.7%、「学校外の友達」が13.6%と他の世帯と比べて低くなっている。

【相談できる人の有無別 生活満足度_小学5年生】



相談できる人の有無別にみると、子供の生活の満足度の平均値は、「誰にも相談できない、相談したくない」(5.96)が「相談できる人がいる」(7.85)を1.89点下回っている。

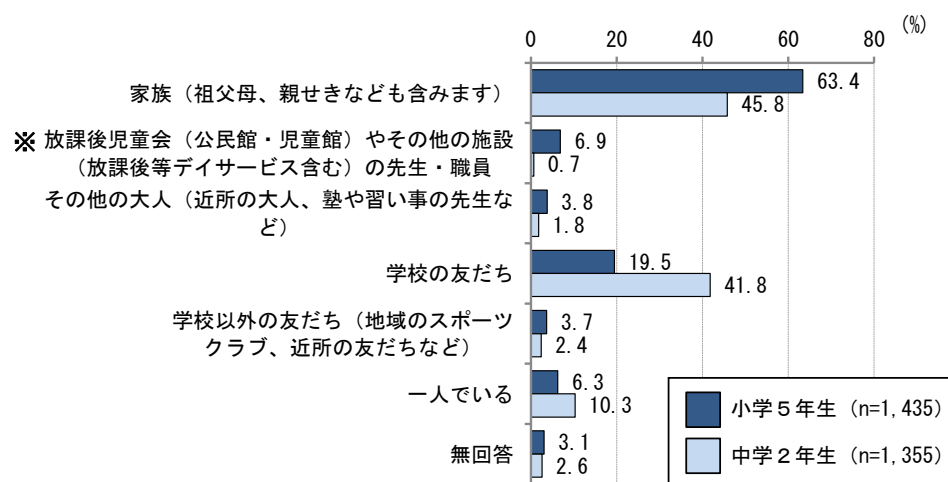
【相談できる人の有無別 生活満足度_中学2年生】



相談できる人の有無別にみると、子供の生活の満足度の平均値は、「誰にも相談できない、相談したくない」(5.06)が「相談できる人がいる」(7.20)を2.14点下回っている。

子供票問 26. あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。(SA)

【全体】

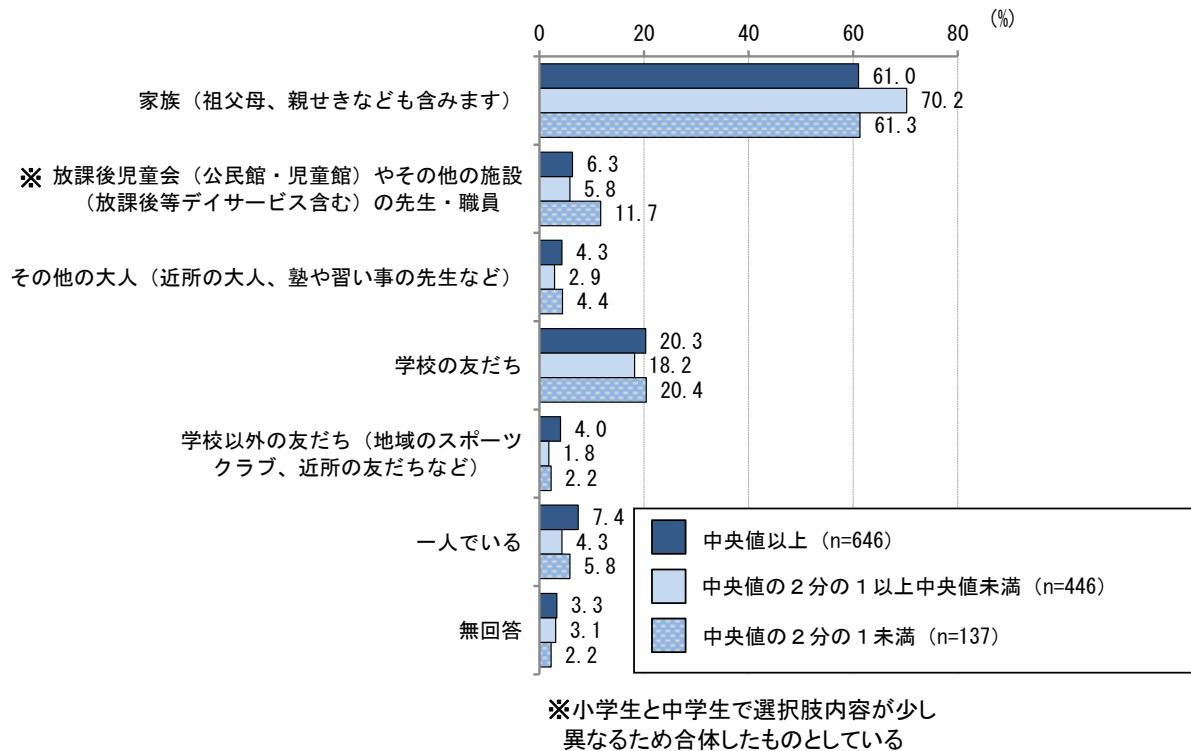


※小学生と中学生で選択肢内容が少し異なるため合体したものとしている

平日の放課後はだれと過ごすかについて、小学5年生では、「家族（祖父母、親せきなども含みます）」が63.4%と最も高く、次いで「学校の友だち」が19.5%、「放課後児童会（公民館・児童館）やその他の施設（放課後等デイサービス含む）の先生・職員」が6.9%などの順となっている。

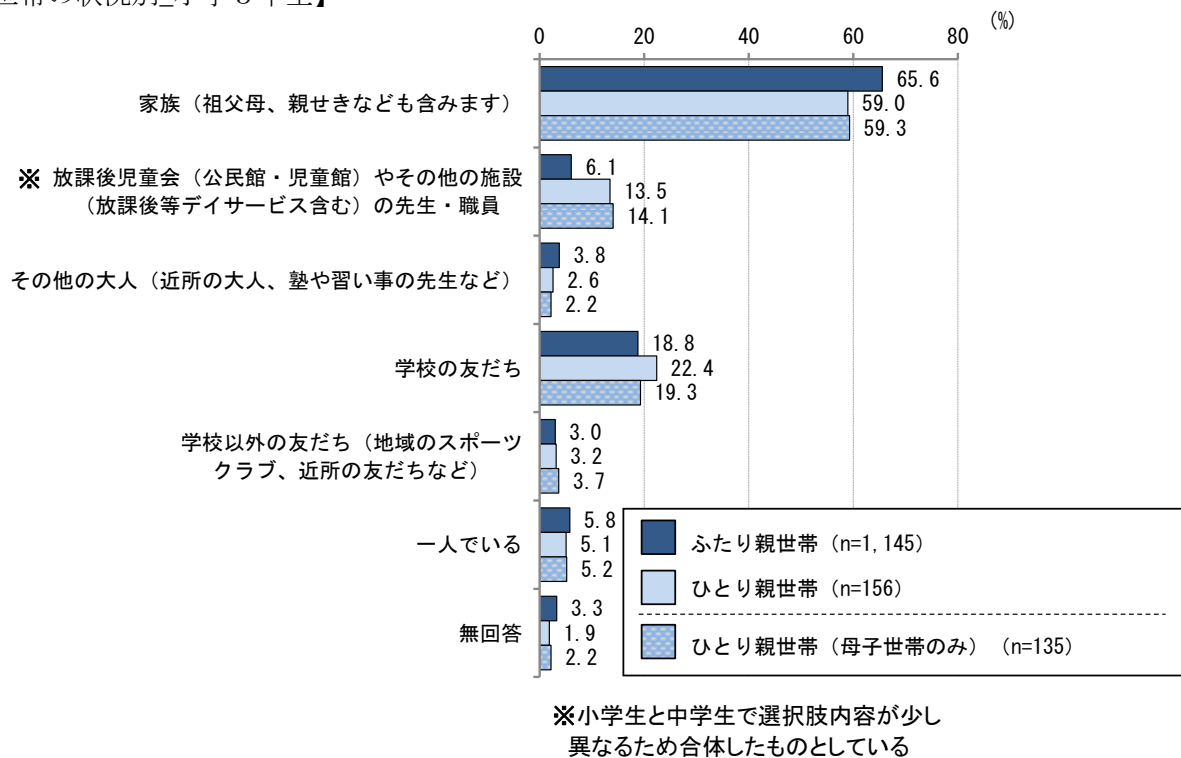
中学2年生では、「家族（祖父母、親せきなども含みます）」が45.8%と最も高く、次いで「学校の友だち」が41.8%、「一人でのいる」が10.3%などの順となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



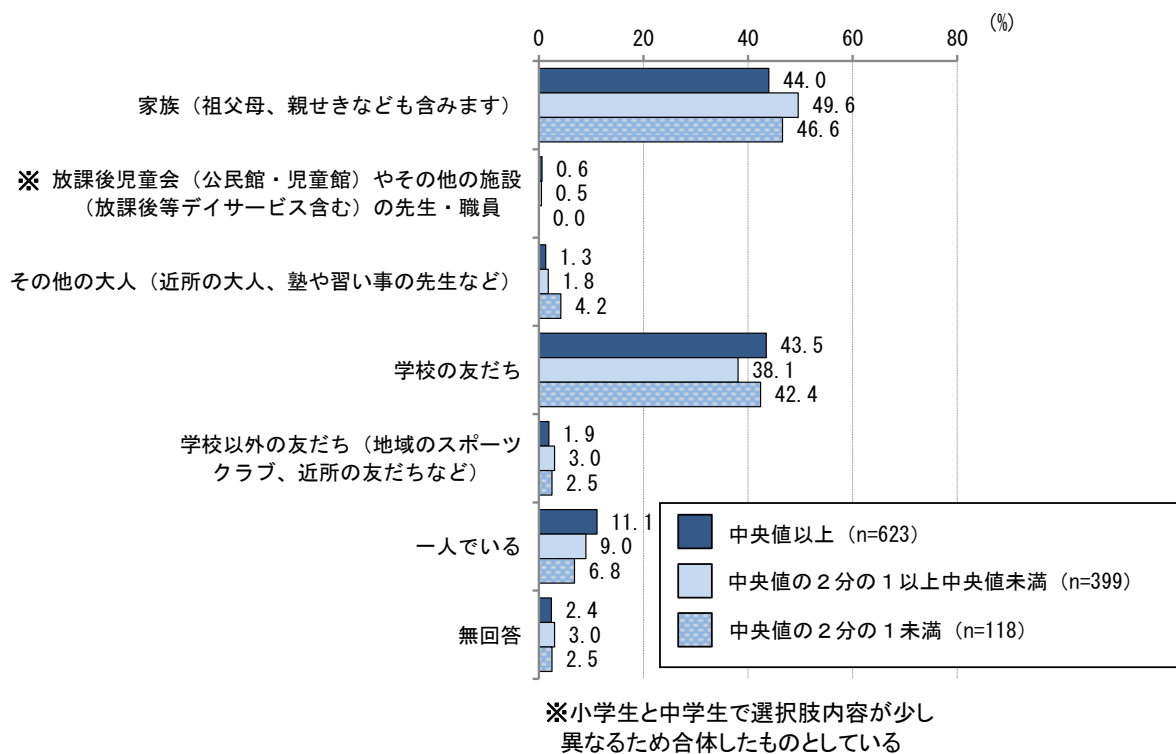
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「放課後児童会（公民館・児童館）やその他の施設（放課後等デイサービス含む）の先生・職員」が11.7%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



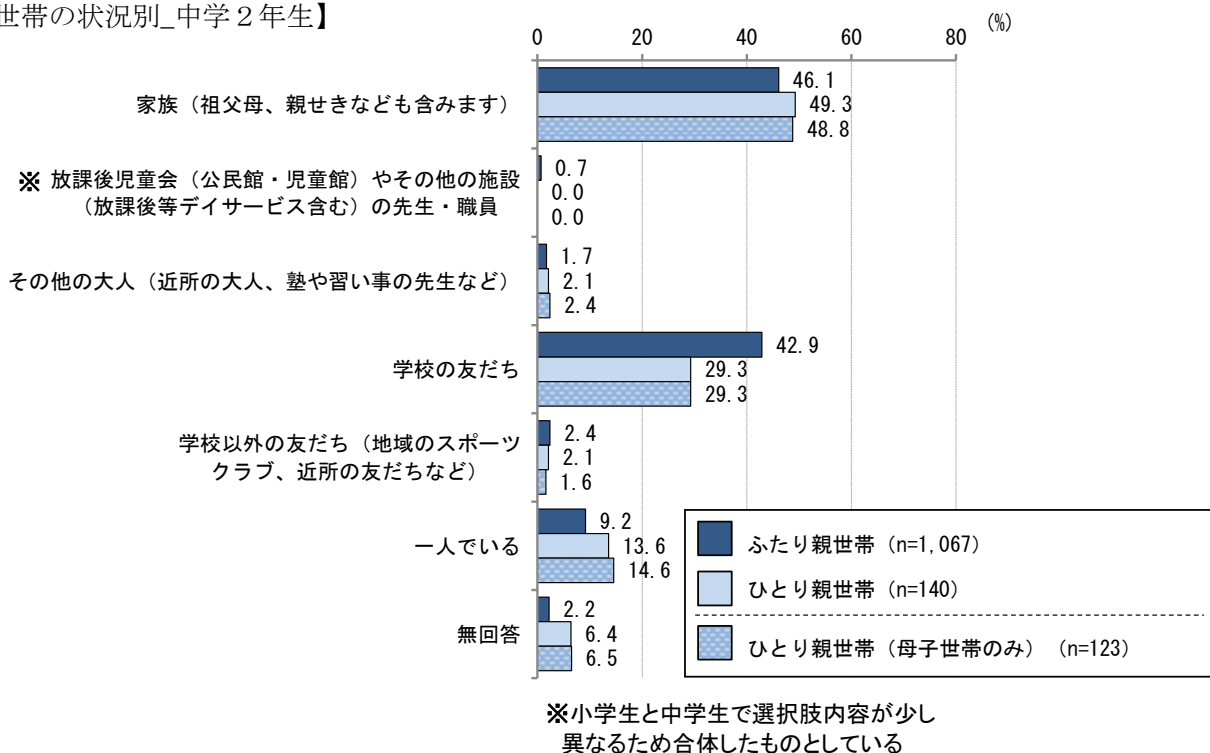
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「放課後児童会（公民館・児童館）やその他の施設（放課後等デイサービス含む）の先生・職員」が13.5%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、他の世帯に比べて大きな差はみられない。

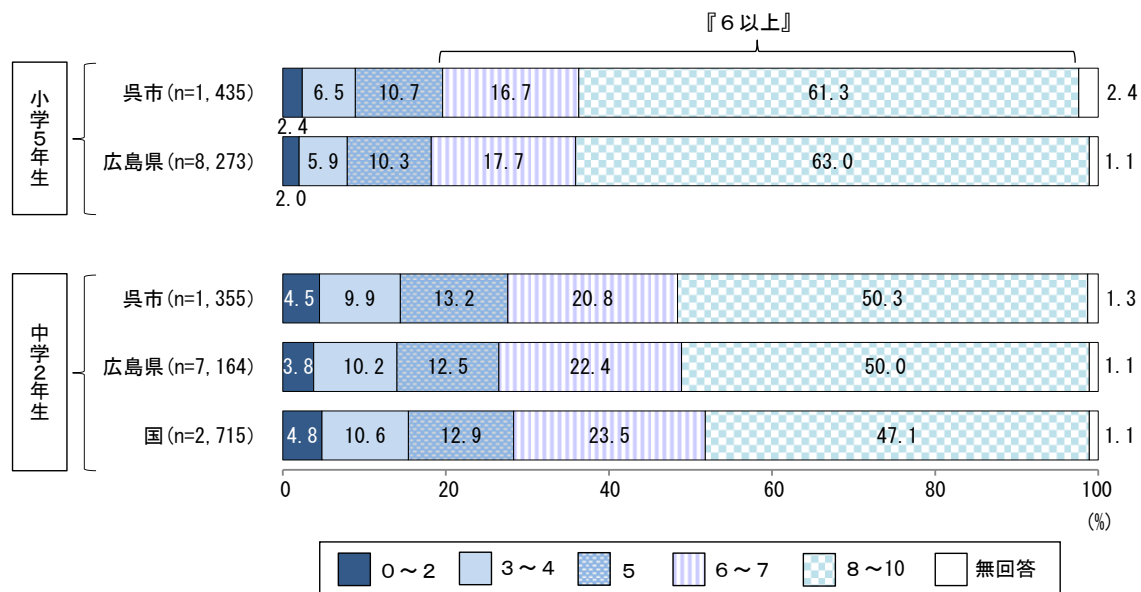
【世帯の状況別_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「学校の友だち」が29.3%と他の世帯と比べて低くなっている。

子供票問 14. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(SA)
「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。

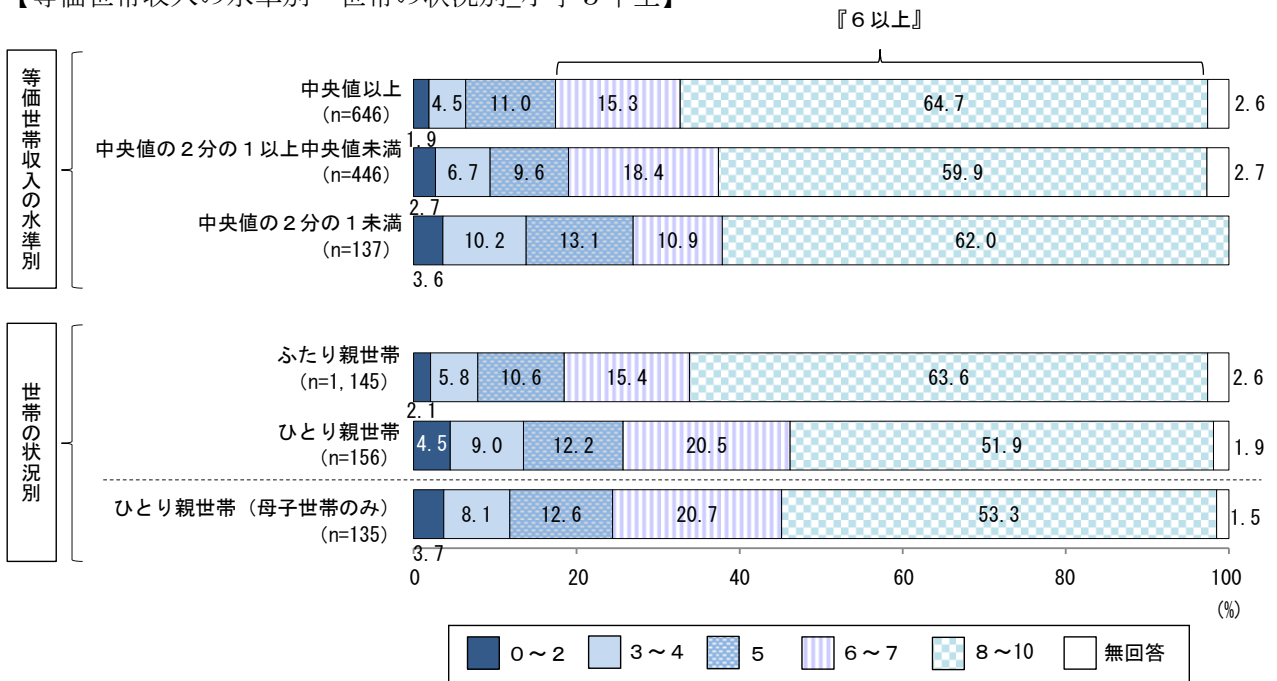
【全体】



最近の生活の満足度について、小学5年生では、「0~2」が2.4%、「3~4」が6.5%、「5」が10.7%、「6~7」が16.7%、「8~10」が61.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「0~2」が4.5%、「3~4」が9.9%、「5」が13.2%、「6~7」が20.8%、「8~10」が50.3%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

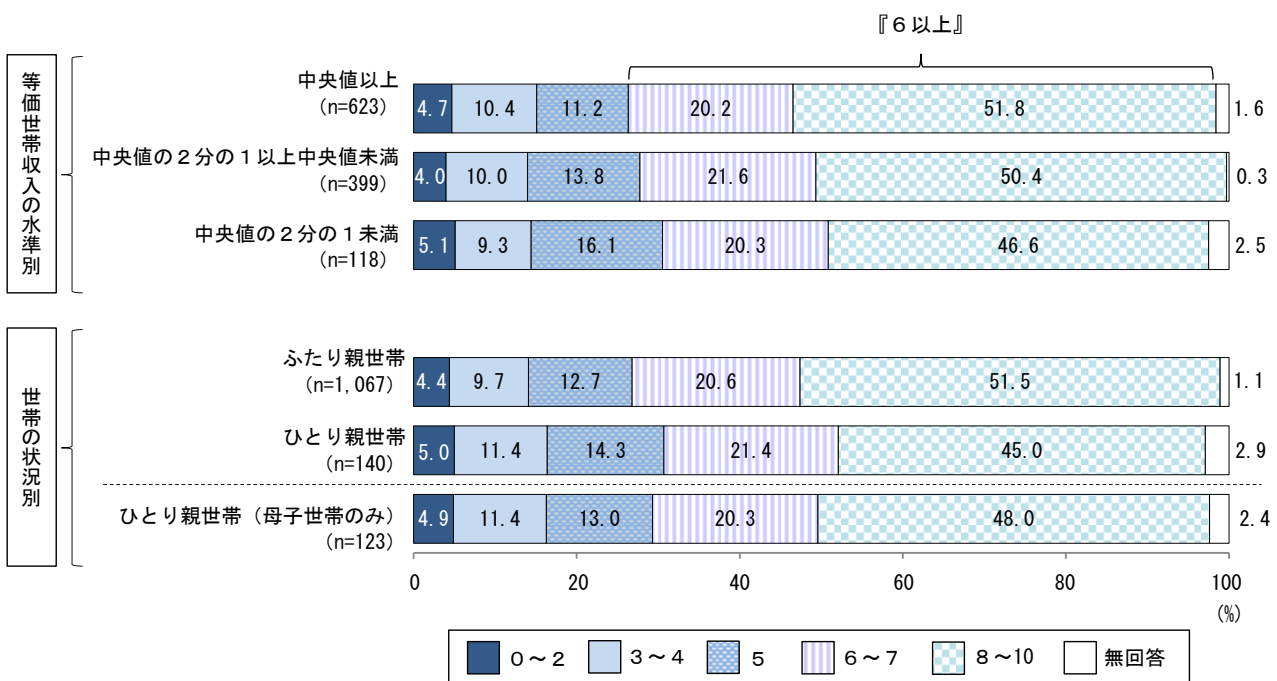
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では80.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では78.3%、「中央値の2分の1未満」では72.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では79.0%、「ひとり親世帯全体」では72.4%、「母子世帯のみ」では74.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では72.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では72.0%、「中央値の2分の1未満」では66.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では72.1%、「ひとり親世帯全体」では66.4%、「母子世帯のみ」では68.3%となっている。

(5) 子供の心理的な状態

「子供の心理的な状態」に関して、調査では「強さと困難さアンケート (SDQ : Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒 (不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会的性」を把握するための項目を設定した。

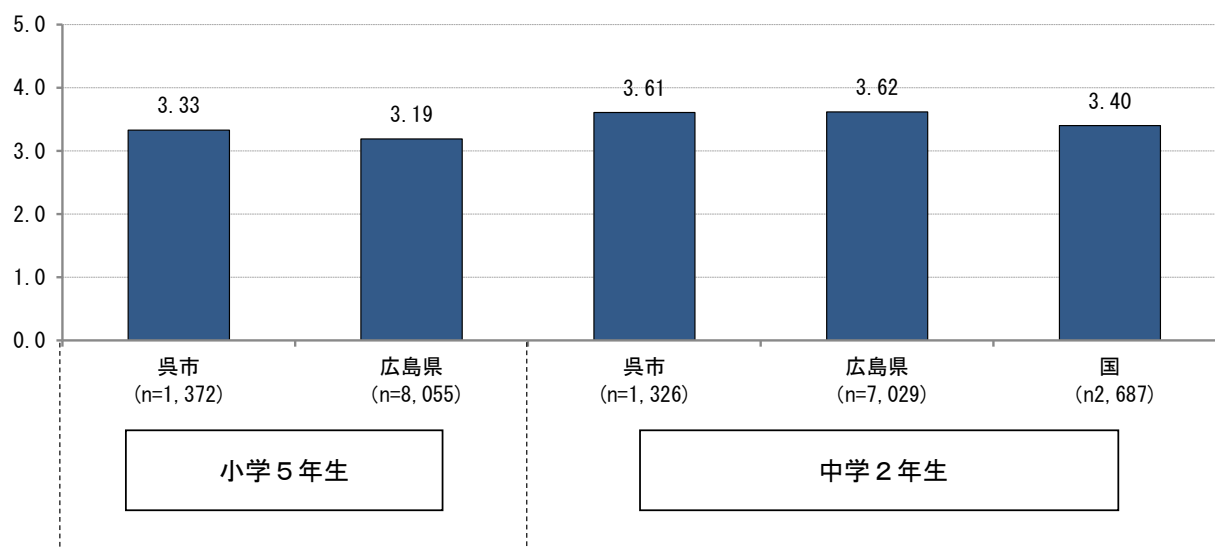
子供票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(SA)

= 情緒の問題 =

- b. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h. 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した (0～10 点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)。

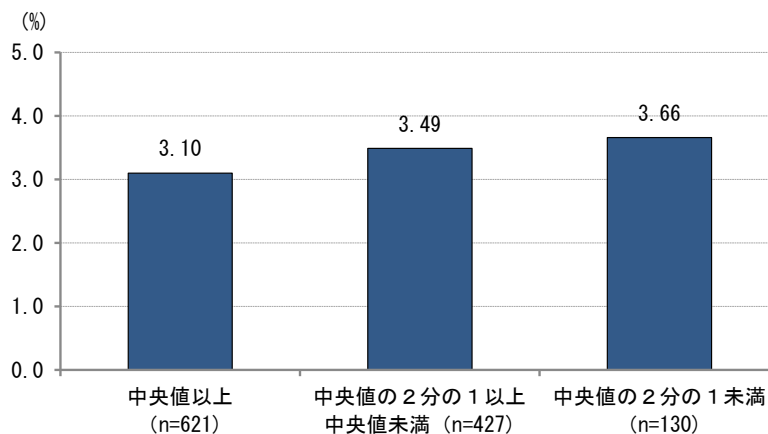
【全体】



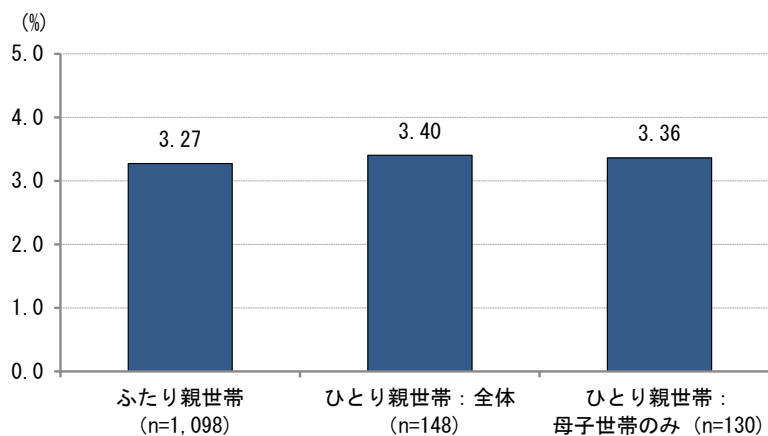
「情緒の問題」について、小学5年生全体の平均値は3.33となっている。

中学2年生全体の平均値は3.61となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



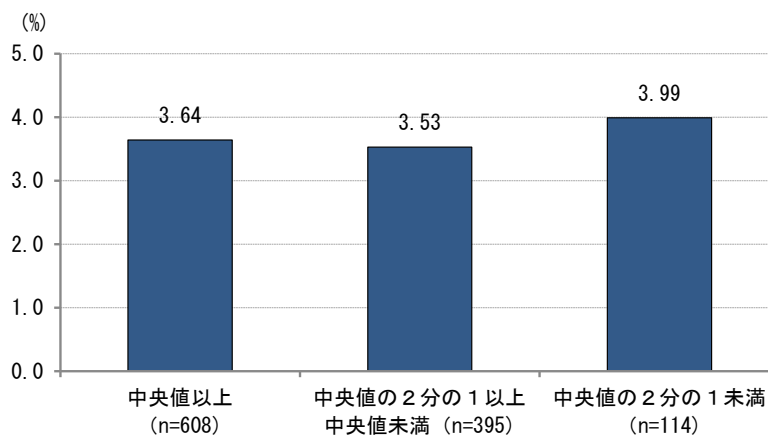
【世帯の状況別_小学5年生】



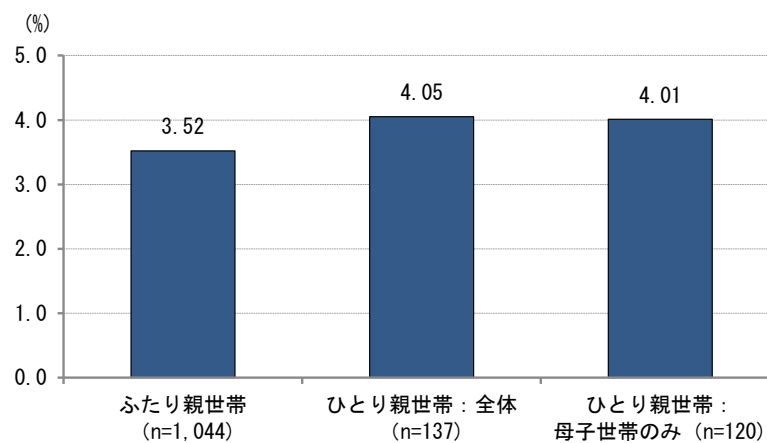
等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」では3.10、「中央値の2分の1以上中央値未満」では3.49、「中央値の2分の1未満」では3.66となっている。

世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では3.27、「ひとり親世帯全体」では3.40、「母子世帯のみ」では3.36となっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



【世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」では3.64、「中央値の2分の1以上中央値未満」では3.53、「中央値の2分の1未満」では3.99となっている。

世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では3.52、「ひとり親世帯全体」では4.05、「母子世帯のみ」では4.01となっている。

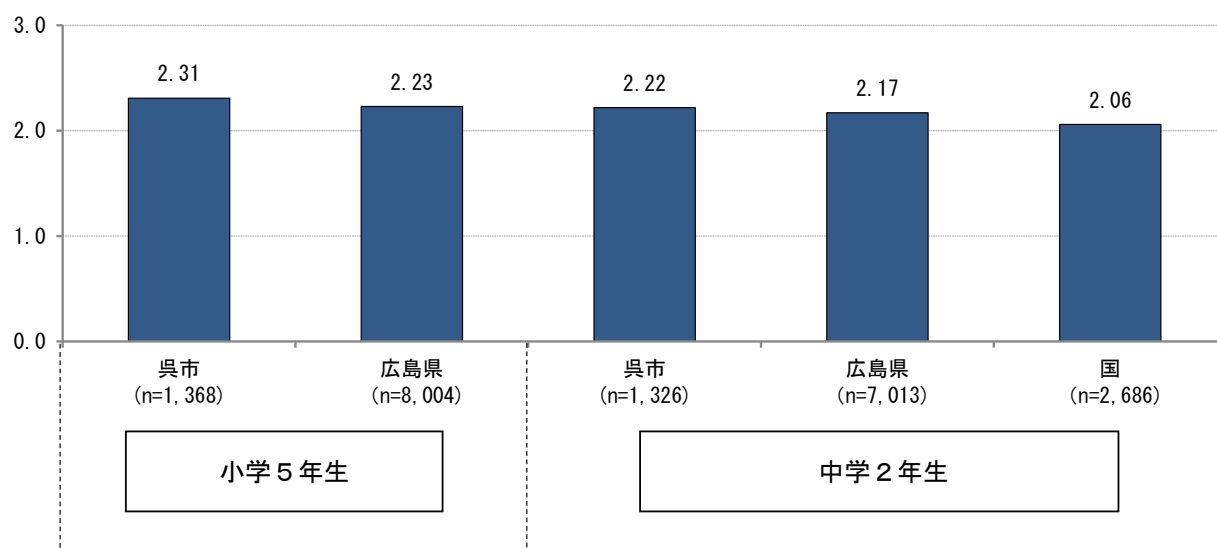
= 仲間関係の問題 =

- d. 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
 g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
 i. 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。
 l. 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。
 n. 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。

「仲間関係の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。

※「g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。」と「i. 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。」の項目は逆転項目としてスコアを算出した。

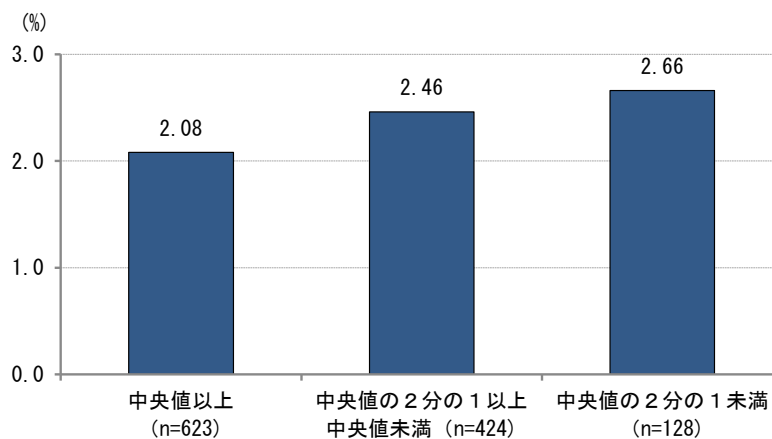
【全体】



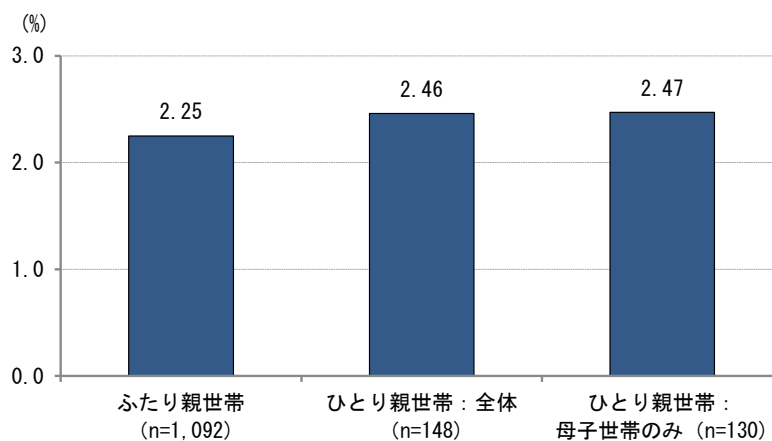
「仲間関係の問題」について、小学5年生全体の平均値は2.31となっている。

中学2年生全体の平均値は2.22となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



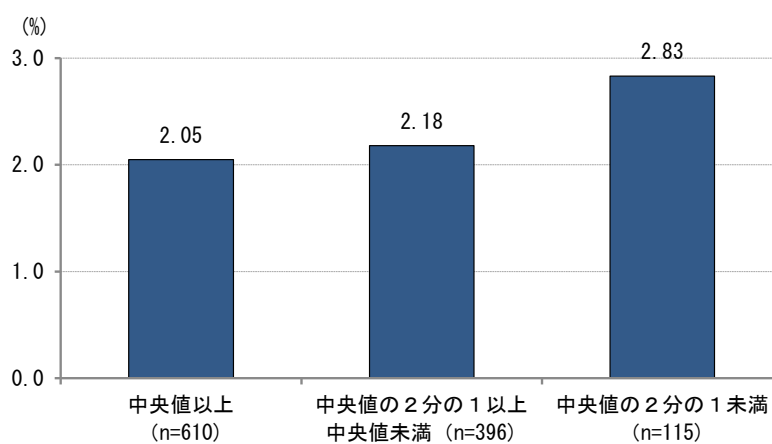
【世帯の状況別_小学5年生】



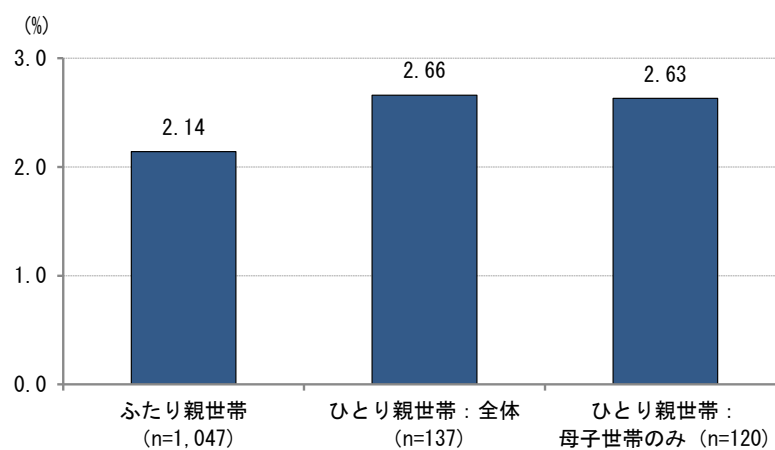
等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」では2.08、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.46、「中央値の2分の1未満」では2.66となっている。

世帯の状況別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では2.25、「ひとり親世帯全体」では2.46、「母子世帯のみ」では2.47となっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



【世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」では2.05、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.18、「中央値の2分の1未満」では2.83となっている。

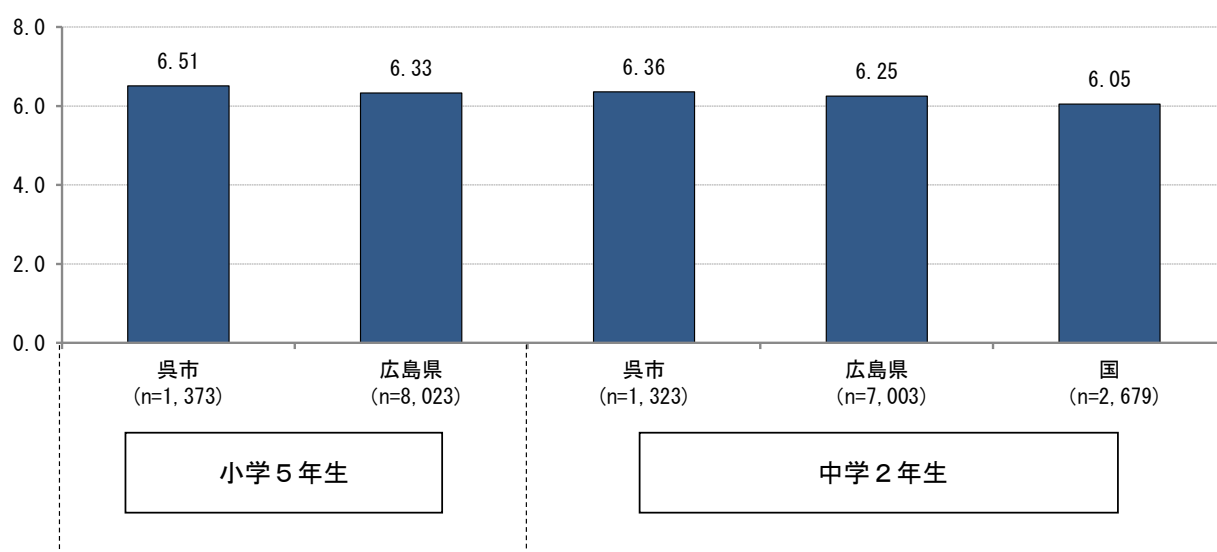
世帯の状況別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では2.14、「ひとり親世帯全体」では2.66、「母子世帯のみ」では2.63となっている。

= 向社会性 =

- a. 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
 c. 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
 f. 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
 k. 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。
 m. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・子供たちなど）。

「向社会性」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど、社会性が高いと考えられる）。

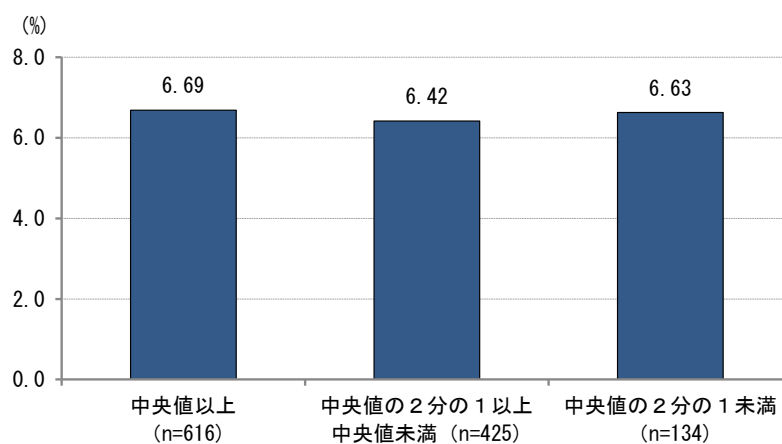
【全体】



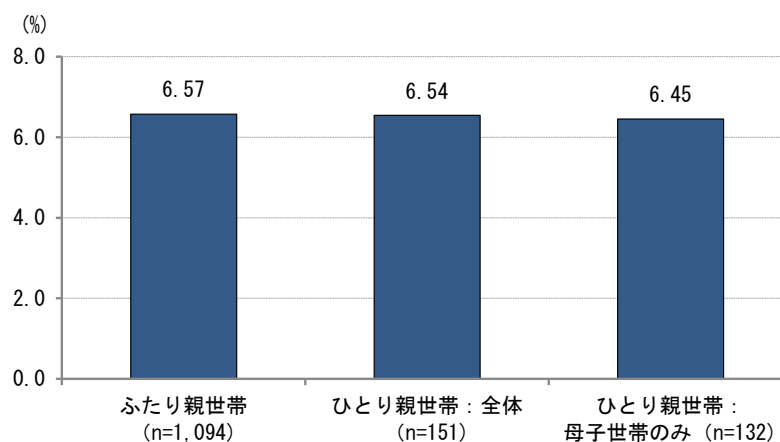
「向社会性」について、小学5年生全体の平均値は6.51となっている。

中学2年生全体の平均値は6.36となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



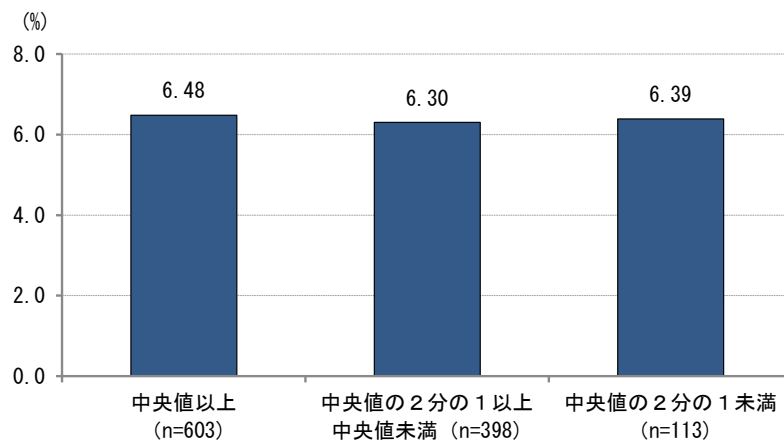
【世帯の状況別_小学5年生】



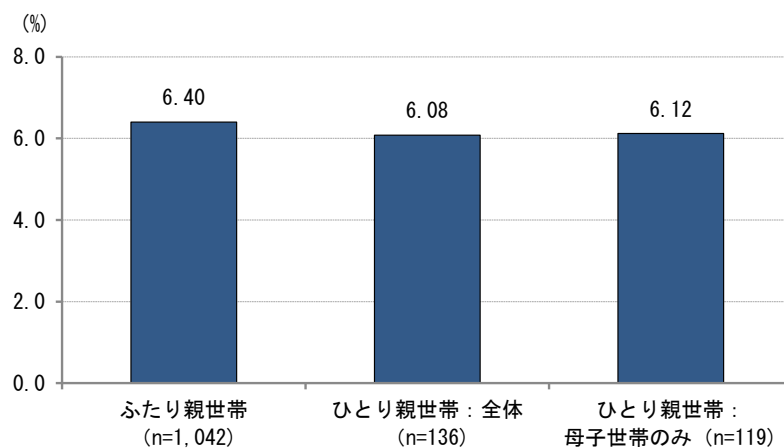
等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」では6.69、「中央値の2分の1以上中央値未満」では6.42、「中央値の2分の1未満」では6.63となっている。

世帯の状況別にみると、「向社会性」の平均値は、「ふたり親世帯」では6.57、「ひとり親世帯全体」では6.54、「母子世帯のみ」では6.45となっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



【世帯の状況別_中学2年生】



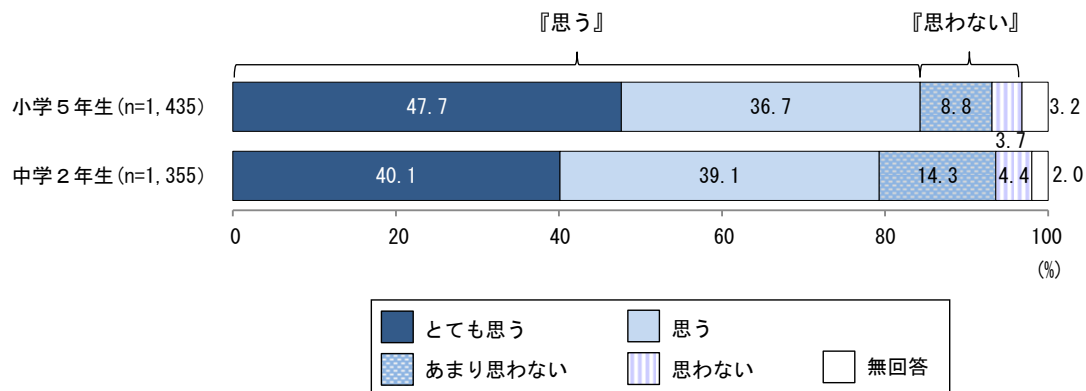
等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」では6.48、「中央値の2分の1以上中央値未満」では6.30、「中央値の2分の1未満」では6.39となっている。

世帯の状況別にみると、「向社会性」の平均値は、「ふたり親世帯」では6.40、「ひとり親世帯全体」では6.08、「母子世帯のみ」では6.12となっている。

子供票問 27. あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(SA)

= がんばれば、むくわれる =

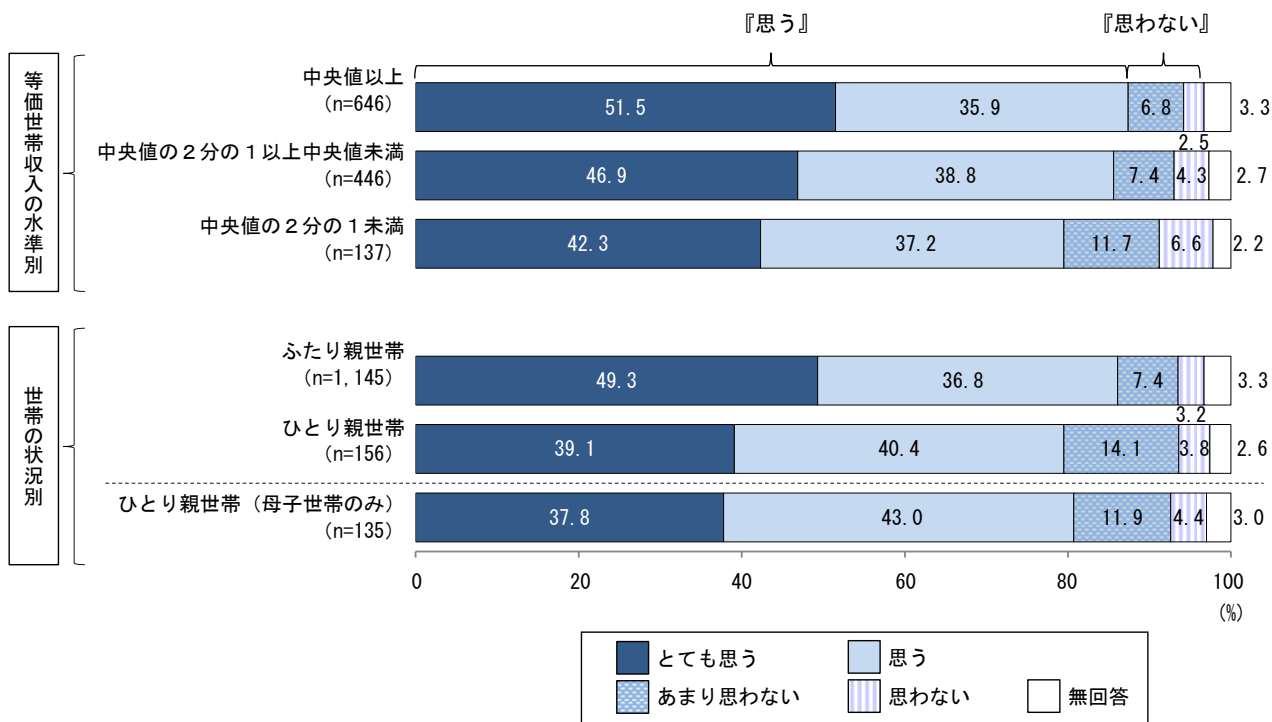
【全体】



「がんばれば、むくわれる」と思うかについて、小学5年生では、『思う（「とても思う」と「思う」を合わせた割合）』が 84.4%、『思わない（「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合）』が 12.5%となっている。

中学2年生では、『思う』が 79.2%、『思わない』が 18.7%となっている。

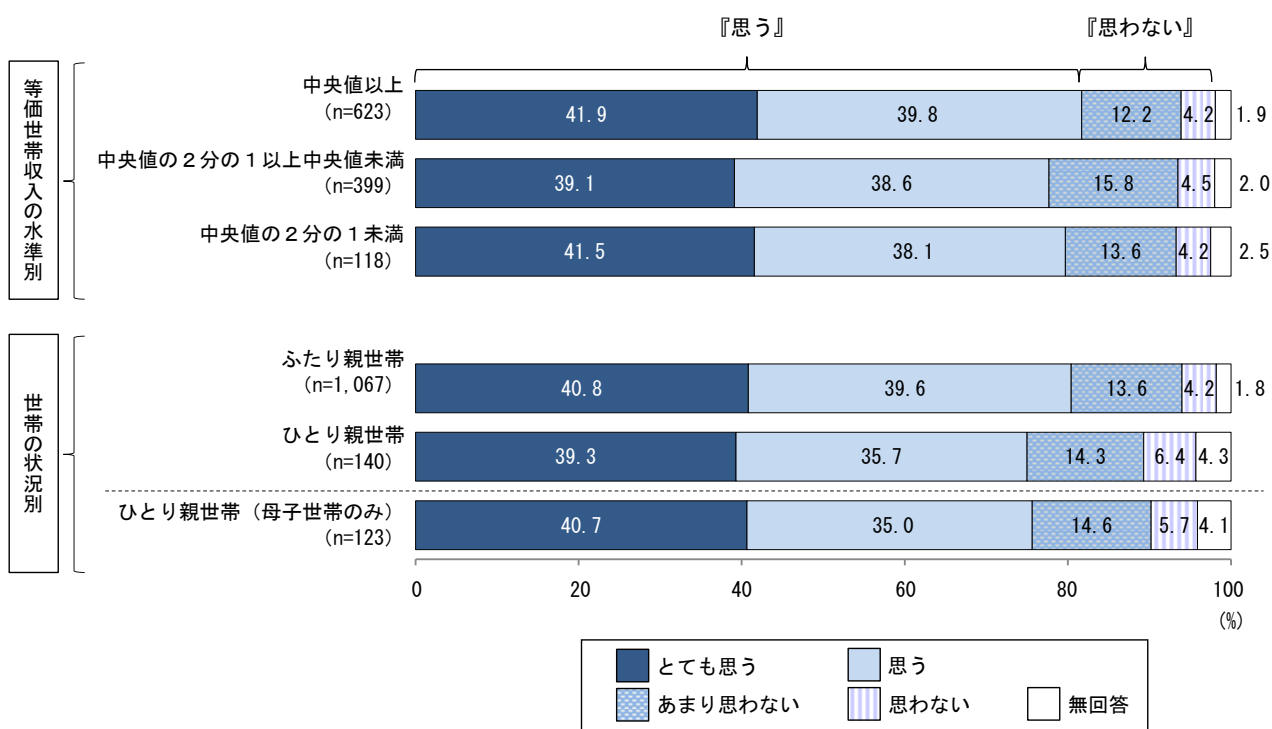
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では 9.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 11.7%、「中央値の2分の1未満」では 18.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では 10.6%、「ひとり親世帯全体」では 17.9%、「母子世帯のみ」では 16.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

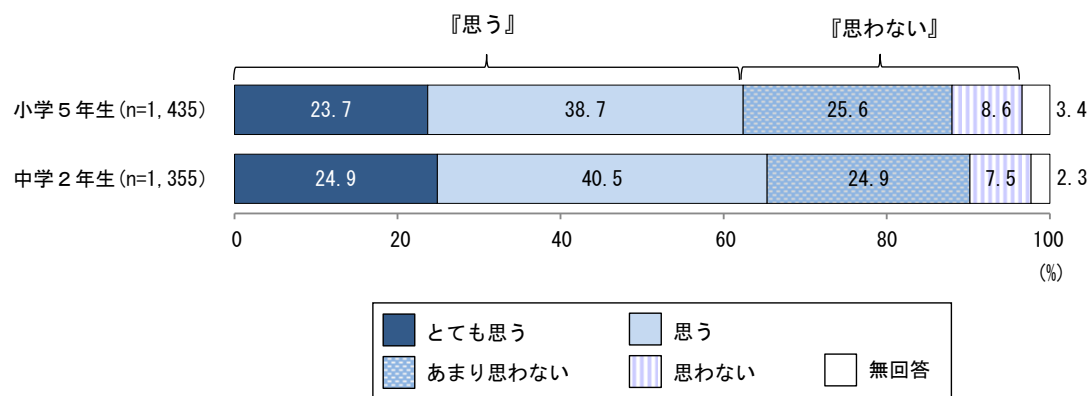


等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では16.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では20.3%、「中央値の2分の1未満」では17.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では17.8%、「ひとり親世帯全体」では20.7%、「母子世帯のみ」では20.3%となっている。

= 自分は価値のある人間だ =

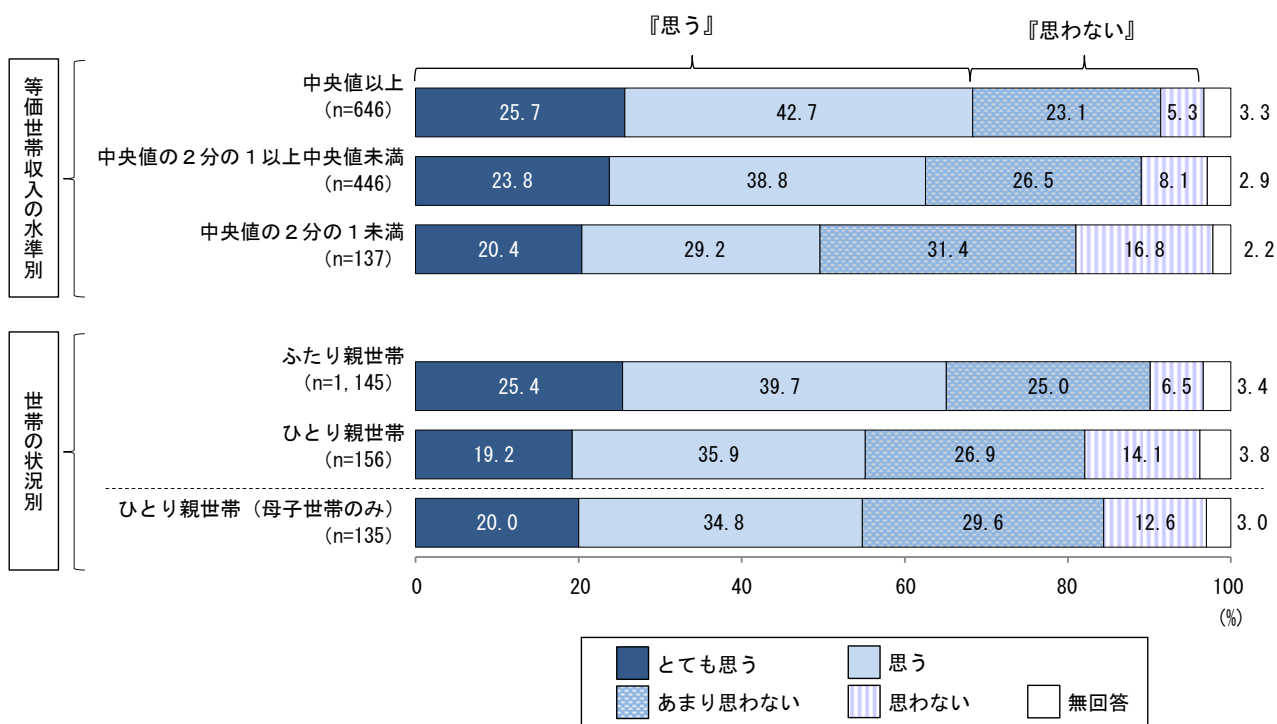
【全体】



「自分は価値のある人間だ」と思うかについて、小学5年生では、『思う（「とても思う」と「思う」を合わせた割合）』が 62.4%、『思わない（「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合）』が 34.2%となっている。

中学2年生では、『思う』が 65.4%、『思わない』が 32.4%となっている。

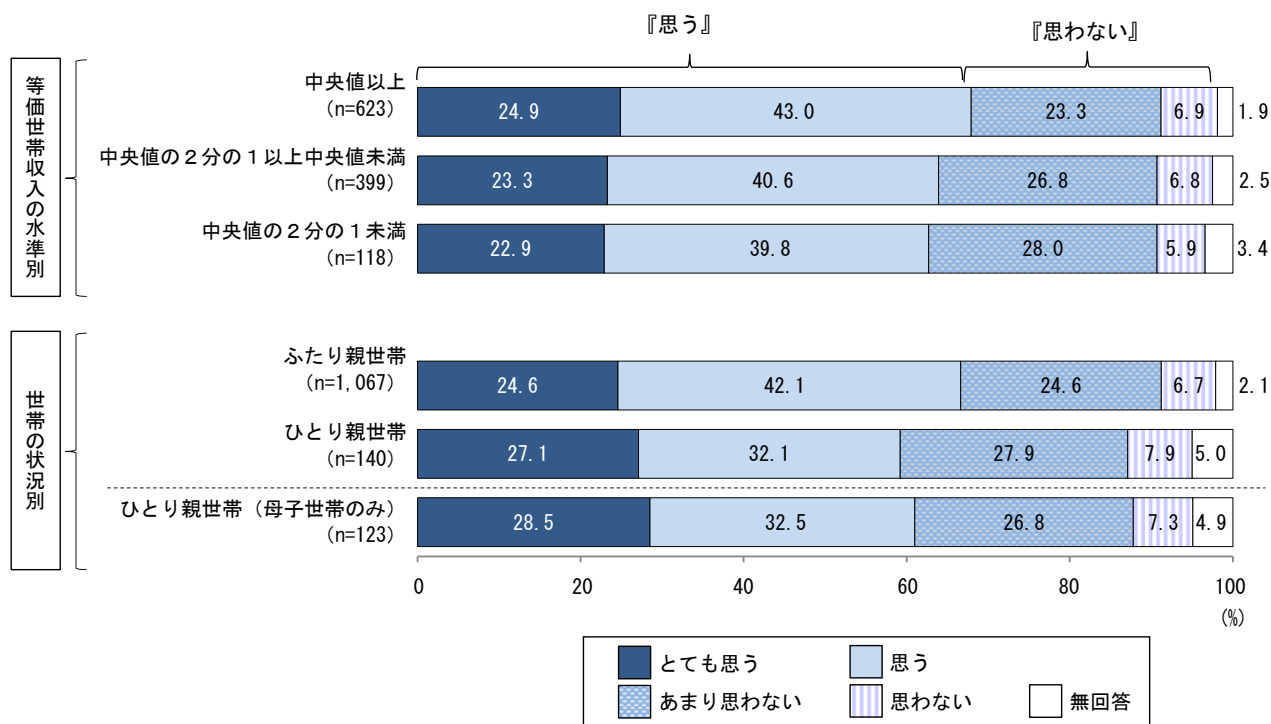
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では28.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では34.6%、「中央値の2分の1未満」では48.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では31.5%、「ひとり親世帯全体」では41.0%、「母子世帯のみ」では42.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

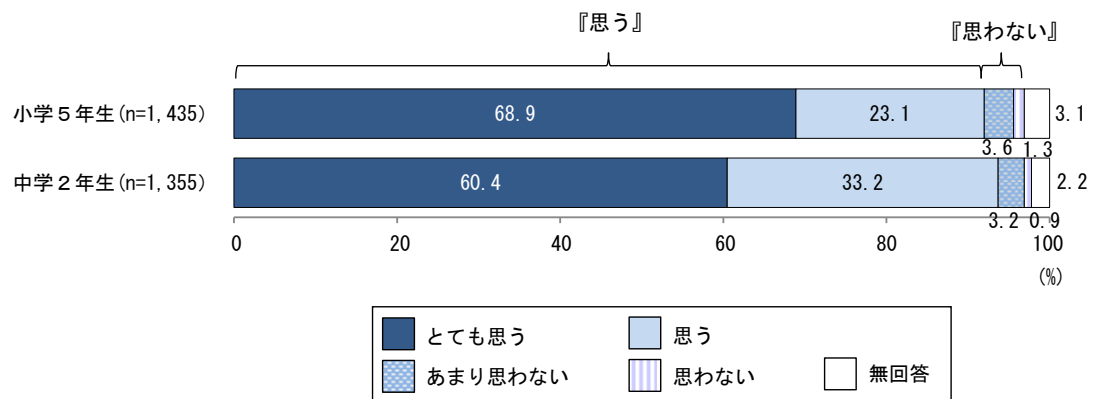


等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では30.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では33.6%、「中央値の2分の1未満」では33.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では31.3%、「ひとり親世帯全体」では35.8%、「母子世帯のみ」では34.1%となっている。

= 自分は家族に大事にされている =

【全体】



「自分は家族に大事にされている」と思うかについて、小学5年生では、『思う（「とても思う」と「思う」を合わせた割合）』が92.0%、『思わない（「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合）』が4.9%となっている。

中学2年生では、『思う』が93.6%、『思わない』が4.1%となっている。

(5) 子供の心理的な状態

『思う』 『思わない』

等価世帯収入の水準別

中央値以上 (n=646)

中央値の2分の1以上中央値未満 (n=446)

中央値の2分の1未満 (n=137)

世帯の状況別

ふたり親世帯 (n=1,145)

ひとり親世帯 (n=156)

ひとり親世帯 (母子世帯のみ) (n=135)

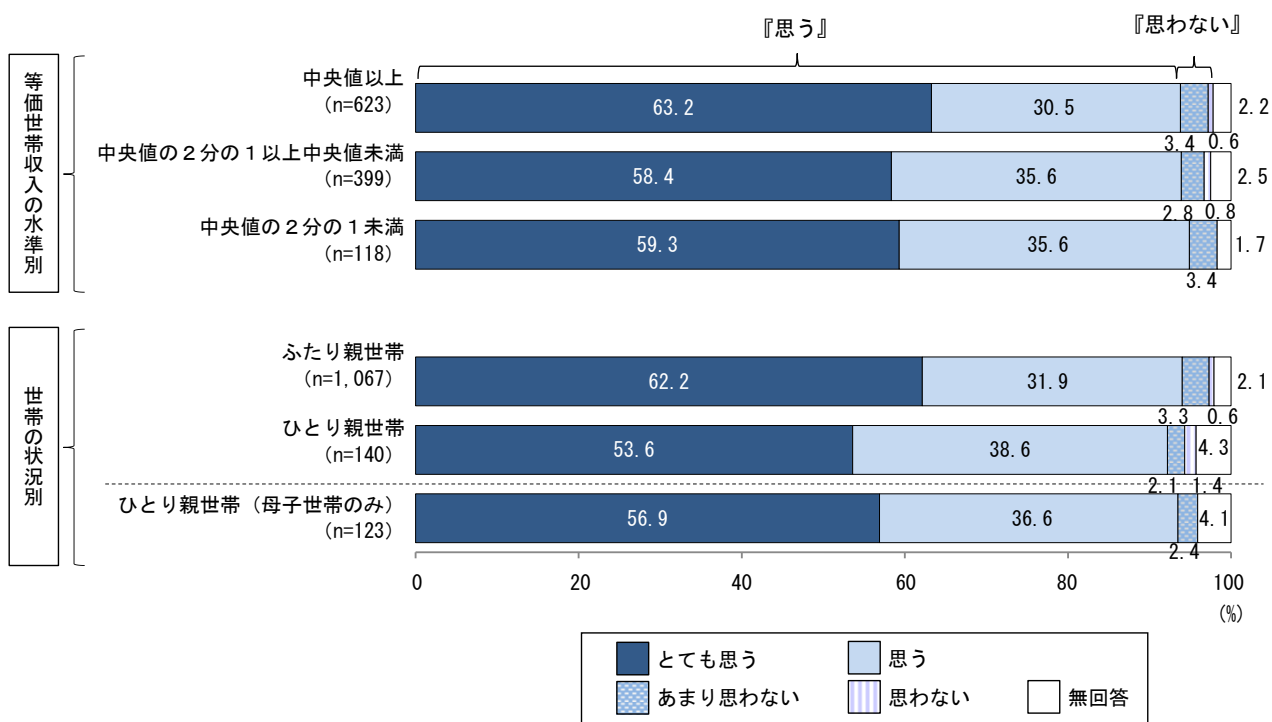
0 20 40 60 80 100 (%)

とても思う 思う あまり思わない 思わない 無回答

世帯の状況別	収入水準	とても思う (%)	思う (%)	あまり思わない (%)	思わない (%)	無回答 (%)
等価世帯収入の水準別	中央値以上 (n=646)	72.4	20.9	2.5	0.9	3.3
	中央値の2分の1以上中央値未満 (n=446)	70.9	22.0	3.6	1.6	2.0
	中央値の2分の1未満 (n=137)	56.2	30.7	9.5	1.5	2.2
世帯の状況別	ふたり親世帯 (n=1,145)	71.1	21.3	3.4	1.1	3.1
	ひとり親世帯 (n=156)	59.6	32.1	4.5	1.3	2.6
	ひとり親世帯 (母子世帯のみ) (n=135)	59.3	31.9	5.2	1.5	2.2

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では4.5%、「ひとり親世帯全体」では5.8%、「母子世帯のみ」では6.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

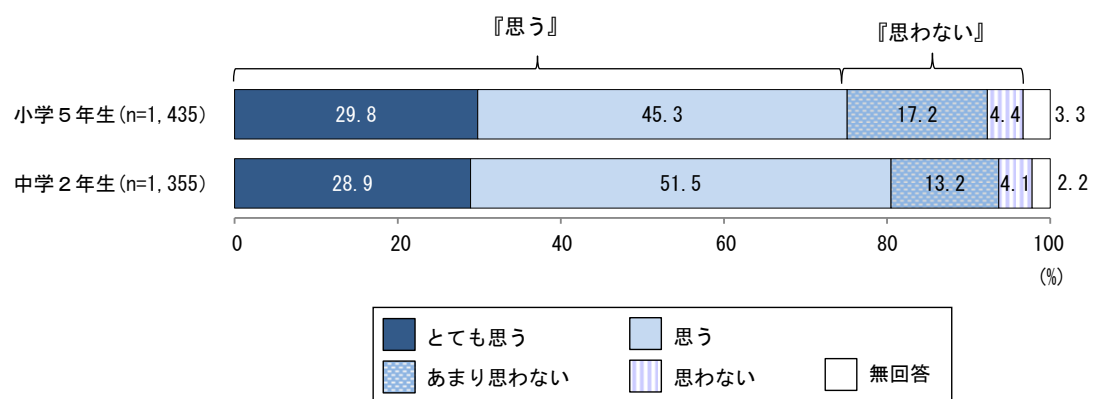


等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では4.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では3.6%、「中央値の2分の1未満」では3.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では3.9%、「ひとり親世帯全体」では3.5%、「母子世帯のみ」では2.4%となっている。

= 自分は友だちに好かれている =

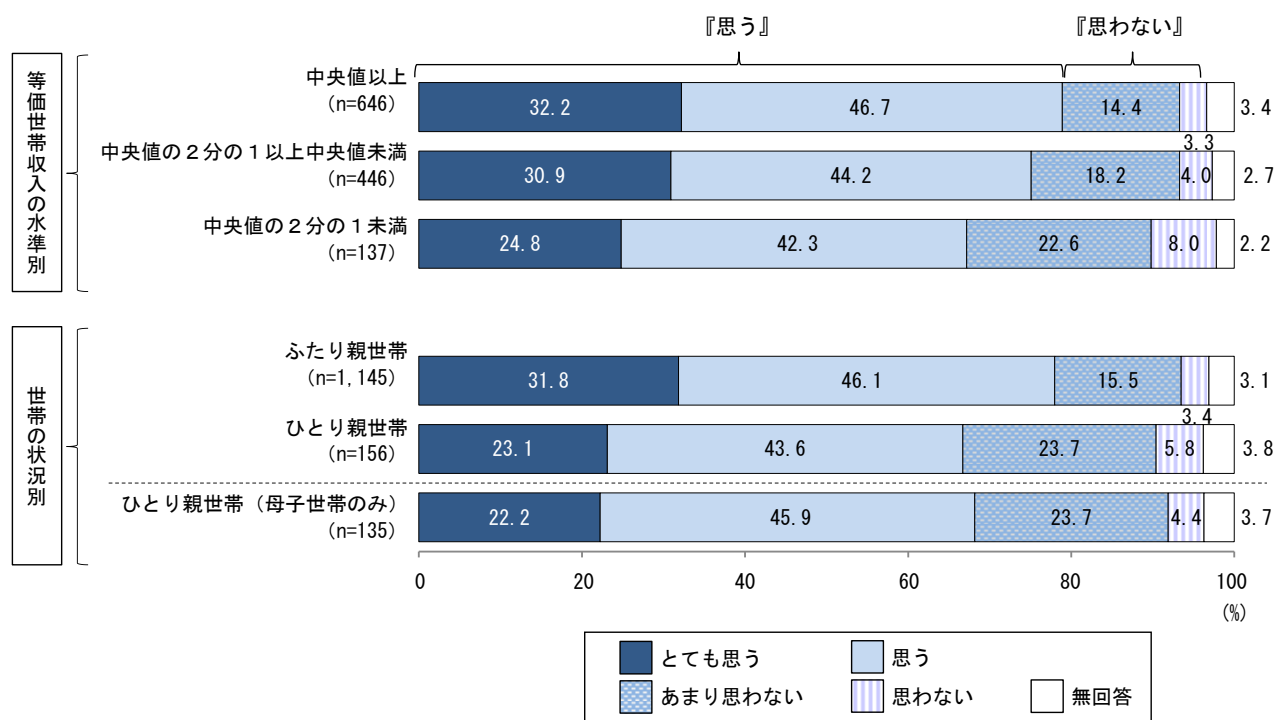
【全体】



「自分は友だちに好かれている」と思うかについて、小学5年生では、『思いう（「とても思う」と「思う」を合わせた割合）』が75.1%、『思わない（「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合）』が21.6%となっている。

中学2年生では、『思いう』が80.4%、『思わない』が17.3%となっている。

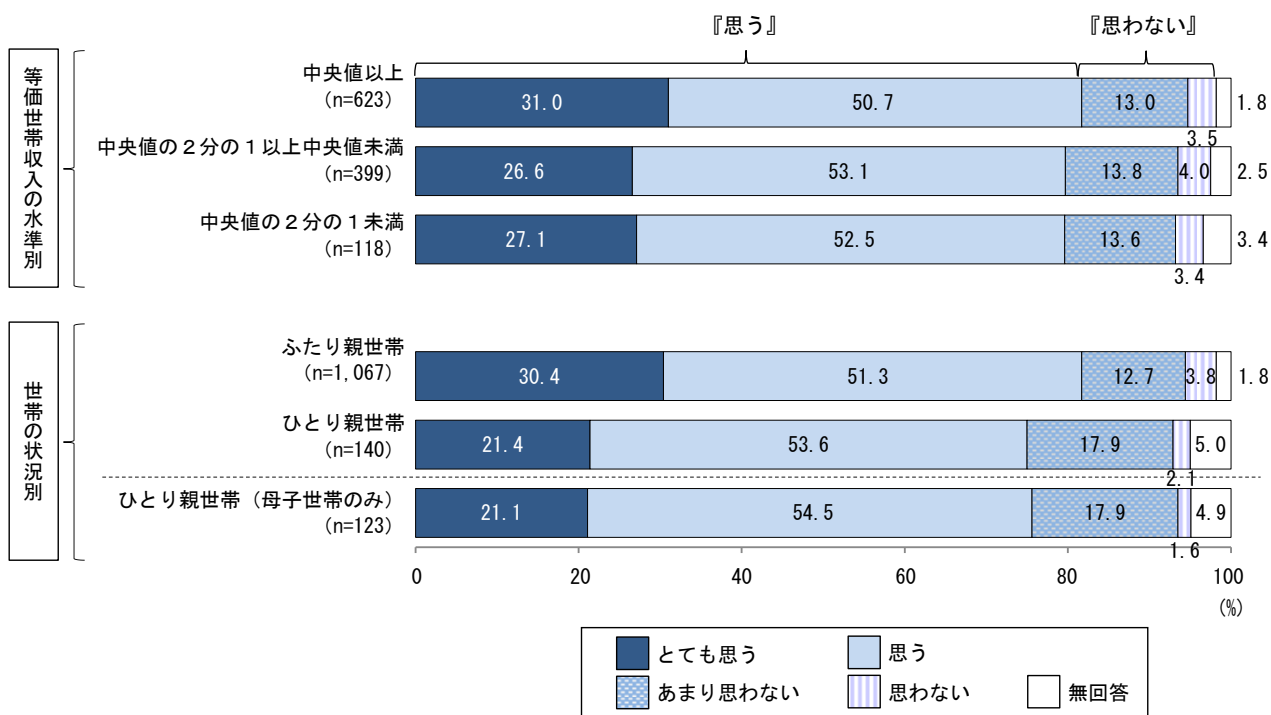
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では17.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では22.2%、「中央値の2分の1未満」では30.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では18.9%、「ひとり親世帯全体」では29.5%、「母子世帯のみ」では28.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

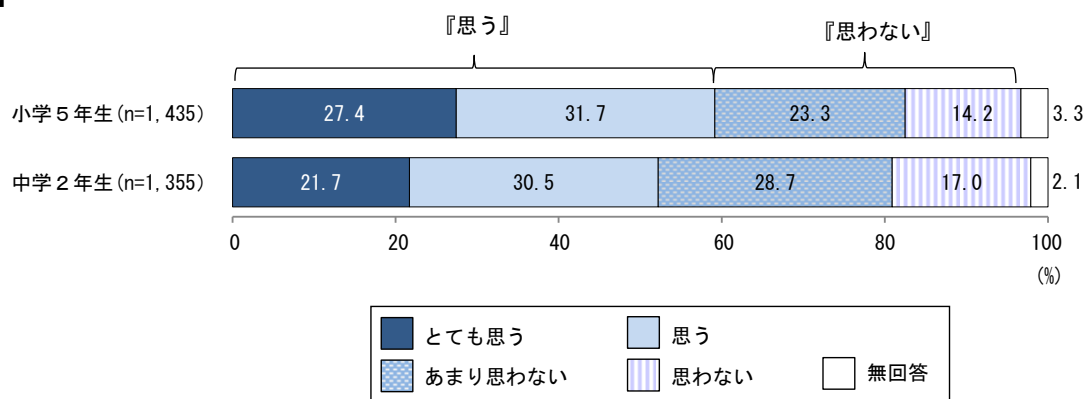


等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では16.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では17.8%、「中央値の2分の1未満」では17.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では16.5%、「ひとり親世帯全体」では20.0%、「母子世帯のみ」では19.5%となっている。

= 不安に感じることはない =

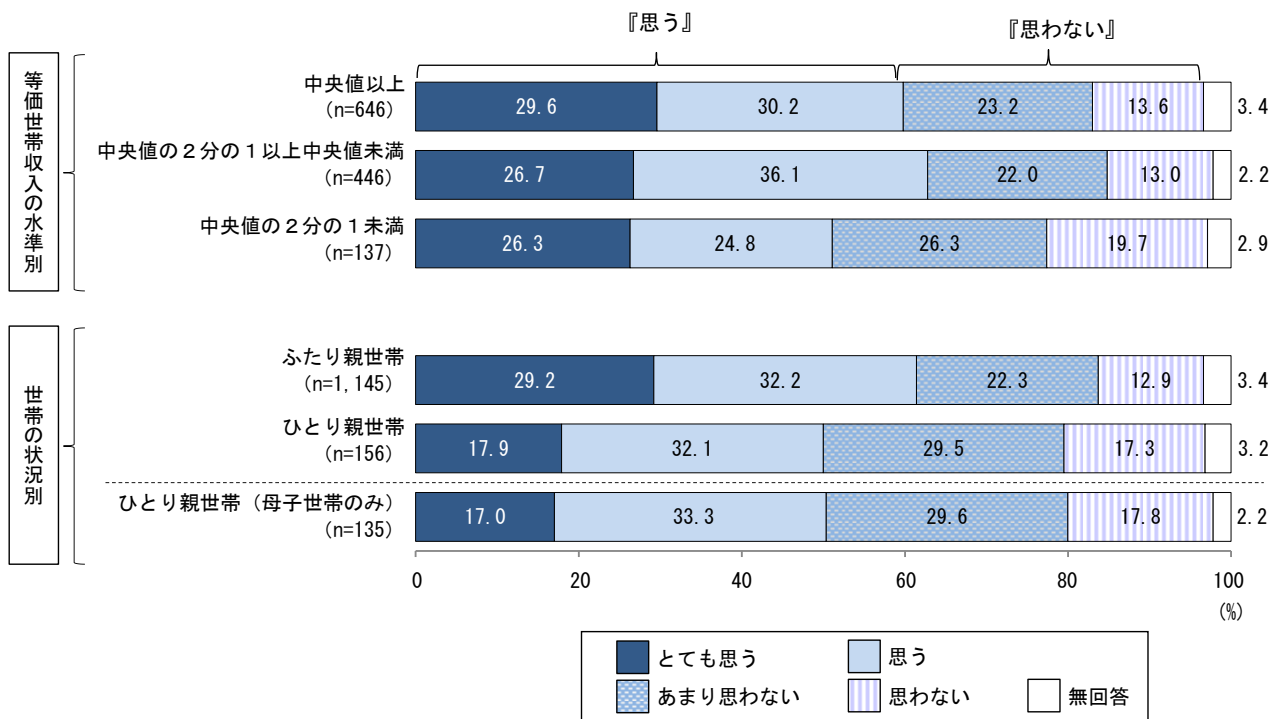
【全体】



「不安に感じることはない」と思うかについて、小学5年生では、『思う（「とても思う」と「思う」を合わせた割合）』が 59.1%、『思わない（「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合）』が 37.5%となっている。

中学2年生では、『思う』が 52.2%、『思わない』が 45.7%となっている。

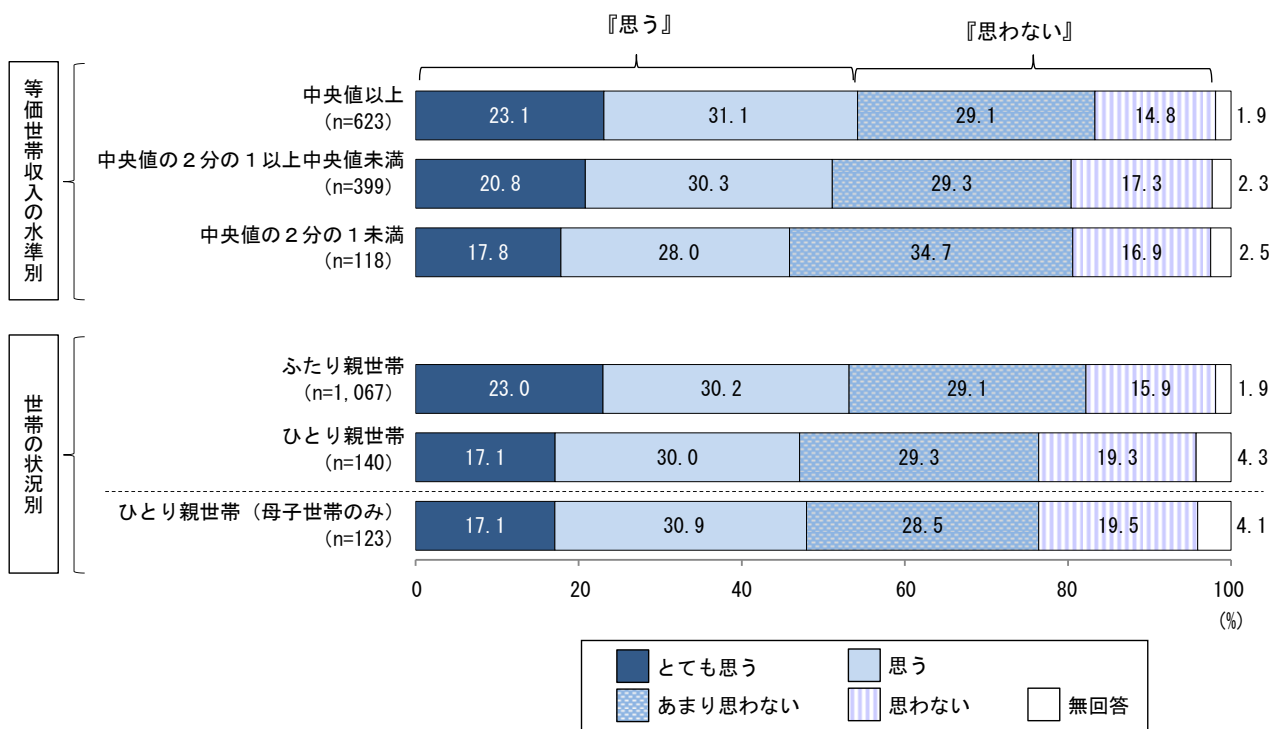
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では36.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では35.0%、「中央値の2分の1未満」では46.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では35.2%、「ひとり親世帯全体」では46.8%、「母子世帯のみ」では47.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

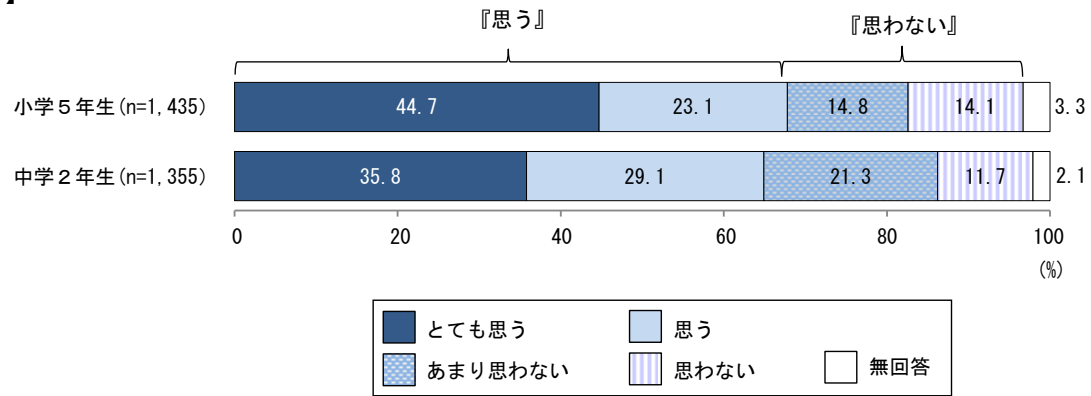


等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では43.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では46.6%、「中央値の2分の1未満」では51.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では45.0%、「ひとり親世帯全体」では48.6%、「母子世帯のみ」では48.0%となっている。

= 孤独と感ずることはない =

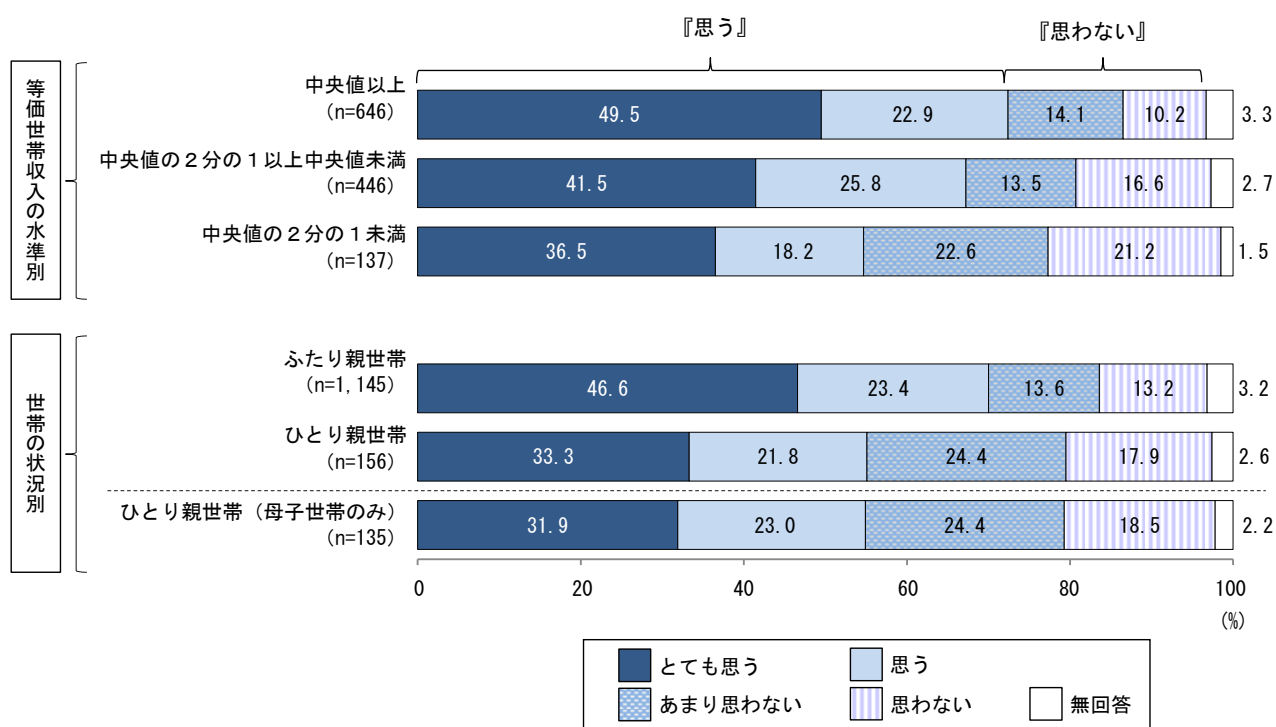
【全体】



「孤独と感ずることはない」と思ふかについて、小学5年生では、『思ふ（「とても思ふ」と「思ふ」を合わせた割合）』が 67.8%、『思わない（「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合）』が 28.9%となっている。

中学2年生では、『思ふ』が 64.9%、『思わない』が 33.0%となっている。

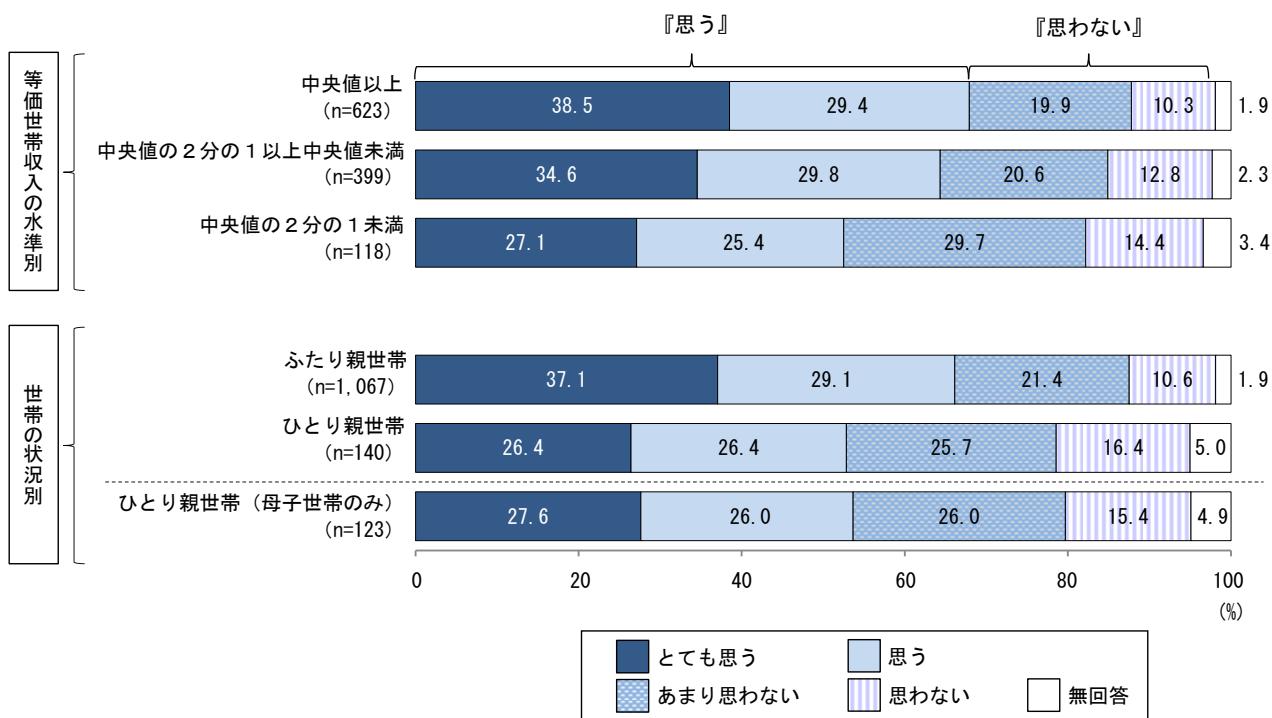
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では24.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では30.1%、「中央値の2分の1未満」では43.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では26.8%、「ひとり親世帯全体」では42.3%、「母子世帯のみ」では42.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

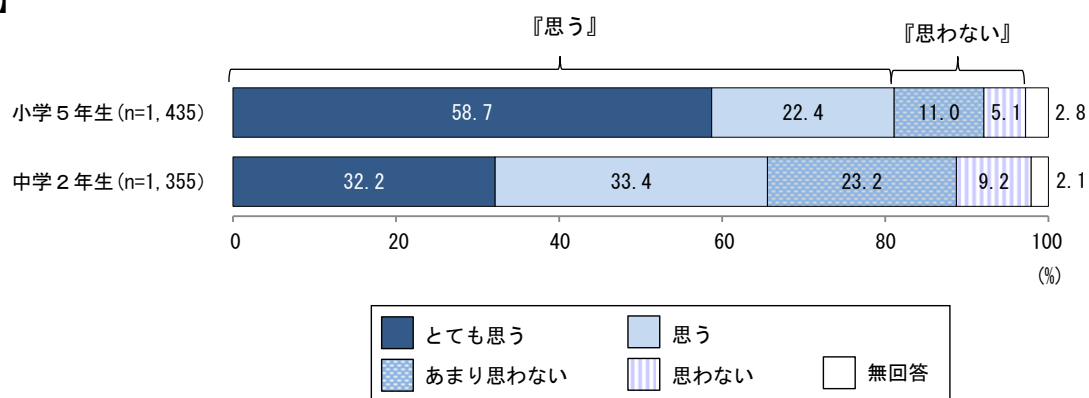


等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では30.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では33.4%、「中央値の2分の1未満」では44.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では32.0%、「ひとり親世帯全体」では42.1%、「母子世帯のみ」では41.4%となっている。

= 自分の将来が楽しみだ =

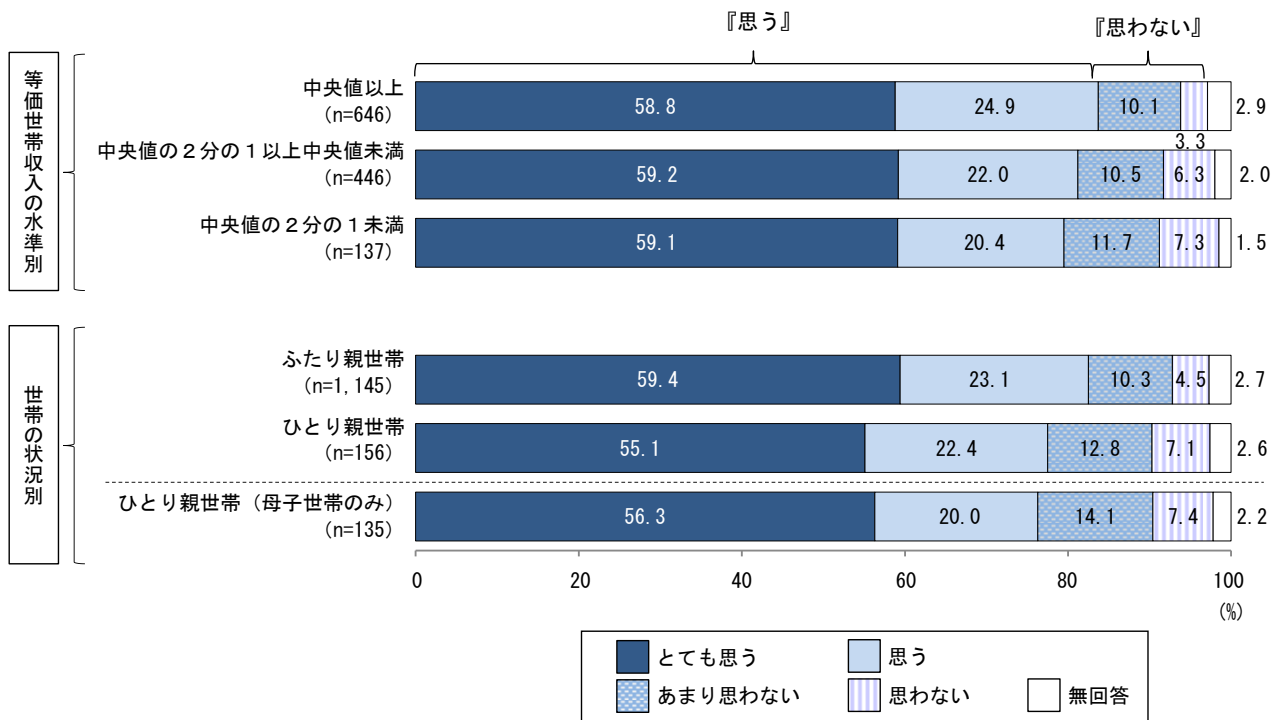
【全体】



「自分の将来が楽しみだ」と思うかについて、小学5年生では、『思う（「とても思う」と「思う」を合わせた割合）』が 81.1%、『思わない（「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合）』が 16.1%となっている。

中学2年生では、『思う』が 65.6%、『思わない』が 32.4%となっている。

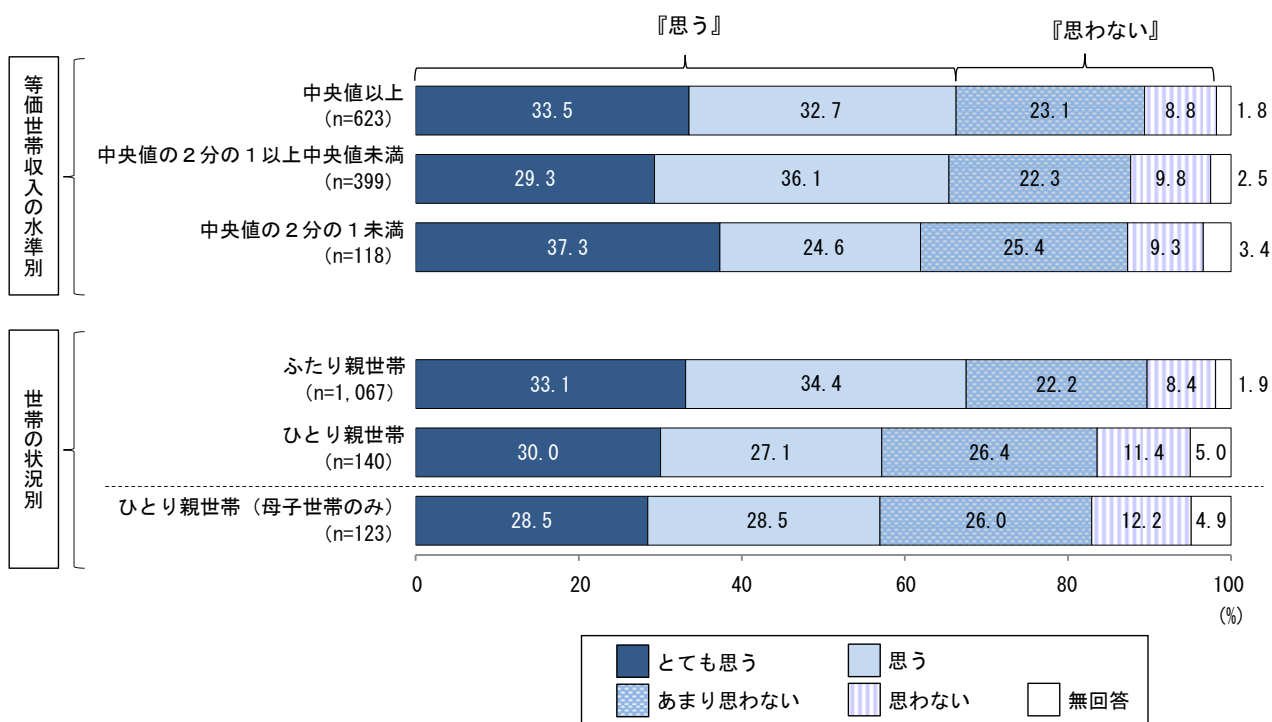
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では13.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では16.8%、「中央値の2分の1未満」では19.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では14.8%、「ひとり親世帯全体」では19.9%、「母子世帯のみ」では21.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

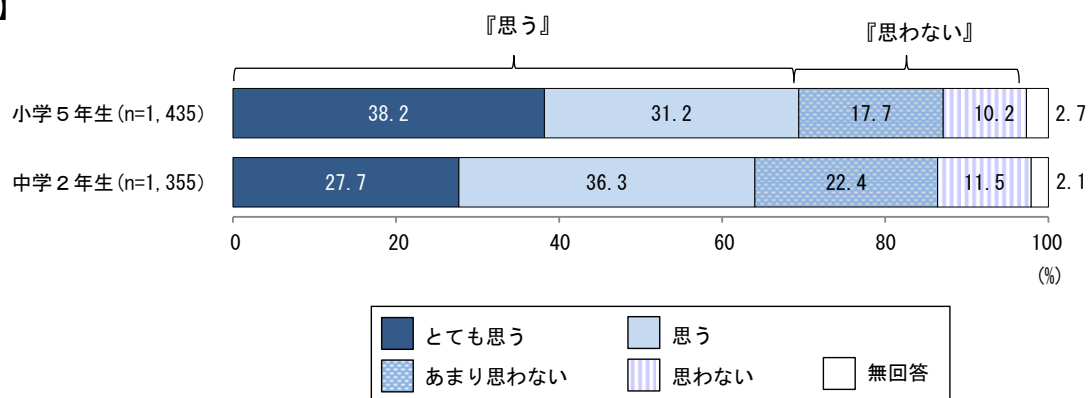


等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では31.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では32.1%、「中央値の2分の1未満」では34.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では30.6%、「ひとり親世帯全体」では37.8%、「母子世帯のみ」では38.2%となっている。

= 自分のことが好きだ =

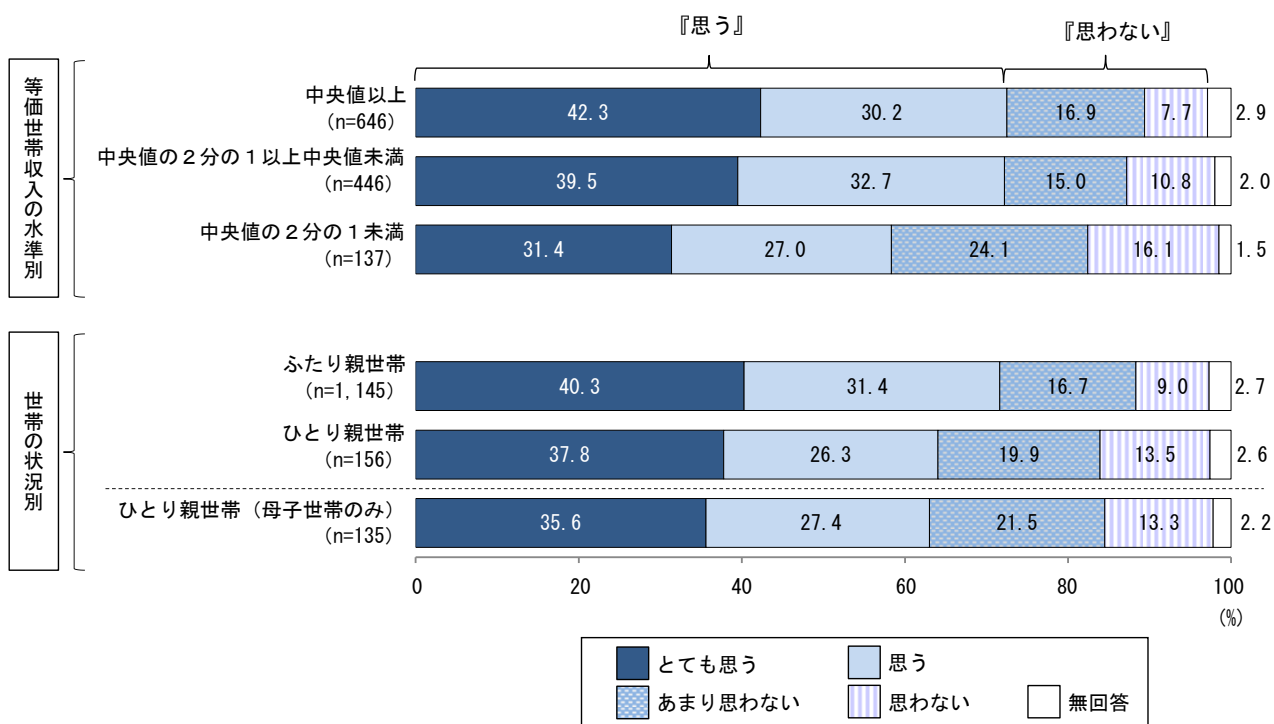
【全体】



「自分のことが好きだ」と思うかについて、小学5年生では、『思う（「とても思う」と「思う」を合わせた割合）』が69.4%、『思わない（「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合）』が27.9%となっている。

中学2年生では、『思う』が64.0%、『思わない』が33.9%となっている。

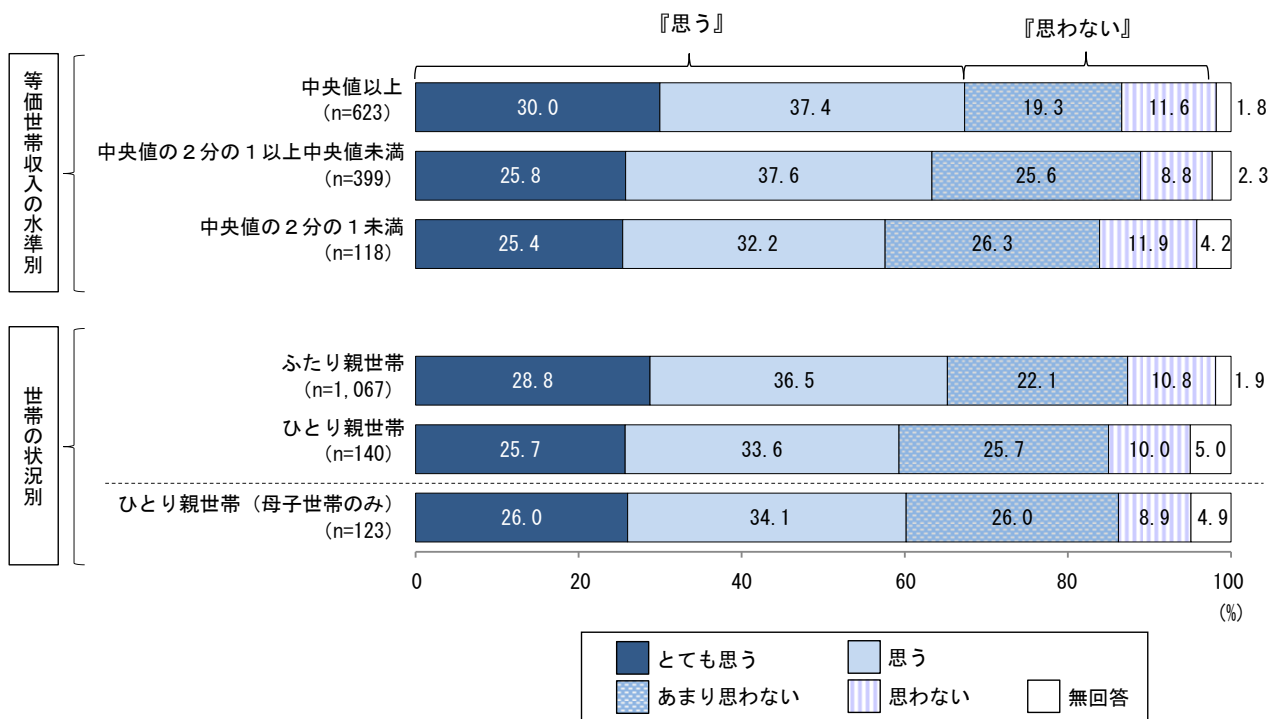
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では24.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では25.8%、「中央値の2分の1未満」では40.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では25.7%、「ひとり親世帯全体」では33.4%、「母子世帯のみ」では34.8%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『思わない』は、「中央値以上」では30.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では34.4%、「中央値の2分の1未満」では38.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『思わない』は、「ふたり親世帯」では32.9%、「ひとり親世帯全体」では35.7%、「母子世帯のみ」では34.9%となっている。

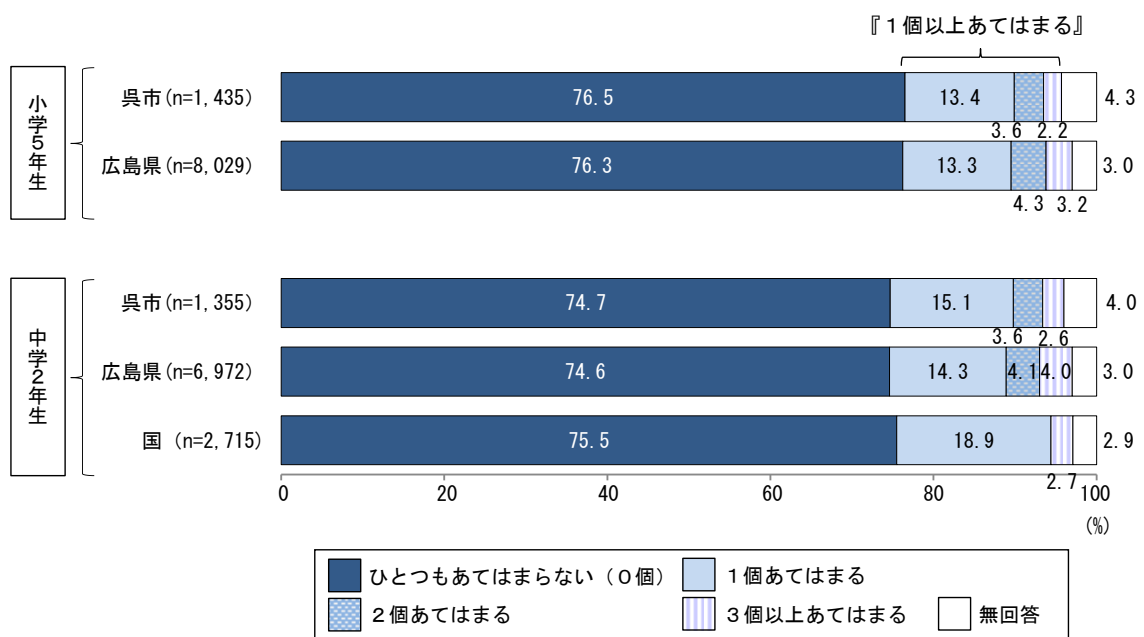
(6) 逆境体験

子供票問 18. あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(SA)

- a. 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b. 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c. 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d. 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f. 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g. 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h. 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

「逆境体験」について、8つの項目を基に状況把握を行った。

【全体】

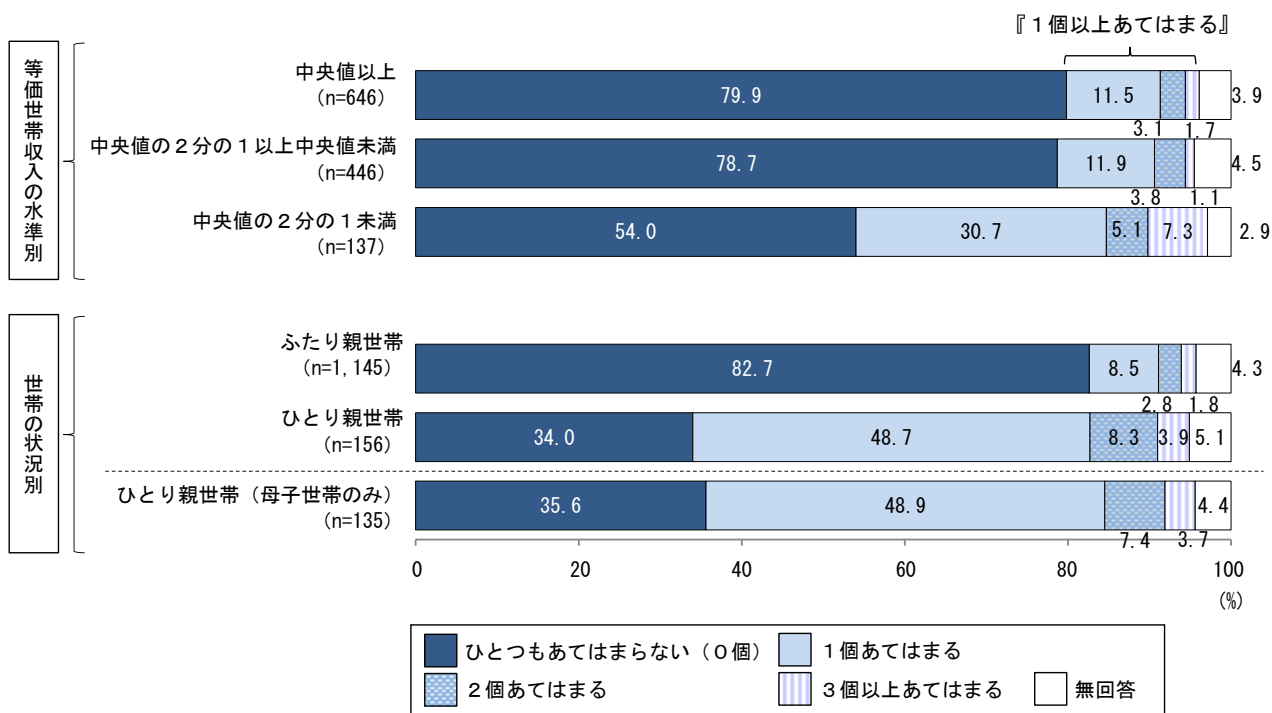


※国調査では「1～2個あてはまる」という選択肢になっている

「逆境体験」について、小学5年生では、「ひとつもあてはまらない (0個)」が76.5%、「1個あてはまる」が13.4%、「2個あてはまる」が3.6%、「3個以上あてはまる」が2.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「ひとつもあてはまらない (0個)」が74.7%、「1個あてはまる」が15.1%、「2個あてはまる」が3.6%、「3個以上あてはまる」が2.6%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】

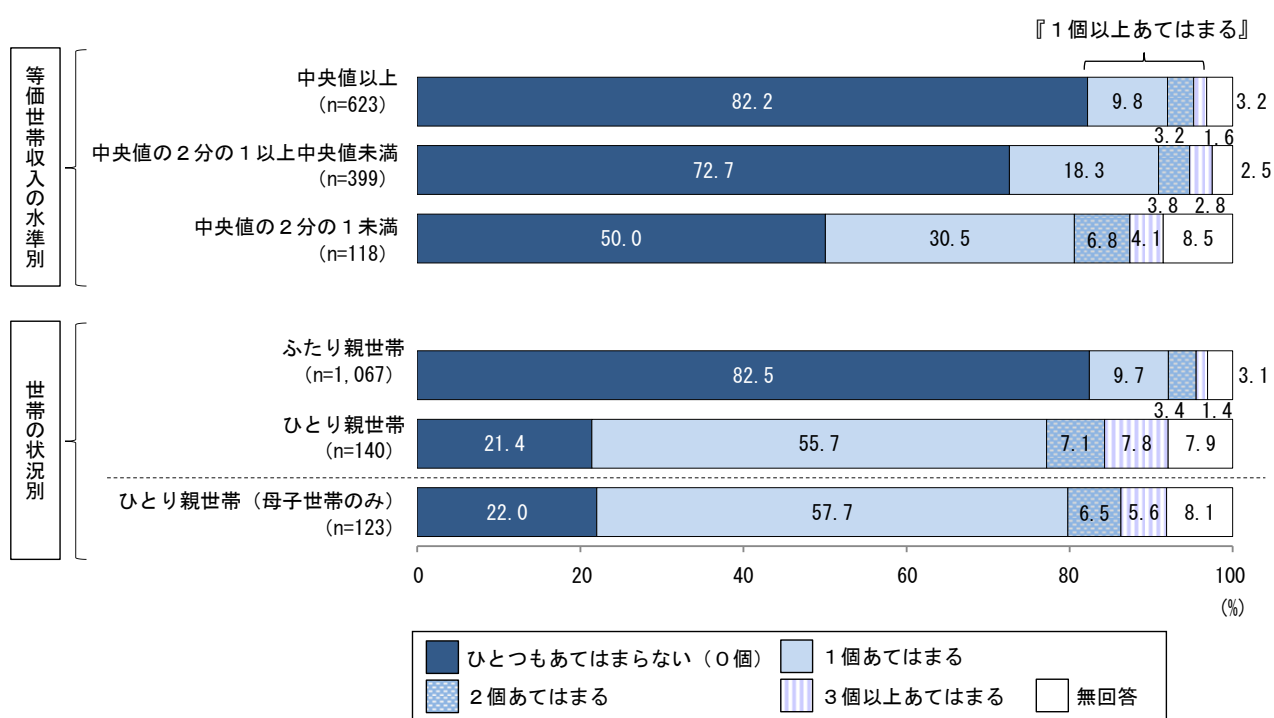


等価世帯収入の水準別にみると、『1個以上あてはまる（「1個あてはまる」と「2個あてはまる」と「3個以上あてはまる」を合わせた割合）』は、「中央値以上」では16.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では16.8%、「中央値の2分の1未満」では43.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『1個以上あてはまる』は、「ふたり親世帯」では13.1%、「ひとり親世帯全体」では60.9%、「母子世帯のみ」では60.0%となっている。

※「e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」の項目があり、特にこの点についてひとり親世帯では該当する者の割合が高くなっていると考えられる。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

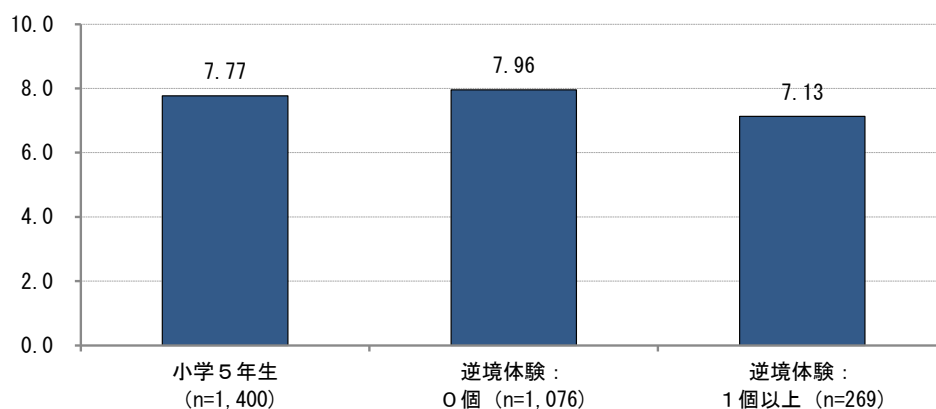


等価世帯収入の水準別にみると、『1個以上あてはまる（「1～2個あてはまる」と「3個以上あてはまる」を合わせた割合）』は、「中央値以上」では14.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では24.9%、「中央値の2分の1未満」では41.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『1個以上あてはまる』は、「ふたり親世帯」では14.5%、「ひとり親世帯全体」では70.6%、「母子世帯のみ」では69.8%となっている。

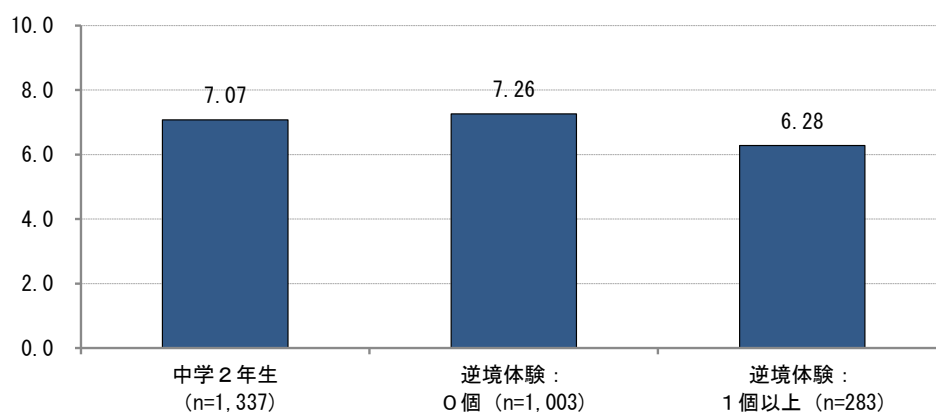
※「e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」の項目があり、特にこの点についてひとり親世帯では該当する者の割合が高くなっていると考えられる。

【逆境体験の有無別 生活の満足度_小学5年生】



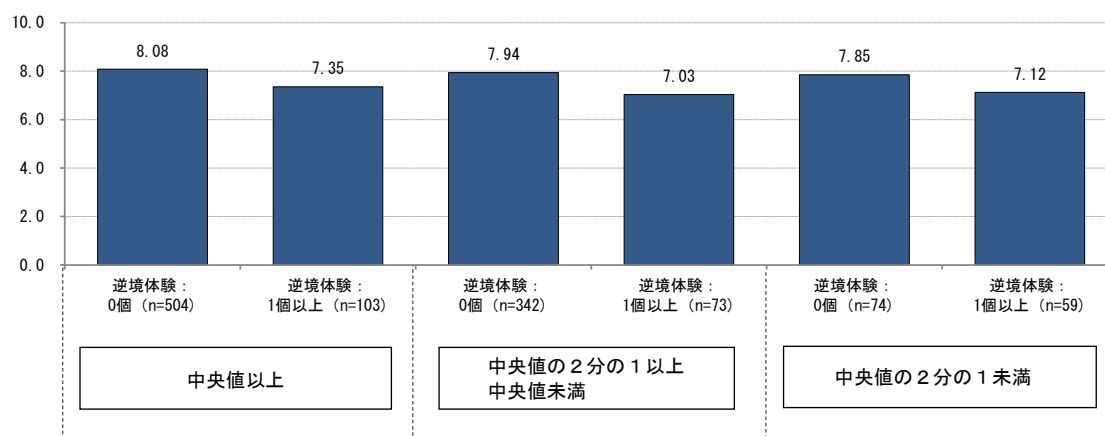
逆境体験の有無別にみると、子供の生活の満足度の平均値は、「ひとつもあてはまらない(0個)」(7.96)が『1個以上あてはまる』(7.13)を0.83点上回っている。

【逆境体験の有無別 生活の満足度_中学2年生】

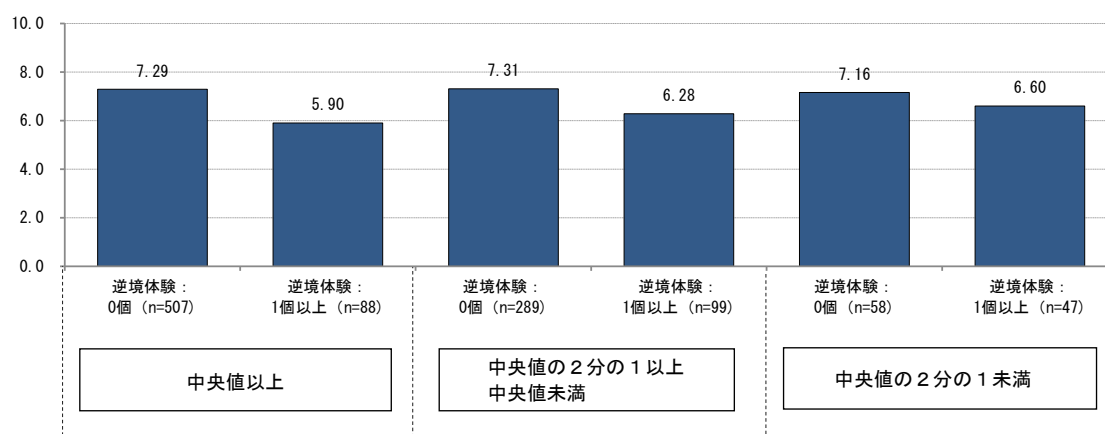


逆境体験の有無別にみると、子供の生活の満足度の平均値は、「ひとつもあてはまらない(0個)」(7.26)が『1個以上あてはまる』(6.28)を0.98点上回っている。

【逆境体験の有無別×世帯収入の水準別_小学5年生】



【逆境体験の有無別×等価世帯収入の水準別_中学2年生】



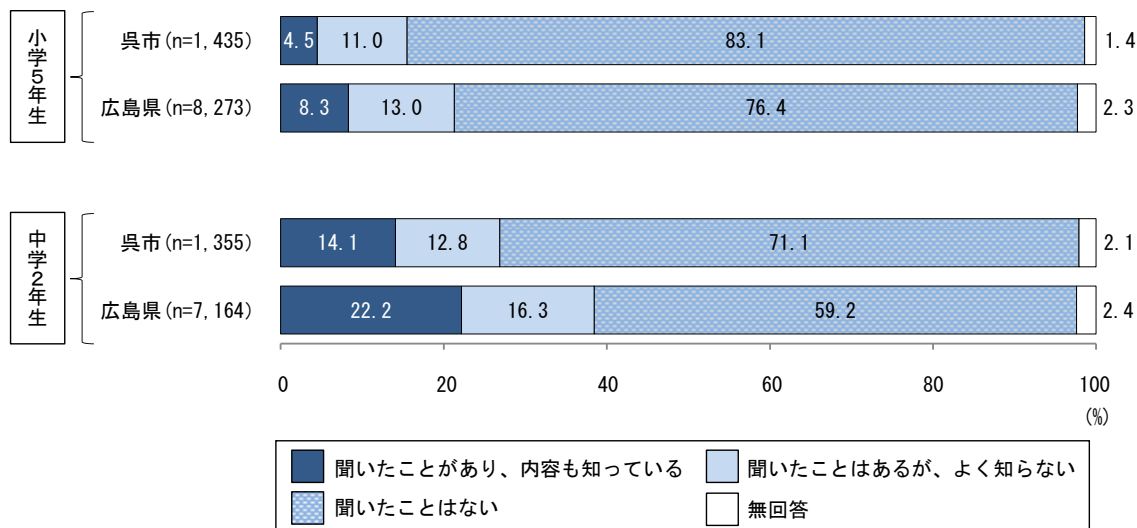
等価世帯収入の水準で分類した上で、逆境体験の有無別に子供の生活満足度をみると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっている。

(7) ヤングケアラーの実態

子供票問 21. あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(SA)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子供の権利が守られていないと思われる 18 歳未満の子供をいいます。

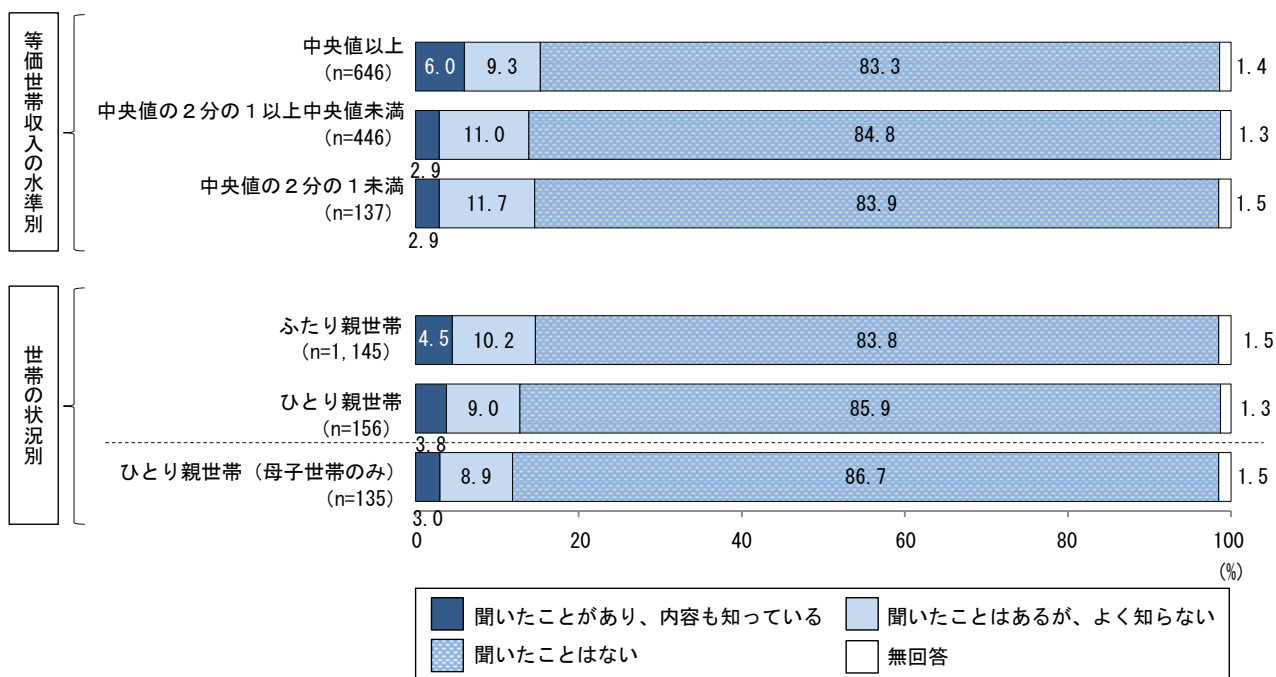
【全体】



ヤングケアラーの言葉の認知について、小学5年生では、「聞いたことがあり、内容も知っている」が4.5%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が11.0%、「聞いたことはない」が83.1%となっている。広島県と比較すると、「聞いたことはない」は、呉市（83.1%）が広島県（76.4%）を6.7ポイント上回っている。

中学2年生では、「聞いたことがあり、内容も知っている」が14.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が12.8%、「聞いたことはない」が71.1%となっている。広島県と比較すると、「聞いたことはない」は、呉市（71.1%）が広島県（59.2%）を11.9ポイント上回っており、「聞いたことがあり、内容も知っている」は、呉市（14.1%）が広島県（22.2%）を8.1ポイント下回っている。

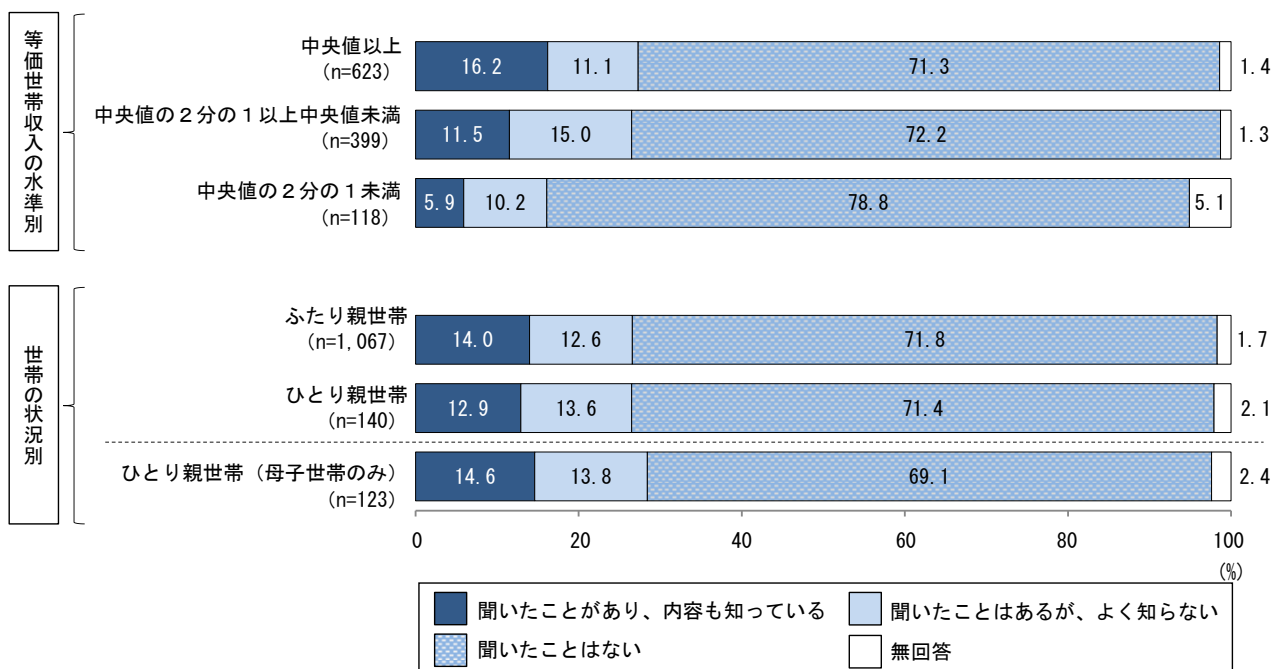
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「聞いたことはない」は、「中央値以上」では83.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では84.8%、「中央値の2分の1未満」では83.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「聞いたことはない」は、「ふたり親世帯」では83.8%、「ひとり親世帯全体」では85.9%、「母子世帯のみ」では86.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

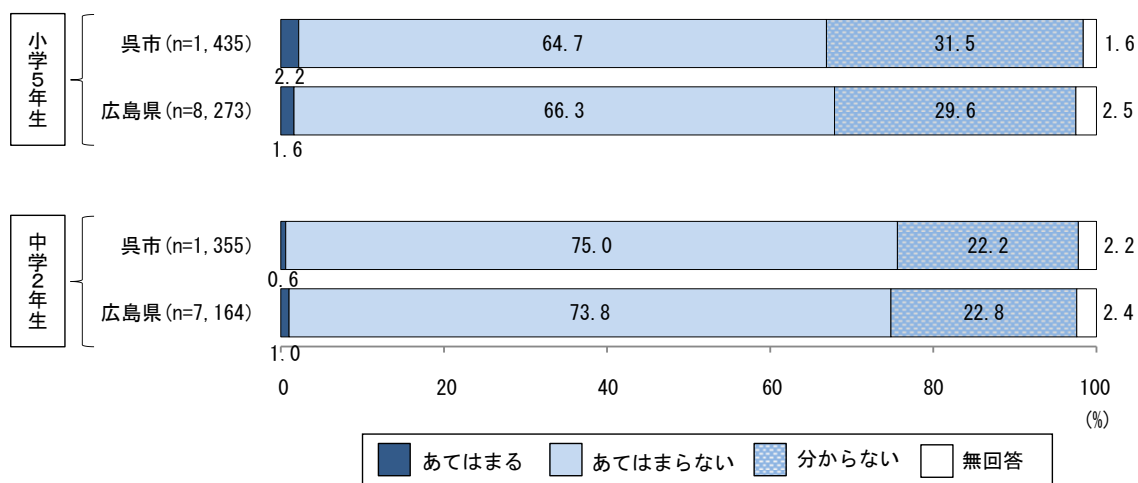


等価世帯収入の水準別にみると、「聞いたことはない」は、「中央値以上」では71.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では72.2%、「中央値の2分の1未満」では78.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「聞いたことはない」は、「ふたり親世帯」では71.8%、「ひとり親世帯全体」では71.4%、「母子世帯のみ」では69.1%となっている。

子供票問 22. あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(SA)

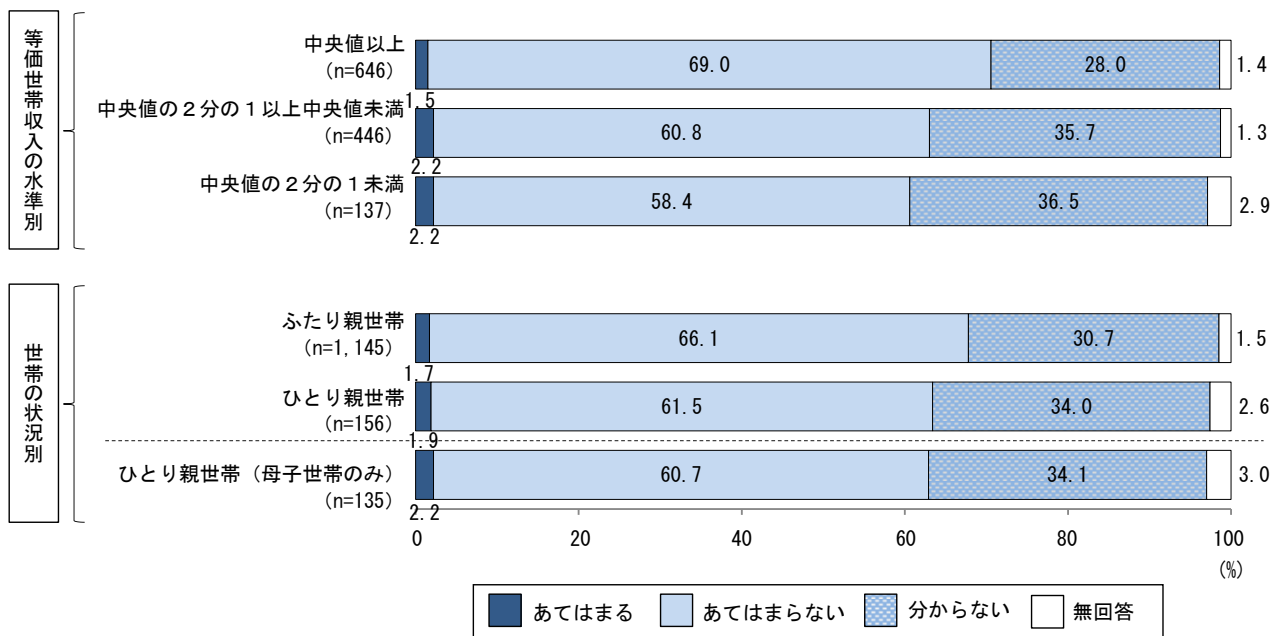
【全体】



ヤングケアラーにあてはまると思うかについて、小学5年生では、「あてはまる」が2.2%、「あてはまらない」が64.7%、「分からない」が31.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「あてはまる」が0.6%、「あてはまらない」が75.0%、「分からない」が22.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

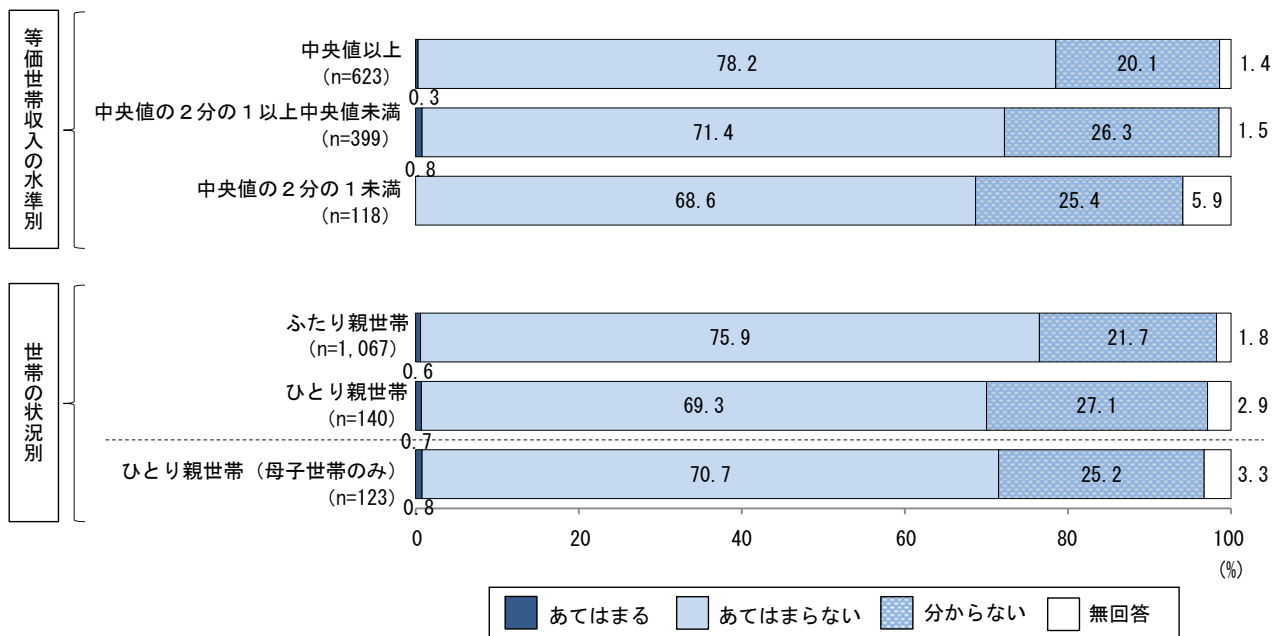
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あてはまる」は、「中央値以上」では1.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.2%、「中央値の2分の1未満」では2.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「あてはまる」は、「ふたり親世帯」では1.7%、「ひとり親世帯全体」では1.9%、「母子世帯のみ」では2.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



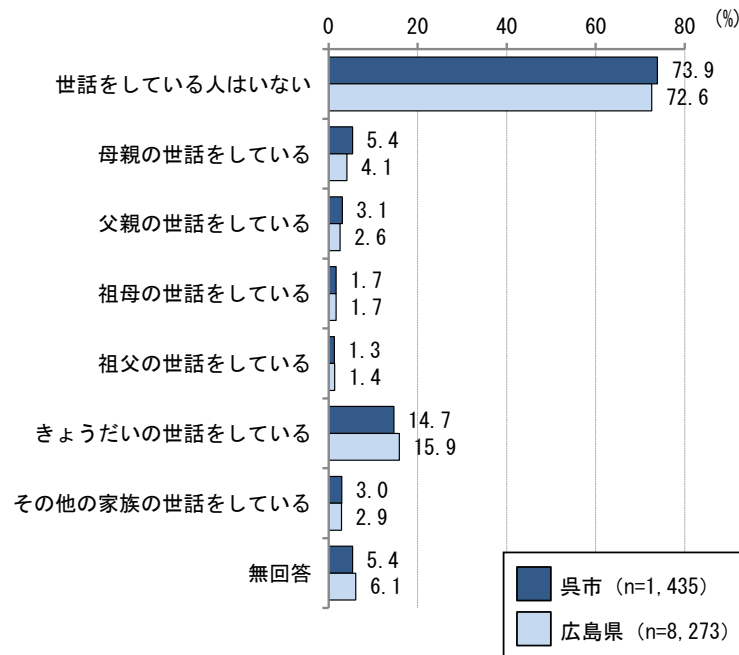
等価世帯収入の水準別にみると、「あてはまる」は、「中央値以上」では0.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では0.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「あてはまる」は、「ふたり親世帯」では0.6%、「ひとり親世帯全体」では0.7%、「母子世帯のみ」では0.8%となっている。

子供票問 23. 家族の中にあなたが世話（※）をしている人はいますか。（MA）

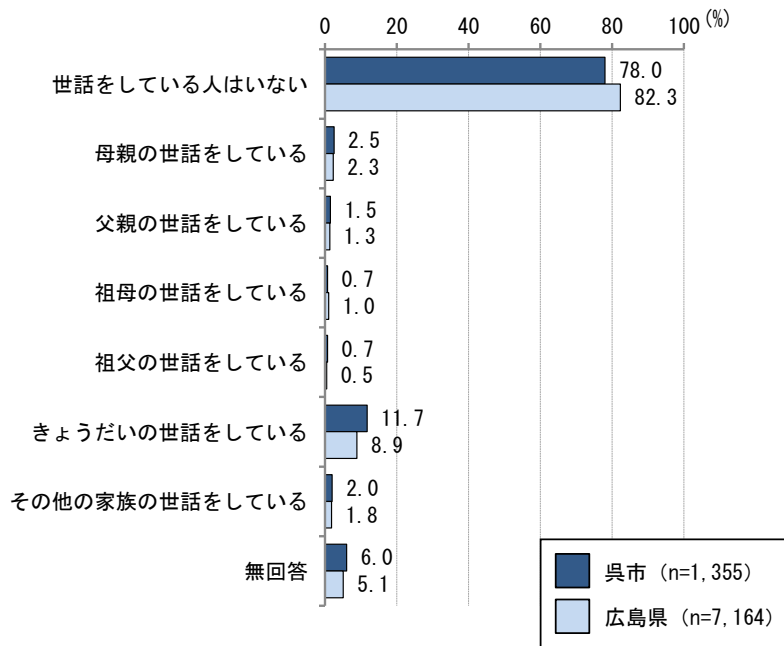
※この質問でいう「世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話のことを指します。

【小学5年生】



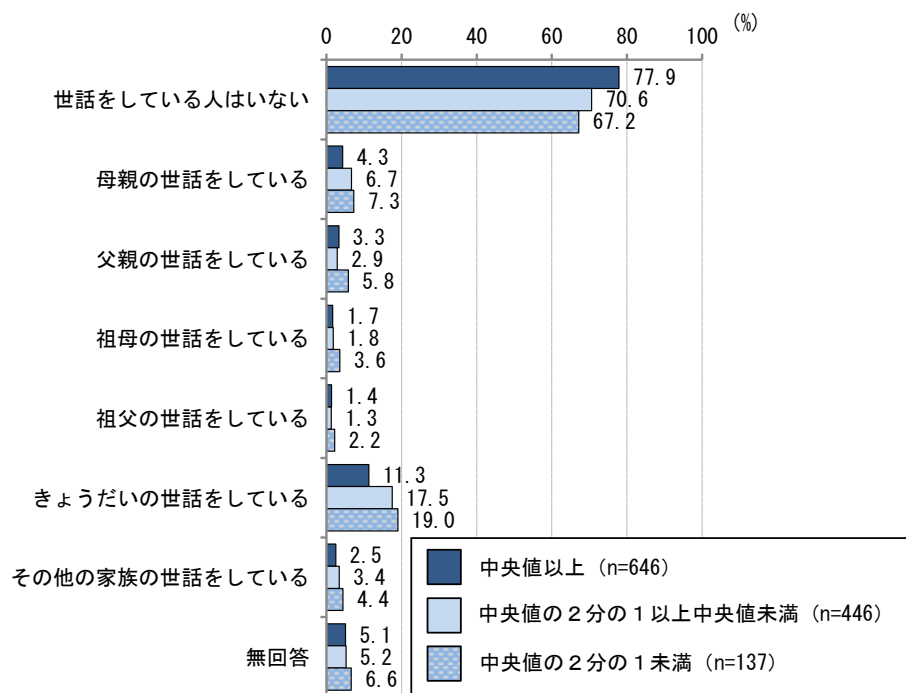
家族の世話について、小学5年生では、「世話をしている人はいない」が73.9%と最も高く、次いで「きょうだいの世話をしている」が14.7%、「母親の世話をしている」が5.4%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生】



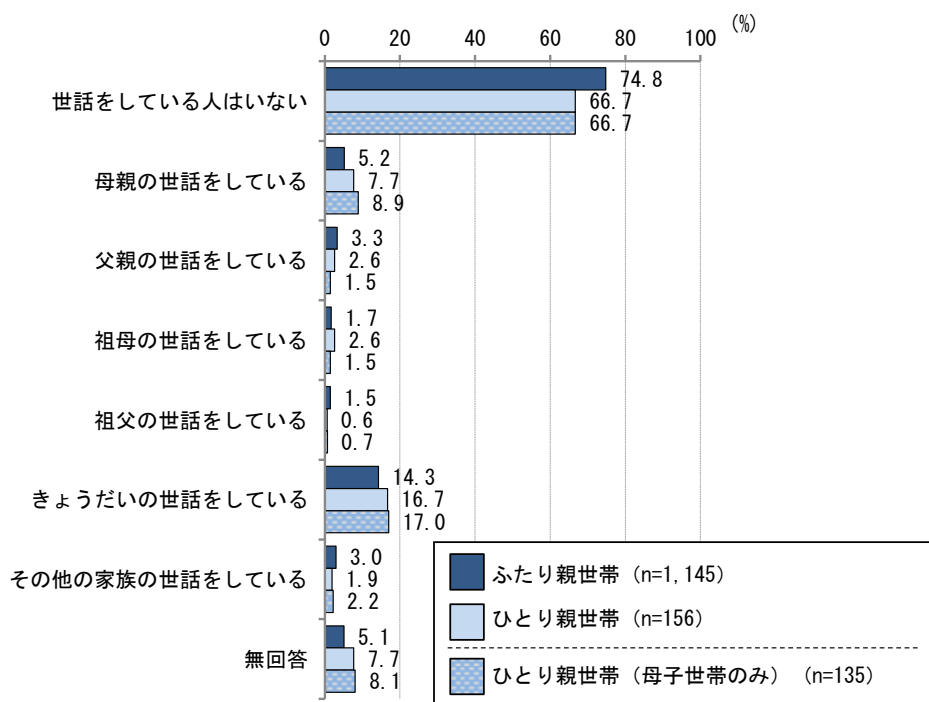
家族の世話について、中学2年生では、「世話をしている人はいない」が78.0%と最も高く、次いで「きょうだいの世話をしている」が11.7%、「母親の世話をしている」が2.5%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



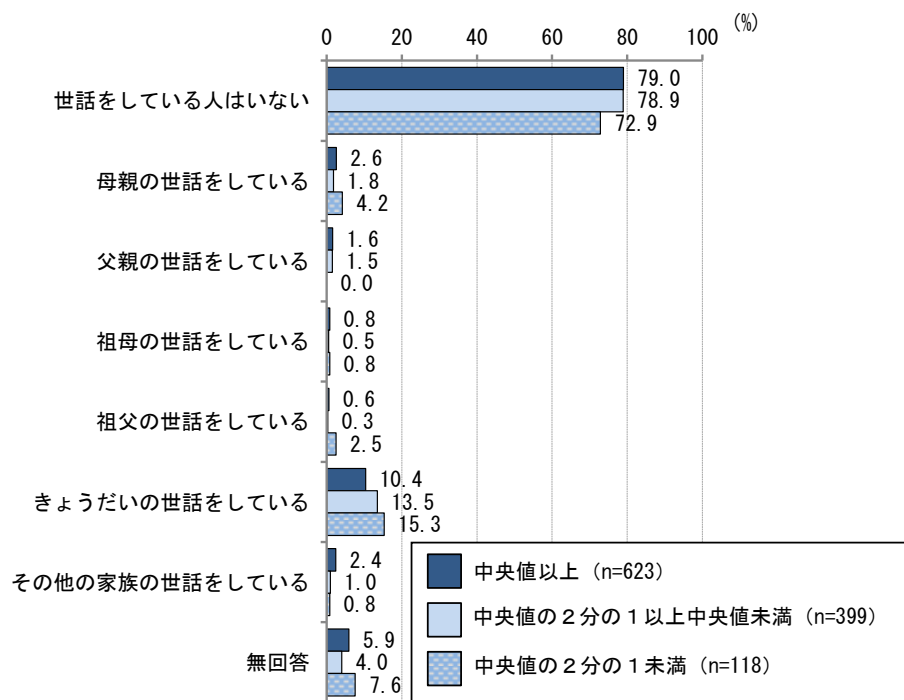
等価世帯収入の水準別にみると、「世話をしている人はいない」は、「中央値以上」では77.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では70.6%、「中央値の2分の1未満」では67.2%となっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



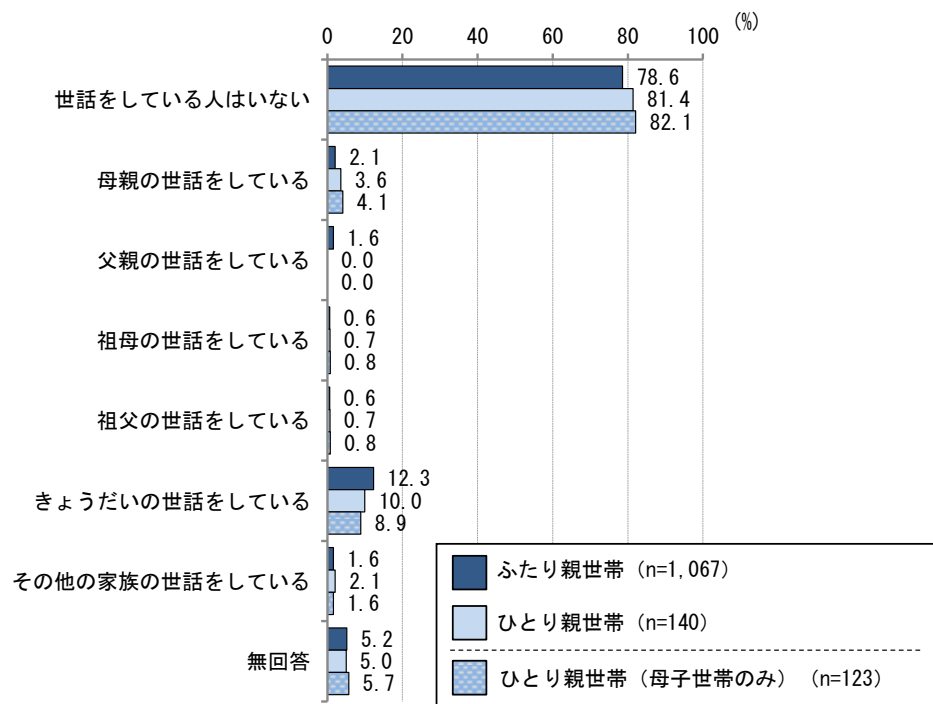
世帯の状況別にみると、「世話をしている人はいない」は、「ふたり親世帯」では74.8%、「ひとり親世帯全体」では66.7%、「母子世帯のみ」では66.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「世話をしている人はいない」は、「中央値以上」では79.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では78.9%、「中央値の2分の1未満」では72.9%となっている。

【世帯の状況別_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「世話をしている人はいない」は、「ふたり親世帯」では78.6%、「ひとり親世帯全体」では81.4%、「母子世帯のみ」では82.1%となっている。

3 新型コロナウイルス感染症の影響

(1) 保護者の状況

保護者票問 26. あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前（2019 年以前）と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）では、どのように変わりましたか。（SA）

保護者票問 27. あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）と現在を比べてどのように変わりましたか。（SA）

【小学 5 年生の保護者】

n=1,430

		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
a)世帯全体の収入の変化					
問26	増えた	4.1	0.2	1.2	0.0
	減った	2.7	14.3	6.6	0.2
	変わらない	2.3	1.6	64.1	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.3	2.2
b)生活に必要な支出の変化					
問26	増えた	43.0	0.7	7.1	0.2
	減った	2.1	1.1	1.5	0.0
	変わらない	4.5	0.3	37.3	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.0	2.0
c)お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと					
問26	増えた	8.7	0.4	2.2	0.0
	減った	0.0	0.7	0.6	0.0
	変わらない	0.9	0.4	83.1	0.3
	無回答	0.1	0.0	0.1	2.5
d)お子さんと話をすること					
問26	増えた	11.0	0.9	7.2	0.0
	減った	0.1	1.9	0.6	0.0
	変わらない	2.0	0.5	73.2	0.5
	無回答	0.0	0.0	0.1	1.9

n=1,430

e)家庭内で、もめごとが起こること		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
問26	増えた	8.6	1.9	3.8	0.1
	減った	0.2	1.7	0.6	0.0
	変わらない	0.6	0.8	79.1	0.4
	無回答	0.0	0.0	0.1	2.2
f)自身がイライラを感じたり、 気分が沈むこと		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
問26	増えた	20.8	4.5	8.0	0.1
	減った	0.1	0.7	0.6	0.1
	変わらない	1.4	0.6	60.7	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.2	1.9

新型コロナウイルス感染症による変化について、小学5年生の保護者では、「生活に必要な支出の変化」で「増えた」が最も高くなっている。それ以外の項目では「変わらない」が最も高くなっている。

【中学2年生の保護者】

		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
a)世帯全体の収入の変化					
問26	増えた	3.5	0.1	1.0	0.0
	減った	2.6	14.1	5.2	0.1
	変わらない	1.5	1.9	64.4	0.0
	無回答	0.0	0.0	0.1	5.4
b)生活に必要な支出の変化					
問26	増えた	40.3	0.8	8.0	0.1
	減った	1.8	1.8	1.2	0.0
	変わらない	4.9	0.1	34.9	0.0
	無回答	0.2	0.0	0.1	5.5
c)お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと					
問26	増えた	8.3	0.6	1.8	0.1
	減った	0.0	1.0	1.0	0.1
	変わらない	0.9	0.9	79.3	0.2
	無回答	0.0	0.0	0.1	5.6
d)お子さんと話をする事					
問26	増えた	11.2	0.5	5.3	0.0
	減った	0.6	2.4	0.7	0.1
	変わらない	1.1	0.4	71.9	0.1
	無回答	0.1	0.0	0.1	5.5

n=1,355

		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
e)家庭内で、もめごとが起こること					
問26	増えた	7.9	1.7	3.2	0.1
	減った	0.1	2.6	0.8	0.0
	変わらない	0.8	0.6	76.4	0.1
	無回答	0.0	0.0	0.1	5.7
		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
f)自身がイライラを感じたり、 気分が沈むこと					
問26	増えた	19.0	3.6	6.9	0.1
	減った	0.1	1.3	0.6	0.0
	変わらない	1.3	0.4	61.0	0.0
	無回答	0.0	0.0	0.1	5.6

中学2年生の保護者では、「生活に必要な支出の変化」で「増えた」が最も高くなっている。それ以外の項目では「変わらない」が最も高くなっている。

(2) 子供の状況

子供票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。(SA)

子供票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。(SA)

【小学5年生】

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
a) 学校の授業以外で勉強する時間					
問16	増えた	15.3	2.4	5.8	0.0
	減った	3.5	3.3	2.9	0.1
	変わらない	7.7	2.8	53.7	0.6
	無回答	0.0	0.0	0.1	1.8
b) 学校の授業がわからないと感じること					
問16	増えた	12.2	3.6	3.8	0.5
	減った	1.2	13.0	4.7	0.0
	変わらない	3.1	5.6	49.6	0.2
	無回答	0.1	0.3	0.2	1.8
c) 地域のクラブ活動や学校の部(クラブ)活動で活動する回数					
問16	増えた	14.1	1.5	4.0	0.1
	減った	15.5	7.5	5.6	0.0
	変わらない	5.6	2.2	40.8	0.8
	無回答	0.1	0.0	0.3	1.8
d) 食事を抜く回数					
問16	増えた	2.0	0.8	0.9	0.0
	減った	0.5	5.3	3.1	0.1
	変わらない	1.2	3.1	80.1	0.5
	無回答	0.2	0.0	0.3	2.0

n=1,435

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
e) 夜遅くまで起きている回数					
問16	増えた	18.4	2.7	5.6	0.2
	減った	1.3	8.0	3.3	0.1
	変わらない	3.5	2.1	51.7	0.6
	無回答	0.2	0.1	0.4	1.9
f) 親以外の大人や友達と話をすること					
問16	増えた	24.5	2.1	5.9	0.3
	減った	11.7	5.0	3.0	0.3
	変わらない	8.4	2.0	33.7	0.2
	無回答	0.2	0.1	0.5	2.0
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること					
問16	増えた	16.4	2.2	2.7	0.3
	減った	24.8	10.5	5.9	0.3
	変わらない	4.5	2.2	27.6	0.1
	無回答	0.1	0.1	0.5	1.8
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと					
問16	増えた	14.5	5.7	5.4	0.0
	減った	1.3	12.8	3.6	0.1
	変わらない	1.7	4.2	47.7	0.4
	無回答	0.2	0.1	0.4	1.8
i) 家族で外食する回数					
問16	増えた	10.0	1.7	2.3	0.1
	減った	23.6	16.1	11.3	0.3
	変わらない	4.3	3.5	24.5	0.3
	無回答	0.1	0.1	0.1	1.9

n=1,435

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
j) 家族で旅行する回数					
問16	増えた	5.1	1.0	0.9	0.1
	減った	14.6	19.7	15.1	0.3
	変わらない	2.9	3.1	34.4	0.5
	無回答	0.1	0.2	0.1	1.9
k) 野外レジャーに行く回数					
問16	増えた	7.7	1.1	1.8	0.1
	減った	11.8	16.4	12.5	0.5
	変わらない	3.3	3.5	38.8	0.3
	無回答	0.1	0.1	0.1	2.0
l) 屋内施設に行く回数					
問16	増えた	10.2	1.6	1.9	0.2
	減った	15.6	15.6	9.8	0.2
	変わらない	4.1	3.3	34.8	0.2
	無回答	0.1	0.1	0.1	2.0
m) 家族で家で過ごす時間					
問16	増えた	27.9	12.9	15.7	0.0
	減った	1.4	4.1	0.8	0.0
	変わらない	4.0	1.1	29.5	0.3
	無回答	0.1	0.1	0.1	1.9

新型コロナウイルス感染症による変化について、小学5年生では、「家族で外食する回数」や「家族で旅行する回数」で「減った」が高くなっている。一方で、「親以外の大人や友達と話をすること」や「家族で家で過ごす時間」は「増えた」が高くなっている。

【中学2年生】

n=1,355

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
a) 学校の授業以外で勉強する時間					
問16	増えた	16.8	2.1	5.8	0.0
	減った	2.2	5.2	3.3	0.1
	変わらない	9.1	3.1	48.9	0.2
	無回答	0.0	0.0	0.0	3.1
b) 学校の授業がわからないと感じること					
問16	増えた	21.4	2.7	5.0	0.1
	減った	1.2	4.3	1.8	0.0
	変わらない	4.1	2.9	52.8	0.4
	無回答	0.1	0.0	0.0	3.2
c) 地域のクラブ活動や学校の部(クラブ)活動で活動する回数					
問16	増えた	17.0	0.7	2.8	0.3
	減った	14.8	8.9	6.6	0.2
	変わらない	6.1	0.9	37.9	0.3
	無回答	0.1	0.1	0.1	3.2
d) 食事を抜く回数					
問16	増えた	4.1	1.2	1.7	0.0
	減った	0.5	3.0	1.3	0.1
	変わらない	1.2	2.1	81.2	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.1	3.2

n=1,355

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
e) 夜遅くまで起きている回数					
問16	増えた	26.0	2.9	9.4	0.1
	減った	0.5	2.0	1.2	0.0
	変わらない	3.8	1.5	48.9	0.4
	無回答	0.1	0.0	0.1	3.2
f) 親以外の大人や友達と話をすること					
問16	増えた	19.0	1.0	5.8	0.2
	減った	8.5	4.8	4.1	0.1
	変わらない	6.2	1.8	44.6	0.4
	無回答	0.1	0.0	0.1	3.2
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること					
問16	増えた	10.5	0.4	1.9	0.1
	減った	21.8	16.5	9.7	0.2
	変わらない	3.1	1.6	30.8	0.1
	無回答	0.0	0.1	0.1	3.2
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと					
問16	増えた	16.8	4.1	7.5	0.0
	減った	1.2	4.7	2.7	0.1
	変わらない	1.4	2.1	55.9	0.4
	無回答	0.0	0.1	0.0	3.2
i) 家族で外食する回数					
問16	増えた	5.9	0.5	1.3	0.1
	減った	18.2	17.0	13.5	0.2
	変わらない	4.6	2.4	33.1	0.0
	無回答	0.0	0.0	0.1	3.2

n=1,355

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
j) 家族で旅行する回数					
問16	増えた	3.3	0.5	0.7	0.0
	減った	11.3	20.3	19.5	0.3
	変わらない	1.5	2.0	37.3	0.1
	無回答	0.0	0.0	0.0	3.2
k) 野外レジャーに行く回数					
問16	増えた	4.2	0.5	1.5	0.0
	減った	7.8	19.6	19.0	0.2
	変わらない	2.1	1.4	40.4	0.1
	無回答	0.0	0.0	0.1	3.2
l) 屋内施設に行く回数					
問16	増えた	7.7	0.5	2.4	0.1
	減った	12.6	16.7	12.0	0.1
	変わらない	4.0	1.6	39.0	0.1
	無回答	0.0	0.0	0.1	3.2
m) 家族で家で過ごす時間					
問16	増えた	25.2	9.5	16.7	0.2
	減った	1.0	4.6	1.2	0.1
	変わらない	2.2	1.5	34.4	0.1
	無回答	0.0	0.0	0.1	3.2

新型コロナウイルス感染症による変化について、中学2年生では、「親以外の大人や友達の素顔を見ること」、「家族で外食する回数」、「家族で旅行する回数」で「減った」が高くなっている。一方で、「家族で家で過ごす時間」は「増えた」が高くなっている。

新型コロナウイルス感染症の影響に関して、下記の定義でア～エに分類し、該当者と非該当者の生活満足度を比較した。

ア：問 16 の (i) ～ (l) で「減った」かつ問 17 の (i) ～ (l) で「減った」又は「変わらない」と回答した者

イ：問 16 の (i) ～ (l) で「変わらない」かつ問 17 の (i) ～ (l) で「減った」と回答した者

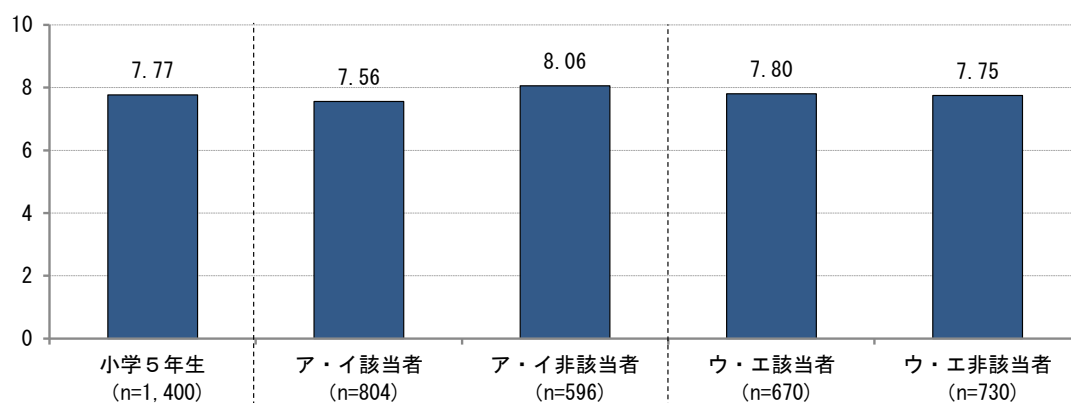
- i. 家族で外食する回数
- j. 家族で旅行する回数
- k. 野外レジャーに行く回数（キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など）
- l. 屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など）

ウ：問 16 の (m) で「増えた」かつ問 17 の (m) で「増えた」又は「変わらない」と回答した者

エ：問 16 の (m) で「変わらない」かつ問 17 の (m) で「増えた」と回答した者

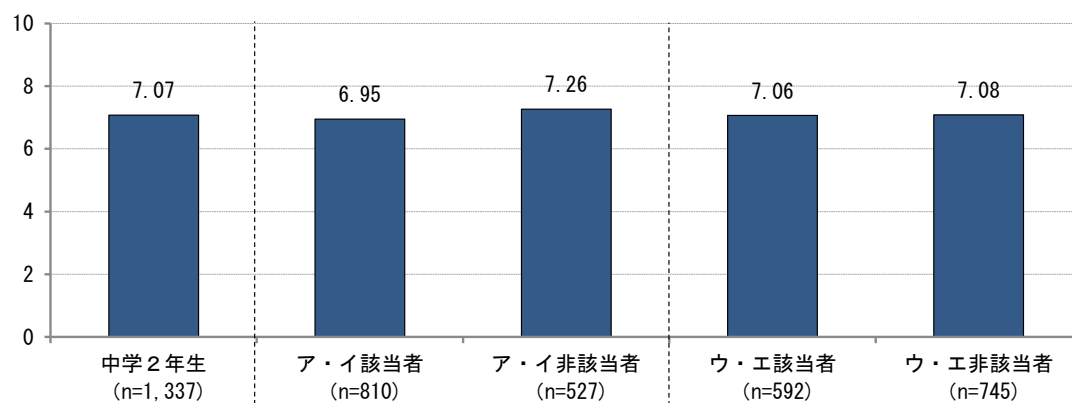
- m. 家族で家で過ごす時間

【新型コロナウイルス感染症の影響×生活満足度_小学5年生】



学校の授業がわからないと感じることの状況別にみると、生活満足度の平均値は、「ア・イ該当者」(7.56)、「ウ・エ該当者」(7.80)となっている。

【新型コロナウイルス感染症の影響×生活満足度_中学2年生】



学校の授業がわからないと感じることの状況別にみると、生活満足度の平均値は、「ア・イ該当者」(6.95)、「ウ・エ該当者」(7.06)となっている。

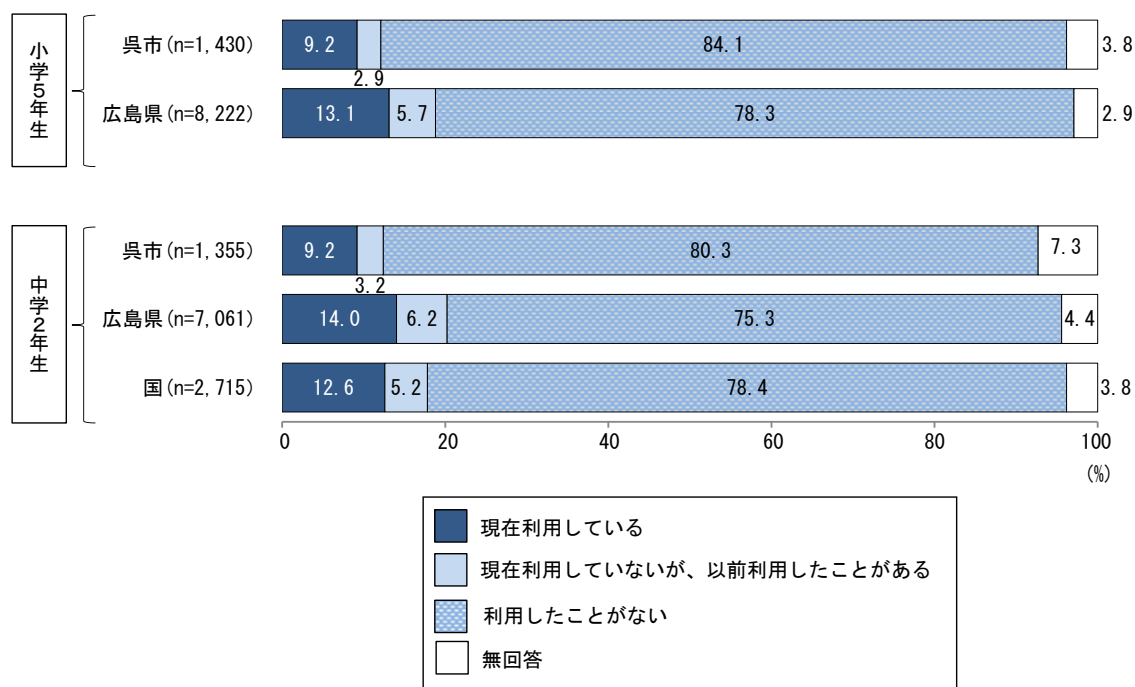
4 支援の利用状況や効果等

(1) 保護者の状況

保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(SA)
また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(SA)

= 就学援助の利用状況 =

【全体】

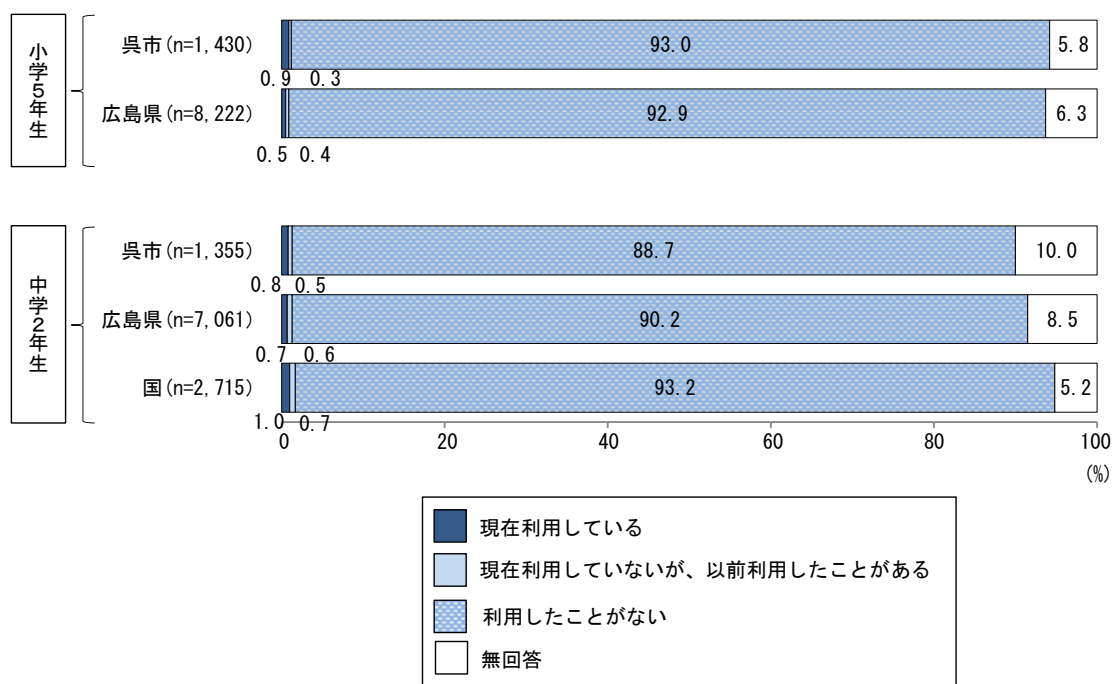


就学援助の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が9.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.9%、「利用したことがない」が84.1%となっている。広島県と比較すると、「利用したことがない」は、呉市(84.1%)が広島県(78.3%)を5.8ポイント上回っている。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が9.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.2%、「利用したことがない」が80.3%となっている。広島県と比較すると、「利用したことがない」は、呉市(80.3%)が広島県(75.3%)を5.0ポイント上回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

＝ 生活保護の利用状況 ＝

【全体】

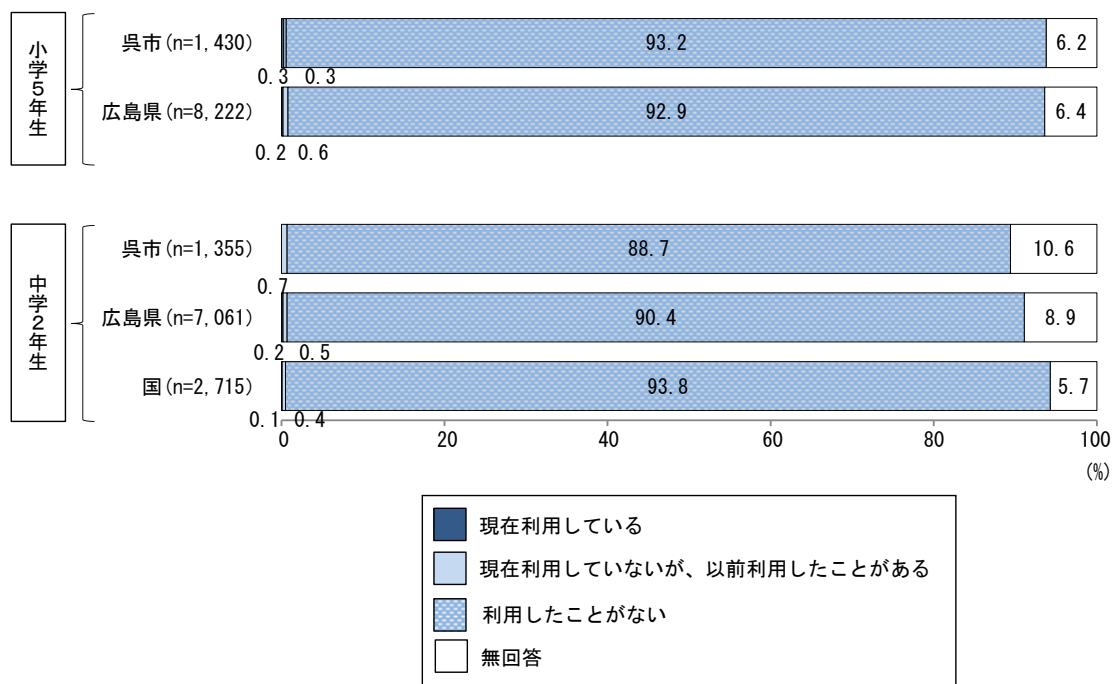


生活保護の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が0.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.3%、「利用したことがない」が93.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が0.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%、「利用したことがない」が88.7%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

= 生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況 =

【全体】

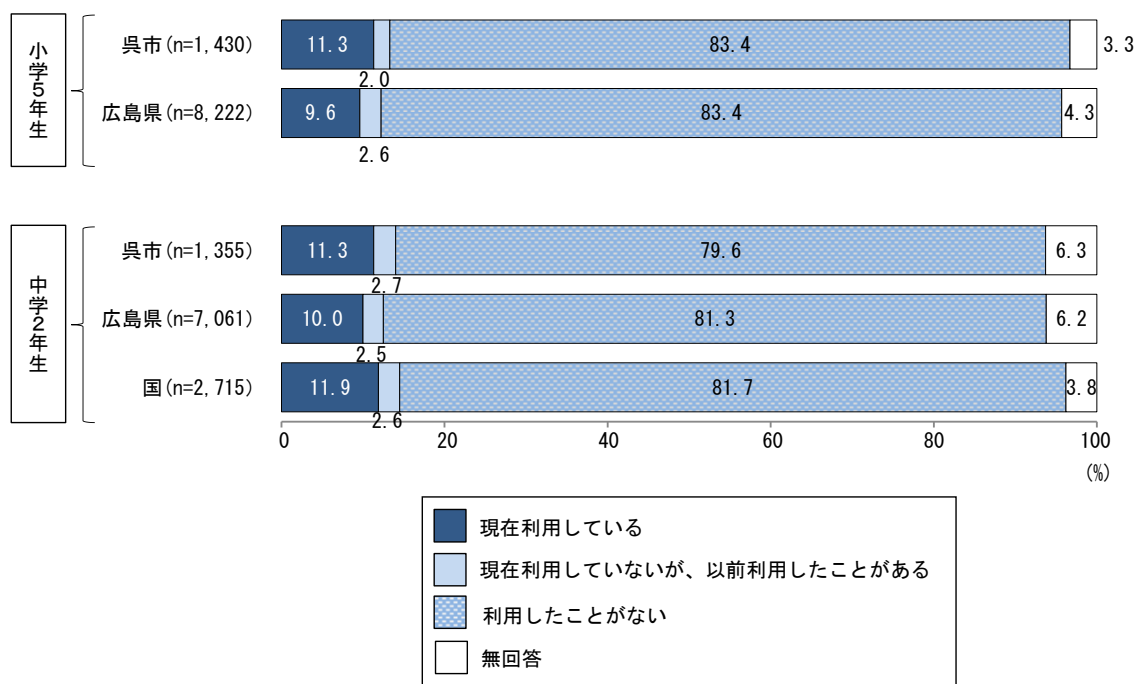


生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が0.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.3%、「利用したことがない」が93.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%、「利用したことがない」が88.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「利用したことがない」は、呉市（88.7%）が国（93.8%）を5.1ポイント下回っている。

= 児童扶養手当の利用状況 =

【全体】

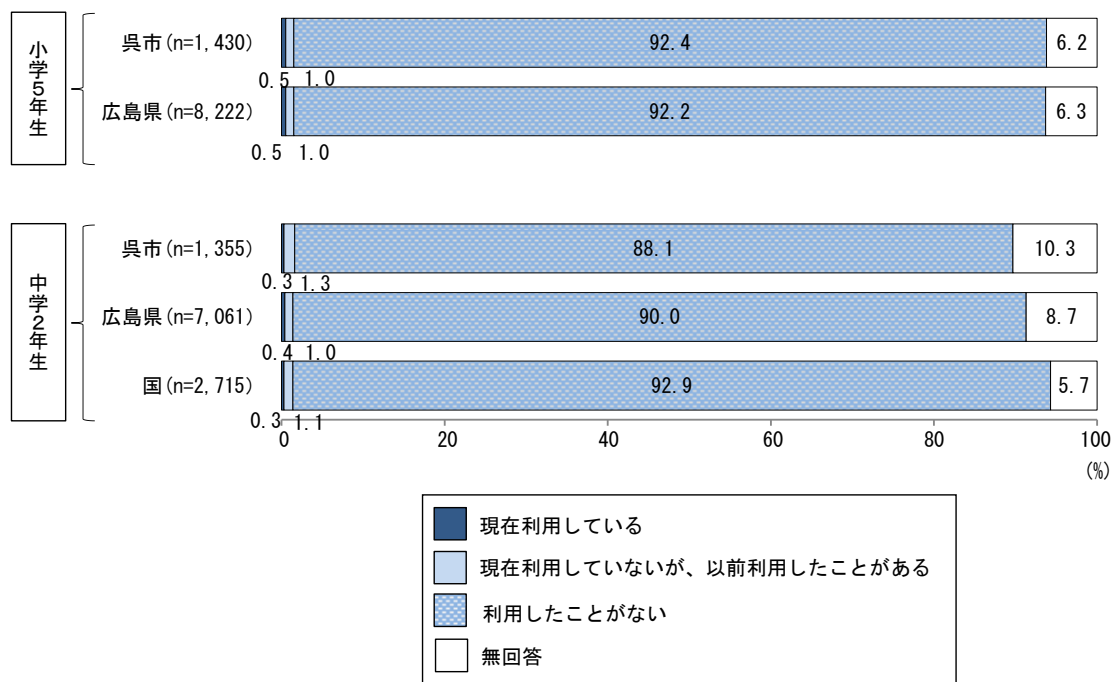


児童扶養手当の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が11.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.0%、「利用したことがない」が83.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が11.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.7%、「利用したことがない」が79.6%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

＝ 母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況 ＝

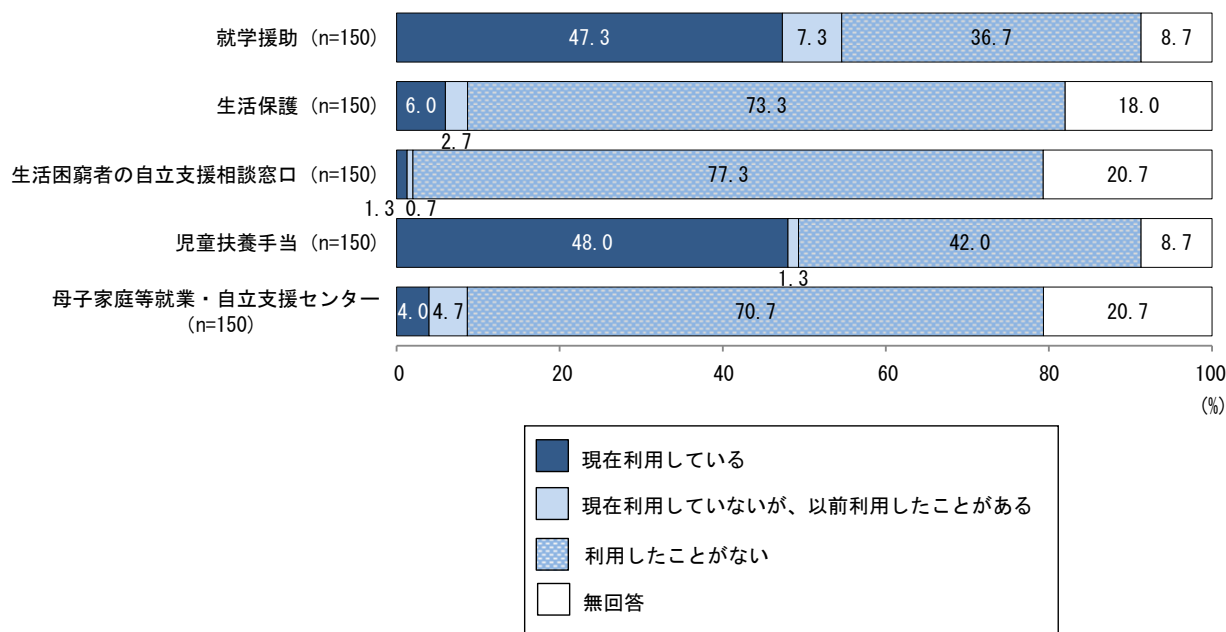
【全体】



母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が0.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%、「利用したことがない」が92.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

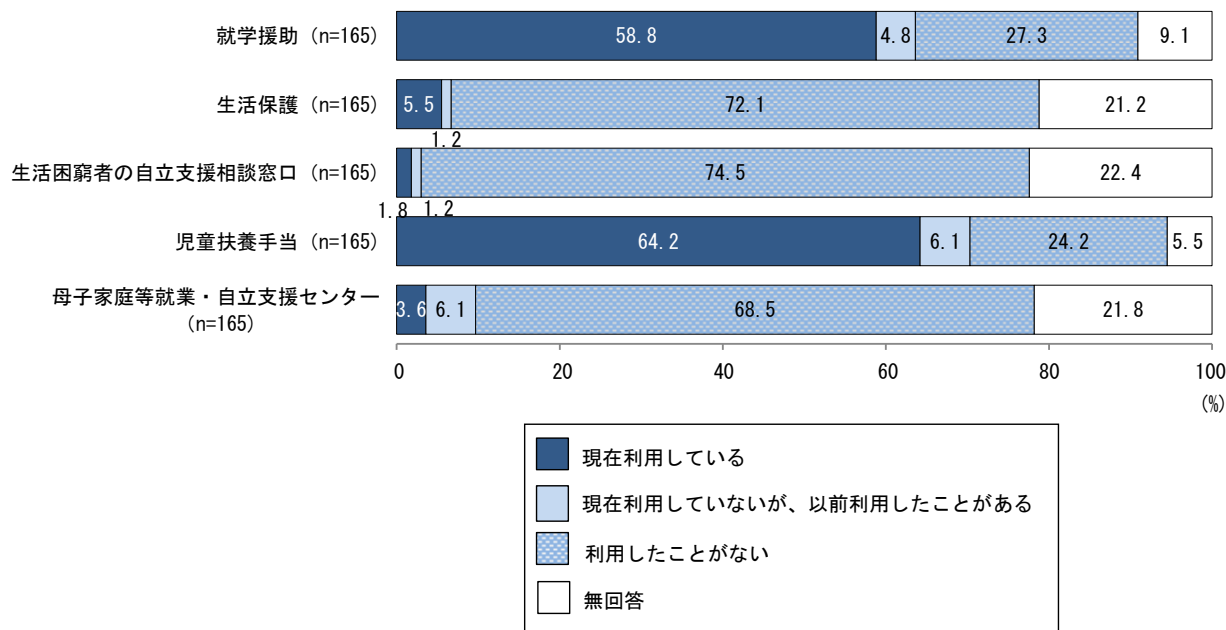
中学2年生の保護者では、「現在利用している」が0.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.3%、「利用したことがない」が88.1%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_小学5年生の保護者】



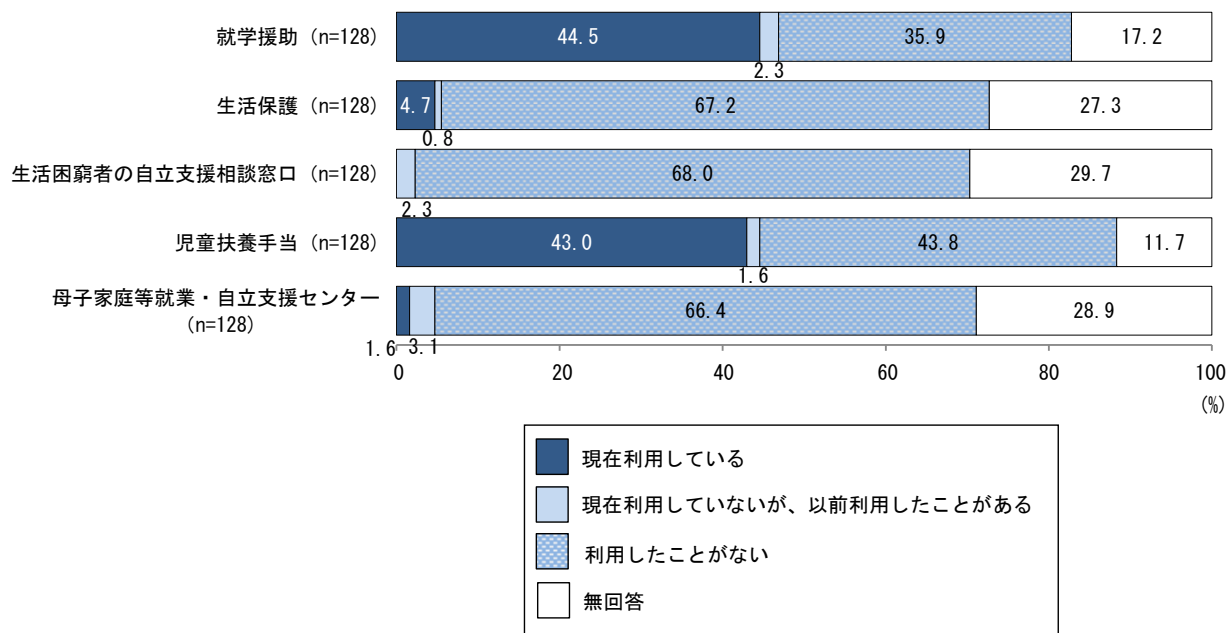
等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で47.3%、「児童扶養手当」で48.0%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_小学5年生の保護者】



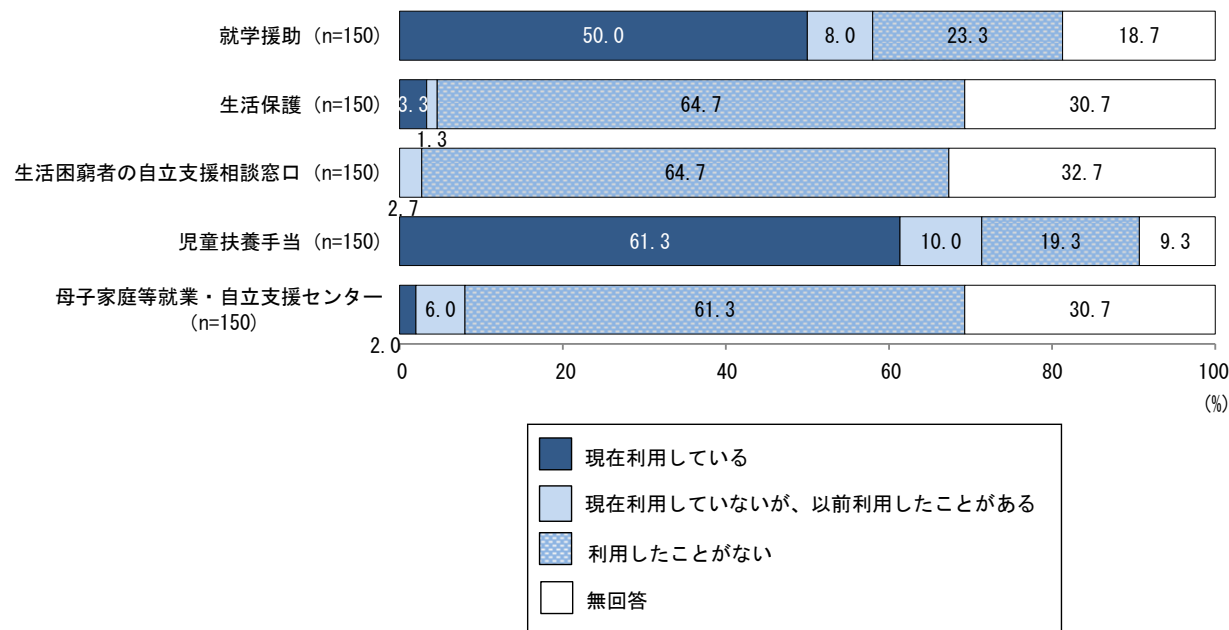
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で58.8%、「児童扶養手当」で64.2%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_中学2年生の保護者】



等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で44.5%、「児童扶養手当」で43.0%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

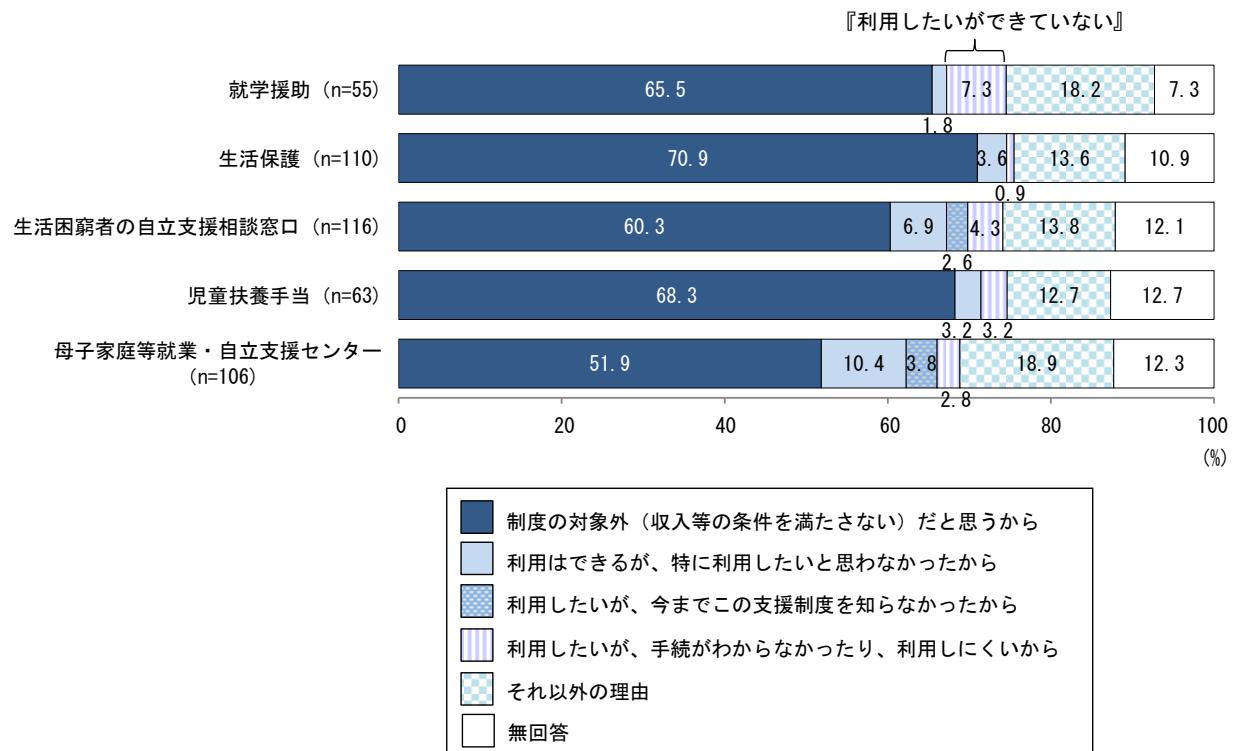
【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_中学2年生の保護者】



「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で50.0%、「児童扶養手当」で61.3%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

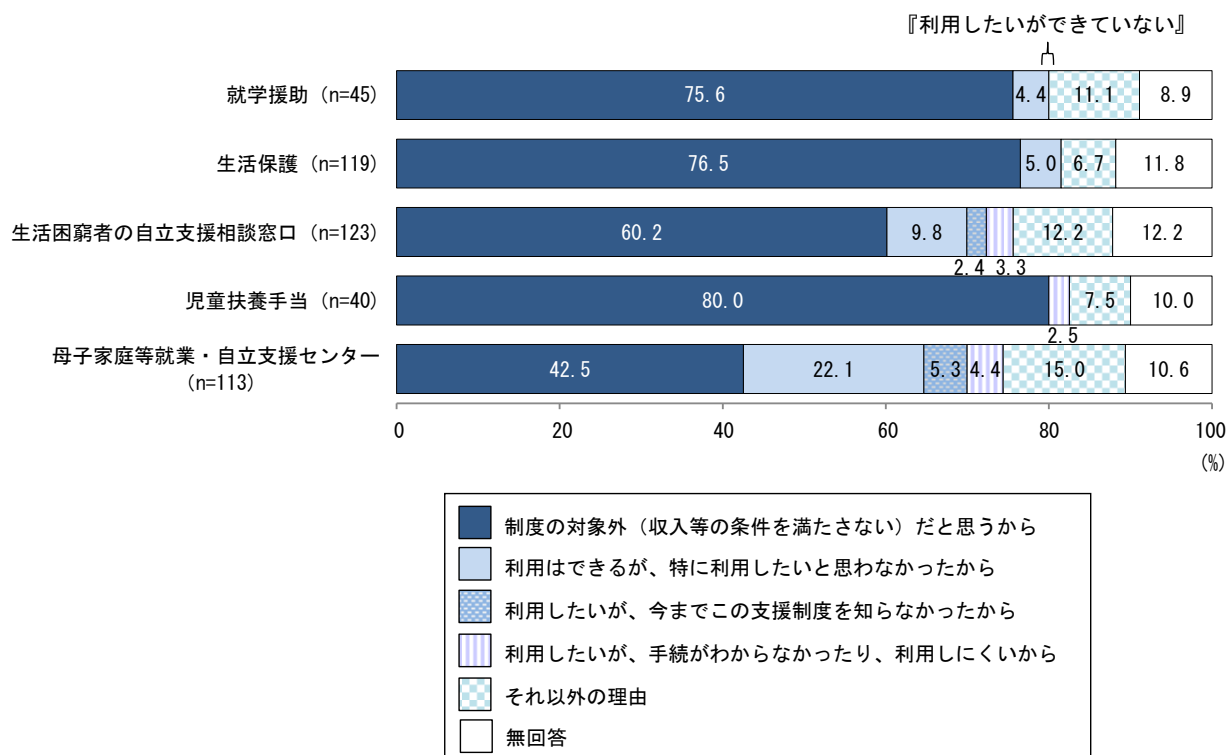
= 支援制度を利用していない理由 =

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_小学5年生の保護者】



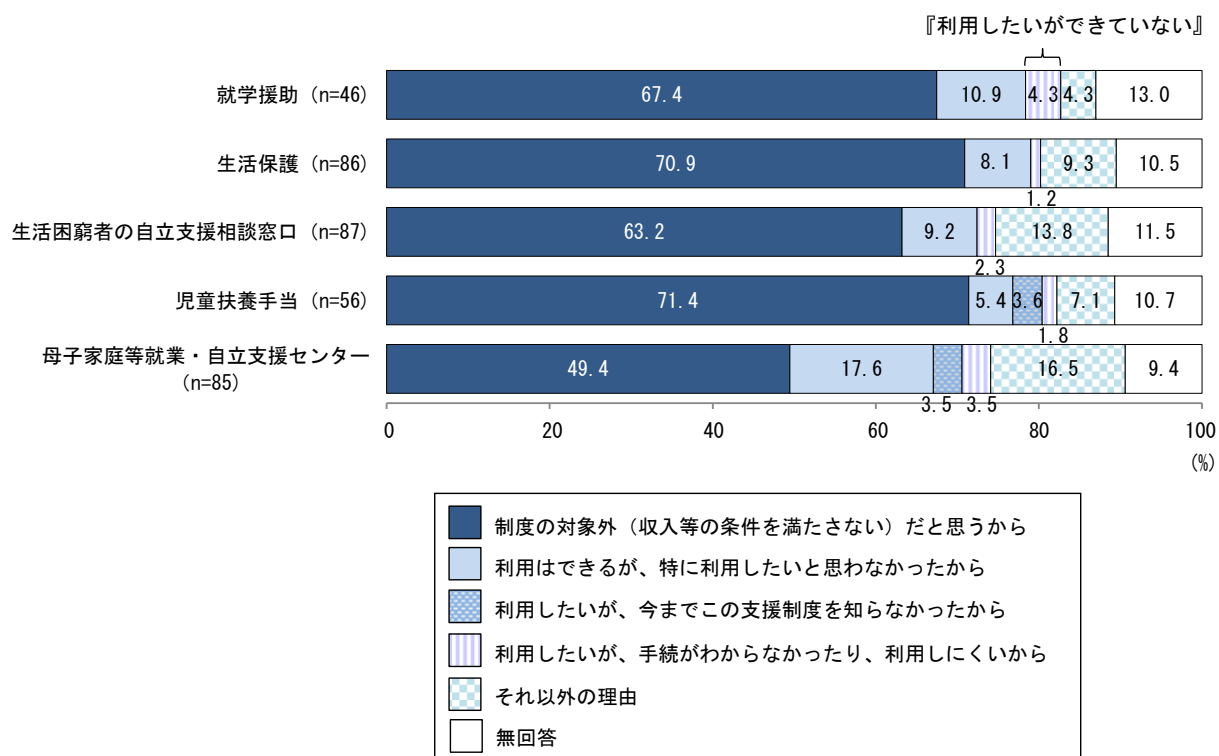
各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_小学5年生の保護者】



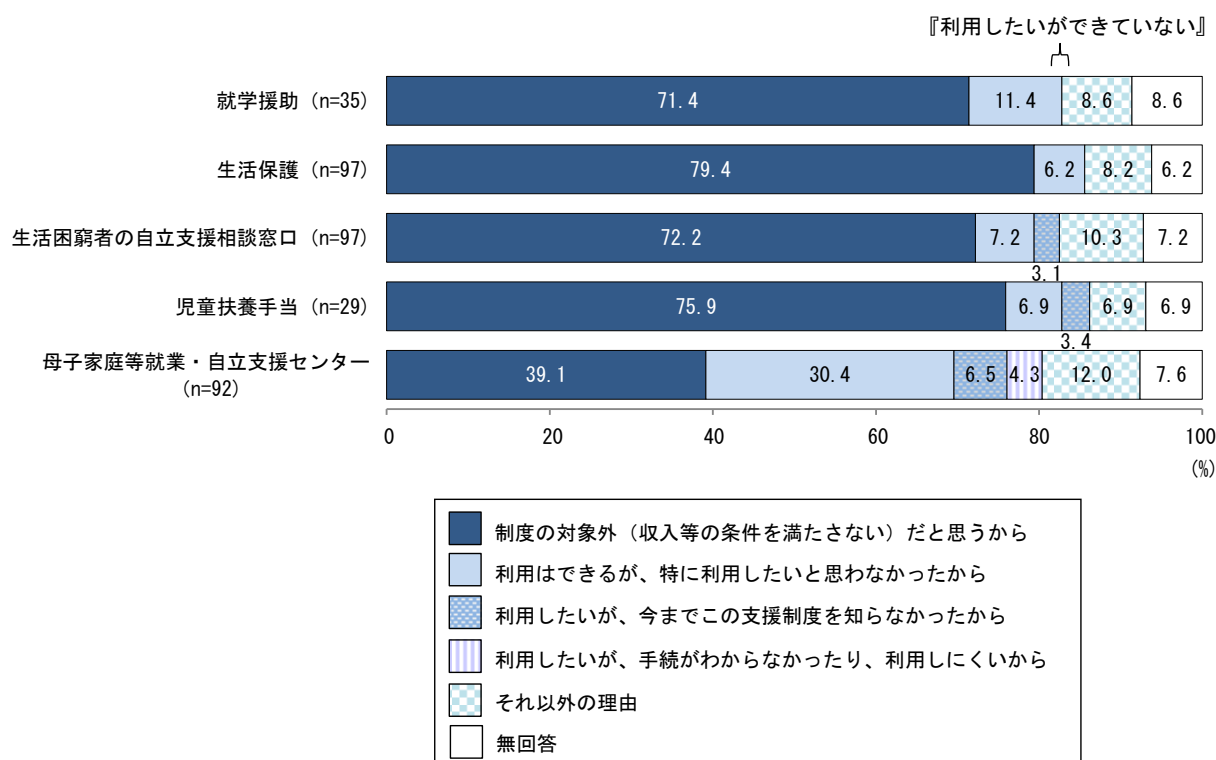
各支援制度を利用していない理由について、「ひとり親世帯」に限って集計すると、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない（「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合）』は、「母子家庭等就業・自立支援センター」で約1割となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_中学2年生の保護者】



各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_中学2年生の保護者】



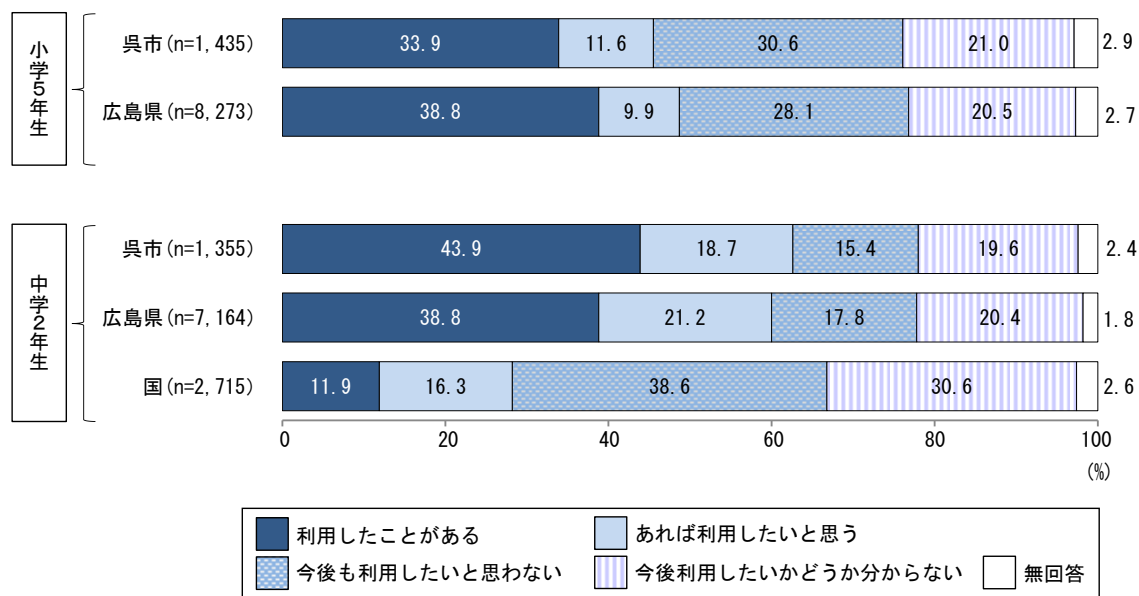
各支援制度を利用していない理由について、「ひとり親世帯」に限って集計すると、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない（「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合）』は、「母子家庭等就業・自立支援センター」で約1割となっている。

(2) 子供の状況

子供票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

＝（自分や友人の家以外で）平日の夜や休日を過ごすことができる場所＝

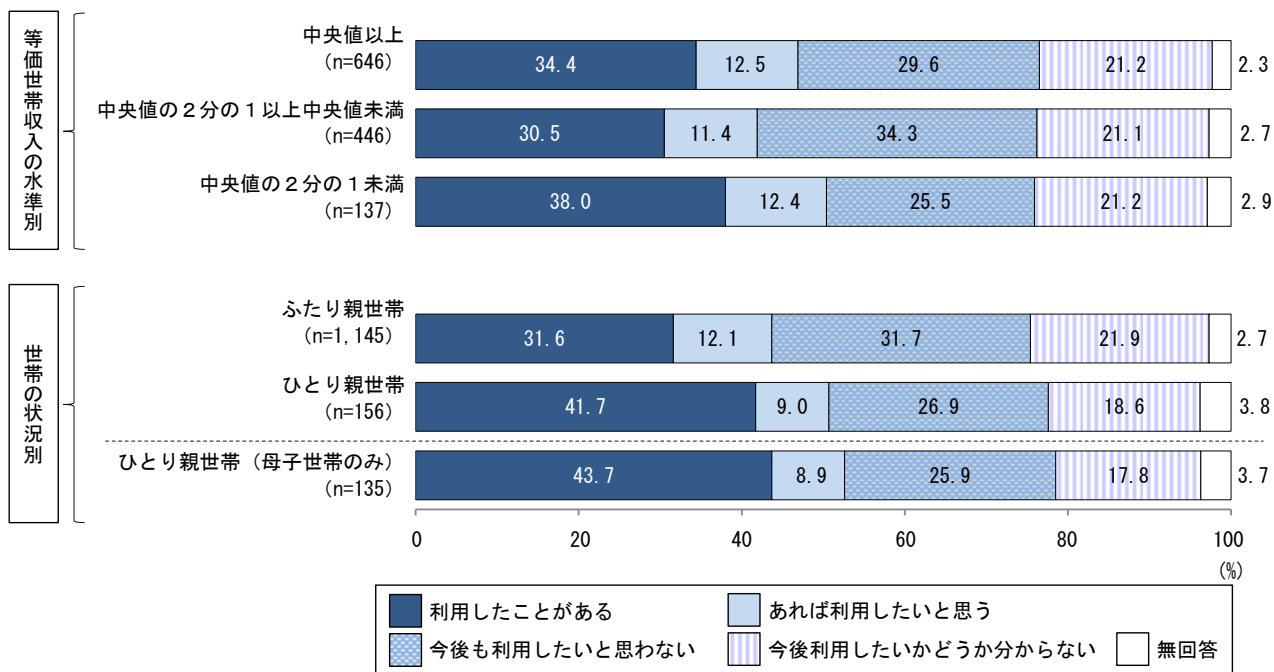
【全体】



平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用状況について、小学5年生では、「利用したことがある」が33.9%、「あれば利用したいと思う」が11.6%、「今後も利用したいと思わない」が30.6%、「今後利用したいかどうか分からない」が21.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「利用したことがある」が43.9%、「あれば利用したいと思う」が18.7%、「今後も利用したいと思わない」が15.4%、「今後利用したいかどうか分からない」が19.6%となっている。広島県と比較すると、「利用したことがある」は、呉市（43.9%）が広島県（38.8%）を5.1ポイント上回っている。国と比較すると、「利用したことがある」は、呉市（43.9%）が国（11.9%）を32.0ポイント上回っている。

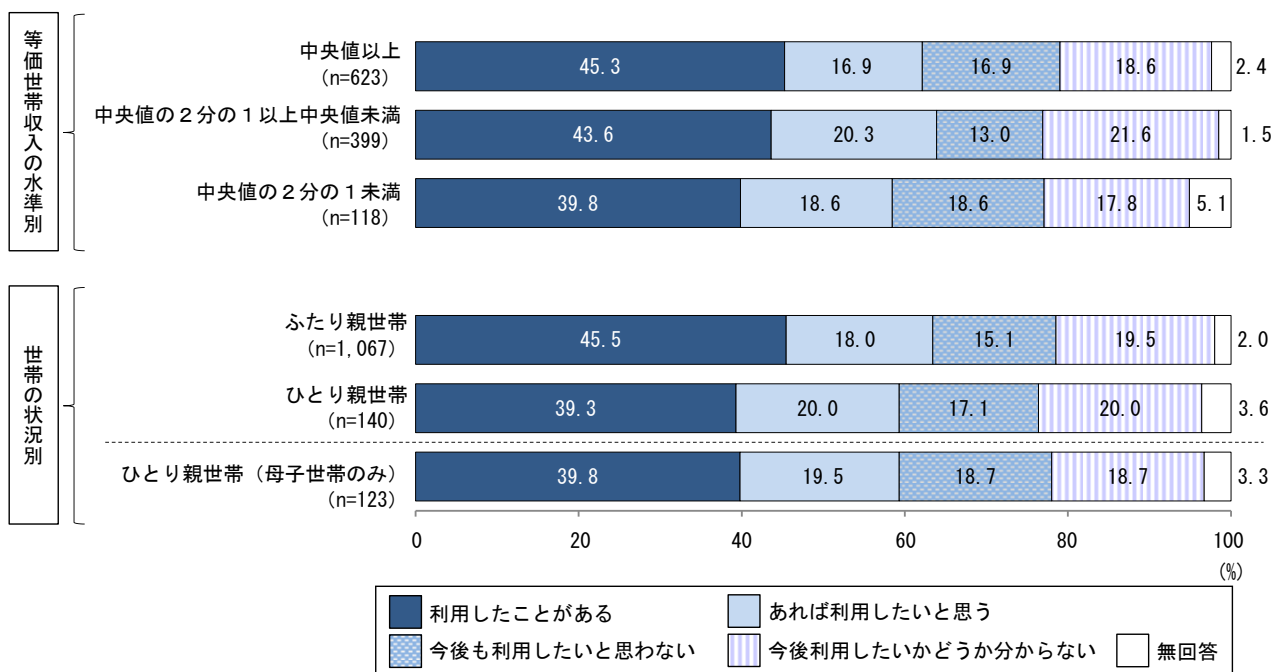
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では12.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では11.4%、「中央値の2分の1未満」では12.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では12.1%、「ひとり親世帯全体」では9.0%、「母子世帯のみ」では8.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

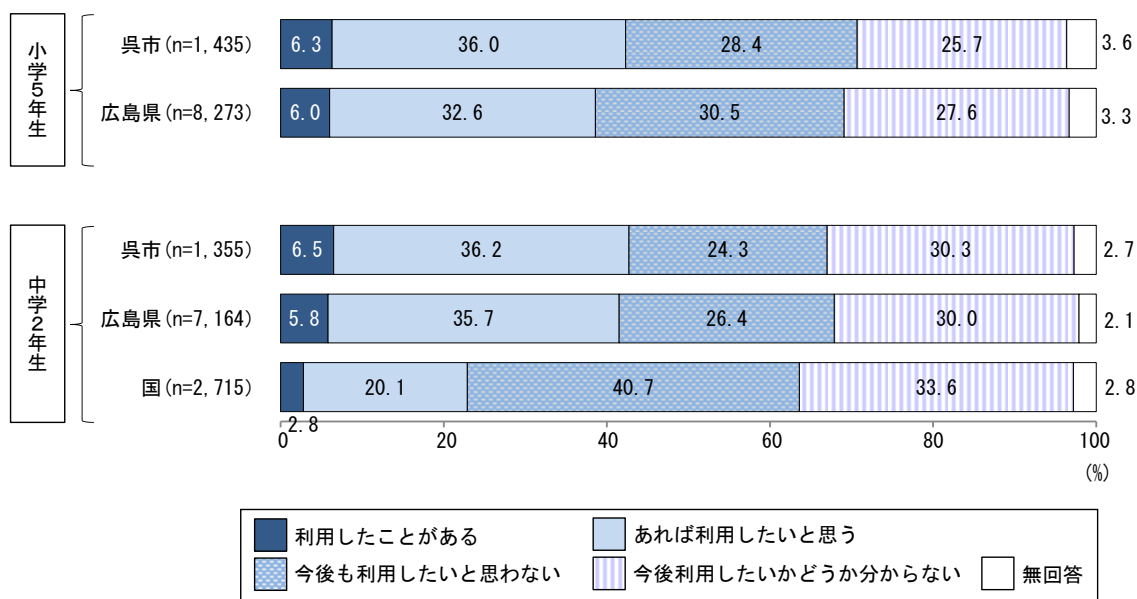


等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では16.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では20.3%、「中央値の2分の1未満」では18.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では18.0%、「ひとり親世帯全体」では20.0%、「母子世帯のみ」では19.5%となっている。

＝（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子供食堂など）＝

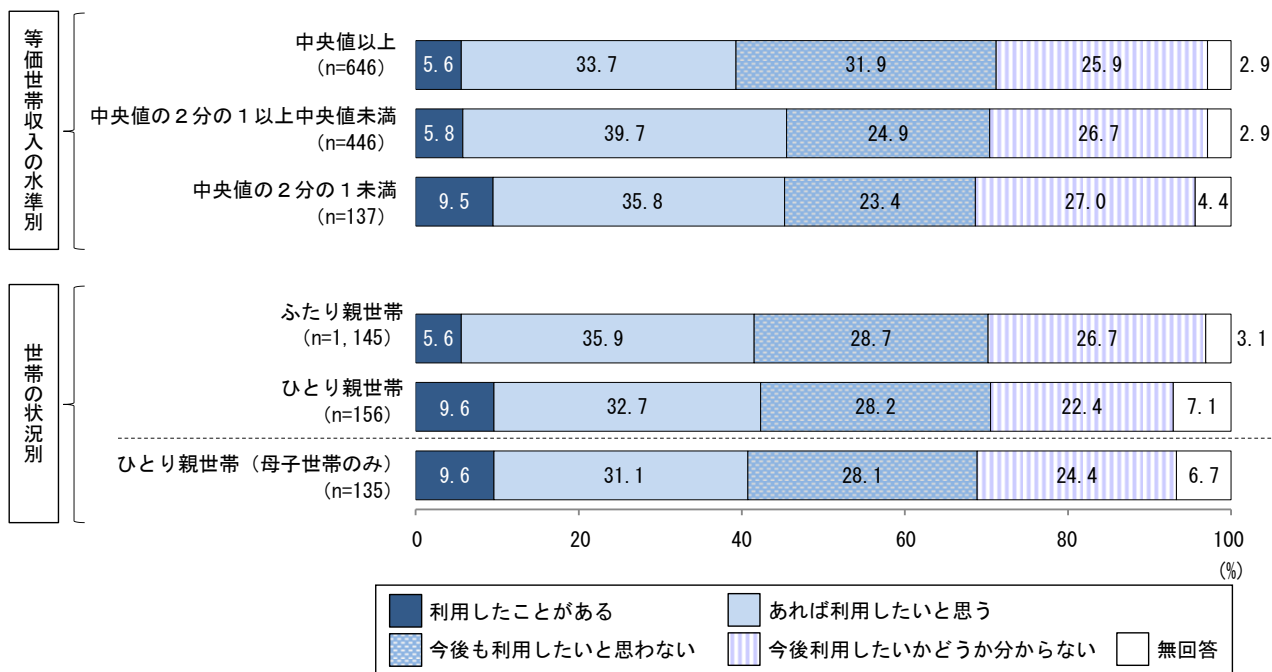
【全体】



夕ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況について、小学5年生では、「利用したことがある」が6.3%、「あれば利用したいと思う」が36.0%、「今後も利用したいと思わない」が28.4%、「今後も利用したいかどうか分からない」が25.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「利用したことがある」が6.5%、「あれば利用したいと思う」が36.2%、「今後も利用したいと思わない」が24.3%、「今後も利用したいかどうか分からない」が30.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「あれば利用したいと思う」は、呉市（36.2%）が国（20.1%）を16.1ポイント上回っており、「今後も利用したいと思わない」は、呉市（24.3%）が国（40.7%）を16.4ポイント下回っている。

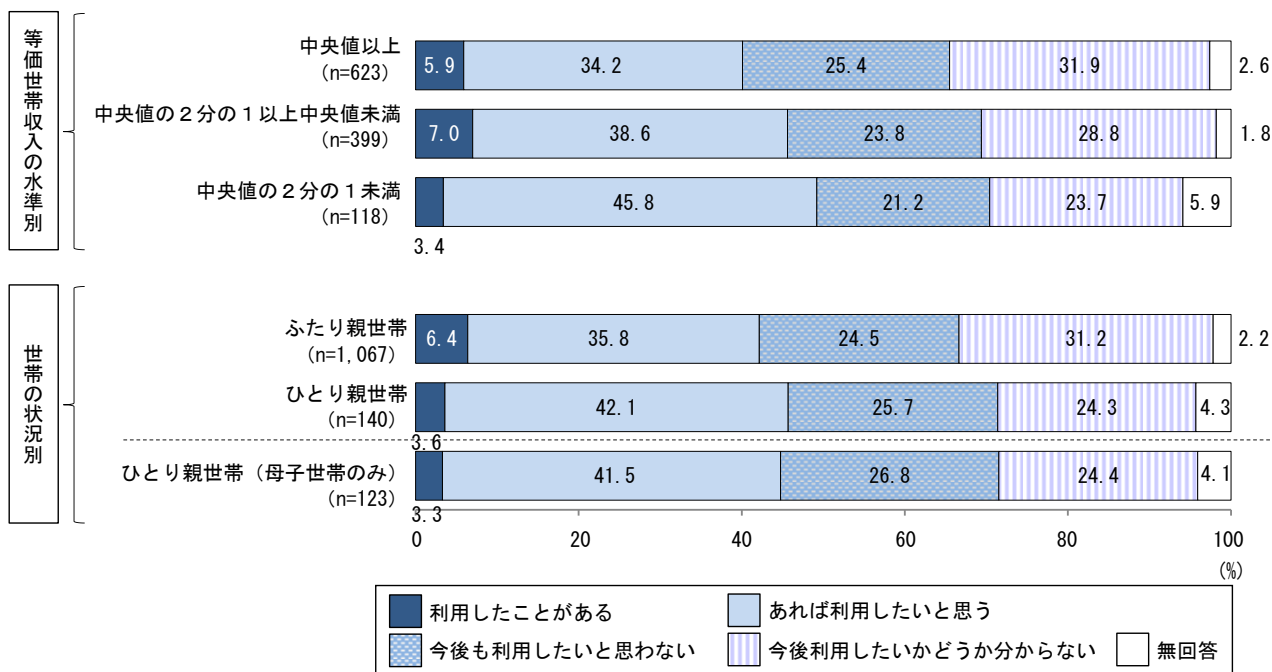
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では33.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では39.7%、「中央値の2分の1未満」では35.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では35.9%、「ひとり親世帯全体」では32.7%、「母子世帯のみ」では31.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

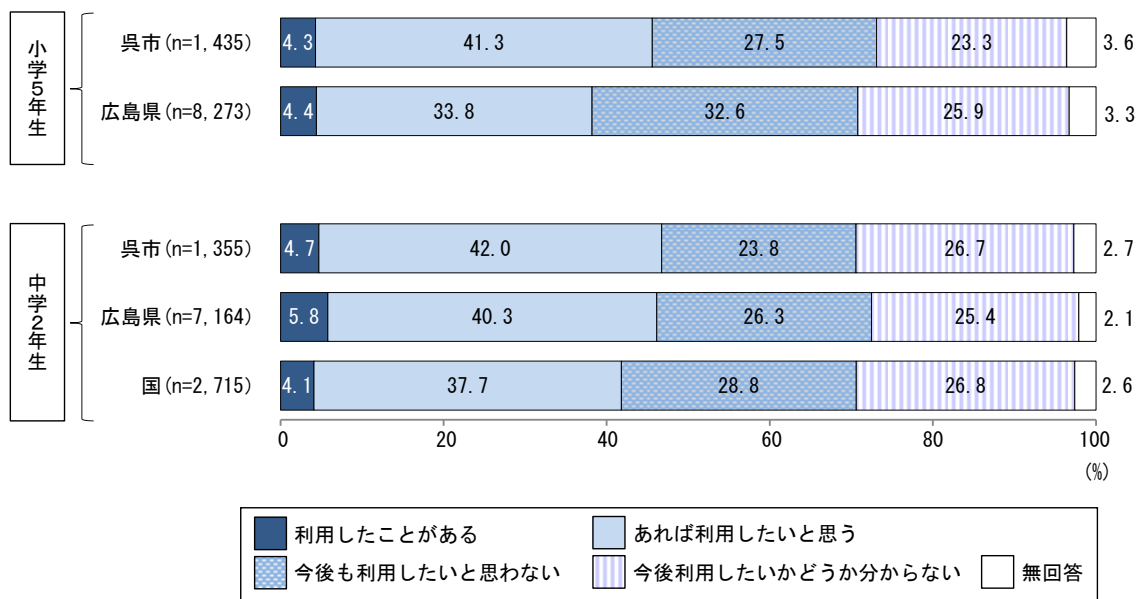


等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では34.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では38.6%、「中央値の2分の1未満」では45.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では35.8%、「ひとり親世帯全体」では42.1%、「母子世帯のみ」では41.5%となっている。

= 勉強を無料でみてくれる場所 =

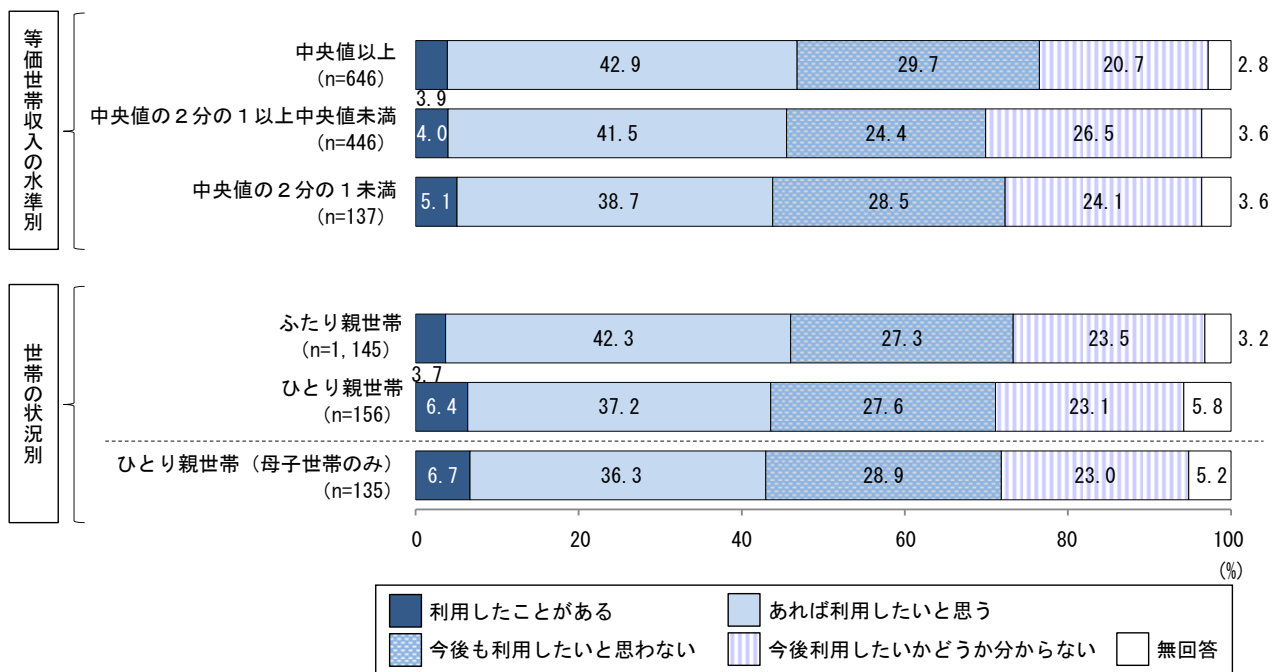
【全体】



勉強を無料でみてくれる場所について、小学5年生では、「利用したことがある」が4.3%、「あれば利用したいと思う」が41.3%、「今後も利用したいと思わない」が27.5%、「今後も利用したいかどうか分からない」が23.3%となっている。広島県と比較すると、「あれば利用したいと思う」は、呉市（41.3%）が広島県（33.8%）を7.5ポイント上回っており、「今後も利用したいと思わない」は、呉市（27.5%）が広島県（32.6%）を5.1ポイント下回っている。

中学2年生では、「利用したことがある」が4.7%、「あれば利用したいと思う」が42.0%、「今後も利用したいと思わない」が23.8%、「今後も利用したいかどうか分からない」が26.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「今後も利用したいと思わない」は、呉市（23.8%）が国（28.8%）を5.0ポイント下回っている。

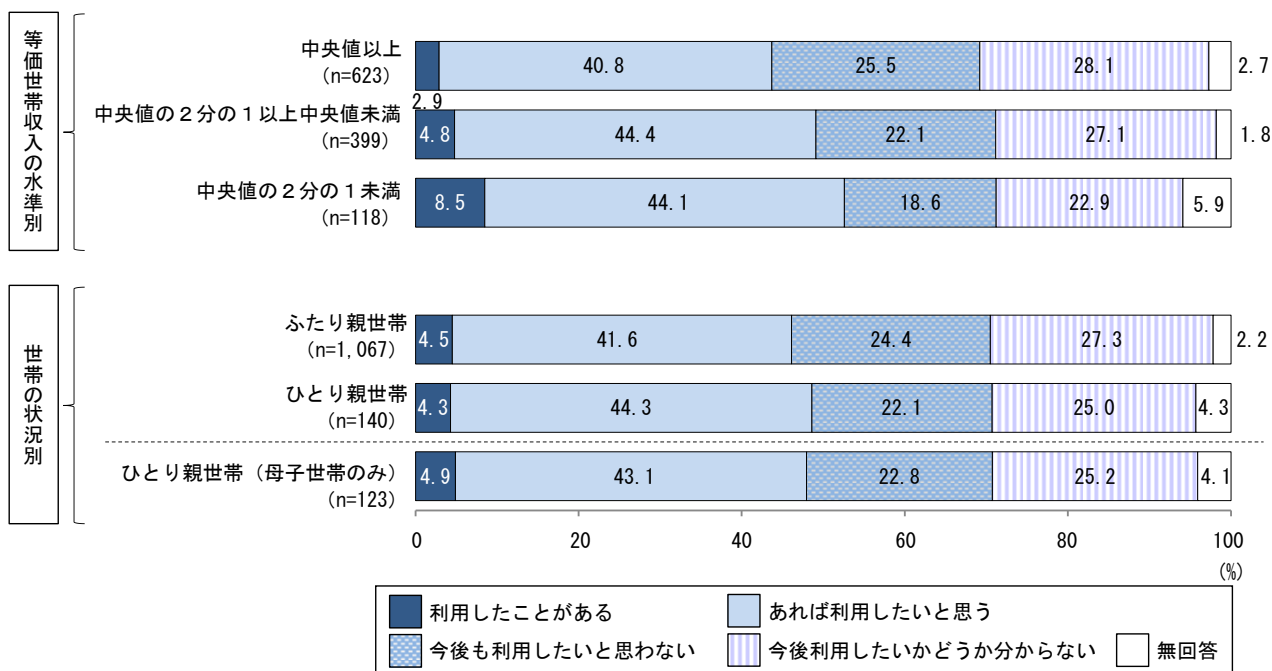
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では42.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では41.5%、「中央値の2分の1未満」では38.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では42.3%、「ひとり親世帯全体」では37.2%、「母子世帯のみ」では36.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

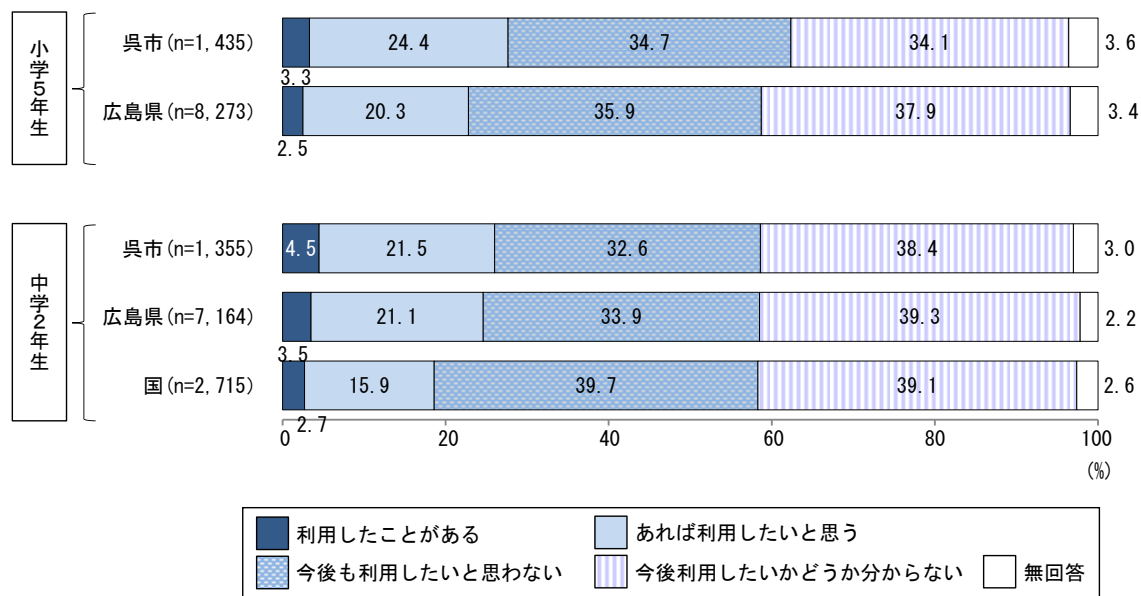


等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では40.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では44.4%、「中央値の2分の1未満」では44.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では41.6%、「ひとり親世帯全体」では44.3%、「母子世帯のみ」では43.1%となっている。

＝（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）＝

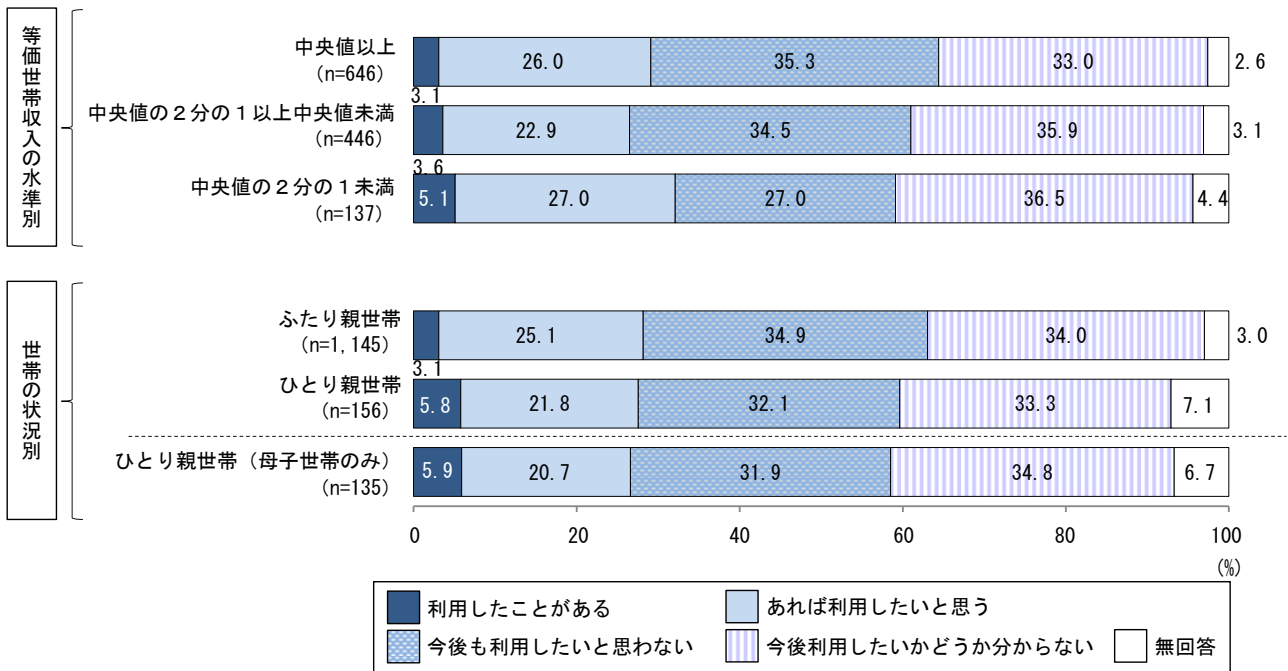
【全体】



何でも相談できる場所について、小学5年生では、「利用したことがある」が3.3%、「あれば利用したいと思う」が24.4%、「今後も利用したいと思わない」が34.7%、「今後も利用したいかどうか分からない」が34.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「利用したことがある」が4.5%、「あれば利用したいと思う」が21.5%、「今後も利用したいと思わない」が32.6%、「今後も利用したいかどうか分からない」が38.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「あれば利用したいと思う」は、呉市（21.5%）が国（15.9%）を5.6ポイント上回っている。一方で、「今後も利用したいと思わない」は、呉市（32.6%）が国（39.7%）を7.1ポイント下回っている。

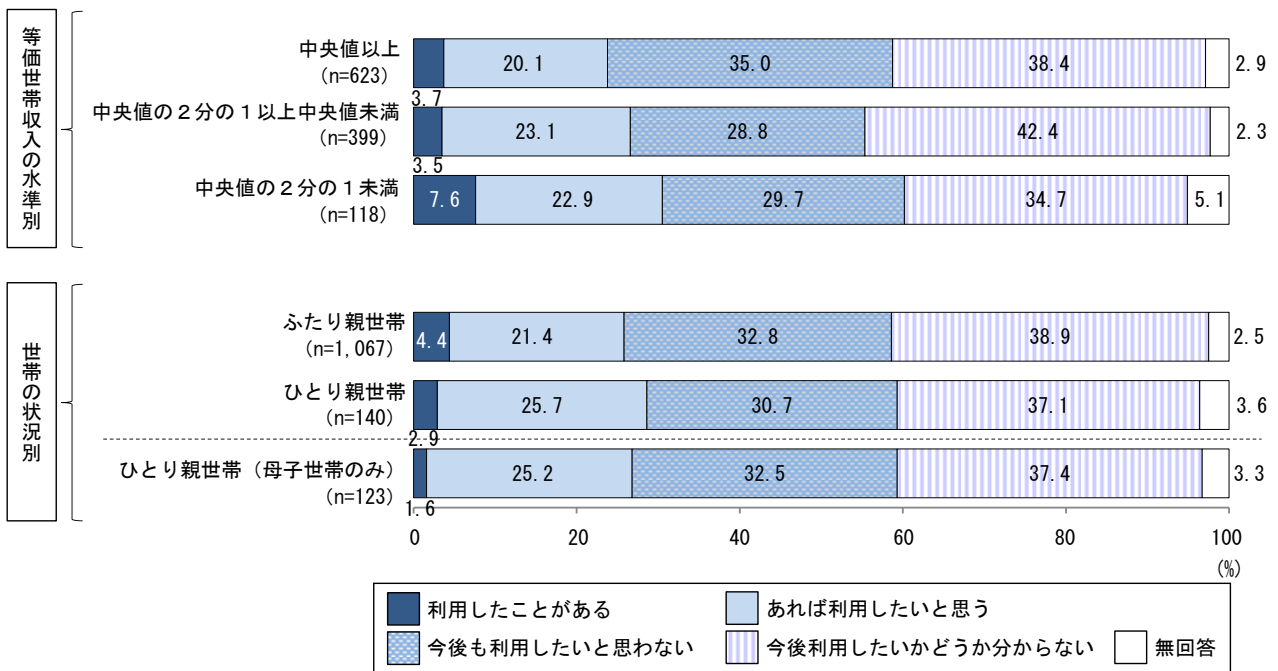
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では26.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では22.9%、「中央値の2分の1未満」では27.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では25.1%、「ひとり親世帯全体」では21.8%、「母子世帯のみ」では20.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



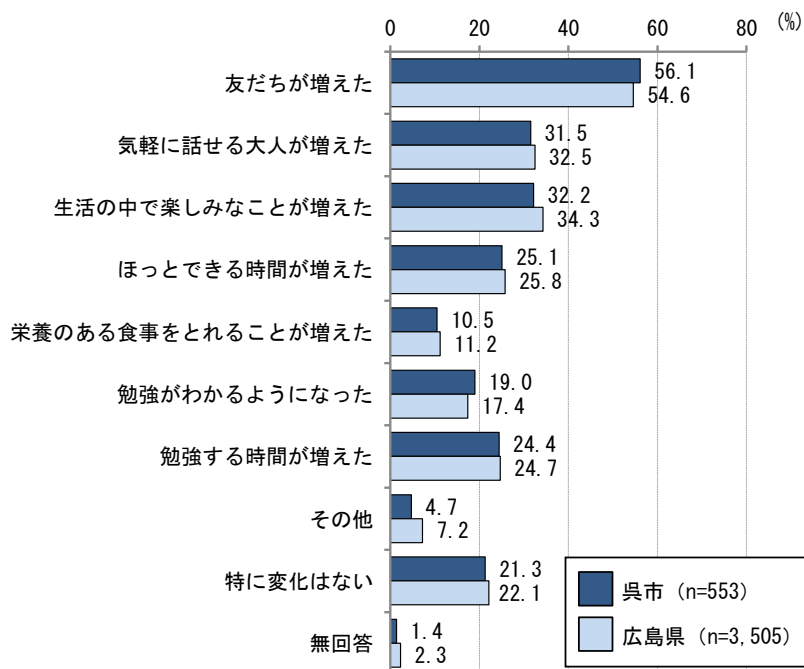
等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では20.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では23.1%、「中央値の2分の1未満」では22.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では21.4%、「ひとり親世帯全体」では25.7%、「母子世帯のみ」では25.2%となっている。

※問 19 で 1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方に

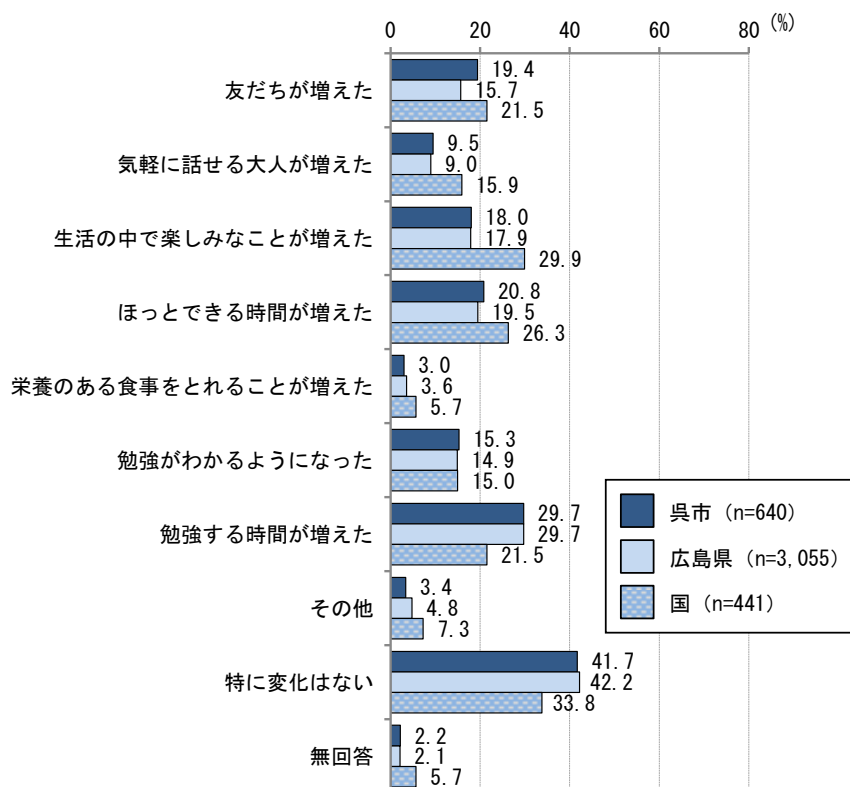
子供票問 20. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(MA)

【小学 5 年生】



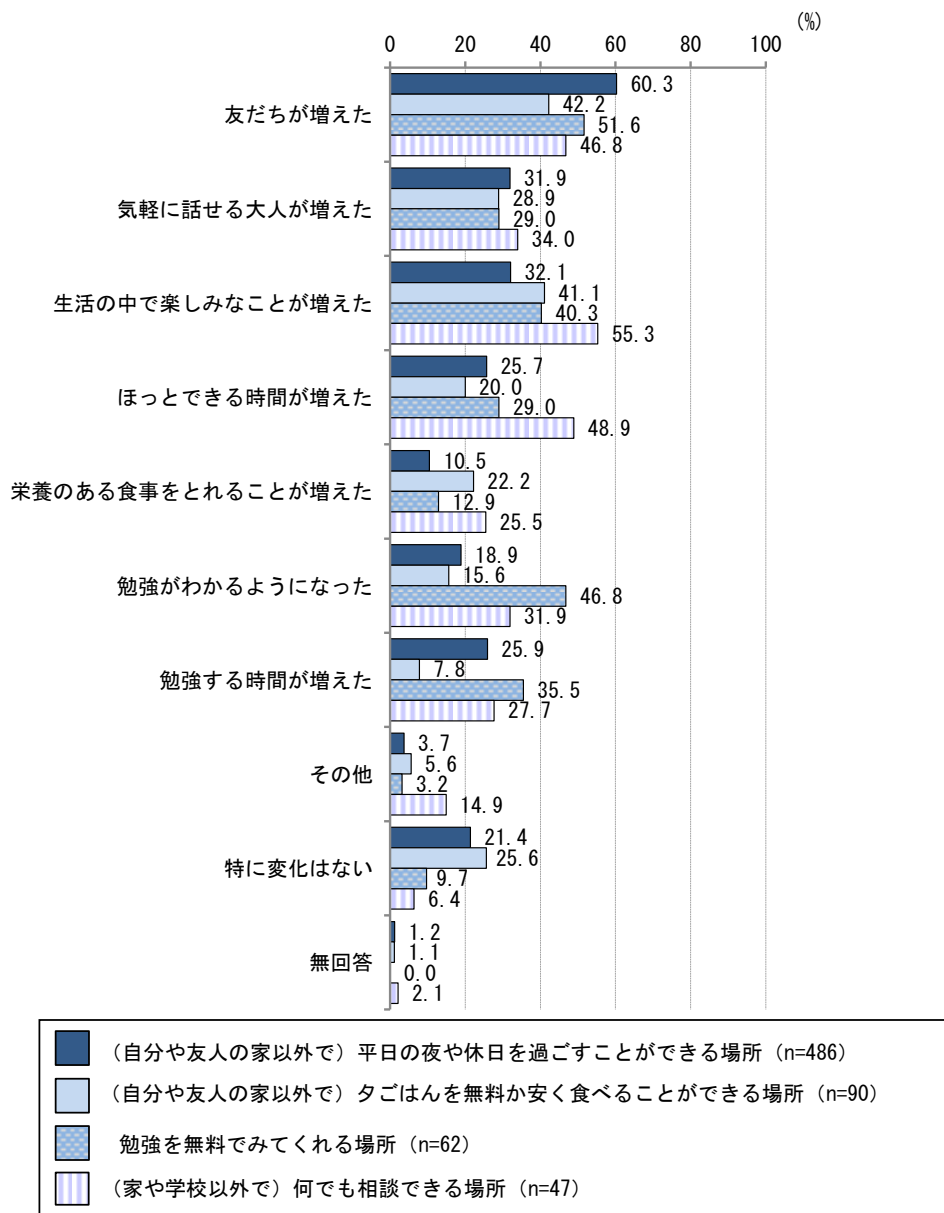
利用による変化について、小学 5 年生では、「友だちが増えた」が 56.1%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が 32.2%、「気軽に話せる大人が増えた」が 31.5%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生】



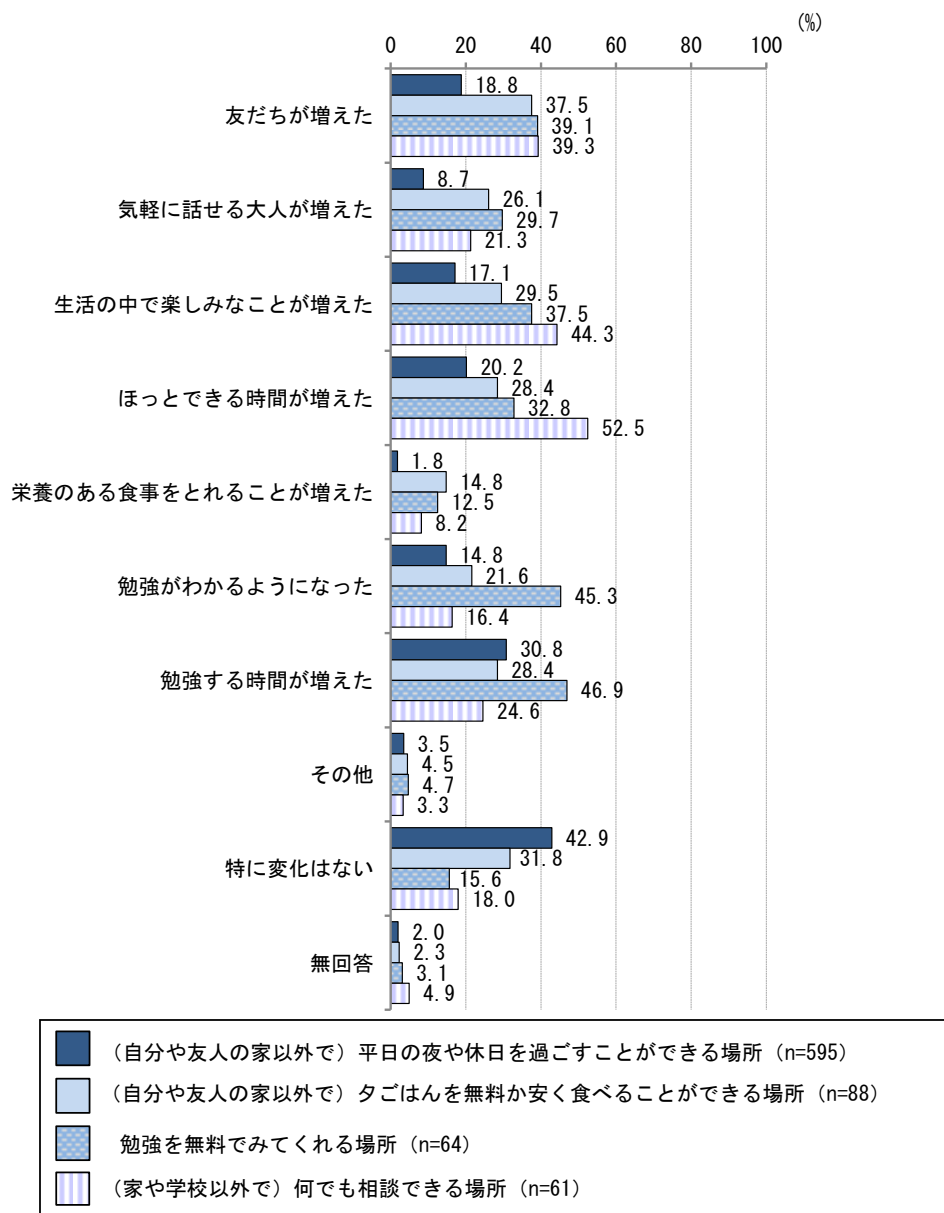
利用による変化について、中学2年生では、「勉強する時間が増えた」が29.7%と最も高く、次いで「ほっとできる時間が増えた」が20.8%、「友だちが増えた」が19.4%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「勉強する時間が増えた」は、呉市（29.7%）が国（21.5%）を8.2ポイント上回っている。一方で、「気軽に話せる大人が増えた」は、呉市（9.5%）が国（15.9%）を6.4ポイント、「生活の中で楽しいことが増えた」は、呉市（18.0%）が国（29.9%）を11.9ポイント、「ほっとできる時間が増えた」は、呉市（20.8%）が国（26.3%）を5.5ポイント下回っている。

【利用した支援制度・利用場所の内容別_小学5年生】



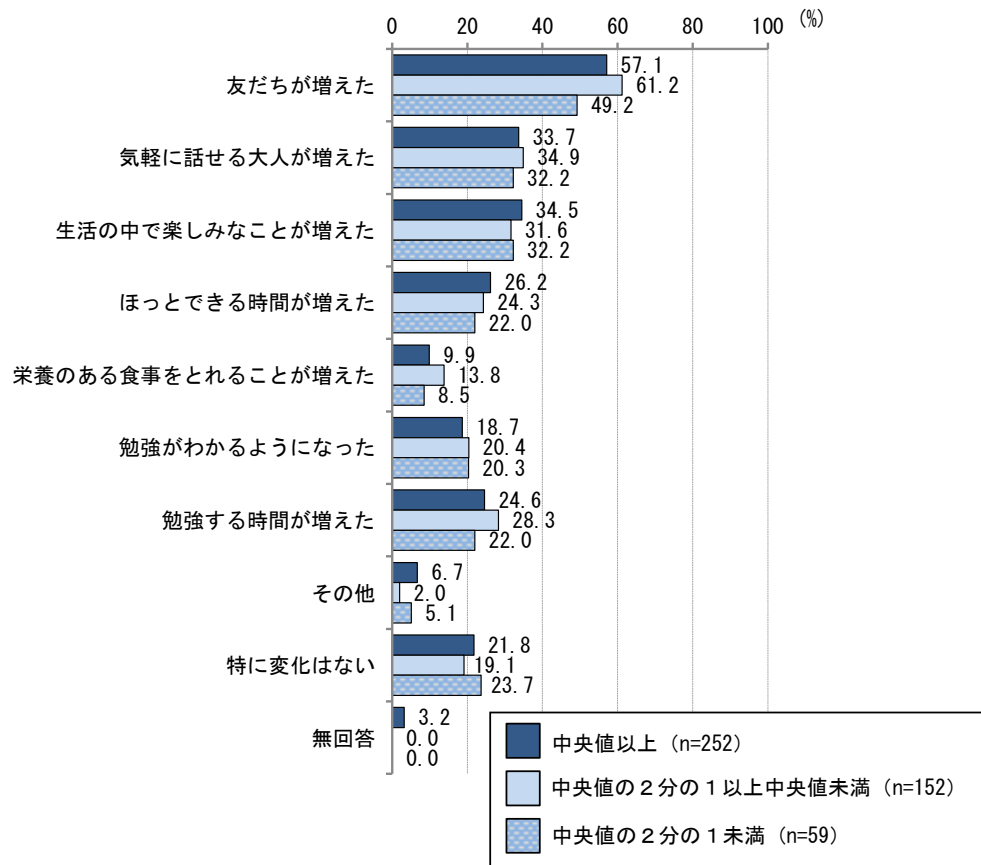
利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」では、「友だちが増えた」が60.3%となっている。また、「何でも相談できる場所」では、「ほっとできる時間が増えた」が48.9%、「勉強を無料でみてくれる場所」では、「勉強がわかるようになった」が46.8%となっている。

【利用した支援制度・利用場所の内容別_中学2年生】



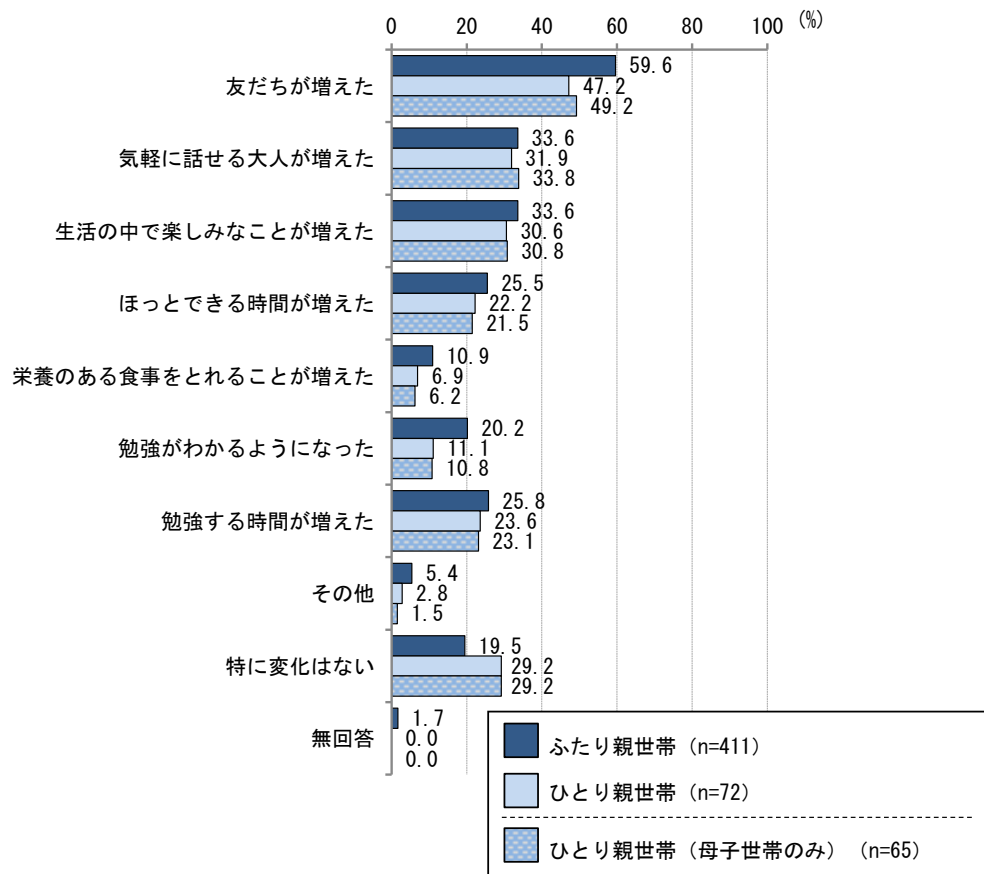
利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「何でも相談できる場所」では、「ほっとできる時間が増えた」が 52.5%となっている。また、「勉強を無料でみてくれる場所」では、「勉強がわかるようになった」が 45.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



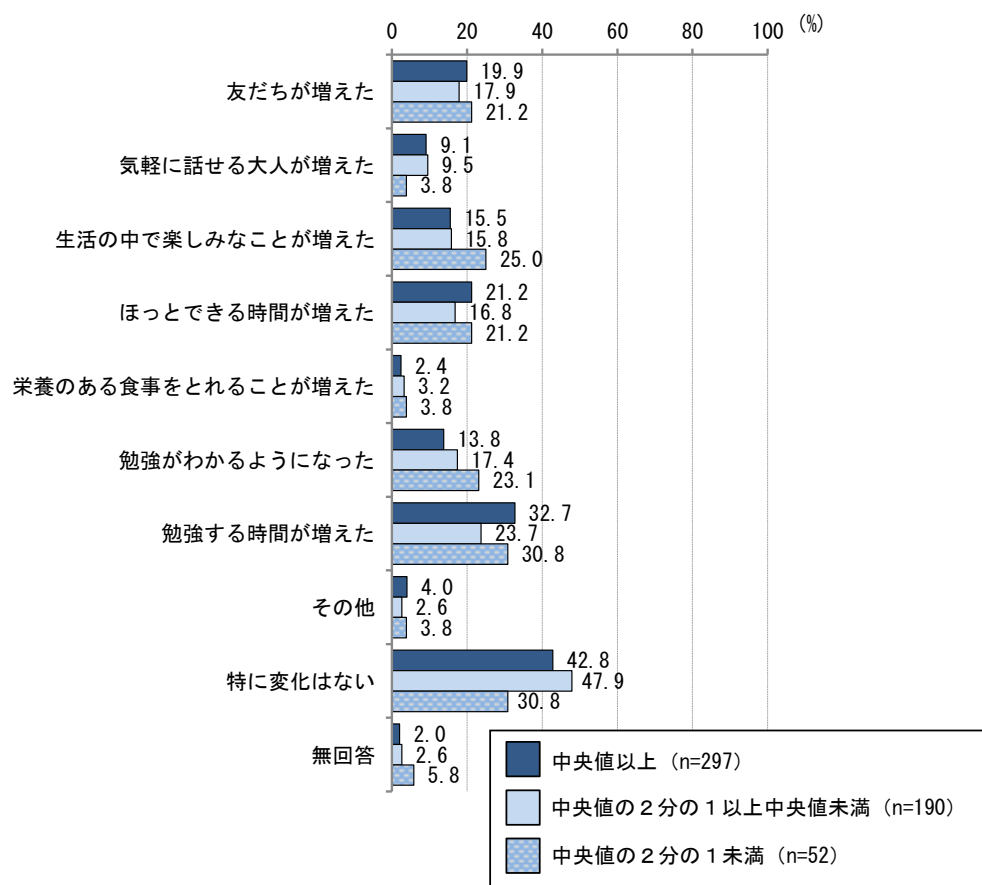
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「友だちが増えた」が49.2%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



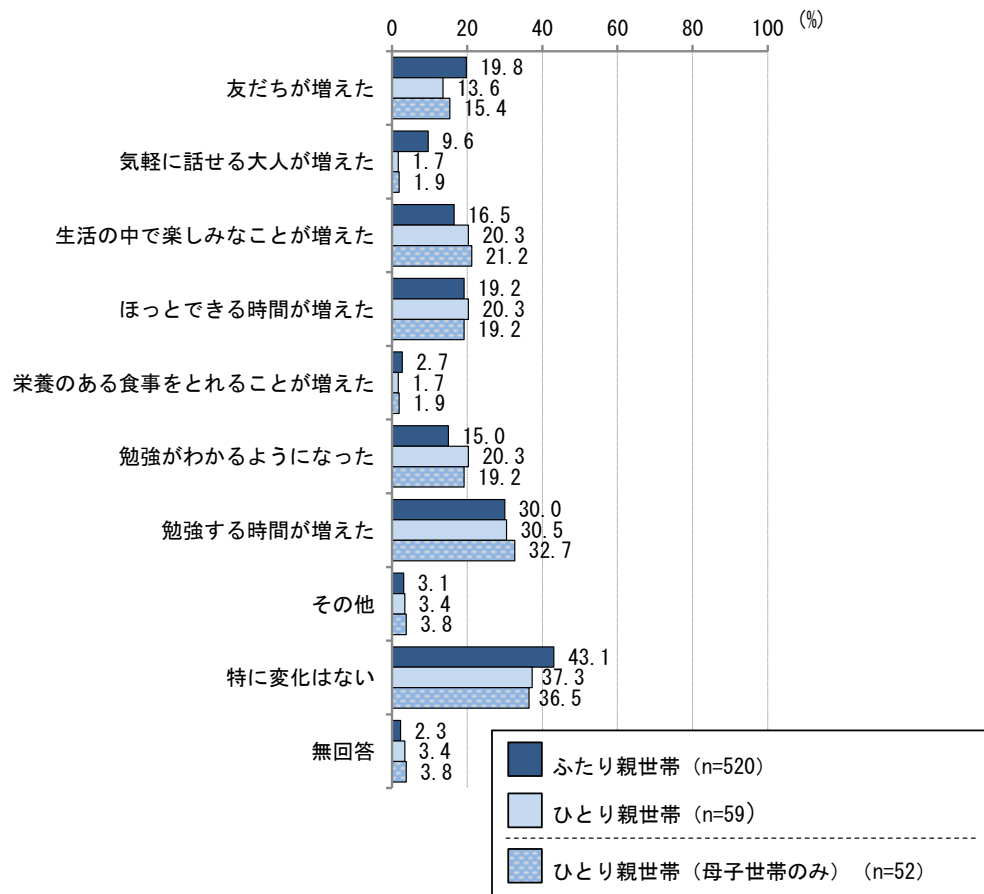
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「友だちが増えた」が47.2%、「勉強がわかるようになった」が11.1%と低くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「生活の中で楽しいことが増えた」が25.0%、「勉強がわかるようになった」が23.1%、「友だちが増えた」が21.2%、「栄養のある食事をとれることが増えた」が3.8%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生】

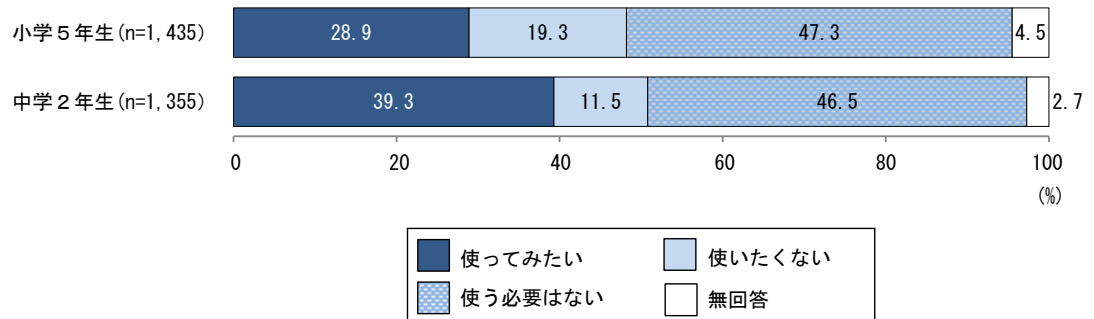


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「勉強する時間が増えた」が30.5%、「生活の中で楽しいことが増えた」、「ほっとできる時間が増えた」、「勉強がわかるようになった」がともに20.3%と高くなっている。

子供票問 28. あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(SA)

＝ (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所 ＝

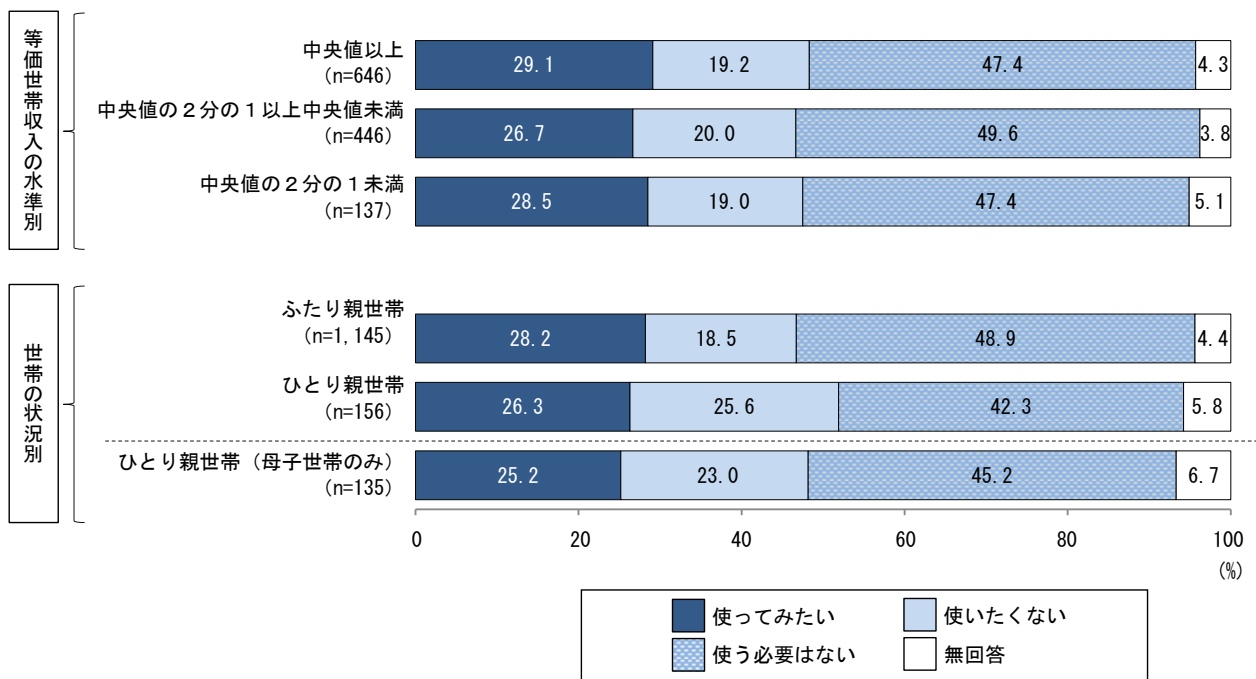
【全体】



(家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所を使ってみたいかについて、小学5年生では、「使ってみたい」が28.9%、「使いたくない」が19.3%、「使う必要はない」が47.3%となっている。

中学2年生では、「使ってみたい」が39.3%、「使いたくない」が11.5%、「使う必要はない」が46.5%となっている。

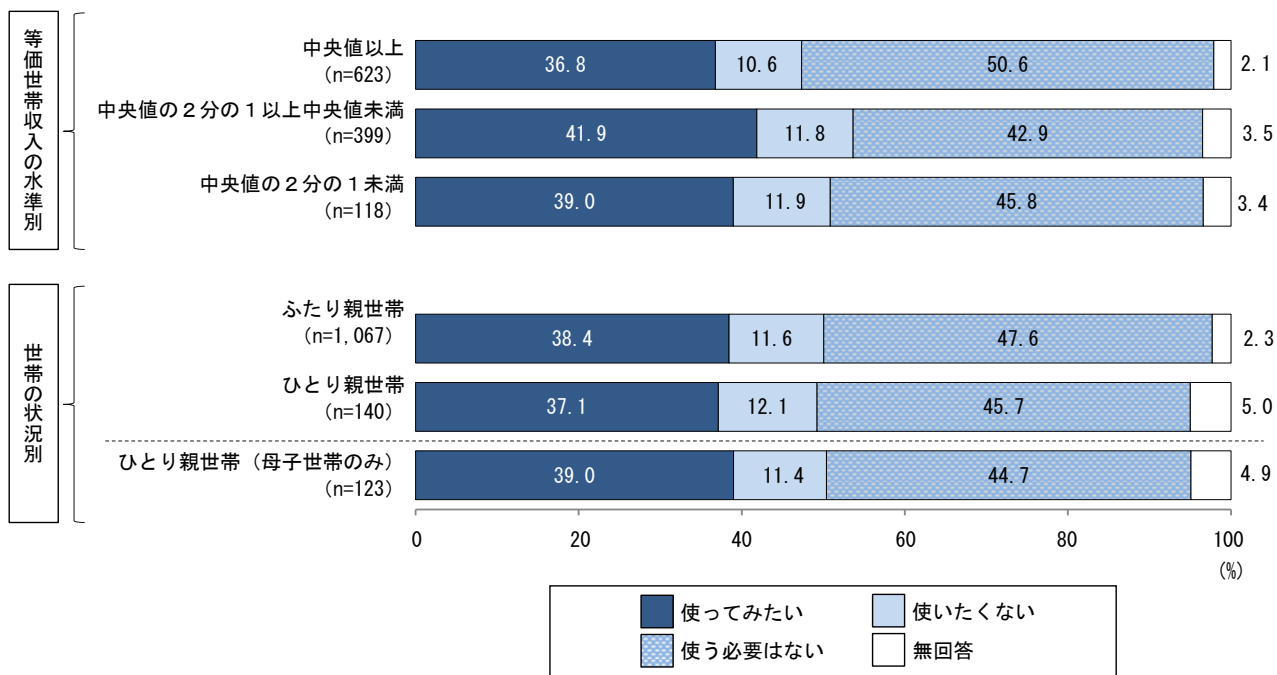
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では29.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では26.7%、「中央値の2分の1未満」では28.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では28.2%、「ひとり親世帯全体」では26.3%、「母子世帯のみ」では25.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

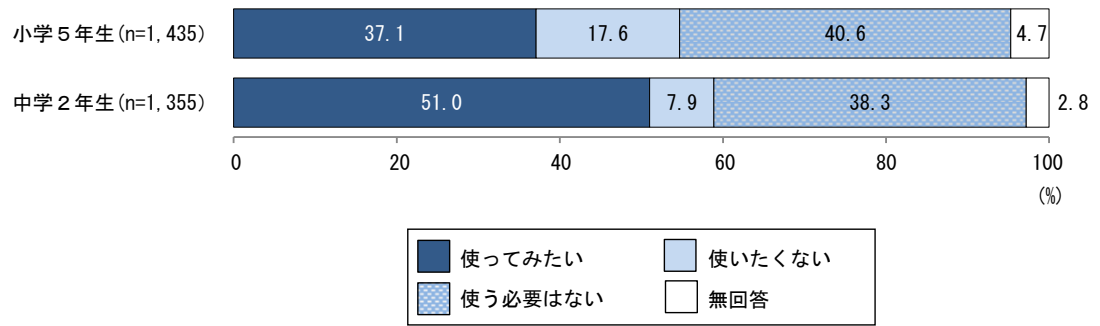


等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では36.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では41.9%、「中央値の2分の1未満」では39.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では38.4%、「ひとり親世帯全体」では37.1%、「母子世帯のみ」では39.0%となっている。

= (家以外で)休日にいることができる場所 =

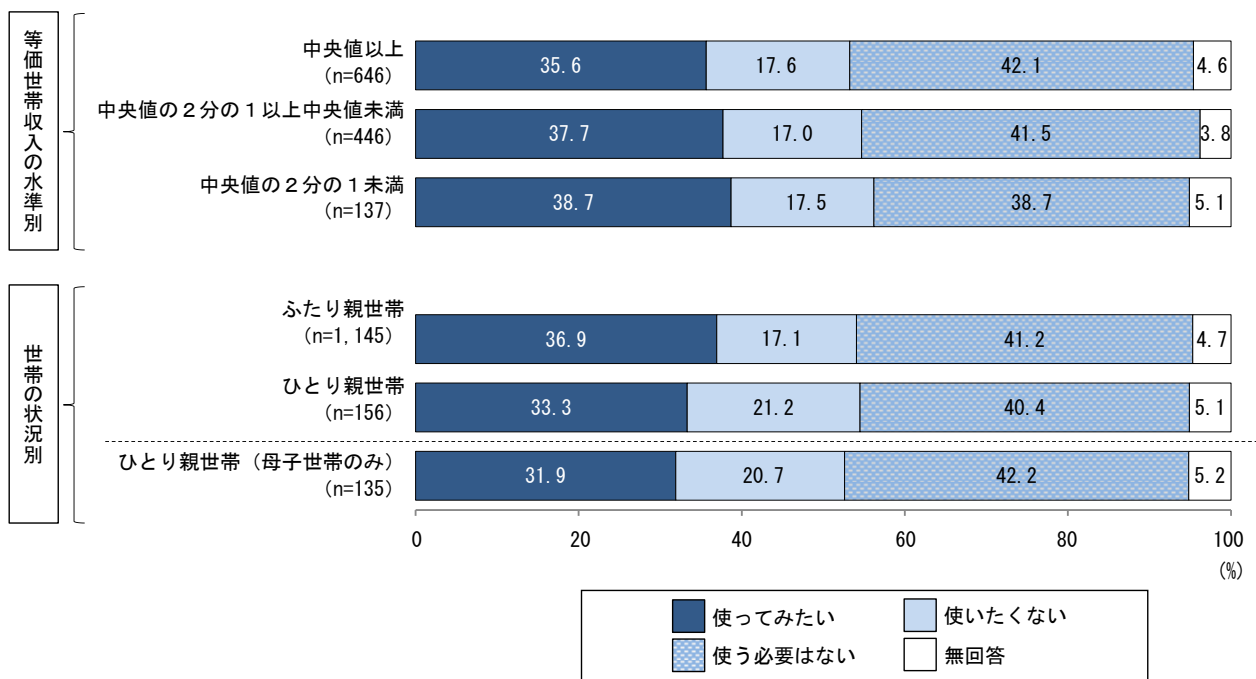
【全体】



(家以外で)休日にいることができる場所を使ってみたいかについて、小学5年生では、「使ってみたい」が37.1%、「使いたくない」が17.6%、「使う必要はない」が40.6%となっている。

中学2年生では、「使ってみたい」が51.0%、「使いたくない」が7.9%、「使う必要はない」が38.3%となっている。

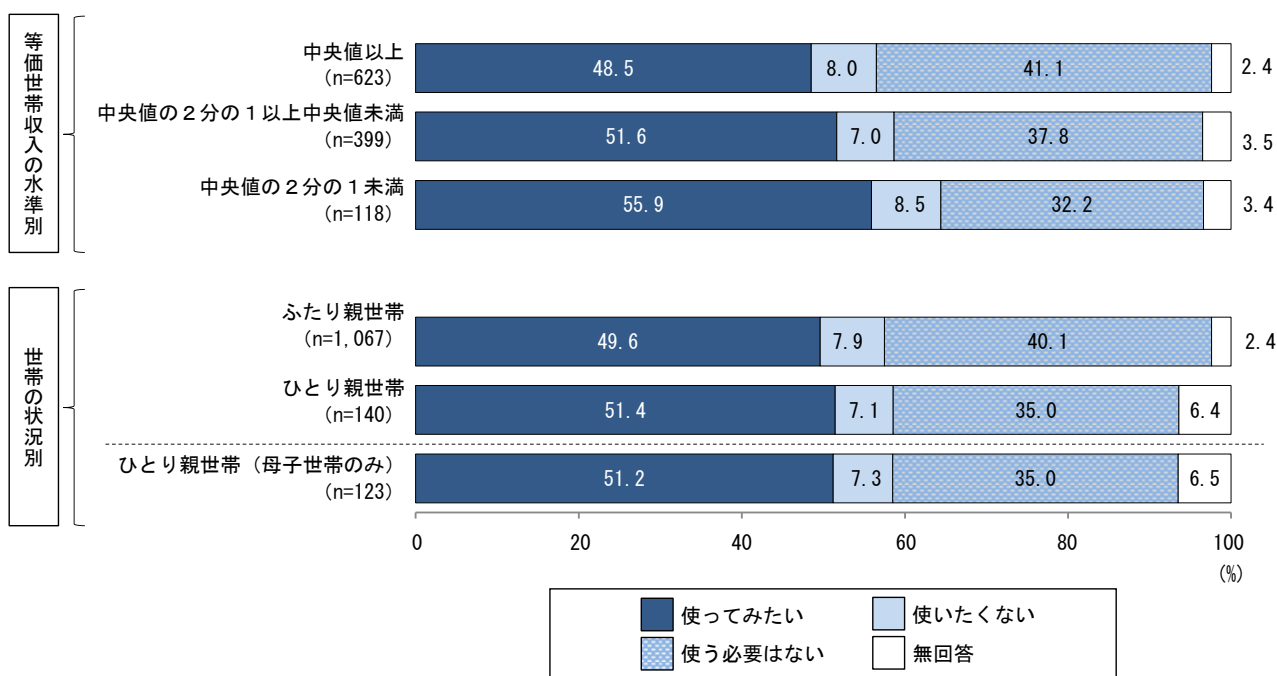
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では35.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では37.7%、「中央値の2分の1未満」では38.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では36.9%、「ひとり親世帯全体」では33.3%、「母子世帯のみ」では31.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

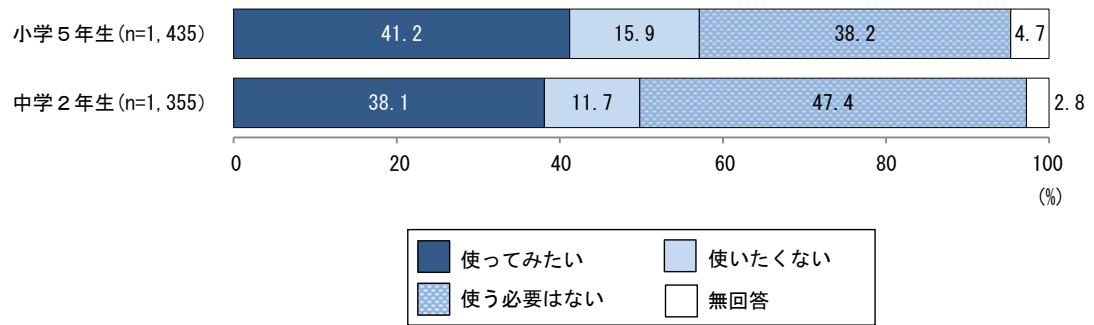


等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では48.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では51.6%、「中央値の2分の1未満」では55.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では49.6%、「ひとり親世帯全体」では51.4%、「母子世帯のみ」では51.2%となっている。

= 家の人がいないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所 =

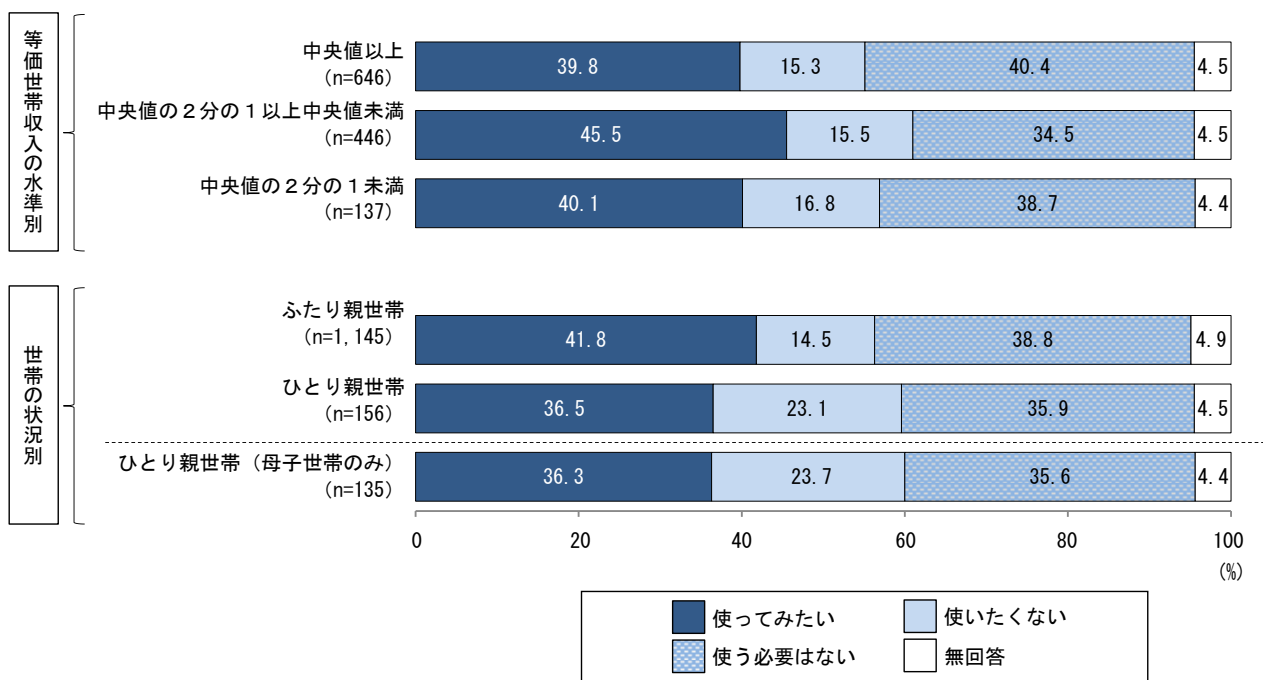
【全体】



家の人がいないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所を使ってみたいかについて、小学5年生では、「使ってみたい」が41.2%、「使いたくない」が15.9%、「使う必要はない」が38.2%となっている。

中学2年生では、「使ってみたい」が38.1%、「使いたくない」が11.7%、「使う必要はない」が47.4%となっている。

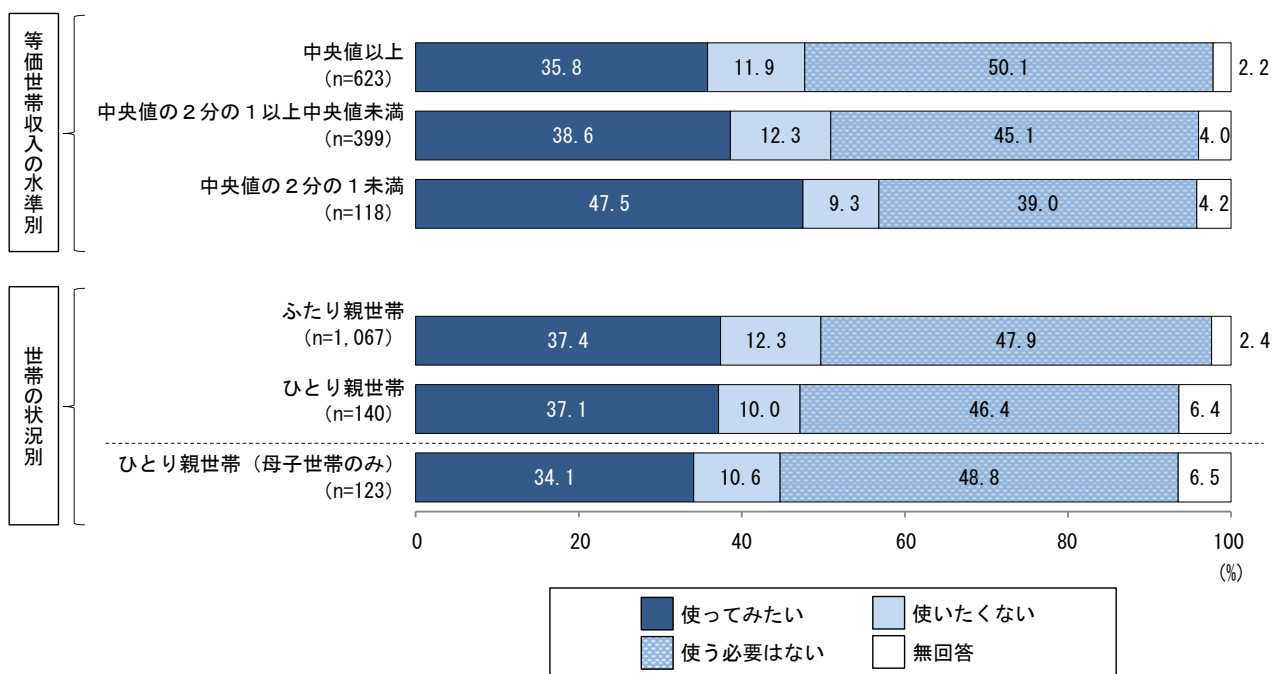
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では39.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では45.5%、「中央値の2分の1未満」では40.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では41.8%、「ひとり親世帯全体」では36.5%、「母子世帯のみ」では36.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

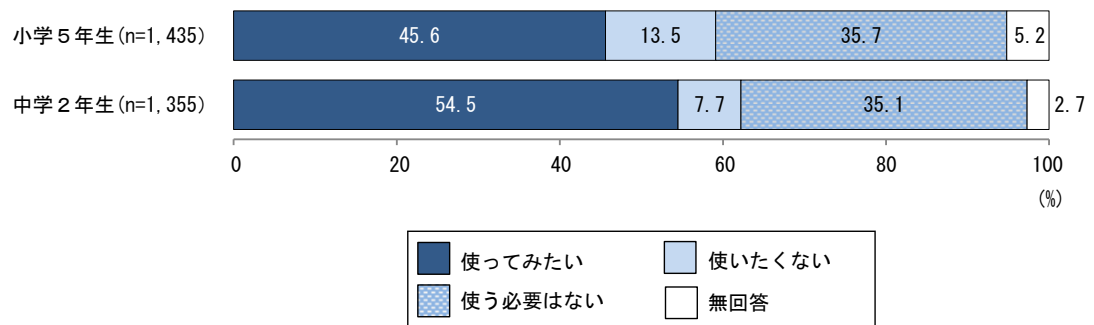


等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では35.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では38.6%、「中央値の2分の1未満」では47.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では37.4%、「ひとり親世帯全体」では37.1%、「母子世帯のみ」では34.1%となっている。

＝ 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所 ＝

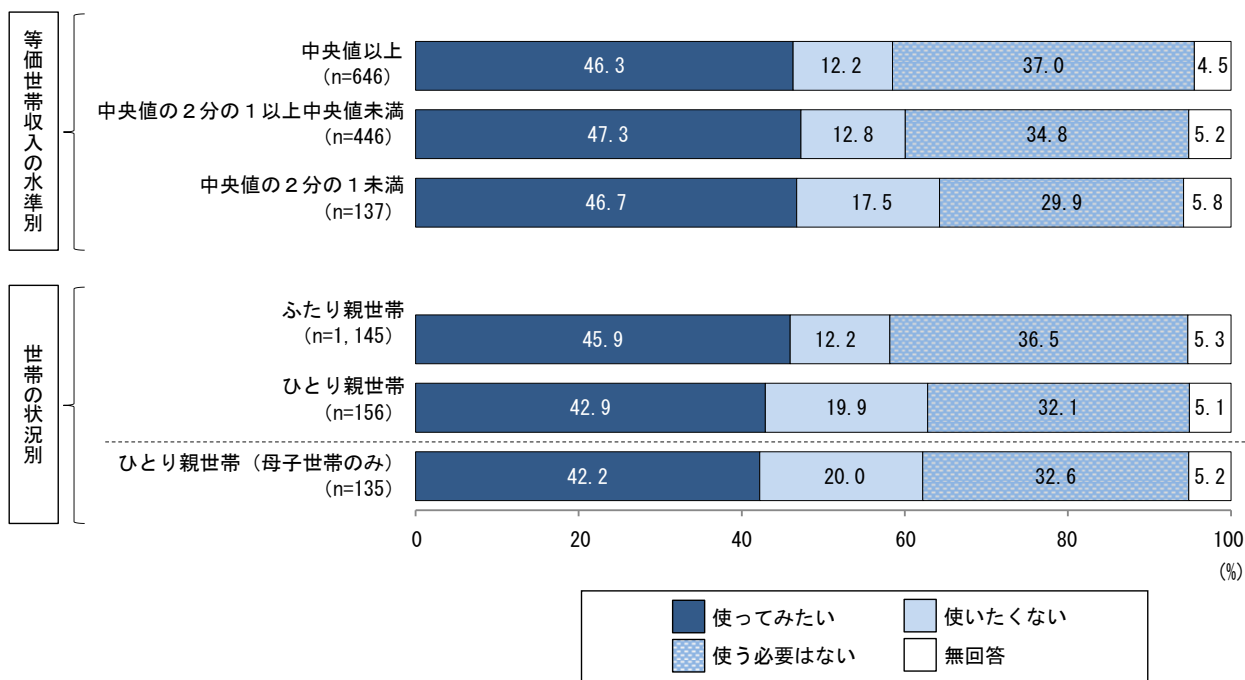
【全体】



家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所を使ってみたいかについて、小学5年生では、「使ってみたい」が45.6%、「使いたくない」が13.5%、「使う必要はない」が35.7%となっている。

中学2年生では、「使ってみたい」が54.5%、「使いたくない」が7.7%、「使う必要はない」が35.1%となっている。

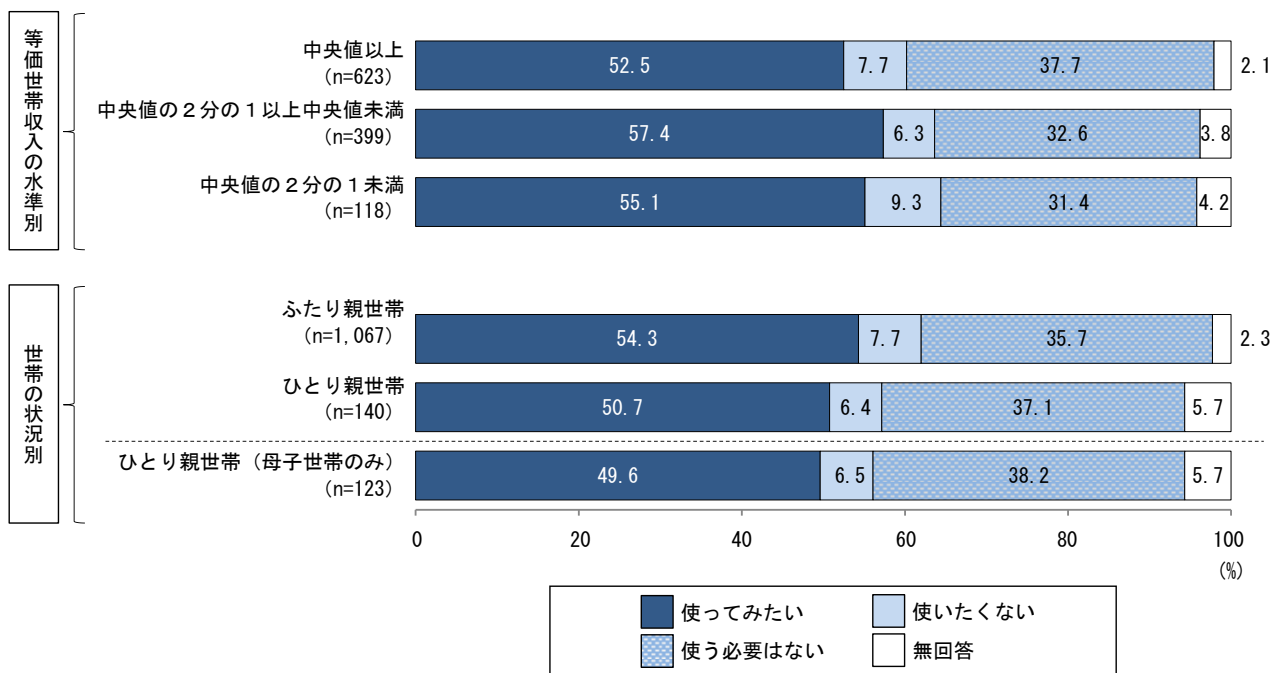
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では46.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では47.3%、「中央値の2分の1未満」では46.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では45.9%、「ひとり親世帯全体」では42.9%、「母子世帯のみ」では42.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

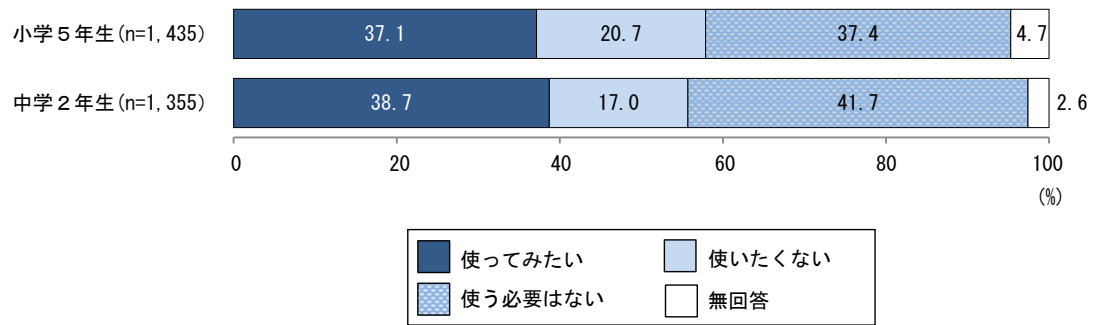


等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では52.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では57.4%、「中央値の2分の1未満」では55.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では54.3%、「ひとり親世帯全体」では50.7%、「母子世帯のみ」では49.6%となっている。

= 大学生のボランティア（お兄さん、お姉さん）が、勉強を無料でみてくれる場所 =

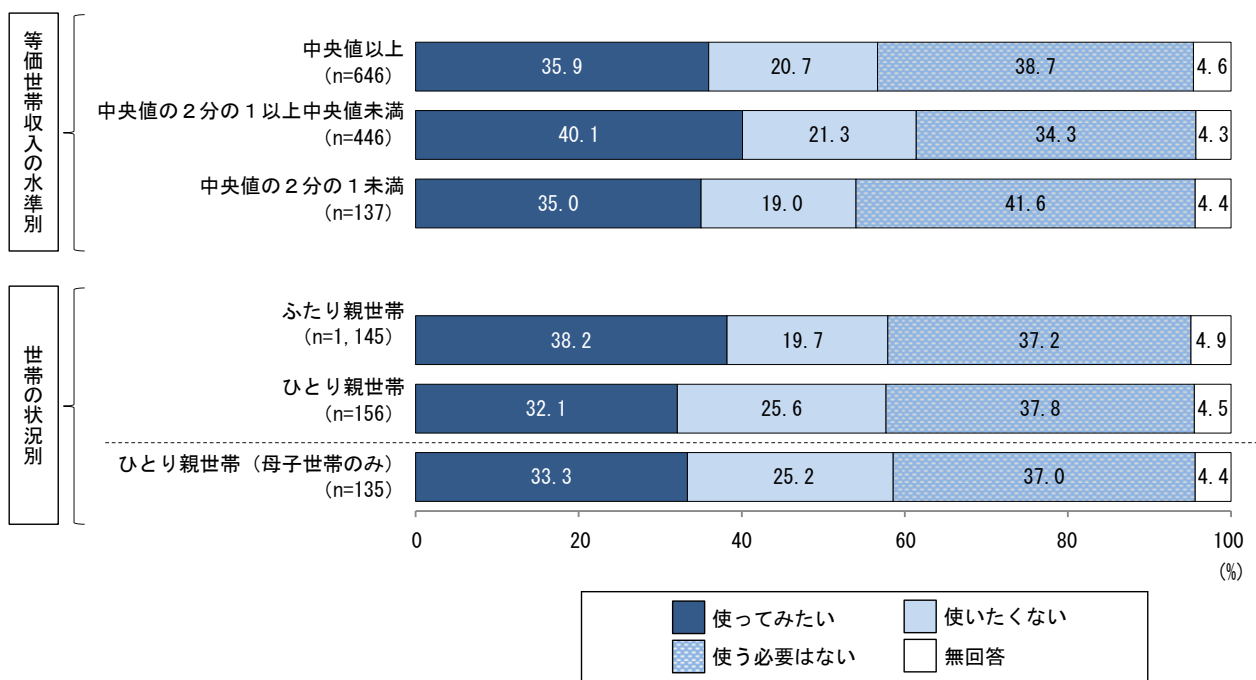
【全体】



大学生のボランティア（お兄さん、お姉さん）が、勉強を無料でみてくれる場所を使ってみたいかについて、小学5年生では、「使ってみたい」が37.1%、「使いたくない」が20.7%、「使う必要はない」が37.4%となっている。

中学2年生では、「使ってみたい」が38.7%、「使いたくない」が17.0%、「使う必要はない」が41.7%となっている。

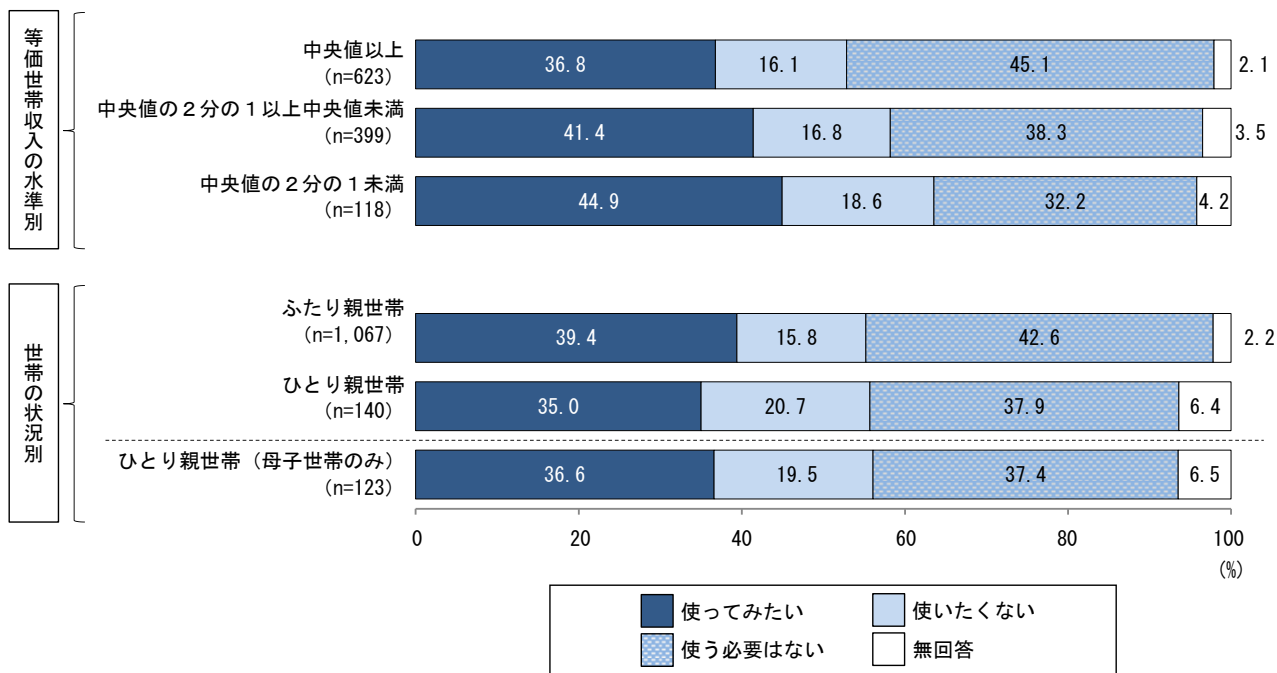
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では35.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では40.1%、「中央値の2分の1未満」では35.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では38.2%、「ひとり親世帯全体」では32.1%、「母子世帯のみ」では33.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

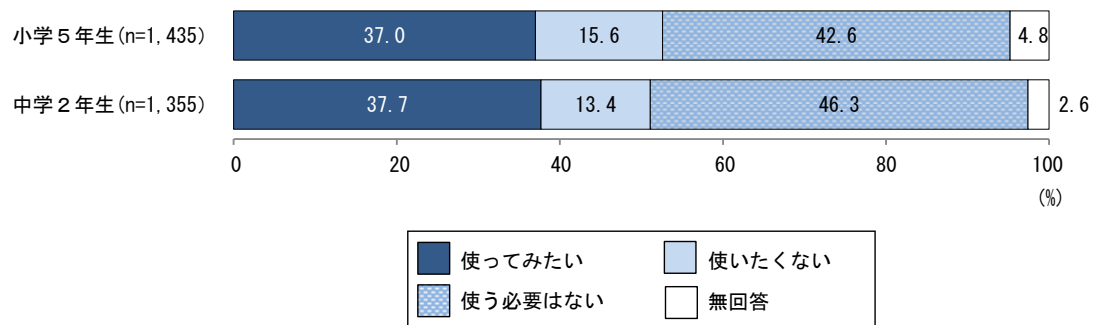


等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では36.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では41.4%、「中央値の2分の1未満」では44.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では39.4%、「ひとり親世帯全体」では35.0%、「母子世帯のみ」では36.6%となっている。

＝（学校以外で勉強、進学、家族のことなど）なんでも相談できる場所＝

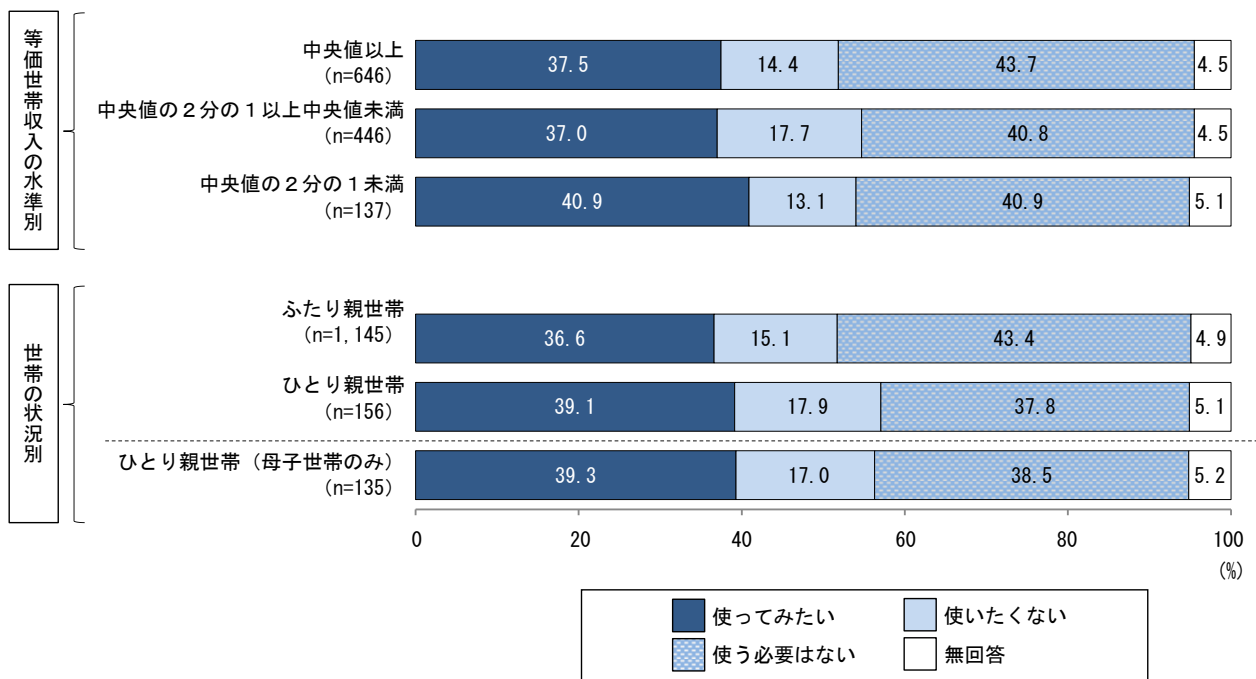
【全体】



（学校以外で勉強、進学、家族のことなど）なんでも相談できる場所を使ってみたいかについて、小学5年生では、「使ってみたい」が37.0%、「使いたくない」が15.6%、「使う必要はない」が42.6%となっている。

中学2年生では、「使ってみたい」が37.7%、「使いたくない」が13.4%、「使う必要はない」が46.3%となっている。

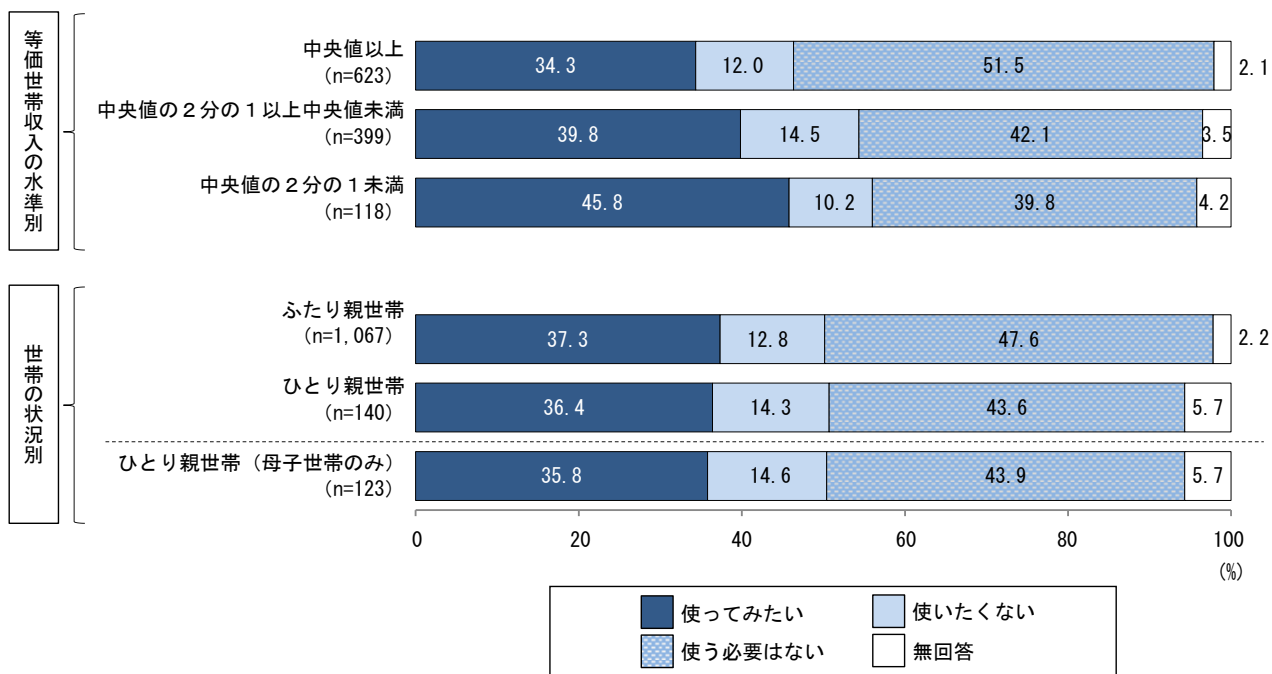
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では37.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では37.0%、「中央値の2分の1未満」では40.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では36.6%、「ひとり親世帯全体」では39.1%、「母子世帯のみ」では39.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「使ってみたい」は、「中央値以上」では34.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では39.8%、「中央値の2分の1未満」では45.8%となっている。

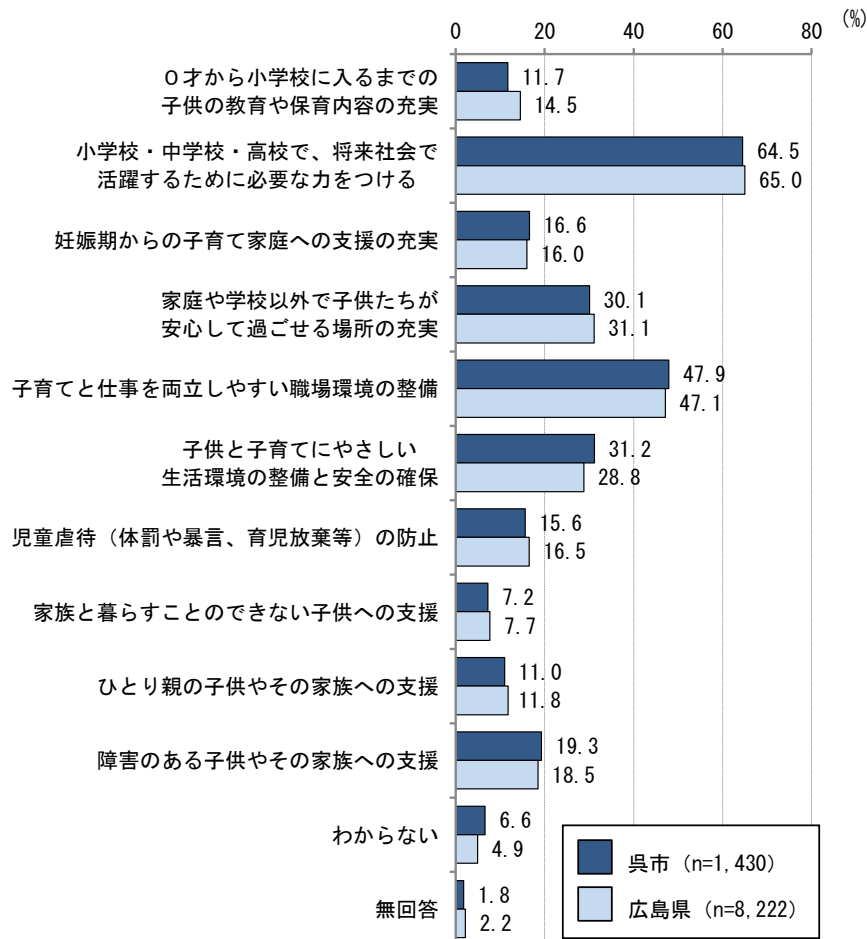
世帯の状況別にみると、「使ってみたい」は、「ふたり親世帯」では37.3%、「ひとり親世帯全体」では36.4%、「母子世帯のみ」では35.8%となっている。

5 広島県や呉市の子供政策への希望

(1) 保護者の状況

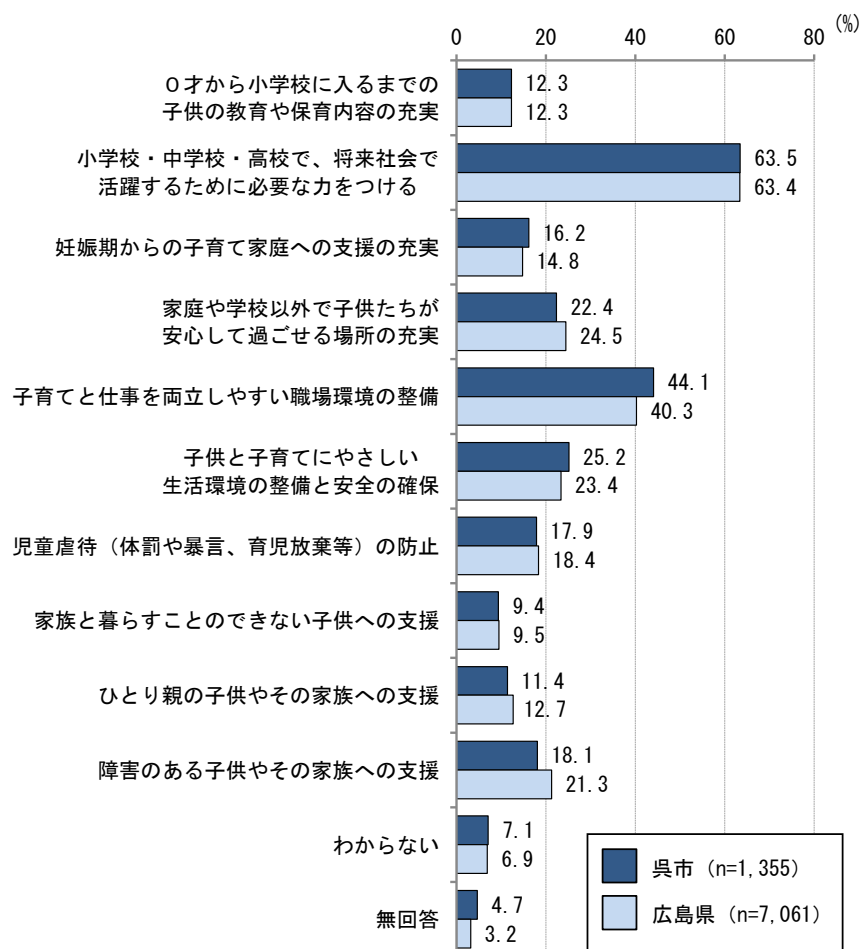
保護者票問 29. あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

【小学5年生の保護者】



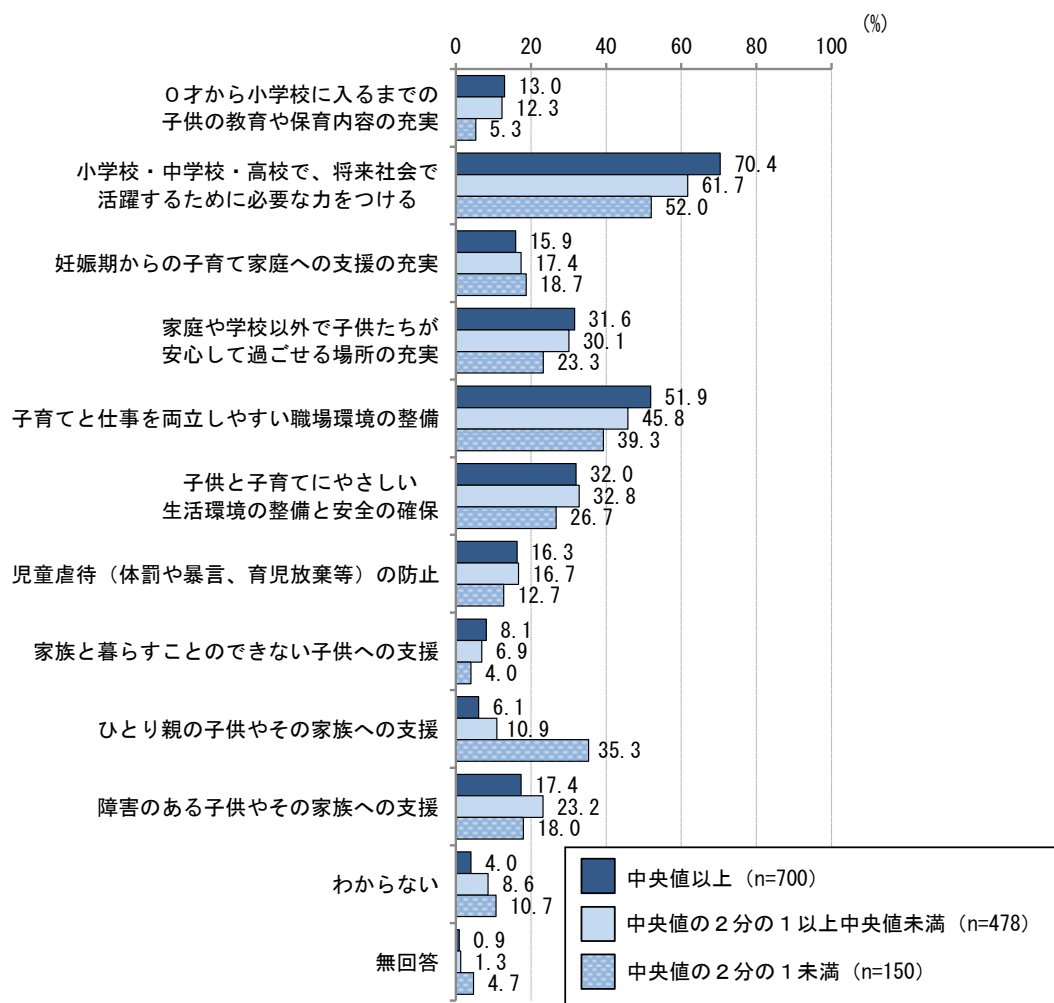
力を入れてほしい子供に関する取組について、小学5年生の保護者では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が64.5%と最も高く、次いで「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が47.9%、「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」が31.2%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生の保護者】



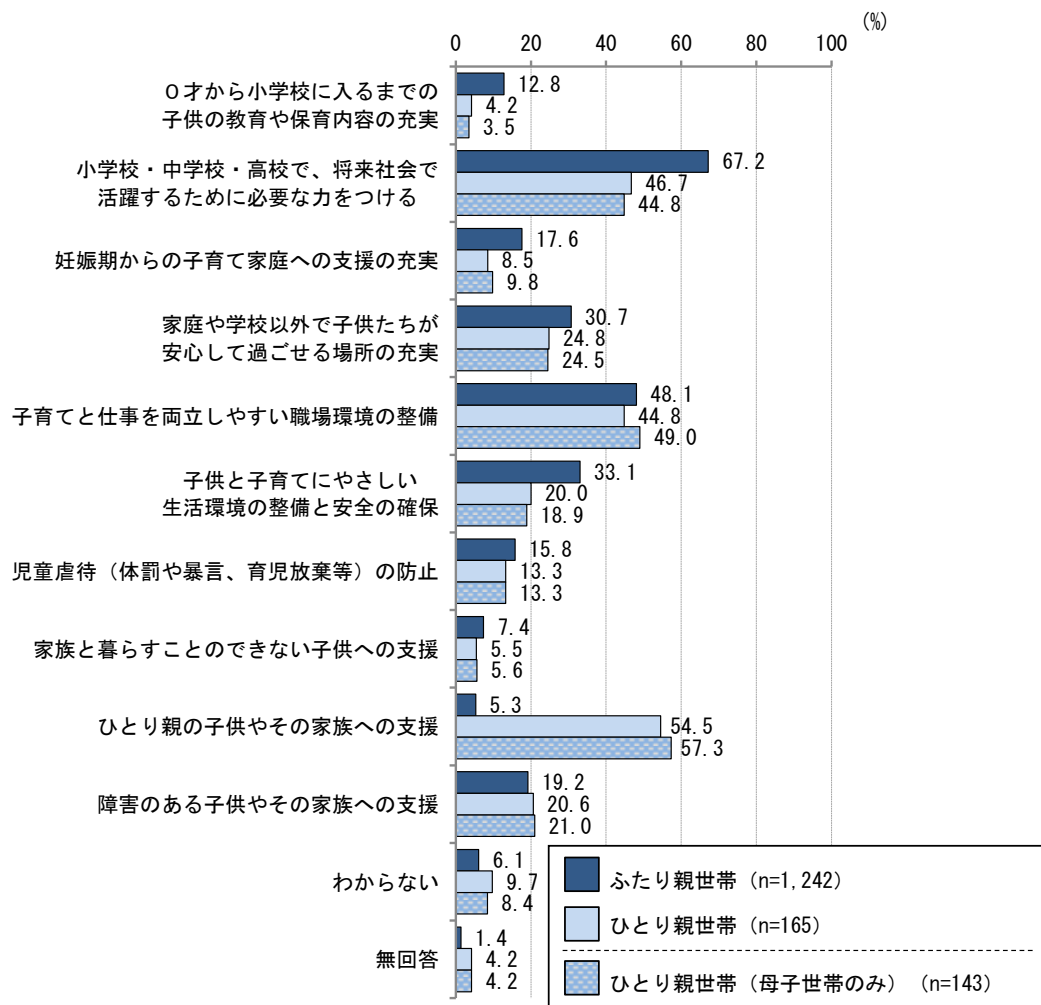
力を入れてほしい子供に関する取組について、中学2年生の保護者では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が63.5%と最も高く、次いで「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が44.1%、「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」が25.2%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



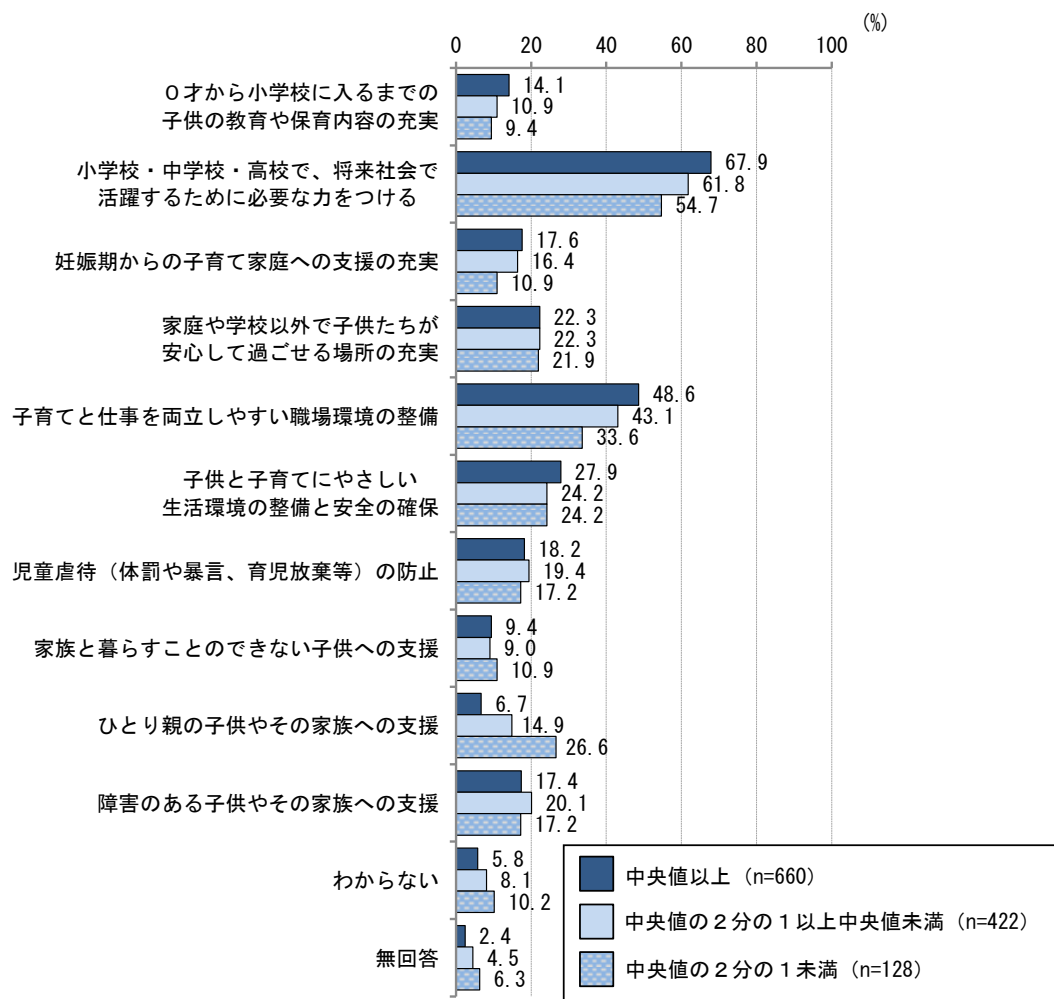
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」が18.7%、「ひとり親の子供やその家族への支援」が35.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



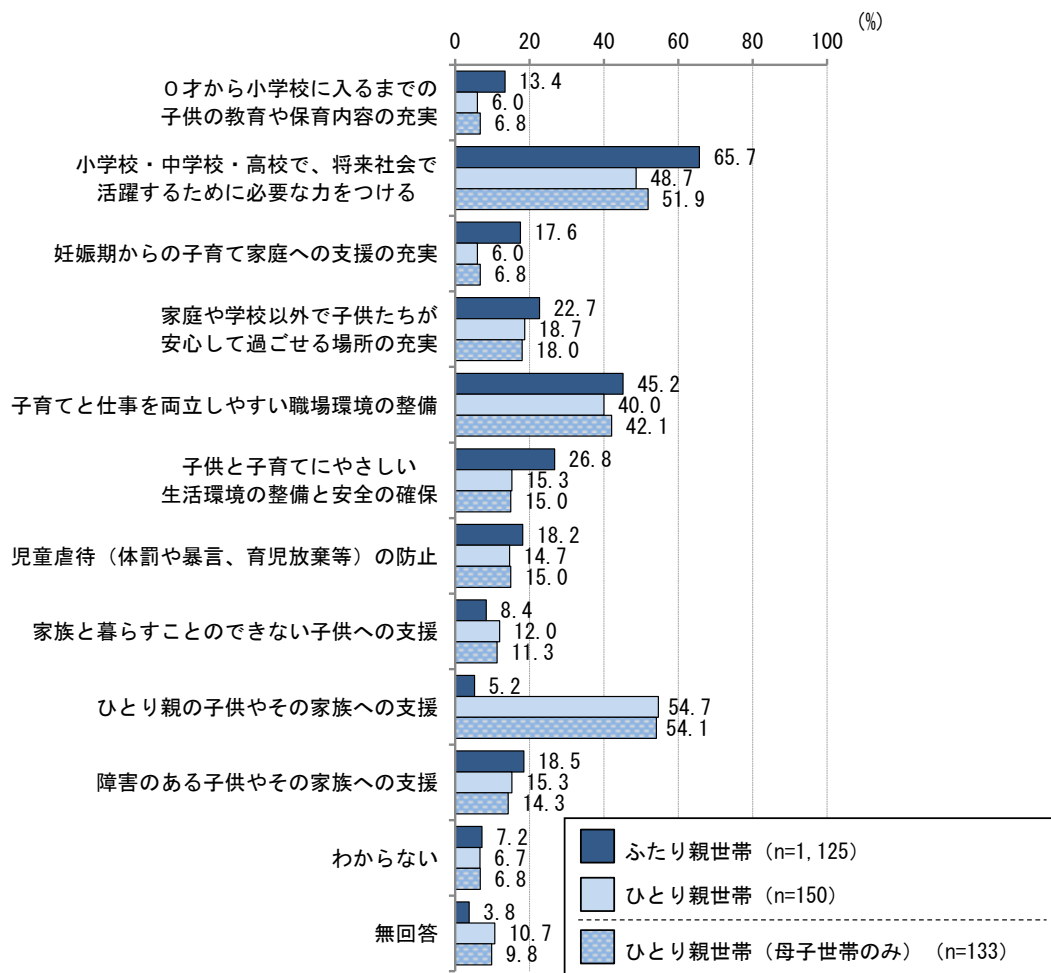
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「ひとり親の子供やその家族への支援」が 54.5%、「障害のある子供やその家族への支援」が 20.6%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家族と暮らすことのできない子供への支援」が10.9%、「ひとり親の子供やその家族への支援」が26.6%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族と暮らすことのできない子供への支援」が 12.0%、「ひとり親の子供やその家族への支援」が 54.7%と高くなっている。

※問 29 で「1～10」と答えた方に

保護者票問 30. 理由があれば教えてください。(FA)

＝ 「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」の理由 (50件) ＝

「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」の理由について、簡単な読み書きや基本的な生活習慣の習得を求める意見のほかに、質の高い教育を求める意見もみられる。

1	夏は暑すぎ、冬は寒すぎ、コロナで外出できず、体力がおちています。もっと、体を動かす、体育的な事に保育園でも力を入れてほしいです。
2	乳児期の教育は充実するべき、今後の人生に大きく影響する。
3	この頃の年齢での将来に与える影響がとても大きいと感じる為。
4	公立の学校の教育レベルが低いため子供を安心してあずけたいと思わないから教育の質を向上させてほしい。
5	県外から引っ越しをしてきて共働きで頼れる身内が居なくて子育てが大変だったから。
6	ワンオペ育児で毎日家事との両立をさせるだけでも大変で教育のことを考える余裕もなく、不安があるので。
7	働きたくても、子供を預ける所がなくて又、料金が高くて働くのをあきらめていると聞いた事がある。
8	保育所等職員の待遇改善が必要。不適切保育はわるいことだが、その背景もよく考えて欲しい。
9	小人数制にして個別性を時間をかけ対応できる教育を希望したい。
10	今後女性が働く場合、安心して質の高い教育を受けつつ、預けられる場所が必要
11	小さい頃からの基本的な生活習慣、学習への意欲づけがその後の生きる力に関わってくると思うから。
12	保育所入所を希望していても定員いっぱいではなかなか入れないのが現実です。待機しなくても良いよう施設を増やして欲しいです。
13	保育園でも体操や教育などにもっと力を入れられるようにしてほしい。
14	英語等の習得を早くからして欲しい。コミュニケーション力の習得も。
15	保育内容の充実のためには、保育に従事する人へ給料を増額しないと、なりたと思う人やなっている人も、モチベーションは上がらないから。
16	質の高い保育をすることで教育の質も上がっていくと思うので大切だと思う。
17	将来を担う子どもたちの教育に力を入れる事は素晴らしいことだと思うが、それを支える幼稚園教諭、保育士の給料があまりにも少なすぎると考える(命を預かる立場であるのに)。質の高い教育を求めるなら、広島県が率先してその問題に取り組み、保育士のモチベーションをあげ、優秀な保育士を多く集め、子どもの生きる力や学力を伸ばして行ける教育県として、特に力をいれて欲しい。
18	共働きのせいか、家庭での子供の教育が小さい内からできていない。預かるだけでなく、教育を中心とした保育施設があってほしい。

19	教育の土台づくりの大切な時期ですが、人手不足で充実した教育が難しいと感じるため。
20	子ども達の内面をしっかりと引き出せるような教育が必要と思う。いろいろ教え込むより、子どもの思い、感性などしっかりと出させる環境があるとその後も自分の思いを言いやすくなると思う。
21	就学前に読み書き計算できるようになると1年生で入学した時（通っていたのは勉強に力を入れている保育園だったので感謝しています）に楽しく学習できたようです。1年生から学業につまずく子はその後も大変そうと感じます。

＝ 「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由（265件）＝

「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由について、基礎的な学力の定着やコミュニケーション能力を身につけたい等の意見がみられる。

1	中学受験をさせたいと思ったが市立は高いので諦めた。もし、私立が安ければ、受験したと思う。子供に良い教育を受けさせたいが、資金を考えると、公立の安い所に行かす家庭が多いと思う。お金のある裕福なご家庭以外にも、勉強しやすいシステムがあると、良い人材が育つと思う。
2	今現在、学校で教わる勉強だけでは、授業をすべて理解できないから。家庭学習に加えて塾なども利用していますが、塾など行けない家庭もあるし、もっと学校でも基礎的な学力が上がるようにしてほしいです。先生も大変なので外部委託でもいいです。
3	1クラスの人数を減らして、もう少し1人1人丁寧な教育がされるといいと思います。個人差がとてもあるのです。自分の意見をのびのび言える環境づくりも必要と思います。
4	公立高校入試で行なわれる自己表現の経験を積む為小学校の時から表現力を養う教育をしてほしい。
5	みんなが同じ場所で同じことをしなければならぬ教育では、平均的な人間でしかない。好きなこと、やりたいことを伸ばせるような教育を。
6	実際に社会人となった時に子供が困らないよう社会常識を身につけてほしいから。
7	道徳の授業を充実させて欲しい。他人を思いやる、他人の為に動く、人の気持ちを考える、自分の言葉を選ぶなど
8	現在、子どもが将来何をしたいかなどがないため将来のことを考えるきっかけがあればいいなと思った。
9	基礎学力はもちろんのことだが、応用力やコミュニケーションなど社会に出てから必要になってくる能力も付けていきたい。
10	勉強以外のことで力を入れてほしい。例えば、一人一人の個性がしっかりと伸ばせるようなとりくみや、マナーやルールのことなど。
11	思考力、表現力、コミュニケーション力、英語力。そして情報社会である今、情報過多による悩みを減らすための工夫を習得してほしい。
12	自分たちの頃に比べて核家族が増え、いろんな年代と過ごすことも減っていてコミュニケーション力など下がっているように感じるから。
13	AIやテクノロジーの進化で、将来の職業が大きく変化するとされているので、自分で考え、行動する力を養ってほしいから。

14	高卒等であっても大検や通信でその後の学歴を変えられる等、大人になってからでも選択する道で将来が開ける希望が持てるようなOB・OGの講演など。明るく生きていけるような現実には生かせる話を聞ける機会があればと思います。
15	進学を考えた場合、現実的には学習塾の受講が必要であり、負担が大きい。
16	将来を生きていく為に、自分で考え、それを伝えたり、共有したり、ぶつかりながら生活する場を学校という集団生活の中で学んでほしい。
17	学力のみならず、職業への興味を持てる様な体験をもっとできたら良いと思う。
18	社会に出ると基礎的な学力は必要だが、人間関係や勉強以外のコミュニケーションなどのほうが必要だと思うから。
19	学校だけでは基礎学力がしっかりつけることができない為、塾に行かざるを得ない。裕福ではないが、そこにお金を使わざるを得ない。
20	勉強も大事だが子供らしく遊ぶ時間などの確保も学校と考えてほしい。・帰りがおそく宿題も多いと子供たちがつかれているから。
21	学校の授業についていけない子どもはそのままになってしまっていると感じるから。先生も、もどかしさを感じているけど、仕方ないと思っていると感じる。
22	学校では先生方は必死に子供たちの事を考え対応していただいておりますが、先生の業務過多でそこまで手が回らないと思う。
23	スマホなどの普及によって、人と話をするということが苦手な子とかが多いような気がするのでコミュニケーション能力が不安。
24	小さな子どもがいる家庭への支援も必要だとは思いますが、高校・大学時代が一番お金がかかる。教育費の補助を拡充してもらいたい。→無償化。経済格差が教育格差を生んで、(塾に行ける子が良い大学へ行ける等) 子どもたちに平等にチャンスを与えられていない。習い事をたくさん出来る。お金がかかるからあきらめる。
25	個人の学力や能力に応じた指導をする授業やクラス分けが小・中学校でもあれば良いと思う。
26	残念ながら、子供の学力と親の経済力は比列していると思う。どの子にも等しく学ぶ機会があるように支援があれば良いと思います。
27	タブレット授業により学力の低下を感じる。タブレット内にあるゲーム等の使用についてもっと制限し、学力を上げて欲しい為。
28	少人数制にして個別性を時間をかけ対応できる教育を希望したい。クラス人数が多く、先生の負担が大きすぎると感じる。
29	勉強以外で、もっと学ぶことの方が多い。将来の為、障害のあるこども達への関わり方、昔とちがいで、周りの理解も必要。先生の最近の情報が少なすぎて、昔の知識しかない。

= 「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由 (82 件) =

「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由について、出産が可能な産婦人科や小児科が少ないといった病院に対する意見がみられる。

1	小児科が少ないためいつも混雑している。出産できる産婦人科が少ない。
2	小・中給食費無償化。制服や諸経費の減額もしくは補填。一度にかかる金額高いと夏服あきらめたり（制服）すると思います。
3	夫婦とも広島県外に実家があり、夫も仕事上、長期不在が多く、ワンオペで子育てをしてきたので、つらいときにすぐ預かってもらえる場所がほしかったから。
4	医療費の補助が18才まで拡大される事も確かに助かりますが、それよりも病児保育を増やして欲しい。仕事をしている私たちからすれば、病気の子どもを預かって頂ける場所があると本当に助かります。でも今現在、病児保育は1ヶ所だけ。しかも預かれる子どもの定員数は非常に少なく、万が一、預かってもらえず、仕事を休まないといけないということも。受診料をなしにすることも大切ですが、病児保育の施設が充実していなければ、働くことができないので、子育てしながら、働きやすい環境をしっかりと整えてほしい。
5	ひとり親家庭ばかり支援が多いと感じる。休むヒマなく働いて稼いでいる家庭には何も支援がない。
6	小児科が少ない、あっても多く待ち時間が長いため、あきらめてしまうこともある。
7	幼稚園に入れる前、親子で遊びに行ける場所（幼稚園や保育所の園庭開放やくれくれぱ）があるのが、とてもありがたかった。親だけでは経験させきれない体験の機会を沢山与えてもらえた気がするので、それがより充実すると嬉しいなと思う。
8	ある一定の所得があると、受けられない援助が多い。今、所得はある程度あるが、将来のことを考えると、余裕があるわけではない。何でも所得制限がありすぎる。
9	少子化で子供を産んでいかないといけないのに、その環境が整っていない。例えば大学で奨学金を借りて、返済にいっぱいいっばいで、結婚して子供を産み育てるお金がない。
10	子供を産んで育てやすい環境だと思わないから。お金もかかるし、会社によっては休むこともできない。育休を取得する（利用する）と、周囲からの対応が変わる。子供を産む人数が増えるほど、支援（補償等）は充実してほしい。今の社会（政治では、少子化は解消しない）
11	私は未熟児を出産しました。体調もなかなか戻らず、気持ちも安定せず、分からないことを相談する場所も病院しかありませんでした。気軽に相談できるところが分かりませんでした。
12	所得制限を理由に乳児医療や児童手当を受けられなくなるのは疑問。父、母がそれなりの年齢なら所得が多くて当前。退年を迎える頃に一番お金が必要になるので、今のうちに蓄えたい。高齢で出産しても手当はもらえない。今はそれなりの収入があっても将来が不安です。
13	収入が多いからといって、乳幼児医療を停止され、困っています。固定費や奨学金の支払いが多くて、普通の世帯と使えるお金の額は変わらないのに…。子供は医療費予想以上にかかります。その為にカードローンも使ったりもありました。支出用途も知らないのに、配止は辛いです。国や市からの援助は、平等にしてほしい。
14	小児科も減ってきており、受診するところがなかったり、すぐにみてもらえないこともあるため。
15	妊婦の時は、気持ちが不安定になったり話ができる人（同じ気持ちの人）がほしかったから。プレママスクールに行ったので友だちができたが皆そうとは限らないと思う。医療費は子ども

	の時は、無料、もしくは500円にしてほしい。(18歳以下)自治体によって差があるのはおかしいと思う。
16	妊娠中のサポート(買い物・配食サービス)があると嬉しい。
17	妊婦時や産後等、メンタルが不安定になる事も多いので相談出来易い場があれば母親にもいい影響があると思うから。
18	子どもが多い家庭では、子ども1人あたりにかける時間とお金の手うすになってしまいがち。県としてもいろいろ支援していただけるとありがたいから。
19	小、中、高への入学時母子家庭への援助だけでなく、一般家庭へも援助があれば良いと思う為。
20	右も左もわからない母親をサポート厚く。
21	母子、だけでなく父子のための支援、子育てに参加しやすくする。母父で育てるという事をしっかり定着させる。
22	妊婦、産後は精神的に不安定になったためサポートの充実は大切だと思います。
23	子供(赤ちゃん)と過ごす時期はたくさんの悩み事をお母さんたちは抱えていると思うから。

= 「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」の理由(110件) =

「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」の理由について、子供が気軽に集まれる場所がほしいといった要望のほか、放課後児童クラブや放課後デイサービスについての意見もみられる。

1	放課後や土曜日に申請などしなくても子どもたちが集まれる、過ごせる場所があれば良いと思ったので。
2	仕事をしたくても、子供をみてくれるところがないと、できない。仕事をしていると収入はあっても子供を習い事に送迎する時間もないので、送迎のサービスや、保育所で習い事もできると助かる。お迎えの時間を気にして毎日仕事をしなくてはならない。
3	姉は小5。発達障害の子供(妹)(小2)がいますが放課後デイサービスの空きがなく(満員)なのでもう少し増やして欲しい。遠方は空いているが近隣は空き待ちだった為。
4	親がいつでも家に居られることもなく、親にもリフレッシュが必要。学童に行けない(親の就労が週3日とか)など、預かってくれる所がなくて困る。
5	広場や公園、自宅の前など遊んでも問題ない所で子どもたちが遊んでいたら近所の方から騒音扱いされてしまい、居場所を失っている。
6	延長、休日保育があっても、あずけるとイヤな顔をされる。
7	ずっとフルタイムで働いてきて、小学生に子供がなった時3年生までは私立の放課後クラブに通わせたが、4年生からは対象外で困ったから。(特に長期休み)
8	子どもたちがおもいっきり遊べる公園があれば嬉しい。ボール遊びなどを禁止している公園や小さな公園ばかりなので。
9	放課後児童会へ行けない子ども(集団生活が苦手。障害がある等)達の集いの場があればいいと思う。
10	放課後児童クラブの土曜日、夏休みの利用時間について。8時〜だと仕事に間に合わないのでは7時半がのぞましい。

11	今の時代、共働きで、友達と家で遊ぶ事ができない。外は夏は暑く危険。公園（近所の）で騒ぐと、地域の人におこられるから。
12	まんが図書館などあれば、勉強目的以外で子ども達もおだやかに自由に過ごせて良いと思う。
13	保育園や放課後児童会はもっとフレキシビリティに使えたら便利だし助かります。働いてなかったりする保護者（施設を利用していない）が、急な用事の時に一時預かり等があると助かったと今は思います。
14	残業や、警報などのために臨時休校になった時などに対応できる場所がふえると働きやすい。
15	教室での学習に適応できない子が安心して日中すごせる場所が、各学区1ヵ所以上あって、それで出席とみとめられるような施策を早急に作ってあげてほしい。それで授業が進まず、学校側や同じクラスの子も迷惑しているだろうけど、多分適応できない本人もつらいだろうと思うので…。
16	高学年になると児童クラブに入れなかったり、入れても行きたがらなかったりするの他の選択肢があると嬉しい。
17	“公園では、ボール遊びは禁止です。近所の人から苦情がきます”と学校で言われていて公園ですら自由にできなくて、私達が子どもの頃と放課後の過ごし方が違いすぎて、今の子ども達は自由に遊ぶこともできずかわいそうに感じるから。
18	保育園や児童会に入るのにかなり大変だったので、充実させてほしい。充実させるには増やすだけでなく、質をしっかりとものにしてほしい。
19	格差社会が広がる中で、塾や習い事に経済的に行けない子ども達が増えているので、放課後過ごす施設でその一面を支援できる場があれば。
20	駅前の旧商業施設を自由に使える図書館のようなスペースにして頂ければ…。図書館で勉強したくても、多くて座れないと帰ってくるがあるので…。
21	病児保育や、他に頼る人（子どもを預けられる人）がいなくても子どもをみてもらえて安心して誰でも働けるようになると良い。（働いていなくても預けられる場所も欲しい）
22	コロナ罹患後、半年間不登校が続いた。学習は自己学習でなんとか遅れずに過ごせたが、学校の代替となる居場所が見つけれなかった。子供の特性にあわせ、いくつか選択肢となるコミュニティがあっても良いと思う。
23	働き手不足と言われていますが、結局子供を預ける先が見つからず仕事する事を断念せざるを得ない話も聞きます。女性の社会進出、などと口当たりの良い語句を並べるだけで実際女性の負担は増えるばかりです。これでは若い世代は子供を持つのを迷うはず。親たちが安心して仕事をするためには、安心して子供たちを預けられる場所が必要不可欠です。それ無くして少子化に歯止めはかからないと思います。
24	身近な所に、生活が苦しいわけではないけれど、親の子育ての様子が見えない小学生の子どもがいます。家の外や公園でお菓子を食べる姿も見るので、誰にも相談できないような子が、家庭や学校以外で楽しく過ごせる場所があるならベストだと思いました。
25	仕事中に子供が家でゲームをしている事が多い。子供達が気軽に遊びに行ける集まれる場所があればいいと思う。公園は天気や気候に左右されるので（夏の暑さとか）夏休みなどの長期休暇にも使える場所があって欲しい。放課後児童会に行っている人と行っていない人で分かれるので友達が行っていないからなかなか一緒に遊べないので、気軽に行ける所が欲しい。

26	両親共働きなので、家で留守番させなくてもいいような施設があれば助かる。(児童クラブの内容を充実させてもらえれば助かる。習い事など)
27	勉強は学校で学ぶ事ができますが、体を動かす体育の時間などは学校では限界があります。体を動かす事を重視した専門的な方に教えて頂ける様な放課後クラブがあれば通わせたいです。
28	成長するにつれ、親子で一緒にいる時間は少なくなりますが、その分、地域の方々と交流をもつなどして、社会全体で子育てを見守っていただけると心強いです。
29	学校に行けない子、不登校になっている子が(とても増えています)多い。そうした子どもたちが安心して、自分らしくすごせる場所や、その運営資金にもっと行政は手厚くなるべきだと思う。

＝ 「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由(195件) ＝

「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由について、急な休みや有給休暇が取りにくいといった職場環境に対する意見のほか、自身のライフスタイルに合った働き方がしたいとの意見もみられる。

1	正社員でないため、産休、育休がなく、妊娠＝退職となる。そのことで、本当はもう1人子どもが欲しかったのに産めなかった…ということもある。正社員でなくても、また復職できるシステムにしてもらいたい。
2	学校の登校時間が親の仕事の開始時間より早い場合、子供の登校を見守れない。子供が小学校中学年くらいになると、体調不良でも休みにくい。
3	親が働きやすく、休みやすい環境で、経済的不安なく生き生きと生活できれば、子供たちはそれで安心して生きることができるから。
4	職場の雰囲気や人数が足りなかったりなどの理由で、子どものために時間を取りづらい環境だが、それが改善されるのは、いつになるだろうと考えると、今の職場ですっと働き続けるのは難しいと思った。
5	仕事で遅くなる場合、子供達のみで留守番をさせなければならず、空き巣とか付きまといが怖い。子供に何らあった時にどうしたらいいのか分からない。
6	子どもの病気(通院など)で年10日しかない有休を使わないといけない→参観日や体育祭などの行事に使えなくなる。何か、対策などあれば良いと思う。わが家は、子ども大きく特に困ってないが、母親が仕事と子育てで大変だと思う。小さい子を持つ家庭で3人子どもいる家庭など。シングル家庭の有休を増やす、等。
7	広島県に限らず、全国的に、子どもをもつ女性が働くことはすごく大変です。長時間働いても、家に帰れば子どもの世話、家事または介護があります。たくさん働きたい人、自分の生活を守りながら働きたい人、希望に添うような働き方が出来ればと思います。
8	子育てをしつつ働いてきて今まで職場と合わず転職してきた。急な子供の体調不良に理解のない所がまだ多いと思う。
9	年齢や時間によって職種が限られたり収入が減るのが、きびしく感じます。もう少し中高年の再就職をしやすいうようにサポートして頂けたらと思います。
10	両親が他界している為、誰にも子供をあずけたりする事が小さいころから出来ず2人でやってきたので会社を休んだり途中で帰る事が多く迷惑をかけているように感じていて、働きにくかった。

11	家事や育児で平日昼間2～3時間ぐらいであれば働けると思うが、働き先を見つけるのが困難。パソコンで家で仕事できるととても助かる。
12	仕事と家事の両立はしたいが、その分の負担は若い子達にもいくので、育児や子育てしやすい環境は必要だが、その負担をになう人達にも配慮が必要。働く時間をその日で開始時間を変えたりできるとライフスタイルにあった働き方もできる。例えば母は朝早めから働いて、父は朝遅めから働くなど…。親が安心して働けるように、子供の安全の確保。(通学路の不審者対策、地域での見守り等)
13	子の体調不良時、休むと伝えると嫌な顔をされることが多く、心がしんどい。たまに「仕事お休みしてほしい」という子どもを母にあずけ仕事に行かなくてはならない。子を1番優先にしたい。
14	子どもの学校行事や、急な発熱など、まだまだ職場に言いにくい面がある。母親の負担が多い。(共働きの場面)→父もできれば休んで欲しい。
15	仕事をしながらでも学校と連絡をとる方法に工夫してほしい。メールやLINEなどの電話が5:00までだと仕事終わりに一切連絡できないし、予定表が紙だと子供が出さないのて全くわからないまま。スマホで確認できるようにしてほしい。1ヶ月前のおしらせでは休暇が取れないのでもっと早く知らせてほしい。
16	子育ては母親がすべき、という風潮がまだ強いせいか、母親は子供の都合を考えて(休みが取りやすい、とか)就探しをしなければならない。父親も当然のように、子供のために休んだりできる社会になってほしい。
17	子どもが病気になった時、休む時「すみません」と言ったり言われるが、休む=悪い事に思わない様、職場で助け合える環境が当たり前になればいいです。
18	子供の病気などで、仕事を休まないといけない場合、給料も減る。収入も下がって不安な生活をしないといけないので家でできる仕事などの拡大や職場でのワークスペース確保などあれば嬉しい。
19	習い事の送迎があるため、正規雇用よりも、平日昼間短時間・希望曜日が選べる求人がほしい。
20	正社員で働きたくても、子供がいると休まないといけない時があるのでパートしか出来ない。パートでさえ、休みをとれない時もあるので。
21	子供の学校行事・病気に患った時に、休みずらいため、休暇をとりやすくしてほしい。医療関係の仕事時間も自由に選択できる環境にしてくれると働きやすい。
22	子どもが体調を崩したときなど、休みやすい環境があれば嬉しい。夏休みとかの利用できる場所や食事の提供。(格安で)
23	職場環境は、自営業なので、関係ない。仕事休めないのて、子供と過ごす時間がない。自営業者にも優遇される制度がほしい。
24	子供を産んで育てやすい環境だと思わないから。お金もかかるし、会社によっては休むこともできない。育休を取得する(利用する)と、周囲からの対応が変わる。子供を産む人数が増えるほど、支援(補償等)は充実してほしい。今の社会(政治では、少子化は解消しない)
25	平日の学校行事に参加するためには会社を休む必要があるが、有休だけではとても足りない。子供の数に対応して増やすなどしてほしい。欠勤ばかりになり、給料が減り、生活がきびしくなる。
26	週4回以上の勤務でないと放課後児童会に入れず、働きにくい。4回以上入ると家族との時間が思うように取れないので、しばりをなくして欲しいです。

= 「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由 (96 件) =

「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由について、ボールや遊具を使った遊びができる公園を増やしてほしいといった公園に対する要望のほか、学校や商業施設等の整備に対する意見もみられる。

1	最近公園でもボールが使えない。大声を出してはいけないなど規制が多く、子どもの居場所がない。
2	ボールを使った遊びをできない公園が多いので、ボール使用可の公園を増やしてほしい。
3	防災・防犯・交通安全…もしもの時に備えて、行動出来るようにしっかりと覚えていてほしいから。
4	豪雨災害を経験しているので、家庭、学校、地域で防災について取り組むことの大切さを実感しました。
5	放課後教室など、地域の人達とのコミュニケーション、誰でも参加できる教室や、子ども食堂など。
6	近年、公園等でのボール遊びが禁止の場所ばかりで、子供達がのびのびと野球やサッカーが出来ない。出来る施設を増やしてほしい。
7	家の前の道路が、バスも通るし、車もよく通るのに、歩道がなく、子供たちが通学する時が危険に感じる事があるので、歩道を確保してほしい。
8	公園でのボール遊び禁止をどうにかしてほしい。どこでボール遊びをしたらいいのか？地域の高齢者が常にキレイにされて、そこをよごされたくないために、子供達は気を使って遊べていない。地域の高齢者がキレイにして、自分たちが座って、たまり場になっている。それが悪いこととは思わないが、ボールを使って遊べない子供達がかわいそうに思う。
9	小学校のトイレが和式のみ（一部洋式もあるが教室からは遠い）なので、足を骨折した時など不便に感じた。エレベーターがあるととても良いと思います。
10	昔のように、小学校を放課後開放したり、遊び場を増やしてあげてほしい。遊び場が少ないと感じる。
11	最寄りの駅にエレベーターや、ホームを渡る通路に屋根がなく、ベビーカーで大変な思いをしたから。
12	外で遊ぶには夏は、暑すぎて熱中症が心配。子供達も暑いし（夏）公園や学校など遊べる場所が少ないと話してます。スーパーで暑さや寒さをさけ遊んでも迷惑をかける。（うるさい等）そういういみで、環境の整った遊ぶ無料の場があった方がよい。
13	呉市内の駐車場はとても狭い所が多く、子育て中のファミリーカーでは駐車が難しいと感じ、市内への出掛けをあきらめることがある。中通りへ出掛けることが少なくなっていてとても残念。
14	公園があっても「ボール遊び禁止」などのルールがあり、あまり使えない公園が多い。
15	病院へ行くため、バスに乗ろうとした際「ベビーカーをたたんで下さいと」アナウンスされ、バスに乗るのをあきらめた事がある。
16	地域の公園以外で子供を連れて遊べるような施設は、どこも車がないと行くのが難しい場所ばかりで、公共交通機関を利用して行くことのできるところが呉市内には、美術館くらいしかないで、公共交通機関の拡充や施設の立地を考えてほしい。

17	家の庭や近所の公園で遊んでいても、周辺の住民から苦情がきて、遊ぶ場所がない為。(ボールの音や声がうるさいと言われる)
18	公共交通機関でのベビーカー使用するママに対する暴言などのニュースも観る度、子連れのママ達が、気がねしたり、肩身の狭い思いをしたりする事がないようにしてあげて欲しいです。
19	医療費、給食費の無料。中学校で給食がないのが不思議(提供してほしい)。子連れ施設や、お店の増加。
20	古い小学校はたてかえを検討したり、バリアフリーに対応できるように整備したほうがいい。
21	①雨天時の転落防止、脱輪防止のため、呉市の側溝全てに蓋をしてほしい。小さい子や認知症徘徊者の転落防止になるし、雑草が側溝内で逞しく育つのを防げるから。②住宅地そばの交通量が多い所に歩道をつくってほしい。子連れで出歩けないし、子供たちの行動範囲も制限されているので。
22	公共施設こそバリアフリー化等進んでいますが、まだ社会は子連れNGの所があります。0にしろとは言わないけど、子どもに寛容な社会となるよう行政が導いてほしい。
23	困っていても、どこにどう相談すればいいかわからない親子もいる。SSWの数を増やす等できないものか…。
24	子どもが、公園でのボール遊びなど制限があり、のびのびとあそべる場がない。子どもにばかり我慢させている。
25	スーパーや、大型のショッピングモール以外でも授乳や、おムツ替えできたり、小さい子供がトイレに行きやすい所がもっと増えたらいいと思います。
26	アレルギー対応してくれるスーパーや食事場所があるとすごくたすかる。現在は、商品がなかなか1ヵ所で手に入る事が少なく、商品そのものが少ないのでこまっている。
27	防災活動。今も学校で教えてもらっている。必要であり感謝している。
28	情報社会でいろんなものやいろんな人がまざりあって犯罪が分かりにくくなっている。その予防として。
29	ボールあそびできない公園が多く、また、小さい子がいれば遊べる内容も限られているので…。小・中学生が体力をつちかえる場所を作って欲しい。
30	子供をつれていきやすい場所や、無料までとはいかなくても格安で、体験できるサービスとかがあれば利用したい。
31	学校までの道がなかなか整備されず毎日遠回りで通学している。近くにスーパーがない等、問題がある。

= 「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」の理由（79件） =

「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」の理由について、親や子供からの救いを求める声に気づけるような対策を考えてほしい、原因の対処をしてほしいという意見がみられる。

1	テレビで虐待されて亡くなる子供達のニュースを観る度、痛まれないです。児童相談所は何の為にあるのか。対処出来ないのなら、ある意味がないと思います。
2	子供自身ではどうしようもない（対応できない）問題であることと、とても深刻な課題だと思うから。
3	児童虐待のニュースを見るたびに、子供をもつ親として、すごく心が痛くなります。大変なことになる前に、親からのSOS、子供からのSOSに気づけるように、何か対策を考えてほしいです。
4	他の項目は、十分に施策がなされていると感じるから。選んだものに関しては、問題が潜在的なものであるから。
5	児童虐待される子の援助も大切だが、児童虐待する親の背景の苦しさを手助けできる仕組みと心を持った専門員が欲しい。親を助けると苦しんでいる子どもが少しでも減ると思うから。
6	TVでこのニュースが一番つらい。「前兆があった」事がいつも多いのでどうにか防げたらと思う。広島県は少ない県であってほしい。
7	子どもへの虐待の原因の一つに、夫婦間の問題もあると思う。親が何故虐待してしまうのか、それを探って解決していかなければならないのではないかな。
8	ニュースなどで児童虐待の事件を見て、広島県でも苦しんでいる子供がいるかもしれないと思ったからです。
9	痛ましいニュースが多いので、そんなことが起きないように、もっと踏み込んで防げるといいと思うから。
10	ニュースなどでつらい環境の立場に置かれている子供さん達がいることを知り、どうにか出来ないものかなと思う為。
11	毎日のようにニュースで幼児、児童虐待のことを耳にすることに心を痛めています。
12	児童虐待のニュースがあまりにも多く、その背景には何があるのか早急に対処する必要があると感じる。私にも何かできる事があればいつも心を痛めている。（ボランティアに参加したいが広島はあまりない）
13	相談・通報しやすい施設が必要と考える。警察では少し気が引ける。厳しい処分も必要。抑止力につながる。
14	なんとか子供時代に愛されて自分は必要な人間だということを感じられる環境を作ってあげたい。子供はつらい思いや悲しい思いをしてはいけない。
15	いつの時代も大人に威圧されることなく、心身共に気力、体力、精神力充実した子供達に成長させて欲しい。
16	小さな命が失われる報道が多いため。子ども達が救われる環境が必要だと思うため。
17	子どもはもちろんだが、親（特に母親）が苦しんでいることも多い。どちらも助けてほしい。虐待は特別なことではない。環境や状況によって誰でもそのハードルを越えてしまうおそれがあるから。
18	家庭に不満をもっている家庭（子供が愛情を感じとれていない）が増えているように感じる。それが学校内でのいじめなどにつながっているように感じるから。

19	ニュースでよく見るから、表に出ているのはわずかで水面下ではもっとあると思う。家庭だけではなくスポーツの指導（スポ少のかんとくなど注意かんきしてほしいです）でもまだある。
20	全ての人間にあってはならない事ですが子供の場合、大人になった時に子供に自分の追体験をさせる事が多いから。
21	命ある全ての子供達が、知らないところで辛い思いをしているなんて耐えられません。全ての命を大事にしてほしい。
22	孤立した母親の矛先が子供に向うのは親の周囲の責任もあると思う。又、虐待報告の敷居が高いのではと全国的に思う。
23	両親にゆとり（心の）がないと虐待はなくならないと思う。0才～6才まで、何かしら義務があってもいいのかと。（ずっと家の中にいたらわからないので）

= 「家族と暮らすことのできない子供への支援」の理由（29件） =

「家族と暮らすことのできない子供への支援」の理由について、里親の制度の見直しを求める意見がみられる。

1	まだまだ十分な支援がされているとは思わないから。特に人材不足。
2	子供が欲しいのにできなくて、でも子供を養育したい人はいるのに、厳しすぎて里親になれない人がある。もう少しハードルを下げるとか、今の時代に合った制度に見直した方が良いと感じる。
3	ファミリーホーム支援について興味があるが詳しく知らない。
4	親と暮らせない子が少しでも充実してすごせるようにしてあげたい。
5	施設では18歳（高校卒業）で退所しなくてはいけない決まりがあったと記憶しています。進学したい優秀な子どもが就職しなくてはいけない状況で、子ども達にとって厳しい状態だと思います。
6	育ってきた環境で、自分の子供、孫の生き方も決まってくる。抜け出せるような支援を。
7	悲しい思いをする子供が少しでも減りますように。
8	色々な事情で両親と過ごせなくなっている子ども達にも、愛情を感じられる場所・人との出会いを作って欲しい。子どもの頃に受けた愛情は大人になる中で必須だと思っているので！！
9	寂しい思いをしている子供を救ってあげたい。
10	自分もそうだったから。助けてほしかったから。
11	子供は宝。もっと子供の時から里親支援とか学ぶべきだと思う。
12	人として生まれてきたのなら、親が子を想う無条件の愛を知って育てて欲しい。
13	ニュースなどでつらい環境の立場に置かれている子供さん達がいることを知り、どうにかならぬものかなと思う為。

14	子どもたちが素立ったあと、自分自身が何かしら協力させてもらえたら、と思っている事柄なので。
15	個人的にも何かできる事がないか考えることがある為。
16	さみしい想い悲しい気持ちを少なくして育て欲しいから。
17	家族の元で生活できないという事がどれ程辛いと思うのでしっかりフォローしてほしい。
18	産まれた場所によって環境には不公平がありますが、子供の力だけでは、抜けだす事は不可能。助けたいですね。

＝ 「ひとり親の子供やその家族への支援」の理由（50件） ＝

「ひとり親の子供やその家族への支援」の理由について、支援制度について改善を求める意見のほか、ライフラインに対しての補助がほしいとの意見もみられる。

1	女性ひとりの収入にはかぎりがあるから。基本給が、まったくちがう。でも、何個も仕事をかけもちするのは、精神的にも大変だから。
2	呉市もフードバンク、食料、日用品の無料配布をして欲しい。取りに行けない人には配送して欲しい。その制度があれば少しは助かる。子供食堂にも行きたいけど、時間と場所と曜日があわなくて行けない。児童扶養手当がだんだん少なくなって苦しい。減額しないで欲しい。
3	お金が必要だからがんばって仕事をしているのに、働いてかせいだ分以上の負担が多い。
4	年収の制限で手当がもらえず時々しんどいから。
5	特別児童扶養手当の審査が厳しくなったので、年に1度の審査が不安です。一度対象外になった時があります。母子家庭では特に配慮していただきたいです。将来本人が働けるかもわかりません。私が倒れたらお金しか頼れません。
6	生活保護と児童扶養手当でだけじゃ足りない場合もある。
7	所得制限の枠をもっと下げて欲しい。親がひとりしかいないので病気になっても医療費が気になり病院へ行けない。
8	児童扶養手当の所得制限をなくしてほしい。もらえる収入では子供は進学できない。
9	父子家庭への支援が不足、理解が少ないと感じる。
10	同じひとり親であるのに、所得で対応を変えるのをやめて欲しい。
11	ひとり親で大学に行かせたり、大学に行かせる為の塾代を出せるくらい家庭が多いと感じない。その支援をしてほしい。中学、高校、大学、一番お金がかかる歳の支援が少なすぎる。
12	ひとり親だと稼ぎに限界があるから、支援がほしい。（子の体調不良で長期休みを取らないといけなくなった時など）
13	ニュースなどで見ていて、生活するのがとても大変そうだから。
14	親の苦勞が多いと想像できるので少しでも楽に子育てできるよう支援してほしい。

15	ひとり親家庭はどうしても収入が少なく、生活費だけでギリギリの生活になってしまう。水道、電気、ガス等のライフラインをもう少し支援してもよい。
16	母子家庭で育てており、支援金等があっても、数字でのみ評価されて苦しい実態を国は理解出来ていないと感じたから。
17	ひとり親世帯。受けられる支援は平等にしてほしい。頑張ったら受けられない制度が多すぎる。(頑張ると子との時間が減る。)
18	物価が上がっているのでひとり親の支援における所得制限を引き上げて欲しい。
19	養育費をとりきめをしていても結局払わない方が多いので、行政として、しっかり払ってもらえる環境作りをしてほしい。高校、中学になると、お金がかかるので、育てている方がしんどい。男性の方は払わないで、自分の自由にお金が使われていて、不公平。
20	仕事をしていて早く帰った子供が1人で家で待っている→小学校みたいに児童会もないので大きい子供でも安心して過ごせる場所があるといい。
21	子供を進学させたいと考えた時、児童扶養手当を利用できる収入の範囲内では到底ムリ。1人でたくさん働いてがんばればがんばる程、制度は利用できなくなる。もう少し収入の基準を増やしてほしい。一人で頑張っても報われない。子供の将来のためと思うが辛いです。
22	年収を上げて努力しても、支給額等減では社会に貢献する働き方しているのに疑問を感じる。
23	ひとり親の家庭では、仕事やお金がないために、基本的な生活ができない現状や手助けがないために、子どもがほったらかしになったりすることもあり、学校へ行けない、進学できないなど、選択肢が減る傾向にあると思うから。
24	ひとり親として3月まで生活していたが、呉市のひとり親申請等手続きがアナログすぎて、働きながら更新したり届いた手紙に難しく書かれた文面、全てが面倒でした。市役所に行く時間の余裕がとれないことを理解してもらえていないことに残念でした。

= 「障害のある子供やその家族への支援」の理由 (103 件) =

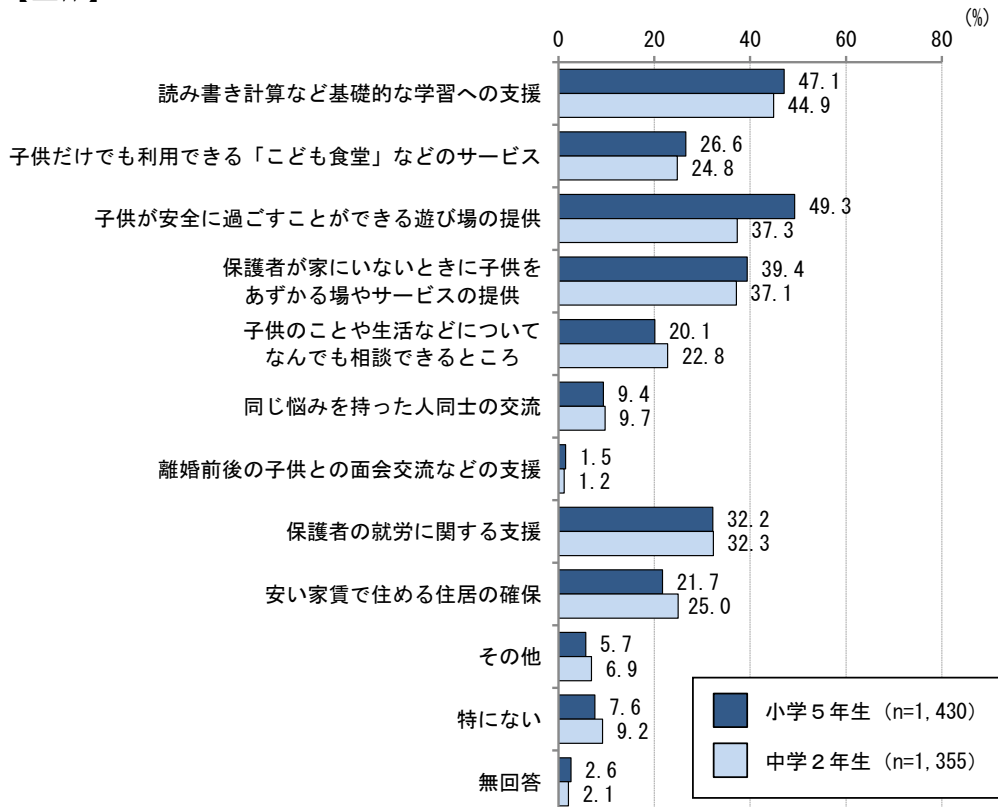
「障害のある子供やその家族への支援」の理由について、グレーゾーンの子供に対しての支援の充実や障害に対しての理解を求める意見がみられる。

1	重度な障害じゃない子にも行きやすい場所がほしい。
2	我が子に発達障害があり色々と悩みはあるが相談出来る場所が無い。親や本人以外の兄弟などの支援も必要だと思う。
3	目に見える障害だけでなく、ADHD、自閉症、少数派の子供たちにも配慮してほしい。とり のこされ、悲しい思いをしないように
4	障害があるかと思った時、まずどこに相談していいのかわかりづらい。窓口を一つにしてほ しい。
5	福祉サービスもだが、発達に関しての相談窓口の充実と個別の対応をしっかりできるようにし てほしい。
6	発達障害を疑われる子供たちを診てもらえる病院がそもそも少なく、困っている方をみたため。
7	障害がある子の高校卒業後の受け入れ先が少ない。グループホームなど宿泊施設が少ない
8	実際にその家族と関わった事があり、凄く大変なのを見てるから。
9	障害がある子を育てていると、働くのが難しかったりする。子供によって違うんでしょうが、 送りむかえなど、時間が子供中心になってしまうので思うように働けない。
10	障害者手帳などを持っていない子ども達（グレーゾーン）が行ける学校や就職先などがあれば いいなあと思います。
11	必要な情報を得るために各家庭でかなり努力しなければならない。専門的に総合的にサポート してくれる組織を作ってもらいたい。負担が多くて仕事を続けられなかった。医療福祉サービ スの所得制限を撤廃してもらいたい。時間的にも金銭的にも障害を持つ子の世帯への負担が大 きいと感じている。
12	知的障害があり、支援級ですが、中学校に進学するのに、特支は難かしいと言われ、学区内の 中学の支援級しかないのかと思うと不安。もっと、中間の様な場所があればいいのと思う。 選択支が少ない今の状況、子供の将来に不安を感じる。
13	わが子に障害があるので、将来、就労や生活の事を考えると、今の社会だと不安。
14	障害のある、子供さんがいるご家庭を知っているが、お母さんが時間におわれていてとても大 変そうです。
15	もっときめこまかいサービスを充実させてほしい。（障害認定されていないが不安定な子の支 援など）
16	放課後デイサービスを利用したくても、特性にあった対応ができる事業所が少ない。
17	障害者の方が働いている作業所近くで働いてます。皆さん、明るく楽しそうに毎日通っている 姿をみるとこちらも嬉しくなります。このような施設がもっと増えれば障害のある方の雇用も 増え、家族の方も幸せなのではないかと考えます。
18	児発や放課後デイの数が足りていないと思うが、職員も足りないため、対策してほしい。
19	子供に軽度の発達障害がある為支援センターに通っているが、空きがなかったりするから。

20	義務教育卒業後の社会参加に心配があるから。
21	障害者の賃金が安く、自立した生活ができない。雇用について支援が必要。
22	親が歳を取って老いてきた際に残される子どもを心配する親の話を聞いたことがあるため。
23	現在療育を利用させて頂いていますが、サービスを受けられるようになるまでの手順がわかりづらく、不安でした。
24	見かけで判断できない障害（発達障害）の理解がまだ足りないように思うから。
25	障害サービスの不足により抱えこんでいる家庭が多いと聞くので。
26	重度な子供にしか支援がない。学習障害やグレーゾーンの子供にもっと色々な立場の子供、親、家庭が相談できるところが欲しい。
27	障害のある子供たちもスムーズに社会参加できれば、家族の経済的・精神的負担が減るから。
28	知的ボーダー、発達障害児の中学卒業後の公立高校への進学に向けた支援や、高校での支援学級設置をしてもらいたい。支援学校にも高校にも行くことがむずかしい子の支援をおねがいしたい。
29	発達が気になるお子さんが増えています。どの子どもどの家族も生きやすい・わかりやすい社会になればいいなと思います。
30	障害の特性を持っているにも関わらず、気付いていない親が多い。又、どこに相談してよいか、どのように子どもと関わって良いか分からない親が多い。
31	義務教育終了後の進路の支援、療育手帳非該当のため支援学校進学や学力がなく高校進学ができない子の自立に向けた公立の進学先を作ってもらいたい。
32	障害がある子どもがいるが、毎月の病院受診、薬代以外にも出費は多いが療育手帳をもらえるほどではない。しかし、知的障害・身体障害の方には福祉や支援が手厚く、精神障害グレーゾーンと言われる方への支援は不十分を感じる。又、子どもだけでなく親も病気になり両親がそろっていても実際はワンオペ状態の家庭は、精神的・経済的・将来も不安しかなく毎日がいっぱいいっぱいな状況を知ってほしい。

保護者票問 35. 全ての子供たちが生まれ育った環境に左右されことなく、夢と希望を持って成長していくためには、どのような支援が充実するとよいと思いますか。(MA)

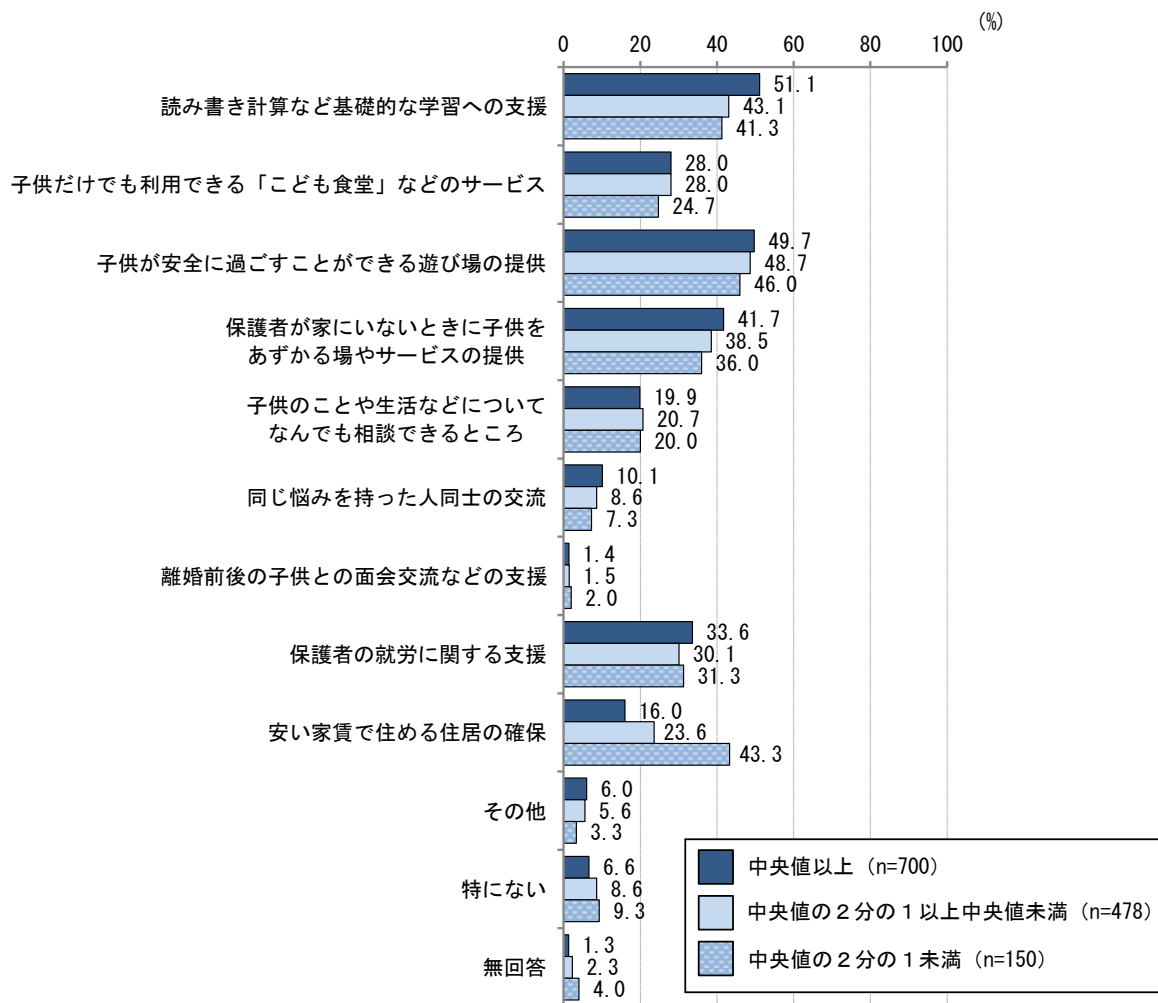
【全体】



充実してほしい支援について、小学5年生の保護者では、「子供が安全に過ごすことができる遊び場の提供」が49.3%と最も高く、次いで「読み書き計算など基礎的な学習への支援」が47.1%、「保護者が家にいないときに子供をあずかる場やサービスの提供」が39.4%などの順となっている。

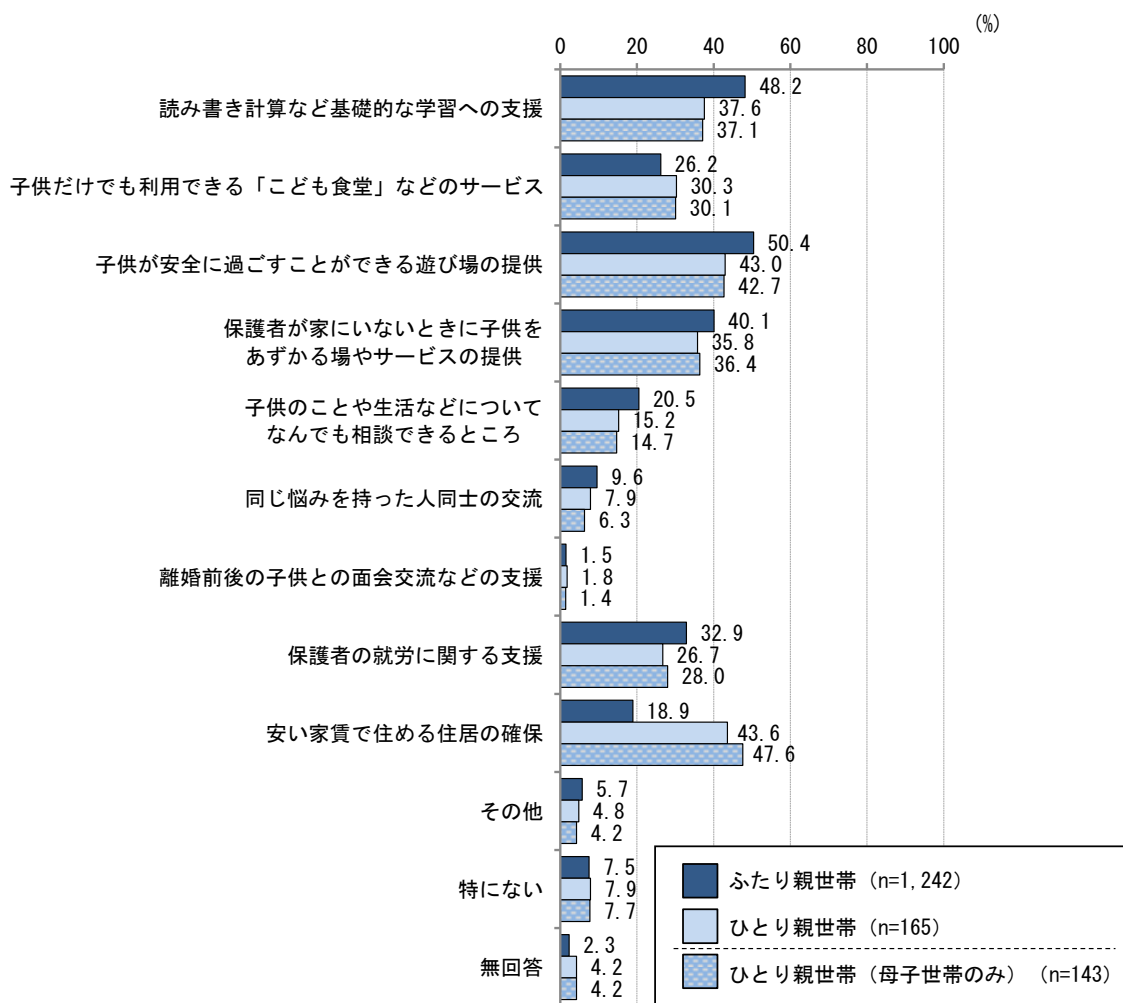
中学2年生の保護者では、「読み書き計算など基礎的な学習への支援」が44.9%と最も高く、次いで「子供が安全に過ごすことができる遊び場の提供」が37.3%、「保護者が家にいないときに子供をあずかる場やサービスの提供」が37.1%などの順となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



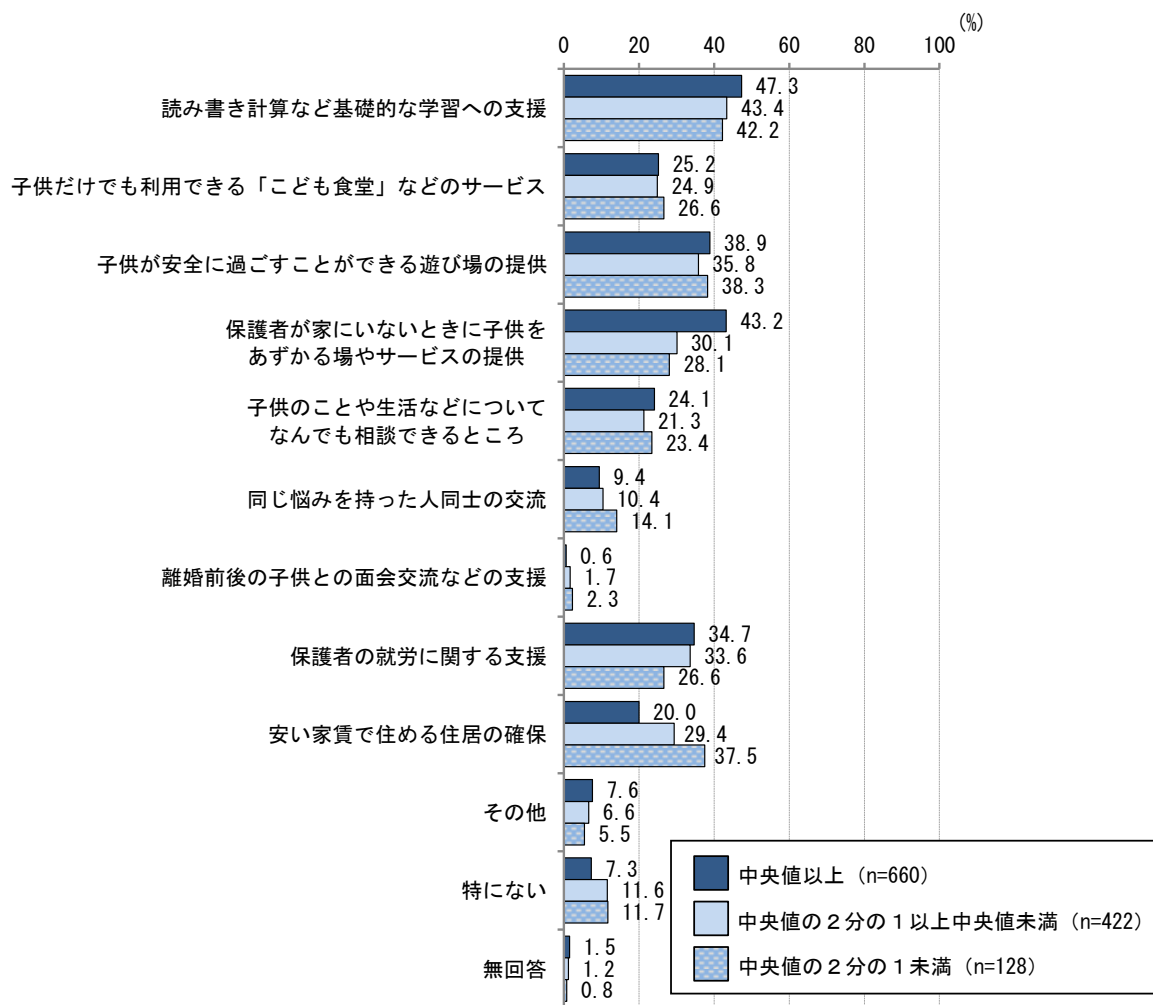
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「安い家賃で住める住居の確保」が43.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



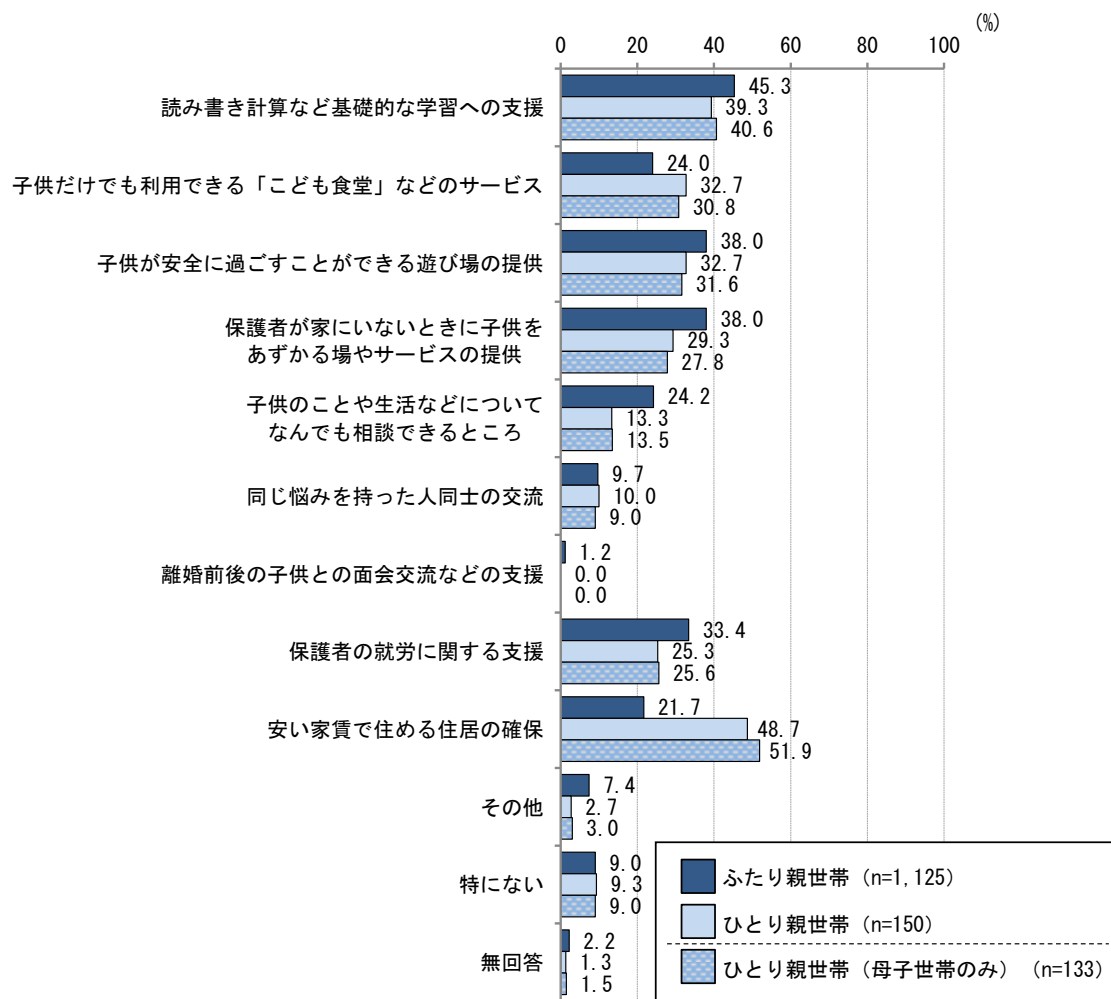
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「安い家賃で住める住居の確保」が43.6%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「安い家賃で住める住居の確保」が37.5%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】

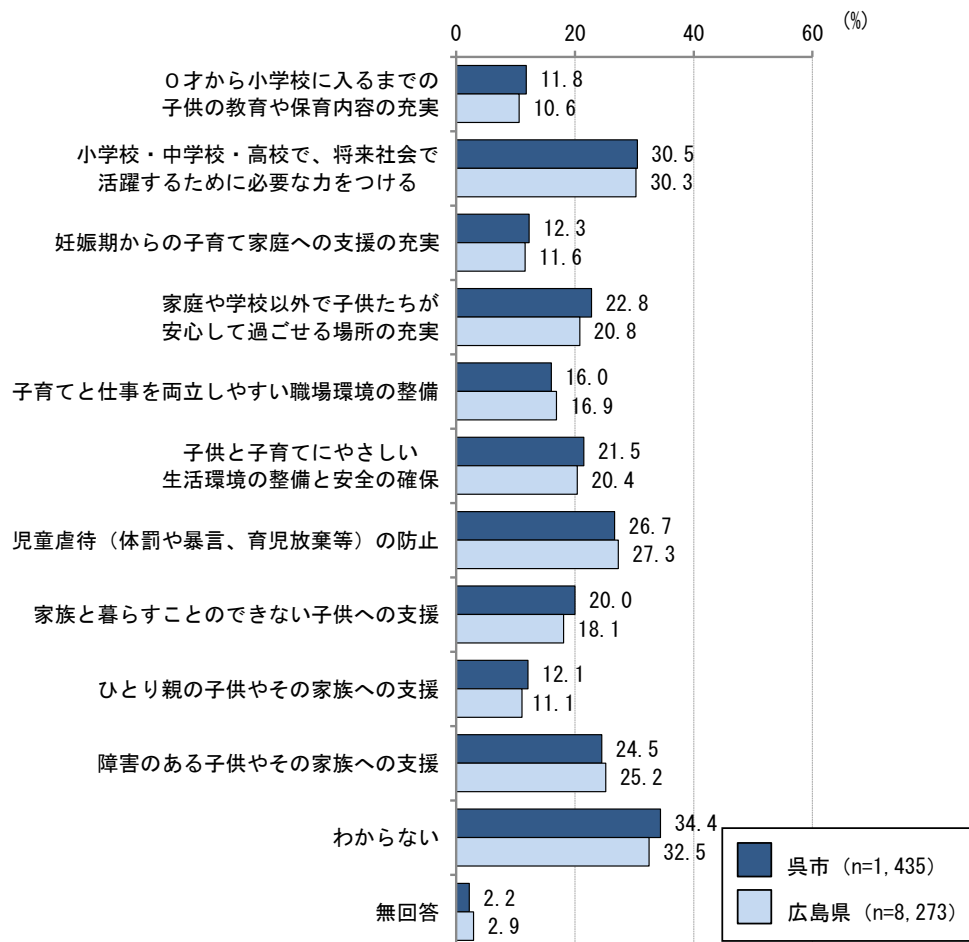


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「安い家賃で住める住居の確保」が48.7%と高くなっている。

(2) 子供の状況

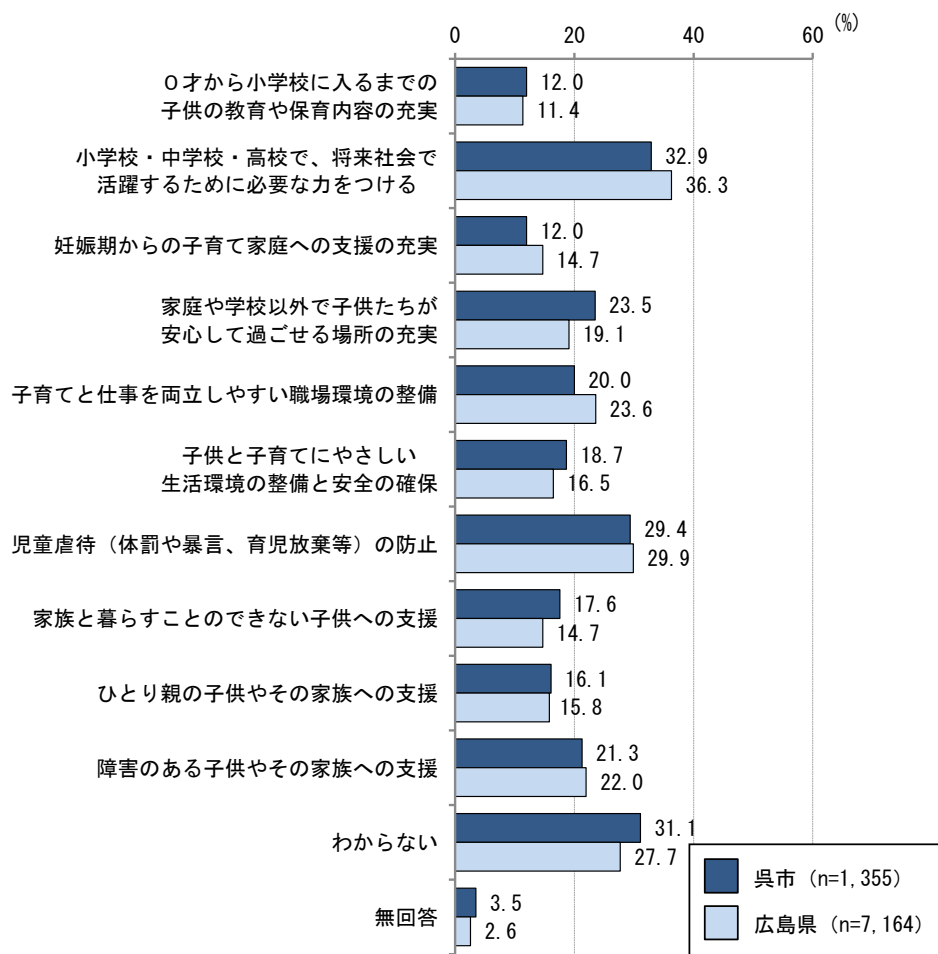
子供票問 24. あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

【小学5年生】



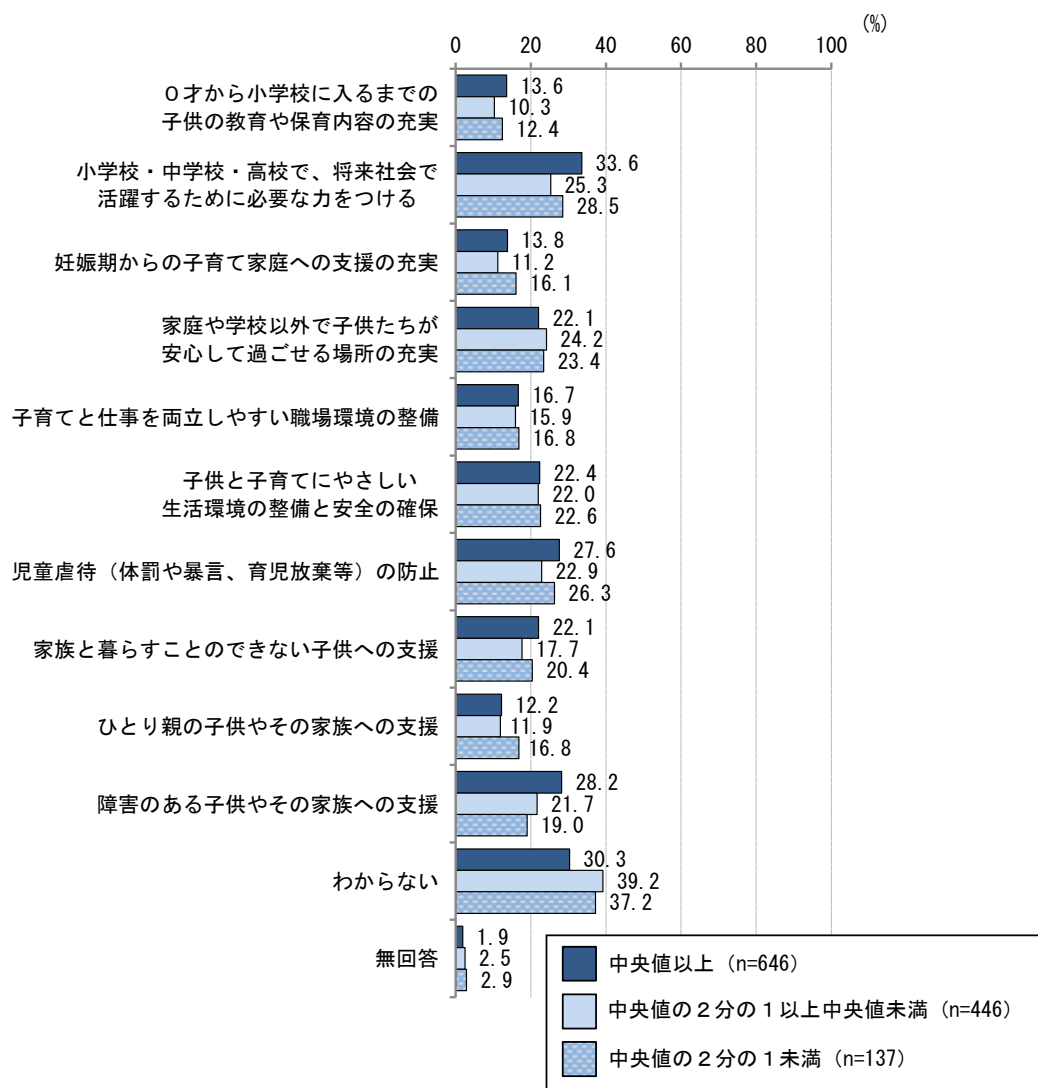
力を入れてほしい子供に関する取組について、小学5年生では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が30.5%と最も高く、次いで「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」が26.7%、「障害のある子供やその家族への支援」が24.5%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生】



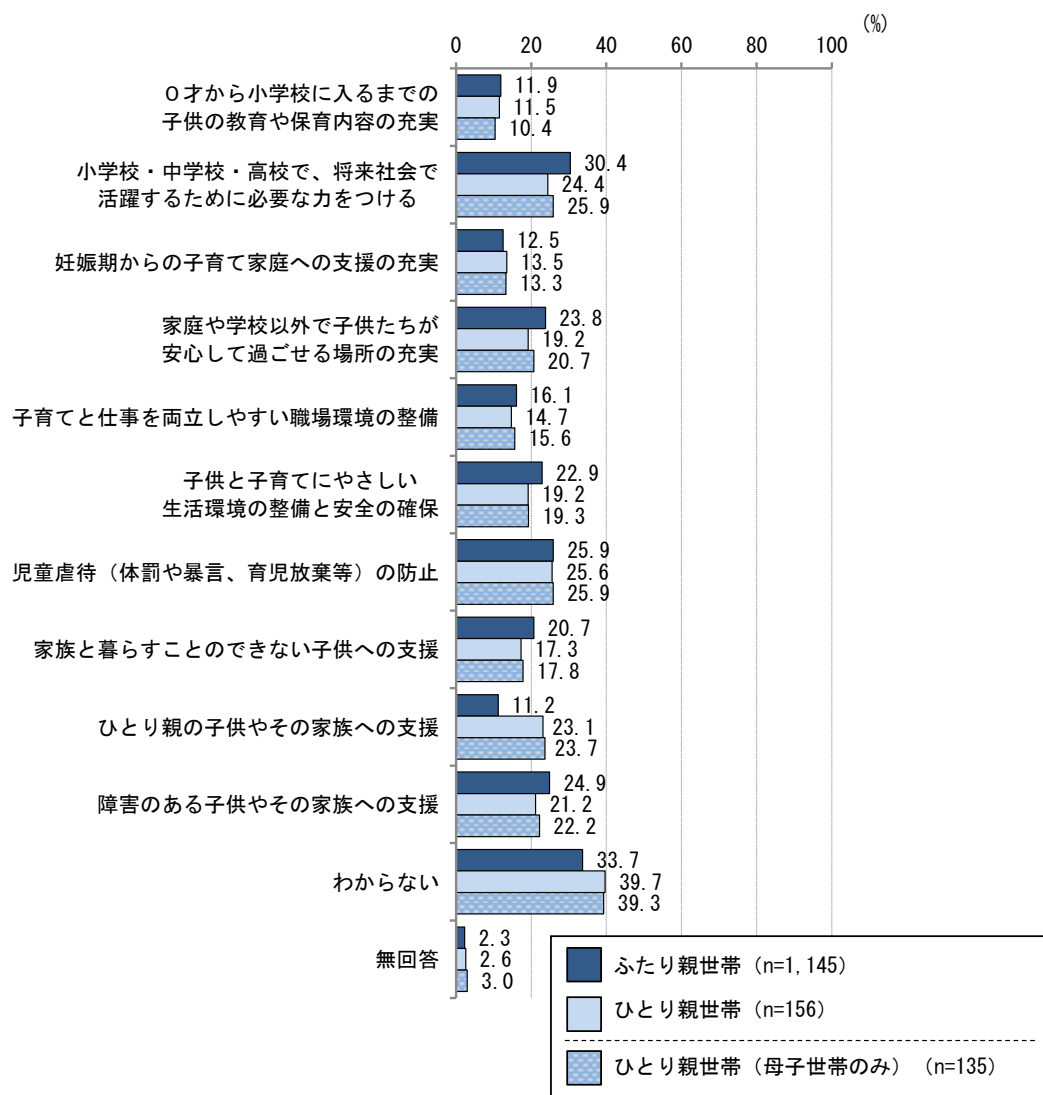
中学2年生では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が32.9%と最も高く、次いで「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」が29.4%、「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」が23.5%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



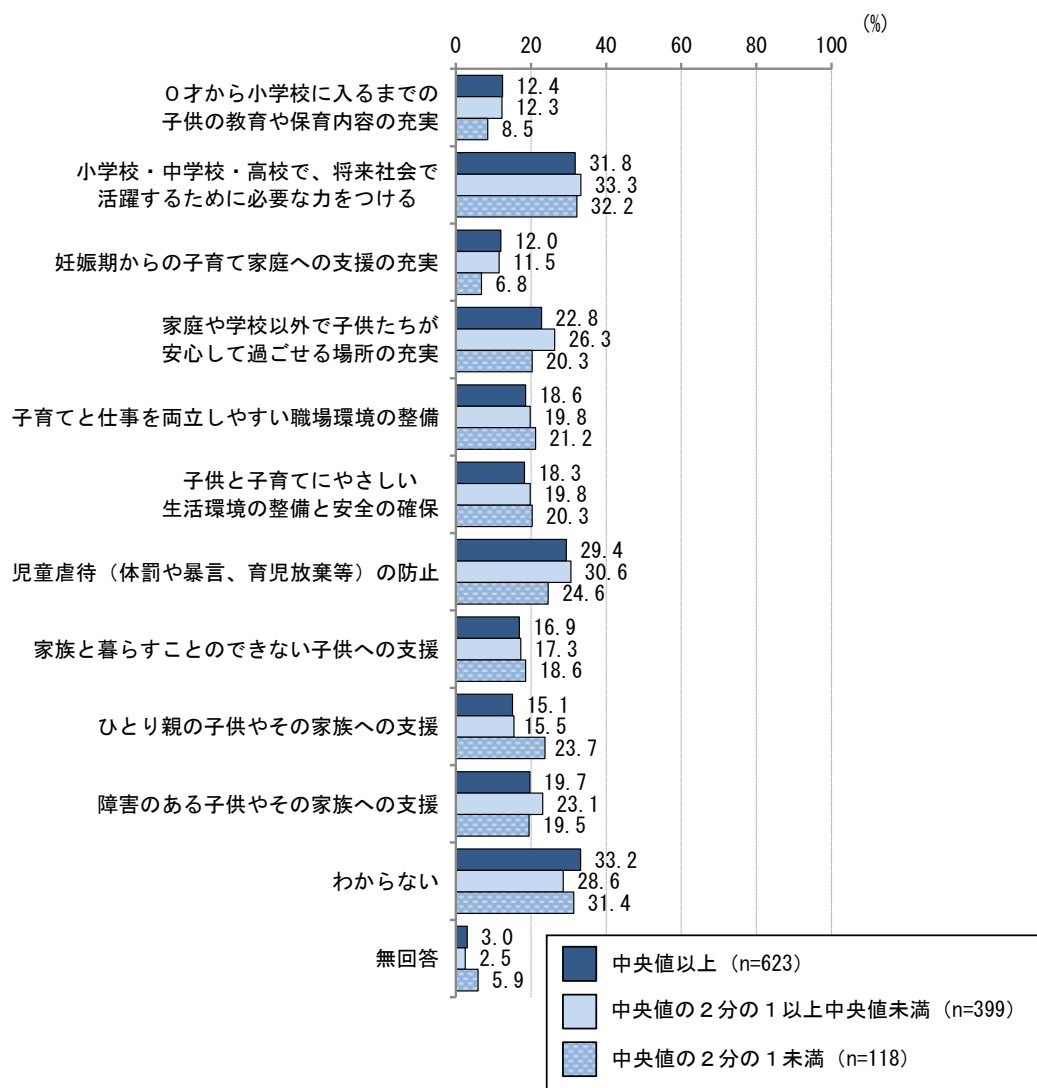
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」が22.6%、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」、「ひとり親の子供やその家族への支援」がともに16.8%、「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」が16.1%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



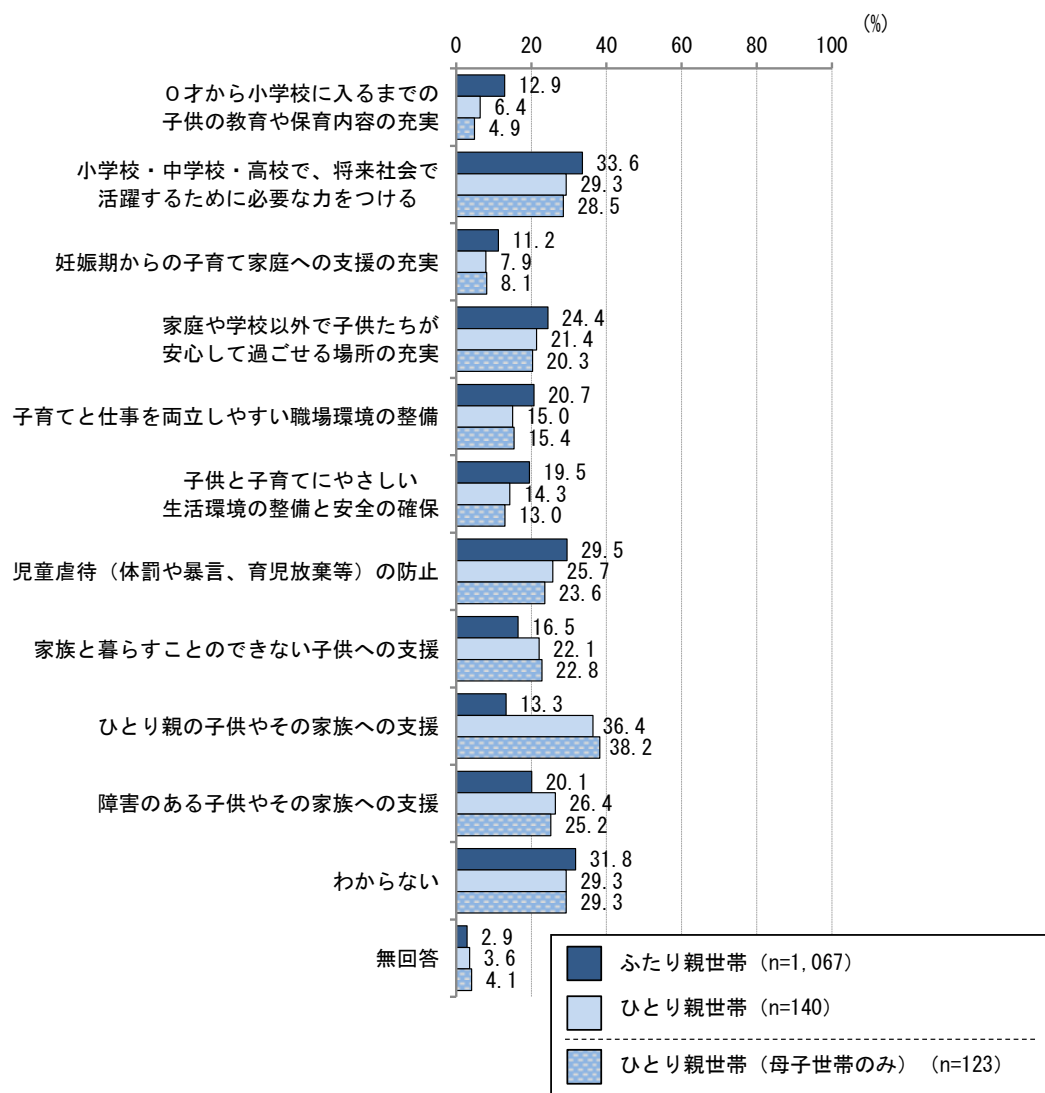
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「ひとり親の子供やその家族への支援」が23.1%、「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」が13.5%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「ひとり親の子供やその家族への支援」が23.7%、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が21.2%、「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」が20.3%、「家族と暮らすことのできない子供への支援」が18.6%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「ひとり親の子供やその家族への支援」が36.4%、「障害のある子供やその家族への支援」が26.4%、「家族と暮らすことのできない子供への支援」が22.1%と高くなっている。

※問 24 で「1～10」と答えた方に

子供票問 25. 理由があれば教えてください。(FA)

＝ 「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」の理由 (55 件) ＝

「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」の理由について、幼い頃からしっかりした教育を受けることで将来に役立つから、ニュースで園児絡みの事件を見たことがあるからの意見がみられる。

1	保育所でしっかり学べず、学校で困ったことがある。
2	大人になっても忘れない、生かせるような事を知りたいから。
3	質の高い教育ができれば、上の学年になってもある程度教育を受ける側は楽だと思えるから。
4	小さい頃から教育してもらったほうが、小学生になっても、大人は困らないから。(小さい子のさけび声がうるさいことからの対処法)
5	小さいころから、しっかりした教育を身につけておくと、大きくなってから役に立つことが増えるから。
6	ニュースで、先生が虐待したりしているということを聞いたことがあるから。
7	夏、バスの中に残った園児が熱中症で死んでしまうことがあるからそこだけ気をつけてほしい。
8	バスに取り残される事件が多い。
9	ニュースとかで、よく見たりするのが、園児が幼稚園の先生から虐待を受けたり、亡くなったりしていて、見るのが嫌になるから。
10	小学校に入る前に覚えること(平仮名の読み書き・片仮名の書き)を確実に覚えた方がいいと思ったから。

＝ 「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由 (187 件) ＝

「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由について、将来のために必要なことだから、コミュニケーション能力を身につけたいとの意見がみられる。

1	社会に出た時コミュニケーションが必要だから。
2	勉強以外の社会で必要なことを子供のときから身につけていた方がいいと思ったから。
3	将来社会で必要な力をつけるのは大切だと思ったから。
4	早く自分の将来の夢の学習をしたいから。
5	将来の自分のために実力をもっと上げたいと思う人を助けてほしい。

6	子供の時に学力をつけていないと、いい仕事につけず、困るから。
7	将来、しっかり活躍ができる人になったら世界でこまっていることがあったら活躍ができるかもしれないから。
8	将来の夢が決まってない人がいるから、これをきっかけに、決まってほしいから。
9	コロナウイルスの影響でコミュニケーションをあまりとれていなかったのをこれを強化することが大切だと思ったから。
10	基礎の定着により、より難しい問題も解くことができ、難関志望校も目指すことができるから。
11	社会に出るにあたって、最低限の学力をつけていくことで、社会全体的治安の向上につながると思うから。
12	さまざまな能力を身につけることで、社会人になった時、自分がやりたい仕事ができるから。
13	学力以外にも社会に出て必要なことを学んでおきたいと思うから。
14	自分のできることを知ることができないと、自分の好きな仕事に就くことができなくなり、仕事が見つからず、生きていけなくなるから。
15	社会に出て、いちばん大切だと思うのは、コミュニケーション能力だと思うから。
16	しっかりと経験を積み、今後の社会を支えてもらわないといけないし、僕自身も支えなければいけないから。
17	将来社会に出たときに必要な力があつた方が不安が少なくなると思ったからです。
18	小・中学校でなにか誇れる特技があれば、とても役に立つと思うから。
19	自分が将来なりたいことに必要な力を習うことで将来の夢が叶うかもしれない。
20	将来のためなどに役立つようにコミュニケーションをとったりして、より良い教育にするように取り組んでがんばってほしいから。
21	コミュニケーションがとくいだと、しょう来仕事をする時に役立つと思うから。
22	少子化が進んでいる今、一人一人の能力を上げることは大切なことだと思うから。
23	その人が呉を大きく発展させるかもしれないから。
24	基礎的なことができていないと、上の学年になるにつれて、周りについていけなくなったりするから。

= 「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由 (84 件) =

「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由について、相談場所の充実や誰かに頼れる環境が必要との意見がみられる。

1	おなかの中に赤ちゃんがいて、不安な気持ちになる方がいると思うから。
2	医療費はいつ必要か分からなくて、急に必要なこともあるから、あまり高くないほうが良いと思うから。
3	妊娠したお母さんなどが悩みがあったら、相談する場所などがたくさんあると少しでも気が楽になるから。
4	最近は、産婦人科が減っていると聞いたことがあって、自分や他の人が子どもを産むときに困ってしまうから。
5	赤ちゃんのことで不安な人のために気軽に相談ができる場所があってほしいから。
6	子育てをしていると大変ですることがたくさんあるから支援は必要だと思ったから。
7	子供が少なくなってきたから支援をした方が未来のためにもなるから。
8	妊娠期から子育てをすることは大変だと思ったからです。
9	自分も女性だから少しでも支援してくれると嬉しいから。
10	子育てで家庭も大変だと思うし、相談したいこともあるかもしれないから。
11	妊娠期の人は、子育てより大変だと思うから。(もともと体が弱かった人など)
12	一番大変な時期、誰かに頼れる環境が必要だと思うから。
13	妊娠期からの子育てのストレスを相談できる場があればよいと思ったから。
14	友達の母親が困っている時、相談できなかったから。
15	子育て家庭の金銭的負担が増えているとテレビ番組などのメディアで聞いたから。
16	お金がかかったりするから病院にいかない人もいると思うから。
17	妊娠したことを誰にも相談できなくて辛くなるから。
18	妊娠は大変だし、産んだことのない人もどうすればいいか分からなくなるから。
19	母が大変そうだったのを見たから。
20	1人で悩んでいる人もいると思うから。
21	将来自分が妊娠したときに支援があれば安心できると思ったから。
22	自分の子どもを安全に良い所で産みたいという家庭のためにあった方が良く思う。

= 「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」の理由 (107 件) =

「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」の理由について、安心できる場所があると気持ちが落ち着く、人と触れ合える場所を作ってほしいとの意見がみられる。

1	家でも学校でも苦しんでいる子どもたちの寄り所になってほしいから
2	居場所がない子供たちがいるからです。
3	高齢化社会の中で、全て高齢者のために町が整えられているような気がするから。
4	家や学校以外に安心できる場所があると、気持ちが楽になると思ったから。
5	学校や家以外に、辛い思いをしている人が逃げられる場所があったらいいと思うから。
6	安心して、他の場所ですごせることで、心を落ちつかせられる所をつくれるから。
7	子どもたちが何も不安がることなく安心して過ごしてほしいから。
8	不安に思っている子どもが減ってほしいと思ったから。
9	皆が安心できるようなところがあると皆が落ち着くから。
10	児童会があったら親が少しは楽になるから。
11	不登校になっている子供も、行きやすい場所を作ったらいいと思うから。
12	家庭や学校で安心して過ごせていない人たちにも、安心して過ごしてほしいから。
13	虐待をされていたならほっとできるような所があったほうがいいと思うから。
14	家庭以外に安心する場所があれば家庭で何かあった人が安心できるからです。
15	誘拐の犯罪を減らすため。
16	親の仕事が終わる時間が遅いと小さい子たちが暗い中一人になるから児童会などをもっと作ればいいと思ったから。
17	自分も、不登校で、みんなとかかわれないから、ふれあえる場が増えてほしいと思った。
18	安心して子供を預けれるところがあれば、仕事ができやすいからです。
19	過ごせるところがない人もいると思うから。
20	学校や家庭以外でも何か問題を抱えている人がいるかもしれないから。
21	不審者が出たときすぐ駆け込めるようにするため。
22	今は公園などもあまり安心して遊ぶことができないから。
23	保育所や児童会があることで、親も助かると思うし、子どもが安心できる所だからいいと思いました。
24	いじめなどで居場所がない人がいるから。

= 「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由 (130 件) =

「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由について、自分の親が大変そうだから、気軽に休暇・有給が取得できるようになってほしいの意見がみられる。

1	子育てだけ、仕事だけというのは仕事をしている人には難しいのでせめて両立しやすい環境を作ってあげてほしい。
2	将来、自分が出産して、子育てをするときに、仕事と両立できる環境だといいなと思ったから。
3	女の人は育休をとりやすくなってきたけど、男の人はまだ休みにくいのでそれを改善したら女の人の負担が減ると思ったから。
4	少子高齢化の原因になっているから。
5	親が仕事と子育てに余裕を持つことができるから。
6	1度休んで戻ってきたときにあなたはもういらないといわれ退職してしまうのを防ぎたいと思ったから。
7	小さい子などがいる親は一人だとしたら働かないといけないし育児もしないといけないから。
8	ニュースとかで、取材されている人が、仕事との両立が難しいと言っていたから。
9	仕事に復帰したいけど子どもをあずけるところがない人が家でリモートで仕事ができるのはできる時間で少しずつできるのでいいと思う。
10	お母さんが元々専業主婦で、ずっと家にいないといけなかったから。
11	子育てと仕事の両立ができれば、働く人が増えて経済もまわると思うから。
12	1人で子育てする場合、仕事で世話ができない。みんなと同じ思いをできないことがあるので、子共とふれ合う時間ふやす。
13	仕事がしたくても、出来ないという人がいるから。
14	子供たちより、子供を育てる親の方が、悩み事が多く大変だと思っているから。
15	私の親は仕事と家庭での仕事でとても忙しそうにしているから。
16	育休についての意識を変えていくことで、少子高齢化の改善や地域の活性化につながると思うから。
17	子育てと仕事が大変だとストレスにもなるから。どんな人でも子育てと仕事が両立できてよいから。
18	親が仕事で家庭にいたことが少なくなると、子どもが困っていても助けを求めにくくなるから。
19	今の大人たちは、子育てをしながら、仕事をしていて、とてもいそがしそうだから、何か改善してほしい。
20	男女関係なく育休を取れるようになれるとよいと思ったから。
21	子供を育てるうえでの資金不足が問題なので、職場でのサポートや所得を上げる必要があると思うから。
22	子育てと仕事を両立したら経済もまわるし、子供もちゃんとした学習ができると思うからです。

23	子育てと働場で両立するのはとても大変だからすこしでも楽にできるようにしたいから。
24	仕事のせいで子どもとの時間がつくれない、子どもの成長が見れないという人をなくしてほしいから。
25	小さい子供のお世話で特に忙しい親は仕事のことなども色々考えたりして大変だから気軽に休みをとってもいい仕事なども増やした方がいいと思ったから。
26	母や父が毎日すごく疲れているから。
27	子育てをしやすい環境にしないと産まない人が増えるから。
28	親にみてもらえず、心細く感じてしまう子などが中にはいるから。
29	子供や大人どちらにとっても小さい頃の思い出は一生大切なものだから、そばにいた方がいいから。

＝ 「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由（97件） ＝

「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由について、子連れで訪れやすい場所や地域の人との交流の場が増えてほしいとの意見がみられる。

1	子連れの人が少し不便そうにしているのを見たことがあるから。
2	いつ災害があるかわからないから、そのときのため。
3	赤ちゃんを産んだ人に住みやすい街にしたいから。
4	子供たちが亡くなるニュースが多いから、子供のいる親にとってやさしい生活環境が大事と思った。
5	子どもを育てやすい環境にすることで虐待なども減ると思う。
6	子供にはやさしくしていてほしいし、子育てに優しかったら、親も子供も安心すると思うから。
7	地域の人と楽しく交流できる場が増えるといいなと思っているから。
8	子連れだと、どうしてもいける場所がせまくなったりするかもしれないから。
9	子供連れで遊べるところが増えれば楽しいと思うから。
10	自分の身を守るためや、いろんな人が楽に生活できるような環境があってほしいからです。
11	子どもたちだけでなく、子ども連れの大人の人も快適にすごせると思ったから。
12	自分に子どもができたときや、他の人が子どもができた時に、ありがたいから。
13	子供たちより、子供を育てる親の方が、悩み事が多く大変だと思っているから。
14	いろいろな人が使いやすくすることで子連れの方たちも楽しくなるから。

15	子育てをしている人に楽にしてあげたいから
16	子連れで訪れやすい場所があるのはいいと思ったから。
17	困っている人をたまに見かけるから。
18	子どもが楽しくなる計画を立ててほしいから。例でいうと、広まちづくりセンターの「ひろひろば」などのような子どもが楽しめる施設、社会を目指してほしいから。
19	子連れで、訪れやすい場所などがふえると、子育てをしている方も少しは、気楽にすごせると思うからです。

＝ 「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」の理由（249件） ＝

「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」の理由について、虐待を防止できる制度がほしい、虐待を受けている人が誰かに相談しやすい環境を作してほしいとの意見がみられる。

1	虐待に悩んでいる人たちがいると思ったから。
2	人は人らしく生きるためにいる存在だから。
3	小さい子供が苦しい思いをしないといけないのは間違っているから。
4	虐待されて痛い思いして、さみしい・苦しい思いをするのはせっかく産まれてきたのにかわいそうだから。
5	暴力などで自殺する子供をなくすため。
6	生まれてきた人の全ての人が価値のあるかけがえのない存在だから。
7	もし、虐待などをされている子どもがいたら、ちゃんと先生などに伝えやすくするために力をいれてほしいと思った。
8	ニュースなどで最近よく見かけるため、防止する制度のようなものができればいいなと思ったから。
9	虐待を受けてすごく辛い気持ちを思う子がこの世にはたくさんいるから。
10	最近、ニュースで幼稚園などで暴言や体罰などをしていると聞いたことがあるから。
11	暴力などのせいで将来働けなくなったらいけないと思うから。
12	嫌な思いや苦しい思いをしている人が減って欲しい。
13	もし、自分の子どもがそういう経験に合うと、不安になり、信頼がなくなるから。
14	児童虐待でついた心の復は一生残りつづけるから
15	虐待されたことがトラウマになったりして、ずっと怖いままになるから。
16	ニュースでよく取り上げられているので改善してほしい。

17	この問題で多くの子供たちが亡くなっていると聞いて心が痛くなるから。
18	苦しくて恐怖で安心して家にいられない子供たちを守りたいから。
19	児童虐待などが最近ニュースになったりしているのでそういうのをなくするためには大切な取組だと思うから。
20	私はそういう経験が無いのでわかりませんが、でももし私がその立場にいたら恐怖と絶望で死にたくなります。なので、そんな子がいなくなってだれもが幸せに暮らせるようにしたいから。
21	暴言とかを言うと心に傷がついて皆と関わりたくない人が出てくるから。
22	命に関わりそういう事は他の人に言いづらいからすぐ言える環境にしてほしい。
23	自分と同じくらい、自分より年上や年下の子が虐待を受けて亡くなってしまうという事件が増えていて、悲しいなあと思ったから。
24	児童虐待で子どもが「学校に行きたくない」といったら将来に向けて必要な力をつける以前のことだから。
25	虐待をされているとされた人の心の中に恐怖が一生残るから。
26	虐待をしている大人がいたらやられた子どもがかわいそうだし学校に行けなくなったらいやだから。
27	児童虐待はしてはいけないことだから防止できるなら防止して、子供たちの笑顔が増えてほしい。
28	1人で心の中は傷ついていたら、悲しいし、遊び半分でやったとしても、傷ついた気持ちはもどせないから。
29	最近ニュースでも、児童虐待が増えてるから。

＝ 「家族と暮らすことのできない子供への支援」の理由（130件） ＝

「家族と暮らすことのできない子供への支援」の理由について、家族と共に過ごせないのは悲しいから、家族と暮らすことのできない子供を助けてあげられる場所があると安心できるとの意見がみられる。

1	家族と暮らせない子は、心の病気や、悲しい思いをしても、相談できる人がいなくて、苦しいとか思う人もいると思うから。
2	私もその中の1人だから。
3	ニュースなどでよくこのような報道を見たことがあり、可哀そうだったから
4	家族がいる人以外の子どもたちが少しでも家族のように支え合って充実した生活をくらしてほしいから。
5	家族と会えないというのは辛いことだから、支援してあげるべきだと思ったから。
6	家族の温かさを知ってほしいから。

7	家族からの愛情があることによって、一人一人の子の心が安心して、安定できるから。
8	「自分がそうだったら」と考えると、とてもかわいそうだから。
9	人の温もりと優しさにふれられるように。
10	夜遅くまで、仕事をしている親もいるから。
11	産んでもらった親と暮らせないのはすごく悲しいと思うのですこしでも楽しく悲しい気持ちを捨ててもらえるようになってほしいから。
12	家族がおらずに不安を抱えている子の悩みを少しでも解決してほしいから。
13	一番大切な家族との時間がないというのは、すごく悲しいことだから。
14	家族とはなればなれで、さみしい思いをしている人がいると思うから。
15	やっぱり、人間は、愛情を注がれて育つ。そして、触れて、目て、聞いて、学び生浩に生かすことがたいせつだから。
16	1人で、暮らすことは不安だから、力を入れてほしいです。
17	親がいなくても助けてあげられるような場所があったらその子どもたちが安心して思うからです。
18	家族が居なくてさびしい・悲しいと思うような人がいてはいけないとおもうから。

＝ 「ひとり親の子供やその家族への支援」 の理由 (82 件) ＝

「ひとり親の子供やその家族への支援」の理由について、自分の親がひとり親であり、色々と苦労しているため支援してほしいとの意見がみられる。

1	お金がないという理由での虐待とかが減ると思うから。
2	私もお母さんが1人で私と兄を育ててくれてるから。お母さんの辛い姿を1度みたことがあるから。
3	自分も1人親なので自分の親が疲れている時（ため息、声の大きさの変化）が多かったのも他の1人親もきっと苦疲しているんじゃないかと思ったから。
4	私が、もともと1人親の家だったので、親があまりお金を稼ぐことが難しそうだったので、もっと支援してほしいと思ったからです。
5	1人親だと1人の分の給料しか稼ぐことができず、生活が不安定だと思うから。
6	ひとり親だと、みんなとちがうからといってからかわれないようにしてほしいから。
7	虐待が減ると思う。家庭が壊れているとその子どもがストレスなどでのいじめがあると思う。
8	一人の親として働いて子育てすることはとても大変だと思うから。
9	ひとり親は家事や仕事で忙しいから、ひとり親の子供や家族を支えることで、親も少し安心できると思ったから。

10	お母さんとお父さんが離婚して自分はさみしいし、遊んでくれる人がいないから。
11	一人親は、お金をかせぐのと、家事をするの両方やるのは大変だと思うから、支援したほうがいいと思う。
12	親が両方いる家庭と差が生まれてはいけないから。
13	親になかなか会えないことで、将来人間関係に支障をきたす可能性があり、社会に出て困難になるだろうから。
14	一人親の場合お金がなく、貧しい暮らしをしていると聞いたことがあるから。
15	一人で児童を育てようとすると、仕事がとても大変だから。
16	お父さんと別居していて、たまにさみしくなるから。
17	経済的、精神的な支援が必要だと思うから。
18	1人で育てて、抱え込んでいる悩みがある人もいると思うから。
19	お金の心配や苦労があって今後の生活に影響があるかもしれないから。
20	子供たちより、児童を育てる親の方が、悩み事が多く大変だと思っているから。
21	親が一人だと、祖父母が働くなどということがあるから、そういう人たちを、一人でも減らしたい。(祖父母を楽にしたい)

= 「障害のある児童やその家族への支援」の理由(163件) =

「障害のある児童やその家族への支援」の理由について、障害に対して理解がある社会になってほしい、身近に障害を持っている人がいて、大変そうだと思うからとの意見がみられる。

1	発達障害に対する知識が少ない人間が多いのに対し、発達障害の人が多く理解がおいっていないため、心ない言葉や態度の人が多く、勉強や指導を充実させてほしい。自分も兄弟が発達障害で、同じような思いをしているから。
2	ふつうの人と同じように暮らせないなか頑張っている人の支援をしてほしいと思う。
3	自分が障害者だから。
4	学校を卒業しても、ちゃんと障害を持っている方々の自立などを支援してあげてほしいから。
5	障害者には何回も触れ合っているから。
6	障害の子でも、幸せを感じてほしいから、10番に丸をつけました。
7	学校の先生の娘さんは障害があるので障害がある子が楽しく生活ができると思うから。
8	自分にもダウン症の弟がいるから。
9	自分も障害をもった子供だから。

10	障害があるからこの職業ができないなどがかわいそうだから。
11	障害のある人たちも普通の人たちの生活をしてほしいから。
12	障害のある子供も、みんなと同じように、公平に生きてほしいから。
13	知的障害のお兄ちゃんが家でだめと言ったことをしているから。
14	障害のある人は、心の整理ができなくて、相手を傷つけてしまったり、いじめを、うけてしまうから。
15	障害があっても区別はよくないと思うから。
16	妹が障害者なため。
17	障害者は何も悪くないので支援してあげることが大切だから。
18	障害だからといってみんなと同じことができないのはちがうなと思うから。
19	障害を持った子がふつうの生活ができるところがあるといいと思うから。
20	病気が治らないのは辛い。差別もされたりする。もっと不自由なくすごしてほしい。
21	障害がある人が安心して医療を受けられるような仕組みやそのような人が差別をされない社会が大切だと思うから。
22	障害の持っている人でも社会で活躍してほしいから。
23	障害がある子供自身大変だと思うけどそれを支える家族も大変だと思うから、忙しさを減らして、楽しい時間をすごしてほしいから。
24	3年生のときの担任の先生が障害者の娘さんといっしょに暮らしていることを聞いて大変そうだなと思ったからです。
25	障害で苦しんでいる子、障害のある子が、普通の学校へ行くといじめられるかもしれないからすこしは楽にさせたいから。
26	障害の子もなりたくてなったわけじゃないのでそれを助けてあげたいと思ったからです。
27	弟が障害者なんですけど、弟は障害がかかるいのに、少し大変だから、障害の重い人たちの親の負担を減らしたいから。

1 等価世帯収入の算出

Ⅲ 参考資料

1 等価世帯収入の算出

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50 万円未満」であれば 25 万円、「50～100 万円未満」であれば 75 万円とする。なお、「1,000 万円以上」は 1,050 万円とする）。

○上記の値を、保護者票問 3 で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その 2 分の 1 未満であるか否かで分類する。

【小学校世帯】

●等価世帯収入の中央値：290.69 万円、等価世帯収入の中央値の 2 分の 1：145.345 万円

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
11.18	1	0.1	0.1
12.5	2	0.1	0.2
14.43	3	0.2	0.4
17.68	1	0.1	0.5
30.62	1	0.1	0.6
33.54	2	0.1	0.7
37.5	2	0.1	0.8
43.3	1	0.1	0.9
53.03	3	0.2	1.1
55.9	3	0.2	1.3
62.5	10	0.7	2.0
71.44	1	0.1	2.1
72.17	11	0.8	2.9
78.26	1	0.1	2.9
87.5	8	0.6	3.5
88.39	5	0.3	3.8
91.86	4	0.3	4.1
100.62	8	0.6	4.7
101.04	9	0.6	5.3
103.94	1	0.1	5.4
108.33	1	0.1	5.5
112.5	11	0.8	6.2
114.9	1	0.1	6.3
122.84	1	0.1	6.4
122.98	11	0.8	7.1
123.74	4	0.3	7.4
129.9	11	0.8	8.2
132.68	1	0.1	8.3
137.5	16	1.1	9.4
141.74	2	0.1	9.5
145.34	14	1.0	10.5

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
150.21	1	0.1	10.6
150.26	2	0.1	10.7
153.09	6	0.4	11.1
158.77	7	0.5	11.6
159.1	7	0.5	12.1
160.63	4	0.3	12.4
162.5	16	1.1	13.5
167.71	18	1.3	14.8
167.94	2	0.1	14.9
173.51	4	0.3	15.2
179.53	4	0.3	15.5
187.5	28	2.0	17.4
187.64	13	0.9	18.3
190.07	23	1.6	19.9
193.92	12	0.8	20.8
194.45	3	0.2	21.0
207.88	8	0.6	21.5
212.43	30	2.1	23.6
212.5	25	1.7	25.4
216.51	7	0.5	25.9
216.67	1	0.1	25.9
224.54	14	1.0	26.9
229.81	3	0.2	27.1
237.5	48	3.4	30.5
245.37	5	0.3	30.8
245.68	6	0.4	31.3
245.97	58	4.1	35.3
265.17	1	0.1	35.4
265.36	16	1.1	36.5
274.24	16	1.1	37.6
275	87	6.1	43.7
283.47	3	0.2	43.9

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
290.69	61	4.3	48.2
300.52	5	0.3	48.5
306.19	16	1.1	49.7
316.67	1	0.1	49.7
317.54	21	1.5	51.2
321.27	1	0.1	51.3
325	95	6.6	57.9
335.41	52	3.6	61.5
335.88	2	0.1	61.7
347.01	9	0.6	62.3
359.07	1	0.1	62.4
371.23	1	0.1	62.4
375	63	4.4	66.9
375.28	22	1.5	68.4
380.13	47	3.3	71.7
387.84	11	0.8	72.4
388.91	5	0.3	72.8
396.86	2	0.1	72.9
424.85	19	1.3	74.3
425	50	3.5	77.8
428.66	10	0.7	78.5
433.01	20	1.4	79.9
459.62	2	0.1	80.0
469.57	46	3.2	83.2
475	36	2.5	85.7
490.75	13	0.9	86.6
525	54	3.8	90.4
530.33	2	0.1	90.6
548.48	7	0.5	91.0
601.04	2	0.1	91.2
606.22	21	1.5	92.7
671.75	1	0.1	92.7
742.46	2	0.1	92.9

無回答	102	7.1	100.0
-----	-----	-----	-------

1 等価世帯収入の算出

【中学校世帯】

●等価世帯収入の中央値：290.69 万円、等価世帯収入の中央値の2分の1：145.345 万円

等価世帯収入	世帯	有効 パーセント	累積 パーセント
9.45	1	0.1	0.1
14.43	3	0.2	0.3
17.68	2	0.1	0.4
30.62	1	0.1	0.5
33.54	1	0.1	0.6
37.5	1	0.1	0.7
43.3	1	0.1	0.7
44.19	1	0.1	0.8
51.03	1	0.1	0.9
53.03	2	0.1	1.0
55.9	2	0.1	1.2
61.87	1	0.1	1.3
62.5	10	0.7	2.0
71.44	1	0.1	2.1
72.17	6	0.4	2.5
78.26	6	0.4	3.0
85.04	2	0.1	3.1
87.5	7	0.5	3.6
88.39	3	0.2	3.8
91.86	2	0.1	4.0
100.62	5	0.4	4.4
101.04	6	0.4	4.8
102.77	1	0.1	4.9
103.94	1	0.1	4.9
108.33	1	0.1	5.0
112.27	2	0.1	5.2
112.5	7	0.5	5.7
114.9	2	0.1	5.8
122.84	2	0.1	6.0
122.98	6	0.4	6.4
123.74	2	0.1	6.6
129.9	10	0.7	7.3
132.58	2	0.1	7.5
137.5	12	0.9	8.3
141.74	2	0.1	8.5
145.34	13	1.0	9.4

等価世帯収入	世帯	有効 パーセント	累積 パーセント
150.21	1	0.1	9.5
153.09	8	0.6	10.1
158.77	7	0.5	10.6
159.1	7	0.5	11.1
160.63	3	0.2	11.4
162.5	11	0.8	12.2
167.71	10	0.7	12.9
167.94	2	0.1	13.1
173.51	6	0.4	13.5
179.53	4	0.3	13.8
187.5	18	1.3	15.1
187.64	16	1.2	16.3
190.07	24	1.8	18.1
193.92	6	0.4	18.5
194.45	6	0.4	19.0
207.88	3	0.2	19.2
212.43	33	2.4	21.6
212.5	24	1.8	23.4
216.51	9	0.7	24.1
224.54	14	1.0	25.1
229.81	1	0.1	25.2
237.5	40	3.0	28.1
245.37	6	0.4	28.6
245.68	3	0.2	28.8
245.97	46	3.4	32.2
250	1	0.1	32.3
265.17	8	0.6	32.8
265.36	9	0.7	33.5
274.24	12	0.9	34.4
275	81	6.0	40.4
283.47	3	0.2	40.6

等価世帯収入	世帯	有効 パーセント	累積 パーセント
290.69	57	4.2	44.8
300.52	6	0.4	45.2
306.19	8	0.6	45.8
316.67	1	0.1	45.9
317.54	19	1.4	47.3
321.27	2	0.1	47.5
325	71	5.2	52.7
335.41	39	2.9	55.6
335.88	6	0.4	56.0
347.01	12	0.9	56.9
350	1	0.1	57.0
371.23	1	0.1	57.0
375	68	5.0	62.1
375.28	12	0.9	63.0
380.13	38	2.8	65.8
387.84	9	0.7	66.4
388.91	7	0.5	66.9
396.86	3	0.2	67.2
424.85	32	2.4	69.5
425	47	3.5	73.0
428.66	14	1.0	74.0
433.01	10	0.7	74.8
459.62	7	0.5	75.3
469.57	29	2.1	77.4
475	46	3.4	80.8
490.75	10	0.7	81.5
525	69	5.1	86.6
530.33	4	0.3	86.9
548.48	9	0.7	87.6
601.04	7	0.5	88.1
606.22	9	0.7	88.8
671.75	4	0.3	89.1
742.46	3	0.2	89.3

無回答	145	10.7	100.0
-----	-----	------	-------

2 調査票

(1) 保護者票

くれし こども せいかつ かん じったいちようさ
呉市子供の生活に関する実態調査
ほごしゃひょう
【保護者票】

- この調査は、小学5年生または中学2年生のお子さんがある保護者の方に、生活の状況やお子さんのことなどについて伺うため、広島県と呉市が共同で実施するものです。調査の結果は、子育て世帯等への施策に役立てることを目的としています。
- この調査票は、小学5年生または中学2年生のお子さんの保護者の方がお答えください。
- この調査は無記名です。名前を書く必要はありません。
- ご回答は、回答の番号に○をつけてください。
- ご記入いただいた調査用紙は、緑色の封筒に入れ、他の人に見られないようにテープで封をして、お子さんに渡してください。
- この調査票は、調査の目的以外には使用しません。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- 令和5年7月10日（月曜日）までに答えてください。
- 調査についてのお問合せは、以下までお願いします。

お問い合わせ先情報
(お問い合わせ先情報)

呉市子ども支援課 (9:00~17:00 土日・祝日を除く)

電話: 0823-25-3173 FAX: 0823-24-6720

Eメール: kodosien@city.kure.lg.jp

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学5年生又は中学2年生のお子さんのことをいいます。「親」「母親」「父親」とは、継母や継父、母親や父親に代わる保護者の方を含みます。

問1 お子さんとなあたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1	ははおや 母親	2	ちちおや 父親
3	そふぼ 祖父母	4	その他

問2 あなたがお住まいの地区を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1	ちゅうおうちく 中央地区	2	てんのう よしうらちく 天応・吉浦地区
3	しょうわちく 昭和地区	4	みやはら けごやちく 宮原・警固屋地区
5	ひろ あが にがた ごうはらちく 広・阿賀・仁方・郷原地区	6	かわじり やすうらちく 川尻・安浦地区
7	しもかまがり かまがり とよはま ゆたかちく 下蒲刈・蒲刈・豊浜・豊地区	8	おんど くらはしちく 音戸・倉橋地区
9	くれしがい 呉市外		

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~hそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) そふ 祖母	b) そふ 祖父	c) ははおや 母親	d) ちちおや 父親	h) ごうけい 合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	2 2人
1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	3 3人
2 2人	2 2人			4 4人
e) あね あに 姉・兄	たいしょう 対象のお子さん (本人)	f) いもうと おとうと 妹・弟	g) た その他	5 5人
0 いない		0 いない	0 いない	6 6人
1 1人		1 1人	1 1人	7 7人
2 2人	1人	2 2人	2 2人	8 8人
3 3人		3 3人	3 3人	9 9人
4 4人以上		4 4人以上	4 4人以上	10 10人以上

問4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。
(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「—」と記入)

ははおや
母親

さい
歳

ちちおや
父親

さい
歳

問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- 1 お子さんの母親が単身赴任中
 3 その他

- 2 お子さんの父親が単身赴任中
 4 単身赴任中の者はいない

問6 お子さんと同じく、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 結婚している (再婚や事実婚を含む。)
 2 離婚
 3 死別
 4 未婚
 5 わからない
 6 いない

問7 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。
 また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 取り決めをしており、受け取っている
 2 特に取り決めはしていないが、受け取っている
 3 取り決めをしているが、受け取っていない
 4 取り決めをしておらず、受け取っていない

問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 日本語のみを使用している
 2 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
 3 日本語以外の言語を使うことが多い

問9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) ははおや 母親	b) ちちおや 父親
ちゅうがく 中学	1	1
ちゅうがく こうこう 中学、高校	2	2
ちゅうがく こうこう せんもんがっこう 中学、高校、専門学校	3	3
ちゅうがく ねんせい こうとうせんもんがっこう 中学、5年制の高等専門学校	4	4
ちゅうがく こうこう たんだい 中学、高校、短大	5	5
ちゅうがく こうこう ねんせい こうとうせんもんがっこう 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、 だいがく 大学	6	6
ちゅうがく こうこう ねんせい こうとうせんもんがっこう 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、 だいがく だいがくいん 大学、大学院	7	7
た その他	8	8
わからない	9	9
いない	10	10

問10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) ははおや 母親	b) ちちおや 父親
せいしやくいん せい きしやくいん かいしややくいん 正社員・正規職員・会社役員	1	1
しよくたく けいやくしやいん は けんしよくいん 嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
ひ やと ひ じようきんしよくいん パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
じ えいぎよう か そくじゆうぎようしや ないしよく じゆうぎよう 自営業（家族従業者、内職、自由業、フ ーランスを含む。）	4	4
はたら せんぎようしゆふ しゆふ ふく 働いていない（専業主婦／主夫を含む。）	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

a, b いずれかで5を選んだ場合は問11に進んでください。

↓
問 11 前まえの質問で「5 働はたらいていない」と答えた場合、働はたらいていない最もっとも主おもな理由りゆうを教おしえてください。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) ははおや 母親	b) ちはおや 父親
働 はたら きたいが、希望 きぼう する条 じょう 件 けん の仕事 しごと がないため	1	1
子 こ 育 そだ てを優先 ゆうせん したいため	2	2
家 か 族 ぞく の介 かい 護 ご ・介 かい 助 じょ のため	3	3
自 じ 分 ぶん の病 びょう 気 き や障 しょう 害 がい のため	4	4
通 つう 学 がく しているため	5	5
其 た 他 りゆう の理由	6	6

問 12 お子こさんが0～2歳さいの間あいだに通かよっていた教きょう育いく・保ほ育いく施し設せつ等とうで最もっとも主おもなもの(期き間かんが長ながいもの)をお答こたえください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 認にん可か保ほ育いく所じょ・認にん定ていこども園えん
- 2 其た他きょうの教きょう育いく・保ほ育いく等とうの施し設せつ
- 3 親おや・親しん族ぞく以い外がいの個こ人じん
- 4 もっばら親おや・親しん族ぞくが面めん倒どうを見みていた
- 5 其た他

問 13 お子こさんが3～5歳さいの間あいだに通かよっていた教きょう育いく・保ほ育いく施し設せつ等とうで最もっとも主おもなもの(期き間かんが長ながいもの)をお答こたえください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 幼よう稚ち園えん・認にん可か保ほ育いく所じょ・認にん定ていこども園えん
- 2 其た他きょうの教きょう育いく・保ほ育いく等とうの施し設せつ
- 3 親おや・親しん族ぞく以い外がいの個こ人じん
- 4 もっばら親おや・親しん族ぞくが面めん倒どうを見みていた
- 5 其た他

問 14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば、 あてはまる	あてはまらない どちらかといえば、 あてはまらない	あてはまらない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等の ルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問 15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問 16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

1	中学
2	中学、高校
3	中学、高校、専門学校
4	中学、5年制の高等専門学校
5	中学、高校、短大
6	中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学
7	中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院
8	その他
9	まだわからない ➡ 問 18 に進んでください。

問 17 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

(1～5については、あてはまるものすべてに○)

1	お子さんがそう希望しているから
2	一般的な進路だと思うから
3	お子さんの学力から考えて
4	家庭の経済的な状況から考えて
5	その他
6	特に理由はない

問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

(a～c それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

	a) 子育てに 関する相談	b) 重要な 事柄の相談	c) いざと い時の お金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
家族・親族	①	①	①
友人・知人	②	②	②
近所の人	③	③	③
職場の人	④	④	④
民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤
相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥
その他	⑦	⑦	⑦
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

①～⑦のあてはまるものすべてに○

問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

(あてはまるもの1つに○)

1	大変ゆとりがある
2	ゆとりがある
3	ふつう
4	苦しい
5	大変苦しい

問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

※2022年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入（定期収入、賞与等）
- ・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
- ・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
- ・資産収入（預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。）
- ・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

- | | | | |
|---|-------------|----|--------------|
| 1 | 50万円未満 | 9 | 400～450万円未満 |
| 2 | 50～100万円未満 | 10 | 450～500万円未満 |
| 3 | 100～150万円未満 | 11 | 500～600万円未満 |
| 4 | 150～200万円未満 | 12 | 600～700万円未満 |
| 5 | 200～250万円未満 | 13 | 700～800万円未満 |
| 6 | 250～300万円未満 | 14 | 800～900万円未満 |
| 7 | 300～350万円未満 | 15 | 900～1000万円未満 |
| 8 | 350～400万円未満 | 16 | 1000万円以上 |

問 21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。（あてはまるもの1つに○）

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

問 22 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 よくあった
- 2 ととききあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

問 23 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- 1 電気料金
- 2 ガス料金
- 3 水道料金
- 4 あてはまるものはない

問 24 次の a～f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気分は晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足していない ←————→ 10 : 十分に満足している										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 26 あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前(2019年以前)と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間(2020年から2022年)では、どのように変わりましたか。(a~f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増 え た	減 っ た	変 わ ら な い
a) 世帯全体の収入の変化	1	2	3
b) 生活に必要な支出の変化	1	2	3
c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	1	2	3
d) お子さんと話をする	1	2	3
e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問 27 あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間(2020年から2022年)と現在を比べて、どのように変わりましたか。

(a~f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増 え た	減 っ た	変 わ ら な い
a) 世帯全体の収入の変化	1	2	3
b) 生活に必要な支出の変化	1	2	3
c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	1	2	3
d) お子さんと話をする	1	2	3
e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問 28 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～e それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 生活困窮者の 自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・ 自立支援センター※5
現在利用している	1	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3
制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	②	②	②	②	②
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	③	③	③	③	③
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

①～⑤のあてはまるもの1つに○

〈参考〉

- ※1 就学援助：経済的理由により子供の就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。
- ※2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
- ※4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。(児童手当とは異なります。)
- ※5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。
- 養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。

問 29 あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。
(1～10については、あてはまるもの上位3つまでに○。11を選ぶ場合は1つのみ○)

- 1 0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実
(例) 幼稚園・保育所・認定こども園などでの質の高い教育 など
- 2 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける
(例) ・基礎的な学力の定着
・勉強以外の思考力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばす など
- 3 妊娠期からの子育て家庭への支援の充実
(例) ・妊娠や子育てに関することをいつでも気軽に相談できる場の充実
・産婦人科や小児科などの医療の充実 など
- 4 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実
(例) 保育所や放課後児童クラブの充実 など
- 5 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備
(例) ・育児や子育てのための休暇をとりやすくする
・パソコンを使って自宅で仕事をしたり、時間や場所を有効に活用する働き方など
- 6 子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保
(例) ・授乳室や子供向けの無料サービスなど、子連れで訪れやすい店や施設を増やす
・公園施設や公共交通機関のバリアフリー化(子連れでもスムーズに移動できたり、色んな人が使いやすくする)
・子供たちへの防災・防犯・交通安全の教育 など
- 7 児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止
- 8 家族と暮らすことのできない子供への支援
(例) ・施設での受入れや退所後の自立支援
・里親やファミリーホーム(5～6人の子供を里親が養育)を増やす など
- 9 ひとり親の子供やその家族への支援
(例) 親の就業(仕事につくこと)や子育て、養育費や面会の取り決めなどへの支援
- 10 障害のある子供やその家族への支援
(例) ・障害の種類や程度に応じた医療や福祉サービスを受けられる仕組み
・卒業後の自立や社会参加に向けた学習支援や学習環境の整備
- 11 わからない



問 30 ぜんもん 前問で 1～10 と こと ばあい 理由が あれば 教えて ください。 理由が ない 場合は、 記載 しなくても 構いません。

えら ばんごう 選んだ番号	りゆう じゆう きさい 理由 (自由に記載)

くれし どくじちようさこうもく
-----呉市の独自調査項目-----

問 31 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることがありますか。
(a～e それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	あ る	ない		
		けいざいてき 経済的な りゆう 理由で	じかん 時間の せいやく 制約で	た その他の りゆう 理由で
a) かいすいよく かい 海水浴に行く	1	2	3	4
b) はくぶつかん かがくかん びじゆつかん 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
c) キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
d) スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
e) ゆうえんち 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4

問 32 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のa～gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(a～gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あった	なかった	該当しない (払う必要がない)
a) 電話料金	1	2	3
b) 電気料金	1	2	3
c) ガス料金	1	2	3
d) 水道料金	1	2	3
e) 家賃	1	2	3
f) 住宅ローン	1	2	3
g) その他の債務	1	2	3

問 33 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。a～hについて、「1 している」「2 していない、したくない(方針でしない)」「3 していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。

(a～hそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	している	していない	
		したくない (方針でしない)	経済的に できない
a) 毎月お小遣いを渡す	1	2	3
b) 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
c) 習いごと(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	1	2	3
d) 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	1	2	3
e) お誕生日のお祝いをする	1	2	3
f) 1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
g) クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
h) お子さんの学校行事などへ保護者が参加する	1	2	3

問 34 つぎ けいざいてきりゆう せたい
次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 子供の年齢にあった本 | 9 電子レンジ |
| 2 子供用のスポーツ用品・おもちゃ | 10 電話(固定電話・携帯電話を含む) |
| 3 子供が自宅で宿題をすることができる場所 | 11 インターネットにつながるパソコン |
| 4 洗濯機 | 12 新聞の定期購読(ネット含む) |
| 5 炊飯器 | 13 世帯専用のおふろ |
| 6 掃除機 | 14 世帯人数分のベッドまたは布団 |
| 7 暖房機器 | 15 急な出費のための貯金(5万円以上) |
| 8 冷房機器 | 16 あてはまるものはない |

問 35 すべ こども う そだ かんきょう さゆう ゆめ きぼう も せいちょう
全ての子どもたちが生まれ育った環境に左右されことなく、夢と希望を持って成長して
いくためには、どのような支援が充実するとよいと思いますか。

(1～10については、あてはまるもの3つに○)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1 読み書き計算など基礎的な学習への支援 | |
| 2 子供だけでも利用できる「こども食堂」などのサービス | |
| 3 子供が安全に過ごすことができる遊び場の提供 | |
| 4 保護者が家にいないときに子供をあずかる場やサービスの提供 | |
| 5 子供のことや生活などについてなんでも相談できるところ | |
| 6 同じ悩みを持った人同士の交流 | |
| 7 離婚前後の子供との面会交流などの支援 | |
| 8 保護者の就労に関する支援 | |
| 9 安い家賃で住める住居の確保 | |
| 10 その他() | |
| 11 特にない | |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(2) 小学生票

くれし こども せいかつ かん じったいちょうさ
呉市子供の生活に関する実態調査
しょうがくせいひょう
【小学生票】

- これは、呉市の子供の生活 状 況 などを調べるための調査で、広島県と呉市が共 同 で実施しています。
- この調査 票 の回答は、あなたが自分で答えてください。おうちの方や学校の先生には見せる必要はありませんので、安心して答えてください。
- 名前は、書かないでください。
- 自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
- のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」などと書いてありますので、それにしただけでください。
- 全部書き終わったら、自分で赤色の封筒に入れて、テープでとじてください。それを、おうちの方の封筒といっしょに、大きい封筒に入れて、先生の指示にしたがって出してください。
- この調査 票 は調査の目的以外には使用しません。また、この調査 票 では名前を書かないので、あなたがどのように答えたかはだれにもわかりません。
- 令和5年7月10日（月曜日）までに答えてください。
- 調査についてのお問合せは、以下までお願いします。

（お問合せ先 情 報）

呉市こども支援課（9：00～17：00 土日・祝 日を除く）

電話：0823-25-3173 FAX：0823-24-6720

E メール：kodosien@city.kure.lg.jp

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 おとこ 男
2 おんな 女
3 その他・答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 自分で勉強する
2 塾で勉強する
3 学校の補習を受ける
4 家庭教師に教えてもらう
5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
6 家の人に教えてもらう
7 友達と勉強する
8 その他
9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a, bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分以上、 1時間より少ない	2時間より少ない	1時間以上、 3時間より少ない	2時間以上、 3時間より少ない	3時間以上
a) 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6		
b) 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6		

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 上のほう
- 2 やや上のほう
- 3 まん中あたり
- 4 やや下のほう
- 5 下のほう
- 6 わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 いつもわかる
 - 2 だいたいわかる
 - 3 教科によってはわからないことがある
 - 4 わからないことが多い
 - 5 ほとんどわからない
- ⇒ 問7に進んでください。

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 1・2年生のころ
- 2 3年生のころ
- 3 4年生のころ
- 4 5年生になってから

問7 あなたは、^{しょうらい}将来、^{がっこう}どの学校に^{しんがく}進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|--|
| 1 | ^{ちゅうがく} 中学 |
| 2 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校 |
| 3 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校、 ^{せんもんがっこう} 専門学校 |
| 4 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校 |
| 5 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校、 ^{たんだい} 短大 |
| 6 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校 (または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校)、 ^{だいがく} 大学 |
| 7 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校 (または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校)、 ^{だいがく} 大学、 ^{だいがくいん} 大学院 |
| 8 | ^た その他 |
| 9 | まだわからない → ^{すす} 問9に進んでください。 |

問8 ^{まえ}前の^{しつもん}質問で1～8と^{こた}答えた場合、^{ばあい}その理由を^{りゆう}答えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1 | ^{きぼう} 希望する学校や ^{がっこう} 職 ^{しよくぎょう} 業があるから |
| 2 | ^{じぶん} 自分の ^{せいせき} 成績から ^{かんが} 考えて |
| 3 | ^{おや} 親が ^い そう言っているから |
| 4 | ^{あに} 兄・ ^{あね} 姉が ^{かんが} そうしているから |
| 5 | ^{まわりの} まわりの ^{せんぱい} 先輩や ^{ともだち} 友達が ^{かんが} そうしているから |
| 6 | ^{いえ} 家にお金がないと思うから |
| 7 | ^{はや} 早く ^{はたら} 働 ^{ひつよう} く必要があるから |
| 8 | ^た その他 |
| 9 | ^{りゆう} とくに理由はない |

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校のクラブ活動に参加していますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 さんか 参加している ➡ **問11**に進んでください。
2 さんか 参加していない

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 はい 入りたいクラブがないから
2 じゅく なら ごと いそが 塾や習い事が忙しいから
3 ひよう 費用がかかるから
4 いえ じじょう かぞく せ わ か じ 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5 いっしょ はい ともだち 一緒に入る友達がいないから
6 た その他

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食べる	週5～6日	週3～4日	ほとんど食べない	週1～2日、
a) ちようしょく 朝食	1	2	3	4	
b) ゆうしょく 夕食	1	2	3	4	
c) なつやす らゆやす きかん ちゆうしょく 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4	

問 12 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問 13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- 1 おや 親
- 2 きょうだい
- 3 そふほ 祖父母など
- 4 がっこう せんせい 学校の先生
- 5 がっこう ともだち 学校の友達
- 6 がっこうがい ともだち 学校外の友達
- 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
- 8 た おとな ほか かい ひと じゅく なら こと せんせい ちいき ひと
その他の大人(放課後児童会の人、塾・習い事の先生、地域の人など)
- 9 ネットで知り合った人
- 10 だれにも相談できない、相談したくない

問 14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。

(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足していない				10 : 十分に満足している						
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 15 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
d) 私は、たいいて一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまいく。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問 16 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前（小学1年生の時）と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学2年生から小学4年生の時）では、どのように変わったと思いますか。（a～mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校のクラブ活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 （キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など）	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など）	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3

問 17 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学2年生から小学4年生の時）と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

（a～mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校のクラブ活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 （キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など）	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など）	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3

問 18 あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(個数について 0～8 のどれか 1 つに○)

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

- 0 ひとつもあてはまらない (0個)
- 1 1個あてはまる
- 2 2個あてはまる
- 3 3個あてはまる
- 4 4個あてはまる
- 5 5個あてはまる
- 6 6個あてはまる
- 7 7個あてはまる
- 8 すべてあてはまる (8個)

※上のようなことで、つらい気持ちの場合は、学校のスクールカウンセラーや次の窓口にご相談してみてください。

- LINE アカウント「こころのライン相談@広島県」 ●ヤングテレホン広島 (082-228-3993)
- 「チャイルドライン」(0120-99-7777) ●24時間子供SOSダイヤル (0120-0-78310)

問 19 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	利用 した こと が あ る	利用 した こと は な い		
		あ れ ば 利 用 し た い と 思 う	今 後 も 利 用 し た い と 思 わ な い	今 後 利 用 し た い か ど う か 分 か ら な い
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日 す を過ごすことができる場所 (放課後児童会や放課後子供教室、児童館など)	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く た 食べることができる場所 (子供食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所 べんきょう	1	2	3	4
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話や そうだん ネットの相談を含む。)	1	2	3	4

問 20 前の質問で、1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。

(1～8 については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた とも
- 2 気軽に話せる大人が増えた きがる はな おとな
- 3 生活の中で楽しいことが増えた せいかつ なか たの
- 4 ほっとできる時間が増えた じかん
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた えいよう しょくじ
- 6 勉強がわかるようになった べんきょう
- 7 勉強する時間が増えた べんきょう じかん
- 8 その他 た
- 9 特に変化はない とく へんか

問 21 あなたはヤングケアラーという言葉^{ことば き}を聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人^{おとな おこな}が行^かうような家事や家族の世話^{かぞく せわ}などを日常^{にちじょうてき}的に^{おこな}行^{おこな}っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利^{けんり}が守られていないと思われ^{おも}る18歳未満^{さいみまん こ}の子どもをいいます。

- 1 ^き聞いたことがあり、内容^{ないよう}も知^しっている
- 2 ^き聞いたことはあるが、よく知^しらない
- 3 ^き聞いたことはない

問 22 あなたは自分^{じぶん}が「ヤングケアラー」にあてはまると思^{おも}いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 あてはまる
- 2 あてはまらない
- 3 ^わ分からない

問 23 家族^{かぞく なか}の中にあなたが世話^{せわ}（※）をしている人^{ひと}はいますか。

(2～7については、あてはまるものすべてに○)

※この質問^{しつもん}でいう「世話^{せわ}」とは、ふつう大人^{おとな おこな}が行^かうような家事や家族の世話^{かぞく せわ}のことを指^さします。

- 1 ^{せわ}世話^{ひと}をしている人^{ひと}はいない
- 2 ^{ははおや}母親^{せわ}の世話^{せわ}をしている
- 3 ^{ちちおや}父親^{せわ}の世話^{せわ}をしている
- 4 ^{そぼ}祖母^{せわ}の世話^{せわ}をしている
- 5 ^{そふ}祖父^{せわ}の世話^{せわ}をしている
- 6 ^{せわ}きょうだいの世話^{せわ}をしている
- 7 ^{た かぞく}その他の家族^{せわ}の世話^{せわ}をしている

問 24 あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。

(1～10については、あてはまるもの上位3つまでに○。11を選ぶ場合は1つのみ○)

- 1 0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実
(例) 幼稚園・保育所・認定こども園などでの質の高い教育 など
- 2 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける
(例) ・基礎的な学力の定着
・勉強以外の思考力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばす など
- 3 妊娠期からの子育て家庭への支援の充実
(例) ・妊娠や子育てに関することをいつでも気軽に相談できる場の充実
・産婦人科や小児科などの医療の充実 など
- 4 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実
(例) 保育所や放課後児童会の充実 など
- 5 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備
(例) ・育児や子育てのための休暇をとりやすくする
・パソコンを使って自宅で仕事をしたり、時間や場所を有効に活用する働き方など
- 6 子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保
(例) ・授乳室や子供向けの無料サービスなど、子連れで訪れやすい店や施設を増やす
・公園施設や公共交通機関のバリアフリー化(子連れでもスムーズに移動できたり、色んな人が使いやすくする)
・子供たちへの防災・防犯・交通安全の教育 など
- 7 児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止
- 8 家族と暮らすことのできない子供への支援
(例) ・施設での受入れや退所後の自立支援
・里親やファミリーホーム(5～6人の子供を里親が養育)を増やす など
- 9 ひとり親の子供やその家族への支援
(例) 親の就業(仕事につくこと)や子育て、養育費や面会の取り決めなどへの支援
- 10 障害のある子供やその家族への支援
(例) ・障害の種類や程度に応じた医療や福祉サービスを受けられる仕組み
・卒業後の自立や社会参加に向けた学習支援や学習環境の整備
- 11 わからない



問 25 ぜんもん 前問で 1～10 と こと ばあい 理由があれば かし 教えてください。とく りゆう ばあい 記載 なくても構いません。

えら ばんごう 選んだ番号	りゆう じゆう きさい 理由（自由に記載）

くれし どくじちようさこうもく
-----呉市の独自調査項目-----

問 26 へいじつ がっこう い ひ ほう か ご ゆうがた じ す
あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）はだれとすごしますか。
いっしょ す いちばんおお ひと
一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（あてはまるもの1つに○）

- 1 かぞく そ ぶ しん ぶん
家族（祖父母、親せきなども含みます）
- 2 ほう か ご じどうかい た しせつ ほう か ご とう ぶん せんせい
放課後児童会やその他の施設（放課後等デイサービス含む）の先生
- 3 た おとな きんじょ おとな じゆく なら ごと せんせい
その他の大人（近所の大人、塾 や習い事の先生など）
- 4 がっこう とも
学校の友だち
- 5 がっこういがい とも ちい き きんじょ とも
学校以外の友だち（地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど）
- 6 ひとり
一人である

問 27 あなたの^{おも}思いや^{きも}気持ちについて、「1 とても^{おも}思う」から「4 ^{おも}思わない」のうち、もっとも^{ちか}近いものに○をつけてください。(a~h それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	とても ^{おも} 思う	思う ^{おも}	あまり ^{おも} 思わない	思わない ^{おも}
a) がんばれば、むくわれる	1	2	3	4
b) ^{じぶん} 自分は ^{かち} 価値のある ^{にんげん} 人間だ	1	2	3	4
c) ^{じぶん} 自分は ^{かぞく} 家族に ^{だいじ} 大事にされている	1	2	3	4
d) ^{じぶん} 自分は ^{とも} 友だちに ^す 好かれている	1	2	3	4
e) ^{ふあん} 不安に ^{かん} 感じることはない	1	2	3	4
f) ^{こどく} 孤独と ^{かん} 感じることはない	1	2	3	4
g) ^{じぶん} 自分の ^{しょうらい} 将来が ^{たの} 楽しみだ	1	2	3	4
h) ^{じぶん} 自分の ^す ことが好きだ	1	2	3	4

問 28 あなたは、以下の^{いか}ような^{ばしょ}場所があれば^{つか}使ってみたいと^{おも}思いますか。

(a~f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	使 ^{つか} ってみたい	使 ^{つか} いたくない	使 ^{つか} う必要 ^{ひつよう} はない
a) ^{いえいがい} (家以外)で ^{へいじつ} 平日の ^{ほうかご} 放課後に ^{よる} 夜までいることができる ^{ばしょ} 場所	1	2	3
b) ^{いえいがい} (家以外)で ^{きゅうじつ} 休日にいることができる ^{ばしょ} 場所	1	2	3
c) ^{いえ} 家の人 ^{ひと} がい ^い ないとき、 ^{ゆう} 夕ごはんを ^た みんなで ^{ばしょ} 食べることができる場所	1	2	3
d) ^{いえ} 家で ^{べんきょう} 勉強できないとき、 ^{しず} 静かに ^{べんきょう} 勉強ができる ^{ばしょ} 場所	1	2	3
e) ^{だいがくせい} 大学生のお兄さん、 ^{にい} お姉さんが、 ^{ねえ} 勉強 ^{べんきょう} を ^{むりよう} 無料で ^{ばしょ} みてくれる場所	1	2	3
f) ^{がっこういがい} (学校以外)で ^{そうだん} なんでも相談 ^{ばしょ} できる場所	1	2	3

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(3) 中学生票

くれし こども せいかつ かん じったいちょうさ
呉市子供の生活に関する実態調査

ちゅうがくせいひょう
【中学生票】

- これは、呉市の子供の生活 状況などを調べるための調査で、広島県と呉市が共同で実施しています。
- この調査票の回答は、あなたが自分で答えてください。おうちの方や学校の先生には見せる必要はありませんので、安心して答えてください。
- 名前は、書かないでください。
- 自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
- のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」などを書いてありますので、それにしただけでください。
- 全部書き終わったら、自分で赤色の封筒に入れて、テープでとじてください。それを、おうちの方の封筒といっしょに、大きい封筒に入れて、先生の指示にしたがって出してください。
- この調査票は調査の目的以外には使用しません。また、この調査票では名前を書かないので、あなたがどのように答えたかはだれにもわかりません。
- 令和5年7月10日（月曜日）までに答えてください。
- 調査についてのお問合せは、以下までお願いします。

（お問合せ先情報）

呉市子ども支援課（9：00～17：00 土日・祝日を除く）

電話：0823-25-3173 FAX：0823-24-6720

Eメール：kodosien@city.kure.lg.jp

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 男
おとこ |
| 2 | 女
おんな |
| 3 | その他・答えたくない
た こと |

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1 | 自分で勉強する
じぶん べんきょう |
| 2 | 塾で勉強する
じゅく べんきょう |
| 3 | 学校の補習を受ける
がっこう ほしゅう う |
| 4 | 家庭教師に教えてもらう
かていきょうし おし |
| 5 | 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
ちいき ひと おこな むりよう べんきょうかい さんか |
| 6 | 家の人に教えてもらう
いえ ひと おし |
| 7 | 友達と勉強する
ともだち べんきょう |
| 8 | その他
た |
| 9 | 学校の授業以外で勉強はしない
がっこう じゅぎょういがい べんきょう |

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。
(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない ぶん すく	1時間より少ない じかん すく	30分以上、 ぶんいじょう	2時間より少ない じかん すく	1時間以上、 じかんいじょう	3時間より少ない じかん すく	2時間以上、 じかんいじょう	3時間以上 じかんいじょう
a) 学校がある日 がっこう ひ げつ きんようび (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6			
b) 学校がない日 がっこう ひ ど にちようび しゅくじつ (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6			

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 上のほう
- 2 やや上のほう
- 3 まん中あたり
- 4 やや下のほう
- 5 下のほう
- 6 わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 いつもわかる
 - 2 だいたいわかる
 - 3 教科によってはわからないことがある
 - 4 わからないことが多い
 - 5 ほとんどわからない
- ⇒ 問7に進んでください。

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。
 いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 小学1・2年生のころ
- 2 小学3・4年生のころ
- 3 小学5・6年生のころ
- 4 中学1年生のころ
- 5 中学2年生になってから

問7 あなたは、^{しょうらい}将来、^{がっこう}どの学校に^{しんがく}進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|--|
| 1 | ^{ちゅうがく} 中学 |
| 2 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校 |
| 3 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校、 ^{せんもんがっこう} 専門学校 |
| 4 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校 |
| 5 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校、 ^{たんだい} 短大 |
| 6 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校 (または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校)、 ^{だいがく} 大学 |
| 7 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校 (または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校)、 ^{だいがく} 大学、 ^{だいがくいん} 大学院 |
| 8 | ^た その他 |
| 9 | まだわからない → 問9に進んでください。 |

問8 ^{まえ}前の^{しつもん}質問で1～8と^{こた}答えた場合、^{ばあい}その理由を^{りゆう}答えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1 | ^{きぼう} 希望する学校や ^{がっこう} 職 ^{しよくぎょう} 業があるから |
| 2 | ^{じぶん} 自分の ^{せいせき} 成績から ^{かんが} 考えて |
| 3 | ^{おや} 親が ^い そう言っているから |
| 4 | ^{あに} 兄・ ^{あね} 姉が ^{かんが} そうしているから |
| 5 | ^{まわりの} まわりの ^{せんぱい} 先輩や ^{ともだち} 友達が ^{かんが} そうしているから |
| 6 | ^{いえ} 家にお金がないと思うから |
| 7 | ^{はや} 早く ^{はたら} 働 ^{ひつよう} く必要があるから |
| 8 | ^た その他 |
| 9 | ^{りゆう} とくに理由はない |

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 さんか 参加している ➡ 問11に進んでください。
2 さんか 参加していない

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 はい 入りたいクラブ・部活動がないから
2 じゅく なら ごと いそが 塾や習い事が忙しいから
3 ひよう 費用がかかるから
4 いえ じじょう かぞく せ わ か じ 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5 いっしょ はい ともだち 一緒に入る友達がいないから
6 た その他

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食べる	週5～6日	週3～4日	ほとんど食べない	週1～2日、
a) ちょうしょく 朝食	1	2	3	4	
b) ゆうしょく 夕食	1	2	3	4	
c) なつやす らゆやす きかん ちゅうしょく 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4	

問 12 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問 13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- 1 おや 親
- 2 きょうだい
- 3 そふほ 祖父母など
- 4 がっこう せんせい 学校の先生
- 5 がっこう ともだち 学校の友達
- 6 がっこうがい ともだち 学校外の友達
- 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
- 8 た おとな じゆく なら こと せんせい ちいき ひと
その他の大人(塾・習い事の先生、地域の人など)
- 9 ネットで知り合った人
- 10 だれにも相談できない、相談したくない

問 14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足していない											10 : 十分に満足している		
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			

問 15 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれからか回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
d) 私は、たいいて一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまいく。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問 16 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前（小学4年生の時）と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学5年生から中学1年生の時）では、どのように変わったと思いますか。（a～mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 （キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など）	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など）	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3

問 17 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学5年生から
中学1年生の時）と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

（a～m それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増 え た	減 つ た	変 わ ら な い
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 （キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など）	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など）	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3

問 18 あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(個数について 0～8 のどれか 1 つに○)

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

- 0 ひとつもあてはまらない (0個)
- 1 1個あてはまる
- 2 2個あてはまる
- 3 3個あてはまる
- 4 4個あてはまる
- 5 5個あてはまる
- 6 6個あてはまる
- 7 7個あてはまる
- 8 すべてあてはまる (8個)

※上のようなことで づらい気持ちの場合は、学校のスクールカウンセラーや次の窓口に相談してみてください。

●LINE アカウント「こころのライン相談@広島県」
●「チャイルドライン」(0120-99-7777)

●ヤングテレホン広島 (082-228-3993)
●24時間子供SOS ダイアル (0120-0-78310)

問 19 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	利用 した こと が あ る	利用 した こ と は な い		
		あ れ ば 利 用 し た い と 思 う	今 後 も 利 用 し た い と 思 わ な い	今 後 利 用 し た い か ど う か 分 か ら な い
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日 を過ごすことができる場所 (公民館や図書館など、勉強 などができる場所)	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で) タごはを無料で安く 食べることができる場所 (子供食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話や ネットの相談を含む。)	1	2	3	4

問 20 前の質問で、1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用
したことで、以下のような変化がありましたか。

(1～8 については、あてはまるものすべてに○)

1	友だちが増えた
2	気軽に話せる大人が増えた
3	生活の中で楽しいことが増えた
4	ほっとできる時間が増えた
5	栄養のある食事をとれることが増えた
6	勉強がわかるようになった
7	勉強する時間が増えた
8	その他
9	特に変化はない

問 21 あなたはヤングケアラーという言葉^{ことば}を聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人^{おとな おこな}が行^かうような家事や家族の世話^{わざ}などを日常的^{にちじょうてき}に行^{おこな}っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利^{けんり}が守られていないと思^{おも}われる18歳未満^{さいみまん}の子^こどもをいいます。

- 1 ^き聞いたことがあり、^{ないよう}内容も知^しっている
- 2 ^き聞いたことはあるが、よく知^しらない
- 3 ^き聞いたことはない

問 22 あなたは自分^{じぶん}が「ヤングケアラー」にあてはまると思^{おも}いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 あてはまる
- 2 あてはまらない
- 3 ^わ分からない

問 23 家族^{かぞく}の中^{なか}にあなたが世話^{せわ}(※)をしてい^{ひと}る人はいますか。

(2～7については、あてはまるものすべてに○)

※この質問^{しつもん}でいう「世話^{せわ}」とは、ふつう大人^{おとな おこな}が行^かうような家事や家族の世話^{わざ}のことを指^さします。

- 1 ^{せわ}世話を^{ひと}している人はいない
- 2 ^{ははおや}母親の世話を^{せわ}している
- 3 ^{ちちおや}父親の世話を^{せわ}している
- 4 ^{そぼ}祖母の世話を^{せわ}している
- 5 ^{そふ}祖父の世話を^{せわ}している
- 6 ^{せわ}きょうだいの世話を^{せわ}している
- 7 ^たその他の家族の世話を^{せわ}している

問 24 あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。

(1～10については、あてはまるもの上位3つまでに○。11を選ぶ場合は1つのみ○)

- 1 0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実
(例) 幼稚園・保育所・認定こども園などでの質の高い教育 など
- 2 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける
(例) ・基礎的な学力の定着
・勉強以外の思考力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばす など
- 3 妊娠期からの子育て家庭への支援の充実
(例) ・妊娠や子育てに関することをいつでも気軽に相談できる場の充実
・産婦人科や小児科などの医療の充実 など
- 4 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実
(例) 保育所や放課後児童会の充実 など
- 5 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備
(例) ・育児や子育てのための休暇をとりやすくする
・パソコンを使って自宅で仕事をしたり、時間や場所を有効に活用する働き方など
- 6 子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保
(例) ・授乳室や子供向けの無料サービスなど、子連れで訪れやすい店や施設を増やす
・公園施設や公共交通機関のバリアフリー化(子連れでもスムーズに移動できたり、色んな人が使いやすくする)
・子供たちへの防災・防犯・交通安全の教育 など
- 7 児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止
- 8 家族と暮らすことのできない子供への支援
(例) ・施設での受入れや退所後の自立支援
・里親やファミリーホーム(5～6人の子供を里親が養育)を増やす など
- 9 ひとり親の子供やその家族への支援
(例) 親の就業(仕事につくこと)や子育て、養育費や面会の取り決めなどへの支援
- 10 障害のある子供やその家族への支援
(例) ・障害の種類や程度に応じた医療や福祉サービスを受けられる仕組み
・卒業後の自立や社会参加に向けた学習支援や学習環境の整備
- 11 わからない



問 25 ぜんもん こた ばあい りゆう おし とく りゆう ばあい きさい
前問で 1～10 と答えた場合、理由があれば教えてください。特に理由がない場合は、記載
しなくても構いません。

えら ばんごう 選んだ番号	りゆう じゆう きさい 理由（自由に記載）

くれし どくじちようさこうもく
-----呉市の独自調査項目-----

問 26 へいじつ がっこう い ひ ほう か ご ゆうがた じ す
あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方 6 時くらいまで）はだれと過ごしますか。
いっしょ す いちばんおお ひと
一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（あてはまるもの 1 つに○）

- 1 かぞく そ ぶ ぼ しん ぶん
家族（祖父母、親せきなども含みます）
- 2 こうみんかん じどうかん た しせつ ほう か ごとう ぶん しょくいん
公民館・児童館やその他の施設（放課後等デイサービス含む）の職員
- 3 た おとな きんじょ おとな じゅく なら ごと せんせい
その他の大人（近所の大人、塾 や習い事の先生など）
- 4 がっこう とも
学校の友だち
- 5 がっこういがい とも ちいき きんじょ とも
学校以外の友だち（地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど）
- 6 ひとり
一人にいる

問 27 あなたの^{おも}思いや^{きも}気持ちについて、「1 ^{おも}とても思う」から「4 ^{おも}思わない」のうち、もっとも^{ちか}近いものに○をつけてください。(a~h それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	とても 思う ^{おも}	思う ^{おも}	あまり 思わない ^{おも}	思わない ^{おも}
a) がんばれば、むくわれる	1	2	3	4
b) ^{じぶん} 自分は ^{かち} 価値のある ^{にんげん} 人間だ	1	2	3	4
c) ^{じぶん} 自分は ^{かぞく} 家族に ^{だいじ} 大事にされている	1	2	3	4
d) ^{じぶん} 自分は ^{とも} 友達に ^す 好かれている	1	2	3	4
e) ^{ふあん} 不安に ^{かん} 感じることはない	1	2	3	4
f) ^{こどく} 孤独と ^{かん} 感じることはない	1	2	3	4
g) ^{じぶん} 自分の ^{しょうらい} 将来が ^{たの} 楽しみだ	1	2	3	4
h) ^{じぶん} 自分のことが ^す 好きだ	1	2	3	4

問 28 あなたは、以下の^{いか}ような^{ばしょ}場所があれば^{つか}使ってみたいと思^{おも}いますか。

(a~f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	使っ てみた い ^{つか}	使いた くない ^{つか}	使っ 必要は ない ^{つか} ^{ひつよう}
a) ^{いえいがい} (家以外で) ^{へいじつ} 平日の ^{ほうかご} 放課後に ^{よる} 夜までいることができる ^{ばしょ} 場所	1	2	3
b) ^{いえいがい} (家以外で) ^{きゅうじつ} 休日にいることができる ^{ばしょ} 場所	1	2	3
c) ^{いえ} 家の人がい ^{ひと} ないとき、 ^{ゆう} 夕ごはんを ^た みんなで ^{ばしょ} 食べることができる場所	1	2	3
d) ^{いえ} 家で ^{べんきょう} 勉強できないとき、 ^{しず} 静かに ^{べんきょう} 勉強が ^{ばしょ} できる場所	1	2	3
e) ^{だいがくせい} 大学生の ^{べんきょう} ボランティアが、 ^{むりよう} 勉強を ^{ばしょ} 無料で ^{みて} くれる場所	1	2	3
f) ^{がっこういがい} (学校以外で) ^{べんきょう} 勉強、 ^{しんがく} 進学、 ^{かぞく} 家族のことなど、 ^{そうだん} なんでも ^{ばしょ} 相談できる場所	1	2	3

^{しつもん}質問は以上です。^{いじょう}ご協力^{きょうりょく}ありがとうございました。

名 称 呉市子供の生活に関する実態調査 報告書
発 行 呉市 こども部 こども支援課
所 在 地 〒737-8501 広島県呉市中央4丁目1番6号
電 話：0823-25-3173
F A X：0823-24-6720
E-mail：kodosien@city.kure.lg.jp
発行年月 令和6年3月